



TITLE:

京都大学蔵 大惣本目録: 第二分冊

AUTHOR(S):

京都大学附属図書館

---

CITATION:

京都大学附属図書館. 京都大学蔵 大惣本目録: 第二分冊. 1989: 1-254

ISSUE DATE:

1989-03-29

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/204363>

RIGHT:

京 都 大 学 蔵

大 惣 本 目 録

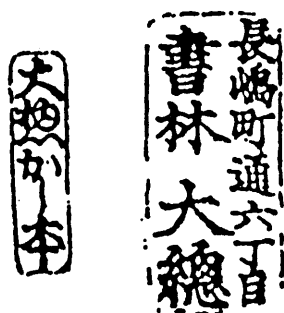
第 二 分 冊

京都大学附属図書館

1989

京都大学蔵  
大惣本目録

第二分冊



京都大学附属図書館

1989

# 目 次

## (第 二 分 冊)

繪 本 図 絵	1
和 漢 医 書	2
西 鶴・八 文 字 屋	16
丸本 写 本 台 帳	31
丸本 版 本 台 帳	44
浄 瑠 璃 丸 本	48
黄 表 紙	90
幕 府 写 本	100
和 軍 書 類	110
和 軍 写 本	116
兵 書	119
料 理 書	122
往 来 書	123
大 工 書	124
伝 授 書	125
算 術 書	126
書 目	128
書 画	128
神 道	130
易・方 位・天 文	137
歌 書	148
徒 然 草	159
百 人 一 首	160
国 書・和 書	160
有 職	165
仏 書	168
狂 詩	192



狂	歌	193
武器	刀劍	195
經典	及詩文	196
經書	・詩文	209
繪	本	213
	咄	227
奇談	怪談故事	228
芝	居物	233
吉	原物	239
俳	書	241
連	歌	250
『大惣本四月二十一日 連歌ノ末ニ追加之分』		250
補	遺	254
未	整理	254

(以下第一分冊)

隨	筆 (版本)	相	撲
物	語	諸	礼・書翰
雜	書 (甲)	古	錢書
雜	書 (乙)	隨	筆写本
珍	書	蝦	夷漂流記
唐	軍	故	事
繪	本・読本	書	法
合	卷	字	書
古	版珍書	音	韻
珍	書草紙	人物志	万宝器物
地	誌・名所	農	書
日	記・紀行	囲	碁・将棋
道	中記	隨	筆写本追加
香・茶・生花			

# 絵 本 図 絵

ニチレンシヤウニソイチダイヅ エ  
31220 日蓮上人一代圖會 壹~陸  
大1帙6冊

松亭中村經年著, 葛飾爲齋画, 日塚序  
(1858)  
安政5序・刊

大坂 河内屋茂兵衛(心齋橋筋博勞町)・加賀  
屋善藏(同安土町), 江戸 山城屋佐兵衛(日  
本橋通二町目)・須原屋茂兵衛(同一町目)・須  
原屋新兵衛(同二町目)・須原屋佐助(同四町  
目)・須原屋伊八(浅草茅町二町目)・和泉屋金  
右衛門(横山町三町目)・出雲寺萬次郎(同堂  
町目)・丁子屋平兵衛(大傳馬町二町目)・和泉  
屋吉兵衛(芝神明前)・岡田屋嘉七(同)・大和  
屋喜兵衛(中橋東中通り下槇木町)

※第1冊巻頭に総目録あり。刊記に「房州小湊誕  
生寺末 江戸牛込榎町松榮山大法寺蔵」とある。  
また同冊末に寶集堂の出版予告及び尚古堂と寶  
集堂の蔵板目録がある。

4-41サ64 さ式百八拾六全六冊 50銭

フサウクワウトウキ ヅ エ  
31221 扶桑皇統記圖會 前編壹~六・後編  
壹~七 大2帙13冊

好華堂主人山田意齋著, 柳齋重春画, 松亭金水序  
(前・後)

(1849) (1850)  
嘉永2前編序, 同3後編序・前後編刊  
大坂 岡田羣玉堂・田田群鳳堂

※各編刊記に書肆11軒の名を連ねるも省略。前編  
・後編各々の最終冊の末尾に『大伴金道忠孝圖  
會』ほか多数の広告あり。後編の大惣番号札剝  
落。

4-41サ67 さ式百五拾九〇 60銭

ゼンタイヘイキ ヅ エ  
31222 前太平記圖會 一~六 半2帙6冊

秋里籬寫著・自序, 法橋中和画・跋, 愚山外史序  
(1802) (1803)  
享和2序, 同3自序  
書肆不明

※「和泉高/堀川」なる蔵書印あり。後補墨書題  
簽は「前太平記」とする。上記の書名は内題に  
よる。第1冊表紙に「前太平記/合本/全部六  
冊」, 「前太平記/六冊」の小札あり。

4-41サ36 大惣番号札原欠か 75銭

オホトモカネミチチユウカウヅ エ  
31223 大伴金道忠孝圖會 前編一~五・  
後編一~六 大2帙11冊

好華堂主人山田意齋著, 柳齋重春画, (前編)宮田  
南北序・画, (後編)金水道人序

(1849) (1850)  
(前編)嘉永2刊, (後編)同2序, 同3刊  
京 河内屋藤四郎(寺町通仏光寺), 江戸 須  
原屋茂兵衛(日本橋通壹丁目)・山城屋佐兵衛  
(同貳丁目)・須原屋新兵衛(同貳丁目)・山城  
屋政吉(同四日市)・英大助(同本石町十軒店)  
・英文蔵(同下谷御成道)・丁子屋平兵衛(同  
大傳馬町貳丁目)・岡田屋嘉七(同芝神明前),  
大阪 河内屋藤兵衛(心齋橋通本町角)・河内  
屋茂兵衛(心齋橋博勞町角)

※前・後編巻末に書林の広告多数あり。

4-41サ9

百六拾番 百六拾壹後六 60銭

ジソウウツワウゴウ  
神功 三韓退治圖會 一~五  
31224 皇后 大1帙5冊

山月庵主人著, 葛飾戴斗画, 西樵生々生序

(1841)  
天保12序

京 河内屋藤四郎(寺町通仏光寺), 江戸 須  
原屋茂兵衛(日本橋通壹丁目)・山城屋佐兵衛  
(同貳丁目)・須原屋新兵衛(同貳丁目)・西宮  
屋彌兵衛(同中橋広小路)・岡田屋嘉七(同芝  
神明前)・丁子屋平兵衛(同大傳馬町貳丁目)・  
河内屋茂兵衛(橋筋博勞町角)

※第5冊末尾に「翻譯 題本 畫本 通俗 兩國志」他3部の  
広告あり。

4-41サ26 さ百拾貳全五冊 60銭

クスノキマサツラセンコウゾ エ  
31225 楠正行戦功圖會 前編一~五・後編  
一~六 大2帙11冊

法橋西村中和「画圖」, 野亭散人「考訂」, 西浦武考  
前編序

(1820) (1821) (1824)  
文政3序(前編), 同4刊(前編), 同7刊(後編)  
(前編)大阪 伊丹屋善兵衛(心齋橋通博勞町)  
・河内屋茂兵衛(同北久太良町)・河内屋平七  
(同南久太良町)・河内屋源七郎(同北久實寺  
町)

(後編)名古屋 美濃屋清七(傳馬町), 江戸  
大阪屋茂吉(日本橋砥石店), 大阪 伊丹屋  
善兵衛(心齋橋通博勞町)・河内屋茂兵衛(同  
町)・河内屋平七(同南久太良町)・河内屋源七

郎（同南久寶寺町）

※後編第2冊見返しに大野屋の書込みあり。その他種々の落書きあり。後編の大惣番号札剥落。

4—41サ20 さ三百三拾壹前五〇 1円

31226 <sup>エホンタマモノガタリ</sup> 繪本玉藻譚 一〜五 半1帙5冊  
法橋玉山著・画・自跋、筱應道序、滋古序

(1805) 文化2跋・刊

大坂 松村九兵衛（心齋橋通島之内）・鳥飼市左衛門（同所）・澁川清右衛門（心齋橋通船場）・小林六兵衛（同所）・向井八三郎（新町西口南一町）・多田勘兵衛（同所小濱町）

※柱書「玉藻前」。後補墨書題簽「畫本玉藻譚」。

第1冊に多色刷挿絵2丁あり。第1冊表紙に「□番」の小札。

4—41サ5 さ三百五拾壹全五 60銭

31227 <sup>メウケンカンノウ</sup> 妙見 <sup>セイシャウシンデンキ</sup> 清正眞傳記 初篇一〜五上  
・（五下） 半1帙6冊

天山老人若林葛満著・自跋、石田玉山・玉峰画、滄浪主人序、英榮堂主人跋

(1812) 文化9序・跋

名古屋 永樂屋東四郎（本町七丁目）、和歌山 常屋伊兵衛（新町二丁目）、大阪 勝尾屋六兵衛（心齋橋博労町）、京 小川彦兵衛（寺町通四條上ル）

※第1冊表紙に「清二番」の小札あり。内題には上記書名の他に「増補詳解圖會清正記再板」、「増補詳解圖會清正記」、「図會清正記再板」という題も見える。柱刻も「清正記」と「再板清正記」の2種が混じる。

4—41サ19 さ三百三拾八前編 70銭

31228 <sup>チンゼイキク チグンキ</sup> 鎮西菊池軍記 一〜五・後篇一〜五  
大2帙10冊

曉鐘成著・画、獨醉外史序（正篇）、松堂散人村直序（後篇）

(1826) (1827) (1830) (1833) 文政9序、同10刊（正篇）、同13序、天保4刊（後篇）

京 本屋宗七（二條車屋町）・伏見屋半三郎（寺町通錦小路下ル）、名古屋 永樂屋東四郎（本町七丁目）、江戸 大阪屋茂吉（日本橋砥石店）、大阪 河内屋平七（南久太郎町六丁目）（以上正篇。後篇は永樂屋、大阪屋の代りに次の2書肆が加わる。）江戸 丁子屋平兵衛（小傳馬町三丁目）、名古屋 松屋善兵衛（本町十丁

目）

※正篇終丁に大坂三木文繡堂のあいさつ、「豪傑勲功録」「楠正行戦功圖會」の広告あり。序題「菊池記」また「菊池軍記」。

4—41サ18 さ三百三拾四前五 1円

31229 <sup>エホンネンダイキ</sup> 繪本年代記 壹〜五 大1帙5冊

秋里籬島著、賀茂季鷹序、潤齋題言、西村中和画  
(1799) (1802) 寛政11「御免」、享和2刊

江戸 西村宗七、大坂 河内屋太助、京 万屋作右衛門・出雲寺文次郎・瀬尾源八郎・林宗兵衛・灰方伊兵衛・大橋仁兵衛

4—41サ6 さ貳百貳全五冊 50銭

31230 <sup>エホンスガハラジツキ</sup> 繪本菅原實記 一〜六 大1帙6冊  
法橋巨勢秀信著・自序 (1810) 文化7序・刊

京 河南四郎兵衛・小川太左衛門、江戸 西村源六・岡田嘉七、大坂 森本太助・多田勘兵衛・前田嘉右衛門・上原大助・中川松之助

※第1冊に金泥を用いて刷られた序文あるが序者不明。人物画像3面多色刷。第4〜6冊は題簽に「附録初編」とあり、内容は「不知火草子」（戀香亭睡仙著、石田玉峯画、黙齋序＝文化7）旧名「敵討天神利生記」である。

4—41ア60 大惣番号札剥落 30銭

## 和 漢 医 書

31231 <sup>コハウセンギ</sup> 古方節義 上・中・下 半1帙3冊  
内島保定著・自序、岡瑞鑑校 (1769) (1771) 明和6序、同8刊

京 額田庄三郎・梅村三郎兵衛・村上勘兵衛・山本長兵衛・中野宗左衛門・山本平左衛門

※下冊末に「景湖堂藏」の朱印あり。下冊裏見返しに書名に関する書込みあり。

7—02コ11 た四十巻全三 15銭

31232 <sup>シフイセンニフ</sup> 習醫先入 上・中・下 半1帙3冊  
香月啓益著・自序、門人内海春東・相良梅山・藤江玄雄「筆記」 (1727) (1733) 享保12序、同18刊

京 野田治兵衛（寺町通二條下ル町）・林権兵衛（間之町通御池上ル町）・佐々木惣四郎（寺

町通姉小路上ル町)

※内容は医師の心得について。朱筆書込みあり。

7—02シ10 た四拾番全三 15銭

31233 フクコメイシロク 復古明試録 半1帙1冊

蠶水稲葉先生(正宗軒)著・自序, 東野諸葛序, 上方清謙宗伯・前田温潤宗珉輯

(1803) 享和3自序・序, 文化元刊

土浦 復古齋蔵版, 京 須原屋平左衛門, 大坂 敦賀屋九兵衛, 江戸 須原屋新兵衛

※柱書「明試録」。

7—02フ7 た七拾貳番全壹冊 10銭

31234 シヤウカンロンコクジベン 傷寒論國字辨 一〜七 半1帙7冊

淺野徹元甫(養老先生)著・自序

(1791) (1794) 寛政3序, 同6刊

名古屋 片野東四郎

※柱書下部には「拙菴蔵」とある。初版は寛政3。

7—02シ37 大惣番号札剝落 20銭

31235 ビヤウカエウロン 病家要論 上・中・下 半1帙3冊

伊藤玄恕著・自序, 梅巷丹水子玄醫序, 書肆跋

(1695) 元禄8自序・序・刊

京 林九兵衛(東洞院夷川上町)

※跋によれば「病家日用の要を集メ。間俗習の誤りを辨ず」。民間療法を集めた書。

7—02ヒ8 た四十七番全三 15銭

31236 ニ シンデン 二神傳 上・中・下 半1帙3冊

阿州天羽友仙著・自序

(1796) (1798) 寛政8序, 同10刊

大坂 塩屋平助(南久宝寺町心齋橋筋)・河内 屋喜兵衛(北久太郎町心齋橋筋)

7—02ニ1 た三十九番全三 15銭

31237 シュセツヤウジヤウロン 酒説養生論 壹〜七 半1帙7冊

草洲守部正壁「校訂」・自序・自跋, 盈進中村玄春序

(1729) 享保14自序・序・跋

江戸 須原屋茂兵衛・平左衛門

※酒説惣論・酒病論・奇病論より成る。

7—09シ2 た百五拾七全七 50銭

31238 ゼンタイシンロン 全體新論 一〜三 半1帙3冊

「西國醫士合信氏著」・自序, 「南海陳修堂同撰」

(1850) 咸豐元(清)序

書肆不明

※柱書によれば各冊冊次は「乾・坤・圖」。和刻本。

7—05セ3 大惣番号札剝落 10銭

31239 ソウホ フクシンロク 増補腹診録 上・下 半1帙2冊

「東郭和田先生口授 門人筆記」, 大橋貞裕校定, 佐々木尚禮序

(1850) 嘉永3序

京 林芳兵衛(二條通堺町西入町)

※巻上の内題「含章齋腹診録」。下冊原題簽書名下に「醫談」とある。

7—02フ12 た六拾貳全貳 10銭

31240 コ ハウヨク 古方翼 一〜五 半1帙5冊

「攝陽 野間友真悛卿(俊齋先生)述 門人筆記」, 橋春暉序, 尾崎嘉猷

(1792) (1794) 寛政4跋, 同6序・刊

大阪 柳原喜兵衛(心齋橋通北久太郎町)・高橋平助(同南久宝寺町)

※「上册」2冊・「中冊」2冊・「下冊」1冊より成る。末尾に柳原の「醫書版目録」あり。

7—02コ14 た貳十三全五 25銭

31241 ギウザンハウカウ 牛山方考 上・中・下 半1帙3冊

被髮翁香月啓益(牛山先生)著・自序(元禄12), 那波師曾序(天明2), 松本慎序(天明元)

(1782) (1781) 天明2刊

大坂 鳥飼市兵衛(心齋橋四町目)・淺野弥兵衛(高麗橋老町目), 京 山田三郎兵衛(佛光寺通寺町西へ入)・葛西市郎兵衛(寺町通五條上ル町)・河南四良右衛門(堀川通佛光寺下ル町)・北村四郎兵衛(五條通高倉東へ入町)・山本平左衛門(寺町通蛸薬師下ル町)

※各巻内題「牛山先生方考」。

7—02キ9 た拾五番全三冊 20銭

31242 ハウイベンギ 方意辨義 乾・坤 半1帙2冊

洛下法橋岡本爲竹一抱子著, 向晦(英松軒)序

(1703) (1717) 元禄16序, 享保2刊

京 「書林 英松堂蔵版」(都南)・新井彌兵衛(京極通五條上ル町)

※原題簽の書名にのみ角書「配劑」あり。

7—02ホ5 た五十三番全貳冊 10銭

31243 <sup>ギウザンクワツタウ</sup> 牛山活套 上・中・下 半1帙3冊  
被髮翁貞菴香月啓益(牛山先生)著, 知足散人序,  
南窗武吉跋 <sup>(1778)</sup> 安永7序・跋, 同8刊  
書肆は31241『牛山方考』のそのの, 鳥飼市兵  
衛を除く6書肆  
※書込み甚し。各巻内題「牛山先生活套」。  
7-02キ8 た拾四番全三冊方考共メ書 20銭

31244 <sup>ヤウジャウハフ</sup> 養生法 半1冊  
侍醫醫學教頭蘭疇松本良順著, 隠士楽齋山内豊城  
「校閲補注」 <sup>(1864)</sup> 元治元成  
写本  
※成立年は山内豊城の「追加」の奥書による。  
7-09ヨ3 た百八十一番 5銭

31245 <sup>ヨウヤク ス チ</sup> 用藥須知 一〜三 半1帙3冊  
松岡成章(玄達・恕菴)著・自序, 江村簡易從序,  
甲賀敬元・熊谷玄隨・江村如圭校 <sup>(1712)</sup> <sup>(1724)</sup> <sup>(1726)</sup>  
正徳2自序, 享保9序, 同11刊  
京 岡村彌兵衛(寺町通下御霊前町)・唐本屋  
八郎兵衛  
7-02ヨ10 た四拾五番全三 10銭

31246 <sup>イ セイシフエウ</sup> 願生輯要 一〜五 半1帙5冊  
益軒貝原篤信著・自序, 竹田定直編・跋 <sup>(1711)</sup> <sup>(1714)</sup>  
正徳元序・跋, 同4刊  
書肆は※参照  
※内題「益軒先生銓定願生輯要」。第1冊表紙の  
大惣番号のある札に「一名養生論」, 別の札に  
「養生 <sup>貝原先生</sup> 全五」とある。また, 刊記の書肆  
名は削られているが, 「此本養生論ト外題替/  
寛政二庚戌正月京都小川太左衛門板」の札あり。  
7-09イ1 た百五十三 20銭

31247 <sup>ソウホエイリ</sup> 増補 <sup>セウ ニ ヒツヨウ キ</sup> 小児必用記 (-)・二〜六 半1帙6冊  
牛山翁香月啓益著, 香月五平子秀房序, 杏三折序  
元禄16序(香月), 正徳4序(杏)・刊  
京 野田治兵衛(寺町押小路下町)・秋田屋  
甚兵衛, 江戸 梅村弥右衛門(日本橋南一丁目),  
大坂 秋田屋市兵衛(心齋橋筋)  
※香月序題「小児養育草」, 各巻内題「小児必用  
養育草」。第1冊表紙に「香月牛山作/養育草」

の札あり。

7-45シ1 た貳拾五全六冊 20銭  
31248 <sup>ヒ デンエイセイロン</sup> 秘傳衛生論 乾・坤 半1帙2冊  
本井子承著, 田中陳介跋 <sup>(1812)</sup> 文化9刊  
「河州佐太天神宮本之隠士本井子承藏」, 大坂 丹波  
屋榮藏(谷町三丁目)・加賀屋彌助(心齋橋通  
北久宝寺町) <sup>(1794)</sup>  
※初版は寛政6。逸名序あり。序題「衛生論」。  
本文内題「秘傳大人小兒衛生論」。  
7-02ヒ2 た五拾九番全貳 10銭

31249 <sup>ヤウジャウダン</sup> 養生談 半1冊  
谷了閑(伊豫宇和島槐堂先生)著 <sup>(1801)</sup> 享和元刊  
書肆不明  
※刊記の一部分破損。  
7-02ヨ7 た百六拾九番 10銭

31250 <sup>フジンヤウジャウ</sup> 婦人 <sup>チンヤヒトワラヒ</sup> 智者一笑 半1帙1冊  
著者未詳 <sup>(1745)</sup> <sup>(1773)</sup> 延享2奥書, 安永2写  
写本(池田氏伴高写)  
※内題「知者一わらひ」。題簽に「妊身心得之本  
也」との書込みあり。大惣番号は「た百七拾巻」  
の「巻」を「四」に訂正す。奥書に「東國何某  
筆」とある。旧藏者「伊勢屋忠兵衛」の印あり。  
7-02フ6 た百七拾四 5銭

31251 <sup>ウン キ ロンゲンカイ</sup> 運氣論診解 一二三四・五六七止 大1帙2冊  
岡本一抱子著, 小川玄昌序, 鮫島玄碩・岡野玄通・  
渡部祐倫・増野元説校 <sup>(1704)</sup> 宝永元刊  
京 芳野屋権兵衛・村上藤左衛門・風月荘左衛  
門  
※第1冊原題簽 <sup>新刊</sup> 運氣論奥診解」。各巻内題  
「素問入式運氣論奥診解」。原体裁は7冊か。第  
1冊の原題簽は「巻之一」のものを使用。  
7-02ウ3 け貳百三拾五 50銭

31252 <sup>セツコウ ヨ ヒツ</sup> 折肱餘筆 大1帙1冊  
莊内侍醫 今井信之宗益(花溪今井先生)著, 男今井  
信賢宗保・門人高田醫官 岡田好敬玄津校, 櫻園良序,  
樗齋小南寛跋 <sup>(1823)</sup> <sup>(1824)</sup> 文政6序・跋, 同7刊  
京 植村藤右衛門(堀川佛光寺下町), 大坂  
秋田屋太右衛門(心齋橋筋安堂寺町), 江戸



和泉庄次郎(浅草新寺町)

※原題簽中に「脚氣痘瘡／麻疹門」とある。版心に「養浩堂藏」とある。本文は「巻之一」のみで、巻之二を欠く。

7-02セ12 け三百式拾五全 10銭

ナンケイホン ギ ゲンカイ  
31253 難經本義診解 (一)・二〜十二

大1帙12冊

岡本爲竹一抱子著, 小川玄昌下學・鮫嶺玄碩時習ほか校, 長岡恭齋清白序

宝永3序・刊

江戸 萬屋清兵衛(日本橋南詰), 京 中村孫兵衛(高辻通鴈金町), 大坂 池田屋三郎右衛門(真齋橋筋呉服町角)

7-02ナ9 け式百拾七全拾式 50銭

センセイサイ イ ハウヒツ キ  
31254 先醒齋醫方筆記 仁・義・禮・智・信  
大1帙5冊

曲肱道人先醒齋著・自序, 長岡恭齋清白序  
正徳4序, 同5刊

京 中村孫兵衛(高辻通鴈金町)

※自序は「癸丑」とあり, 延宝元か。上記書名は原題簽にしたがったが, 見返し内題は「先醒精素選整方筆記」, 自序題「先醒齋筆記」。

7-02セ32 け式百四拾式全五 15銭

ヤウジャウゾクゲシフ  
31255 養生俗解集 上・中・下

大1帙3冊を合綴1冊

松尾道益著・自序, 松尾氏有好生之跋 正徳4刊  
大坂 鴈金屋勝兵衛(高麗橋筋上人町)

※表紙右上スミに「柳」の小札あり。原題簽「養生俗解集上」の「上」の下に「下」の書込みあり。版心は上・中・下に分れていて, もと3冊を合綴したもの。下巻に自序を附す。絵入り。上・中巻は漢字片仮名, 下巻は草体になっている。表紙の見返しに「養生訓四, 長命養生記一, 養生談一, 養生録四, 養生袋, 養生論五」の書込みあり。

7-02ヨ6 け式百九拾壹 10銭

ナイキヤウソモンゲンカイ  
31256 内經素問診解 一之一・一之二・一之三・二・三之一・四之一・五之一・六・四之一・八之一・八之二・三之二・九之一・九之二  
大2帙14冊

岡本一抱子「鑑定」, 奥仙臺松軒門間嘉寛道碩「輯

録」・自序, 男 寛敦爲春・武市元眞校, 諸岡直宣元清序, 澤栢隱序(宝永4)

享保18自序・序(諸岡), 寛保4刊

京 芳野屋作十郎・風月荘左衛門

※諸岡・澤の序題「黃帝内經診解」, 本文内題「黃帝内經素問診解」。

7-02ナ1 け式百拾四全部十四冊 30銭

マ シンシフエウ  
31257 麻疹輯要 大1帙1冊

西田耕悅著, 西田履道校・序, 高安芳章跋

文政5序・跋・刊

京 吉野屋仁兵衛(御幸町六角下), 江戸 前川六左衛門(日本橋通新左エ門町), 大坂 敦賀屋九兵衛(心齋橋南一丁目)・河内屋木兵衛(心齋橋通久太郎町)

7-02マ1 け三百拾四全 10銭

イツカクサンカウ  
31258 一角纂考 1冊  
所在不明(木村孔恭著, 寛政7刊)

6-24イ1 5銭

ケンシユロク  
31259 建殊録 大1帙1冊

東洞吉益先生述・自序, 巖恭敬甫編・序, 田榮信愿仲校, 武欽繇序

宝暦13序(いづれも)

京 林宗兵衛(二条通御幸町西へ入)

※上記書肆(斯文堂)の蔵書目録あり。見返しに旧蔵者「養生館」の貼紙あり。

7-02ケ17 け三百式拾七全 5銭

コ ハウセン  
31260 古方選 壹〜四 大1帙4冊

大垣藩醫馬(江馬)元恭著・自序  
成立年未詳

写本(栗里若玄達写)

※罫線入の用紙を使用。第1冊表紙に「横書之古方選とは違ひ申候様見へ申候」と記された小札あり。

7-02コ12 け式百四拾八全四 20銭

ワ カンサンゲンエウハウ  
31261 和漢纂言要方 一〜十 大1帙10冊

下津翠松軒春抱著・自序 正徳2序, 同5刊

京 田中庄兵衛(寺町五條上ル町), 大坂 中林徳兵衛(心齋橋道修町), 江戸 中村進七(通本石町十軒店)

※各冊表紙に所載の病名を打ちつけ書。

7-02ワ2 け式百式拾全拾 30銭

バイサウ ヒ ロク  
31262 徽瘡秘録 乾・坤 大1帙2冊  
海寧陳司成九韶甫著・自序(崇禎壬申=5), 不破  
(1725) 元澄序(享保10), 望震百里序(同9)  
(1724) 享保10初刊, 安永3再板  
(1774)  
京 武村嘉兵衛・大和屋又七・菱屋三郎右衛門  
※望震序題の書名「梅瘡秘録」。  
7-02ハ6 け式百七拾九全式 5銭

イガクシャウデンワクモンゲンカイ  
31263 醫學正傳或問診解 一〜八 大1帙8冊  
岡本爲竹一抱子著, 寺嶋潤龍子治恒校, 長岡恭齋序  
(1728) 享保13序・刊  
江戸 須原屋茂兵衛(日本橋南壹町目), 京  
山本長兵衛(二条通御幸町西へ入)・中川茂兵  
衛(姉小路堀川東へ入)・小佐治半右衛門(堀  
川松原下ル本國寺前)  
※柱書「正傳和語鈔」。  
7-02イ10 け式百貳拾六全八 50銭

ホンテウ イ ダン  
31264 本朝醫談 大1帙1冊  
奈須恒徳著, 大石千引序, 服部甫菴跋  
(1822) (1824) 文政5序, 同7跋  
江戸 慶元堂和泉屋庄次郎(浅草新寺町)  
※絵入り。  
7-01ホ3 け三百三拾三 20銭

イガクグ トク  
31265 醫學愚得 上・中・下 大1帙3冊  
縦長(27.4×16.8cm) 1帙3冊  
名古屋玄醫著・自序, 伊藤素安序, 小山臨節序  
(1681) (1688) 延宝9自序・序(伊藤), 貞享5刊  
唐本屋吉村吉左衛門・永原屋中村孫兵衛  
※上・中冊(巻之上)の内容は「陰陽應象大論註  
疏」, 下冊は「提要至論」。  
7-02イ4 け式百六拾七 20銭

カク チ ヨ ロンゲンカイ  
31266 格致餘論診解 (一)・二〜四 大1帙4冊  
(1696) 元禄9刊  
岡本爲竹一抱子著・自序  
京 西村市郎右衛門(六角通西洞院西入町)・  
西村九左衛門(烏丸手洗水町), 江戸 西村半  
兵衛(神田新革屋町)  
※全7巻。見返しの内題左右下スミに「タ」の書  
込みあり。

7-02カ7 け式百四拾七全四 20銭  
ウン キ ロン  
31267 運氣論 大1帙1冊  
(1715) 正徳5刊  
著者未詳  
大坂 敦賀屋九兵衛(心齋橋筋)  
※書名は原題籤によるが角書部分破損。図入り。  
上・下2巻よりなる。内題は「素問入式運氣論  
奥」。巻上冒頭の内題のみ更に「新刊」を冠す  
る。初丁に五行に対する記事の書込みあり。劉  
温舒の原著(自序あり)についての注釈書。  
7-02ウ2 け式百八拾三合巻 20銭

ロクモツシン シ  
31268 六物新志 上・下 大1帙2冊  
大槻茂質(玄澤)著, 杉田翼子鳳序・校, 小石道跋  
(1786) 天明6序・跋  
大坂 兼葭堂  
※上冊表紙に「醫」の小札あり。もと附属図書館  
にあったときの配架番号は「6-24ロ1(18と  
書込みあり)」。  
薬学R1 け式百七拾三全式 20銭

ココンヤウジヤウロク  
31269 古今養性録 元・亨・利・貞 大1帙4冊  
通菴竹中敬敬昌父著・自序, 男竹中厚編・序, 門人  
山田巽校(元・亨・利)・序, 高元泰斗瞻父序, 門  
(1691) (1692) 人清瓊校(貞) 元禄4序(いずれも), 同5刊  
江戸 西村半兵衛(神田新革屋町)  
※後補墨書題籤および柱書「養性録」。早稲田大  
学蔵の大惣目録には「十合四」とあり, もと10  
冊か。  
7-02ヨ8 け式百貳拾三 90銭

コク ジ ダンドク ロン  
31270 國字斷毒論 乾・坤 大1帙2冊  
甲斐橋本徳伯壽(三巴先生)著, 江戸溝部益有山閼,  
男橋本保節・門人田中見龍・川手見貞・有泉見淑校,  
(1814) 甲州花溪大機跋 文化11跋・刊  
江戸 西村源六(本石町四丁目)・松本平助  
(江戸橋四日市)・須原屋茂兵衛(日本橋南壹  
町目)・須原屋彌三郎(日本橋北室町三丁目)  
※痘瘡についての書。坤冊は「附録」。内題の振  
仮名「かながきだんどくろん」とも。  
7-02ヨ16 け式百七拾七全式 10銭

31271 <sup>クワウケイサイキフハウ</sup> 廣惠濟急方 上巻・中巻・下巻 大1帙3冊  
多紀安元・丹波元惠著、男・安長元簡校・跋、佐野義行  
序、藤原清翰序 <sup>(1769)</sup> 寛政元序 (いづれも) <sup>(1790)</sup>、同2刊  
江戸 須原屋茂兵衛・須原屋伊八・須原屋善五  
郎・須原屋嘉助  
※柱書「濟急方」。図入り。  
7—02サ5 け式百五拾四全三 30銭

31272 <sup>ゲクワサツエウ</sup> 外科撮要 乾・坤 大1帙2冊  
上州青木緬副著・自序、前田春策序 <sup>(1767)</sup>  
明和4序・自序、同5刊 <sup>(1768)</sup>  
江戸 須原屋市兵衛 (日本橋北室町二丁目)  
※坤冊に大坂の吉文字屋市兵衛 (心齋橋南二丁目)  
の広告あり。  
7—02ケ18 け式百六拾八全式 10銭

31273 <sup>コケヌツエ</sup> 古計努津兄 上・下 大1帙2冊  
山口重匡 (雅樂) 著・自序、橘南谿閣 <sup>(1798)</sup>  
寛政10序・刊  
「山口雅樂藏版」京 錢屋長兵衛 (六角通東  
洞院西江入所)  
※上冊表紙に「養」(朱)の小札あり。  
7—09ヨ1 け式百七拾全式 10銭

31274 <sup>カウハイジモンダフ</sup> 江波醫事問答 半1帙1冊  
沼波秀憲周達問、好蘭齋江馬元恭答、野村公路序 <sup>(1804)</sup>  
文化元序、同11刊 <sup>(1814)</sup>  
「三友園藏」  
※表紙に「大垣江馬／名古屋沼波／問答」と記さ  
れた札あり。『国書総目録』には「医事問答」  
として載る。  
7—01ヨ3 け式百四拾五 10銭

31275 <sup>イガクテキ</sup> 醫學的 上・下 大1帙2冊  
横地正務玄常著・自序 (寛保2) <sup>(1742)</sup>、鹿門望月先生問、  
若門山人序 (同3) <sup>(1743)</sup>、松岡成章跋 (延享元) <sup>(1744)</sup>、中山元  
亨跋 (寛保3) <sup>(1781)</sup>、横地正輔三折・横地守忠三省校  
天明元刊  
大坂 「邨上文昌堂藏板」・岩井屋傳藏 (土佐  
堀壹町目)  
7—02イ12 け式百九拾四 10銭

31276 <sup>ダウスイサゲン</sup> 導水瑣言 大1帙1冊

「東郭和田先生口授／男・哲筆受／男・鋼校」<sup>(1805)</sup> 村瀬栲  
亭序 <sup>(1807)</sup> 文化2序、同4刊  
「含章齋藏」京 林喜兵衛  
※水腫・脚氣の治療法。  
7—02ト8 け式百三拾三全 5銭

31277 <sup>トクイチヨクン</sup> 得一餘訓 上・下 大1帙2冊を合綴1冊  
村上景吉玄治著、男・相恒安校 <sup>(1789)</sup> 寛政元刊  
京 林伊兵衛 (二條通柳馬場)、江戸 前川六左  
衛門 (日本橋通南三丁目)、大坂 三原孫兵衛  
(新堀油掛町)・尾崎貞次郎 (心齋橋通塩町)  
・山口又一 (同北久太郎町)  
※原題簽のみ用字「得」。上冊題簽中に「養生」と  
書込み。上・下2冊を表紙ごと合綴。  
7—09ト1 け式百六拾九全式 5銭

31278 <sup>シンバン</sup> 新板 <sup>フジンサンタイキ</sup> 婦人産帯記 大1帙1冊  
直陳朝著 <sup>(1673)</sup> 延宝4刊  
山本泰信  
※見返しに「児業」列挙の書込みあり。  
7—02フ4 け式百三拾式全 5銭

31279 <sup>カウセイビヤウインカウ</sup> 校正病因考 乾・坤 大1帙2冊  
後藤良山 (敏) 著・自序、徼洵美附言 <sup>(1757)</sup>  
宝暦7序、文化14附言、同15刊 <sup>(1817)</sup>  
江戸 須原屋伊八 (東叡山池之端仲町)、大坂  
河内屋喜兵衛 (北久太郎町心齋橋北江入)、  
京 林権兵衛 (寺町通二條下町)・林宗兵衛  
(新鳥丸通二條上ル町)・石田治兵衛 (一條通  
日暮西江入町)・堺屋伊兵衛 (千本通一條下町)  
※有界9行で、「養浩園藏板」。上冊の裏見返し  
『嬰兒論』(堺屋伊兵衛板) 広告の貼紙あり。下  
冊末に「病因考後篇 (良山先生医話門人輯録)  
附録 (足立榮菴医話) 全三冊副刻」との予告あ  
り。  
7—02ヒ6 け式百九拾六全部式冊 10銭

31280 <sup>セキイダン</sup> 斥鑿斷 大1帙1冊  
畑惟和・柳安甫著、柳美啓序、足高恭序・凡例、武川  
幸順跋 <sup>(1762)</sup> 宝暦12序 (いづれも)・跋  
書肆不明  
※「斥鑿斷」とも表記。31297『鑿斷』を論難し  
た書。

一 和 漢 医 書 一

7—02セ10 け三百四拾全 5 銭

- 31281 チャウチュウケイロンシフカイソウ 張仲景論集解叢 大1帙1冊  
平(萩野)信敏求之甫著, 藤正方序, 平永錫・田原  
純・海東勝校 (1770) 明和7序, 同8刊  
江戸 伏見屋宇兵衛(東叡山黒門前)  
※本文の内題「論集解叢」その下に「張仲景七編  
第一」とある。

7—02チ12 け三百三拾弍 5 銭

- 31282 マ シンベンラン 麻疹便覧 大1帙1冊  
藥師寺壽軒正長著, 横山惟明序  
(1798) 寛政10「開雕」, 同11序, 同12「發行」  
大坂 松村九兵衛(心齋橋南一丁目)

7—02マ5 け三百三拾六〇 5 銭

- 31283 イ ダウ ニ センネンガンモクヘン 医道二千年眼目編 14冊  
庵楽(昭和32) 30銭

- 31284 シンカニフシキ 診家 入式 腹診書 乾・坤 半1帙2冊  
堀井元仙對時父(源直茂)著・自序, 勇元隆直昌校,  
竹田知鮮序, 一色範通跋 (1742)  
寛保2序・自序・跋, 寛延3刊 (1750)  
江戸 池田屋源助(神田鍛冶町二丁目)

7—02ヲ10 た六十三全弍冊 10 銭

- 31285 メウヤク 妙薬 大1帙1冊  
著者・成立年未詳  
写本

7—02ミ4 け三百弍拾弍 5 銭

- 31286(1) ヒハウフロク 秘方 附録 療治茶談 初篇  
大(2)~(7)共1帙1冊  
南総 津田玄仙兼詮(横山先生)著, 碩隆軒山田尚繩  
序, 池塘平往昂序, 来去津東洪跋 (1770)  
明和7序(いづれも)・跋・刊  
江戸 須原屋市兵衛(室町三丁目)

※出版目録2丁あり。(1)~(7)あわせて1帙8冊。

7—02リ4

け弍百弍拾八初全 (1)~(7)合わせて30銭

- 31286(2) シンケイコウヘン 新編 療治茶談 (1)参照大1冊  
後篇

- 津田玄仙著・自序, 津田玄林序, 佐久間亮采跋  
(1781) 安永10序, 天明元自序・跋, 同2刊 (1782)  
江戸 須原屋市兵衛(日本橋北室町二丁目)  
※原題跋・内題「療治茶談後篇」。

7—02リ4 け弍百弍拾九

- 31286(3) シヨシヤウケイケン 諸症 療治茶談三編 (1)参照大1冊  
津田玄仙著, 北山山本喜六序, 東野松慎序  
(1784) 天明4序(東野), 同6刊 (1786)  
大坂 和泉屋宇兵衛(心齋橋北詰)・河内屋喜  
兵衛(心齋橋筋北久太郎町北江入)

7—02リ4 け弍百三拾全

- 31286(4) イロモウギウ 醫爐 療治茶談四編 上・下  
(1)参照大2冊  
南総田村玄仙兼詮著・自序(下)・自跋, 北山山本  
信有序(上・下), 深河蟠龍序(上), 秋木龍玄昌  
顯序(下) (1791) 天明8序(秋木  
・自序), 寛政3序(上冊の山本・深河), 同4刊 (1792)  
江戸 西村源六(本町三丁目)

※下冊は「附録勸學治體」。

7—02リ4 け弍百三拾老四編弍冊

- 31286(5) レウヂ サダンゴヘン 療治茶談五編 (1)参照大1冊  
田村玄仙兼詮著, 玄門遠山知則序  
(1794) 寛政6序, 同7「開板」, 享和3「再校」 (1795) (1803)  
京 吉田新兵衛, 江戸 西村源六, 大坂 扇屋  
利助・泉屋孫兵衛  
※裏見返しに扇屋利助の「野上千里亭蔵書目録」  
あり。

7—02リ4 け弍百三拾弍全

- 31286(6) レウヂ サダンゴクヘン 療治茶談六編 (1)参照大1冊  
田村玄仙兼詮著, 耕悅西山尚綱序 文化5序・刊 (1808)  
江戸 西村源六(日本橋通本石丁)・須原屋伊  
八(東叡山池ノ端中ノ丁), 京 吉田新兵衛  
(三條通富小路), 大坂 泉屋孫兵衛(平野町二  
丁目)・扇屋利助(中橋通瓦町)

※(5)と同板の「蔵書目録」あり。

7—02リ4 け弍百三拾三全

- 31286(7) レウヂ サダンゴクヘン 療治茶談續編 (1)参照大1冊  
津田玄仙「経験」, 三宅實之「経験」・「筆記」・自序,

佐野璋序、奥田侃憲跋 <sup>(1800)</sup> 寛政12自序・序・跋  
書肆不明

7-02リ4 け式百三拾四全

31287 <sup>ゾウホシンベン</sup> 増補 <sup>ヤウジャウシュロン</sup> 養生主論 乾・坤  
大1帙2冊

松本遊斎著・自序、池田東籬亭校・序、小澤華嶽子 <sup>(1832)</sup>  
画 天保3刊

京 本屋重右衛門（衣棚二条下ル町）

※下扉裏に「天満宮占御蘭記」広告。刊記の前  
にも本の広告あり。

7-09ヨ2 け式百九拾全式 10銭

31288 <sup>セイセイダウヤウジャウロン</sup> 生生堂養生論 大1帙1冊

淡海 琴溪中神先生著、喜多村鼎序、安藝均良平跋、  
坂井貞道仙・大塚健碩庵校、<sup>(1817)</sup>「元静堂藏」  
文化14序・跋・刊

江戸 須原屋茂兵衛

7-09セ1 け式百八拾六全 10銭

31289 <sup>セイセイダウシヤウカンヤクゲン</sup> 生生堂傷寒約言 大1帙1冊

琴溪中神先生「口訣」、安藝均良平「述」、<sup>(1805)</sup>大塚健碩  
庵校、秋吉質序 <sup>(1806)</sup> 文化2序、同3刊

江戸 須原屋平助、大阪 加賀屋善藏、京 堺  
屋仁兵衛（三条通柳馬場東入町）

※堺屋の「尚書堂藏板書目」4丁あり。

7-02セ7 け式百八拾七全巻 5銭

31290 <sup>ジフヤクシンショ</sup> 十薬神書 大1帙1冊

「古幽胡雲翺家傳」、□神序、養志堂人跋 <sup>(1690)</sup>  
元禄3跋

大坂 柏原屋與左衛門（心齋橋筋順慶町）

※序題「治癆證十薬神書引」。

7-02シ66 け式百五拾番 5銭

31291 <sup>シヤウカンヒヤクモン</sup> 傷寒百問 乾・坤 大1帙2冊

宋奉議郎朱肱著・自序 <sup>(1753)</sup> 宝暦3刊

大坂 澁川清右衛門（心齋橋筋順慶町）

※全6巻。柱書「稱觥堂藏板」。

7-02シ30 け式百九拾三全式 10銭

31292 <sup>マツカゲイダン</sup> 松蔭醫談 大1帙1冊

雨森宗真著、長岡厚家宅序、牛山箕騰跋 <sup>(1789)</sup>  
<sup>(1798)</sup> 寛政元序（同10書）、<sup>(1799)</sup> 同11刊

江戸 足利屋勘六（下谷御成小路）

※書名は原題簽による。序題「牛南先生松蔭醫談」、  
内題は「松かけ醫談」。

7-02マ6 け式百四拾三全 10銭

31293 <sup>イアンケイモウ</sup> 醫案啓蒙 大1帙1冊

堀元厚著 刊年不明

京 萬屋喜兵衛 <sup>(1736)</sup>

※本文に元文元年の記事あり。内容は脈案格式  
（洛下医生某）・醫案（堀元厚）・称呼總類（對  
井居）などからなる。裏見返しに萬屋の「演古  
堂藏書醫書板行目録」あり。

7-02イ1 け式百四拾六全 5銭

31294 <sup>ベンセキイダン</sup> 辨斥醫斷 大1帙1冊

田中榮信愿仲甫著、菅原善繼序、中邨貞治跋、本庄  
仲連跋、菅原成美專輔・福岡貞勝泰藏・田中榮恒永  
治校 <sup>(1761)</sup> 宝暦11成、安永9序・跋（中邨）  
<sup>(1780)</sup>

京 めと木屋宗八（寺町通六角上ル町）  
<sup>(1783)</sup>

※『国書総目録』によれば、天明3刊。

7-02ヘ4 け式百四拾七 5銭

31295 <sup>ケンギイカ</sup> 見宜 <sup>タイグフェウラン</sup> 醫家大業要覧 天・地・人  
大1帙3冊

堀江調神子古林正禎著・自序 <sup>(1704)</sup> 宝永元序、同2刊  
<sup>(1705)</sup>

京 中村氏七兵衛、江戸 須原屋茂兵衛、大坂  
秋田屋源兵衛

※内題「醫家大業要覧」。天・地冊が巻上・下で、  
人冊は「藏府診脉異考」。

7-02イ5 け式百五拾六全三 10銭

31296 <sup>タンスイシ</sup> 丹水子 上・下 大1帙2冊

名古屋玄醫著・自序、風竹堂人序 <sup>(1687)</sup>  
貞享4序、同5刊 <sup>(1688)</sup>

吉村吉左衛門

※上冊表紙に「名古屋玄醫作／医家要言」と記さ  
れた札あり。

7-02タ9 け式百七拾五全式 20銭

31297 <sup>イダン</sup> 醫斷 大1帙2冊

西肥鶴冲元逸著・自序（延享4）、<sup>(1747)</sup>長門瀧長愷彌八  
父序、<sup>(1752)</sup>原行子藏序、吉益為則序（宝暦2）、上田秋  
成序（同8）、<sup>(1758)</sup>中西惟忠子文跋（同9）<sup>(1759)</sup> 文化9刊  
<sup>(1812)</sup>

大坂 松根堂加賀屋善藏（心齋橋通北久太良町）



7-02イ37 け三百四拾貳全 5 銭

イ ジワクモンタフワ  
31298 醫事或問答話 大1帙1冊  
春嶺菴江馬元恭著 (1806)  
文化3奥書  
写本

7-02イ26 け三百三拾八全 5 銭

バイサウク ケツ  
31299 徹瘡口訣 大1帙1冊  
独嘯庵著, 岡山菱賓序 (1788)  
天明8序  
大坂 河内屋喜兵衛 (北久太良町心齋橋北江入)  
・播磨屋新兵衛 (博勞町佐野屋橋南江入)  
※巻末に附録「独嘯庵囊中秘方」あり。刊記前に  
医書4部の広告あり。

7-02ハ2 け三百拾八全 5 銭

セイブンシヤウカンロン  
31300 正文傷寒論 大1帙1冊  
田中鼎信菴「校定」, 柳田鵬良平 (凌雲)「補正」・  
序, 小西裕泰序, 大野齊跋 (1826)  
文政9序 (柳田)・跋  
復古斎藏板  
※原題簽には角書「校定」あり。

7-02セ30 け三百貳拾九 5 銭

セイゴ  
31301 正誤 醫學切要指南 上・中・下  
岡本爲竹一抱子著・自序 半1帙3冊  
(1713) (1714)  
正徳3序, 同4刊  
京 中川茂兵衛 (姉小路通堀川東へ入町)

7-02イ11 大惣番号札剝落 25 銭

セイヤウイ ジシフセイホウカン  
31302 西洋醫事集成寶函 卷之一〜卷之三  
大1帙3冊  
ヨハンネス ヤコフ ウイツ  
玉函涅斯 雅谷歩 伍乙志著・自序, 玉函 竭力數  
鐸 數脉簾丁註, 亜木私的児杳目書林 ヤンスゾーン  
スエツレンテン アムステルダム ヤンスゾーン  
喚 窠私別爾迦・軒凸力几 喜函都・曷蒲刺欲目。  
塩。以索互哈刺兒序, 浪華 橋本鄭宗吉譯, 大高宗肅  
元恭校 (1819)  
1709自序, 1741序, 文政2刊  
江戸 須原屋茂兵衛・須原屋伊八, 大阪 河内  
屋義助・河内屋太助

7-43セ1 け貳百六拾貳全三 10 銭

イ ジワクモン  
31303 醫事或問 上・下 大1帙2冊  
阿岐吉益爲則著・自序, 勇猷之跋 (1768) (1769)  
明和5跋, 同6序

京 めと木屋宗八 (寺町通六角上ル町)

7-02イ25 け貳百九拾貳全二 5 銭

ジュイ セイエウシヤクギ  
31304 儒醫 精要釋疑 上・中・下  
大1帙3冊  
慈谿趙繼宗敬齋原著・自序, 久保甲介政新「釋疑」  
・自序, 岡本爲竹一抱子「重訂」・序, 長岡恭齋清  
白序 (1528) (1713)  
嘉靖7序 (趙), 正徳3序 (ほかの3序)  
京 中川茂兵衛 (姉小路通堀川東エ入)  
※下冊裏見返しに「法橋岡本一抱子選集」として  
目録あり。柱書・日本人の序の題「釋疑」。

7-02シ8 け貳百六拾全三 10 銭

イハウ  
31305 醫方大成論和語鈔 一〜八  
大1帙8冊  
岡本爲竹一抱子著, 田村時敏玄真甫序 (1702)  
元禄15序・刊  
京 小紅屋喜兵衛 (堀川通六角下ル町)  
※第1冊原題簽の書名下に「序目」「全八□」と  
ある。

7-02イ54 け貳百貳拾七全八 20 銭

ルイシヨウベンイセンク シフ  
31306 類證辨異全九集 上・中・下  
大1帙3冊  
月湖著, 曲直瀬道三編 (『国書総目録』による)  
寛永10刊 (1633)

「洛陽三条寺町誓願寺前／新板開之者也」

※上記書名は内題による。後補墨書題簽は「類證  
／辨異」を角書とする。各巻末の内題および柱  
書は「全九集」。全7巻。原体裁7冊か。

7-02セ24 け貳百五拾五全三 20 銭

イ ハウセウカイ  
31307 醫法小楷 大1帙1冊  
紅杏舎早野玄貞著・自序 (1762) (1769)  
宝曆12序, 明和6成  
写本  
※朱筆書込みあり。

7-02イ49 け三百拾七全 10 銭

イ ハウタイセイロン  
31308 醫方大成論 乾・下 大1帙2冊  
盧陵孫氏著, 王元福序, 中本五兵衛跋 (1666)  
寛文6跋・刊  
中本五兵衛  
※上記書名は本文内題による。序題「南北經驗醫

方大成」，目錄題「重刊醫方大成論」。序題の下に「宗文書堂新刊」とある。乾冊の墨書題簽は「南北經驗」を角書にし，下冊墨書題簽は「下醫方大成論」とある。

7—02イ52 け式百七拾六全式 10銭

ヘンジャクシンシンショ  
31309 扁鵲新鍼書

特大 (28.5×21.0cm) 1帙1冊

著者・成立年未詳

写本

※上記書名は題簽と目錄題による。本文内題「扁鵲新流鍼書」。

7—02へ2 け三百式拾八 5銭

シャウカンレイセイゴ  
31310 傷寒例正誤 大1帙1冊  
伊勢洞津筒井順一純朴甫著・自序 文化元序  
書肆不明

※序3丁，本文11丁，附録「孫眞備急千金要方傷寒例」8丁より成る。

7—02シ33 け三百三拾七 5銭

キタヤマ イ アン  
31311 北山醫案 上・中・下 大1帙3冊  
北山友松子著，孫北山壽庵道脩編・序，北村之容勝序  
(1745) 延享2序(いずれも)・刊  
江戸 須原屋茂兵衛(日本橋南壹町目)，京 河南四郎右衛門(堀川通佛光寺下町)，大坂 大野木市兵衛(心齋橋筋安堂寺町)・高萩安兵衛(博労町龜屋)  
※下冊に附録として「大明獨立老人用薬方」あり。各巻内題「北山友松子醫案」。

7—02キ3 け二百六拾六 20銭

キタヤマ イ ワ  
31312 北山醫話 大1帙1冊  
北山樵隱天仙子芳恂益著・自序(宝永元)，風竹陳人序(正徳2)，山陰豊岡散人天産序(同)  
(1712) 正徳4刊

大坂 村上清三郎，京 天王寺屋市郎兵衛，江戸 升屋五郎右衛門

※原題簽には角書「新編」あり。各巻内題・柱書には本書を「前集」とする。

7—02キ21 け式百六拾三全巻 20銭

トウシンイマシメグサ  
31313 痘疹戒草 上・中・下 大1帙3冊  
池田錦橋翁著・自序，杉本良仲温序，男・門人ら校

(1793) 寛政5自序，文化3序・刊 (1806)

「衆甫堂藏」，江戸 西村源六(日本橋通本石町十軒店西側)・角丸屋甚助(麴町平河二丁目蛤店)，京 風月庄左衛門(二条通衣棚角)，大坂 糸屋市兵衛(天神橋筋伏見両替町)

※原題簽「國字痘疹戒草」。

7—02ト5 け式百六拾七全三 5銭

シュウトウヒツジュンベン  
31314 種痘必順辨 大1帙1冊  
筑方春朔甫著・自序(寛政5)，呉江費寶傳序(1794)，楊逸雲序(同5)，江藤肅序(同7)，刈谷正遠公寧跋(同7)，邊養順跋(同7)

「造化堂藏版」，京 出雲寺和泉掾(三條通外屋町)，江戸 須原屋茂兵衛(日本橋通一丁目)・松本平助(江戸橋四日市)，大坂 敦賀屋九兵衛(心齋橋筋南二丁目)

※末尾に「種痘醫列名」27名を挙げる。

7—22シ1 け三百三拾九全 5銭

マンキンイツツウセウ  
31315 萬金一統鈔 大1帙1冊  
金谿雲林龔著，秋香館熊谷散人序  
(1683) (1684) 天和3序，貞享元刊

京 八尾市兵衛・播磨屋弥三右衛門

※上記書名は序題・柱書・後補墨書題簽による。本文第1丁オに「新刊萬病回春卷之一」と題し，著者名・校者名(門人ら4名)・書林を記したあと「萬金一統述鈔」とある。原体裁4冊か。虫損あり。

7—02マ8 け式百五拾合完 5銭

ヤシナヒグサ  
31316 やしなひ草 一・一ノ下・二・二ノ下・三・三ノ下・四・四ノ下・五・五ノ下(㊦～㊦) 大10冊

梅塙散人著・自序・自跋 貞享3序，元禄2刊

京 梅村彌右衛門，金沢 塚本治兵衛・半兵衛  
※五・五ノ下冊の原題簽「婦人養くさ」。内題「婦人養草」，「和漢婦人養草」。絵入り。

1—85フ1 け式百式拾式全拾 20銭

クワイシユン  
回 31317 春 病因指南 一—六 半1帙6冊  
岡本一抱子著，恭齋序 元禄8序・刊

京 西村市郎右衛門(堀川通錦小路上ル町)・同氏九左衛門，江戸 同氏半兵衛

※各巻内題「萬病回春病因指南」。著者の「述作書目」を附す。

7—02ヒ7 た十八番全六冊 20銭

- 31318 クワンコクフキウルイハウ 官刻普救類方 卷之一〜五各上・下・  
卷之六・卷之七 半2帙12冊  
林良適・丹羽正伯著、橋親順序 享保14序・刊  
江戸 松會三四郎・出雲寺和泉掾・升屋五郎右衛門・須原屋治右衛門・萬屋清兵衛・小川彦九郎・和泉屋儀兵衛

※原題簽は「官刻」を角書とする。7—02フ1 B  
に同版本あり。

7—02フ1 た四番 40銭

- 31319 テイシダン 提耳談 一〜五 半1帙5冊  
當莊菴主人（北尾春圃）著、加藤正昭序  
文化4序・刊  
京 林伊兵衛（二條通）、大坂 森本多助（心齋橋筋）、江戸 西村源六（本石町）、名古屋 片野東四郎（本町通）

7—02テ2 た式十巻全五冊 20銭

- 31320 シャウカンロンコクジカイ 傷寒論國字解 (→)・二〜六 半1帙6冊  
雲林院了作「註解」・自序、橋本正隆「筆授」・跋  
明和8序・跋・刊  
江戸 須原茂兵衛、京 出雲寺文治郎・梅村三郎兵衛・井上忠兵衛・田中庄兵衛・中野宗左衛門・額田正三郎、大坂 高田清兵衛・梅月市兵衛  
※全10巻および附録。題簽中に各巻の小題を記している。

7—02シ36 大惣番号札剥落 20銭

- 31321 ソウケイテイイ ジセウゲン 叢桂亭醫事小言 一〜三・四上・四下  
・五〜七 半1帙8冊  
原玄興昌克著・自序、渡邊彪序、篠本應跋  
享和3自序、文化2序、文政3跋  
京 須原屋平左衛門（二條通富小路）、江戸 須原屋伊八（下谷池之端仲町）、水戸 須原屋安次郎（下町本町三町目）

※全7巻より成り、筆記者・校正者は巻ごとに異なる。第7巻は題簽中に「藏方」とあり、男昌綏の「藏方序」（文化2）あり。

7—02ソ17 た九番全五 35銭

- 31322 ソウケイテイ コ ハウマンビツ 叢桂亭古方漫筆 乾・坤 半1帙2冊  
原信成著、長惟學序 天保2序、同3刊  
大阪 秋田屋太右衛門（心齋橋通安堂寺町）、  
江戸 須原屋茂兵衛（日本橋通壹町目）・和泉屋庄次郎（浅艸新寺町）

7—02ソ16 た六拾六番全二 10銭

- 31323 ランビヤウロン 温病論 上・下 半1帙2冊  
蝦惟義著・自序、三木全道序  
寛政10序、同11自序、同12刊  
大坂 河内屋太助、名古屋 総田屋平右衛門  
※大惣番号「六十式」の「式」を「壹」に改める。  
下冊末に「治驗」（寛政11、野呂隆基著）と  
「求古堂著者目録」（「八十一難精義」外8点）  
を付す。

7—02オ8 た六十式全式冊 5銭

- 31324 イ ガクジニエウセウ 醫學授幼鈔 乾・坤・家傳切紙（上・  
中・下） 半1帙3冊  
饗庭東庵門人雲庵著 刊年不明  
「文會堂藏版」  
※乾・坤冊柱書「授幼抄」。内容は「切紙辨斷」。  
「家傳切紙」の末に「宝永六己丑曆二月廿八日  
夜正之」と書込みあり。

7—02イ9 た三十八番全三 20銭

- 31325 ジグワン イ セツ 自玩醫説 半1帙1冊  
杉浦見裏季成父著、佐野尚員等校、佐野崇古序  
書肆不明  
※『国書総目録』によれば、享和2刊。

7—02シ2 た七拾三番全壹冊 5銭

- 31326 コ ハウセン 古方選 横 (13.0×19.3cm) 1帙1冊  
隆菴小野常建子業著・自序（宝曆10）、緒方修序  
（同11）、望三英序（同12）、熊坂口跋 安永元跋  
書肆不明

7—02コ36 大惣番号札剥落か 5銭

- 31327 エンジュサツエウ 延壽撮要 横 (15.7×23.3cm) 1帙1冊  
曲直瀬玄朔著 写本

※『国書総目録』によれば、刊本の最も古いものは慶長4。<sup>(1599)</sup>

7—02エ10 た百〇巻番全巻 5 銭

ラウジンヤシナヒダサ

31328 老人養草 一〜五 半1帙5冊

牛山翁香月啓益甫著、北可昌序、春水老人序

<sup>(1716)</sup>  
正徳6序（いづれも）・刊

京 安田万助（烏丸通御池下ル町）・粕淵権兵衛（八幡町通間之町角）

※各巻内題「老人必用養草」。

7—09ロ1 た百五拾四全五 20銭

クノケフクシン

31329 久野家腹診 半1帙1冊

久野玄悦著、谷廣安序 <sup>(1779)</sup> 安永8序

写本

※罫線入りの半紙を用い、見返しに目次を記す。

序題「久野家腹診辨序」。序の前に「水野宣朗蔵書」とある。

7—02ヒ1 た百〇五番全巻 5 銭

ワクシンヤウカンロン

31330 和訓傷寒論 半1帙1冊

張仲景原著、玉峯氏付訓、柳軒序 <sup>(1816)</sup> 文化13序・刊

玉峯蔵板

※表紙改装。内題・柱書「傷寒論」。

7—02シ42 た八拾番 5 銭

ウンキサンパフ

31331 運氣算法 半1帙1冊

貞菴香月啓益牛山甫著・自序 <sup>(1726)</sup> 享保11序、同12刊 <sup>(1727)</sup>

京 芳野屋権兵衛・村上勘兵衛・風月莊左衛門

※上記書名は見返し内題による。原題簽「運氣論算法俗解」。序題・柱書「運氣算法俗解」。内題「運氣論奥算法俗解」。

7—02ウ4 た四拾貳番全巻 5 銭

ヤウジャウクン

31332 養生訓 一〜四 半1帙4冊

貝原篤信著・自跋 <sup>(1713)</sup> 正徳3刊

永田調兵衛

※第1冊の見返しに医書名（養生論以下9点）の書込みあり。全8巻。

7—09ヨ1 た百五十一番全部四冊 15銭

ヤウジャウエウロン

31333 養生要論 半1帙1冊

鈴木朗著・自序、丹羽序 <sup>(1834)</sup> 天保5自序・序

江戸 須原屋茂兵衛（日本橋通寺丁目）・岡田

屋嘉七（芝神明前）、大坂 河内屋喜兵衛（心齋橋筋北久太郎町）・河内屋和助（心齋橋筋安土町南へ入）、京 風月庄左衛門（二条通衣ノ棚角）・丸屋善兵衛（三条通寺町西へ入）、金沢 松浦善助（上堤町）、名古屋 永樂屋東四郎（本町通七丁目）

※末尾に「尾陽東壁堂製本畧目録」。（古事記伝以下300余点）を附す。「張州城巽渡邊蔵書印」など旧蔵者印あり。

7—09ヨ4 た百七拾番 5 銭

フクシヨウキラン

31334 腹證奇覽 乾・坤・後編乾・坤

半1帙4冊

稻葉克文禮著・自序、旭江淵白亀画（前篇）、南阿荒井序、岡熊岳画（後篇）

（前編）寛政11序、同12刊、（後編）<sup>(1799)</sup> 享和元序・刊 <sup>(1800)</sup> 和州 本屋源左衛門（高田）、大坂 河内屋喜兵衛（心齋橋通北久太郎町北へ入）・塩屋平助（南久宝寺町北へ入）

※原題簽の書名の下に「腹裡病状図」とある。

7—02フ8

た五拾巻番前篇貳冊・た五拾貳番後篇貳冊 20銭

フクシンベン

31335 腹診辨 乾・坤

半1帙2冊

久野玄悦著

<sup>(1756)</sup> 宝暦6写

写本（原田松軒信種写）

7—02フ11 た六十四番全貳 10銭

センデンイツカジュツ

31336 仙傳一家術

半1帙1冊

大藏玄信藤高正著、孟津柿原遵序

<sup>(1775)</sup> 安永4奥書、<sup>(1779)</sup> 同8序・刊

京 小川源兵衛（寺町通六角下ル町）

※表紙に「中五十番」の小札あり。

7—02セ27 た百六十三全巻冊 5 銭

ナイシャウシンパフ

31337 内證診法

半1帙1冊

和氣正路著

成立年未詳

写本

※罫線入半紙を使用。

7—02ナ3 た百〇貳全巻 5 銭

ゴトウキンナウ

31338 護痘錦囊 上・中（正編・續編）

半1帙2冊

石塚汶上尹著、小川汶菴序、岡了允跋

<sup>(1824)</sup> 文政7刊

京 勝村治右衛門（寺町通松原下ル），大坂  
秋田屋太右衛門（心齋橋安堂寺町），江戸 須  
原屋佐助（日本橋通四丁目）・須原屋茂兵衛  
（同通一丁目）

※書名のよみ方「ハウサウマモリブクロ」とも。  
7-02コ10 た百六拾八全二 10銭

31339 <sup>ホンザウセイ カ</sup> 本草正譌 一〜六 半1帙6冊  
松平君山（秀雲）著，大江資衡序，磯谷正卿序，岡  
田挺之序 <sup>(1776)</sup> 安永5序（いずれも）・刊  
名古屋 風月孫助，京 野田藤八・風月莊左衛  
門

※もと附属図書館にあったときの配架番号は「6  
一21ホ9（108あるいは109と書込みあり）」。  
薬学 Ho8 た拾六番全六 35銭

31340 <sup>ヤクヒンベンワク</sup> 薬品辨惑 乾・坤 半1帙2冊  
大口光明（濯畦）著・自序，坂石昌賢・後藤昌言校  
<sup>(1754)</sup> 宝暦4序・刊

大坂 渋谷清右衛門・北村卯之助  
※もと附属図書館にあったときの配架番号は「6  
一21ヤ1（203と書込みあり）」。  
薬学 Y12 た五拾六番全二冊 20銭

31341 <sup>ビヨウ</sup> 備 <sup>ハウチュウワミヤウホンザウ</sup> 用 庖厨和名本草 一〜十三  
半1帙13冊

向井元升著・自序，向井元端跋，順庵木貞幹序，中  
山氏三柳序，三宅道乙子燕序，庸軒當直序 <sup>(1671)</sup> <sup>(1672)</sup> <sup>(1684)</sup>  
寛文11自序・跋，同12序（いずれも），貞享元刊  
小野善兵衛・梶川儀兵衛  
※上記書名は原題簽によるが内題など「庖厨備用  
倭名本草」ともある。序題では「倭名本草」と  
も。もと附属図書館にあった時の配架番号は  
「6-21ホ2」。

薬学 H17 大惣番号札剝落 55銭

31342 <sup>フジンコトブキガサ</sup> 婦人ことぶき草 壹・(二)・中三・中四  
・下五・下(六) 大1帙6冊  
香月啓益著，坂部彌望序 <sup>(1726)</sup> 享保11刊

京 菊屋七郎兵衛（寺町通松原上ル町）・著屋  
勘兵衛（寺町通佛光寺下ル町）

※産前産後の心得。第1冊見返しに「文／婦人養  
草拾冊」と書込みあり。『国書総目録』によれ  
ば元禄5の自序をもつ異本あり。  
<sup>(1692)</sup>

7-02フ3 け式百三拾六全六 25銭

31343 <sup>ワザイ</sup> 和 <sup>キョクハウハツキゲンカイ</sup> 局方發揮診解 壹〜六

大1帙6冊  
岡本爲竹一抱子著，白井元隆校（全）・序，井上養伯  
校（卷之一のみ） <sup>(1708)</sup> 宝永5序・刊

江戸 須原茂兵衛（日本橋南壹町目），大坂  
大塚屋權兵衛（北濱式町目）  
7-02キ13 け式百三拾七全六 20銭

31344 <sup>ホンザウ</sup> 本 <sup>ヒヤクミシュノウゲンカイ</sup> 百味主能診解 一・一之末・  
二〜四 大1帙5冊

岡本一抱（爲竹）著，寺島間龍子（治恒）診解，結  
城純亨序 <sup>(1722)</sup> <sup>(1728)</sup> 享保7序，同13刊

京 中川茂兵衛（姉小路通堀川東へ入町）・西  
村市郎右衛門（堀川通鮎薬師下ル町）・中川彌  
兵衛

※序題および各巻巻頭は「百味主能師言鈔」。各  
巻巻末は「百味主能師言鈔診解」。柱書は「本  
草主能診解」。巻末に，西村と中川茂兵衛の，  
岡本爲竹一抱子の述作目録があるが，西村のも  
のは別刷り一枚を終丁ウラに貼付している。も  
と附属図書館にあったときの配架番号は「6-  
21ホ12（78と書込みあり）」。

薬学 Ho28 け式百四拾四全五 20銭

31345 <sup>チソクサイセンセイバイクワムジンザウ</sup> 知足齋先生梅花無盡藏 上・下・  
別録 大1帙3冊

長田徳本著，荻野子元校，和氣正路序，高量彰跋  
<sup>(1767)</sup> <sup>(1768)</sup> 明和4序，同5跋・刊

台州園蔵板，京 林伊兵衛（二條通東洞院東江  
入）

※原題簽・柱書「梅花無盡藏」，内題「知足齋梅  
花無盡藏」。各冊に慶長16の著者の奥書あり。  
<sup>(1611)</sup>

7-02ハ1 け式百五拾九全三 25銭

31346 <sup>メイイザツチヨセウ</sup> 名醫雜著鈔 上・中・下

特大（28.0×18.5cm）1帙3冊  
著者未詳 <sup>(1649)</sup> 慶安2刊

風月宗知

※内題は「明醫雜著抄」とある。王綸（北河舟中）  
著『明醫雜著』に対する注釈書。

7-02メ1 け式百六拾五 15銭



31347 シンセン イ ゲン  
新撰醫言 上・下 (甲・乙) 大1帙2冊  
上田悦安著・自序 (1809)  
勢州洞津 長野屋勘吉 文化6序  
※各冊末の内題および柱書「醫言」。下冊は内・  
外2篇よりなる。  
7—02シ56 け式百七拾八全式 5銭

31348 キヤウリンヒツダン  
杏林筆談 (上)・下 大1帙2冊  
古林長喬著・自序, 姑蘇沈艸亭序, 杭州趙景清「跋」  
(1749) (1750) (1749) (1757)  
寛延2自序, 同3序, 乾隆15跋, 宝曆7刊  
京 八尾清兵衛 (西堀川松原上ル町)  
※上記の「跋」は沈艸亭の序と著者の自序の間に  
ある。  
7—02キ14 け式百九拾五 10銭

31349 イ ハウタイセイロンゲンカイ  
醫方大成論診解 乾・(坤) 大1帙2冊  
王元福原著・自序, 岡本一抱子著 (1721)  
武村新兵衛 享保6刊  
※全5巻。原体裁5冊か。  
7—02イ53 け式百四拾五合二 15銭

31350 セイシンサツエウ  
聲診撮要 大1帙1冊  
平野義英元忠著・自序 (天和元), 江東柳剛序 (同  
(1682) 2), 法眼三柳序 (同2), 関甫跋 (同2), 生嶋道  
泊校 (1682) 天和2刊  
京 寺田與平次 (寺町通二條上町)  
※上 (音律攷)・中 (鑿卜類)・下 (病聲候) より  
成る。原題簽に角書「□編 (新編か)」あり。  
7—02セ5 け式百六拾四合完 5銭

31351 アンブク ツ カイ  
按腹圖解 大1帙1冊  
大田晋齋著・自序, 村田嘉言画 (1827) 文政10序・刊  
大坂 奥田彌助 (心齋橋通博勞町)  
※裏見返しに上記書肆の「松底閣蔵版書目」あり。  
7—02ア1 け三百拾壹 5銭

31352 サウモク  
艸 本草正正譌 大1帙1冊  
山岡恭安著, 大江資衡序, 高秀子厚序, 藤幹員・源  
十苗・江晋春校 (1777) (1778)  
安永6序 (いづれも)・凡例, 同7刊  
伊勢山田 文臺屋庄左衛門 (下八日市場), 京

錢屋利兵衛 (寺町通錦小路上ル丁)・錢屋庄  
兵衛 (堀川通綾小路下ル丁)・風月荘左衛門  
(二条通衣棚角)・野田藤八 (二条通柳馬場東  
入丁)  
※内題に角書なし。もと附属図書館にあったとき  
の配架番号「6—21ホ10 (82と書込みあり)」。  
薬学 Ho 10 け三百三拾四 10銭

31353 ツカイセイゴ  
圖解 正誤 鍼灸拔萃大成 □・地下  
大1帙2冊  
岡本一抱子著・自序 (1698) (1699)  
元禄11序, 同12刊  
大坂 岡田三郎右衛門 (心齋橋筋吳服町)  
※原体裁7冊か。丁附によれば巻上之本・末, 巻  
中之上・中・下, 巻下之本・末より成る。  
7—02シ53 け式百四拾九合二 35銭

31354 ジフ シ ケイ ワ ゴ セウ  
十四經和語鈔 一〜三・附録 大1帙4冊  
岡本一抱子著, 攝生堂人序, 舎巳軒跋 (1692) (1693)  
元禄5跋, 同6序・刊  
京 小佐治半右衛門宗貞 (堀河通本國寺前)  
※序・跋・凡例および大惣番号の後者は「附録」  
冊にある。「附録」冊の原題簽は, 角書「左十  
四經/右經脈篇」で「銅人輸穴圖」とある。本  
文各巻内題は「十四經絡發揮和解」。  
7—02シ14  
け式百三拾八合三・け二百貳拾全 40銭

31355 シンバン  
新板 黄帝明堂灸經 大1帙1冊  
建安寶桂芳著・自序 (1675) 延宝3刊  
大角清兵衛 (佐々牛井通和泉町)  
※内題「新刊黄帝明堂灸經」。  
7—02メ3 け三百四拾七 15銭

31356 アン マ テ ビ キ  
按摩手引 半1帙1冊  
藤林良伯著, 橘春暉序 (1799) (1800)  
寛政11序, 同12刊  
五禽堂藏板, 江戸 須原屋茂兵衛 (通町壹丁目),  
大坂 尼屋與兵衛 (心齋橋塩町), 京 八文字  
屋仙治郎 (二条高倉角)・吉田新兵衛 (寺町二  
条下ル町)  
7—02ア2 た七十五全巻冊 10銭

31357 センテンコウテンノクケツ 先天後天口決 半1帙1冊  
山本昌益正道著, 逸名序あり 貞享元奥書  
写本

7—02セ29 た百〇四番全帙冊 10銭

31358 カナヨミジフシケイ 假名讀十四經 龍・虎 半1帙2冊  
八田泰興著, 長澤丹陽軒主人序 文化2序・刊  
「東都甘泉堂藏」, 江戸 須原屋平助(日本橋  
通三丁目), 京 同平左衛門(富小路三条下ル  
町)  
※元の滑寿伯仁原著の『十四經發揮』を書き下し  
た書。図入り。

7—02シ12 た六拾七番全二 20銭

31359 フランイワ 和蘭醫話 上・下 大1帙2冊  
伏屋素秋(琴坂先生萬町權之進)口授・自序, 横周  
・池高道筆記 享和3序, 文化2刊  
京 巽佐右衛門・山口又市, 大坂 田原平兵衛  
・上田吉兵衛  
※書名のよみ方は刊記の書肆奥書の振仮名によっ  
た。凡例では振仮名「をらんいわ」, 小口に書  
込み「ランタイハ」。

7—01オ1 け式百八拾全式 10銭

31360 ナイクワセンエウ 内科撰要 卷之一〜卷之十五 大2帙15冊  
遠西玉函涅斯垓我爾德兒著, 宇田川玄隨譯・序, 桂  
川甫周國瑞関・序, 丹波元簡廉夫序  
寛政4序(宇田川), 同5序(丹  
波・桂川)・刊(卷之一〜三), 同8刊(卷之四〜  
六), 同9刊(卷之七〜九), 以下の巻は刊年不明  
槐園蔵板, 江戸 須原屋市兵衛(室町二丁目)  
※序題・各巻内題「西説内科撰要」。

7—22ナ3 け式百拾全全拾五 20銭

## 西鶴・八文字屋

31361 サイカクゾクツ レヅレ 西鶴俗つれづれ 老〜五 大1帙5冊  
井原西鶴著, 北条團水序・編, 書林序  
元禄8序(いずれも)・刊

京 田中庄兵衛(寺町五条上ル町), 大坂 八  
尾甚左衛門(堺筋備後町)  
貴4—42サ3 あ百五拾式 3円50銭

31362 エイリ 繪 サイカクオリトメ 入 西鶴織留 一〜六 大1帙6冊  
井原西鶴著・自序, 北条團水編・序  
元禄7序刊

江戸 万屋清兵衛, 大坂 鴈金屋庄兵衛, 京  
上村平左衛門  
※原題簃・目錄題ともに, 卷一・二は「本朝町人  
鑑」, 卷三以下は「世の人心」の副題を附す。  
第1冊表紙に「☐教訓☐」の札あり。第5  
冊見返しに「西鶴著書」列挙など, 書込み多し。  
貴4—42サ2 あ百六番 2円

31363 エイリ 繪 サイカクシヨコクバ ナシ 入 西鶴諸國はなし 卷一〜卷五 大1帙5冊  
井原西鶴著・自序 貞享2刊  
※内題は「<sup>きんねんしよこくはなしあなげ</sup>近年諸國咄 大下馬」。第5冊は写本,  
受入番号は別番号で, 大惣本にあらず。その刊  
記によれば, 書肆は大坂 池田屋三良右衛門  
(伏見呉服町真斎橋筋角)。  
4—42サ5 大惣番号札剥落 1円

31364 ヒラカナエイリ ひらかな サイカクデンジユグルマ 入 西鶴傳授車 一〜五 大1帙5冊  
天狗堂転蓬著・自序 正徳6序・刊  
京 村上宗吉  
※内題には角書なし。  
貴4—42サ1 あ百拾五 2円50銭

31365 エイリ 繪 セケンムネサンヨウ 入 世間胸算用 一〜五 大1帙5冊  
井原西鶴著・自序 元禄5序・刊  
京 上村平左衛門(二条通堺町), 江戸 萬屋  
清兵衛(青物町), 大坂 伊丹屋太郎右衛門  
(梶木町)  
※全冊とも原題簃「<sup>セケン</sup>世間胸算用大晦日は一日千金」,  
目錄題「胸算用 大晦日は一日千金」。第1冊表紙右  
上スミに「☐☐共五冊」の小札あり。第1・2  
・3冊見返しに落書。第4・5冊小口破損あり。  
貴4—42セ1 大惣番号札剥落 1円50銭

31366 <sup>エイリ</sup> 繪 <sup>サイカクオキミヤゲ</sup> 西鶴置土産 一〜五 大1帙5冊  
井原西鶴著・自序、北条園水序 刊年不明  
京 舩屋青山為兵衛 (五条通)  
※団水序の署名右上に「原板ハコ、ニ元禄六酉冬の  
日トアリ」と記した小札あり。「三州吉田 佐野  
氏」など旧蔵者印あり。  
4—42サ3 あ百拾三番 2円

31367 <sup>ニホンエイタイグラ</sup> 日本永代藏 一〜四・五六終  
大1帙5冊  
井原西鶴著 <sup>(1688)</sup> 貞享5刊  
京 金屋長兵衛 (二条通数屋町), 大坂 森田  
庄太郎 (北御堂前)  
※題簽に「大福新長者教」と副題を記す。刊記の  
前に「甚忍記」の広告あり。  
貴4—42ニ1 あ四百七拾 1円50銭

31368 <sup>ニホン</sup> 日 <sup>シンエイタイグラ</sup> 新永代藏 一〜六 大1帙6冊  
鳳城園水著・自序 <sup>(1713)</sup> 正徳3刊  
江戸 須原茂兵衛 (日本橋南一丁目), 京 丸  
屋伊兵衛 (聚洛)・平野屋佐兵衛 (二条観音町)  
※「今世長者鑑」の副題を各冊題簽に記す。第3  
冊裏見返し, 第5冊見返し, 第6冊裏見返しに  
落書。  
貴4—42ニ2 大惣番号札剥落 2円

31369 <sup>ブダウデンライキ</sup> 武道傳來記 卷一〜卷四  
大1帙4冊を合綴1冊  
井原西鶴著・自序  
書肆・刊年不明  
※「諸国敵討」と各巻内題に副題あり。挿絵に丹  
緑の筆彩を施す。刊記なし。貞享4初刊。  
貴4—42フ1 大惣番号札剥落 1円50銭

31370 <sup>シンバンエイリ</sup> 新板 <sup>キンギンネデブグサ</sup> 金銀ねぢぶくさ 一〜七  
(第8冊欠) 大1帙7冊  
章花堂著・自序 <sup>(1704)</sup> 元禄17序  
書肆・刊年不明  
※内題・柱書は「金玉ねぢぶくさ」。第1冊第1  
丁の下部破損。著者名は『国書総目録』による。  
4—42キ2 大惣番号札剥落 1円50銭

31371 <sup>シンバンエイリ</sup> 新板 <sup>ノザハメイシヨヤキハマグリ</sup> 野澤名所焼蛤 一〜五  
大1帙5冊  
著者未詳  
書肆・刊年不明  
※内題「名物焼蛤」。  
4—42ノ1 あ三百六拾九 1円

31372 <sup>シンバンエイリ</sup> 新板 <sup>クスノキマサンゲヤサグンダン</sup> 楠正成艶群談 一〜五  
大1帙5冊  
其邑子著, 二酉堂序 <sup>(1764)</sup> 宝暦14序・刊  
和泉屋卯兵衛・河内屋喜兵衛  
※巻末に「<sup>ひめはじめ</sup> 小栗雜記」の予告あり。「濃州芝  
北方参河屋」「油塩平」など旧蔵者の印あり。  
見返しに「亥十一/改百十一」の小札あり。長  
谷川強氏『浮世草子年表』によれば, 「大阪出  
版書籍目録」に「楠素人軍談」の改題本とされ  
ているという。  
4—42ク1 大惣番号札剥落 1円

31373 <sup>サウモクグンダン</sup> 草木 <sup>シヅノツマギ</sup> しの爪木  
平假名繪入 軍談 一〜七 大1帙7冊  
著者未詳, 書林松壽堂序 <sup>(1708)</sup>  
宝永5序, 正徳4刊, 安永ごろの再刊 <sup>(1714)</sup>  
(正徳4刊) 江戸 須藤権兵衛 (日本橋), 大  
坂 松壽堂萬屋彦太郎 (本町一丁目)  
(安永ごろ刊) 京 菊屋七郎兵衛 (寺町通松原  
上ル町西側)  
※第1丁に旧蔵者の印3つあり。巻末に「本朝諸  
士百家記 前後集二十巻」の予告あり。長谷川強氏  
『浮世草子年表』によれば, 正徳4刊本は宝永  
5刊本の再摺本であるが, 安永2刊の『世間  
用心記』(菊屋七郎兵衛板)にこの本の広告が  
載るといふ。従って, この本は再摺の板木をそ  
のまま摺った, 菊屋七郎兵衛による三摺本であ  
る。  
4—42ソ1 あ六百五番全七 1円

31374 <sup>シンバンエイリ</sup> 新板 <sup>シンノウハナガツセン</sup> 神農花合戦 一之巻〜五之巻  
半1帙5冊  
寺田虎髭著・自序 <sup>(1768)</sup> 明和5刊  
大坂 正本屋小兵衛 (日本橋北江三丁目)・糸  
屋源助 (博労町心斎橋南江入), 京 菊屋七郎

兵衛 (寺町通松原上ル町), 江戸 吉文字屋治  
郎兵衛 (日本橋三丁目)  
4—42シ7 あ三百貳拾八 1円

31375 シンパンエイリ 新板 繪入 ケイセイセンゴクサク 傾城戦國策 一〜五  
半1帙5冊  
大楽子著 刊年不明

大坂 吉文字屋市兵衛 (心齋橋南四丁目), 江戸 同次郎兵衛 (日本橋南三丁目)

※『浮世草子年表 (宝永元年以降)』によれば,  
(1770) (1771)  
明和7と同8の刊本あり。第1〜4冊末に出版  
広告, 第5冊末に「定榮堂藏板目録」あり。

4—42ケ1 大惣番号札剝落 1円

31376 カタキウチテンジンリシヤウキ 敵討天神利生記 壹〜五 半1帙5冊  
(1769)  
浪華城開金陵子著・自序 明和6刊  
大坂 吉文字屋市兵衛 (心齋橋南四丁目), 江戸 同次郎兵衛 (日本橋南四丁目)  
※吉文字屋の広告あり。序題「天神利生記」。  
4—42カ6 大惣番号札剝落 1円

31377 シンパンエイリ 新板 繪入 ニハカセンニンタハゴトニツキ 俄仙人戯言日記 一之巻〜  
五之巻 大1帙5冊  
閑鷗齋著・自序 刊年不明  
江戸 奥村喜兵衛 (芝神明前)・前川六左衛門  
(日本橋通南三丁目), 大坂 西田屋利兵衛 (鳶  
之内鋸屋町), 京 野田藤八 (二条通富小路西  
江入町)  
※『浮世草子年表 (宝永元年以降)』によれば,  
(1773)  
安永2刊本の刊記を削った後摺本。『国書総目  
録』によれば, 菊川秀信画。  
4—42ニ1 あ三百三拾七 1円

31378 シンパンエイリ 新板 繪入 カ コ ガハホンザウカウモク 加古川本艸綱目 一之巻〜  
五之巻 大1帙5冊  
増谷自樂著・自序 明和6序・刊  
(1769)  
江戸 上総屋利兵衛 (小伝馬町三丁目)  
※各巻内題下に「我儘育後編/教訓能樂質」の別  
題あり。第1冊表紙に「氣」と書かれた小札あ  
り。『浮世草子年表 (宝永元年以降)』によれ  
ば, 明和6版は同5刊本の再摺。  
4—42カ4 あ四百四拾老全5冊 1円

31379 キンコセウセツ 今古 小説 カラニシキ 唐 錦 4冊  
廃棄

75銭

31380 シンパンエイリ 新板 繪入 ムカ フ ミズヤミノツブテ 向不見聞の礫 一〜五  
大1帙5冊

南海市陰菴野居士門人何某著・自序 (1770) (1771)  
明和7序, 同8刊

江戸 前川六左衛門 (日本橋通南三丁目), 大  
坂 西田屋利兵衛 (鳶の内かさりや町), 京  
野田藤八

※第1冊表紙に「謔談」と書かれた小札あり。

4—42ム1 あ六百壹番 1円

31381 シンパンエイリ 新板 繪入 ノウミンタイヘイキ 農民太平記 一〜五  
大1帙5冊

著者未詳

書肆不明

※刊行は正徳年間か (『浮世草子年表 (宝永元年  
以降)』)。

4—42ノ2 大惣番号札剝落 1円

31382 チャウジャキゲンブクロ 長者機嫌袋 壹〜六 大1帙6冊  
(1705)  
福富言粹著・自序 宝永2序・刊  
書肆不明

※上記書名は内題による。墨書題簽には角書「津  
國/浪花」あり。第1冊表紙に「浮世/教訓」  
「全六冊」と書かれた小札あり。貸本屋の蔵書  
印4種あり。

4—42チ6 あ四百七拾三 1円

31383 ハチマン グ ドウキン 八幡愚童訓 上・中・下 大1帙3冊  
(1664)  
著者未詳 寛文4刊

京 松長伊右衛門

※柱書「愚童訓」。上冊表紙に「神」と記した札  
の上から「天」と記した札, 「〇九十三」「全  
三冊」の小札あり。また上・中冊裏見返しには  
黒い紙片を貼ってあり, 下冊裏見返しの同じ位  
置には「三宅三吉/本」の書込みあり。絵入り。  
本書は「縁起。鎌倉末期成立。」(『日本古典文  
学大辞典』)。

1—04ハ2 や九百六十八 3円

31384 フウリウ ゴゼンギケイキ  
風 御前義経記 壹〜八 大1帙8冊  
浮太郎冠者実名与志(西沢一鳳)著・自序

(1700)  
元禄13刊

大坂 油屋与兵衛・万屋仁兵衛, 京 鷹金屋庄  
兵衛・上村平左衛門

※上記書名は第3〜6冊の原題籤による。内題に  
角書なし。巻一の目録題「風流義経記」。絵に  
わずかに筆彩を施す。各冊に「一宮不求」と書  
込みあり。

貴4—42コ5 大惣番号札剥落 2円

31385 シンパンエイリ セケンハハオヤカタギ  
新板 世間母親容氣 壹〜五

大1帙5冊  
(1752) (1762)

南圭梅嶺(多田南嶺)著・自序 宝暦2序, 同12刊

江戸 鱗形屋孫兵衛(大傳馬町三丁目), 京  
梅村三郎兵衛(寺町通五条上ル町)

※宝暦2刊本の求板再摺本(『浮世草子年表』)。刊  
記の前に『南嶺子』の広告あり。第1冊見返し  
に墨書で内容紹介。第4冊10丁ウラ, 第5冊14  
丁オモテに描写などを評した落書あり。

4—42セ8 大惣番号札剥落 1円50銭

31386 シンパンエイリ タノシミゲンジャウゴ  
新板 楽機嫌上戸 (一)〜五

大1帙5冊  
(1764)

落下如水序 宝暦14序・刊

京 萬屋五兵衛

※第5冊裏見返しに「に三百老ばん」と書込みあ  
り。『日本古典文学大辞典』によれば, 本書は  
(1667)  
寛文7, 京都中村五兵衛版『水鳥記』の板木を  
利用し, 序を加え, 刊記を変えた改題本。『水  
鳥記』は地黄坊樽次(茨木春朔)作。尚30703  
『水鳥記』(本書とは異板)参照。

4—40タ1 あ六百八番 1円50銭

31387 イヌハリコ  
犬はりこ 上・中・下 半1帙3冊  
(1693)  
沙門(浅井)了意著・自序, 義端序 元禄6序・刊  
書肆不明

※仮名草子。絵入り。題籤は墨書。巻頭内題は第  
1冊「犬はり子」, 第2冊「伽婢子跡追」, 第3  
冊「狗はりこ」。柱書3冊とも「はりこ」。冒頭  
「本屋久八」名古屋上本町/□印あり。

4—40イ5 つ三百拾四 2円

31388 ウキヨオヤデカタギ  
浮世親仁形氣 壹〜五

横(15.8×21.7cm) 1帙5冊

江嶋其磧・八文字自笑著・自序 刊年不明

※著者は其磧, 版元は八文字屋と考えられる。上  
記書名は各巻内題によるが, 後補墨書題籤は  
「浮世」を角書とする。旧蔵者「恵甚」などの  
印あり。

貴4—42ウ3 ち千八百五拾九 2円50銭

31389 シンパンエイリ エイグワアソビニダイヲトコ  
新板 繪入 榮花遊二代男 一〜五

横(13.3×18.7cm) 1帙5冊  
(1755)

著者未詳・自序あり, 文調画 宝暦5刊

書肆不明

※虫損あり。画家名は, 巻二の第5丁オモテの挿  
絵中に「文調画」とある布袋の軸が描かれてい  
ることによる。巻末に『二代男 榮花遊吉妻男』  
を予告。

貴4—42エ1 ち千三百四拾六全五 3円50銭

31390 アヅマヲトコセンデンマクラ  
吾妻男仙傳枕 一〜五

横(13.2×19.6cm) 1帙5冊  
(1766)

野暮店住御客散人著・自序 明和3刊

書肆不明

※第1冊冒頭, 第5冊末に「ヤマト」印あり。

「仙傳枕後篇 榮花女世継枕」の予告あり。

貴4—42ア1 ち千三百五拾四 2円

31391 シキダウシユギヤウヲトコ  
色道修行男 (一)・二〜五

横(12.7×18.5cm) 1帙5冊

雁金その字著・自序

書肆不明

※第1冊表紙剥落のため大惣番号不明。刊年は,  
序に「ねのとし」とあり, 明和5か(長谷川強  
(1768)  
氏『浮世草子考証年表』による)。見返しに絵,  
「装表斎画」とあり。第5冊末に「廻國色行脚」  
の予告。全冊第1丁に「安政」の朱印。

貴4—42シ3 ※参照 3円

31392 ヤリバナシサンバンツヅキ  
遣放三番續 一〜五

横(12.7×19.0cm) 1帙5冊  
(1772)

八文舎自笑著・自序 明和9序・刊

京 八文字屋八左衛門(ふや町せいくわんじ下  
ル町)



※第1・2・3・5冊末に本の広告あり。

貴4—42ヤ1 ち千三百貳拾六 3円

31393 ショワケメイヂョタ バコ  
諸訳名女多葉粉 一〜五

横(12.6×18.8cm) 1帙5冊

華亭著・自序

(1736)  
享保21刊

大坂 河内屋茂兵衛(順慶町心齋橋角)・せと  
物や傳兵衛(北久太郎町心齋橋)

※原題簽いづれも破損あるいは剝落。第5冊第15  
丁挿絵右下に「繪師西村庄右エ門重信画」とあ  
る。「たばこ」の用字は多様。

貴4—42シ4 ち千三百四拾全五 1円50銭

31394 シキダウゴジツヲトコ  
色道後日男 一〜五

横(13.0×18.2cm) 1帙5冊

書肆・刊年不明

※『国書総目録』によると江島其磧著・西川祐信  
画。表紙見返しに「女男色遊と同板也」「壺番」  
と書込みあり。番号札がすりきれて、大惣番号  
が判読できない。第1冊題簽左下部に「全五」  
と書込みあり。各冊題簽に破損あり。第5冊の  
み墨書題簽。第1〜4冊の原題簽では書名の左  
右に内容を略記している。

貴4—42シ5 ※参照 3円

31395 フウリウレンリノタマツバキ  
風流連理櫨 上之巻・(中之巻・  
下之巻) 横(15.0×21.8cm) 1帙3冊

江島其磧・八文字屋自笑著・自序 享保20序・刊

京 八文字屋八左衛門

※上之巻末に『女教訓三人娘』の予告あり。「千  
香」など多数の旧蔵者の書込み・印あり。

貴4—42フ3 ち千八百五拾壹 1円50銭

31396 ハナダスキガンリウジマ  
花襷巖柳嶋 一之巻〜五之巻

横(15.9×21.4cm) 1帙5冊

自笑著・自序(実際は多田南嶺著) 元文4序・刊

京 八文字屋八左衛門(ふ屋町通せいくはんじ  
下ル町)

※下を折目にした袋綴。絵入り。

貴4—42ハ1 大惣番号札剝落 2円50銭

31397 カタキウチスミヨシダシキ  
敵討住吉軍記 壹〜五

横(12.6×18.2cm) 1帙5冊

西沢一風著・自跋

(1768)  
明和5刊

京 野田藤八

※著者名は『浮世草子の研究』(長谷川強氏)に  
よる。又、同書によれば、本書(明和3版)は  
『風流御前二代曽我』6巻のうち前5巻の改題  
再摺本。

貴4—42カ1 ち千三百拾八 2円

31398 シンパンエイリ セケンムスコカタギ  
新板 繪入 世間子息氣質 壹〜五

大1帙5冊を合綴1冊

江島其磧著・自序

(1715)  
正徳5序

京 龜じまや市郎左衛門(四条おたび町)

※5冊を表紙ごと合綴。柱書「世間」。第1冊見  
返しに「むすこかたぎ/百四十七/式番」と書  
込みあり。第1冊10丁オ, 17丁ウには「結語妙」  
などの評語を墨書。第2冊裏見返し「浦島龍宮  
もの語」, 第4冊見返し「傾城帯子」, 第5冊裏  
見返し「傾城双子桜」を宣伝する書込みあり。  
落書多し。刊記の前に『世間娘氣質』の広告あ  
り。

4—42セ9 大惣番号不明 80銭

31399 シンパンエイリ カルカヤニメノカガミ  
新板 繪入 荳蔻二面鏡 一之巻〜五之巻  
大1帙5冊

八文字自笑・同其笑著・自序

(1742) (1767)  
寛保2序・初刊, 明和4刊

京 八文字屋八左衛門(ふや町通せいくはんじ  
下ル町)(=初), 大坂 舩屋彦太郎(心齋橋南  
二丁目角), 京 金屋治助(寺町通押小路下ル),  
江戸 吉文字屋治郎兵衛(日本橋通二丁目)

※第5冊本文末に初版の刊記があり, その後2丁  
の草紙目録をはさんで裏見返しに明和4の刊記  
がある。また第1冊見返しに舩屋彦太郎の口上  
がある。第1冊第1丁, 「本屋久八」の印あり。  
大惣番号札は「八」の札の上に貼付。

4—42カ8 あ貳百四拾番 80銭

31400 トセイカンベン セケンテダイカタギ  
渡世 勘辨 世間手代氣質 一〜五

大1帙5冊

江島其磧著・自序

(1730)  
享保15序・刊

京 菊屋喜兵衛(寺町松原下ル町)

※『繪本噺艸』『女風俗玉鑑』の広告が刊記の前  
にある。末尾に, 氣質物51種の名を記した1丁  
を附す。

4—42セ4 大惣番号札剝落 80銭

- 31401 シンパンエイリ  
新板 柿本人麿誕生記 一〜五  
繪入 カキノモトヒトマルタンジャウキ  
半1帙5冊  
宝曆12序・刊  
八文字屋自笑・同白露著・自序  
京 八文字屋八左衛門(麩屋町誓願寺下ル町)  
※第1冊末に『哥舞妓事始』広告、第5冊末に  
『京町鑑』ほかの広告および「讀本目録」2丁  
あり。

4—42カ3 大惣番号札剝落か 80銭

- 31402 シンパンエイリ  
新板 善光倭丹前 一之巻〜  
繪入 ヨシミツヤマトタンゼン  
五之巻 大1帙5冊  
(1741)  
八文字自笑・八文字其笑著・自序 元文6序・刊  
京 八文字屋八左衛門(ふ屋町通せいぐはんじ  
下ル町)  
※第5冊裏見返しに、志保屋三郎兵衛(大坂今橋  
せんだの木東へ入)など、6書肆による『大坂  
名所ひとり案内』等10部広告の貼紙あり。

4—42ニ1 大惣番号札剝落 80銭

- 31403 シンパンエイリ  
新板 風流庭訓往来 一之巻〜  
繪入 フウリウテイキンワウライ  
五之巻 半1帙5冊  
八文字屋自笑著、白露校、自笑・白露自序  
(1763)  
宝曆13序・刊  
京 八もんじや八左衛門(麩屋町通せいぐはん  
じ下ル町)  
※第1冊表紙に「百五番」の札あり。第2冊末に  
『哥舞妓事始』広告、第3冊末に『京町鑑』ほ  
かの広告、第4冊末に『新改役者綱目』の広告、  
第5冊末「讀本目録」2丁あり。

4—42フ8 大惣番号札剝落 80銭

- 31404 シンパンエイリ  
新板 風流川中嶋 一之巻〜五之巻  
繪入 フウリウカハナカジマ  
半1帙5冊  
(1754)  
宝曆4序・刊  
八文字其笑・瑞笑著・自序  
京 八文字屋八左衛門(麩屋町誓願寺下ル町)  
※第1冊表紙に「百六番」の札あり。第1冊末に  
『世間長者容気』広告、第3冊末に『頼政現在  
鶴』・『菜花金夢合』広告を附す。見返しに読者  
の書込み多し。

4—42フ5 大惣番号札剝落 80銭

- 31405 ヤマトグンダンコウヘン  
倭軍談 花實義經記 一〜六  
後篇 クワジツギケイキ  
大1帙6冊  
(1720)  
享保5刊  
江島其磧著  
京 霞屋喜右衛門(二条通寺町西入町南側)・  
八幡屋清兵衛(寺町通錦小路上ル町)・菊屋七  
郎兵衛(寺町通松原上ル町)  
※第1冊の表紙右下に朱で「六冊物」と打ちつけ  
書。

4—42ハ3 大惣番号札剝落 80銭

- 31406 シンパンエイリ  
新板 其磧諸國物語 一〜五  
繪入 キセキシヨコクモノガタリ  
半1帙5冊  
(1744)  
寛保4刊  
江島其磧著・自序  
京 菊屋喜兵衛(寺町通松原下ル町)  
※序題「諸國物語」。第5冊裏見返しに 菊屋の目  
録あり。

4—42キ1 大惣番号札剝落 80銭

- 31407 シンパンエイリ  
新板 鎌倉諸藝袖日記 一之巻〜  
繪入 カマクラシヨゲイソデニツキ  
五之巻 大1帙5冊  
(1743)  
八文字自笑・其笑著・自序 寛保3序・刊  
京 八文字屋八左衛門(ふや町通せいぐはんじ  
下ル町)  
※目録題は「鎌倉諸藝袖日記」。中村幸彦氏によっ  
て多田南嶺作とされる。

4—42カ7 あ式百五拾七 80銭

- 31408 シンパンエイリ  
新板 道成寺岐柳 一之巻〜  
繪入 ダウジャウジフリワケヤナギ  
五之巻 半1帙5冊  
(1751)  
其笑・瑞笑著・自序 寛延4序・刊  
京 八文字屋八左衛門(ふや丁せいぐわんじ下  
ル町)  
※第1冊末に『開宗算法』、第5冊末に『新撰古  
今役者大全』・『優源平歌袋』の広告あり。

4—42ト3 大惣番号札原欠か 80銭

- 31409 シンパンエイリ  
新板 百合稚錦島 一之巻〜五之巻  
繪入 ユリワカニシキジマ  
半1帙5冊  
(1752)  
其笑・瑞笑著・自序 宝曆2序・刊  
京 八文字屋八左衛門(ふや丁せいぐわんじ下  
ル町)

※上記序・刊年は『浮世草子考証年表』による。

序には「さるの初春」とあるのみ。第1冊末に『夕霧有馬松』の近刊広告がある。第5冊裏見返しに「此本は一日付□つゝ又は五日拾六文つゝなり」との書込みがある。

4—42コ1 大惣番号札剝落 80銭

31410 シンパンエイリ  
新板 チュウジャウヒメチカヒノイトアソビ  
繪入 中将姫誓糸遊

一之巻～五之巻 半1帙5冊

八文字其笑・瑞笑著・自序 宝曆6序・刊

京 八文字屋八左衛門（ふや町誓願寺下ル町）

※第5冊末に『御伽太平記』の広告あり。第1冊見返しに「百六十五」の小札あり。

4—42チ2 大惣番号札剝落 80銭

31411 シンパンエイリ  
新板 モリヒサコノテガシハ  
繪入 盛久側柏葉 一之巻～五之巻

半1帙5冊

八文字其笑・同瑞笑著・自序 延享5序・刊

京 八文字屋八左衛門（ふや町通せいぐはんじ下ル町）

※第1・2・5冊末に八文字屋の本の広告、および第5冊末に「目録」2丁あり。

4—42モ1 大惣番号札剝落 80銭

31412 シンパンエイリ  
新板 フウリウアゾマタイゼン  
繪入 風流東大全 一之巻～

五之巻 半1帙5冊

江島其磧・八文字屋自笑著・自序 享保16序・刊

京 八文字屋八左衛門（ふ屋町通せいぐはんじ下ル町）

※「寺町通にしき角／大森屋清兵衛」印あり。見返しなどに落書甚し。

4—42フ3 あ二百三十二番 80銭

31413 シンパンエイリ  
新板 タカサゴオホシマダイ  
繪入 高砂大嶋臺 一之巻～五之巻

大1帙5冊

江島其磧・八文字屋自笑著・自序 享保18序・刊

京 八文字屋八左衛門（ふ屋町通せいぐわんじ下ル町）

※第1冊の表紙上部に「八／い／甲」および「□百八十八番 五巻」と書かれた小札あり。大惣の蔵書印のほかに「貸本虎屋」「九次」「伊世庄」など計5種の印が捺されている。

4—42タ1 あ二百貳拾五 80銭

31414 シンパンエイリ  
新板 タガヒセンゴパンタダノブ  
繪入 互先碁盤忠信 一之巻～

五之巻 大1帙5冊

其磧・自笑著・自序 宝曆10序・刊

京 八文字屋八左衛門（ふ屋町通せいぐはんじ下ル町）

4—42タ2 大惣番号札剝落 80銭

31415 テウカハンエイ  
町家 セケンダンナカタギ  
繁栄 世間旦那氣質 一之巻～

五之巻 半1帙5冊

永井堂亀友著・自序 明和10序・刊

江戸 前川六左衛門（日本橋通南三丁目）、大坂 和泉屋卯兵衛（心斎橋北詰）、京 菊屋安兵衛（寺町三条上ル北角）

※第1冊末に菊屋の「板行目録」あり。

4—42セ2 大惣番号札剝落 80銭

31416 シンパンエイリ  
新板 ハナモミヂツルギノホンデ  
繪入 花楓劔本地 一之巻～

五之巻 半1帙5冊

其笑・瑞笑著・自序 寛延2序・刊

京 八文字屋八左衛門（麩屋町通誓願寺下ル）

※第1冊表紙に「八」の小札あり。

4—42ハ2 あ式百八十八 80銭

31417 シンパンエイリ  
新板 セケンチャウジャカタギ  
繪入 世間長者容質 （一之巻）

・二之巻～五之巻 半1帙5冊

八文字其笑・瑞笑著・自序 宝曆4序・刊

京 八文字屋八左衛門（麩屋町誓願寺下ル町）

※第1冊表紙は上紙が全体的に剝落。第2冊以後の題簽及び各巻内題の肩に「浮世親仁形氣後編」とある。第2・4・5冊末尾に本の広告あり。

4—42セ3 大惣番号札剝落 80銭

31418 シンパンエイリ  
新板 ゴゼンセンビキザル  
繪入 御前千足猿 一～五

半1帙5冊

著者未詳 享保3刊

書肆不明

※刊年は『国書総目録』による。通しの丁附で49丁、26話より成り、第1冊に全体の目録あり。柱書「物巻ヨ」。第1冊表紙に「奇」の札あり。

4—47コ8 つ三百拾三全五冊 80銭

ゼンペン  
前編 クワテウヒヤクダン  
31419 花鳥百談 一〜五 半1帙5冊  
静観堂好話著・自序, 東嬰画 延享5序  
京 梅村判兵衛 (寺町通五條橋上ル西側)  
※角書「前編」は原題簽にのみ存する。各冊原題  
簽中に「繪(画)入」とある。旧蔵者松屋善兵衛  
・林宗兵衛などの印や書込みあり。  
4—42カ5 つ式百七十四全五冊 80銭

シンバンエイリ  
新板 ワタナベ ヒカン  
31420 繪入 渡邊秘鑑 一〜五  
半1帙5冊  
多田一芳著・自序 明和10刊  
大坂 吉文字屋市兵衛 (心齋橋南四丁目), 江  
戸 吉文字屋次郎兵衛 (日本橋南四丁目)  
※第1冊表紙に「八文字やの類作也」と記された  
小札あり。内題の角書は「伯母/叔母」。吉文  
字屋の目録をはじめ, 本の広告多数あり。  
4—42ワ1 つ八百三十疋全五冊 80銭

シンバンエイリ  
新板 ランナムシャシユギヤウ  
31421 繪入 女武者修行 一之巻〜  
五之巻 半1帙5冊  
荻坊奥路著・自序 明和9序・刊  
大坂 吉文字屋市兵衛 (心齋橋南四丁目), 江  
戸 同次郎兵衛 (日本橋南四丁目)  
※目録題角書は「お花半七/実傳」。定榮堂 (吉文  
字屋) の「新版當世讀本目録」(2丁), 「藏板目  
録」(半丁) を第5冊末尾に附す。第2冊末に  
『博物筌』, 第4冊末に『永曆大雜書天文大成』  
の広告あり。  
4—42オ3 大惣番号札剝落 80銭

シンバンエイリ  
新板 ジセウタノシミニツキ  
31422 繪入 自笑樂日記 一之巻〜五之巻  
半1帙5冊  
八文字屋自笑・其笑著・自序, 自笑自跋 延享4序・刊  
京 八文字屋八左衛門 (ふや町通せいぐはんじ  
下ル町)  
※第1冊末に『繪本花の鏡』3冊, 『忠見/兼盛 彩  
色歌相撲』5冊の広告あり。第4冊末に『物部  
守屋錦章』5冊の広告あり。挿絵のいくつかは  
は筆彩が施されている。  
貴4—42シ6 大惣番号札剝落 80銭

ヤツムネオホシマダイ  
31423 八棟大嶋臺 巻ノ一〜巻ノ六  
大1帙6冊を合綴1冊  
三先道春著・自序 宝永7序・刊  
「書林喜久本氏」  
※冒頭15丁は下部欠損。  
4—42ヤ1 て六百貳拾貳合 80銭

ヒジマクラ  
秘 オヤコグルマ  
31424 親子車 一〜五 半1帙5冊  
如嫩斎丹青著・自序 明和5刊  
江戸 雁金屋儀助 (小石川傳通院前)  
※第1冊見返しに「花雲樓藏書」(墨)と記す。  
4—43ア23 大惣番号札剝落 80銭

セイカイモモチドリ  
31425 西界百千鳥 壹之貳・三之四・五之六  
・七之八・九之拾 半1帙5冊  
難波仙禁著 (咄)・自序 成立年不明  
写本  
※よみは序題に従う。巻頭の内題「西界百千鳥」。  
4—42サ1 大惣番号札原欠か 80銭

クワイダン  
怪 オトギザクラ  
31426 談 御伽桜 一〜五 半1帙5冊  
花洛俳林都塵舎 (雲峰) 著・自序, 昌溪序  
書肆・刊年不明  
※第5冊第11丁以下欠か。「深草の名醫」以下,  
15話より成る。  
4—42カ2 大惣番号札剝落 80銭

シンバンエイリ  
新板 セウニソダテカタギ  
31427 繪入 小兒養翫氣質 一〜五  
大1帙5冊  
永井堂亀友著・自序 安永2序・刊  
京 林伊兵衛 (二条通東洞院東へ入町)・大和  
屋善七 (富小路通二条下ル町)・菱屋孫兵衛 (御  
幸町通御池下ル町)・武村嘉兵衛 (釜座通押小  
路下ル町), 大坂 西田屋理兵衛 (心齋橋筋大  
宝寺町), 江戸 前川六左衛門 (本町三丁目)  
4—42シ5 大惣番号札剝落 1円

シンバンエイリ  
新板 アカエボシミヤコカタギ  
31428 繪入 赤烏帽子都氣質 一之巻〜  
五之巻 半1帙5冊  
永井堂亀友著・自序 明和9刊  
江戸 前川六左衛門 (日本橋通南三丁目), 大

坂 和泉屋卯兵衛 (心齋橋北詰), 京 菊屋安兵衛 (寺町三条上ル北角)

※第5冊末に菊屋の「板行目録」あり。

4—42ア2 大惣番号札剝落か 1円

31429 <sup>クマガヘランナアミガサ</sup> 熊谷女編笠 (一)・二~五 大1帙5冊  
(1706) 宝永3序・刊

錦文流著・自序  
江戸 須原茂兵衛 (日本橋南一丁目)・万屋清兵衛 (日本橋中通角)・山口権兵衛 (川瀬石町), 大坂 万屋彦太郎 (本町一丁目)

4—42ク2 大惣番号札剝落 1円50銭

31430 <sup>サカタ</sup> 坂 <sup>キンピラタイヘイキ</sup> 金平太平記 一~八 大1帙8冊  
(1780)

著者未詳・自序あり, 洛陽書林菊華堂序 安永9刊  
大坂 柏原屋佐兵衛 (心齋橋傳馬町)・正本屋小兵衛 (心齋橋筋南四丁目), 京 菊屋七郎兵衛 (寺町通松原上ル町)

※刊記前に本の目録 (4部) あり。

4—47サ1 大惣番号札剝落 2円

31431 <sup>シンバンニエイリ</sup> 新板 <sup>タウインヒジ</sup> 棠陰比事 壹~五  
繪入

大1帙5冊

著者未詳

書肆・刊年不明

※刊記は, 書肆名を削り取って「開板」とのみ。

第1冊見返しに大野屋の「かみそめ油 代十六文」などの宣伝がある。

4—47ト4 千式百八十四 1円

31432 <sup>ヤダンズイヒツ</sup> 夜談隨筆 一~五 大1帙5冊

林義端著・自序 刊年不明

江戸 須原屋茂兵衛 (日本橋通壹丁目)・山城屋佐兵衛 (同二丁目)・岡田屋嘉七 (芝神明前)・英大助 (本石町十軒店)・須原屋伊八 (浅草茅町二丁目), 大坂 堺屋新兵衛 (南久宝寺町心齋橋南へ入)・同定七 (順慶町心齋橋南へ入)

※大惣番号「七拾五」を「五拾五」に訂正。第1冊巻頭に目録あり。全6巻 (巻三・四が1冊)。

『国書総目録』によると, 本書は『玉簪子』 (元禄9刊, 6巻6冊) の改題本。序にも, 先年出版した「玉簪笥七巻」に続き, 今回「玉簪子六巻をいだし」た旨が述べられている。絵入り。

4—47ヤ2 あ五拾五全五冊一名玉はゞき 1円

31433 <sup>エイリ</sup> 絵 <sup>ホンテウアウインヒジ</sup> 入 本朝櫻陰比事 一~五

大1帙5冊  
(1689) 元禄2刊

井原西鶴著  
江戸 萬屋清兵衛 (日本橋青物町), 大坂 柏原清右衛門 (心齋橋筋順慶町)

※第1冊の題簽に「大人モノ本」の書込みあり。

4—42ホ4 あ式拾貳番 1円50銭

31434 <sup>エイリ</sup> 入 <sup>ウスモミヂ</sup> うすもみち 一~五 大1帙5冊  
(1722)

著者未詳・自序あり 享保7刊

京 川勝五郎右衛門 (五條橋通万寿寺町), 江戸 同出店通志堂 (日本橋南一丁目)

4—42ウ1 大惣番号札剝落 2円50銭

31435 <sup>エイリゲンジワカ</sup> 繪入 <sup>源氏</sup> 和歌 <sup>ワコクタマカヅラ</sup> 和國玉加津羅 一~五

大5冊  
(1709) 宝永6序

浪華書林松寿堂序

江戸 萬屋清兵衛 (日本橋青物町), 大坂 萬屋彦太郎 (本町壹丁目)

※『国書総目録』によると, 本書は『本朝美人鑑』の改題本。

1—85ワ1 大惣番号札剝落 1円50銭

31436 <sup>エイリシンウスユキモノガタリ</sup> 繪入 新うす雪物語 一~五

大1帙5冊  
(1716) 正徳6刊

竹馬堂守一著・自序

大坂 向井八三郎 (新町西口小濱町河内屋)

※第5冊裏表紙に「此本何方様へ遣シ候共早速此方へ御返シ可被下候以上」などの書込みあり。各巻内題下に「みやこ賢女鑑」とある。

4—40シ6 大惣番号札剝落 80銭

31437 <sup>シンバンニエイリ</sup> 新板 <sup>フカリウフミヒヤウバン</sup> 繪入 風流文評判 一~五

半1帙5冊  
(1753) 宝暦3刊

由之軒政房著

大坂 安井弥兵衛 (心齋橋筋南久太郎町)

4—42フ9 大惣番号札剝落 1円50銭

- シンパンエイリ  
新板 本朝墓物語 一之巻～  
繪入 ホンテウヒキモノガタリ  
31438 五之巻 半1帙5冊  
墨竊山人著・自序 (1774) 安永3刊  
江戸 山崎金兵衛(通十軒店), 大坂 和泉屋  
外兵衛(心齋橋北詰), 京 菊屋安兵衛(寺町  
三条上ル丁)  
※第1冊巻頭に「惣目録」あり。第5冊末に書肆  
菊屋の「板行目録」2丁を附す。  
4—42ホ3 大惣番号札剝落 80銭

- シンパンエイリ  
新板 花重連理 一之巻～  
繪入 ハナガサネレンリノトリカブト  
31439 五之巻 大1帙5冊を合綴2冊  
花洛甘笑著・自序 (1760) 宝暦10序・刊  
大坂 北田清左衛門(心齋橋筋唐物町)  
※合綴は一・二之巻と三・四・五之巻をそれぞれ  
合わせており、一・四の原題簽を使用。  
4—42ハ1 大惣番号札剝落 80銭

- クワイドントノキブクロ  
31440 怪談とのゐ袋 壹～五 大1帙5冊  
臥仙子文坡著, 赤蘿洞主人序 (1767) 明和4序, 同5刊  
京 菊屋長兵衛(寺町通綾小路下ル丁)  
※墨書題簽は「古今怪談とのゐ袋」。  
4—47カ10 大惣番号札原欠か 1円50銭

- シンセイエイリ  
新成 アイゴノワカイチダイキ  
31441 繪入 あいこの若一代記  
一之巻～五之巻 大1帙5冊  
八文字屋自笑・江島其磧著, 逸名序あり ※参照  
大坂 和泉屋外兵衛(心さいばし北詰)  
※第5冊末に和泉屋の出版目録を附す。序に「愛  
護若の文章は其磧自笑が編輯を訂正して今新に  
一代記と題す」とある。『国書総目録』(1735)による  
と本書は『愛護初冠女筆始』(5冊, 享保20刊)  
(1788)の改題本で天明8刊。  
4—42ア1 あ式拾四全五 1円

- シンパンセイリ  
新板 タウセイランナカタギ  
31442 繪入 當世女容氣 一～五  
大1帙5冊  
井原西鶴著 刊年不明  
大坂 抱玉軒田原平兵衛(順慶町壹丁目)  
※『好色五人女』の改題本。第1冊表紙に「氣」  
と墨書した札あり。旧蔵者「永楽屋」の印あり。  
貴4—42ト1 あ四百式拾三 2円50銭

- エイリクモノカケハシ  
31443 繪入 雲のかけ橋 一～五 大1帙5冊  
柳心著 享保頃刊  
大坂 柏原屋与左衛門(順慶町心齋橋筋)  
※内題「當流雲のかけはし」。著者・刊年は『国  
書総目録』による。  
貴4—42ク1 大惣番号札剝落 1円

- イマヤウハナノシヲリ  
31444 時勢花枝折 一～五 大1帙5冊  
朧月子著・自序, 大森画 (1763) 宝暦13刊  
大坂 吉文字屋市兵衛(心齋橋南へ四丁目),  
江戸 吉文字屋次郎兵衛(日本橋南へ三丁目)  
※第1冊見返し内題は丹青刷。第5冊裏見返しに  
(1764) 宝暦14の吉文字屋刊行案内を載せている。序題  
「花乃枝折序」。  
4—42シ1 大惣番号札剝落 1円

- シンパンセイリ  
新板 フウゾクハイジンカタギ  
31445 繪入 風俗俳人氣質 一～五  
半1帙5冊  
兵作堂亀友著・自序 (1763) 宝暦13刊  
京 野田藤八(二条通富小路西へ入町)  
※序題「大和書業風俗俳人氣質序」。第1冊の裏見返し  
に5部の書名を墨書した札が貼られている。第  
2冊の末尾に『正夢後悔記』の広告あり。  
4—42フ2 拾番 1円

- シンパンセイリ  
新板 メツタムシャウカネマウケカタギ  
31446 繪入 滅多無性金儲形氣 一～五  
半1帙5冊  
大雅舎其鳳著・自序 (1774) 安永3刊  
大坂 吉文字屋市兵衛(心齋橋南四丁目), 江  
戸 吉文字屋次郎兵衛(日本橋南三丁目)  
※第1冊の表紙中央に「氣」と書かれた小札あり。  
各巻末に吉文字屋の新刊案内, 第5冊の巻末に  
「定榮堂新版當世讀本目録」2丁分, 「定榮堂  
藏板目録」1丁分を附す。  
4—42メ2 あ四百三拾四全五冊 1円

- キンダイ  
近 オトギヒヤクモノガタリ  
31447 代 御伽百物語 壹～三  
大1帙3冊  
白梅園鷺水著・自序 (1706) 宝永3刊  
江戸 和泉掾, 京 菱屋治兵衛(寺町通松原上  
ル町)  
※6巻より成る。巻末に「諸國因果物語」追て出

来の由を記す。題籤下部に「日本廻國／行脚如宝」とあり。第1冊一部破損を筆写で補修。

4—40オ5 大惣番号原欠か 1円

- 31448 シンパンエイリ 新版 繪入 リツシンカネ ノ ツル 立身銀野蔓 一之巻～五之巻  
大1帙5冊  
(1777)  
永井堂亀友著・自序 安永6刊

京 菊屋安兵衛 (寺町三条上ル町)

※第1冊表紙中央に「氣」と書かれた小札あり。  
第5冊巻末の2丁分と裏見返しに菊屋の板行目録を載せる。

4—42リ1 大惣番号札剝落 80銭

- 31449 フウリウヨミホン 風流 讀本 セ ケンナカウドカ タ ギ 世間仲人氣質 卷之一～  
卷之五 大1帙5冊  
(1776)  
永井堂亀友著・自序 安永5刊

江戸 山崎金兵衛 (通十軒店), 大坂 和泉屋  
卯兵衛 (心齋橋筋北詰), 京 菊屋安兵衛 (寺  
町三条上ル町)

※見返し内題は丹青刷りの絵入りで、あるいは本  
書の広告を貼ったものか。第5冊巻末の2丁分  
と裏見返しに菊屋安兵衛板行目録を附す。

4—42セ5 大惣番号札剝落か 80銭

- 31450 シンパンエイリ 新版 繪入 フウリウチャジンカ タ ギ 風流茶人氣質 一～五  
半1帙5冊  
(1770)  
永井堂亀友著・自序 明和7序・刊

江戸 奥村喜兵衛 (芝神明前), 大坂 西田理  
兵衛 (嶋内かさりや町), 京 野田藤八 (二条  
通富小路西江入町)

※内題「茶人氣質」とも。

4—42フ7 大惣番号札剝落 80銭

- 31451 ヒトヨブネ 一夜 クワイダナンシヨコクモノガタリ 怪談諸國物語 一～五  
大1帙5冊  
(1726)  
北条團水著・自序 享保11刊

京 菱屋治兵衛 (寺町通松原上ル町)

※第1冊に『怪談國みやげ』など、30部の目録が  
はさみ込まれている。第1冊表紙に「□千三百  
三十一」の小札あり。

4—41カ48 あ六拾貳番 1円50銭

- 31452 アキンドグンバイウチハ 商人軍配団 5冊  
所在不明  
あり)  
4—42シ6 60銭

- 31453 シングワツイリ 新書 繪入 ウメワカマルイチダイ キ 梅若丸一代記 一～五  
大1帙5冊  
(1788)  
八文字屋自笑・江島其磧著・自序 天明8序・刊

大坂 和泉屋卯兵衛 (心齋橋北詰)

※第1冊末に和泉屋の目録1丁あり。

4—42ウ2 あ九番 1円

- 31454 シン オトギバウ コ 新御伽婢子 壹之式・三～六  
大1帙5冊  
(1683)  
著者未詳・自序あり 天和3序・刊

江戸 西村半兵衛 (神田新草屋町), 京 同一

郎右衛門 (三条通)・大津屋庄兵衛 (八幡町通)

※自序には「落下寓居書」とある。改装に伴い本  
来の第1・2冊を合綴したか。

4—47シ7 表紙改装のため大惣番号不明 1円

- 31455 ウメワカマルイツシヤウキ 梅若丸一生記 一～十 大1帙10冊  
(1781)  
西向菴春帳著・東都桑門含蓮社跋 安永10刊

大坂 吉文字屋市兵衛 (心齋橋南四丁目), 江  
戸 同次郎兵衛 (日本橋通三丁目)

※第1冊巻頭に「梅若丸肖像」「妙亀尼遺影」の  
画あり。2冊ずつ全5巻。見返しなどに本の広  
告多数。

4—41サ4 あ八番 60銭

- 31456 ライクワウイチダイキ 頼光一代記 一～六 大1帙6冊  
洛東住素拙散人著・自序 刊年不明

大坂 勝尾屋六兵衛 (御堂筋唐物町北江入)

※第6冊最終丁ウラに「戯こうのうくさ」「弘法  
ひみつくさ」(江戸 吉文字屋次郎兵衛など三  
書肆版)の広告あり。原題簽中に「繪入」とあ  
る。

4—41サ65 あ拾七全六 1円

- 31457 シンパンエイリ 新板 繪入 シヨダウキキミミ セ ケンザル 諸道聴耳世間猿 壹之巻～  
五之巻 半1帙5冊  
(1766)  
和譯太郎 (上田秋成) 著・自序 明和3序・刊  
大坂 正本屋清兵衛 (心齋橋筋しほ町)

※刊記前に『世間妾形氣』『諸國廻船便』の予告あり。第1冊表紙に「 六番」の小札あり。

4—42シ3 つ八百〇六 80銭

シンパンエイリ  
新板 絵入 セケンコシモトカタギ  
31458 世間侍婢氣質 一〜五 半1帙5冊

蛙文臺著・自序

書肆・刊年不明

※第5冊末に『小野小町行状記』・『童子用文初学大成』の広告あり。『浮世草子考証年表』によれば、明和8刊、京 田中屋半兵衛ほか。

4—42セ1 大惣番号札剝落 80銭

セウダン  
笑談 イシヤカタギ  
31459 醫者質氣 一〜五 半1帙5冊  
永井堂亀友著・自序 安永3序・刊  
京 林伊兵衛(二条通東洞院東へ入町)・武村嘉兵衛(釜座通押小路下町)  
※巻之一内題「名醫戯笑噺」。

4—42シ4 つ八百〇式全五冊⊖ 80銭

トセイデンジュグルマ  
31460 渡世傳授車 一〜五 大1帙5冊  
洛下隠士都塵舎著・自序 元文2序・刊  
江戸 植村藤三郎(木石町十軒店)、大坂 藤屋彌兵衛(高麗橋一丁目)、京 上坂勘兵衛(四条通御幸町西入町)  
※第5冊巻頭の 内題「渡世傳授車極秘傳之巻」。  
第3冊第2丁の一部、切りとられている。

4—42ト1 あ四百六拾四 80銭

クワイコクイチャノヤド カツサノクニサイネンバウ  
31461 廻國一夜宿 上総 西念坊  
一〜五・(六) 大1帙6冊  
著者未詳

書肆・刊年不明

※各冊見返しに「細築而印」(朱)の印あり。第1冊表紙に「 式百九十六」の小札あり。

4—47カ2 あ六百拾三番 1円

エイリ  
絵入 チウヤヨウジンキ  
31462 入昼夜用心記 一〜三 大1帙3冊  
北条團粹著、湖西繁平序 宝永4刊  
京 井筒屋庄兵衛・万木次兵衛、江戸 須原屋茂兵衛(日本橋南一丁目)  
※第1冊が巻一・二、第2冊が巻三・四、第3冊

が巻五・六より成る。もと6冊を合綴したか。第1冊の見返しに「偽りを工ミ弁舌を以て人を誑らかし金銀を掠め奪ひしかたり事を書集たる世人之心得ニ成へき本なり」との札が貼られている。

4—42チ5 あ六百拾七番 2円

ゴニフブキヤラランナ  
31463 御入部伽羅女 乾・坤 大1帙2冊  
湯漬翫水著・自序 宝永7序・刊  
老松昆作兵衛  
※乾冊損傷が甚しい。全6巻。早稲田大学の大惣本目録によると「六合二」冊。  
4—42コ2 あ百四拾三番 1円50銭

シマバラキ  
31464 嶋原記 上・中・下 大3冊  
著者未詳  
書肆・刊年不明  
※仮名草子。上記書名は内題による。墨書題籤は「嶋原合戦記」。  
8—28シ6 大惣番号札剝落 60銭

ブケグンダン  
31465 武家軍談 乾(巻上巻中合綴)・坤(巻下) 大1帙2冊  
著者未詳  
書肆・刊年不明  
※上記書名は内題による。後補墨書題籤の書名は「武家勇士小鏡」。  
8—21フ3 て六百五拾式全式冊 80銭

エイリ  
繪 イツキウバ ナシ  
31466 入一休はなし 一・二 大1帙2冊  
著者未詳・自序あり  
書肆・刊年不明  
※4巻より成る。巻之四最終丁に「洛陽錦□」とあり。柱書「一休咄」。第1冊見返しに「一休譚六冊」以下7部の書名を「大のや惣八」署名で列記。  
4—40イ6 ま六百八拾三全式 60銭

ゾクイツキウバ ナシ  
31467 續一休はなし 大1帙1冊  
也来編・自序 享保16序  
大坂 河内屋茂兵衛(心齋橋筋)  
※4巻より成る。原体裁4冊を1冊に合綴したか。  
4—25ソ1 ま六百八拾四⊖ 60銭



31468 <sup>カセウキ</sup>可笑記 壹～四 大1帙4冊  
如儡子著 (1636) 寛永13成

書肆・刊年不明

※大惣番号札と別に「□部四冊一」の小札あり。

4—40カ7 け五百四拾八 80銭

31469 <sup>ゼンアクゴカイザシキコウダン</sup>善悪五戒 <sup>イツキウ カセウキ</sup>一休可笑記  
座敷講談 一～六 大1帙6冊

著者未詳 (1705) 宝永2刊

大坂 松寿堂彦太郎(本町壹丁目)(終丁), 京  
菊屋七郎兵衛(寺町通松原上ル町西側)(裏  
見返し)

※原題簽角書「五戒/講談」(第1・4冊), 「座  
敷/講談」(第2・3・5・6冊)。全冊の上段  
に内題「一休九鑑」, 第6冊内題「一休水鑑増  
註」または「一休水鏡註」。第1冊表紙に「千  
四拾番」の小札あり。各冊原題簽中に「繪入」  
と記されている。

4—25イ1 ま六百八拾壹 80銭

31470 <sup>キンライブゲ</sup>近來 <sup>チュウカウエイタイキ</sup>忠孝永代記 壹～九  
武家 半1帙9冊

林圓春著, 森本東烏序 (1704) 宝永元序

書肆不明

※第7冊に一部焼損あり。

4—42チ3 つ五百三十壹 2円

31471 <sup>シンバンエイリ</sup>新板 <sup>バンブツテンチカガミ</sup>萬物天地鏡 一之巻～五之巻  
絵入 半5冊

来儀庵佐南峯著・自序 (1774) 安永3刊

大坂 吉文字屋市兵衛(心斎橋南四丁目), 江  
戸 吉文字屋次郎兵衛(日本橋通三丁目)

※各冊末に他書の広告多数。第5冊末には「定榮  
堂新版當世讀本目錄」2丁あり, 吉文字屋2軒  
の他に京の錢屋善兵衛(堀川通四条上ル町)が  
名を連ねている。第1冊表紙に「此書は善事を  
なして幸福を得悪事をなして災ひを請し事を書  
しおもしろき物語り也」と書かれた札あり。序  
題の振振名のみ「ばんもつてんちかどみ」。

1—82ハ1 つ五百拾六全五冊 80銭

31472 <sup>シンコジダン</sup>新古事談 一～五 半1帙5冊を合綴1冊

井沢長秀(幡竜子)著, 逸名序あり

書肆・刊年不明

※著者は『国書総目録』による。序に「長明かね  
覺物かたりと名付く」とあり, 柱書は「鳴」と  
ある。第1冊表紙に「三[ ]番/五冊」の小  
札, その見返しには「名古屋書林/松屋善兵衛」  
の蔵書印。

4—47シ8 つ四百〇三全五冊 1円

31473 <sup>ヒヤウチュウ</sup>評 <sup>ココンブ ケドウ ジクン</sup>古今武家童子訓 前編一～五  
註 大1帙5冊

神田白龍子著・自序 (1774) 安永3刊

京 めと木屋宗八

※第5冊末に後篇の予告を含む書肆の口上がある。  
上記書名は各冊原題簽などによる。序題は「武  
家童子訓」。『国書総目録』によると享保3刊本  
あり。

8—21コ3 て六百三拾四 80銭

31474 <sup>シヨコクカタキウチ</sup>諸國 <sup>ニホンブ シカガミ</sup>日本武士鑑 壹～五  
敵討 大1帙5冊

棕梨一雪著・自序 (1696) 元禄9刊

京 浅野久兵衛(御幸町二条上ル丁), 大坂  
浅野弥兵衛(高麗橋壹丁目)

※書名は原題簽による。絵入り。第1～3冊の目  
録の書名は「古今武士鑑」(柱書は「武士」),  
第4・5冊の目録の書名は「孝子鑑」(柱書は  
「孝子」)になっている。第1冊「序一」と「一」  
丁が入れ替わる乱丁あり。第1冊の目録内題下  
に「大著聞集抜書」とある。

4—42ニ4 大惣番号札剝落 1円

31475 <sup>キンセイチュウギ</sup>近世 <sup>シヨ シコウハイ キ</sup>忠義 諸士興廢記 一～八

洛九二軒主人鱗長著・自序 (1718) 享保3刊

江戸 須原茂兵衛(日本橋南壹丁目)・西村市  
良右衛門(本町三丁目), 京 錢屋庄七良(堀  
河通綾小路下ル町)

※『近世諸家軍配記』の改題本。柱書は「軍配記」  
のまま。第1冊見返しに同書の原題簽を貼り,  
「トモ」「享保三戊戌年正月穀旦」と書込み。

4—42シ2 て六百拾三 1円50銭

31476 <sup>ホンテウジジツ</sup> 本朝 <sup>チュウコウブ ケコウミヤウキ</sup> 中興武家功名記 壹〜五

大1帙5冊 (1778)  
著者未詳・自序あり 安永7序・刊

江戸 須原屋茂兵衛(日本橋通一丁目)

8-21テ1 て六百三拾五う 1円

31477 <sup>シンパン</sup> 新板 <sup>ゾウ ホ ハウガクセウ</sup> 増補方角鈔 上・中・下

半1帙3冊

宗祇法師著、藻虫子序 宝永4刊 (1707)

京 出雲寺和泉掾、江戸 出店(日本橋南町目)

※歌枕寄。目錄題「増補名所方角抄」、本文内題「名所方角鈔」。

4-22ノ2 れ式百拾三全三冊 50銭

31478 <sup>ホンテウレツセンデン</sup> 本朝列仙傳 乾・坤

半4冊を合綴2冊

田中玄順編・自序 貞享3序・刊 (1686)

江戸 萬屋清兵衛(青物町)、大坂 岡田三郎右衛門(呉服町心齋橋筋角池田屋)

※表紙改裝。第1冊墨書題簽の「乾」の字の上から「合」と書す。第1冊表紙には「奇」の貼札。全4巻。巻之一最終丁に朱書「作者猥リニ本邦ノ神ヲ賤シ蕃國ノ夷佛ヲ貴ス是今唐ノ韓愈尚有ラバ如何此罪ヲ定メン必ス死ヲマヌカルベカラス」「苟モ朝貢ノ米ヲ盜ス安ゾ死ヲ免レンノ作者モ同罪ナリ」との評語あり。

8-86ホ1 つ五百三十式 1円

31479 <sup>ラウ シ カ タ ギ</sup> 老子形氣 一〜五 半1帙5冊

新井祐登(白蛾)著・自序、穂積以貫跋 宝曆3序・跋・刊 (1753)

大坂 吹田屋多四郎(高麗橋壹丁目)・安井嘉兵衛(淡路町心齋橋角)

※第1冊表紙に「氣」の札あり。「序」に寛保3成立という。 (1743)

1-84ロ1 つ八百〇老 50銭

31480 <sup>ナン シ ニ セン セイ ゼン ショ</sup> 楠氏二先生全書 大1冊

種田隨柳軒吉豊著・自序

書肆不明

※上記書名は内題による。表紙を改裝し、原題簽

「楠二代軍記」を貼付する。巻第十の第10丁以下欠落、刊記を欠く。序の年次は「寛文龍丁酉二飛」とある。『国書総目録』によると、寛文2刊。 (1662)

8-28ク1 表紙改裝のため大惣番号不明 50銭

31481 <sup>シンパンエイリ</sup> 新板 <sup>シヨシャウケンコウキ</sup> 諸將勲功記 壹〜七

大1帙7冊

空白野人著・自序 元文2刊 (1737)

林氏甚助

※第1・7冊表紙改裝。その他の5冊の見返しには「本五」なる蔵書印あり。

8-21シ5 て四百四拾三全七冊 1円50銭

31482 <sup>フウゾクイウセンクツ</sup> 風俗遊仙窟 一〜四 半1帙4冊

克齊(寸木散人)著・自跋、黒羊子序 延享元序・跋、寛延2刊 (1744) (1749)

江戸 池田屋源助

※第1冊表紙に「ケ」の小札あり。

4-25フ3 つ七百六十六全部四冊 60銭

31483 <sup>ヘイゲモノガタリヒヤウバンカルイ</sup> 平家物語評判瑕類 一〜五

大1帙5冊

逸竹居士著・自序、雪江居士序 宝永3序、同7自序、正徳2刊 (1706) (1710) (1712)

「松栢堂藏版」、京 和泉掾

※第1冊表紙右上スミに半分剝落の小札あり、「□百八十」とよめる。また、同冊表紙中央に「□百五十四」とみえる札が貼られている。原題簽には「瑕類 平家物語評判」とあり、柱書には「平家評林瑕類」とある。

5-06へ4 大惣番号札剝落 75銭

31484 <sup>アス カ ガ ハ</sup> 飛鳥川 大1帙1冊

識丁子三柳著・自序 慶安元序、同5刊 (1648) (1652)

京 村上平樂寺(二条通玉や町)

※上・中・下3巻より成る。もと3冊を合綴1冊か。

1-84ア2 大惣番号札原欠か 60銭

31485 <sup>シブンアモノサヘヅリ</sup> 紫文蛭之囀 一〜五(※参照)

多賀半七著、鈎醉子序 享保6序、同8刊 (1721) (1723)

甲斐 清水九左衛門(府中柳町三丁目)、江戸

須原茂兵衛 (日本橋南壹町目)

※絵入り。源氏物語注釈。5冊は「摘趣」・「きりつは」・「はゝき木本」・「はゝきき末」・「うつせみ」から成り、それぞれ原題簽に記されている。

4—30シ2 ふ五百三拾三全五 1円50銭

31486 ニツタノサチユウジャウ ヨシサダグン キ  
新田左中将 義貞軍記 大1帙1冊

著者未詳

書肆・刊年不明

※上記書名は巻頭内題による。墨書題簽「義貞軍記」。慶長古活字版 (『国書総目録』による)。

貴8—21ヨ1 大惣番号札剝落 50銭

31487 フクサイモノガタリ  
福齋物語 大1帙1冊  
(1643)  
著者未詳 寛永20奥書

書肆不明

※書名はカード目録による。別名「薬師通夜物語」。寛永期の飢饉について書いた仮名草子。

貴1—84フ1 大惣番号札剝落か 50銭

31488 ニシヤマモノガタリ  
西山物語 上・中・下 半1帙3冊  
(1768)  
建部綾太理著、金龍敬雄序 明和5刊

江戸 須原屋市兵衛 (室町三町目)・三河屋判兵衛 (芝田町四町目)、京 錢屋七郎兵衛 (堀川通佛光寺下ル町)・文臺屋太兵衛 (三條通室町西入町)

※上冊表紙に「言」の小札あり。上冊見返しに綾太理の文章を批評した書込みあり。

4—30ニ1 れ貳百〇九番全三 35銭

31489 テツシヨキモノガタリ  
徹書記物語 上・下 半1帙2冊  
(1662)  
正徹著 寛文2刊

谷岡七左衛門

(1670)  
※歌学書。下冊裏見返しに寛文10の書込みあり。

4—22テ1 大惣番号札剝落 30銭

31490 フ ケ ツ ザウデン  
武家圖象傳 (一)~六 半1帙6冊  
(1718) (1719)  
片島武矩著・自序、平住専菴序

享保3自序・序、同4刊

京 山本孫兵衛、大坂 谷澤十代太郎・西川庄兵衛

※上記書名は第4冊原題簽及び序題などによる。

第1冊扉題は「神武圖象傳」、各冊内題は「本朝武家圖象傳」。第6冊末刊記には「武家圖象傳前篇終」とある。各冊末に旧蔵者印。

5—61フ2 大惣番号札剝落 1円

31491 ヒヤクハツチャウキ  
百八町記 一~五 大5冊  
(1664)  
如偏子著 寛文4刊

中野道伴

※第1冊の表紙に「百十九」「儒佛之四番」の小札あり。奥書に「承応四年秋始下日 如偏子これを翻書にす」と記し、その後には和歌二首と「物故 武心士峯居士老後加筆/武藤氏西察書之」との記述あり。

1—84ヒ2 ま貳百五拾七 50銭

31492 ホンテウセウセツ  
本朝 両劔奇遇 一~五 大1帙5冊  
(1778) (1779)  
小説 リヤウケンキグウ 安永7序、同8刊

椿園主人著・自序

京 菊屋安兵衛 (寺町三条上ル町)

※読本。末尾に菊屋の板行目録3丁あり。

4—41イ11 大惣番号札剝落 50銭

31493 エンキョ ケ ダン  
圓居戯談 一~五 半1帙5冊  
(1781)  
池田遊鶴著・自序、愚々齊跋 安永10刊

大坂 柏原屋佐兵衛 (心斎橋傳馬町)、京 菊屋七郎兵衛 (寺町通松原上ル町)

※第1冊裏見返しに「鳥樞沙摩金剛 修仙靈要錄」の広告あり。

4—47エ3 あ六百三番 70銭

31494 ショコクカタキウチ  
諸國敵討 一~五・六七合 半1帙6冊  
(1687)  
神保氏入道著・自序、藤質大風軒序

(1687)  
貞享4自序・序

書肆不明

※第8巻欠。内題は「武道一覽」、柱書は「姿」。絵入り。神保氏の序によれば、西沢貞陳の稿を神保氏が補作したもの。

4—42フ1 大惣番号札剝落 1円

31495 マジリマメハナクソグンダン  
雑豆鼻糞軍談 半1帙1冊  
(1769)  
笑鵬著・自序 明和6刊

京 小幡宗左衛門 (六角通油小路西へ入町)

※5巻より成る。巻末に『女筆早手本』など3部の広告あり。見返しに「尾上持主」と書込み。表紙に「八」の小札あり。

4—25マ1 あ三百三十拾式 50銭

31496 シンパンエイリ  
新板  
繪入 トシトクゴエフノマツ  
歳徳五葉松 一之巻～四之巻  
半1帙4冊  
(1753)  
其笑・瑞笑著・自序 宝曆3序・刊  
(八文字屋)

※第5冊欠。第1・2・4冊最終丁ウラに『壇浦女見臺』など4部の広告あり、第1冊裏見返しに「新玉といふはかりにや明行空の昨日にかはり大路のさま松たて渡して花やうれしけなるかに神代の國の久し」と墨書。第1冊表紙「八」「百十四番」の小札あり。

4—42ト2 あ二百九拾三全四 80銭

## 丸本写本台帳

※歌舞伎の台帳の書名には長大な角書が付くことが多いが、記載の都合上、それらを備考に移して、標題の優先順位に従わなかった場合がある。また本項目によく出る「七五三」本とは、一幕ごとの終丁に「しめ」と訓ませるつもりで「七五三」と墨書してある一群の写本である。

31497 アキバゴンゲンクワイセンバナシ  
秋葉権現廻船語 一～六  
半1帙6冊  
(1761)  
並木正三作 宝暦11初演  
写本

※『国書総目録』には竹田治藏作とある。六ツ目まで。それぞれに替名付あり。座本三樹大五郎と記す。大惣の半紙を使用。

4—31ア2 □百六十式 60銭

31498 アキギキョウカリガネゴンヲトコ  
藍桔梗廐金五紋 上・中・下  
半1帙3冊  
(1774)  
作者未詳 安永3初演  
写本

※上册扉題にのみ角書「全盛の束帯姿はも来て見よ／踊場へ集會し揃へのかたびら」あり。「七

五三」本。

4—31ア1 は百六十五／三番 30銭

31499 アサクサレイゲンキ  
浅草霊験記 壹～四 半1帙4冊  
篤助(初世奈河篤助)・徳三(近松徳安)作  
(1797)  
寛政9初演

写本

※七ツ目まで。それぞれに替名付あり。「七五三」本。

4—31ア3 は□六十四 40銭

31500 カメワリサカシタヒモノセキ  
龜割坂  
下紐關 アネイモウトダテノオホキド  
姉妹達大礎  
壹～四 半1帙4冊  
(1795)  
辰岡万作・近松徳安作 寛政7初演  
写本

※題簽には角書なし。第4冊扉題の用字は「姉妹伊達大木戸」。「七五三」本。

4—31ア5 □百貳拾五 40銭

31501 アブラアキンドクルワバナシ  
油商人廓話 口明・二ツ目～  
四ツ目 半1帙4冊  
(1803)  
作者未詳 享和3初演  
写本

※第1冊裏見返しに「尾張名古屋大舟町麻生屋与兵衛」、第3冊裏見返しに「大船町松翠堂」という貸本屋の名が記されている。上記書名のよみは『国書総目録』によったが、或いは「アブラウリサトモノガタリ」か。

4—31ア7 □百七十六 40銭

31502 イ ガゴエノリカケガツシマ  
伊賀越乗掛合羽 壹～五  
半1帙5冊  
(1776)  
奈河亀輔作 安永5初演  
写本  
※各冊に替名付あり。「掛」字、題簽では「懸」と表記。

4—31イ2 ろ□五十九 50銭

31503 イ ガゴエダウチュウスゴロク  
伊賀越道中双六 半1帙1冊  
(1783)  
近松半二・近松加助原作 天明3初演  
写本  
※題簽下に「半本合」と記されている。「七五三」本。

4—31イ1 三百六十番 10銭

イ セ オンド コヒノ ネタバ  
31504 伊勢音頭戀寝釦 乾・坤 半1帙2冊  
(1796)  
近松徳叟作 寛政8初演  
写本

※乾冊はもと2冊か。「七五三」本。三幕目まで。  
それぞれに替名付あり。  
4—31イ3 百三十三 20銭

イ セ カイダウゼニカケマツ  
31505 伊勢海道銭掛松 (※参照)  
半1帙3冊  
(1739)  
松屋来助・並木永輔・野田五文作 元文4初演  
写本

※各冊の題籤には「口明／二ツ目／三ツ目」「四  
ツ目」「五ツ目」とある。第1冊表紙右上スミ  
に「指峰堂蔵書」の番号札あり。五ツ目までそ  
れぞれに替名付あり。「津島坂口町小川屋」な  
どの印あり。

4—31イ4 〇七拾番㊟ 30銭

イチノタニフタバダンキ  
31506 一谷嫩軍記 一〜四(第5冊を欠く)  
半1帙4冊  
並木宗輔・浅田一鳥・浪岡鯨児・並木正三ら原作  
(1752)  
宝暦2初演

写本

※第1冊扉題にのみ角書「須摩の製札／志賀の短  
冊」あり。また「全部五冊」とあるが、第5冊  
を欠く。各冊に替名付。一名「熊谷陣屋」。

4—31イ5 百六十五／式番 40銭

イロクラベノチノヤアハセ  
31507 色競續筋戦 一〜七 半1帙7冊  
初世奈河七五三助・辰岡万作・竹本三郎兵衛作  
(1792)  
寛政4初演

写本

※第3冊扉題「色競後日の筋戦」。ハツ目まで。  
それぞれに替名付あり。「七五三」本。小口に  
「七五三本 六十七」とある。

4—31イ6 百六十七 70銭

ウマヤヂ コムロブシ  
31508 驛路小室節 一〜五 半1帙5冊  
(1757)  
作者未詳 宝暦7初演  
写本

※六ツ目まで。それぞれに替名付あり。各冊題籤  
は「驛」を「驛」と表記。見返しに「壺番改式  
番」と記す。第1冊の扉題にのみ角書「東海道

に伊達與作／中仙道に丹波與作」あり。「七五  
三」本。

4—31エ3 百五十五 50銭

エ ハウタイコウ キ  
31509 惠方太功記 上・中・下 半1帙3冊  
(1800)  
奈河篤助・待本和七・浜松氏助作 寛政12初演  
写本

※五ツ目まで。それぞれに替名付あり。内題の用  
字「惠宝」とも。「七五三」本。

4—31エ1 百九十式 30銭

ゴンギリゴジフネンキ  
31510 五人切 〇キミヤ ゲイマオリジャウフ  
五拾年忌 置土産今織上布  
一・二 半1帙2冊  
(1798)  
菅専助・豊春暁・若竹笛躬原作 寛政10初演  
写本

※大惣の半紙を使用。上之巻・下之巻より成り、  
それぞれに替名付あり。題籤には角書なし。

4—31オ2 百七番全二 20銭

キャンコトバハナカハド  
31511 俠詞花川戸 一〜三 半1帙3冊  
作者・上演年未詳  
写本

※第1冊扉に「九月替り 初日／上幕濱松明神の  
場」, 第2冊扉に「巳九月替り／新吉原の段／  
大宮寺塘の段」, 第3冊扉に「周討 草稿」と  
ある。第1・2冊に替名付あり。『歌舞伎年表』  
に不載。

4—31オ3 三百五番全三冊〇 30銭

オモハククルワカタギ  
31512 思花街客性 一〜四・別本五ツ目道行  
半(第5冊のみ縦長※参照)2帙5冊  
(1784)  
作者未詳 天明4初演  
写本

※第5冊は25.7×16.4cm。第1冊扉題右肩に「ば  
んずい長兵衛」とある。第2冊末に「漣」と記  
す。五ツ目まで。それぞれに替名付あり。

4—31オ6 百三十式 50銭

オリアハセツツレノニシキ  
31513 織合襦袢錦 口明／二ツ目・  
三ツ目／打出 半1帙2冊  
(1764) (1776)  
作者未詳 明和元初演, 安永5写  
写本

※安永5は第2冊の扉に記された年。「桃我」朱

印あり。四幕まで、それぞれに替名付あり。第2冊最終丁の紙背に「尾州名古屋大須芝居」とある。

4—31オ7 ○式百三拾番式冊<sup>(1773)</sup> 20銭

31514 オホアタリムカデヤマ  
大當百足山 一〜三 半1帙3冊  
作者未詳 安永2写  
写本

※『歌舞伎年表』に不載。第2・3冊はじめと、第3冊の途中で替名付あり。

4—31オ4 表紙改装のため大惣番号不明 30銭

31515 タイヘイキカウモク  
太平記 オホタフノミヤアサヒノヨロヒ  
綱目 大塔宮 議 鎧 乾・坤 半1帙2冊  
竹田出雲・松田和吉原作 <sup>(1723)</sup> 享保8初演  
写本

※「七五三」本。五幕より成り、大序に替名付、以下の幕は登場人物名のみ記す。

4—31タ1 □百七十七番 20銭

31516 アフミゲンジシカタカウシャク  
近江源氏駱講釋 壹〜四 半1帙4冊  
初世並木正三作 <sup>(1772)</sup> 安永元初演  
写本

※「七五三」本。八ツ目まで。それぞれに替名付あり。

4—31ア6 □六十六 40銭

31517 ランナセツヨウエモンカガミ  
女節用衣紋考見 一〜三 半1帙3冊  
並木五兵衛・並木十輔・並木新蔵作 <sup>(1780)</sup> 安永9初演  
写本

※第2・3冊の扉題には角書「哥人の業平／関取の成衡」あり。「七五三」本。八ツ目まで。それぞれに替名付あり。

4—31オ8 □九十七番 30銭

31518 カガミヤマサトノキキガキ  
加賀見山郭寫本 一〜五 半1帙5冊  
初世奈河亀助・近松徳蔵・増山金八作 <sup>(1780)</sup> 安永9初演  
写本

※第4冊末尾に文化3の記事あり。「七五三」本。六ツ目まで。それぞれに替名付あり。

4—31カ17 □三百五十五 50銭

31519 カタキウチアンエイロク  
敵討安榮録 發端／口明・二ツ目〜  
四ツ目・五ツ目／六ツ目・七ツ目／大切

半1帙6冊  
<sup>(1795)</sup>  
寛政8初演

辰岡万作・近松徳蔵作

写本

※上記書名は内題による。第1冊扉題にのみ角書「大菊の茶碗は小栗柄十兵衛／小菊の茶碗は花園三十郎」, 各冊表紙にうちつけ書の書名の角書「小栗柄十兵衛／花園三十郎」あり。各冊裏表紙に「六冊之内指峰堂」と書込みあり。「書林指峰堂」朱印あり。八ツ目まで。それぞれに替名付あり。

4—31カ1 □百十四式番 60銭

31520 カタキウチウラノアサギリ  
敵討浦朝霧 壹〜四 半1帙4冊  
初世奈河晴助・並木重造・奈河勘助・沢嵐市三作  
<sup>(1815)</sup>  
文化12初演

写本

※第2冊以下の内題に角書「那智山／御利生」あり。朱書・貼紙などによる抹消・訂正などあり。五ツ目まで。それぞれに替名付あり。

4—31カ3 □十七全部四冊 40銭

31521 カタキウチガンリウジマ  
敵討嚴流島 上・下 半1帙2冊  
藤川文三郎作 <sup>(1737)</sup>  
元文2初演

写本

※五ツ目まで。それぞれに替名付あり。

4—31カ4 い百十八 40銭

31522 シヤクメイハフビシモサカシユカウハツブレノニシキ  
正銘ハ葵下坂 カタキウチコホリヤマゾメ  
趣向ハ襷襦錦 敵討郡山染  
乾・坤 半1帙2冊

近松徳度・初世奈河七五三助・奈河十九介作  
<sup>(1791)</sup>  
寛政3初演

写本

※乾冊表紙に「全部式冊四十番」の小札あり。七ツ目まで。それぞれに替名付あり。

4—31カ5 □百拾五 20銭

31523 カタキウチセンジュノスケダチ  
敵討千手護助劔 發端／二ツ目・  
三ツ目〜六ツ目 半1帙5冊

近松徳度・初世奈河七五三助・奈河十九介作  
<sup>(1790)</sup>  
寛政2初演

写本

※上記書名は表紙打ちつけ書によるが、各冊扉題には角書「勢州亀山／讃州丸亀」あり。各幕に替名付あり。小口に「千じの助たち亀山五冊」の札あり。第1冊見返しに「若宮芝居中／見料一日六<sup>(署名)</sup>ツ」、裏見返しに「明治五申秋／若柴<sup>(署名)</sup>／定まらぬ文の心を村時雨」と書込み。また、「宮町坂口／味岡久次郎／文貫堂」の印と書込みあり。第3冊末に「中山友九郎」の署名あり。

4—31カ6 大惣番号札剝落 50銭

テンワウジニコマガイケテンマムラニメヲトイケ

31524

天王寺に駒ケ池  
天満村に女夫池

カタキウチカヒノシガラミ  
敵討義戀柵

發端口明・

二ツ目〜七ツ目

半1帙7冊

初世奈河晴助・初世奈河七五三助・田辺弥七作

(1812)  
文化9初演

写本

※「貫艸堂」朱印あり。各冊に替名付あり。

4—31カ9 百弍十番〇七冊 1円

カタキウチホウエイキ

31525

仇討寶永祀

口明・二ツ目・三ツ目・

大切(一〜四)

半1帙4冊

作者・上演年未詳

写本

※表紙改装。『歌舞伎年表』所載の「宝永記」か。各冊に替名付あり。

4—31カ10 百弍十巻〇 40銭

クラマキマニモヤノウヒザンニシハチデウノニヤノシヨクタク

31526

鞍馬山に妹脊の初陳  
西八條の二世の属託

カチドキミバエゲンジ

勝関孝源氏 發端／口明・二段目

・三段目・四段目／五段目

半1帙4冊

奈河晴助作

(1816)  
文化13初演

写本

※「松屋善兵衛」印あり。五ツ目まで。それぞれに替名付あり。

4—31カ11 百拾弍〇 40銭

オハンチャウエモン

31527

おはん カツラガハレンリノシガラミ  
長右衛門 桂川連理柵

半1帙1冊

(1784)  
天明4初演

菅専助作

写本

※上記書名は内題による。表紙打ちつけ書の書名には角書なし。大惣番号の「弍」は「壹」から訂正。各段に替名付あり。

4—31カ13 百八十弍〇 10銭

イロハシンスケ いろは カネ ガナル ケ サノウハサ

31528 新助 鐘が鳴今朝の噂 一〜三

半1帙3冊

(1761)  
宝暦11初演

竹田治藏作

写本

※上・中・下の3巻より成り、それぞれに替名付あり。

4—31カ16 三百〇三番〇 30銭

ギシンデンソキヨリカウシャク

31529 義臣傳讀切講釈 半1帙1冊

奈河七五三助・並木正三・辰岡万作・島田鶴藏作

(1788)  
天明8初演

写本

※内題兩傍に「鎌倉山諸候會合より／圓覺寺焼香手向迄」とある。二ツ目まで。それぞれに替名付あり。

4—31キ5 三十九 10銭

アナカシコクルワブンシャク

31530 歸命曲輪文章 壹〜七 半1帙7冊

並木五兵衛・並木十助作 安永9初演

写本

※「七五三」本。各冊扉題の用字はまちまちで、「文章」を「較」とも記す。各冊に替名付あり。

4—31キ1 ろ九十八 10銭

キヤウハブタヘカハリヒナガタ

31531 京羽二重新雛形 乾・坤 半1帙2冊

作者未詳 享和2初演

写本

※上・中・下の3巻より成る。各巻冒頭に登場人物名のみ記す。「七五三」本。「新」を「替り」とも表記。

4—31キ2 百〇弍番〇 20銭

ツエ タ ラウテングノサカモリ

31532 露太郎天狗酒醺 一〜五 半1帙5冊

並木正三作 宝暦11初演

写本

※31533『霧太郎天狗酒醺』と同内容。作者名・初演年は『歌舞伎年表』の同書の記述による。但し、第2・4冊最終丁ウラに「近松徳三」と

記す。表紙改装。各冊に替名付あり。

(1787)  
天明7初演

4—31ツ1 〇式十八 50銭

キリタ ラウテンノサカモリ  
31533 霧太郎天狗酒麩 一〜五 半1帙5冊  
並木正三作 (1761) 宝暦11初演  
写本

※「七五三」本。各冊に替名付あり。31532参照。  
4—31キ3 表紙改装のため大惣番号不明 50銭

ギンカクジテヲノハジメ  
31534 銀閣寺新始 壹〜四 半1帙4冊  
竹田治蔵作 (1759) 宝暦9初演  
写本

※第1冊目に「本／伊勢忠」の印あり。八ツ目まで。それぞれに替名付あり。

4—31キ4 ろ百七十七 40銭

クサノハナヒヨクノイシブミ  
31535 草花比翼牌 一〜三 半1帙3冊  
初世奈河篤助等作  
写本

※『国書総目録』によれば、東大蔵本は文化8写。  
各冊に替名付あり。

4—31ク1 〇式百五十六〇 30銭

クハナヤトクザウイリフネモノガタリ  
31536 衆名屋徳蔵入船物語 壹〜四  
半1帙4冊  
並木正三・十輔・莊次・利介・三舛文治作 (1770) 明和7初演

写本

※「七五三」本。五ツ目まで。それぞれに替名付あり。

4—31ク2 〇百式十七 40銭

ケイセイオホウチノヒナガタ  
31537 傾城大内の雛形 一〜四  
半1帙4冊  
初世奈河亀助作 (1780) 安永9初演

写本

※受入番号31537から1829046に変更されている。  
表紙改装。扉に「中山猪八座／子之二之替」とある。各冊に替名付あり。

4—31ケ2 拾壹番〇 40銭

ケイセイサクラノゲンダテ  
31538 傾城櫻城砦 口明／二ツ目・三ツ目  
・四ツ目・五ツ目／大切道行 半1帙4冊  
奈河七五三助・川竹友治・並木壽輔・近松徳叟作

写本

※第1冊見返しに「天明八未とし新狂言」云々とある。「名古屋／門前町／伊勢屋太兵衛」印あり。「傾城」を「契情」「けいせい」とも表記。  
二ツ目を除く5幕に替名付あり。

4—31ケ10 三拾四四冊⑤ 40銭

ケイセイカチヲデラ  
31539 傾城勝尾寺 口明・三段目・五段目  
半1帙3冊  
作者未詳 (1761) 宝暦11初演

写本

※原体裁6冊か。「口明」冊には「二ツ目」が、「三段目」冊には「四ツ目」が、「五段目」冊には「六ツ目大切」が合綴されている。各幕に替名付あり。

4—31ケ3 拾四番写三冊⑥ 30銭

アタケジンベイモクズサンペイ  
31540 安嶽甚平 傾城廓亭環  
口明／二段目・三段目／四段目／大切  
半1帙2冊  
並木十輔・山口文鳳・竹本三郎兵衛作 (1769) 明和6初演

写本

※各段に替名付あり。

4—31ケ5 三拾五番全貳冊 20銭

ケイセイクルワゲンジ  
31541 傾城廓源氏 壹〜五 半1帙5冊  
近松徳三・初世奈河篤助作 (1802) 享和2初演

写本

※第1冊扉題にのみ角書「桐壺の夢嘶ハ物草太郎／篠木の孝行ハ金魚屋金八」あり。「傾城」「廓」の用字は多彩。「七五三」本。

4—31ケ6 〇十六番 50銭

ケイセイジャガタラブミ  
31542 傾城咬啗吧恋文  
所在不明

4—31ケ4 40銭

ケイセイサツマグシ  
31543 傾城挾妻櫛 壹〜四 半1帙4冊  
近松徳三・並木正三・奈河篤助作 (1798) 寛政10初演

写本

※第1冊扉題にのみ「御馬揃ひは轡の紋日／間夫は都の桐様参」という角書あり。「七五三」本。



受入番号31543を1829019に訂正。六ツ目まで。

それぞれに替名付あり。

4—31ケ8 □千巻番全四 40銭

31544 <sup>ケイセイサトノカハツ</sup> 傾城花街蛙 巻〜四 半1帙4冊  
藤川山八・中山五八・京山ト平作 (1756) 宝暦6初演

写本

※六ツ目まで。それぞれに替名付あり。「七五三」本。

4—31ケ11 は三十六番 40銭

31545 <sup>ケイセイジツゴケウ</sup> 傾城實悟教 花之巻・(二ツ目)・風之巻  
半1帙3冊  
奈河七五三輔・増山金八作 (1782) 天明2初演

写本

※第2冊表紙改装。第1冊表紙に「天明寅年／傾城實悟教／二之替 花之巻」，第3冊表紙に同じく「風之巻」と打ちつけ書。第1・3冊裏表紙に「大坂道頓堀中之芝居／座本山下金作」とある。第3冊裏見返しに「美濃舎」と書込み。四ツ目まで。それぞれに替名付あり。

4—31ケ12 は四十五番㊦ 30銭

31546 <sup>ケイセイシノバズガイテ</sup> 傾城忍術池 口明・弐ツ目／三ツ目・  
四ツ目・大切 半1帙4冊  
並木五兵衛作 (1785) 天明5初演

写本

※各冊内題には「いなほ出口へおくらんと／夕暮方の廓の気色」との角書あり。「和田合」の書込みあり。各幕に替名付あり。第2冊見返しに書込み「大坂道髪堀角芝居」云々とあり。

4—31ケ13 □十七番 40銭

31547 <sup>ケイセイハルノトリ</sup> 傾城青陽鷄 一〜七 半1帙7冊  
近松徳史・奈河七五三助・辰岡万作 (1794) 寛政6初演

写本

※第1冊扉題にのみ「其頃の哥開ハはでな男と三人り連／懸て思ひハ昔のあぶみその名にめでゝ」との角書あり。扉の記事に従えば各冊の内容は一「口明」二「弐ツ目」三「三ツ目」四「發端」五「五ツ目」六「大切」七「六ツ目」。錯誤あり。33649参照。

4—31ケ28 表紙改装のため大惣番号不明 70銭

<sup>ケイセイタカサゴノウラ</sup>

31548 傾城高砂浦 上・下 半1帙2冊  
藤川山八・佐倉戸文作 (1765) 明和2初演

写本

※下冊扉題の右左に「明和二年酉二月四日より／京都四條南側芝居 沢村国太郎座」とあり，上冊二ツ目扉題右に「明和四年亥正月十八日より名古屋門前町大須地内ニテ名代和泉屋座本富士松民蔵」とある。三ツ目まで。それぞれに替名付あり。

4—31ケ15 □拾五番 20銭

31549 <sup>ケイセイタレトフシミ</sup> 傾城誰伏見 壹〜四 半1帙4冊  
並木千柳・並木五兵衛作 (1791) 寛政3初演

写本

※内題の用字は多様。「七五三」本。『国書総目録』では作者「初世並木五瓶」。五ツ目まで。それぞれに替名付あり。

4—31ケ16 □六番 40銭

31550 <sup>アネコヒデイモウトカヨヒデ</sup> 姉恋路 傾城稚児淵  
妹通路 <sup>ケイセイチゴガフチ</sup>  
一〜六 半1帙6冊  
筒井三鳥・筒井半二作 (1782) 天明2初演

写本

※「天明貳年寅正月十七日つる屋喜右衛門八文字屋八左衛門板」の絵尽くし4丁を冒頭に附す。七ツ目まで。それぞれに替名付あり。

4—31ケ18 表紙改装のため大惣番号不明 60銭

31551 <sup>イセノシンクラウミノノシヤウクラウ</sup> 伊勢真九郎 傾城千引鐘  
美濃正九郎

一〜四

半1帙4冊

十寸見千四・樂京助・沢村綾助作 (1744) 延享元初演

写本

※題簽と第1冊内題に角書なし。五ツ目まで。それぞれに替名付あり。

4—31ケ19 い□九番㊦ 40銭

31552 <sup>アタケジンベイモクズサンベイ</sup> 安嶽基平 傾城鳶山通  
藻葛三平 <sup>ケイセイタノヤマミチ</sup>

乾・坤

半1帙2冊

作者未詳 (1782) 天明2初演

写本

※五ツ目まで。四ツ目と五ツ目の間に「鴛鴦女 <sup>オシロイ</sup> 夫羽」9丁がある。それぞれに替名付あり。

4—31ケ21 〇九番〇 20銭

31553 ケイセイトカクゲダイノハジマリ  
傾城書外頭始 口明・貳ツ目〜  
五ツ目 半1帙5冊  
奈河亀助・奈河七五三助・春樹元助作 安永8初演  
写本

※各冊に替名付あり。書名、「頭」字ママ。

4—31ケ22 〇〇番 50銭

31554 ケイセイナタネノオホヨセ  
傾城菜種畑 一〜五 半1帙5冊  
辰岡万作 天明6初演  
写本

※第1冊内題にのみ角書「嶋原小蝶／熊手小蝶」あり。第1冊見返しに「口上 此本御覧之上早速御返し可被下候外様に御又かし之儀御断申上候右之通奉願上候以上 亥十月吉日」の貼紙あり。「七五三」本。六ツ目まで。それぞれに替名付あり。

4—31ケ23 大惣番号札剝落 50銭

31555 ケイセイナヤモノガタリ  
傾城閨物語 一〜四 半1帙4冊  
作者未詳 天明元初演  
写本

※野線入り半紙を使用。第1冊内題の左右に内容を略記している。『歌舞伎年表』では「閨物語」。五ツ目まで。それぞれに替名付あり。

4—31ケ24 〇貳拾番全四冊〇 40銭

31556 ケイセイハコデンジュ  
傾城箱傳授 上・中・下 半1帙3冊  
瀬川如皐・奈河篤助・並木正三・近松徳三作  
文化元初演

写本

※33484が同作の絵入根本。『歌舞伎年表』によれば「九州鐘ヶ岬」の作り替狂言也。この時阿波座質屋某へ強盗盗入、鎗を遣し事あり。それを取組し也」。七ツ目まで。それぞれに替名付あり。「箱」は「宮」とも表記。第1丁扉題にのみ角書「よふこ鳥の名笛／いなおふせ鳥の吉釧／もゝちとりの香爐」があり、扉題両傍に内容を記す。「桃我」「伊勢屋太兵衛」印あり。

4—31ケ25 〇オ三番〇 30銭

31557 ケイセイハナノエアハセ  
傾城花繪合 壱〜四 半1帙4冊  
並木十輔・中村阿契・並木吾八作 安永2初演

写本

※第1冊扉題にのみ角書「不破／名古屋」あり。「七五三」本。五ツ目まで。それぞれに替名付あり。

4—31ケ39 〇〇貳番 40銭

31558 ケイセイハナヤツハシ  
傾城花八橋 乾・坤  
(口明／中入・三ツ目／四ツ目／大切)  
半1帙2冊

作者・上演年未詳

写本

※第1冊表紙に「井筒姫／なり平」の小札あり。各幕に替名付あり。口明の扉題の左右には内容を略記、上部には「しみつかうつけかさい女のつよきへ恋路つなかれ牛込なる名孔雀三郎一子の弱忠義にかくまき虎形石」とある。2冊共に「書林指峰堂」の朱印あり。

4—31ケ26 〇〇百六十三〇 20銭

31559 ケイセイ ヒメハジメ  
傾城飛馬始 一〜三 半1帙3冊  
近松徳重・並木五兵衛作 寛政元初演  
写本

※第1冊扉題にのみ角書「栗嶋の若殿は廓の先陣／蚊田の嫁御は閨の勝閑」あり。「七五三」本。四ツ目まで。それぞれに替名付あり。

4—31ケ29 は三百貳十三 30銭

31560 ソノフノモモコタノウメ ケイセイコシデノアケボノ  
蘭生桃 小谷梅 けいせい北國曙  
壱〜四 半1帙4冊  
奈川七五三助・辰岡萬作・並木壽輔作 寛政元初演  
写本

※五ツ目まで。それぞれに替名付あり。「七五三」本。題簽と、二ツ目・三ツ目の扉題には角書なし。

4—31ケ30 〇〇十番 40銭

31561 ケイセイモヤマニシキ  
傾城桃山錦 發端／口明・  
二ツ目／三ツ目・四ツ目／大切  
半1帙3冊  
スケ正三作 宝曆11初演  
写本

※第1冊扉に「座本市山助五郎」とある。市山座での上演は明和5。各幕に替名付あり。

4—31ケ32 〇〇十番 30銭

31562 カンタンノイツキヨクニシユダウフデヨノイロクラベ  
邯鄲の一曲に  
衆道婦女の色くらへ

ケイセイイナギザクラ  
けいせい楊柳櫻 上之巻・中之巻・  
下之巻 半1帙3冊  
(1793)

辰岡万作・近松徳曳作 寛政5初演  
写本

※各冊表紙打ちつけ書の書名には角書なし。「桃  
我」の印あり。下冊末に「主人中村重助／狂言  
作者／市外和七／並木七五三柳／奈川十造」と  
書込み。五ツ目まで。それぞれに替名付あり。  
四ツ目の末尾に「名木ヶ原之白雪」の記事あり。  
4—31ヶ33 〇式拾七全三㊟ 30銭

31563 ソノハナヨメクワダンノハナムコ  
蘭花嫁 けいせいイヤマトザウシ  
萱花簪 けいせい倭莊子

一〜五・□ 大1帙6冊  
(1784)

簡井半二・並木十輔・同五兵衛作 天明4初演

写本  
※「一〜五」の通し番号から外れる1冊には番号  
札「□式十式番㊟」と、「三段目同替せりふ  
べ式段合」の小札を表紙に貼付。この冊は三ツ  
目の替台詞を2部合綴したもの。五ツ目まで。  
替名付はほとんど登場人物名のみ。

4—31ヶ35 □百式拾式 60銭

31564 ケイセイユキミルヤマ  
傾城會誓山 壹〜五 半1帙5冊  
(1799)

並木五瓶・近松徳三作 寛政11初演

写本  
※第1冊扉題にのみ角書「虎と見て石に／立矢の  
有物を」あり。第5冊扉題「契情雪見るやま」。  
「七五三」本。七ツ目まで。それぞれに替名付  
あり。

4—31ヶ37 □十式番四番 50銭

31565 ゲンペイハシラゴヨミ  
源平柱礎暦 上・中・下 半1帙3冊  
(1795)

並木五瓶・松井由輔作 寛政7初演

写本  
※「七五三」本。三ツ目まで。それぞれの冒頭に  
登場人物のみ列挙。

4—31ヶ40 □百六十巻 30銭

31566 ケンマハシサトノダイツウ  
拳禪廓大通 一〜四 半1帙4冊  
(1802)

市岡和七・九二助・勝助作 享和2初演  
写本

※書名のよみ方は第1冊扉題の振仮名による。末  
尾に「享和二戌年二月京四條北側芝居三の替り  
／嵐三吉座」とある。四ツ目まで。それぞれに  
替名付あり。31640参照。

4—31ヶ42 □百三十番 70銭

31567 コヒニヨウバウソメワケタヅナ  
戀女房染分手綱 巻〜三 半1帙3冊  
(1751)

吉田冠子・三好松洛作 宝暦元初演

写本

※第1冊のはじめ7丁に絵尽くしとその原題箒を  
貼付（「戀女房染分手綱繪巻全」）。「七五三」本。  
「大序」の扉題には角書「振袖乳人／留袖招婦」  
あり。七ツ目まで。それぞれの替名付は登場人  
物名のみ。

4—31ヶ5 □百八十七巻番 30銭

31568 コイモミデヲグラノシキン  
濃紅葉小倉色紙 大□・貳ツ目  
〜六ツ目 半1帙6冊  
(1816)

初世奈河晴助作 文化13初演

写本

※「森田」印あり。第1冊は「口切」と「大序」  
から成り、各冊裏表紙に「七冊之内」と記され  
ていることからして、元は分かれていたか。各  
幕に替名付あり。

4—31ヶ3 い□六全六冊 60銭

31569 ゴダイリキコヒノフウジメ  
五大力恋封目 上・中・下 半1帙3冊  
(1794)

並木五瓶作 寛政6初演

写本

※上記書名は各冊題簽による。『歌舞伎年表』そ  
の他には「五大力恋緘」として出る。各冊に替  
名付あり。

4—31ヶ2 □三十五 30銭

31570 カナザウシコクセンヤジツロク  
假名草紙國性爺實録 一〜四 半1帙4冊  
(1760)

竹田治藏・市山ト平作 宝暦10初演

写本

※「七五三」本。五ツ目まで。それぞれに替名付  
あり。

4—31ヶ15 □十三 40銭

ランナフウゾクモンゼン  
31571 媚風俗文選 一〜四 半1帙4冊  
三郎兵衛・並木五瓶作 寛政元初演  
写本  
※大序・二ツ目・四ツ目の扉題には角書「牡丹ハ  
奥様／山吹ハ傾城／芍薬ハ於妾」あり。「七五  
三」本。「名古屋／門前町／伊勢屋太兵衛」印  
あり。表紙改装。五ツ目まで。それぞれに替名  
付あり。

4—31オ9 百五十番 40銭

コウメヨシベエ コビチャゾメクリダシ コモン  
31572 小梅 媚茶染繰出小紋 上・中・  
由兵衛 下 半1帙3冊  
竹本三郎兵衛・並木十輔作 明和6初演  
写本  
※五ツ目まで。それぞれに替名付あり。

4—31コ4 〇式百七十式 30銭

コレタカシンワウマジユツノカンムリ  
31573 惟高親王魔術冠 口明／二ツ目・  
三ツ目／四ツ目 半1帙2冊  
並木正三作 明和3初演  
写本  
※原4冊を2冊に合綴。「永東」印あり。各幕に  
替名付あり。

4—31コ6 百五十八全四冊は 20銭

サツマブシゴニンキリコ  
31574 薩摩節五人切子 乾・坤 半1帙2冊  
作者未詳 天明8初演  
写本  
※「七五三」本。扉では2冊を「上乃巻」「下の  
巻」とする。両冊冒頭に登場人物名のみ列挙。

4—31サ1 〇百七十八 20銭

サンジフサンネンキタモトノシラシボリ  
31575 卅三年忌袂白絞 一〜三  
半1帙3冊  
並木永輔・野田基六・松屋平助作 元文5初演  
写本  
※五ツ目まで。それぞれに替名付あり。各幕扉題  
には角書「上代染模様／幾久松筋縄」あり。

4—31サ7 〇百七十壹〇 30銭

オシユンデンベエ  
31576 おしゆん 猿曳門出諷 上・下  
傳兵衛 半1帙2冊

作者未詳 寛政10初演  
写本  
※上記書名の角書は上冊扉題による。各冊題籤お  
よび下冊扉題には角書なし。「口」と「詰」の  
2幕より成り、ともに冒頭に登場人物名のみ列  
挙。「七五三」本。

4—31サ4 〇百三十七 20銭

シマメグリウソノキキガキ  
31577 嶋廻戯聞書 一〜五 半1帙5冊  
初世並木五瓶作 寛政6初演  
写本  
※五ツ目まで。それぞれに替名付あり。

4—31シ3 い百九十巻 50銭

シャウウツシクルワハツケイ  
31578 生寫廓八景 一〜六 半1帙6冊  
作者・上演年未詳  
写本  
※第1冊扉題にのみ角書「高尾山の饗應は稲野谷  
半兵衛／黄檗山の料理は八百屋半兵衛」あり。  
六ツ目まで。各冊に替名付あるが、四ツ目以下  
は登場人物名のみ。「七五三」本。

4—31シ5 表紙改装のため大惣番号不明 60銭

シンザウイモセ ノナカグミ  
31579 新造妹脊の中酌 上・下  
半1帙2冊

作者・上演年未詳  
写本  
※「七五三」本。『歌舞伎年表』に不載。「口」と  
「詰」より成り、それぞれ冒頭に登場人物名の  
み列挙。

4—31シ6 〇式百九十三式冊 20銭

ヨクラウギツネメデヨラウギツネ  
31580 与九良狐 小女良狐 神勅嫁入小鍛冶  
半1帙1冊  
作者未詳 文化10初演  
写本

※「七五三」本。「發端」「口」「詰」より成る。  
「口」には替名付あり。「詰」には登場人物名  
のみ列挙。

4—31シ7 〇式百九十四〇 10銭

スミダガハゴニチノオモカゲ  
31581 隅田川續俳 上・下 半1帙2冊  
奈河七五三助・増山太郎七作 天明4初演  
写本

※上冊扉題にのみ「吾妻世話事／宮古時代事」なる角書あり。「七五三」本。四ツ目まで。各幕に替名付あり。ただし大切（四ツ目）は登場人物名のみ。

4—31ス1 ろ三百〇番弐番 20銭

ランナセイゲンヨシダマツワカ  
女 清 玄 スミダ ガハハナノゴシヨゾメ  
31582 吉田松若 隅田川花御所染

上・中・下 半1帙3冊

四世轟屋南北作 (1814) 文化11初演

写本

※大野屋の半紙を使用。扉に「二番目狂言」とある。上冊冒頭にのみ替名付あり。本文、途中で切れる。

4—31ス2 弐百〇弐〇 30銭

チハガハイハガハ セキトリセンリヤウノボリ  
千羽川 岩 川 關 取 千 兩 幟  
31583

半1帙1冊

金治・重助作 (1769) 明和6初演

写本

※上の巻・中の巻・下の巻より成り、それぞれの冒頭に登場人物名のみ列挙。「七五三」本。冊子下部一部破損を補修してある。

4—31セ1 三百拾弐番〇 10銭

タカキヤバシチ シホノカラス  
31584 高臺橋血汐の鳥 一〜五 半1帙5冊

初世並木正三作 (1753) 宝暦3初演

写本

※第1・2冊扉題にのみ角書「雷電源八／八十嶋吉平」あり。「七五三」本。『国書総目録』には「高台橋蚊鳥、(角書)八十嶋雷電」として載る。六ツ目まで。二ツ目以下の各幕冒頭では登場人物名のみ列挙。扉題では「め」字も使用。

4—31タ2 百弐十八 50銭

タケノアキヨシハラスズメ  
31585 竹 龜 吉 原 雀 上・中・下 (一〜三)

半1帙3冊

作者未詳 (1792) 寛政4初演

写本

※題簽中に「改」の印あり。各巻に替名付あり。

4—31タ3 百三十八 30銭

ダ テスガタハギノ エドヅマ  
31586 伊達模様萩之江都裙 一〜四・  
對決場 半1帙5冊

(1798)  
近松徳三・奈河篤助・二世並木正三作 寛政10初演  
写本

※第1・3・4冊見返しに「三番」と書込み。書名の用字は多様。第1冊見返しに貸本屋の書込みあり。第5冊見返しに㊦印あり。大惣の半紙を使用。一〜四で七ツ目(大切)まで。それぞれに替名付あり。

4—31タ6

□三十弐(一)／百三十弐番(對決場) 50銭

コンビラリシャウ チ ゴノカタキウチ  
金毘羅 利 生 幼稚子敵討 上・中・下  
31587

半1帙3冊

作者未詳 (1831) 天保2初演

写本

※題簽の角書は「金毘羅／御利生」。上・中冊の裏表紙見返しに「操冠舎」の書込みあり。3冊ともに「短□」の朱印あり。五ツ目まで。それぞれに替名付あり。朱筆書込みあり。

4—31チ1 セ三百五十一㊦ 30銭

チュウシンフタバグラ  
31588 忠臣双葉藏 一〜四 半1帙4冊

辰岡万作 (1792) 寛政4初演

写本

※「七五三」本。七ツ目まで。それぞれの冒頭に登場人物名のみ列挙。扉題の用字多様。

4—31チ3 い三百五十七全四 40銭

ダイダワンジャウジュ テンガヂヤムラ  
31589 大願 成就 殿下茶屋聚 口明・

貳幕目〜五幕目・大切 大1帙6冊

並木十輔・並木五兵衛・奈河亀輔作 (1781) 天明元初演

写本

※「名古屋／伊勢屋太兵衛／門前町」の印あり。各幕に替名付あり。口明の扉題右に「天明二寅年二ノ替」とある。

4—31テ1 百五十九㊦ 60銭

テンマンクウナタネゴクウ  
31590 天満宮菜種御供 一〜四

半1帙4冊

並木吾八・中邑阿契・辰岡万作 (1777) 安永6初演

写本

※第1冊のはじめ6丁に「座本小川吉太郎」とある絵尽くしを附す。大序の扉題の左右にのみ角書「筑紫飛雀の奇瑞／八百七十五年神廻」あり。「七五三」本。九ツ目まで。それぞれに替名付

あり。33488参照。

4—31テ3 い百六十巻 40銭

31591 トミガラカコヒノヤマビラキ  
富岡戀山開 上・中・下 半1帙3冊  
(1798)

初世並木五瓶作 寛政10初演  
写本

※五ツ目まで。それぞれに替名付あり。各幕扉題  
には角書「玉屋新兵衛／三國屋小女郎／出村新  
兵衛」あり。上冊見返しに「一ほん三〇一十八  
匁」の書込みあり。

4—31ト1 い八十九 30銭

31592 クスノキマサツラコレハクスノキマサツラコレハ  
楠正行是ハ 半1帙2冊  
楠正行是ハ (1792)

同計略花芳野山 上之巻・下之巻 半1帙2冊  
(1792)

初世並木五瓶作 寛政4初演  
写本

※「文貫堂」印あり。両巻に替名付あり。

4—31ト2 大惣番号札原欠か 20銭

31593 ナベマツリテイヂョクラベ  
鍋祀貞婦競 巻〜四 半1帙4冊  
(1777)

並木吾八・中邑阿契・辰岡萬作 安永6初演  
写本

※七ツ目まで。それぞれに替名付あり。第1冊末  
に「持主／奈川」などと書込み。

4—31ナ2 □百三十八 40銭

31594 ニワウモンハウタノラクガキ  
二王門端歌難録 一〜五 半1帙5冊  
(1782)

並木十輔・奈河亀助・並木五兵衛作 天明2初演  
写本

※「七五三」本。第1冊見返しに「三番」と書込  
みあり。第一〜第四・道行第五第六・第七・第  
八大切という構成で、それぞれに替名付あり。

4—31ニ1 □八十巻 50銭

31595 ニグワツダウアカツキノカネ  
二月堂曉鐘 一〜四 半1帙4冊  
(1746)

松屋来助・中田五八作 延享3初演  
写本

※「七五三」本。五ツ目まで。それぞれに替名付  
あり。

4—31ニ2 □八十式番 40銭

ハナハサクラギアカホノシホガマ

31596 日本花赤城塩竈 一〜四

半1帙4冊  
(1777)  
安永6初演

中邑阿契・並木五兵衛作  
写本

※表紙改裝。第1冊扉に「巳春大坂角芝居藤川座  
新狂言」とある。五ツ目まで。それぞれに替名  
付あり。各幕扉題には角書「假名手本清書／忠  
臣講釈拔書」あり。さらに題名の右下に「いろ  
は文字」, 左下に「四十七段續」とある。

4—31ニ3 は百六十七 40銭

キブンオンツ  
紀文 サトコトバアハセカガミ  
お賤 青樓詞合鏡 上・下

31597 半1帙2冊  
(1797)  
初世並木五瓶作 寛政9初演  
写本

※「七五三」本。上冊表紙に「万字屋ハツ橋／佐  
野次郎左衛門」なる小札あり。上冊は「上の巻」,  
下冊は「中のまき」・「下の巻」より成り, 各巻  
に替名付あり。

4—31サ2 □百七十九〇 20銭

ハコネレイゲンイザリノアダウチ

31598 箱根靈驗覺仇討 一〜五

半1帙5冊  
(1801)  
享和元初演

司馬芝叟原作  
写本

※「七五三」本。ハツ目まで。それぞれ冒頭に登  
場人物名のみ列挙。

4—31ハ1 □三百六十式 50銭

ハデクラベシカハゾメ

31599 艶競石川染 一〜四 半1帙4冊  
(1796)

近松徳三・並木正三・辰岡萬作 寛政8初演  
写本

※野線入りの半紙を使用。第1冊に同名の絵尽く  
し4丁(中本)を綴じ込んでいる。それは「八  
文字屋八左衛門板元」で「京四条北側東の芝  
居」, 表紙に筆彩を施している。七ツ目まで。  
それぞれに替名付あり。

4—31ハ3 □十五〇 40銭

ハナノミヤコキヨミツヨガイチャウ

31600 花洛清水夜開帳 一〜三

半1帙3冊  
(1836)  
天保7初演

作者未詳  
写本

※「七五三」本。表紙改裝。「ミヤコキヨミヅヨ  
ガイチャウ」とも呼ぶか。四ツ目まで。それぞ  
れに替名付あり。

4—31ハ5 □百五十番 30銭

モミダアキバハナシ  
31601 紅楓秋葉話 一〜六 半1帙6冊  
作者・上演年未詳

写本

※表紙改裝。七ツ目まで。それぞれに替名付あり。  
各冊扉題には角書「廓に花月の香合／名に月本  
の歌合」あり。

4—31ハ6 百六十三番 60銭

ヒビキノナダイリフネバナシ  
31602 響灘入船噺 一〜四 半1帙4冊  
奈河七五三助作 寛政3初演

写本

※「七五三」本。六ツ目まで。それぞれに替名付  
あり。ただし二ツ目・四ツ目は登場人物名のみ。

4—31ヒ2 □百九十六〇 40銭

ヒメコマツネノヒノアソビ  
31603 姫小松子日の遊 乾・坤 半1帙2冊  
吉田冠子・近松景鯉・竹田小出雲・近松半二・三好  
松洛原作 宝暦8初演

写本

※乾冊終丁に「文化三丙寅年正月大吉日（中略）  
作者奈川七五三助」とある。「七五三」本。序  
詰・二ノロ・二ノ詰・三ノロ・三ノ詰より成り、  
それぞれ冒頭に登場人物名のみ列挙。

4—31ヒ3 □百七十巻 20銭

ホウデウゴダイキョリアヒバナシ  
31604 北條五代記會説 一〜四

半1帙4冊

奈河亀助・並木吾八作 安永5初演

写本

※「七五三」本。五ツ目まで。それぞれに替名付  
あり。

4—31ホ1 □十五番 40銭

マヒアフギナンカバナシ  
31605 舞扇南柯話 壹〜七 半1帙7冊  
近松徳三・初世市岡和七作 文化5初演

写本

※第1冊扉題にのみ角書「赤根半七／笠屋三勝」  
あり。作者名は『国書総目録』に拠る。『歌舞  
伎年表』文化7再演の項には徳三・三四助作と

ある。「七五三」本。七ツ目まで。それぞれに  
替名付あり。

4—31マ2 □百式十九 70銭

マツシタカヘイダレンガヒヤウバン  
31606 松下嘉平治連歌評判 一〜四  
半1帙4冊

初世奈河亀助等作

写本

※大序・二ツ目・二ツ目ノ詰・三ツ目詰・四ツ目  
口・大切より成り、それぞれに替名付あり。た  
だし四ツ目口・大切では登場人物名のみ。二ツ  
目ノ詰・大切の扉題には角書「愛宕山にて吟逆  
意／本能寺にて得巻首」あり。「七五三」本。

4—31マ1 □百十九 40銭

ミヤコケンブツザエモン  
31607 洛陽見物左衛門 一〜五 半1帙5冊  
並木五兵衛作 天明4初演

写本

※「七五三」本。第1冊扉題にのみ角書「愛護／  
増補」あり。六ツ目まで。それぞれの冒頭に登  
場人物名のみ列挙。

4—31ミ1 ろ□四十巻 50銭

ムカシムカシソネザキムラノワハサ  
31608 往古曽根崎村噂 上・中・下

半1帙3冊

近松半二・近松善平原作

天保5初演

写本

※上冊扉題にのみ角書「天満屋おはつ／平野屋徳  
兵衛」あり。浄瑠璃の初演は安永7。「七五三」  
本。各冊に登場人物名のみ列挙。

4—31ム1 い□八十三 30銭

サトミイスケタルヤオセン  
31609 里見伊助 樽屋お仙 名作切籠噺

乾・坤（上之巻・下之巻） 半1帙2冊

近松徳三作

享和元初演

写本

※上記書名は題籤による。乾冊扉題の角書は「宝  
永年中伏見の喧嘩／聞たか聞たか月は十六夜」。  
「七五三」本。乾冊に替名付。坤冊には登場人  
物名のみ列挙。

4—31メ1 □八十八番〇 20銭

メイブツツグレンノハマグリ  
31610 名物時雨蛤 壹〜肆 半1帙4冊  
作者未詳 寛政3初演

写本

※五ツ目まで。それぞれに替名付あり。早稲田大学蔵『大惣目録』に「開発廓歩尺ト同物」とある。第1冊第2丁オモテに「桃我」の蔵書印あり。

4—31×2 う百八十番 40銭

31611 <sup>メイボクセンダイハギ</sup> 伽羅先代萩 壹～六 半1帙6冊  
奈河亀助作 <sup>(1777)</sup> 安永6初演

写本

※第1冊扉題にのみ角書「奥州秀衡／跡目争論」あり。「七五三」本。第1冊裏に「作り替傾城陸玉川／又伊達姿萩の江戸妻」と記した小札あり。「名木仙臺萩」とも表記。大序・序詰・二ノロ・二ノ詰・三ノロ・三ノ詰・四ノロ・四ノ詰・五段目大切より成り、それぞれに替名付あり。

4—31×4 □百五十六 60銭

31612 <sup>ニツボンダイイチ</sup> 日本第一 <sup>メ カリノシンジ</sup> 和布苅神曳 口明・貳ツ目  
～五ツ目・大切 半1帙6冊  
並木正三作 <sup>(1773)</sup> 安永2初演

写本

※第2冊見返しに「尾州清壽院芝居來月二月十六日ヨリ／長州赤間関／房州金帶橋／日本第一和布苅神事／續六幕／明十六日大入／今日札揃拾六文」と書込み。各冊に替名付あり。

4—31×6 □百八十式 60銭

31613 <sup>メ デ タカシケイセイノハジマリ</sup> 目出度かしく傾城始 一～四 半1帙4冊  
並木利助・境屋善平作 <sup>(1769)</sup> 明和6初演

写本

※「七五三」本。五ツ目まで。それぞれに替名付あり。

4—31×7 ろ百七十九番 40銭

31614 <sup>ユ ヤゴゼンタヒラノモンビ</sup> 熊野御前平紋日 乾・坤 半1帙2冊  
並木永輔・松屋來助作 <sup>(1742)</sup> 寛保2初演

写本

※各冊扉題には角書「宮古嵐原／鬼界嵐原」あり。四ツ目まで。二ツ目以外に替名付あり。「本屋久八」印あるも、墨で塗抹。

4—31×1 □貳百八十四〇 20銭

<sup>ハンベエコイナ</sup> 半兵衛 <sup>ユフスズミチシホノカヤ</sup> 夕涼盜蚊帳 壹～三

31615 半兵衛 夕涼盜蚊帳 壹～三 半1帙3冊  
作者未詳 <sup>(1768)</sup> 明和5初演

写本

※上記書名は内題による。題籤には角書なし。各冊に替名付あり。『歌舞伎年表』には「夕涼盜改長」として載る。上記の振仮名は『国書総目録』による。第3冊裏見返しに「明和五子年／六月替／京四条北側芝居／尾上久米助座／尾上紋太良座」とある。

4—31×2 い□百八十六 30銭

31616 <sup>イウゼンゾメ ザ シキハツケイ</sup> 優然染座敷八景 乾・冊 半1帙2冊  
奈河亀助・初世奈河七五三助作 <sup>(1783)</sup> 天明3初演

写本

※「七五三」本。四ツ目まで。それぞれに替名付あり。『国書総目録』によれば角書「小いな／半兵衛」。

4—31×3 ろ貳百八十七 20銭

31617 <sup>ヨシハラサイケンノゾ</sup> 吉原細見圖 上・下 半1帙2冊  
初世並木五瓶作 <sup>(1794)</sup> 寛政6初演

写本

※「七五三」本。上之巻（上冊）、中之巻・下之巻（下冊）より成り、それぞれに替名付あり。

4—31×1 は貳百三十九 20銭

31618 <sup>ヨリマサヌエモノガタリ</sup> 頼政鶴物語 大序貳冊目・三冊目／  
四冊目・五冊目～七冊目 半1帙5冊  
初世奈河晴助等作 <sup>(1821)</sup> 文政4初演

写本

※各冊表紙の打ちつけ書の書名の上に「時鳥名をも／雲井に／登るかな／弓張月の／いるに任せて」とある。第1冊表紙に「文政四年巳八月朔日ヨリ／北新地芝居ニテ／尾上馬之助／嵐橋三郎 <sup>名譽</sup> 狂言」とある。また「繪入」とあるが絵はない。各幕に替名付あり。

4—31×2 百貳十六 50銭

31619 <sup>ヤマトコトバスイコデン</sup> 和訓水滸傳 壹～四 半1帙4冊  
五十五十輔作 <sup>(1776)</sup> 安永5初演

写本

※各冊見返しに「式番」とある。振仮名は『歌舞



伎年表』による。第一・二ツ目・三口小幕・三ツ目・三段目の切・四ツ目より成り, それぞれに替名付あり。

4—3171 ろ百〇七 50銭

ワタリゾメキンタイケウ  
31620 渡 始 錦 帯 橋 半1帙1冊  
作者未詳 (1811) 文化8初演  
写本

※「七五三」本。口・詰より成り, それぞれに替名付あり。

4—3172 ろ貳百三十巻 80銭

## 丸本版本台帳

アヅマミヤゲウツシエクワイダシ  
31621 東土産寫繪怪談 壹~六 半1帙6冊  
九樂山人作・自序 (1863) 文久3初演

大和 布屋善兵衛・伊勢屋孫三郎・文翰屋廣成  
※各巻の内題「果ヶ淵戀柵」。この外題による初演は弘化3。また、嘉永2版がある。多色刷口絵あり。

4—3174 む三百四十番五冊 60銭

イ ロ ハ カ ナ ヨツヤクワイダシ  
31622 いろは假名四谷怪談 壹~五・ (後編) 壹~五 半1帙10冊

鶴屋南北作, 春梅齊北英画 (1826) (1834) (1835)  
文政9初演, (正編) 天保5刊, (後編) 同6刊  
名古屋 松屋善兵衛 (本町通), 京 鉛屋安兵衛 (寺町通御池上ル), 大阪 河内屋太助 (心齋橋唐物町)

※正編・後編各第1冊に多色刷の口絵および替名付あり。各巻内題は「繪本いろは假名四谷怪談」。各編第5冊末に出版目録あり。また、後編第1冊末に『三都役者大評判記』の広告あり。

4—3177 む三百〇〇 1円

オソメヒサマツウキナノヨミウリ  
31623 於染久松色讀販 壹~五 半1帙5冊

鶴屋南北作, 花笠魯介 (文京) 序, 歌川國貞画 (1813) (1831)  
文化10初演, 天保2序・刊

江戸 鶴屋喜右衛門 (通油町), 名古屋 松屋善兵衛 (本町), 京 鉛屋安兵衛 (寺町通御池), 大坂 河内屋太助 (心齋橋通唐物町)

※第1冊は序・多色刷口絵・文化10興行時の替名付・文政3興行時の替名付・画工國貞の文・歌祭文 (生玉野口屋板) から成り, 第2~5冊が本文。文化10替名付によれば作者は南北のほか、に櫻田治助・槌井瓢七・花笠魯助・勝浦周藏。第5冊末に河内屋の広告あり。

4—3171 む三百四拾三全六冊 50銭

シバキマルホン 雑劇 オホモングチヨロヒガサネ  
31624 院本 大門口 鎧 襲 卷之壹~ 半1帙7冊  
卷之七

並木宗輔・並木榮輔作, 曉鐘成画 (1743) (1826)  
寛保3初演, 文政9刊

大坂 河内屋太助 (心齋橋條唐物街)

※第1冊見返しに替名付あり。三色刷口絵3丁あり。第7冊末に河内屋の出版広告2丁あり。

4—3175 む三百三十六大門口七冊 70銭

エホンカケハシモノガタリ  
31625 畫本棧道物語 一~六 半1帙6冊  
松好斎半兵衛画 刊年不明

名古屋 松屋善兵衛 (本町十丁目), 京 鉛屋安兵衛 (寺町通御池上ル), 大阪 塩屋長兵衛 (心齋橋通伝馬町)・河内屋太助 (心齋橋通唐物町)

※巻之一巻頭内題のみ「繪本花楓秋葉話」。『国書総目録』によれば文政2版 (7冊)・天保13版 (7冊) あり。第6冊の見返しなどに「木曾棧秋葉御利生/片岡我童」などと書込み。各内題下などに「東書房」の朱印あり。第1冊に替名付, 第6冊末に河内屋の目録2丁あり。

4—3172 む三百拾三全六冊 60銭

カタキウチウラノアサギリ  
31626 敵討浦朝霧 壹回・貳門・三津・ 半1帙7冊  
四對・伍通・陸川・七都 (1815) (1834)  
奈河晴助作, 春江齊北英画 文化12初演, 天保5刊  
大坂 文金堂 (河内屋) 森本太助 (心齋橋唐物町), 名古屋 松屋善兵衛 (本町通), 京 鉛屋安兵衛 (寺町通御池上ル)

※第2・4・6冊の原題簽は「ほのほのとうらの朝きり」。第1冊に多色刷口絵4丁と替名付あり。第5冊末に葉の広告。第7冊末に出版広告

3丁あり。

4—31カ2 む三百四十六浦朝霧七冊 70銭

カタキウチタカネノタイコ

31627 敵討高音鼓 前編壹〜五・

後編壹〜五 半1帙10冊

初世奈河七五三助・並木三四助・近松要助作、梅窓  
(1808) 園貞芳画 文化5初演、天保12刊

尾張 松屋善兵衛、京 吉野屋仁兵衛・鉛屋安  
兵衛、大阪 河内屋太助(心齋橋唐物町)

※各巻内題は「復讐高音鼓」で、替名付では更に  
角書「富士／浅間」が付く。前編後編各第1冊  
に多色刷口絵4丁つつあり。

4—31カ7 む三百五拾六全五冊 1円

カタキウチチカヒノシガラミ

31628 敵討義戀柵 前編壹〜五・

後編壹〜五 半1帙10冊

春梅齋北英画 (1812) 文化9初演、天保8刊

大坂 河内屋太助(心齋橋唐物町)、京 鉛屋  
安兵衛・吉野屋仁兵衛、名古屋 松屋善兵衛  
(本町十丁目)

※『歌舞伎年表』によると晴助・七五三助作で、  
『国書総目録』によると初世奈河晴助・初世奈  
河七五三助・田辺弥七の作。前後編各第1冊に  
多色刷口絵、前編第1冊に替名付あり。後編末  
に出版広告3丁あり。

4—31カ8 前編五冊む三百五十巻  
／後編五冊む三百五十式 1円

カツラガハレンリノシガラミ

31629 桂川連理柵 一〜五 半1帙5冊

菅専助原作 (1784) 天明4初演

書肆・刊年不明

※第1冊に多色刷口絵2丁半と替名付あり。替名  
付の書名に角書「二世の心中／お半長右衛門」  
あり。第5冊、内題では巻次が「後編壹之巻」  
とあり、以下の巻を欠く。

4—31カ12 む三百六拾七巻番 50銭

カミカケテチカヒノツマダシ

31630 定結納爪櫛 一〜四・(四之下)・

五ノ上・五ノ下 半1帙7冊

奈河晴助作、梅枝軒泊鷺序、狂書堂蘆洲画  
(1814) (1815) 文化11初演、同12序・刊

名古屋 松屋善兵衛、京 鉛屋安兵衛、大坂  
塩屋長兵衛・河内屋太助

※「四」冊と「五ノ下」冊末に刊記があり、「五

ノ下」冊の書肆は塩屋と河内屋のみ。原題簽は  
「必あふと後の文／添て送りし一品は／神かけ  
て誓爪櫛」。第1冊に多色刷口絵と替名付あり。

4—31カ14

む三百式十巻前編四冊／む三百廿式後三 70銭

ケイセイアソヤマザクラ

31631 契情遊山櫻 一〜七・後編巻之壹〜

巻之六 半2帙13冊

南々川貞広・歌川貞芳画

(1797) (1839) 寛政9初演、(前)天保10刊、(後)同11刊

大阪 河内屋太助(心齋橋唐物町)、京 鉛屋  
安兵衛(寺町通御池上ル)・吉野屋仁兵衛、名  
古屋 松屋善兵衛(本町十丁目)

※前後編各第1冊に多色刷口絵および替名付あり。  
替名付の書名には角書「小西が好色／加藤が軍  
術」あり。各編末に出版広告あり。

4—31ケ1

む三百五拾四七冊／む三百五拾五六冊 1円30銭

ケイセイアマノハゴロモ

31632 契情天羽衣 壹〜七 半1帙7冊

梅枝軒泊鷺序、柳齊重春画 (1833) 天保4初演・刊

名古屋 松屋善兵衛(本町通)、京 鉛屋安兵  
衛(寺町通御池上ル)、大阪 河内屋太助(心  
齋橋唐物町)

※冒頭に多色刷口絵2丁半および替名付あり。末  
尾に出版広告3丁あり。

4—31ケ38 む三百四十五全七〇 70銭

エホンコガネノシヤチホコ

31633 繪本黄金鱸 一〜七 半1帙7冊

曉鐘成作、春奴齋北洲・春陽齋北敬・春貞画  
(1820) 文政3刊

大阪 河内屋太助(心齋橋通唐物町四丁目)

※上記書名は内題による。墨書題簽には「傾城黄  
金鱸」とある。第1冊に多色刷口絵2丁半と替  
名付あり。第7冊末に出版広告2丁あり。その  
広告末尾には、河内屋以外に、名古屋 松屋善  
兵衛(本町十丁目)、京 鉛屋安兵衛(寺町通  
御池上ル)、大坂 塩屋長兵衛(心齋橋通伝馬  
町)の名が列举されている。

4—31ケ7 む□百三拾 70銭

ケイセイサノフナハシ

31634 傾城佐野の船橋 一〜七 半1帙7冊

奈河七五三助作、南々川貞廣画  
(1812) (1838) 文化9初演、天保9刊

名古屋 松屋善兵衛（本町十丁目）、京 鉛屋安兵衛（寺町通御池上ル）・吉野屋仁兵衛、大坂 河内屋太助（心齋橋唐物町）

※各巻の内題「繪本傾城佐野の船橋」。原題簽の用字「傾城」「契情」両用。第1冊に多色刷口絵4丁半と替名付あり。第7冊末に出版広告3丁あり。

4—31ヶ9 む三百五十三全七 70銭

31635 ケイセイ素袍躰 一〜七 半1帙7冊  
奈河七五三助・奈河亀助作、柳斎重春画

(1777) (1831)  
安永6初演、文政14（天保2）刊

大坂 河内屋太助（心齋橋通唐物町）、京 鉛屋安兵衛（寺町通御池上ル）、名古屋 松屋善兵衛（本町十丁目）

※第1冊に多色刷の口絵と替名付あわせて5丁半あり。見返し内題には角書「大幅組には戀慕の春雨／小袖組には愛情の名月」あり。第6冊末に葉の広告3丁、第7冊末に出版広告2丁あり。

4—31ヶ14 む三百四十式素袍躰七冊 70銭

31636 チゴガフチ 稚児ヶ淵 卷之一〜七 半1帙7冊  
筒井半二作、柳斎重春画

(1782) (1832)  
天明2初演、天保3刊

大阪 河内屋太助（心齋橋通唐物町）

※第1冊に多色刷の口絵と替名付あわせて4丁半あり。原題簽「けいせい稚児淵」、替名付ではこれに角書「姉戀路／妹通路」が付く。第3冊末に葉の広告、第7冊末に河内屋らの出版広告あり。

4—31ヶ17 む三百四十四ちごが淵七冊 70銭

31637 ケイセイツクシノツマゴト けいせい筑紫猿 （前編）一〜五・

（後編）一〜六 半1帙11冊

長谷川貞信画 (1814) (1844)  
文化11初演、弘化元刊

大坂 文繡堂河内屋平七

※前後編各第1冊に多色刷口絵3丁と替名付あり。後編の大惣番号札剝落。「松坂／新町／織戸金兵衛」の印あり。刊年は『国書総目録』による。替名付の書名には角書「應永年中大磯に／花燈の監觴／其比流行朝泉の／唱歌を」あり。「九の月九日藥」や「<sup>(マ)</sup>本類 絵舂紙 仕入所霧屋治助」の広告あり。

4—31ヶ20 む三百六拾五初篇五冊 1円10銭

31638 エホン 繪 ヤマトサウジ 本 倭莊子 一〜六 半1帙6冊  
浅芦國画 (1818)  
文化15刊

大坂 河内屋太助（心齋橋通唐物町）

※第1冊に多色刷口絵2丁半と替名付あり。原題簽「<sup>(似顔)</sup>傾城倭莊子」<sup>(繪入)</sup>、替名付では「<sup>(園芸)</sup>嫁けい<sup>(花嫁)</sup>せい倭莊子」。第6冊末に河内屋の出版広告あり。

4—31ヶ34 む三百十八倭莊子六冊 60銭

31639 ケイセイユキミルヤマ けいせい會稽山 前編壹〜七 半1帙7冊  
(1798) (1842)

近松徳三作、五蝶亭貞廣画 寛政10初演、天保13刊  
名古屋 松屋善兵衛（本町十丁目）、京 鉛屋安兵衛（寺町通御池上ル）・吉野屋仁兵衛、大坂 河内屋太助（心齋橋唐物町）

※第1冊に多色刷口絵3丁半と替名付あり。原題簽「契情」「傾城」また、「ゆきみる山」とも書く。

4—31ヶ36 む三百五拾八七冊 70銭

31640 ケンマハシサトノダイツウ 拳輝廓大通 一〜四・後編一〜三 半1帙7冊

狂画堂蘆洲画 (1802) (1815) (1816)  
享和2初演、（初）文化12刊、（後）同13刊

大坂 塩屋長兵衛（心齋橋通伝馬町南エ入）・河内屋太助（唐物町南エ入）

※各巻内題「<sup>(は)</sup>雑唱歌長崎土産」。後編末の広告に名を連ねる書肆は上記以外に、江戸 鶴屋喜右衛門（通油町）・西村與八（馬喰町三丁目）、名古屋 松屋善兵衛（本町十丁目）、京 鉛屋安兵衛（寺町通御池上ル）。31566参照。初編第1冊に多色刷口絵3丁と替名付あり。

4—31ヶ41 む三百四十〇廓大通初編四冊  
／三百四十四〇廓<sup>(後)</sup>後篇三冊 70銭

31641 ゴダイリキ 五大力 壺〜四 半1帙4冊  
松好齋半兵衛画 刊年不明

大坂 塩屋長兵衛（心齋橋通北久太郎町北エ入）・河内屋太助（唐物町南エ入）

※墨書題簽中に「一名／いつまで草」と書込み。各巻内題は「戯場いつまで草（壁生草）」第1冊の見返しに文金堂の口上、第1丁が発句、以下2丁半が多色刷口絵、続いて替名付あり。

「五大力恋絨」の初演は寛政6。早稲田大学蔵  
(1794)  
(1808)  
の大惣本目録には「文化五」と注記あり。

4—31コ1 む三百拾五全四冊㊦ 40銭

31642 オシユンデンベエ  
お 俊 サルマハシカドデノヒトフシ  
傳兵衛 猿 曳 門 出 諷 壹～参

半1帙3冊

劇場好の一人本利序 寛政10初演、刊年不明  
(1798)  
名古屋 松屋善兵衛、大坂 塩屋長兵衛（心斎  
橋通北久太郎町北江入）・河内屋太助（心斎橋  
通唐物町南江入）

※口絵3丁半ばかりでなく、本文中の挿絵も多色  
刷。口絵に続いて替名付あり。第3冊見返しに  
「昔語質屋庫」の広告札あり。

4—31サ3 む三百拾七全三冊㊦ 20銭

31643 サンカウグシ  
三勝櫛 （前編）壹～四・（後編五～八）

半1帙8冊

曲亭馬琴序、浪華春好齋画 文化8序  
(1811)  
（前編）名古屋 松屋善兵衛（本町十丁目）、  
大坂 塩屋長兵衛（心斎橋通北久太郎町北江入）  
・河内屋太助（唐物町南江入）  
（後編）上記のほか、江戸 鶴屋喜右衛門  
（通油町）・西村與八（馬喰町三丁目）、京 鉛  
屋安兵衛（寺町通御池上ル）

※各巻内題は「三勝櫛赤根色指」。第1冊に多色  
刷口絵3丁あり。後編の大惣番号札は、第5・  
6冊に同番号のものが貼られている。

4—31サ5 三勝櫛前編む三百拾八全四  
／三勝櫛後編む三百拾九全四 80銭

31644 エホンサンジツコクヨフネノハジマリ  
繪本三拾石燈始 一～六

半1帙6冊

並木正三作、曉鐘成画 文政4刊  
(1821)  
大阪 文金堂森本太助（心斎橋通唐物町）

※第6冊末の出版広告には文金堂以外に、名古屋  
松屋善兵衛（本町十丁目）、京 鉛屋安兵衛  
（寺町通御池上ル）、大阪 塩屋長兵衛（心斎  
橋通傳馬町）が名を連ねている。上記書名は各  
巻内題による。墨書題籤「三十石夜舟始」。第  
1冊に多色刷の口絵と替名付あわせて3丁半あ  
り。替名付の題には角書「源八渡／平太堤」あ  
り。

4—31サ6 む三百三拾壹 60銭

ニガホエボン  
似顔 シバキ イモセノクルマキ  
書本 戯場妹背通轉 一～四

31645

半1帙4冊

浅山芦國画 文化3初演、同10刊  
(1806) (1813)

名古屋 松屋善兵衛（本町十丁目）、京 鉛屋  
安兵衛（寺町御池上ル）、大阪 塩屋長兵衛  
（心斎橋通伝馬町）・河内屋太助（心斎橋通唐  
物町）

※上記書名は原題籤による。見返し内題「京羽二  
重新雛形／繪本妹背通轉」。各巻内題「お花  
半七妹背  
通轉」。見返し内題下に替名付あり。多色刷口  
絵、第1冊に3丁、第4冊途中に3丁あり。末  
尾に出版広告2丁半あり。

4—31シ1 む三百二拾番全部四冊㊦ 40銭

31646 シュンケイアサチガハラ  
春景浅茅原 一～六 半1帙6冊

笑門亭編・自序、青陽斎芦國・喜多川北麻呂画  
(1808)  
文化5刊

京 武村吉兵衛、大坂 加賀屋彌助・布屋忠二  
郎・山田屋嘉右衛門・河内屋太助

※後補墨書題籤は「春景」を角書とする。「三州  
岡崎花月堂」「名古屋本伊」の印あり。

4—31シ4 百拾四全六冊 60銭

31647 サイコクリツシヘンマキノニ  
西國立志編 ソノイロドリタウキノカウエキ  
巻ノ貳 其粉色陶器交易

上・中・下

半1帙3冊

佐橋富三郎作・自序、白水廣信画 明治5刊  
(1872)

京 村上勘兵衛（東洞院通三條上ル）・神戸源  
右衛門（堺町通御池下ル）・近藤四良兵衛（洛  
東下河原）・吉田勘兵衛（寺町通御池下ル）・  
遠藤平左衛門（富小路通三条下ル）・福井孝祐  
（寺町通三条上ル）・伊東久兵衛（寺町通御池  
下ル）、以上は下冊裏見返しに「發行書肆」で  
下冊末には更に全国の書林名を列举している  
（東京書林12、大阪書林12、諸国書林8、京都  
書林16）

※上冊に多色刷口絵2丁半あり。

4—31ソ1 む三百七拾全三㊦ 30銭

31648 チュウシンイロハシジフナナモジ  
忠臣伊呂波四拾七訓 （前篇）壹～五

・後篇壹～七

半2帙12冊

初世奈河七五三助作、重春画 寛政3初演  
(1791)  
載文堂

※内題「忠臣いろは四十七訓<sup>くん</sup>」。作者・画者は『国書総目録』による。前・後篇各第1冊に多色刷口絵4丁つつあり。

4—31チ2 む三百六拾壹五冊  
／む三百六拾貳七冊 1円20銭

ナツマツリナニハカガミ  
31649 夏祭浪花鑑 一〜伍 半1帙5冊  
(1745) (1853)  
長谷川貞信画 延享2初演，嘉永6刊  
名古屋 松屋善兵衛（本町十丁目），京 鉛屋  
安兵衛（寺町通御池上ル），大坂 河内屋太助  
（心齋橋通唐物町）

※第1冊に多色刷口絵3丁と替名付あり。各冊表裏の見返しに出版広告。上記書肆は第3冊裏見返しによる。『歌舞伎事典』によると，原作は並木千柳・三好松洛・竹田小出雲。

4—31ナ1 む三百 50銭

エホンダテクラベカシクノベニガキ  
31650 絵本競かしくの紅翅 一〜五  
半1帙5冊  
(1827)  
近松徳三作 文政10刊

大阪 河内屋太助（心齋橋唐物町），名古屋  
永楽屋東四郎（本町六丁目），江戸 伊勢屋忠  
右衛門（木挽町），京 山城屋佐兵衛（蛸薬師  
高倉西へ入町）

※墨書題簽「競かしくの紅翅」。第1冊の口絵3丁，第1丁オモテだけが多色刷。脇題簽に替名付。作者は『国書総目録』による。第1冊の見返しは『針刺實』の広告。

4—31タ4 む三百三十八全五冊 50銭

ダテクラベイセモノガタリ  
31651 競伊勢物語 壹〜七 半1帙7冊  
初世奈河亀輔等作，曉鐘成画

(1775) (1828)  
安永4初演，文政11刊

名古屋 松屋善兵衛（本町十丁目），京 鉛屋  
安兵衛（寺町通御池上ル），大坂 河内屋太助  
（心齋橋通唐物町）

※第1冊に多色刷口絵3丁と替名付あり。第7冊末に出版広告あり。そこには上記3書肆のほか，大坂 塩屋長兵衛（心齋橋通傳馬町）の名が見える。作者名は『国書総目録』による。

4—31タ5 む三百三十九全七冊 70銭

メイショツエハナノコノシタ  
31652 舊礎花大樹 前編壹〜六・  
後編一〜六 半2帙12冊

並河七五三助作，春梅斎北英画  
(1792) (1835)  
寛政4初演，天保6刊

名古屋 松屋善兵衛（本町通），京 鉛屋安兵衛（寺町通御池上ル），大阪 河内屋太助（心齋橋唐物町）

※前編の大惣番号札判読不能。前編各冊の脇題簽は役者の似顔絵，但し第2・3冊は剝落。前・後編各第1冊に多色刷口絵と替名付，各第6冊に出版広告あり。

4—31メ3 後篇む三百五十番 1円20銭

ニツボンダイチ メ カリノシンジ  
31653 日本 和布菰神事 一〜七  
半1帙7冊  
(1827)

並木正三作，曉鐘成画・校 安永2初演，文政10刊  
名古屋 松屋善兵衛（本町十丁目），京 鉛屋  
安兵衛（寺町通御池上ル），大阪 塩屋長兵衛  
（心齋橋通傳馬町）・河内屋太助（心齋橋通唐  
物町）

※上記書名は見返し内題による。原題簽には角書なし。第1冊に多色刷口絵および替名付あわせて5丁あり。第7冊末に出版広告。

4—31メ5 む三百三十七全七 70銭

モモチドリ ナルトノシラナミ  
31654 百々 千鳥 鳴門の白浪 一〜八  
半1帙8冊  
(1797) (1829)

柳斎重春画 寛政9初演，文政12刊  
大坂 塩屋長兵衛（心齋橋通傳馬町）・河内屋  
太助（心齋橋通唐物町），京 鉛屋安兵衛（寺  
町通御池上ル），名古屋 松屋善兵衛（本町十  
丁目）

※第1冊に多色刷口絵と替名付あり。第8冊末に出版広告あり。

4—31モ1 む三百四拾百千鳥八冊 60銭

## 浄瑠璃丸本

※本学附属図書館の和書の分類においては「4—28マ」を浄瑠璃丸本にあて，その中で1〜101の番号を与えた帙に1〜8冊ずつ，書名のアイウエオ順に大惣本も非大惣本もとりまぜて収めている。したがって，以下の記事で（他〇冊と合1帙）と

したのは、同じ帙に同配架番号の浄瑠璃丸本がほか  
かに□冊収められているということである。なお、  
備考に載せた丁数は最終丁の丁附に拠り、必ずし  
も実際の丁数と同じとは限らない。初演年などは  
『国書総目録』『義太夫年表』を大いに参考にし  
たが、いちいち断わっていない。

- ア アチュウシンナンシノハタ  
31655 嗚呼忠臣楠氏旗  
半1冊（他3冊と合1帙）  
浅田一鳥・竹本三郎兵衛・若竹伊輔・八民平七作  
(1771)  
明和8初演・刊  
江戸 鱗形屋孫兵衛（大傳馬町三丁目）、大坂  
阿波屋平七（心齋橋南三丁目）  
※七行本。93丁。内題下に「座本豊竹和歌三」と  
ある。31656に同書十行本あり。作者のうち、  
「浅田一鳥」は書込み。  
4—28マ1 二百五十三 20銭

- ア アチュウシンナンシノハタ  
31656 嗚呼忠臣楠氏旗  
半1冊（他3冊と合1帙）  
竹本三郎兵衛・若竹伊輔・八民平七作  
(1771)  
明和8初演・刊  
書肆不明  
※十行本。61丁。31655に同書七行本あり。  
4—28マ1 二百五十三番㊦ 20銭

- ヘイケラウエイゲンジクワンゲン  
31657 平家朗詠 アヒオヒクツツノマツ  
源氏管弦 相生轡の松  
半1冊（他4冊と合1帙）  
(1778)  
作者未詳 安永7刊  
菱屋治兵衛・菊屋七郎兵衛・正本屋九兵衛  
※七行本。90丁。  
4—28マ3 三百三十四番㊦ 20銭

- アイゴノワカメイカノカチドキ  
31658 愛護稚名歌勝鬨 半1帙1冊  
竹田外記・吉田冠子・中邑閑助・近松半二・三好松  
(1753)  
洛作 宝暦3初演・刊  
書肆不明  
※七行本。95丁。第1丁に口上と初中後役割あり。  
4—28マ1 七十五番㊦ 20銭

- アカネゾノナカノコモリキド  
31659 茜染野中の隠井 半1冊（他3冊と合1帙）  
(1738)  
原田由良助作、並木宗輔添削 元文3初演

書肆・刊年不明

※六行本。70丁。墨書題簽は「小 梅 茜染野中の  
由兵衛 隠井㊦」。題名「——カクレキ」とも。

4—28マ1 な六百六拾巻㊦ 20銭

- アカマツエンシンミドリノダンマク  
31660 赤松圓心緑陣幕 半1冊（他3冊と合1帙）  
(1736)  
文耕堂・三好松洛作 元文元初演  
京 山本九兵衛（二条通寺町西へ入丁）、大坂  
山本九右衛門（高麗橋二丁目□□）  
※七行本。90丁。竹本上總少掾・竹田出雲掾の奥  
書あり。  
4—28マ1 大惣番号不明 20銭

- エンシウヨナキシルザンシウヤツコチャア アクゲンダヘイヂガツセン  
31661 遠州夜啼石 悪源太平治合戦  
山州奴茶店 (1747)  
半1冊（他3冊と合1帙）  
並木周藏・安田蛙桂・浅田一鳥作 延享4初演・刊  
書肆不明  
※七行本。90丁。内題下に「豊竹越前少掾直伝」  
とある。  
4—28マ2 大惣番号札剥落 20銭

- アシヤダウマンオホウチカガミ  
31662 蘆屋道満大内鑑 半1冊（他3冊と合1帙）  
竹田出雲作  
書肆・刊年不明  
※十行本。70丁。墨書題簽「くずの葉 あしや道満大内  
鑑」。  
4—28マ2 な八十番㊦ 20銭

- アフミノクニゲンゴラウフナ  
31663 近江國源五郎鮒 半1冊（他4冊と合1帙）  
(1779)  
菅専助・豊春助・梁塵軒作 安永8初演・刊  
書肆不明  
※七行本。103丁。内題下に「座本豊竹此吉」と  
ある。  
4—28マ4 な三百三拾九㊦ 20銭

- アベノセイメイヤマトコトバ  
31664 安倍晴明倭言葉 半1冊（他4冊と合1帙）  
(1761)  
二歩堂・近松半二・北窓後一・竹本三郎兵衛・三好  
松洛作 宝暦11初演・刊  
京 山本九兵衛（二條通寺町西へ入丁）、大坂

山本九右衛門（堺筋日本橋北へ三丁目）、江  
戸 鱗形屋孫兵衛（大傳馬三丁目）  
※七行本。92丁。内題下に「竹田出雲掾」とある。  
4—28マ4 大惣番号札剝落○ 20銭

31665 アベノムネタフマツラノキスガサ  
安倍宗任松浦簗

半1冊（他4冊と合1帙）

(1737)  
元文2初演

並木宗輔作

書肆・刊年不明

※七行本。95丁。

4—28マ4 大惣番号不明 20銭

31666 アヤメノマヘミサヲノユミハリ  
菖蒲前操弦

半1冊（他3冊と合1帙）

竹田出雲・吉田冠子・中邑闌助・近松半二・三好松  
洛作 (1754)  
宝暦4初演・刊

京 山本九兵衛（二條通寺町西へ入丁）、大坂

山本九右衛門（堺筋道日本橋北へ三丁目）、

江戸 鱗形屋孫兵衛（大傳馬三丁目）

※七行本。95丁。竹本大和掾・竹田出雲掾の奥書  
あり。

4—28マ5 七十六番㊦ 20銭

31667 アヤノマキモノカグラノタイコ アハシマケイゾヨメイリヒナガタ  
文章巻物 栗嶋譜嫁入雛形  
神楽太鼓

半1冊（他4冊と合1帙）

(1749)  
寛延2初演・刊

竹田出雲・三好松洛・並木千柳作

京 山本九兵衛（二条通寺町西へ入丁）、大坂

山本九右衛門（高麗橋二丁目）

※七行本。94丁。竹田出雲掾の奥書あり。

4—28マ4 九十五○ 20銭

31668 ヤゲテゴジツ アラミタマニツタノシントク  
矢口 荒御霊新田神徳  
後日

半1冊（他3冊と合1帙）

東都 福内鬼外・同門人 森羅万象・浪花 二一天作作、福  
内鬼外（平賀源内）自跋 (1779)  
安永8初演・刊

江戸 山崎金兵衛・伏見屋善六（通本石町十軒  
店）

※七行本。99丁。内題下に「結城座」とある。

「名代結城孫三郎／座本吉田専藏」の奥書あり。

4—28マ5 な四百九番○ 20銭

31669 アントクテンワウユミヤノミツギ  
安德天皇兵器貢

半1冊（他3冊と合1帙）

(1787)  
天明7初演・刊

梅野唯風・潤仁軒作

京 今井七郎兵衛（寺町通松原上町）・八木治  
兵衛（同）、江戸 前川六左衛門（日本橋通三  
丁目）・山崎金兵衛（本石町十軒店）、大坂 玉  
水源治郎（北濱□□）

※七行本。100丁。内題下に「座本竹本千太郎」  
とある。

4—28マ5 三百八十八番○ 20銭

31670 イガゴエダウチュウスゴロク  
伊賀越道中雙六

半1冊（他4冊と合1帙）

近松半二・近松加作 (1783)  
天明3初演・刊  
書肆不明

※七行本。102丁。内題下に「座本竹本太市」と  
ある。

4—28マ6 な三百九十七番○ 20銭

31671 ヨミキリカウシヤク イガゴエノリカケガツバ  
讀切 伊賀越乗掛合羽  
講釈

半1冊（他4冊と合1帙）

近松東南作 (1777)  
安永6初演・刊

大坂 大津屋 佐々井治郎右衛門（長堀白鬚橋北

へ入）、江戸 山崎金兵衛（本石町三丁目）・鱗

形屋孫兵衛（大傳馬町三丁目）

※七行本。105丁。作者は『近世邦楽年表』によ  
る。内題下に「座本豊竹此吉」とある。

4—28マ6 な百五十番㊦ 20銭

31672 ソウホ シヤウツツシアサガホバナシ  
増 生写朝顔話  
補

半1冊（他5冊と合1帙）

山田案山子遺稿、翠松園主人校補・跋 (1832) (1850)  
天保3初演、嘉永3刊

大阪 玉水源治郎・紙屋與右衛門、京 平野屋

茂兵衛（六角柳馬場）、江戸 松本平助（日本

橋四日市）、大阪 綿屋喜兵衛（北堀江市ノ側）

・加島屋清助（北浜西横堀船町）

※七行本。105丁。竹本重太夫重政の奥書あり。

また、原題簽に「竹本重太夫直傳」とある。

4—28マ46 五三五○ 20銭

31673 カヘイジオサガ 嘉平次 イクタマシンデユウ  
おさが 生玉心中

半1冊（他4冊と合1帙）

近松門左衛門作 (1715)  
正徳5初演

書肆・刊年不明

※七行本。47丁。

4-28マ7 な七百七拾㊦ 20銭

イシダツメシヤウギンバイ  
31674 石田誥将基軍配

半1冊(他4冊と合1帙)

万象亭・隅田喜四郎・中田林七・し葉叟・双本千竹  
・泰鬼眼作 天明3初演・刊  
江戸 松本屋萬吉(新材木町煙艸河岸)・上総  
屋利兵衛(江戸橋四日市)  
※七行本。85丁。内題下に「座元豊竹東治」とあ  
る。見返しに「東哇藏」朱印あり。

4-28マ7 三百五十六㊦ 20銭

マタノリウシウチサナダオビクミウチ イシバシヤマヨロヒガサネ  
31675 股野流石打 真田帯組打 石橋山鎧襲

半1冊(他4冊と合1帙)

為永太郎兵衛・並木宗輔作 寛保2初演, 安永3刊  
書肆不明  
※七行本。96丁。第1丁と第96丁は書写による補  
修。内題下に「座本豊竹肥前掾」とある。

4-28マ7 な三百九十番㊦ 20銭

イセヘイジエンネンカガミ  
31676 伊勢平氏年々鑑

半1冊(他4冊と合1帙)

竹田出雲作 享保11初演, 刊年不明  
京 〇屋治兵衛(寺町通松原上ル町)  
※十行本。57丁。はじめに「兵衛佐ちごよろひ」  
2丁あり。

4-28マ6 大惣番号不明㊦ 20銭

イチノタニフタバゲンキ  
31677 一谷嫩軍記

半1冊(他4冊と合1帙)

浅田一鳥・浪岡鯨児・並木正三・難波三蔵・豊竹甚  
六・故人並木宗輔作 宝暦元初演, 享和2刊  
書肆不明  
※十行本。70丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」  
とある。「玉照堂」印あり。

4-28マ7 な八番㊦ 20銭

イトザクラホンチャウソダチ  
31678 糸櫻本町育

半1冊(他4冊と合1帙)

紀上太郎作, 達田辨二補助 安永6初演・刊  
上総屋利兵衛(江戸橋四日市廣小路)  
※六行本。107丁。第86丁以降は書写による補修。  
内題下に「座元豊竹新太夫」とある。作者・補  
助者・初演年・刊年は『国書総目録』による。

4-28マ8 四百四十四㊦ 20銭

イマガハホンリヤウネコマタヤカタ  
31679 今川本領猫魔館

半1冊(他4冊と合1帙)

文耕堂・三好松洛・浅田可啓・竹田小出雲・千前軒  
作 元文5初演・刊  
書肆不明  
※七行本。96丁。墨書題簽剝落し, 中にはさみ込  
まれている。同帙に同書十行本あり。

4-28マ8 三四㊦ 20銭

イマヲサカリコヒノヒザクラ  
31680 今盛戀緋櫻

半1冊(他4冊と合1帙)

菅専助・梁塵軒・豊春助作 安永8刊  
書肆不明  
※七行本。45丁。内題下に「座本豊竹此吉」とあ  
る。

4-28マ8 大惣番号不明㊦ 20銭

イルカダイジンミヤコアラソヒ  
31681 入鹿大臣皇都静

半1冊(他3冊と合1帙)

竹田出雲作 寛保3初演・刊  
書肆不明  
※七行本。94丁。朱の書込みあり。

4-28マ9 三百廿二㊦ 20銭

ジダイマキエセワモヤウ イロハグラミツグミサカヅキ  
31682 時代蒔繪 世話模様 いろは蔵三組盃

半1冊(他3冊と合1帙)

近松半二・近松金三・近松東南作 安永2初演・刊  
書肆不明  
※七行本。96丁。内題下に「座本竹本染太夫」と  
ある。

4-28マ9 八十四㊦ 20銭

コウボフダイシ イロハモノガタリ  
31683 弘法 大師 いろは物語

半1冊(他3冊と合1帙)

佐川藤太作 文化4初演・刊  
江戸 松本平助(四日市), 大坂 天満屋源次  
郎(西横堀船町)・大津屋治郎右衛門(心斎橋  
南江五丁目)・天満屋安兵衛(平野町御霊筋西  
へ入)・和多屋喜兵衛(北堀江市之側)  
※七行本。103丁。「名古屋/杉之町/池田屋文左  
衛門」の印あり。内題下に「太夫元鶴沢伊之助」



とある。

4-28マ9 五百〇二㊥ 20銭

31684 ウ ガ ダウシャゲンジカガミ  
宇賀道者源氏鑑

半1冊 (他4冊と合1帙)

福松陶芋作

宝暦9刊

書肆不明

※七行本。103丁。

4-28マ10 式百五十四㊥ 20銭

31685 ウ ダイシャウカマクラジツキ  
右大將鎌倉実記

半1冊 (他4冊と合1帙)

竹田出雲作

享保9初演

書肆・刊年不明

※十行本。56丁。表紙改裝。

4-28マ10 大惣番号不明 20銭

31686 ナイスケテガラノフチ  
内助手柄捌

半1冊 (他4冊と合1帙)

豊竹應律・三笠恵吉・並木斎治作 明和2初演・刊

書肆不明

※七行本。91丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」  
とある。

4-28マ10 な三百七十九㊥ 20銭

31687 ウチヒヤクバンフ ジ ダイ コ  
内百番富士太鞍

半1冊 (他4冊と合1帙)

松貫四・吉田角丸作

天明3初演・刊

書肆不明

※七行本。63丁。

4-28マ10 四百六十八㊥ 20銭

31688 ウツシエスガタアシカゴノメ  
寫 個 足 利 染

半1冊 (他1冊と合1帙)

浅田一鳥・黒藏主・三津飲子・難波三藏・豊竹應律  
作 宝暦7初演・刊

書肆不明

※十行本。70丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」  
とある。

4-28マ11 大惣番号不明㊥ 20銭

31689 ウラシマタラウヤマトモノガタリ  
浦嶋太郎倭物語

半1冊 (他1冊と合1帙)

為永太郎兵衛=「作者」、浅田一鳥・豊岡珍平・為永

千蝶=「文者」

書肆不明

※七行本。89丁。各巻の丁附はそれぞれ、初ノ十  
八、二ノ二十、三ノ廿一、四ノ廿六、<sup>(1745)</sup>  
まで。『国書総目録』によれば、延享2初演・  
刊。

4-28マ11 な三十五㊥ 20銭

31690 エゾニシキフリソデヒナガタ  
蝦夷錦振袖雛形

半1冊 (他3冊と合1帙)

玉泉堂・吉田二一・吉田冠子作 明和6初演・刊

書肆不明

※七行本。100丁。内題下に「座本豊竹東治」と  
ある。

4-28マ12 式百九十番㊥ 20銭

31691 エ ド ジマンコヒノアキンド  
江戸自慢戀商人

半1冊 (他3冊と合1帙)

友三郎・鬼眼作

安永6初演・刊

書肆不明

※六行本。81丁。内題下に「座元豊竹東次」とあ  
る。第1丁に「京都伊豫伊」などの印あり。

4-28マ12 大惣番号不明 20銭

31692 エンギノミカドヒキヨクノビハ  
延喜帝秘曲琵琶

半1冊 (他3冊と合1帙)

紀甘谷作

延享2初演・刊

大坂 天満屋源二郎・堺屋勘四郎(西横堀軀町)

※七行本。84丁。見返しに「座本太夫明石越後掾」  
とある。見返し内題にのみ角書「<sup>ねじりびとはかすがの</sup>  
歌人逢坂山」あり。

4-28マ12 三百式十五番 20銭

31693 エンノギヤウジャオホミニネザクラ  
役行者大峯桜

半1冊 (他3冊と合1帙)

竹田外記・門人近松半二・竹田文四作

宝暦元初演、寛延4刊

書肆不明

※七行本。103丁。第1丁と最終丁に「万治」の  
印あり。表紙に「貸本」の小札あり。

4-28マ12 七番㊥ 20銭

31694 ヲグリハングワンクルマカイダウ  
小栗判官車街道

半1冊 (他3冊と合1帙)

千前軒・文耕堂作  
書肆不明  
※七行本。89丁。31695に同書十行本あり。  
4—28マ13 二百四十㊦ 20銭

ラグリハングワングルマカイダウ  
31695 小栗判官車街道  
半1冊（他3冊と合1帙）  
千前軒・文耕堂作  
書肆不明  
※十行本。62丁。31694に同書七行本あり。  
4—28マ13 式四十 20銭

オホヤマシヤクソン  
31696 大山 石尊 納太刀管鑑  
半1冊（他4冊と合1帙）  
紀上太郎・平原屋東作・松貫四作 安永8初演・刊  
江戸 春松軒西宮新六（本材木町一丁目）・伏見屋善六（本石町三丁目）  
※七行本。105丁。「名代薩摩屋小平太／座本豊竹新太夫」の奥書あり。  
4—28マ15 三百四十一㊦ 20銭

ラ ダヤカタフタゴ ニツ キ  
31697 小田館雙生日記  
半1冊（他3冊と合1帙）  
菅専助作  
書肆不明  
※七行本。96丁。内題下に「座本扇谷和歌太夫」とある。  
4—28マ13 式百九十四番㊦ 20銭

エドブシシチモトユヒオホサカブシチコウヤ  
31698 江戸文七髻結 大坂文七紺屋  
男作五鴈金  
半1冊（他4冊と合1帙）  
竹田出雲掾作  
寛保2初演，刊年不明  
京 菱屋治兵衛（寺町松原上ル西側），江戸 鱗形屋孫兵衛（大傳馬町三丁目）  
※十行本。61丁。原題簽書名下に「竹本播磨掾直傳／菱屋治兵衛新板」とある。刷りの状態悪し。  
31699に同書七行本あり。  
4—28マ15 大惣番号札剝落か㊦ 20銭

エドブシシチモトユヒオホサカブシチコウヤ  
31699 江戸文七髻結 大坂文七紺屋  
男作五鴈金  
半1冊（他4冊と合1帙）  
竹田出雲掾作  
寛保2初演・刊  
京 山本九兵衛（二條通寺町西へ入丁），大坂 山本九右衛門（高麗橋二丁目出店）  
※七行本。86丁。原題簽書名下に「竹本筑後掾直傳／山本九兵衛新□」とある。31698に同書十行本あり。  
4—28マ15 六百三十五 20銭

キジャウクワンモロコシニツキ  
31700 鬼上官漢土日記  
半1冊（他4冊と合1帙）  
近松柳助・近松松輔作  
寛政8初演・刊  
書肆不明  
※七行本。111丁。墨書題簽「鬼上官唐土日記」。  
4—28マ15 な四百八拾五㊦ 20銭

ヲノノコマチミヤコノトシダマ  
31701 小野小町都年玉  
半1冊（他3冊と合1帙）  
紀海音作  
書肆・刊年不明  
※七行本。66行。それぞれの巻は，一ノ廿七丁，二ノ八丁，三ノ十二丁，四ノ九丁，五ノ十丁まで。著者は『国書総目録』による。第1丁は書写による補修。  
4—28マ13 九百三十式番㊦ 20銭

バンダイシガダイニバンメ  
31702 萬代曾我 第二番目 おはん長右衛門  
半1冊（他4冊と合1帙）  
森羅万象・双木千竹作  
天明元初演  
書肆・刊年不明  
※七行本。45丁。題簽改裝。作者および初演年は『国書総目録』による。「文貫堂」印あり。  
4—28マ14 大惣番号不明 20銭

ケイセイガクボノイハレタソヤアンドウノハジメ  
31703 鶏声个窪譚 黄昏行燈始  
女郎花縁助太刀  
半1冊（他4冊と合1帙）  
松貫四・紀中葉・真羽亭市喜作，樹下石上補助  
文化4初演・刊

大阪 河内屋太助(心齋橋筋唐物町), 江戸  
濱松屋幸助(目白同店通油町)・多田屋利兵衛  
(堀江町四丁目)

※六行本。130丁。奥書に「名代結城孫三郎/座  
元竹本三五郎」とある。

4-28マ16 五百三㊦ 20銭

31704 フトコムスピカンスケジマ  
雄 結 勘 助 嶋

半1冊(他4冊と合1帙)

浅田一鳥・浪岡鯨兒・並木素柳・豊竹甚六作

(1753)  
宝暦3初演・刊

京 菱屋治兵衛(寺町松原上ル西側北より)

※十行本。70丁。原題簽書名下に「豊竹越前少掾  
/豊竹筑前少傳直傳/菱屋治兵衛新板」と記す。  
内題下には「八冊綴/座本豊竹越前少掾」とあ  
る。見返しに「永田某」の書込みあり。31705  
に同書七行本あり。

4-28マ14 な式百〇三㊦ 20銭

31705 フトコムスピカンスケジマ  
雄 結 勘 助 嶋

半1冊(他4冊と合1帙)

浅田一鳥・浪岡鯨兒・並木素柳・豊竹甚六作

(1753)  
宝暦3初演・刊

山本九兵衛

※七行本。103丁。墨書題簽「雄結勘嶋/豊竹越  
前少掾直傳/正本山本九兵衛板元」。内題下に  
は「八冊綴/座本豊竹越前少掾」とある。31704  
に同書十行本あり。

4-28マ14 二百〇三㊦ 20銭

31706 アウシウヒデヒラウハツノハナムコ  
奥 効 秀 衡 有 鬢 埒

半1冊(他4冊と合1帙)

並木宗輔作

(1739)  
元文4初演

書肆・刊年不明

※七行本。91丁。

4-28マ16 四百四十五㊦ 20銭

31707 オウジンテンワウヤツノシロハタ  
應 神 天 皇 八 白 幡

半1冊(他4冊と合1帙)

文耕堂作

(1734)  
享保19初演, 刊年不明

京 山本九兵衛(二条通寺町西へ入丁), 大坂

山本九右衛門(高麗橋二丁目出店)

※七行本。96丁。原題簽書名下に「竹本筑後掾直  
傳/山本九兵衛新板」とある。竹田出雲掾清定

の奥書あり。右肩破損。

4-28マ16 二百三三㊦ 20銭

31708 ダイダイリオホトモノ マトリ  
大 内 裏 大 友 眞 鳥

半1冊(他4冊と合1帙)

竹田出雲作

(1725)  
享保10初演

書肆・刊年不明

※七行本。87丁。同帙に同書十行本あり。

4-28マ59 九十三番㊦ 20銭

31709 オホトモノワウジギョクザノクツ  
大 友 皇 子 玉 座 靴

半1冊(他4冊と合1帙)

紀海音作

(1722)  
享保7初演, 刊年不明

大坂 西澤九左衛門(上久宝寺町三丁目)

※七行本。82丁。豊竹上野少掾の奥書あり。

4-28マ15 な八百拾五三番 20銭

31710 ランナセミマル  
女 蟬 丸 半1冊(他4冊と合1帙)

西沢一風・田中千柳作

(1724)  
享保9初演

書肆・刊年不明

※七行本。88丁。

4-28マ16 式百三十番大㊦ 20銭

31711 ウキナノアカネノメゴジフネンキ  
浮名茜染 ランナヒツルギノモミヂ  
五十年忌 女 舞 釵 紅 楓

半1帙1冊

春舛堂作

(1746)  
延享3初演・刊

書肆不明

※七行本。81丁。第1丁オモテは書写による補修。

4-28マ17 な百四拾三㊦ 20銭

31712 ジャウシウカマガフチセツシウカマガフチ  
城州釜ヶ淵 撰州鎌ヶ淵  
会 稽 故 卿 錦

半1冊(他4冊と合1帙)

近松柳作・一ツ田車上作

(1793)  
寛政5初演・刊

京 菊屋七郎兵衛(寺町通松原上ル丁), 大坂

正本屋小兵衛(心齋橋塩町角)・本屋卯之助

(同)

※七行本。100丁。内題下に「座本豊竹此母」と  
ある。

4-28マ20 四百四十㊦ 20銭

- 31713 アササハノカキツバタクルワノヨザクラ 浅沢の杜若 会稽多賀誉  
吉原の夜桜 (1797)  
半1冊(他4冊と合1帙)  
奈河七五三助作 寛政9初演・刊  
多田屋理兵衛・上総屋利兵衛  
※七行本。106丁。内題下に「座本竹本金蔵／後見竹本政太夫」とある。題簽に「囃八献討」と書込みあり。  
4—28マ20 四百八十四㊥ 20銭

- 31714 アネハゼンセイイモトハンシヅウ 姉ハ全盛 会稽宮城野錦繡  
妹ハ新造 (1805)  
半1冊(他4冊と合1帙)  
佐川藤太作 文化2初演・刊  
大坂 山本九葉亭・玉水源治郎(北浜西横堀船町), 京 今井七郎兵衛(寺町通松原上町), 江戸 松本平助(日本橋四日市)  
※七行本。104丁。原題簽に「元祖竹本義太夫／太夫竹本彌太夫／座本竹本組太夫／直傳／玉水源次郎新板」とある。全巻にわたり朱の加筆あり。  
4—28マ20 四九九㊥ 20銭

- 31715 カ ヒ ゲンジサクラグンバイ 甲斐源氏桜軍配  
半1冊(他5冊と合1帙)  
浅田一鳥・黒藏主・三津飲子・難波三藏・豊竹應律 (1756)  
作 宝暦6初演・刊  
書肆不明  
※七行本。97丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」とある。  
4—28マ22 二百四十二㊥ 20銭

- 31716 カハサキヤヒコザウヲノムラヤコキン 川崎屋彦三 小野村屋古今  
替唱歌糸の時雨 (1782)  
半1冊(他5冊と合1帙)  
近松半二作 天明2初演・刊  
江戸 鱗形屋孫兵衛(大伝馬町三丁目), 大坂 傳法屋吉九郎(今橋筋西横堀)  
※七行本。55丁。原題簽下部に「座本近松門左衛門／太夫竹本染太夫／直傳／寺田吉九郎新版」とある。見返しに「持主」による書込みあり。  
4—28マ22 八百三十番 20銭

- 31717 カガミヤママサトノキキガキ 加々見山廓寫本  
半1冊(他3冊と合1帙) (1796)  
中村魚眼作 寛政8初演・刊  
大阪 加島屋清助(北浜西横堀船町)・山本九華亭・玉水源治郎・紙屋與右衛門, 京 今井七郎兵衛(寺町通松原上町), 江戸 松本平助(日本橋四日市)  
※七行本。99丁。内題下に「座本竹本愛蔵」とある。原題簽下部に「元祖竹本義太夫／座本竹本愛蔵／直傳／正本所紙屋與右エ門」とある。  
4—28マ18 な四百八拾㊥㊥ 20銭

- 31718 ツボネイハフヂチユウラウヲノヘ 局岩藤 加々見山旧錦繪  
中老尾上 (1782)  
半1冊(他3冊と合1帙)  
容楊黛作 天明2初演・刊  
江戸 春松軒西宮新六(本材木町一丁目)  
※七行本。94丁。内題下に「座本豊竹新太夫」とある。「名代薩摩屋小平太／座本豊竹新太夫」の奥書あり。  
4—28マ18 な三百九拾六㊥ 20銭

- 31719 カキノモトノキソウジャウアサヒグルマ 柿本紀僧正旭車  
半1冊(他4冊と合1帙)  
為永太郎兵衛・浅田一鳥・豊岡珍平・但見仙鶴作 (1744)  
延享元初演・刊  
書肆不明  
※七行本。93丁。31720に同書十行本あり。  
4—28マ20 な二百七拾九㊥ 20銭

- 31720 カキノモトノキソウジャウアサヒグルマ 柿本紀僧正旭車  
半1冊(他4冊と合1帙)  
為永太郎兵衛・浅田一鳥・豊岡珍平・但見仙鶴作 (1744)  
延享元初演・刊  
京 菱屋治兵衛(寺町松原上ル西側)  
※十行本。61丁。31719に同書七行本あり。原題簽下部に「豊竹越前少掾直傳／菱屋治兵衛板行」とある。表紙見返しに「持主高橋大九郎」と書込みあり。  
4—28マ20 式百七十九 20銭

- 31721 クワサンノキンミヤコノタツミ 花山院都異  
半1冊(他3冊と合1帙) (1715)  
紀海音作 正徳5初演

書肆不明

※七行本。75丁。

4—28マ18 な八百拾六〇 20銭

カタキウチツツレノニシキ

31722 敵討檻樓錦

半1冊(他4冊と合1帙)

文耕堂・三好松洛作

元文元初演<sup>(1736)</sup>、刊年不明

京 菊屋七郎兵衛(寺町通松原上ル町西側)

※十行本。51丁。見返しに明和9の出版広告(破損により書名不明)あり。表紙右上に「□□八」の小札あり。原題籤下部に「竹本筑後掾直傳/竹本大和掾相傳/菊屋七郎兵衛板」とある。

31723に同書七行本あり。

4—28マ21 大惣番号不明㊦ 20銭

カタキウチツツレノニシキ

31723 敵討檻樓錦

半1冊(他4冊と合1帙)

文耕堂・三好松洛作

元文元初演<sup>(1736)</sup>

書肆・刊年不明

※七行本。70丁。31722に同書十行本あり。

4—28マ21 五十八番〇 20銭

カタキウチハルノスミヨシ

31724 響報春住吉

半1冊(他4冊と合1帙)

兎角亭東喬作

寛政8初演・刊<sup>(1796)</sup>

書肆不明

※七行本。100丁。後補墨書題籤「天下茶屋仇報春住吉」。「文貫堂」などの旧蔵者印あり。

4—28マ21 な四百八十式〇 20銭

コンピラゴリシヤウ

金毗羅  
御利生

カタキウチヲサナモノガタリ  
敵討稚物語

31725

半1冊(他4冊と合1帙)

近松半二・竹本三郎兵衛作

明和元初演・刊<sup>(1764)</sup>

書肆不明

※七行本。75丁。内題下に「竹田出雲掾」とある。

巻頭に風月堂旧蔵印および書込みあり。

4—28マ21 な百拾式㊦ 20銭

オハントウエモン

おはん  
長右衛門

カツラガハレンリノシガラミ  
桂川連理柵

31726

半1冊(他5冊と合1帙)

菅専助作

安永5初演・刊<sup>(1776)</sup>

大坂 佐々井治郎右衛門(長堀白髪橋北へ入),

江戸 山崎金兵衛(本石町三丁目)・鱗形屋孫

兵衛(大伝馬町三丁目)

※七行本。50丁。内題下に「座本豊竹比吉」とある。第1丁は書写による補修。

4—28マ22 大惣番号不明〇 20銭

カ ナ ウツシアツチモンダフ

31727 仮名寫安土問答

半1冊(他4冊と合1帙)

近松半二・近松東南・近松能輔・若竹笛躬作

安永9初演・刊<sup>(1780)</sup>

書肆不明

※七行本。101丁。31728と同版。

4—28マ19 四百六〇 20銭

カ ナ ウツシアツチモンダフ

31728 仮名寫安土問答

半1冊(他4冊と合1帙)

近松半二・近松東南・近松能輔・若竹笛躬作

安永9初演・刊<sup>(1780)</sup>

江戸 鱗形屋孫兵衛(大伝馬町三丁目), 大坂

傳法屋吉九郎(今橋筋西横堀)

※七行本。101丁。原題籤下部に「座本竹田萬□

□/太夫竹本春太夫/太夫竹本染太夫/直傳/

寺田吉九郎新板」とある。内題下に「竹本染太

夫正章」とある。31727と同版。

4—28マ19 四百〇六〇 20銭

カ ナ デホンチュウシングラ

31729 假名手本忠臣藏

半1冊(他4冊と合1帙)

竹田出雲・三好松洛・並木千柳作 寛延元初演・刊<sup>(1748)</sup>

書肆不明

※七行本。99丁。31730・31731に同書十行本あり。

第1丁オモテに「柏屋兵助」ほか旧蔵者印あり。

全巻にわたって不審紙・朱の加筆あり。

4—28マ19 な百五拾貳㊦ 20銭

カ ナ デホンチュウシングラ

31730 假名手本忠臣藏

半1冊(他4冊と合1帙)

竹田出雲・三好松洛・並木千柳作 寛延元初演<sup>(1748)</sup>

書肆・刊年不明

※十行本。70丁。31729に同書七行本あり。また,

31731に同書十行本(再版本)あり。

4—28マ19 な百五十二号 20銭

カ ナ デホンチュウシングラ

31731 假名手本忠臣藏

半1冊(他4冊と合1帙)

竹田出雲・三好松洛・並木千柳作

(1748) (1751)  
寛延元初演，同4刊

京 菱屋治兵衛（寺町松原上ル西側）

※十行本。70丁。内題上に「再版」とある。見返しに菱屋の『<sup>本心</sup>近道 真一文字』の広告を付す。

31729・31730参照。

4—28マ19 な百五十二 20銭

カマクラオホケイヅ

31732 鎌倉大系圖

半1冊（他4冊と合1帙）

為永太郎兵衛＝「作者」，浅田一鳥・豊岡珍平・為永千蝶＝「文者」  
(1742) 寛保2初演

書肆・刊年不明

※七行本。95丁。

4—28マ23 二七 20銭

カマクラヒ ジアマトゼニ

31733 鎌倉比支青砥銭

半1冊（他4冊と合1帙）

安田蛙文作 (1733) 享保18初演

書肆・刊年不明

※七行本。87丁。

4—28マ23 三百老番㊦ 20銭

カマクラヤマミドリノカチドネ

31734 鎌倉山緑翠勝閑

半1冊（他4冊と合1帙）

三久作 (1775) 安永4初演・刊

書肆不明

※七行本。91丁。内題下に「座本豊竹新太夫」とある。「堀仁」などの旧蔵者印あり。

4—28マ23 貳百廿八番㊦ 20銭

カバノクワンジャフデトガンセン

31735 蒲冠者藤戸合戦

半1冊（他5冊と合1帙）

並木宗助・安田蛙文作 (1730) 享保15初演，刊年不明

京 菱屋治兵衛（寺町松原上ル町西側）

※十行本。61丁。小口に「先代萩五」と墨書。

4—28マ22 二四十七㊦ 20銭

スケクラアゲマキ

31736 助六 揚巻 カミコシタテリヤウメンカガミ 紙子仕立両面鑑

半1冊（他4冊と合1帙）

菅専助作 (1768) 明和5初演・刊

書肆不明

※七行本。61丁。墨書題簽には角書なし。内題下

に「座本豊竹此吉」とある。

4—28マ23 六百二十八㊦ 20銭

カラウタフミハツケイ

31737 詩近江八景

半1冊（他3冊と合1帙）

為永太郎兵衛・浅田一鳥・豊岡珍平・但見仙鶴作  
(1745) 延享2初演・刊

京 [ ] (寺町松原上ル西町)

※十行本。61丁。見返しに宝曆8の大惣の書込みあり。同帙に同書七行本あり。

4—28マ24 大惣番号不明 20銭

カラニシキエンジョノイサラシ

31738 唐錦艶書功

半1冊（他3冊と合1帙）

司馬芝叟作 (1794) 寛政6初演・刊

京 菊屋七郎兵衛（寺町通松原上ル町），江戸 西宮新六（本材木町一丁目），大坂 本屋卯之助（心斎橋塩町）・勝尾屋六兵衛（御堂筋唐物町北江入）

※七行本。95丁。豊竹麓太夫の奥書あり。

4—28マ24 四四九㊦ 20銭

ジャウシウチクシヤウツカセツシウケイセイヅカ

31739 城州畜生塚 撰州傾城塚

カラヤマトキキガキザウシ 韓和聞書帖

半1冊（他3冊と合1帙）

若竹笛躬・丹青堂作 (1787) 天明7初演・刊

京 今井七郎兵衛（寺町通松原上町）・八木治兵衛（同），江戸 前川六左衛門（日本橋通三丁目），大坂 玉水源治郎（北浜西横堀船町）

※七行本。100丁。竹本政太夫・豊竹此太夫の奥書あり。内題下には「座本竹本千太郎」とある。終丁に「大府 鷹羽氏」と書込みあり。裏表紙に同氏の落首あり。

4—28マ24 四百二番㊦ 20銭

カルカヤダウシツクシノイヘツト

31740 苺萱桑門筑紫蝶

半1冊（他5冊と合1帙）

並木宗輔作 (1735) 享保20初演・刊

紙屋與右衛門

※七行本。93丁。内題上に「再版」，下に「座本豊竹越前少掾」とある。裏表紙を欠く。31741に同書十行本あり。

4—28マ25 七十二㊦ 20銭

カルカヤダウシツクシノイヘツト  
31741 苺萱桑門筑紫轆

半1冊(他5冊と合1帙)  
(1735)

並木宗輔・丈輔作 享保20初演

書肆・刊年不明

※十行本。65丁。朱の書込み・不審紙あり。

4-28マ25 大惣番号不明㊥ 20銭

カハチノクニウバガヒ  
31742 河内国焔火

半1冊(他5冊と合1帙)  
(1713)

松田和吉作 正徳3初演, 刊年不明

京 山本九兵衛(二条通寺町西へ入丁), 大坂

山本九右衛門(高麗橋二丁目出店)

※七行本。88丁。

4-28マ22 な百式十九㊥ 20銭

クワンダニツトウシ  
31743 官軍一統志

半1冊(他5冊と合1帙)  
(1764)

黒蔵主作 宝暦14初演・刊

大坂 正本屋小兵衛(長堀心齋橋北詰), 江戸

鱗形屋孫兵衛(大伝馬町三丁目)

※七行本。90丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」

とある。題籤下部に「豊竹越前掾/豊竹筑前掾/直傳/正本屋小兵衛」とある。

4-28マ25 大惣番号不明㊥ 20銭

クワンハツシウツナギウマ  
31744 関八州繫馬

半1冊(他5冊と合1帙)  
(1724)

近松門左衛門作 享保9初演, 刊年不明

京 山本九兵衛(二条通寺町西入ル町)

※十二行本。33丁。原題籤に「竹本筑後掾/直之

正本」とある。

4-28マ25 三番㊥ 20銭

ギランサイレイシシカウキ  
31745 祇園祭禮信仰記

半1冊(他5冊と合1帙)

中邑阿契・豊竹應律・黒蔵主・三津欽子・浅田一鳥

作 宝暦7初演・刊

書肆不明

※十行本。70丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」

とある。同帙に同書七行本あり。

4-28マ26 な百三拾四㊥ 20銭

サンジフサンゲンダウヘイタラウエンギ

三十三間堂  
31746 平太郎縁記

ギランニヨウゴコノヘニシキ

祇園女御九重錦

半1冊(他5冊と合1帙)

若竹笛躬・中邑阿契作 宝暦10初演・刊

江戸 鱗形屋孫兵衛(大伝馬町三丁目), 大坂

心齋橋南四丁目)

※七行本。100丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」

とある。

4-28マ26 な八百三拾考 20銭

カナデホン  
31747 假名手本 義士の書添

半1冊(他5冊と合1帙)

賀雀堂屏風裏形作・自序 享保3初演・刊

江戸 松本平助(四日市), 大坂 天満屋安兵衛

(平野町御霊筋西江入)

※七行本。100丁。題籤下部に「座本豊竹房太夫

/太夫豊竹麓太夫直傳/正本所 天満屋安兵衛

新板」とある。

4-28マ26 四百九拾七番㊥ 20銭

キシノヒメマツツツワカガミ  
31748 岸姫松轡鑑

半1冊(他4冊と合1帙)

豊竹應律・若竹笛躬・福松藤助・浅田一鳥・黒蔵主

・並木永輔作

宝暦12初演・刊

書肆不明

※七行本。100丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」

とある。所々朱が入っている。墨による汚損あり。

4-28マ27 百拾五㊥ 20銭

キタハマメイブツクロフネバナシ  
31749 北濱名物黒船噺

半1冊(他4冊と合1帙)

菅専助作 明和6初演・刊

書肆不明

※七行本。66丁。内題下に「座本豊竹代吉」とあ

る。

4-28マ27 四百八㊥ 20銭

キヌガサジュエイゲンキ  
31750 蓋壽永軍記

半1冊(他4冊と合1帙)

菅専助・近松半二作

安永5初演・刊

書肆不明

※七行本。96丁。内題下に「座本豊竹此吉」とある。

4—28マ27 三百〇四番㊦ 20銭

31751 オハナハンシチ  
おはな キヤウハブタヘムスメカ タギ  
半 七 京羽二重娘氣質  
半1冊(他4冊と合1帙)  
(1764)

近松半二・竹本三郎兵衛作 宝暦14初演・刊  
書肆不明

※七行本。87丁。内題下に「竹田出雲」とある。

31752は同版, 31753は同書十行本。第2丁は書写による補修。

4—28マ28 △二百六十九㊦ 20銭

31752 オハナハンシチ  
おはな キヤウハブタヘムスメカ タギ  
半 七 京羽二重娘氣質  
半1冊(他4冊と合1帙)  
(1764)

近松半二・竹本三郎兵衛作 宝暦14初演・刊  
書肆不明

※七行本。87丁。内題下に「竹田出雲」とある。

巻頭に「風月堂記」印あり。31751と同版, 31753に同書十行本あり。

4—28マ28 な式百六十九番㊦ 20銭

31753 オハナハンシチ  
おはな キヤウハブタヘムスメカ タギ  
半 七 京羽二重娘氣質  
半1冊(他4冊と合1帙)  
(1764)

近松半二・竹本三郎兵衛作 宝暦14初演・刊  
京 菱屋治兵衛(寺町松原上ル西側北より)

※十行本。70丁。内題下に「竹田和泉」とある。

31751・31752に同書七行本あり。

4—28マ28 大惣番号不明㊦ 20銭

31754 キヤウミヤゲメイシヨ キツツ  
京土産名所井筒  
半1冊(他4冊と合1帙)  
(1729)

長谷川千四作 享保14初演  
書肆・刊年不明

※七行本。70丁。同帙に同版の本あり。

4—28マ28 な百九十五㊦ 20銭

31755 クスノキマサシゲダンバフジツロク  
楠正成軍法實録  
半1冊(他5冊と合1帙)  
(1730)

並木宗助・安田蛙文作 享保15初演, 刊年不明  
京 菱屋治兵衛(寺町松原上ル町西側)

※十行本。70丁。

4—28マ29 な三百三拾番㊦ 20銭

デダイハヤマヘシバカリニババアハカハヘセントクニ

31756

祖父は山へ柴刈に  
祖母は川へ洗濯に

クスノキムカシバナシ  
楠 昔 噺

半1冊(他5冊と合1帙)

並木千柳・三好松洛・竹田小出雲作

(1746)  
延享3初演・刊

書肆不明

※七行本。99丁。同帙に同書十行本あり。内題下に「五節句五段續」とある。

4—28マ29 な八拾五 20銭

31757 ウメ ヤ シブウキナノイロアゲ  
梅屋洪浮名色揚

半1冊(他5冊と合1帙)

松田和吉作

書肆・刊年不明

※はじめの2丁は「葉売小梅の昔」と題する八行の正本。第3丁から七行の「梅屋洪浮名色揚 松田和吉作」で, 通しの丁附があり, 全部53丁。

見返しに彩色の人物画あり。題簽に「クスリウリウメノコハル」と書込みあり。

4—28マ29 な四十四㊦ 20銭

31758 ク メノセンニンヨシノザクラ  
久米仙人吉野桜

半1冊(他5冊と合1帙)  
(1743)

為永太郎兵衛作

寛保3初演・刊

書肆不明

※七行本。92丁。「風月堂記」印など数種の印あり。

4—28マ29 な七拾壹㊦ 20銭

31759 タイヘイキスミヨシノマキ  
太平記 クルマガヘシカツセンザクラ  
住吉巻 車 還 合 戦 桜

半1冊(他3冊と合1帙)  
(1733)

文耕堂作

享保18初演

書肆・刊年不明

※七行本。93丁。

4—28マ30 二百八拾八番㊦ 20銭

31760 コクダカハセンゴヒヤクサツスウハンジフシチ  
石高八千五百  
冊數ハ四十七

サトゲ シキユキ ノ チヤノユ  
廓景色雪の茶會

半1冊(他5冊と合1帙)  
(1787)

若竹笛躬・丹青堂・梅野下風作 天明7初演・刊

京 今井七郎兵衛(寺町通松原上町)・八木治



兵衛(同)、江戸 前川六左衛門(日本橋通三丁目)、大坂 玉水源治郎(北濱西横堀船町)  
※七行本。100丁。内題下に「座本竹本千太郎／  
豊竹此吉」とある。見返しに「尾州／名古屋御  
園六丁目／井筒屋清兵衛」の印あり。

4-28マ41 四百番う④ 20銭

31761 軍術出口柳

半1冊(他3冊と合1帙)

菅専助・安田阿契・若竹十九・若竹笛躬作  
(1775) 安永4初演・刊

大坂 正本屋小兵衛(日本橋北江三町目)、江  
戸 鱗形屋孫兵衛(大伝馬町三町目)

※七行本。102丁。内題下に「座本豊竹此吉」と  
ある。

4-28マ30 な九百式十式 20銭

31762 軍法富士見西行

半1冊(他3冊と合1帙)

並木千柳・小川半平・竹田小出雲作  
(1745) 延享2初演・刊

京 山本九兵衛(二条通寺町西へ入丁)、大坂  
山本九右衛門(高麗橋二丁目出店)

※七行本。100丁。竹田出雲縁清定の奥書あり。  
同帙に同書十行本あり。

4-28マ30 十番② 20銭

31763 傾城阿古屋の松

半1冊(他5冊と合1帙)

近松半二・竹本三郎兵衛作 宝暦14初演・刊  
(1764)

大坂 山本九葉亭、京 今井七郎兵衛(寺町通  
松原上町)、江戸 松本平助(日本橋四日市)、  
大坂 玉水源治郎(北浜西横堀船町)

※七行本。82丁。内題下に「座本竹田出雲」とあ  
る。

4-28マ31 な三百四十巻⑤ 20銭

31764 傾城阿波の鳴門

半1冊(他5冊と合1帙)

近奈半二・八民平七・寺田兵藏・竹田文吉・竹本三  
郎兵衛作 (1768) 明和5初演・刊

書肆不明

※十行本。64丁。同帙に同書七行本あり。内題下  
に「座本近松門左衛門」とある。大惣番号の上

に朱で「う」と書込まれている。

4-28マ31 式百十三③ 20銭

31765 けいせい扇富士

半1冊(他5冊と合1帙)

故人竹田千前軒・玉泉堂・吉田仲二作 (1770)  
明和7初演・刊

江戸 衛(小伝馬町三丁目)

※七行本。95丁。内題下に「座本豊竹新太夫」と  
あり、「式百六十七全一」と書込み。大惣番号  
は背のものによった。刊記の作者名に並んで  
「操 吉田文三郎」とある。

4-28マ31 二十八① 20銭

チュウシンノメイヨビヤクコノレイトク

31766 忠臣名譽  
白狐霊徳

ケイセイラグラノシキ  
契情小倉の色紙

半1冊(他5冊と合1帙)

山田案山子・春の家有齋作 天保11初演・刊  
(1840)  
書肆不明

※内題下に「詠草拾二葉」とある。

4-28マ32 な五百三十四番⑥ 20銭

31767 けいせい恋飛脚

半1冊(他5冊と合1帙)

菅専助・若竹笛躬作 安永2初演・刊  
(1773)

大坂 西澤九葉軒、京 今井七郎兵衛(寺町通  
松原上町)、江戸 前川六左衛門(日本橋通三  
丁目)、大坂 玉水源治郎(北濱西横堀船町)

※七行本。50丁。内題下に「座本豊竹此吉」とあ  
る。

4-28マ31 六百五十三③ 20銭

31768 傾城國性爺

半1冊(他5冊と合1帙)

紀海音作 享保2初演、刊年不明  
(1717)

大坂 西澤(上久宝寺町三丁目)

※七行本。75丁。豊竹上野少掾の奥書あり。館内  
閲覧。

4-28マ31 な八百式拾三③ 20銭

31769 傾城嶋原蛙合戦

半1冊(他5冊と合1帙)

近松門左衛門作 享保4初演  
(1719)

書肆・刊年不明

※七行本。77丁。墨書題簽は「嶋原蛙合戦」で、  
左上に「四百八十番」とあるのを抹消している。

4—28マ32 な七百五十六㊦ 20銭

31770 ケイセイムケンノカネ  
傾城無間鐘

半1冊(他5冊と合1帙)

紀海音作

元禄13初演, 刊年不明

大坂 西澤九左衛門(上久宝寺町三丁目)

※七行本。89丁。豊竹上野少掾の奥書あり。

4—28マ32 な八百二十四番㊦ 20銭

31771 ゼンタイヘイキサンジフクワノメ ゲン ケ シチダイシフ  
前太平記 源家七代集  
冊九巻目

半1冊(他5冊と合1帙)

並木宗助・安田蛙文作

享保16初演

書肆・刊年不明

※七行本。96丁。

4—28マ32 式百四十三㊦ 20銭

31772 ゲン ジ オホサウ シ  
源氏大草紙

半1冊(他5冊と合1帙)

福内鬼外作

明和7初演・刊

書肆不明

※七行本。90丁。内題下に「座本豊竹東治」とある。

4—28マ33 三百四十㊦ 20銭

31773 ゲンソウクワウテイホウライノツル  
玄宗皇帝蓬萊羈

半1冊(他5冊と合1帙)

紀海音作

享保8初演

書肆・刊年不明

※七行本。81丁。

4—28マ33 三百四十三㊦ 20銭

31774 ニツボンゴザン ケンニン ジ クヤウ  
日本 建仁寺供養  
五山

半1冊(他5冊と合1帙)

西沢一風・田中千柳作

享保8初演

書肆・刊年不明

※七行本。86丁。内題下の作者名の右に「桜田雨内」と書込みあり。墨・朱の書込み多し。

4—28マ33 な百九拾壹㊦ 20銭

マツヨヒジジウヤサクランド ゲンベイスノビキノタキ  
待宵侍從 源平布引瀧  
優美藏人

31775

半1冊(他5冊と合1帙)

並木千柳・三好松洛作

寛延2初演・刊

書肆不明

※七行本。95丁。原題簽汚損。裏見返しに「豊竹筆子太夫」と墨書。31776に同書十行本あり。

4—28マ33 四百九番 20銭

31776 マツヨヒジジウヤサクランド ゲンベイスノビキノタキ  
待宵侍從 源平布引瀧  
優美藏人

半1冊(他5冊と合1帙)

並木千柳・三好松洛作

寛延2初演・刊

京 菱屋治兵衛(寺町松原上ル西側), 江戸

鱗形屋孫兵衛(大傳馬町三丁目)

※十行本。70丁。31775に同書七行本あり。

4—28マ33 な五拾貳番㊦ 20銭

31777 コヒデンジュブンブノゲンダテ  
戀傳授文武陣立

半1冊(他5冊と合1帙)

菊水軒・奈川七五三助作

寛政2初演・刊

大坂 山本九葉亭, 京 今井七郎兵衛(寺町通

松原上町), 江戸 松本平助(日本橋四日市),

大坂 玉水源治郎(北浜西横堀船町)

※七行本。95丁。題簽下部に「元祖竹本義太夫／座本竹本徳松直傳／正本所玉水源次郎板」とある。

4—28マ36 な四百十七番 20銭

31778 コヒニヨウバウソメワケタツナ  
恋女房染分手綱

半1冊(他4冊と合1帙)

吉田冠子・三好松洛作

寛延4初演・刊

書肆不明

※十行本。70丁。31779と同版。

4—28マ37 な九番㊦ 20銭

31779 コヒニヨウバウソメワケタツナ  
恋女房染分手綱

半1冊(他4冊と合1帙)

吉田冠子・三好松洛作

寛延4初演・刊

書肆不明

※十行本。70丁。31778と同版。初丁・終丁に破損あり。

4—28マ37 九番 20銭

31780 コヒムスメムカシハチヂヤウ  
戀娘昔八丈  
半1冊(他4冊と合1帙)  
松貫四・吉田角丸作 (1775) 安永4初演・刊  
江戸 森川太右衛門(日本橋通三丁目)  
※六行本。78丁。内題下に「座本豊竹新太夫」とある。  
4—28マ37 二百〇六〇 20銭

31781 ゴエツグンダン  
呉越軍談 半1冊(他5冊と合1帙)  
紀海音作 (1721) 享保6初演, 刊年不明  
大坂 西澤九左衛門(上久宝寺町三丁目)  
※七行本。80丁。豊竹上野少掾の奥書あり。  
4—28マ34 百六七〇 20銭

31782 コクセンヤカウセン  
國性爺合戦  
半1冊(他5冊と合1帙)  
近松門左衛門作 (1715) 正徳5初演  
書肆・刊年不明  
※七行本。103丁。同帙に同版後刷り本あり。  
4—28マ36 な七百三十七う〇 20銭

31783 アサヒナトウベケンクワヤゴラウエモン  
朝比奈藤兵衛 極彩色娘扇  
半1冊(他4冊と合1帙)  
竹田出雲・二歩堂・近松半二・北窓後一・竹本三郎  
兵衛・三好松洛作 (1760) 宝暦10初演・刊  
※七行本。99丁。内題下に「竹田出雲」とある。  
これ以外の作者は巻末に「千前軒門人」として  
列挙されている。「尾州大野／高須賀町／羽根  
屋忠左衛門」などの印あり。  
4—28マ36 大惣番号不明 20銭

31784 ゴサンネンアウシウグンキ  
後三年奥州軍記  
半1冊(他5冊と合1帙)  
並木宗助・安田蛙文作 (1729) 享保14初演, 刊年不明  
京 菱屋治兵衛(寺町松原上ル町西側)  
※十行本。70丁。同帙に同書七行本あり。題簽下  
部に「豊竹上野少掾直傳／菱屋治兵衛新板」と  
ある。見返しに「箕嶋藏書」と書込みあり。  
4—28マ34 な参拾壹番 20銭

31785 ゴシヨザクラホリカハヨウチ  
御所桜堀川夜討  
半1冊(他5冊と合1帙)  
文耕堂・三好松洛作 (1737) 元文2初演

書肆・刊年不明  
※十行本。65丁。  
4—28マ34 大惣番号不明⑤ 20銭

31786 ミナモトノヨリトモミナモトノヨシツネ  
源頼朝  
源義經  
コセンヂヤウカネカケノマツ  
古戦場鐘懸の松  
半1冊(他5冊と合1帙)  
竹田出雲・二歩軒・近松半二・北窓後一・竹本三郎  
兵衛・三好松洛作 (1761) 宝暦11初演・刊  
書肆不明  
※七行本。96丁。内題下に「竹田出雲」, 終丁に  
「千前軒門人」として他の作者名を記す。表・  
裏見返しに「此本何方へ参申候とも」云々の貸  
本屋の書込みあり。「玉山堂記」などの印あり。  
同帙に同書十行本あり。  
4—28マ34 な百三十七番⑥ 20銭

31787 シモノセキノランナカブキカミノセキノヲトコカブキ  
下関女歌舞伎  
上関男歌舞伎  
コンデグミクワンネラモンベ  
小袖組貫練門平  
半1冊(他5冊と合1帙)  
竹田出雲・吉田冠子・中邑閨助・近松半二・三好松  
洛作 (1754) 宝暦4初演・刊  
書肆不明  
※七行本。92丁。同帙に同書十行本あり。  
4—28マ35 な式百拾番⑦ 20銭

31788 アネハミヤゴノイモウトハシノブ  
姉は宮ぎの 妹はしのぶ ゴタイヘイキシライシバナシ  
基太平記白石噺  
半1冊(他5冊と合1帙)  
紀上太郎・容楊黛・焉烏旭・烏亭焉馬・三津環作  
安永9初演・刊 (1780)  
江戸 春松軒西宮新六(本材木町一丁目)  
※七行本。125丁。内題下に「座本豊竹新太夫」  
とある。見返しに「永井本家蔵」と書込みあり。  
4—28マ35 な三百八十三 20銭

31789 ゴタイヘイキヒサゴジツロク  
後太平記瓢箪録  
半1冊(他5冊と合1帙)  
菅専助・若竹笛躬作 (1772) 安永元初演・刊  
大坂 正本屋小兵衛(日本橋北江三丁目), 江  
戸 鱗形屋孫兵衛(大傳馬町三丁目)  
※七行本。73丁。内題下に「座本豊竹此吉」とあ

る。

4—28マ35 百十一番㊦ 20銭

31790 ゴヒヤクバンノウチ コ モ チヤマ ウ バ  
五百番之内 子もち山うば

半1冊 (他5冊と合1帙)

近松門左衛門作 正徳2初演, 刊年不明

山本九兵衛

※十行本。33丁。奥書一部破損。内題下に「竹本筑後掾直」とある。

4—28マ35 な七百四十番㊦ 20銭

31791 カフガノサブライウイハヤモノガタリ  
甲賀三郎窟物語

半1冊 (他4冊と合1帙)

竹田出雲・文耕堂作 享保20初演, 刊年不明

京 山本九兵衛 (二條通寺町西へ入丁), 大坂  
山本九右衛門 (高麗橋二丁目出店)

※七行本。86丁。題籤剝落。「竹田出雲掾清定」の奥書あり。中途より紙の疲弊度が増し, 朱が入る。前後半別の冊であったものを, 寄せ合わせた本か。

4—28マ37 百四十番 20銭

31792 キクチオホトモ コンレイソデカガミ  
菊池 大友 姻袖鏡

半1冊 (他1冊と合1帙)

千前軒 (竹田出雲) 門人 近松半二・三好松洛・竹田因幡  
・竹田小出・竹田平七・竹本三郎兵衛作

(1765) 明和2初演・刊

※七行本。92丁。内題下に「座本竹田因幡掾」とある。同帙に同版本あり。その刊記によれば, 書肆は, 京 山本九兵衛 (二條通寺町西へ入丁), 大坂 吉川宗兵衛 (北久太郎町中橋筋), 江戸 鱗形屋孫兵衛 (大伝馬町三丁目)

4—28マ38 八十二番㊦ 20銭

31793 サガ ミ ニフダウセンビキヌ  
相模入道千足犬

半1冊 (他4冊と合1帙)

近松門左衛門作 正徳4初演

書肆・刊年不明

※七行本。90丁。見返しには人物画, 裏見返しには花の絵が描かれている。裏見返しには「作本屋八兵衛版」とインクの書込みあり。31794に異板の七行本あり。

4—28マ40 百六十九㊦ 20銭

31794 サガ ミ ニフダウセンビキヌ  
相模入道千足犬

半1冊 (他4冊と合1帙)

近松門左衛門作 正徳4初演, 刊年不明

京 山本九兵衛 (二條通寺町西へ入丁), 大坂  
山本九右衛門 (高麗橋)

※七行本。90丁。「竹本筑後掾」の奥書あり。「傳吉」「若藤」などの印あり。31793に異板の七行本あり。

4—28マ40 な七百四拾八㊦ 20銭

31795 サ ガ テンワウ  
嵯峨天皇 半1冊 (他4冊と合1帙)

近松門左衛門作 正徳4初演

書肆・刊年不明

※七行本。91丁。はじめの8丁は書写による補修。『国書総目録』には「嵯峨天皇甘露雨」として載る。

4—28マ39 大惣番号不明㊦ 20銭

31796 ユウシヤウノカネミチマウシヤウノマトリ  
勇將兼道 魁 鐘 岬  
猛將真鳥

半1冊 (他4冊と合1帙)

菅専助・若竹笛躬・豊芦州作 明和7初演・刊

書肆不明

※七行本。93丁。巻末の作者名の右に「三好泰治」と書込みあり。内題下に「座本豊竹若太夫」とある。

4—28マ40 式百九十八㊦ 20銭

31797 キヨ ミツセイゲン  
清水 桜姫賤姫桜  
清源

半1冊 (他5冊と合1帙)

若竹笛躬・豊竹應律・中邑阿契作 宝暦10初演・刊

書肆不明

※七行本。96丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」とある。「風月堂記」などの印あり。31798に同書十行本あり。

4—28マ41 百四四㊦ 20銭

31798 キヨ ミツセイゲン  
清水 桜姫賤姫桜  
清源

半1冊 (他5冊と合1帙)

若竹笛躬・豊竹應律・中邑阿契作 宝暦10初演・刊

京 菱屋治兵衛 (寺町松原上ル西側北より)

※十行本。70丁。題籤下部に「豊竹越前少掾/豊竹筑前少掾直傳/菱屋治兵衛新板」とある。

31797に同書七行本あり。見返しに旧蔵者「源九郎」のことわり書あり。

4-28マ41 四⑤ 20銭

31799 桜姫操 大全

半1冊(他5冊と合1帙)

松貫四・友三郎・鬼眼作 安永5初演・刊

書肆不明

※七行本。95丁。内題下に「座本豊竹東治」とある。「成山堂」印あり。

4-28マ41 な三百七拾式⑤ 20銭

31800 淀橋帯取池 桜姫花洛鑑

半1冊(他5冊と合1帙)

佐川藤太・梅枝軒作 文化4初演・刊

江戸 西宮屋新六、京 菊屋七郎兵衛、大坂

和多屋喜兵衛(北堀江市之側)

※七行本。103丁。題籤下部に「太夫本竹澤大作／和多屋喜兵衛新板」とある。見返しに本書を解説する書込みあり。

4-28マ41 五百四番⑤ 20銭

31801 狭夜衣鴛鴦釵翅

半1冊(他4冊と合1帙)

並木宗輔作 元文4初演

書肆・刊年不明

※十行本。66丁。初丁に破損あり、書写により補修。31802に同書七行本あり。

4-28マ39 な六十八⑤ 20銭

31802 狭夜衣鴛鴦釵翅

半1冊(他4冊と合1帙)

並木宗輔作 元文4初演

書肆・刊年不明

※七行本。100丁。はじめから8丁および最終丁は罫線入り半紙を用いての書写による補修。

31801に同書十行本あり。

4-28マ39 大惣番号不明 20銭

31803 小夜中山鐘由來

半1冊(他4冊と合1帙)

近松半二・三好松洛・竹田伊豆・並木永輔・竹田小出・竹田平七・竹本三郎兵衛作 明和3初演・刊

京 山本九兵衛(二條通寺町西江入丁)、大坂 吉川宗兵衛(北久太郎町中橋筋)、江戸 鱗形屋孫兵衛(大傳馬町三丁目)

※七行本。92丁。内題下に「座本竹田伊豆掾」とある。「風月堂記」の印あり。31804に十行本あり。

4-28マ39 五十四⑤ 20銭

31804 小夜中山鐘由來

半1冊(他4冊と合1帙)

近松半二・三好松洛・竹田伊豆・並木永輔・竹田小出・竹田平七・竹本三郎兵衛作 明和3初演・刊

江戸 實所／鶴屋喜右衛門(通油町)、京 板元／鶴屋喜右衛門(二條通寺町角)

※十行本。63丁。内題下に「座本竹田伊豆掾」とある。31803に七行本あり。

4-28マ39 五十四⑤ 20銭

31805 猿丸太夫鹿卷臺

半1冊(他5冊と合1帙)

文耕堂・三好松洛作 元文元初演、刊年不明

江戸 西宮新六(本材木町一丁目)

※七行本。90丁。「名代薩摩屋小平太／座本豊竹新太夫」の奥書あり。

4-28マ42 百四十六⑤ 20銭

31806 三國無雙奴請狀

半1冊(他5冊と合1帙)

近松東南・安田阿契・若竹笛躬作 安永5初演・刊

書肆不明

※七行本。115丁。内題下に「座本豊竹此吉」とある。表裏見返しに「杉之町鍵屋東四郎」の書込みあり。同帙に同書十行本あり。

4-28マ42 な百〇七番⑤ 20銭

31807 三軍桔梗原

半1冊(他5冊と合1帙)

桜井頼母(内題下)・春舛堂・戸田吾文・松岡千助

・岩瀬左門・文瀾堂(巻末)作 延享2初演・刊

書肆不明

※七行本。83丁。「万金」印あり。

4-28マ42 三百十八⑤ 20銭

イロハギヤウジャウキ  
以呂波 讃州屏風浦  
行狀記  
31808  
半1冊(他5冊と合1帙)  
江群堂・豊竹應律・豊臨水・若竹筈射作  
(1778)  
安永7初演・刊  
書肆不明  
※七行本。105丁。内題下に「座本豊竹此吉」とある。

ゲンバチノワタシヘイダノツツミ  
源八涉 三拾石艦始  
平太堤  
31809  
半1冊(他5冊と合1帙)  
やなぎ事近松柳作  
(1792)  
寛政4初演・刊  
書肆不明  
※七行本。97丁。内題下に「座本豊竹此母/太夫豊竹此太夫」とある。

サンセウダイフヨシハラスズメ  
山栴太夫葎原雀  
31810  
半1冊(他1冊と合1帙)  
作者未詳  
(1720)  
享保5初演  
書肆・刊年不明  
※七行本。60丁。表紙改裝。内題下に「豊竹上野少掾」とある。

サンシャウダイフゴニンヌスメ  
三莊太夫五人嬢  
31811  
半1冊(他1冊と合1帙)  
竹田出雲作  
(1727)  
享保12初演  
書肆・刊年不明  
※七行本。105丁。

カハキマサムネカタナノユライバセヲラウハイカイノランシヤウ  
河井正宗刀由來  
芭蕉翁俳諧濫觴  
31812  
シ ガノカタキウチ  
志賀の敵討  
半1冊(他5冊と合1帙)  
(1776)  
紀上太郎作  
安永5初演・刊  
大坂 柏原屋佐兵衛(心齋橋伝馬町), 江戸 駿屋屋藤助(牛込御細工町)  
※七行本。85丁。内題下に「座元豊竹新太夫」とある。旧蔵者「本勝」の印あり。

ジュモンノデンドリメイカノハツコヒ  
咒文の陣取  
名歌の初恋  
31813  
シ キ シ マ ミサラゲンキ  
しきしま操軍記  
半1冊(他5冊と合1帙)  
(1765)  
豊竹應律・並木斎治作  
明和2初演・刊  
大坂 正本屋小兵衛(日本橋北江三丁目), 江戸 鱗形屋孫兵衛(大伝馬町三丁目)  
※七行本。97丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」とある。見返しに「本主石屋茂兵衛」の朱の書込みあり。

ゴタイヘイキジフサンクワンメ  
後太平記  
十三巻目  
31814  
ジ ダイネリムロマチニシキ  
時代織室町錦繡  
半1冊(他5冊と合1帙)  
(1781)  
近松半二作  
安永10初演・刊  
京 山本九兵衛(二条通寺町), 江戸 山崎金兵衛(本石町十軒店)・鱗形屋孫兵衛(大伝馬町三丁目), 大坂 天満屋源治郎(西横堀松町)  
※七行本。100丁。

ジダイセ ワランナセツヨウ  
時代世話女節用  
31815  
半1冊(他5冊と合1帙)  
玉泉堂・吉田二一・吉田冠子作  
(1769)  
明和6初演・刊  
書肆不明  
※七行本。98丁。

シツケガタサムラヒカガミ  
簇方武士鑑  
31816  
半1冊(他5冊と合1帙)  
近松半二・松田ばく・寺田兵藏・榮善平・竹本三郎  
(1772)  
兵衛作  
明和9初演・刊  
書肆不明  
※七行本。95丁。内題下に「座本竹田榮藏」とある。31817に同書十行本あり。

シツケガタサムラヒカガミ  
簇方武士鑑  
31817  
半1冊(他5冊と合1帙)  
近松半二・松田ばく・寺田兵藏・榮善平・竹本三郎  
(1772)  
兵衛作  
明和9初演・刊  
京 菱屋治兵衛(寺町松原上ル西側), 江戸 鱗形屋孫兵衛(大伝馬町三丁目)

※十行本。65丁。内題下に「座本竹田栄蔵」とある。31816に同書七行本あり。

4-28マ45 大惣番号札剝落㊦ 20銭

31818 シ テンワウジレイジンザクラ  
四天王寺伶人桜

半1冊(他5冊と合1帙)

中邑阿契作 明和6初演・刊

大坂 正本屋小兵衛(日本橋北江三丁目), 江戸 鱗形屋孫兵衛(大傳馬町三丁目)

※七行本。70丁。内題下に「座本豊竹此吉」とある。

4-28マ44 三百十貳番㊦ 20銭

31819 モノノベモリヤシャウトクタイシ シ テンワウジ ガランカガミ  
物部守屋 聖德太子 四天王寺伽藍鑑

半1冊(他5冊と合1帙)

並木正三(内題下)・秋田正平・松田百花・並木翁助(巻末)作 宝暦7初演・刊

大坂 大和屋利兵衛(本町壹丁目南側)・  (長堀中橋 )

※七行本。121丁。本文中に朱墨の書込みあり。

旧蔵者の朱印が塗抹されている。

4-28マ44 な三百七拾番㊦ 20銭

31820 シアクナナシマヲサナゾンドリ  
塩飽七嶋稚陣取

半1冊(他5冊と合1帙)

竹田文吾・北脇素人・一來堂・八民平七作

安永5初演・刊

京 菱屋治兵衛(寺町松原上ル西側), 江戸 鱗形屋孫兵衛(大伝馬町三丁目)

※十行本。70丁。題簽下部に「座本竹本萬治郎/太夫竹本春太夫/太夫竹本染太夫/直傳/鶴屋喜右衛門版」とある。見返しに「箕島蔵書」と書込みあり。

4-28マ45 な三百七十一番 20銭

31821 シヤ カ ニヨライタンジャウエ  
釈迦如来誕生會

半1冊(他5冊と合1帙)

近松門左衛門作 元禄8初演

書肆・刊年不明

※七行本。94丁。内題下に旧蔵者朱印あり。

4-28マ45 四百五十㊦ 20銭

31822 シユツセヤツコヲサナモノガタリ  
出世握虎稚物語

半1冊(他5冊と合1帙)

竹田出雲作

(1725)  
享保10初演

書肆・刊年不明

※七行本。88丁。題簽剝落。

4-28マ46 三十三 20銭

31823 シュテンドウジマクラコト バ  
酒吞童子枕言葉

半1冊(他5冊と合1帙)

近松門左衛門作

宝永4初演, 刊年不明

京 山本九兵衛(二條通寺町西へ入丁), 大坂 山本九右衛門(高麗橋二丁目出店)

※七行本。85丁。竹田出雲掾清定の奥書あり。

4-28マ46 七五一㊦ 20銭

31824 ジュンシヨクエドムラサキ  
潤色江戸紫

半1冊(他5冊と合1帙)

為永太郎兵衛(内題下)・浅田一鳥・豊岡珍平・但見仙鶴(巻末)作, 為永千蝶跋 延享元初演・刊

大坂 西澤九左衛門(心斎橋南四丁目西側)

※七行本。98丁。豊竹越前少掾の奥書あり。

4-28マ46 十三㊦ 20銭

31825 シャウトクタイシエデンキ  
聖德太子繪傳記

半1冊(他5冊と合1帙)

近松門左衛門作

享保2初演

書肆・刊年不明

※七行本。87丁。

4-28マ47 四七三㊦ 20銭

31826 シャウネクラベアネガハツキン  
性根競姉川頭巾

半1冊(他5冊と合1帙)

近松半二・榮善平・八民平七作 安永3初演・刊

京 山本九兵衛(二條通寺町), 大坂 吉川宗兵衛(博労町筋心斎橋), 江戸 鱗形屋孫兵衛(大傳馬町三丁目), 大坂 天満屋源治郎(西横堀松町)

※七行本。55丁。題簽下部に「竹本義太夫直傳/吉川宗兵衛板」, 内題下に「座本竹田縫之助」とある。「サトウ」などの印あり。三段目「堂嶋の段」に集中して朱の書入れあり。

4-28マ47 大惣番号不明㊦ 20銭

31827 ジダイセワ シンウ ス ユキモノガタリ  
時代 世話 新うすゆき物語

半1冊(他5冊と合1帙)

文耕堂・三好松洛・小川半平・竹田小出雲作  
寛保元初演・刊  
京 菱屋治兵衛 (寺町松原上ル西側北より)  
※十行本。63丁。同帙に31828ほか同書七行本2冊あり。

4—28マ48 な拾番㊦ 20銭

31828 ジダイセワ シン ウ ス ユ キモノガタリ  
時代 世話 新うすゆき物語  
半1冊 (他5冊と合1帙)

文耕堂・三好松洛・小川半平・竹田小出雲作  
寛保元初演・刊  
大坂 山本九葉亭, 京 今井七郎兵衛 (寺町通松原上町), 江戸 松本平助 (日本橋四日市), 大坂 源治郎  
※七行本。86丁。題簽下部に「竹本筑後掾直傳／玉水源次郎新版」とある。同帙に同版本と同書十行本 (31827) あり。

4—28マ48 な十番㊦ 20銭

31829 ジングウクワウゴウサンカンゼメ  
神功皇后三韓責  
半1冊 (他5冊と合1帙)  
紀海音作 享保4初演  
書肆・刊年不明  
※七行本。89丁。「風月堂記」印あり。

4—28マ47 大惣番号不明 20銭

31830 シンデユウカミヤヂ ヘ エ  
心中紙屋治兵衛  
半1冊 (他5冊と合1帙)  
近松半二・竹田文吉作 安永7初演・刊  
書肆不明  
※十行本。39丁。31831に同書七行本あり。内題下に「竹本染太夫正章」とある。

4—28マ47 な六百六十六番㊦ 20銭

31831 シンデユウカミヤヂ ヘ エ  
心中紙屋治兵衛  
半1冊 (他5冊と合1帙)  
近松半二・竹田文吉作 安永7初演・刊  
大坂 山本九葉亭, 京 今井七郎兵衛 (寺町通松原上町), 江戸 松本平助 (日本橋四日市), 大坂 玉水源治郎 (北浜西横堀船町)  
※七行本。61丁。内題下に「竹本染太夫」とある。  
31830に同書十行本あり。

4—28マ47 二百七十㊦ 20銭

カウヤサンニヨニンダウ シンデユウマンネンダウ  
高野山 心中萬年草  
31832 女入堂  
半1冊 (他5冊と合1帙)  
近松門左衛門作 宝永5初演, 刊年不明  
山本九兵衛  
※八行本。32丁。「風月堂記」印あり。  
4—28マ48 大惣番号不明㊦ 20銭

31833 シンデユウヨヒカウシン  
心中宵庚申  
半1冊 (他5冊と合1帙)  
近松門左衛門作 享保7初演  
書肆・刊年不明  
※七行本。47丁。31834に同版本あり。但し内題「宵庚申」。  
4—28マ48 大惣番号札剝落㊦ 20銭

31834 ヨヒカウシン  
宵庚申  
半1冊 (他5冊と合1帙)  
近松門左衛門作 享保7初演  
書肆・刊年不明  
※七行本。47丁。31833に同版本あり。但し内題「心中宵庚申」。墨書題簽には角書「お千代／半兵衛」あり。内題上に「名古屋／一簀堂／本町七丁目」の印あり。  
4—28マ48 な七百八拾式㊦ 20銭

31835 シンヨシハラセガハノアダウチ  
新吉原瀬川復讐  
半1冊 (他5冊と合1帙)  
司馬芝叟作, 「作者補助近松要助 並木春助」  
文化3初演・刊  
江戸 松本平助 (四日市), 大坂 天満屋源治郎 (北浜西横堀船町), 京 墨屋吉兵衛 (松原通駄屋町角)・鶴屋喜右衛門 (寺町通二條上ル町)・菱屋治兵衛 (寺町通松原上ル町)・菊屋七郎兵衛 (寺町通松原上ル町)・菱屋孫兵衛 (御幸町姉小路上ル町)  
※七行本。53丁。題簽下部に「太夫竹本義太夫相傳／板元京卿垂屋五軒仲間」とあり, 奥書には「太夫豊竹麓太夫」とある。  
4—28マ49 な六百㊦㊦ 20銭

31836 ゾウホオソメヒサマツ シンバンウタザイモン  
増補 おそめ 新板歌祭文  
半1冊 (他5冊と合1帙)  
佐川魚广呂作 文化元初演・刊



江戸 西宮新六(四日市), 京 菊屋七郎兵衛  
(寺町松原上ル丁), 大坂 和多屋吉兵衛(北  
堀江市之側)

※七行本。61丁。31837に同書異版七行本あり。  
題簽下部に「座本陸奥茂太夫/太夫豊竹麓太夫  
/相傳/正本所和多屋喜兵衛新板」とある。内  
題下に「座本陸竹茂太夫」とある。

4-28マ49 な六百六十九〇 20銭

オソメヒサマツ シンパンウタザイモン  
お染 新版歌祭文

31837

半1冊(他5冊と合1帙)

近松半二作

安永9初演・刊

京 山本九兵衛(二條通寺町), 江戸 鱗形屋  
孫兵衛(大傳馬町三丁目), 大坂 天満屋源治  
郎(西横堀船町)

※七行本。65丁。題簽下部に「竹本義太夫直傳/  
玉水源次郎板」とある。31836に同書「増補」  
版七行本あり。

4-28マ49 な六百六十八〇 20銭

シノダコタラウコヤマハウグワン シンパンカサネモノガタリ  
信田小太郎 新板累物語

31838

半1冊(他5冊と合1帙)

並木良輔(内題下)・一二三軒・八州堂・三樂坊  
(本文末)作

寛延3初演・刊

大坂 西澤九左衛門(心齋橋南へ四丁目), 江  
戸 鱗形屋孫兵衛(大傳馬三丁目)

※七行本。103丁。

4-28マ49 三百四十六〇 20銭

シンヒヤクニソイツシュ  
新百人一首

31839

半1冊(他5冊と合1帙)

紀海音作

初演年・刊年不明

大坂 西澤九左衛門(上久宝寺町三丁目)

※七行本。90丁。内題下に「豊竹上野少掾直傳」  
とある。

4-28マ49 な八百三十三番〇 20銭

ムカシバキノラトコダテイマアツリノヲナゴダテ  
昔妓の男作  
今操の女作

31840

スガタクラベデイリノミナト  
容競出入漆

半1冊(他5冊と合1帙)

並木丈輔・豊岡弥平・安田蛙桂・浅田一鳥作

(1748)  
延享5初演・刊

大坂 西沢九右衛門(心齋橋南四丁目)

※七行本。98丁。見返し内題右に「豊竹越前少掾  
藤原/繁榮」, 左に「大字七くだりけいこ本」と  
あり, それらの下に太夫名列挙。「イ彦」など,  
旧蔵者の印あり。所々に朱の書込みあり。

4-28マ51 貳百六十五 20銭

コンピラゴホンデ シュトクキンサス キデンキ  
金毗羅 崇徳院讃岐傳記

31841

半1冊(他5冊と合1帙)

竹田出雲・吉田冠子・中邑閏助・近松半二・三好松  
洛作

(1756)  
宝暦6初演・刊

京 山本九兵衛(二條通寺町西江入丁), 大坂  
山本九右衛門(堺筋日本橋北江三丁目), 江  
戸 鱗形屋孫兵衛(大伝馬町三丁目)

※七行本。97丁。竹本大和掾宗賢と竹田出雲掾清  
定の奥書あり。同帙に同書十行本あり。

4-28マ51 〇十五〇 20銭

ミヤコラウエイアヅマクワンゲン  
都朗詠 住吉誕生石

31842

半1帙1冊

松井星照作

(1748)  
寛延元初演・刊

京 山本九兵衛(二條通寺町西へ入丁)

※七行本。90丁。題簽下部に「竹茂都大隅直傳/  
山本九兵衛新板」とある。見返しに「相生轡の  
袷の外題替也」と記した札を貼付。

4-28マ52 三百三十四〇 20銭

ス マノダイリフタゴユンゼイ  
須磨内裏搦弓勢

31843

半1冊(他5冊と合1帙)

寺田兵藏作

(1764)  
宝暦14初演・刊

書肆不明

※七行本。90丁。内題下に「座本北本和泉」とあ  
る。第1丁表に「書價」なる印あり。表  
紙に「四番」の小札あり。墨書題簽「——  
ふた葉弓勢」と誤記。

4-28マ51 二百四十〇 20銭

ス マノミヤコゲンベイツツジ  
須磨都源平躰躰

31844

半1冊(他5冊と合1帙)

文耕堂・長谷川千四作

(1730)  
享保15初演

書肆・刊年不明

※十行本。67丁。途中半丁欠損あり。

4-28マ51 拾五 20銭

31845 セイワゲンシジフゴダン  
清和源氏十五段  
半1冊(他4冊と合1帙)  
(1727)  
並木宗助・安田蛙文作 享保12初演  
書肆・刊年不明  
※七行本。68丁。最終丁は罫線入り半紙を用いて  
の、書写による補修。  
4—28マ53 な拾壹番㊦ 20銭

31846 セキトリセンリヤウノボリ  
関取千兩戯  
半1冊(他4冊と合1帙)  
近松半二・三好泰洛・竹田文吉・竹田小出・八民平  
七・竹本三郎兵衛作 明和4初演・刊  
(1767)  
大坂 山本九葉亭・玉水源治郎(北浜西横堀船  
町), 京 今井七郎兵衛(寺町通松原上町), 江  
戸 松本平助(日本橋四日市)  
※七行本。93丁。題籤下部に「竹本義太夫直傳/  
玉水源次郎新版」, 内題下に「座本竹田文吉」  
とある。31936(2)参照。  
4—28マ53 な百二十㊦ 20銭

31847 セキトリニダイノショウブツケ  
関取二代勝負附  
半1冊(他4冊と合1帙)  
(1768)  
八民平七・並木互丈・並木宗子・並木正三作  
明和5初演・刊  
江戸 鱗形屋孫兵衛(大伝馬町三丁目), 大坂  
瀬戸物屋伊兵衛(日向町土橋筋東入)  
※七行本。34丁。原題籤には角書「秋津島/鬼ヶ  
嶽」があり, 下部に「並木正吉座直傳/瀬戸物  
屋伊兵衛板」とある。内題下に「座本並木正三」  
とある。内題上に旧蔵者印あり。  
4—28マ53 貳百十五番㊦ 20銭

31848 セツシウワタナベハシクヤウ  
摂州渡邊橋供養  
半1冊(他5冊と合1帙)  
(1748)  
豊丈助・安田蛙桂・浅田一鳥作 寛延元初演・刊  
京 菱屋治兵衛(寺町松原上ル西側北より)  
※十行本。70丁。内題下に「豊竹越前少  
掾」とある。31849・31850に同書七行本あり。見返しに  
「寛政四歳子六月十七日貞為」の書込みあり。  
4—28マ54 五十一㊦ 20銭

31849 セツシウワタナベハシクヤウ  
摂州渡邊橋供養  
半1冊(他5冊と合1帙)

豊丈助・安田蛙桂・浅田一鳥作 寛延元初演・刊  
(1748)  
江戸 吉文字屋治郎兵衛(日本橋通三丁目),  
京 萬屋仁右衛門(祇園門前)  
※七行本。95丁。見返し内題の右に「豊竹越前少  
掾」とある。31848に同書十行本, 31850に同版  
本あり。  
4—28マ54 大惣番号札剥落㊦ 20銭

31850 セツシウワタナベハシクヤウ  
摂州渡邊橋供養  
半1冊(他5冊と合1帙)  
(1748)  
豊丈助・安田蛙桂・浅田一鳥作 寛延元初演・刊  
書肆不明  
※七行本。95丁。内題下に「豊竹越前少掾」とあ  
る。31848に同書十行本, 31849に同版本あり。  
見返しに口絵あり。  
4—28マ54 な五拾壹㊦ 20銭

31851 セツシウガツバウガツジ  
摂州合邦辻  
半1冊(他5冊と合1帙)  
(1773)  
菅専助・若竹笛躬作 安永2初演・刊  
大坂 正本屋小兵衛(日本橋北江二丁目), 江  
戸 [ ] (大傳馬[ ])  
※七行本。50丁。内題下に「座本豊竹此吉」とあ  
る。  
4—28マ54 な六百七十六番㊦ 20銭

31852 ツノクニナガラノヒトバシラ  
摂津國長柄人柱  
半1冊(他5冊と合1帙)  
(1727)  
並木宗助・安田蛙文作 享保12初演  
書肆・刊年不明  
※七行本。90丁。本の背に「三木」と書込みあり。  
4—28マ54 大惣番号不明㊦ 20銭

31853 セワコトバカンソグンダン  
世話言漢楚軍談  
半1冊(他4冊と合1帙)  
(1752)  
竹田外記(内題下)・三好松洛・近松半二・中邑閑  
助・吉田冠子(巻末)作 宝暦2初演・刊  
書肆不明  
※七行本。91丁。巻末に「持主合羽氏」と書込み  
あり。全篇に亘って, 朱で「ノリ」「タメ」な  
どの書込みあり。同帙に同書十行本あり。  
4—28マ53 三百四拾五㊦ 20銭

31854 ゼンクネンアウシウカツセン  
前九年奥州合戦  
半1冊(他1冊と合1帙)  
浅田一鳥・黒藏主・七才子・難波三蔵・豊竹應律作  
(1757)  
宝暦7初演・刊  
書肆不明  
※七行本。98丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」とある。

4-28マ55 百五〇 20銭

31855 マヘダイリジマワウジヤウツシ  
前内裏嶋王城遷  
半1冊(他1冊と合1帙)  
豊田新介・土木待買作 (1732) 享保17初演, 刊年不明  
大坂 作本屋八兵衛(谷町四丁目)  
※七行本。92丁。『国書総目録』等では, 作者に「藤田与八」が加えられている。伊藤出羽掾の奥書あり。

4-28マ55 な三百式十三〇 20銭

31856 ソガアフギハツケイ  
曾我扇八景  
半1冊(他5冊と合1帙)  
近松門左衛門作 (1706) 宝永3初演, 刊年不明  
大坂 山本九兵衛・山本九右衛門(高麗橋竜丁目)  
※七行本。82丁。竹本筑後掾の奥書あり。

4-28マ56 四百四三〇 20銭

31857 ソガトラガイシウス  
曾我虎が磨  
半1冊(他5冊と合1帙)  
近松門左衛門作 (1710) 宝永7初演  
書肆・刊年不明  
※八行本。79丁。終丁は書写による補修。

4-28マ56 三百二十九 20銭

31858 ソガクワイケイザン  
曾我會稽山  
半1冊(他5冊と合1帙)  
近松門左衛門作 (1718) 享保3初演  
書肆・刊年不明  
※七行本。93丁。

4-28マ56 百〇〇 20銭

31859 オハツトクベエ  
ソネザキモヤウ  
徳兵衛 曾根崎模様  
半1冊(他5冊と合1帙)  
若竹笛躬・浅田一鳥・福松藤助・黒藏主・中邑阿契

作, 豊竹越前少掾 (1761) 宝暦11初演・刊  
江戸 鱗形屋孫兵衛(大伝馬町三丁目), 大坂  
西澤九左衛門(心齋橋南四丁目)  
※七行本。85丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」とある。一部に朱の書込みあり。「梗生」の朱印あり。  
4-28マ56 大惣番号不明〇 20銭

31860 ソメモヤウイモセノカドマツ  
染模様妹背門松  
半1冊(他5冊と合1帙)  
菅專助作・自跋 (1767) 明和4初演・跋  
大坂 西沢九葉軒, 京 今井七郎兵衛(寺町通松原上町), 江戸 松本平助(日本橋四日市),  
大坂 玉水源治郎(北浜西堀船町)  
※七行本。48丁。題簽下部に「豊竹若太夫直傳/玉水源治郎新版」とある。内題の左上に「再板」とあり, 本書の刊行は明和4より下るか。内題下には「座本豊竹此吉」とある。  
4-28マ56 六百三十八番〇 20銭

31861 サウマノタラウミバエブンダン  
相馬太郎孝文談  
半1冊(他5冊と合1帙)  
並木永輔・浅田一鳥・浪岡蟹蔵・並木素柳・豊竹千  
路作 (1754) 宝暦4初演・刊  
江戸 鱗形屋孫兵衛(大伝馬町三丁目), 大坂  
西沢九兵衛(心齋橋南四丁目)  
※七行本。103丁。豊竹越前少掾・豊竹筑前少掾の奥書あり。『義太夫年表』によれば「將軍太郎東文談」と同一の浄瑠璃。  
4-28マ56 な百拾三〇 20銭

31862 ゲンベイミツガナヘ  
源平  
三鼎 タイケンモンヨイクサ  
待賢門夜軍  
半1冊(他4冊と合1帙)  
並木宗助・安田蛙文作 (1732) 享保17初演, 刊年不明  
書肆不明  
※七行本。90丁。  
4-28マ58 貳百九十七番〇 20銭

31863 キクヨリセガハウネマサマキルツノヨリキタマゴベエサマキル  
きくより瀬川采女様参る  
そのより貴田孫兵衛様参る  
大功艶書合  
半1冊(他4冊と合1帙)  
芝屋芝叟・千代古道作 (1787) 天明7初演・刊  
大坂 本屋卯之助(心齋橋塩町角), 江戸 前

川六左衛門（日本橋通三丁目），京 菊屋七郎  
兵衛（寺町通松原上町），大坂 和泉屋善兵衛  
（堺筋備後町）

※七行本。110丁。内題下に「座本竹本萬作」とある。

4—28マ58 四百〇一㊦ 20銭

31864 タイコウゴニチノハタアゲ  
太功後編の旗颯

半1冊（他4冊と合1帙）

近松柳・近松湖水軒・千葉軒作 寛政11初演・刊  
江戸 松本平助（四日市），京 菊屋七郎兵衛  
（寺町通松原上町）・菱屋治兵衛（同町），大  
坂 紀伊国屋善助（鳶之内玉屋町）・和泉屋善  
兵衛（堺筋備後町）

※七行本。109丁。内題下に「座本豊竹諏訪太夫」とある。

4—28マ58 四百九十一㊦ 20銭

31865 タイヘイキカウモク  
太平記 綱目 大塔宮 蟻鎧

半1冊（他4冊と合1帙）

竹田出雲掾・松田和吉作，近松門左衛門添削  
書肆・刊年不明

※七行本。88丁。題籤右下に「三」と書込みあり。

4—28マ59 十八㊦ 20銭

31866 ダイブツデンバンダイノイシズエ  
大仏殿万代石楚

半1冊（他4冊と合1帙）

西沢一風・田中千柳作 享保10初演  
書肆・刊年不明

※七行本。86丁。豊竹上野少掾の奥書あり。墨書  
題籤「大仏殿万代楚」。はじめの2丁は書写に  
よる補修。

4—28マ59 な二百四十四番㊦ 20銭

31867 ナンテウシヤウヘイヨネンホクテウジャウワゴネン  
南朝正平四年  
北朝貞和五年

タイヘイキキススイノマキ  
太平記菊水之巻

半1冊（他4冊と合1帙）

竹田小出雲（内題下）・千前軒門人二歩堂・近松半二  
・北窓後一・竹本三郎兵衛・三好松洛（巻末）作

宝暦9初演・刊

書肆不明

※七行本。98丁。

4—28マ59 大惣番号不明㊦ 20銭

カウノモロナホエンヤハンダワン

31868 高師直  
塩冶判官

タイヘイキチユウシンカウシヤク  
太平記忠臣講釋

半1冊（他4冊と合1帙）

近松半二・三好松洛・竹田文吉・竹田小出・筑田平  
七・竹本三郎兵衛作 明和3初演・刊

大坂 吉川宗兵衛（北久太郎町中橋筋）

※七行本。100丁。内題下に「座本竹田文吉」とある。同帙に同書十行本あり。

4—28マ60 な百五拾八㊦ 20銭

ハンゲツツトコハンゲツツナ

31869 上十五日男  
下十五日女 太平記枕言

半1冊（他4冊と合1帙）

安田蛙文（内題下）・一二三軒・野沢雁使（巻末）  
作 宝暦2初演・刊

書肆不明

※七行本。91丁。角書のよみ方は『義太夫年表』  
によった。すなわち「絵尽による」。

4—28マ60 な百三十番㊦ 20銭

カイゾクノチャウホンカラウノズイイチ

31870 海賊の張本  
家老の随一

タイヘイナルトノフナウタ  
太平鳴戸の船謡

半1冊（他5冊と合1帙）

司馬芝叟作 寛政5初演・刊

書肆不明

※七行本。96丁。

4—28マ60 四百三十九㊦ 20銭

タヒヤテイリウサイタンビラキ

31871 鯛屋貞柳歳旦蘭

半1冊（他5冊と合1帙）

菅専助・若竹笛躬・安田阿契・近松半二作 安永5初演・刊

書肆不明

※七行本。111丁。内題下に「座本豊竹此吉」とある。他の貸本屋の印がある。

4—28マ60 三百八十七番㊦ 20銭

ダ テニシキゴ ジフ シン

31872 伊達錦五十四郡

半1冊（他4冊と合1帙）

竹田外記（内題下）・三好松洛・近松半二・中邑閑  
助・吉田冠子（巻末）作 宝暦2初演・刊

書肆不明

※七行本。95丁。初めの1丁半は書写による補修。

4—28マ57 大惣番号不明㊦ 20銭

ダジャウニフダウヒヤウゴノミサキ

31873 太政入道兵庫岬

半1冊(他4冊と合1帙)

竹田小出雲・竹田正蔵作

書肆・刊年不明

※七行本。91丁。同帙に同書十行本あり。「謹照堂」「玉照堂」などの印がある。

4—28マ57 五十六番㊦ 20銭

キシヤウハウベンボンカキオキジュリヤウボン

起請方便品  
書置寿量品

31874

ダ テ ム ス メ コ ヒ ノ ヒ ガ ノ コ  
伊達娘戀緋鹿子

半1冊(他4冊と合1帙)

菅専助・松田和吉・若竹笛躬作 安永2初演・刊

書肆不明

※七行本。93丁。内題下に「座本豊竹此吉」とある。

4—28マ57 大惣番号不明㊦ 20銭

ウトウノヤスカタマチシノブノニシキギツカ

うとふの安海街  
しのぶの錦木墳

31875

タマカ ヅランチニンケシヤウ  
玉黒髪七人化粧

半1冊(他5冊と合1帙)

佐川藤太・吉田新吉作 文化5初演・刊

江戸 松本平助(四日市), 大坂 天満屋源治郎(西横堀船町), 京 菱屋治兵衛(寺町通松原上ル丁)・墨屋吉兵衛(松原通富小路西へ入)・吉野屋勘兵衛(四条通寺町西へ入)

※七行本。96丁。

4—28マ61 五百五番㊦ 20銭

タカウダシヤウゲンニダイカガミ

31876 尊氏將軍二代鑑

半1冊(他5冊と合1帙)

並木宗助・安田蛙文作 享保13初演, 刊年不明

京 菊屋七郎兵衛(寺町通松原上ル町西側)

※十行本。69丁。本文中に朱の書込みあり。原題簽の上から, 大惣の墨書題簽を貼っている。

4—28マ60 二五七 20銭

タヒラノコレモチガイデンモミデ

31877 平惟茂凱陣紅葉

半1冊(他5冊と合1帙)

千前軒門人 竹田出雲・吉田冠子・近松景鯉・近松半二

・中邑閏助・三好松洛作

(1756) 宝暦6初演・刊

京 山本九兵衛(二條通寺町西江入丁), 大坂 山本九右衛門(堺筋日本橋北江三丁目), 江戸 鱗形屋孫兵衛(大傳馬三丁目)

※七行本。102丁。題簽下部に「竹本筑後掾直傳／竹本大和掾相傳／山本九兵衛新版」とある。「書價指掌堂」の蔵書印あり。

4—28マ61 百廿七㊦ 20銭

エホンゾウホ

タマモノマヘアサヒノタモト

31878 繪本 増補 玉藻前儀袂

半1冊(他5冊と合1帙)

浪岡橋平・浅田一鳥・安田蛙桂作, 梅枝軒・佐藤太 添削 (1751) (1806) 寛延4初演・初刊, 文化3再板

書肆不明

※七行本。97丁。内題下に「三國續／五冊物／鶴沢伊之助」とある。31879に初刊本あり。

4—28マ61 五百拾五㊦ 20銭

ナスノカリビトナスノカリウド

那須野狩人  
那須野狩師

タマモノマヘアサヒノタモト

31879 玉藻前儀袂

半1冊(他5冊と合1帙)

浪岡橋平・浅田一鳥・安田蛙桂作 寛延4初演・刊 書肆不明

※七行本。100丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」とある。31878に再板本あり。

4—28マ61 な七十七㊦ 20銭

タムラモロスズ カ ガツセン

31880 田村磨鈴鹿合戦

半1冊(他4冊と合1帙)

浅田一鳥・豊田正蔵作 寛保元初演 書肆・刊年不明

※七行本。91丁。31881に同書十行本あり。

4—28マ58 百九八㊦ 20銭

タムラモロスズ カ カツセン

31881 田村磨鈴鹿合戦

半1冊(他4冊と合1帙)

浅田一鳥・豊田正蔵作 寛保元初演, 刊年不明 京 菱屋治兵衛(寺町松原上ル西側北より)

※十行本。64丁。墨書題簽に「あこぎ／平次」の角書あり。31880に同書七行本あり。

4—28マ58 な百九拾八㊦ 20銭

31882 オソメヒサマツ  
おそめ 久松 袂の白しぼり  
半1冊 (他5冊と合1帙)  
(1710)  
紀海音作 宝永7初演  
書肆・刊年不明  
※九行本。26丁。  
4—28マ61 な八百五拾壹㊦ 20銭

31883 キントキハラウシヤキンビラハワカムシヤ  
公時老武者  
公平若武者  
タンシウテテウチグリ  
丹羽爺打栗  
半1冊 (他5冊と合1帙)  
(1743)  
竹田小出雲・三好松洛作 寛保3初演・刊  
書肆不明  
※七行本。90丁。  
4—28マ61 大惣番号札剝落㊦ 20銭

31884 タンバヨサクマツヨノコムロボシ  
丹波与作待夜のこむろふし  
半1帙1冊  
(1707)  
近松門左衛門作 宝永4初演  
書肆・刊年不明  
※八行本。36丁。  
4—28マ62 七百拾九中㊦ 20銭

31885 オシユンデンベエ  
おしゅん 伝兵衛 近頃河原達引  
半1冊 (他5冊と合1帙)  
(1782) (1785)  
中村重助作 天明2初演, 同5刊  
大坂 安子屋宇兵衛 (南堀江唐金橋筋), 江戸  
中山清七 (葭町新通南側)・中嶋屋伊左衛門  
(堺町南側)  
※七行本。65丁。天明2に「豊竹八重太夫中の芝  
居」で初演されたものを出版したものの由, 奥  
書に記す。豊竹越前少掾・豊竹肥前掾の奥書あ  
り。  
4—28マ63 六百貳拾四番㊦ 20銭

31886 ジツアタメキキ  
實悪 目利 捷徑太平記  
半1冊 (他5冊と合1帙)  
(1804)  
山東京傳校合・序 享和4序  
江戸 蔦屋重三郎 (通油町)  
※七行本。義太夫部分が8丁。絵入り。京伝が入  
手した義太夫正本を校合出版したものという。  
4—28マ63 大惣番号札原欠 20銭

31887 チクサムスビムカシエザウシ  
千種結舊画舛紙  
半1冊 (他5冊と合1帙)  
(1772)  
北脇素仁・中邑阿契・若竹笛躬作 明和9初演・刊  
大坂 正本屋小兵衛 (日本橋北江三町目), 江  
戸 鱗形屋孫兵衛 (大傳馬町三町目)  
※七行本。55丁。内題下に「座本豊竹此吉」とあ  
る。題簽下部に「豊竹若太夫/豊竹此太夫/直  
□/正本屋小兵衛□」とある。  
4—28マ63 大惣番号札剝落 20銭

31888 チゴゲンジダウチュウグンキ  
兒源氏道中軍記  
半1帙 (他5冊と合1帙)  
竹田出雲掾 (内題下)・門人 三好松洛・竹田小出雲  
(卷末)作 延享元初演・刊  
(1744)  
書肆不明  
※七行本。99丁。  
4—28マ63 百二十二㊦ 20銭

31889 チュウギツカチカヒノオホイシ  
忠義墳盟約大石  
半1冊 (他5冊と合1帙)  
若竹笛躬・中村魚眼・並木千柳作, 唯我獨案主人跋  
(1797)  
寛政9初演・刊  
書肆不明  
※七行本。105丁。  
4—28マ64 四百八十三番㊦ 20銭

31890 コハルデヘエ  
こはる 治兵衛 中元 噂掛鯛  
半1冊 (他5冊と合1帙)  
(1769)  
三好松洛・竹本嘉藏作 明和6初演・刊  
京 山本九兵衛 (二條通寺町西江入丁), 大坂  
吉川宗兵衛 (北久太郎町中橋筋), 江戸 鱗  
形屋孫兵衛 (大傳馬町三町目)  
※七行本。45丁。内題下に「竹本義太夫座/再興  
座本竹本綱太夫」とある。  
4—28マ63 な六百貳拾壹㊦ 20銭

31891 チュウシンイロハジツキ  
忠臣伊呂波實記  
半1冊 (他5冊と合1帙)  
(1775)  
福内鬼外作 安永4初演・刊  
江戸 山崎金兵衛 (通り本石町十軒店)・松本  
屋万吉 (新材木町烟草河岸)・並河善六 (通り  
本石町十軒店)  
※七行本。97丁。内題下と奥書に「座本豊竹東治」

とある。

4—28マ64 な四百三十四番㊦ 20銭

チュウシンコガネノタンザク  
31892 忠臣金短冊

半1冊(他5冊と合1帙)  
(1732)

並木宗助・小川丈助・安田蛙文作 享保17初演  
書肆・刊年不明

※七行本。89丁。31893に同書十行本あり。

4—28マ64 な六拾四番㊦ 20銭

チュウシンコガネノタンザク  
31893 忠臣金短冊

半1冊(他5冊と合1帙)  
(1732)

並木宗助・小川丈助・安田蛙文作 享保17初演  
書肆・刊年不明

※十行本。67丁。31892に同書七行本あり。

4—28マ64 六十四㊦ 20銭

チュウシンゴニチバナシ  
31894 忠臣後日断

半1冊(他5冊と合1帙)

北脇素仁・中邑阿契・豊芦州・若竹笛躬作  
(1772) 明和9初演・刊

京 菊屋七郎兵衛(寺町通松原上ル町西側)

※十行本。30丁。内題下に「座本豊竹此吉」とある。見返しに貸本屋「源九」の書込みあり。

4—28マ64 〇〇式拾貳㊦ 20銭

チュウシンフタバグラ  
31895 忠臣双葉藏

半1冊(他5冊と合1帙)  
(1793)

作者未詳 寛政5刊

京 菊屋七郎兵衛(寺町通松原上ル町), 大坂

勝尾屋六兵衛(御堂筋唐物町北江入)・塩屋

林兵衛(心齋橋筋順慶町北江入)・本屋卯之助

(心齋橋筋塩町東北角)・大津屋治郎右衛門

(心齋橋筋南江五丁目)・和田屋喜兵衛(心齋

橋北堀江市之側)  
(1792)

※読本浄瑠璃。寛政4の同題の当り狂言を浄瑠璃  
じたてにしたもの。節付けはない。もと2冊を  
1冊に合綴。七行本。102丁。

4—28マ64 四四七㊦ 20銭

テウコクヒダリノコガタナ  
31896 雕刻左小刀

半1冊(他4冊と合1帙)

花洛菅専助添削, 柳太郎作事 近松やなぎ・千葉軒・當  
(1791) 時退座若竹笛躬・並木千柳作 寛政3初演・刊

京 今井七郎兵衛(寺町通松原上ル町), 大坂

正本屋西澤小兵衛(心齋橋南へ四丁目)

※七行本。91丁。題簽下部に「座本豊竹此母/太  
夫豊竹此太夫/直傳/正本屋小兵衛板」, 内題  
下に「座本豊竹此母」とある。冒頭に「尾州/  
書林/吉田屋又平」「尾州/名古屋/書林三壘  
堂」の印がある。

4—28マ65 四百貳十卷㊦ 20銭

ムコギミハゲンケノルイエフヨメギミハヘイケノオチウド  
31897 鯉君ハ源家の類葉  
嫁君ハ平家の落人

テフハナガタメイカノシマダイ  
蝶苺形名歌嶋臺

半1冊(他4冊と合1帙)  
(1793)

若竹笛躬・中村魚眼作 寛政5初演・刊

大坂 佐々井治郎右衛門(心齋橋南へ五丁目),

江戸 西宮新六(本材木町一丁目)

※七行本。95丁。「座本豊竹榮治郎」の奥書あり。

4—28マ65 な四百四十六番㊦ 20銭

ツクシノシラスヒアヅマノササラエ  
31898 築紫の白縫  
吾妻の影江

チンゼイハチラウホマレノユンゼイ  
鎮西八郎譽弓勢

半1冊(他4冊と合1帙)  
(1808)

佐藤太作 文化5初演・刊

大坂 山本九葉亭, 京 今井七郎兵衛(寺町通

松原上町), 江戸 松本平助(日本橋四日市),

大坂 玉水源治郎(北浜西横堀船町)

※七行本。96丁。内題下に「座本竹本の太夫」と  
ある。

4—28マ65 五百〇六番㊦ 20銭

チンゼイハチラウモロコシブネ  
31899 鎮西八郎唐土船

半1冊(他4冊と合1帙)  
(1720)

紀海音作 享保5初演, 刊年不明

大坂 西澤九左衛門(上久宝寺町三丁目)

※七行本。86丁。「井川屋」ほかの貸本屋の印あ  
り。「豊竹上野少掾」の奥書あり。

4—28マ65 三三㊦ 20銭

チンゼイハチラウユミヤワウライ  
31900 鎮西八郎射往来

半1冊(他4冊と合1帙)  
(1747)

春艸堂作 延享4初演・刊

大坂 天満玉玉水源二郎(西横堀舟町)

※七行本。95丁。見返し内題右に「太夫 陸竹小

和泉」とある。はじめから15丁迄部分的に破損。  
補修されている。

4—28マ65 式百四十一㊦ 20銭

ツブレノニシキイマヤウネリドメ  
31901 襤褸錦今様織留

半1冊(他4冊と合1帙)

入我園我入・長谷川夏秋作, 並木翁輔跋  
(1781)  
天明元初演・刊

江戸 山崎金兵衛(石町三丁目十軒店), 京  
山本九兵衛(二條通寺町西江入丁), 大坂 長  
谷川武市郎(南錦屋町)

※七行本。96丁。竹本政太夫の奥書あり。「舛宗」  
印あり。

4—28マ66 二百□六㊦ 20銭

ツノビタヒウラミノジャヤナギ  
31902 角額嫉蛇柳

半1冊(他4冊と合1帙)

竹本三郎兵衛作 明和8初演・刊

江戸 鱗形屋孫兵衛(大伝馬町三丁目), 大坂  
阿波屋平□(心斎橋□三丁目)

※七行本。93丁。末尾の作者名の両側に「三ッ谷  
鼎/平並一統」と書込みあり。内題下に「座本  
豊竹和歌三」とある。豊竹嶋太夫・豊竹駒太夫  
の奥書あり。

4—28マ66 百三番㊦ 20銭

ゴタイヘイキシジフハチクワンメ  
31903 後太平記 津國女夫池  
四十八巻目

半1冊(他4冊と合1帙)

近松門左衛門作 享保6初演

書肆・刊年不明

※七行本。91丁。最終丁ウラは書写による補修。

4—28マ66 な□□式拾五㊦ 20銭

ツマカサネカウバイコソダ  
31904 裾重紅梅服

半1冊(他4冊と合1帙)

浅田一鳥・但見弥四郎作 延享4初演・刊

書肆不明

※七行本。55丁。旧蔵書の印あり。見返しに彩色  
の人物画あり。表紙に作者名を記した小札あり。

4—28マ66 大惣番号札剝落㊦ 20銭

ツマガサネナニハハチモンジ  
31905 裾重浪花八文字

半1冊(他4冊と合1帙)

八民平七作 明和6初演・刊

書肆不明

※七行本。96丁。内題下に「座本竹本綱太夫」と  
ある。

4—28マ66 な四百五十六㊦ 20銭

テンチテンワウカリホノイホリ  
31906 天智天皇菰穗菴

半1冊(他3冊と合1帙)

並木永輔(内題下)・浅田一鳥・浪岡黒藏主・豊竹  
上野(巻末)作 宝暦4初演・刊

江戸 鱗形屋孫兵衛(大傳馬町三丁目), 大坂  
西澤九左衛門(心斎橋南四丁目)

※七行本。103丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」  
とある。

4—28マ67 三百拾三㊦ 20銭

テンジンキ  
31907 天神記 半1冊(他3冊と合1帙)

近松門左衛門作 正徳3初演

書肆・刊年不明

※七行本。86丁。

4—28マ67 な七百四十式㊦ 20銭

ドツコノダロクイチダイバナシ  
31908 蝕鉦駄六一代噺

半1冊(他5冊と合1帙)

吉田仲二・松貫四作 安永3初演・刊

書肆不明

※七行本。85丁。内題下に「座本豊竹東治」とあ  
る。墨書題簽には角書「小野/道風」あり, 内  
題の右上にもこれを書込んである。「本屋久八」  
の印あり。

4—28マ68 な三百九拾九㊦ 20銭

トノヅクリセンデヤウガタケ  
31909 殿造千丈獄

半1冊(他5冊と合1帙)

豊竹應律・黒藏主作 明和6初演・刊

京 菱屋治兵衛(寺町通松原上ル西側北より)

※十行本。65丁。内題下に「座本豊竹万三」とあ  
る。題簽改裝。

4—28マ68 二百一㊦ 20銭

トウカイダウシチリノワタシ  
31910 東海道七里艇架

半1冊(他5冊と合1帙)

近松半二・榮善平・八民平七作 安永4初演・刊

書肆不明

※七行本。100丁。墨書題簽は「東海道七里の渡」。



演劇博物館の目録では同書を「——しちりのふなばし」とする。内題下に「座本近松半二」とある。

4—28マ68 な百八拾番㊦ 20銭

31911 唐金茂衛門東鬘

半1冊 (他5冊と合1帙)

桜井頼母・並木和輔作 延享2初演, 同3刊

書肆不明

※七行本。96丁。最終丁は書写による補修。

4—28マ68 な二百廿番㊦ 20銭

31912 道具屋お亀

半1冊 (他5冊と合1帙)

作者未詳 天明2刊

書肆不明

※六行本。115丁。内題下を切りとった跡がある。

題簽改裝。

4—28マ68 三百八十六 20銭

31913 道成寺現在蛇鱗

半1冊 (他2冊と合1帙)

浅田一鳥・並木宗輔作 寛保2初演

書肆・刊年不明

※十行本。70丁。同帙に同書七行本あり。

4—28マ69 百十八う㊦ 20銭

31914 道中亀山嘶

半1冊 (他2冊と合1帙)

近松半二作 安永7初演・刊

書肆不明

※七行本。91丁。内題下に「竹本染太夫正章」とある。

4—28マ69 三百四十七㊦ 20銭

31915 那須與市西海硯

半1冊 (他5冊と合1帙)

並木宗助・同丈助作 享保19初演

書肆・刊年不明

※七行本。93丁。

4—28マ70 五十九㊦ 20銭

31916 夏衣裳鴈染

半1冊 (他5冊と合1帙)

寺田兵藏作

(1770)  
明和7初演・刊

書肆不明

※七行本。70丁。はじめに絵尽くし (丁附は三から七オモテまで) を附す。内題下に「座本竹本春吉」とある。内題上に角書「男作/五鴈」を書き込んでいる。

4—28マ70 な二百九十六㊦ 20銭

31917 團七九郎兵衛  
釣船三婦 夏祭浪花鑑  
一寸徳兵衛

半1冊 (他5冊と合1帙)

並木千柳・三好松洛・竹田小出雲作 延享2初演・刊

京 菱屋治兵衛 (寺町松原上ル西側), 江戸  
鱗形屋孫兵衛 (大傳馬町三丁目)

※十行本。61丁。31918に同書七行本あり。

4—28マ70 式 七㊦ 20銭

31918 團七九郎兵衛  
釣船三婦 夏祭浪花鑑  
一寸徳兵衛

並木千柳・三好松洛・竹田小出雲作 延享2初演・刊

書肆不明

※七行本。101丁。31917に同書十行本あり。

4—28マ70 式百廿七番㊦ 20銭

31919 梅川 夏楓連理枕  
新七

半1冊 (他5冊と合1帙)

浅田一鳥・安田蛙桂・豊田正助・難波三蔵作 寛延3初演・刊

正本屋九左衛門

※七行本。75丁以下破損。内題下に「座本豊竹越前少掾」とある。31920に同書十行本あり。

4—28マ70 三百〇八 20銭

31920 梅川 夏楓連理枕  
新七

半1冊 (他5冊と合1帙)

浅田一鳥・安田蛙桂・豊田正助・難波三蔵作 寛延3初演・刊

京 菱屋治兵衛 (寺町松原上ル西側)

※十行本。50丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」とある。31919に同書七行本あり。

4—28マ70 大惣番号不明㊦ 20銭

31921 ナツユ カ タセイジフラウゾメ  
夏浴衣清十郎染

半1冊 (他5冊と合1帙)  
(1778)

菅専助・豊春助作 安永7初演・刊  
大坂 大津屋 佐々井治郎右衛門 (長堀白鬚橋北へ入), 江戸 山崎金兵衛 (本石町三丁目)・鱗形屋孫兵衛 (大傳馬町三丁目)  
※七行本。50丁。内題下に「座本豊竹此吉」とある。

4—28マ71 な六百四十巻㊦ 20銭

31922 ナナクサワカナノイサラン  
七草若菜功

半1冊 (他5冊と合1帙)

津鬼角・樹下石上・春永慶佐作, 双木千竹補助  
(1782)  
天明2初演・刊  
江戸 松本屋萬吉 (長谷川町新道)  
※七行本。87丁。終丁に「口演」あり。内題下に「座本豊竹東治」とある。墨書題籤には角書「日本勇将/唐土猛将」あり。

4—28マ71 な三百五拾五㊦ 20銭

31923 ラノノスミヤキフカクサノカハラシ  
小野炭焼 ナナコマチ  
深草釜師 七小町

半1冊 (他5冊と合1帙)  
(1727)

竹田出雲作 享保12初演, 刊年不明  
京 山本九兵衛 (二條通寺町西へ入丁), 大坂 山本九右衛門 (高麗橋二丁目出店)  
※七行本。92丁。内題の下に「旭扇」と書込まれ, 墨書題籤はそれを受けて「七小町旭扇」として

いる。  
4—28マ71 〇四十五 20銭

31924 ナニハブンシヤウユフギリヅカ  
浪花文章夕霧塚

半1冊 (他5冊と合1帙)  
(1751)

浪岡橋平・浅田一鳥・安田蛙桂作 寛延4初演・刊  
書肆不明

※七行本。90丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」とある。見返しに口絵あり。

4—28マ71 三百六㊦ 20銭

31925 ナニハマルコガネノニハトリ  
難波丸金鶏

半1冊 (他5冊と合1帙)  
(1759)

若竹笛躬・豊竹應律・中邑阿契作 宝暦9初演・刊  
江戸 鱗形屋孫兵衛 (大傳馬町三丁目), 大坂 西澤九左衛門 (心齋橋南四丁目)

※七行本。110丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」とある。巻末の作者連名の端に「近松光軒」と書込みあり。

4—28マ71 式百九十五㊦ 20銭

31926 アニモガツボウオトウトモガツバウ  
兄も喝儿  
弟も合邦  
ナニハメイシヨコセキノツジ  
浪華名所古跡辻

半1冊 (他5冊と合1帙)  
(1793) (1794)

中村魚眼作 寛政5初演, 同6刊  
京 菊屋七郎兵衛 (寺町通松原上ル町), 江戸 西宮新六 (本材木町一丁目), 大坂 本屋卯之助 (心齋橋筋塩町)・勝尾屋六兵衛 (御堂筋唐物町北江入)

※七行本。88丁。「座本鶴澤三根吉」の奥書あり。

4—28マ71 〇四五二㊦ 20銭

31927 ナント ジフサンガネ  
南都十三鐘 半1帙1冊  
並木宗輔・安田蛙桂作 享保13初演  
書肆・刊年不明

※七行本。102丁。

4—28マ72 な九拾貳番㊦ 20銭

31928 ニチレンシヤウニンミノリノウミ  
日蓮聖人御法海

半1冊 (他3冊と合1帙)

並木鯨児・並木正三作, 浅田一鳥・並木宗輔添削  
(1751)  
寛延4初演・刊  
大坂 西沢九葉軒, 京 今井七郎兵衛 (寺町通松原上町), 江戸 松本平助 (日本橋四日市), 大坂 玉水源治郎 (北浜西横堀船町)

※七行本。90丁。題籤下部に「豊竹若太夫直傳/玉水源次郎新板」とある。内題下に「座本豊竹越前少掾」とある。

4—28マ73 な貳百三拾貳㊦ 20銭

31929 ニツボンフリソデノハジマリ  
日本振袖始

半1冊 (他3冊と合1帙)  
(1718)

近松門左衛門作 享保3初演  
書肆・刊年不明

※七行本。83丁。墨書題籤の書名下に「邪神/口傳」とある。はじめの3丁は書写による補修。

4—28マ73 二㊦㊦ 20銭

31930 アフミゲンジ ニホノウミカウミヤウスズリ  
近江 鳩湖高名硯  
源氏  
半1冊(他3冊と合1帙)  
近松湖水軒・近松梅枝軒作, 近松柳添削  
(1801)  
寛政13初演・刊  
江戸 松本平助(四日市), 大坂 天満屋安兵衛(平野町御霊筋西へ入)・本屋清七(心斎橋塩町角)・本屋林蔵(順慶町北へ入)  
※七行本。94丁。内題下に「座本豊竹諏訪太夫」とある。題籤下部に「座本豊竹諏訪太夫直傳/正本所/本屋清七/本屋林蔵/新板」とある。  
4—28マ73 四百九十二㊦ 20銭

31931 クルワノナハミチノクニノナハナガト  
廓の名は陸奥  
國の名は長門  
ハギダイミヤウケイセイノカタキウチ  
萩大名傾城敵討  
半1冊(他5冊と合1帙)  
近松半二・近松東南・三好松洛・松田才二・竹本三郎兵衛作  
(1770)  
明和7初演  
書肆・刊年不明  
※七行本。93丁。初丁は書写による補修。最終丁破損。内題下に「座本竹田新松」とある。  
4—28マ74 四百二十五 20銭

31932 タヌキヲシヤウノクワンゲテウバケヂザウノリヤクエンギ  
狸和尚勸化帳  
化地藏略縁起  
バケクラベウシミツノカネ  
化競丑満鐘  
半1冊(他5冊と合1帙)  
(1800)  
曲亭馬琴作・自跋 寛政12刊  
江戸 葛屋重三郎(常磐橋御門本町筋下ル八丁目通油町)  
※八行本。60丁。扉は丹青刷りの絵入り。浄瑠璃仕立ての読本(『義太夫年表』2, P.156)。扉の裏に板元の口上あり。挿絵あり。見返しに広告札「ゆびやみの葉」「ちとめ疵葉」あり。  
4—28マ74 五百五十七㊦ 20銭

31933 ハコネレイゲンキザリノアダウチ  
箱根靈驗甞仇討  
半1冊(他5冊と合1帙)  
(1801)  
司馬芝叟作 享和元初演・刊  
書肆不明  
※七行本。108丁。おわり5丁は下部が破損し、補修されている。不審紙や朱の書込みあり。  
4—28マ74 五百九十三番㊦ 20銭

31934 ミノヤミカツアカネヤハンシチ  
美濃や三勝 ハデスガタランナマヒギス  
あかねや半七 艶容女舞衣  
半1冊(他5冊と合1帙)  
竹本三郎兵衛・豊竹應律・八民平七作  
(1772)  
安永元初演・刊  
江戸 鱗形屋孫兵衛(大伝馬町三丁目), 大坂 阿波屋平七(心斎橋南へ三丁目)  
※七行本。71丁。墨書題籤は角書「三勝/半七」。  
内題下に「故豊竹越前孫座本豊竹定吉」とある。  
4—28マ74 五百〇八番㊦ 20銭

31935 ハデスガタカラブンダン  
端手姿鎌倉文談  
半1冊(他5冊と合1帙)  
菅専助作  
(1777)  
安永6初演・刊  
書肆不明  
※七行本。96丁。内題下に「座本豊竹此吉」とある。  
4—28マ74 大惣番号不明㊦ 20銭

31936(1) ヘイケノイウクンゲンジノダイジン  
平家遊君 ハナイクサジュエイノハル  
源氏大尽 花軍壽永春  
半(2)と併せて1冊(他6冊と合1帙)  
(1767)  
故人吉田冠子作 明和4初演・刊  
書肆不明  
※「関取千両幟」と合刻。(2)参照。七行本。第31丁オモテまで。同丁ウラから第93丁までが(2)。内題下に「座本竹田文吉」とある。  
4—28マ75 百廿番㊦ (2)共20銭

31936(2) ゴジヤウルリ  
後浄 セキトリセンリヤウノボリ  
瑠璃 関取千両幟  
近松半二・三好松洛・竹田文吉・竹田小出・八民平七・竹本三郎兵衛作  
(1767)  
明和4初演・刊  
書肆不明  
※七行本。62丁。(1)のあとに合刻されている。  
4—28マ75

31937 フタバレイジンアツマノヒナガタ  
莠伶人吾妻雛形  
半1冊(他5冊と合1帙)  
(1733)  
並木宗助・同丈助作 享保18初演  
書肆・刊年不明  
※七行本。84丁。表紙に「盛久/藤永/□/安宅」と刷られた題籤が残る。「名古屋/門前町/伊勢屋太兵衛」の印あり。  
4—28マ77 百十四㊦ 20銭

31938 ハナクラベイセモノガタリ 競伊勢物語 ㊦  
半1冊(他5冊と合1帙)  
奈河亀助(内題下)・辰岡万作・奈河真藏・奈河丈助・吉井勢作(巻末)作 安永4初演・刊  
大坂 大津屋溝口治郎右衛門(長堀阿彌陀橋北江入)  
※七行本。80丁。「座本嵐松治郎/後見中村歌右衛門」の奥書あり。「狂言作者□□」の序(安永4)あり。三段目より大切まで。「本屋利兵衛」印あり。同帙に同書の上冊(大惣本ではない)あり。

4-28マ77 三九五 20銭

31939 ミメグリノキウセキヨシハラノメイシヨ 三園の旧蹟 吉原の名所  
ハナクラベイセモノガタリ 花競名句雫  
半1冊(他6冊と合1帙)  
濱釣亭門人浅一蓬・森竹釣虹作 文化3初演・刊  
京 須原屋平左衛門(富小路三條下ル町), 大坂 勝尾屋六兵衛(心斎橋筋博労町), 江戸 音羽屋佐七(葦屋町)・西宮新六(本材木町一丁目)  
※六行本。45丁。題簽に朱で「五百一番」と書込みあり。内題下に「座本大薩摩吉右衛門」とある。

4-28マ75 な六百拾貳番㊦ 20銭

31940 シミヅキヨハルキヨミヅセイゲン 清水清玄 ハナケイツミヤコカガミ 花系圖都鑑  
半1冊(他6冊と合1帙)  
竹田出雲(内題下)・二歩軒・近松半二・北窓後一・竹本三郎兵衛・三好松洛(巻末)作 宝暦12初演・刊  
京 菊屋七郎兵衛(寺町通松原上ル町西側)  
※十行本。50丁。31941に同書七行本, 同帙に同版本あり。見返しに貸本屋の挨拶あり。「六一⑤」の小札あり。題簽下部には「竹本儀太夫直傳/菱屋治兵衛板」とある。

4-28マ75 な六十貳番 20銭

31941 シミヅキヨハルキヨミヅセイゲン 清水清玄 ハナケイツミヤコカガミ 花系圖都鑑  
半1冊(他6冊と合1帙)  
竹田出雲(内題下)・二歩軒・近松半二・北窓後一

・竹本三郎兵衛・三好松洛(巻末)作 宝暦12初演・刊  
京 山本九兵衛(二條通寺町西江入丁), 大坂 山本九右衛門(堺筋日本橋北江三丁目), 江戸 鱗形屋孫兵衛(大傳馬三丁目)  
※七行本。75丁。31940および同帙のもう1冊に同書十行本あり。「取次所/名古屋/上長者町/井野屋六兵衛」の蔵書印あり。  
4-28マ75 六十貳番㊦ 20銭

31942 ハナダスキクワイケイノカチンゾメ 花袈會替掲布染  
半1冊(他5冊と合1帙)  
菅専助・若竹笛躬作 安永3初演  
書肆・刊年不明  
※七行本。95丁。朱・墨の書込みあり。  
4-28マ76 な百廿八番㊦ 20銭

31943 コンビラリシヤウキ 金毘羅 利生記 ハナノウヘノホマレノイシヅミ 花上野誉の石碑  
半1冊(他5冊と合1帙)  
しば叟・筒井半幸作, 濱町亭連中 寛政元刊  
大坂 佐々井治良右衛門(四ツ橋南詰西入), 江戸 西宮新六(本材木町一丁目)・上總屋利兵衛(江戸橋四日市)  
※七行本。106丁。内題下に「座元豊竹東治」とある。天明8初演初刷本の後刷本。内題上に朱で「老番」と記されている。  
4-28マ76 な四百七十八 20銭

31944 ハナモミデミヤコモヤウ 花楓都模様  
半1冊(他5冊と合1帙)  
菅専助作 寛政3初演・刊  
京 今井七郎兵衛(寺町通松原下ル町), 大坂 正本屋西澤小兵衛(心斎橋南へ四丁目)  
※七行本。55丁。奥書のみ書写による補修。内題下に「座本豊竹此母」とある。見返しに貸本屋「源九郎」の挨拶の書込みあり。  
4-28マ76 □式 20銭

31945 ハナワサンシンラゲンジ 華和讃新羅源氏  
半1冊(他5冊と合1帙)  
梁塵軒作 寛延2初演・刊  
書肆不明

※七行本。48丁。内題下に「豊竹越前少掾」とある。31946に同書十行本あり。はじめの5丁に破損あり、書写補修されている。

4—28マ77 大惣番号札剥落㊦ 20銭

31946 ハナワサンシンラゲンジ  
華和讃新羅源氏

半1冊(他5冊と合1帙)

(1749)

梁塵軒作 寛延2初演・刊

京 菱屋治兵衛(寺町松原上ル西側北より)

※十行本。30丁。内題下に「豊竹越前少掾」とある。31945に同書七行本あり。

4—28マ77 六百〇九㊦ 20銭

31947 ハンクワノチヲトコカガミ  
繁花地男鏡

半1冊(他5冊と合1帙)

(1779)

守川文蔵・中井栄治・春木元輔作 安永8初演・刊

書肆不明

※七行本。85丁。内題下に「座本竹本政吉」とある。

4—28マ77 三百四拾貳㊦ 20銭

31948 マンコシヤウゲンモロコシニツキ  
万戸将軍唐日記

半1冊(他2冊と合1帙)

(1747)

浅田一鳥・但見弥四郎・梁塵軒作 延享4初演・刊

書肆不明

※七行本。105丁。「山口町／津國屋／清五郎」他の印あり。

4—28マ78 大惣番号札刺落㊦ 20銭

31949 パンシウサラヤシキ  
播州皿屋鋪

半1冊(他2冊と合1帙)

(1741)

為永太郎兵衛・浅田一鳥作 寛保元初演

書肆・刊年不明

※七行本。上之巻27丁、中之巻30丁、下之巻23丁。

4—28マ78 四百六九㊦ 20銭

31950 パンバノチュウダコウバイエビラ  
番場忠太紅梅姫

半1冊(他2冊と合1帙)

(1763)

若竹笛躬・中邑阿契作 宝暦13初演・刊

書肆不明

※七行本。95丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」とある。

4—28マ78 な百貳十六番㊦ 20銭

31951 ヒガシヤマドノヲサナモノガタリ  
東山殿幼稚物語

半1冊(他4冊と合1帙)

菅専助・豊春助・竹本三郎兵衛・豊竹應律作

(1780)

安永9初演・刊

書肆不明

※七行本。96丁。内題下に「座本豊竹此吉」とある。

4—28マ80 三百三五㊦ 20銭

31952 ヒガシヤマドノムロマチガツセン  
東山殿室町合戦

半1冊(他4冊と合1帙)

(1722)

紀海音作 享保7初演、刊年不明

京 山本九兵衛(二條通寺町)、江戸 鱗形屋孫兵衛(大傳馬町三丁目)、大坂 天満屋源治郎(西横堀船町)

※七行本。78丁。第61丁を欠く。

4—28マ80 な八百三十五番 20銭

31953 ゴザンハキウシウチリハハチダウ  
御陣九州  
地理八道

ヒコサンゴンゲンチカヒノスケダチ

彦山権現誓助劍

半1冊(他4冊と合1帙)

(1786)

梅野下風・近松保蔵作 天明6初演・刊

書肆不明

※七行本。113丁。内題下に「座本竹本千太郎」とある。初丁オモテは書写による補修。

4—28マ80 な三百七拾四番 20銭

31954 ヒダカガハイリアヒザクラ  
日高川入相花王

半1冊(他5冊と合1帙)

千前軒門人 竹田小出雲・近松半二・北窓後一・竹本三郎兵衛・二歩堂作 宝暦9初演・刊

京 山本九兵衛(二條通寺町)、江戸 鱗形屋孫兵衛(大傳馬町三丁目)、大坂 天満屋源治郎(西横堀船町)・吉川宗兵衛(同)

※七行本。94丁。題簽下部に「竹本□□／吉川宗兵衛板」とある。同帙に同書十行本あり。

4—28マ79 な百拾番㊦ 20銭

31955 ヒトマルバンゼイノウテナ  
人丸萬歳臺

半1冊(他4冊と合1帙)

豊竹應律・浅田一鳥・中村阿契・黒藏主・七才子・若竹笛躬・福松藤助作 宝暦11初演・刊

(1761)

書肆不明

※七行本。97丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」とある。

4—28マ80 百二十四㊦ 20銭

ヒバリヤマヒメステマツ

31956 鷗山姫舎松

半1冊(他6冊と合1帙)

(1740)

並木宗輔作 元文5初演、刊年不明

大坂 西沢九左衛門(心斎橋南四丁目西側)

※七行本。97丁。豊竹越前少掾の奥書あり。見返し内題の上に「亀印五百三」と書込みあり。同帙に同書七行本あり。

4—28マ81 な式百式十式う㊦ 20銭

トキハゴゼンユヤゴゼン

31957 常盤御前 熊野御前 姫小松子日の遊

半1冊(他6冊と合1帙)

吉田冠子・近松景鯉・竹田出雲・近松半二・三好松洛作 (1757) 宝暦7初演・刊

書肆不明

※七行本。97丁。31958に同書十行本あり。

4—28マ81 な六番㊦ 20銭

トキハゴゼンユヤゴゼン

31958 常盤御前 熊野御前 姫小松子日の遊

半1冊(他6冊と合1帙)

吉田冠子・近松景鯉・竹田出雲・近松半二・三好松洛作 (1757) 宝暦7初演・刊

書肆不明

※十行本。70丁。31957に同書七行本あり。

4—28マ81 な六番㊦ 20銭

ヒヨシマルニドノキキガキ

31959 日吉丸二度清書

半1冊(他5冊と合1帙)

近松やなぎ・近松加造・近松梅枝軒作

(1802)

享和2初演・刊

江戸 松本平助(四日市), 大坂 大津屋治郎右ヱ門(心斎橋南へ四丁目)・天満屋安兵衛(平野町御霊筋西江入)

※七行本。100丁。題簽下部に「座本豊竹房太夫／太夫豊竹麓太夫／直傳／正本所天満屋安兵衛新版」とある。

4—28マ79 四百九十五㊦ 20銭

メイショゴデンユキノマスガタ

31960 比良御陣雪舛形

半1冊(他5冊と合1帙)

(1798)

梅野下風・スケ中村魚眼作 寛政10初演・刊

京 菊屋七郎兵衛(寺町通松原下ル丁), 大坂 亀屋善七(御池通壹丁目)・和多屋喜兵衛(北堀江市之側)

※七行本。115丁。題簽下部に「座本豊竹越太夫／太夫豊竹麓太夫／直傳／正本所和多屋喜兵衛板」とある。

4—28マ79 四百八十七㊦ 20銭

シヤウゾクハコンノダイナシサシモノハキンノゴヘイ

装束紺奴服

指物金御幣

31961

ヒラガタケユキミノデンダテ

比良嶽雪見陣立

半1冊(他5冊と合1帙)

(1786)

芝屋芝叟・梅野下風作 天明6初演・刊

京 今井七郎兵衛(寺町通松原上町)・八木治兵衛(同), 江戸 前川六左衛門(日本橋通三丁目)・山崎金兵衛(本石町十軒店), 大坂 玉水源治郎(北濱西横堀船町)

※七行本。100丁。内題下に「座本竹本千太郎」とある。角書のよみ方は『義太夫年表』による。

4—28マ79 な三百七十五㊦ 20銭

サカロノマツエビラノウメ

逆櫓松

矢船梅

ヒラカナセイスイキ

ひらかな盛衰記

31962

半1冊(他6冊と合1帙)

文耕堂・三好松洛・浅田可啓・竹田小出雲・千前軒作 (1739) 元文4初演・刊

書肆不明

※七行本。93丁。はじめの4丁とおわりの3丁は書写による補修。巻末に「元文四<sup>丁</sup>歳四月十一日／天明二<sup>年</sup>マテ三十三年ニナル／五月四日於三王興行」と書込みあり。31963・31964に同書十行本あり。

4—28マ81 百九十三㊦ 20銭

サカロノマツエビラノウメ

逆櫓松

矢船梅

ヒラカナセイスイキ

ひらかな盛衰記

31963

半1冊(他6冊と合1帙)

文耕堂・三好松洛・浅田可啓・竹田小出雲・千前軒作 (1739) 元文4初演・初刊, 寛政5再板

京 菱屋治兵衛(寺町松原上ル西側)

※十行本。70丁。題簽下部に「竹本義太夫直傳／

菱屋治兵衛板」とある。31962に同書七行本、  
31964に異版の十行本あり。

4—28マ81 三 20銭

31964 ヒラカナセイスイキ  
ひらかな盛衰記

半1冊(他6冊と合1帙)

文耕堂・三好松洛・浅田可啓・竹田小出雲・千前軒  
作 (1739) 元文4初演・刊

京 菊屋七郎兵衛(寺町松原上ル西側)

※十行本。70丁。31962に同書七行本、31963に異  
版の十行本あり。

4—28マ81 な百九十三番 20銭

31965 ヒルガコジマ ブ ユウモンダフ  
蛭小嶋武勇問答

半1帙1冊

竹田小出雲・吉田冠子・近松半二・三好松洛・竹田  
瀧彦作 (1758) 宝暦8初演・刊

書肆不明

※七行本。98丁。

4—28マ82 な九十一番㊤ 20銭

31966 ゾウホ  
増補 フ ジ ニツキシヤウブガタナ  
富士日記菖蒲刀

半1冊(他5冊と合1帙)

千前軒門人並木永輔・竹田平七作 明和2初演・刊  
書肆不明

※七行本。93丁。内題下に「竹田出雲掾」とある。  
初丁オモテ部分的に書写補修。「近江屋」の印  
あり。

4—28マ83 四百二十七㊤ 20銭

31967 フデハラノヒデサトタハラノケイゾ  
藤原秀郷倭系圖

半1冊(他5冊と合1帙)

並木宗助・安田蛙文作 享保14初演、刊年不明  
大坂 正本屋九左衛門(心齋橋南へ四丁目西側)

※七行本。103丁。

4—28マ83 な貳拾六㊤ 20銭

31968 フタゴスミダガハ  
雙生隅田川

半1冊(他5冊と合1帙)

近松門左衛門作 享保5初演、刊年不明

京 山本九兵衛(二條通寺町)、大坂 吉川宗  
兵衛(塩町通心齋橋)、江戸 鱗形屋孫兵衛  
(大傳馬町三丁目)

※七行本。81丁。題簽下部に「竹本筑後掾直傳／

吉川宗兵衛新板」とある。「 壹丁目／唐本  
屋」の印あり。

4—28マ83 な七三五㊤ 20銭

31969 カミヤヂヘエキノクニヤコハル  
紙屋治兵衛 フタツアフギナガラノマツ  
紀伊國屋小春 双扇長柄松

半1冊(他5冊と合1帙)

並木永輔・浅田一鳥・難波三蔵・三津欽子・浪岡黒  
藏主・豊竹上野作 (1755) 宝暦5初演・刊

書肆不明

※七行本。93丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」  
とある。

4—28マ83 六十三㊤ 20銭

31970 フタツテフテフルワ ニ ツキ  
双蝶蝶曲輪日記

半1冊(他5冊と合1帙)

竹田出雲・三好松洛・並木千柳作 寛延2初演・刊  
書肆不明

※十行本。70丁。「名古屋宮町／鍛冶屋町東エ入  
／浅田屋九兵衛」など貸本屋の印あり。

4—28マ84 百五十三㊤㊤ 20銭

31971 コイナハンベエ  
小いな フタツモンカタミノスゴモリ  
半兵衛 雙紋筐篋籠

半1冊(他5冊と合1帙)

菅專助・中邑阿契作 明和6初演・刊  
書肆不明

※七行本。30丁。内題下に「座本豊竹此吉」とあ  
る。

4—28マ84 な六百五拾五㊤ 20銭

31972 フタリシツカタイナイサグリ  
燦 静胎内拵

半1冊(他5冊と合1帙)

近松門左衛門作 正徳3初演、刊年不明  
大坂 山本九兵衛・山本九右衛門(高麗橋老丁  
目)

※七行本。80丁。「竹本筑後掾」の奥書あり。墨  
書題簽「ふたば静胎内拵」。

4—28マ84 な七百三拾六㊤ 20銭

31973 フデハジメイロ ハ ソ ガ  
筆始いろは曾我

半1冊(他5冊と合1帙)

筒井半二作 寛政3初演・刊  
書肆不明

※七行本。100丁。終丁に「座本竹本折太夫」と

ある。

4-28マ84 な四百貳拾㊦ 20銭

31974 タンジヤウノウメソセイノマツ フリソデテンジン キ  
誕生梅 振袖天神記  
蘇生松 (1769)  
半1冊 (他5冊と合1帙)  
近松半二・近松桃南・松田才二・三好松洛作  
明和6初演・刊  
京 山本九兵衛 (二條通寺町西江入丁)・吉川  
宗兵衛 (橋筋)  
※七行本。95丁。31975に同書十行本あり。他の  
貸本屋の印あり。  
4-28マ84 貳百六十五番㊦ 20銭

31975 タンジヤウノウメソセイノマツ フリソデテンジン キ  
誕生梅 振袖天神記  
蘇生松 (1769)  
半1冊 (他5冊と合1帙)  
近松半二・近松桃南・松田才二・三好松洛作  
明和6初演・刊  
京 菱屋治兵衛 (寺町松原上ル西側北より)  
※十行本。64丁。31974に同書七行本あり。題簽  
下部に「竹本義太夫直傳／菱屋治兵衛新版」と  
ある。  
4-28マ84 六十五㊦ 20銭

31976 プレンテンワウフナオソホヒ  
武烈天皇 幟  
半1冊 (他3冊と合1帙)  
為永太郎兵衛作 元文5初演 (1740)  
書肆・刊年不明  
※七行本。100丁。『義太夫年表』によれば「鐺振  
山姿石／玉穂都花匡」という角書があったか。  
同帙に同書十行本あり。  
4-28マ85 な貳拾五番㊦ 20銭

31977 フウゾクタイヘイ キ  
風俗太平記  
半1冊 (他5冊と合1帙)  
為永太郎兵衛 (内題下)・浅田一鳥・豊岡珍平・小  
川半平 (巻末) 作 寛保3初演・刊 (1743)  
書肆不明  
※七行本。96丁。同帙に同書十行本あり。  
4-28マ83 な拾六㊦ 20銭

31978 ミナモトノヨリノブミナモトノヨリチカ プンブヨウギノウメ  
源頼信 文武世継梅  
源頼親 (1813)  
半1冊 (他3冊と合1帙)

並木千柳・三好松洛作 (1750)  
寛延3初演・刊  
書肆不明  
※十行本。70丁。31979に同書七行本あり。

4-28マ85 四十貳㊦ 20銭  
31979 ミナモトノヨリノブミナモトノヨリチカ プンブヨウギノウメ  
源頼信 文武世継梅  
源頼親 (1750)  
半1冊 (他3冊と合1帙)  
並木千柳・三好松洛作 (1750)  
寛延3初演・刊  
書肆不明  
※七行本。100丁。31978に同書十行本あり。  
4-28マ85 な四十貳番㊦ 20銭

31980 ヘイケニヨゴシマ  
平家女護嶋 半1帙1冊  
近松門左衛門作 (1719)  
享保4初演  
書肆・刊年不明  
※七行本。82丁。  
4-28マ86 大惣番号不明㊦ 20銭

31981 ホンケガヘリムカシコヨミ  
本卦復昔暦 半1冊 (他6冊と合1帙)  
北脇素仁・梁塵軒・中邑阿契作 明和8初演・刊 (1771)  
大坂 正本屋小兵衛 (日本橋北江三町目), 江  
戸 鱗形屋孫兵衛 (大傳馬町三町目)  
※七行本。70丁。内題下に「座本豊竹此吉」とあ  
る。題簽下部に「豊竹若太夫／豊竹此太夫／直  
傳／正本屋小兵衛板」とある。  
4-28マ87 百七十五番㊦ 20銭

31982 ホンダヨシミツヤマトカガミ  
本田善光日本鑑 半1冊 (他6冊と合1帙)  
為永太郎兵衛作 元文5初演 (1740)  
書肆・刊年不明  
※六行本。101丁。おわりの2丁は書写による補  
修で、もとは100丁か。  
4-28マ87 百四十一㊦ 20銭

31983 アネハワカクサイモトハハツネ  
姉若草 本町糸屋娘  
妹初音 (1813)  
半1冊 (他6冊と合1帙)  
佐川藤太・佐川荻丸・吉田新吾作 文化10初演・刊  
京 八木治兵衛 (寺町松原上ル), 江戸 松本  
平助 (四日市), 大坂 玉水源治郎 (西横堀舟  
町)・小林六兵衛 (心斎橋博労町)・玉置清七



(心齋橋塩町角)・廣岡安兵衛(平野町御霊筋西)・前田喜兵衛(北堀江市場)・佐々井治郎右衛門(心齋橋南江五丁目)

※七行本。107丁。題簽下部に「元祖豊竹越前少掾相傳／大坂正本板元中」とある。内題下に「太夫本豊竹喜代太夫」とある。

4-28マ87 五百十三㊦ 20銭

31984 ホンテウ ゴ スイデン  
本朝五翠殿

半1冊(他6冊と合1帙)

紀海音作 刊年不明

大坂 西澤九左衛門(上久宝寺町三丁目)

※七行本。86丁。内題下に「豊竹上野少掾」とある。『義太夫年表』によれば、享保16上演。おわりの4丁は「浄留利古今之序」。他の貸本屋の印多数あるが、墨で塗抹。

4-28マ87 な八百十一番㊦ 20銭

31985 ホンテウサンゴク シ  
本朝三國志

半1冊(他4冊と合1帙)

近松門左衛門作 享保4初演

書肆・刊年不明

※七行本。81丁。

4-28マ88 大惣番号札剝落㊦ 20銭

31986 イツキウヲシヤウニナガハシンエモン  
一休和尚 ホンテウタンドクセン  
蜷川新右衛門 本朝檀特山

半1冊(他4冊と合1帙)

並木宗助・安田蛙文作 享保15初演

書肆・刊年不明

※七行本。93丁。

4-28マ88 な六拾九㊦ 20銭

31987 タケダシゲンナガラケンシン  
武田信玄 ホンテウニジフシカウ  
長尾謙信 本朝廿四孝

半1冊(他4冊と合1帙)

近松半二・三好松洛・竹田因幡・竹田小出・竹田平

七・竹本三郎兵衛作 明和3初演・刊

書肆不明

※七行本。98丁。内題下に「座本竹田因幡掾」とある。31988に同書十行本あり。

4-28マ88 な九十番㊦ 20銭

31988 タケダシゲンナガラケンシン  
武田信玄 ホンテウニジフシカウ  
長尾謙信 本朝廿四孝

半1冊(他4冊と合1帙)

近松半二・三好松洛・竹田因幡・竹田小出・竹田平  
七・竹田三郎兵衛作 明和3初演・刊

京 菱屋治兵衛(寺町松原上ル西側), 江戸  
鱗形屋孫兵衛(大傳馬町三丁目)

※十行本。65丁。見返しに『本心 真一文字』なる書の広告あり。題簽下部に「竹本筑後掾直傳／竹本大和掾相傳／菱屋治兵衛新版」とある。内題下に「座本竹田因幡掾」とある。31987に同書七行本あり。

4-28マ88 大惣番号札剝落 20銭

31989 ホンテウハンヂヨノアフギ  
本朝斑女箋

半1冊(他4冊と合1帙)

為永太郎兵衛作 寛保元初演, 刊年不明

大坂 正本屋九左衛門(心齋橋南四町目西側)

※七行本。96丁。「伊勢屋太兵衛」など他の貸本屋の印あり。

4-28マ88 三六三㊦ 20銭

31990 ミラツクシナニハイクダ  
濤標浪花筏

半1冊(他5冊と合1帙)

梁塵軒・若竹笛躬・中邑阿契作 明和8初演・刊

書肆不明

※七行本。73丁。内題下に「太夫豊竹若太夫／座本豊竹此吉」とある。「本屋久八」の印あり。

4-28マ90 な六百六十四 20銭

31991 ミウラノオホスケコウバイノタヅナ  
三浦大助紅梅鞆

半1冊(他4冊と合1帙)

長谷川千四・文耕堂作 享保15初演

書肆・刊年不明

※十行本。66丁。同配架番号の別の帙に同書七行本あり。

4-28マ89 大惣番号不明㊦ 20銭

31992 ビヂヤウゴゼンカウジュマル  
美丈御前 ミガハリユミハリヅキ  
幸寿丸 身替弦張月

半1冊(他2冊と合1帙)

西沢一鳳・田中千柳作 享保10初演

書肆・刊年不明

※七行本。84丁。

4-28マ89 二二九㊦ 20銭

31993 ミケンジャクゾウノミツギ  
眉間尺象貢  
半1冊(他2冊と合1帙)  
(1729)  
竹田出雲掾・長谷川千四作 享保14初演  
書肆・刊年不明  
※七行本。99丁。  
4—28マ89 二百二十一〇 20銭

31994 タマヤシンベエイデムランシンベエ  
玉谷新兵衛  
出村新兵衛  
ミクニコチヨラウアケボノザクラ  
三國小女郎曙桜  
半1冊(他3冊と合1帙)  
(1755)  
難波三蔵・豊竹上野作 宝暦5刊  
書肆不明  
※七行本。100丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」とある。同帙に同書十行本あり。  
4—28マ89 百九十四④ 20銭

31995 センシウオタキチヤヤセツシウテンガチヤヤ  
泉州小田居茶屋  
摂州殿下茶屋  
ミツカタイヘイキ  
三日太平記  
半1冊(他5冊と合1帙)  
近松半二・三好松洛・八民平七・竹本三郎兵衛作  
(1787)  
明和4初演・刊  
書肆不明  
※十行本。64丁。初丁および第2丁の上部破損し、書写により補修されている。内題下に「座本竹田文吉」とある。同帙に同書七行本あり。  
4—28マ90 な三百四十五〇 20銭

31996 ミバエゲンジコンワウザクラ  
實生源氏金王櫻  
半1冊(他5冊と合1帙)  
(1798)  
福内鬼外作 寛政10初演、刊年不明  
京 須原屋平左衛門(三條通富小路下ル町)、  
大坂 玉水源治郎(北濱西横堀松町)、江戸  
上總屋利兵衛(日本橋四日市)・西宮新六(本  
材木町壹丁目)  
※七行本。76丁。題簽下部に「元祖豊竹肥前掾/  
座元豊竹東治/正本所西宮新六版」とある。  
4—28マ90 五百番二 20銭

31997 ミヨシチャウケイキヌタグンダン  
三好長慶碓軍談  
半1冊(他5冊と合1帙)  
(1762)  
梁塵軒作 宝暦12初演・刊

江戸 鱗形屋孫兵衛(大傳馬町三丁目)、大坂  
西澤九左衛門(心齋橋南へ四丁目)  
※七行本。90丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」とある。題簽下部に「豊竹越前少掾/豊竹筑前少掾/直傳/正本屋九左衛門板」とある。  
4—28マ90 三百五十式〇 20銭

31998 ウメノヨシベエ  
梅野 由兵衛  
ムカヒカゴチシゴノアカネゾメ  
迎駕籠死期茜染  
半1冊(他3冊と合1帙)  
(1771)  
竹本三郎兵衛・寺田平藏作 明和8初演  
書肆・刊年不明  
※七行本。66丁まで。67丁以下を欠く。内題下に「座本豊竹和歌三」とある。  
4—28マ91 四百〇七〇 20銭

31999 ムカシウタイマモノガタリ  
むかし唄今物語  
半1冊(他3冊と合1帙)  
(1781)  
大原和水・双木千竹作 安永10初演  
書肆・刊年不明  
※七行本。95丁。終丁落丁と思われる。また、はじめの3丁小破損。内題下には「豊竹東治」とあったか(『義太夫年表』による)。  
4—28マ91 四百十番〇 20銭

32000 ムカシヲトコカスガノコマチ  
昔男春日野小町  
半1冊(他3冊と合1帙)  
竹田出雲・竹田瀧彦(内題下)・竹田小出雲・北窓  
後一・竹土丸・近松半二(巻末)作  
(1757)  
宝暦7初演・刊  
書肆不明  
※十行本。70丁。  
4—28マ91 三百五〇 20銭

32001 イハキサナイアカホシミツエモン  
岩井左内 赤星満右エ門  
ムカシモヤウカメヤマゾメ  
往昔模様亀山染  
半1冊(他3冊と合1帙)  
三冬庵自在・吉川晴虹・森竹今日志・玉泉堂作  
(1770)  
明和7初演・刊  
大坂 大和屋吉兵衛(天神橋筋奈屋町)・小堀  
屋源助(大手筋織屋町)、江戸 泰本屋萬吉  
(長谷川町新道)・上總屋利兵衛(江戸橋四日  
市)  
※七行本。117丁。題簽下部に「元祖豊竹肥前掾/  
座元豊竹東治/上總屋利兵衛版」とある。

4-28マ91 三百三十二/式番 20銭

(1749)  
寛延2初演・刊

ツルガノトホヤマクワラクノカヅラキ  
敦賀の遠山 名筆傾城鑑  
花洛の葛城

32002 半1冊(他3冊と合1帙)  
(1752)  
吉田冠子・中呂閨助・三好松洛作 宝暦2初演・刊  
書肆不明

※七行本。76丁。

4-28マ91 八十八番㊥ 20銭

シラキゴンバチバンズイチャウベエ  
白井權八 メグロヒヨクヅカ  
幡隨長兵衛 驢山比翼塚

32003 半1冊(他3冊と合1帙)  
森羅萬象改 源平藤橘・海一洙・吉田鬼眼・達田辨二作  
(1779)  
安永8初演・刊

江戸 上総屋利兵衛(江戸橋四日市)

※七行本。110丁。題簽下部に「豊竹東治座正本  
／松本屋萬吉／上総屋利兵衛／新版」とある。

4-28マ91 な九百四十式 20銭

セイシヤウナゴフヂハラユキナリ  
清少納言 ツノグムゲンジウグヒスツカ  
藤原行成 芽源氏鶯塚

32004 半1冊(他3冊と合1帙)  
浅田一鳥・黒藏主・七才子・中呂阿契・豊竹應律作  
(1759)  
宝暦9初演・刊

書肆不明

※七行本。93丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」  
とある。

4-28マ91 な百式拾毫㊥ 20銭

ムカシヨダヤノカベニタウセイノラクシヨ  
昔淀屋壁に  
當世の落書

32005 モチマルチャウジャコガネノカンザシ  
持丸長者金筭

半1冊(他4冊と合1帙)  
(1794)  
近松やなぎ作 寛政6初演・刊

京 菊屋七郎兵衛(寺町通松原上ル町), 大坂  
正本屋小兵衛(嶋之内岩田町)・播磨屋善助  
(同)・和多屋喜兵衛(北堀江市之側)

※七行本。90丁。内題下に「座本豊竹此母／太夫  
豊竹此太夫」とある。

4-28マ92 な四百四拾八㊥ 20銭

ジフデウゲンジ  
十帖 モノグサタラウ  
源氏 物ぐさ太郎

32006 半1冊(他4冊と合1帙)  
浅田一鳥・安田蛙桂・豊丈助・豊正助・難波三蔵作

書肆不明

※七行本。105丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」  
とある。本文前に7丁半の芝居絵本が合綴され  
ている。同帙に同書十行本あり。

4-28マ92 百六番㊥ 20銭

モミヂガリツルギノホンヂ  
32007 桧狩銀本地

半1冊(他4冊と合1帙)

近松門左衛門作

書肆・刊年不明

※七行本。94丁。

4-28マ92 な七百五十八番 20銭

カラオリニホンノテキキ  
32008 唐土織日本手利

半1冊(他4冊と合1帙)

並木千柳・中邑魚眼作 寛政11初演・刊

大坂 山本九葉亭, 京 今井七郎兵衛(寺町通  
松原上町), 江戸 松本平助(日本橋四日市),  
大坂 玉水源治郎(北濱西横堀船町)

※七行本。76丁。竹本政太夫の奥書あり。内題下  
に「座本竹本染太夫」とある。

4-28マ92 な四百八拾九㊥ 20銭

ヤマザキヨジベエネビキノカドマツ  
32009 山崎与次兵衛壽の門松

半1冊(他6冊と合1帙)

近松門左衛門作 享保3初演

書肆・刊年不明

※七行本。43丁。

4-28マ93 大惣番号不明㊥ 20銭

シヨニチ  
初 ヤマシロノクニチクシヤウヅカ  
32010 日 山城の國畜生塚

半1冊(他6冊と合1帙)

竹田和泉掾(内題下)・千前軒門人 近松半二・竹本三  
郎兵衛(巻末)作 宝暦13初演・刊

書肆不明

※七行本。95丁。

4-28マ93 百六十㊥ 20銭

ヤマトウタタケトリモノガタリ  
32011 日本歌竹取物語

半1冊(他6冊と合1帙)

八民平七・萱源七・竹田新四郎作 安永6初演・刊  
江戸 鱗形屋孫兵衛(大傳馬町三丁目), 大坂

傳法屋吉九郎（今橋筋西横堀）

※七行本。93丁。内題下に「竹本染太夫改章直傳」とある。題簽下部に「座本竹田萬治郎／太夫竹本春太夫／太夫竹本染太夫／直傳／寺田吉九郎新版」とある。

4—28マ93 三三六㊦ 20銭

32012 ヤヘガスミナニハノハマヲギ  
八重霞浪花濱荻

半1冊（他6冊と合1帙）

豊丈助・安田蛙桂・豊正助・浅田一鳥作  
(1749)  
寛延2初演・刊

書肆不明

※七行本。85丁。32013に同書十行本あり。内題下に「豊竹越前少掾」とある。見返しに口絵あり。

4—28マ93 改な六百五拾耆㊦ 20銭

32013 ヤヘガスミナニハノハマヲギ  
八重霞浪花濱荻

半1冊（他6冊と合1帙）

豊丈助・安田蛙桂・豊正助・浅田一鳥作  
(1749)  
寛延2初演・刊

書肆不明

※十行本。50丁。32012に同書七行本あり。内題下に「豊竹越前少掾」とある。

4—28マ93 な九百拾九 20銭

32014 ヤマトウタツキミノマツ  
倭歌月見松

半1冊（他6冊と合1帙）

菅専助・安田阿契・若竹笛躬作 安永4初演・刊  
(1775)  
大坂 正本屋小兵衛（日本橋北江三丁目），江  
戸 鱗形屋孫兵衛（大伝馬町三丁目）

※七行本。100丁。題簽下部に「太夫豊竹若太夫／座本豊竹此太夫／正本屋小兵衛版」とある。

4—28マ93 三九二㊦ 20銭

32015 ヤマトガナアリハラケイツ  
倭假名在原系圖

半1冊（他6冊と合1帙）

浅田一鳥・浪岡鯨児・並木素柳・豊竹甚六作  
(1752)  
宝暦2初演・刊

書肆不明

※七行本。103丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」とある。

4—28マ93 な百拾六㊦ 20銭

シマバラノセイロウニケイセイノロウジヤウト  
タマガハノセフタクニガウケツノクワイガフロ  
嶋原の青樓に契情の籠城と  
玉川の妾宅に豪傑の會合を

32016

ユヒガノココウヤノケイツ  
額額紺屋譜

半1冊（他4冊と合1帙）

中村魚眼・並木千柳・紀上太郎・唯我獨樂・若竹笛  
躬作 寛政11初演・刊  
(1799)

京 藤井孫兵衛（御幸町御池下ル町）・八木治  
兵衛（寺町通松原上ル町），江戸 前川六左衛  
門（日本橋通三丁目）・西宮新六（本材木町一  
丁目），大坂 宮崎半兵衛（心齋橋筋安堂寺町）  
・武田宗輔（心齋橋筋南久太郎町）

※七行本。103丁。題簽下部に「座本岡太夫／竹  
本政太夫／直傳／武田宗助新板」とある。内題  
下に「座本竹本岡太夫」とある。

4—28マ94 四百八十八㊦ 20銭

32017 ユキヒラソナレマツ  
行平儀馴松

半1冊（他4冊と合1帙）

文耕堂・竹田正藏・三好松洛作 元文3初演  
(1738)  
書肆・刊年不明

※七行本。99丁。本の背に「桧垣氏」と書込みあ  
り。同帙に同書十行本あり。

4—28マ94 な式十番㊦ 20銭

32018 ユラミナトセンゲンチャウジャ  
由良漆千軒長者

半1冊（他4冊と合1帙）

竹田小出雲（内題下）・二歩軒・近松半二・北窓後  
一・竹本三郎兵衛・三好松洛（巻末）作  
(1761)

宝暦11初演・刊  
京 山本九兵衛（二条通寺町西入ル丁），大坂  
山本九右衛門（堺筋日本橋北江三丁目），江  
戸 鱗形屋孫兵衛（大伝馬三丁目）

※七行本。91丁。旧藏者「万徳」印あり。

4—28マ94 五十三番㊦ 20銭

32019 ユリワカカウライゲンキ  
百合稚高麗軍記

半1冊（他3冊と合1帙）

為永太郎兵衛＝「作者」，並木宗輔・浅田一鳥＝「文  
者」 寛保2初演・刊  
(1742)

大坂 正本屋九左衛門（心齋橋南四丁目西側）

※七行本。96丁。「豊竹越前少掾」の奥書あり。

4—28マ95 大惣番号不明 20銭

32020 ユフギリア ハノナルト  
夕霧阿波鳴渡  
半1冊(他4冊と合1帙)  
(1712)  
近松門左衛門作 正徳2初演  
書肆・刊年不明  
※はじめの5丁半は1頁8行、以下は9行。30丁。  
表・裏見返しに「持主」の書込みあり。  
4-28マ94 な七百八十番㊦ 20銭

32021 イウシヨクカマクラヤマ  
有職鎌倉山  
半1冊(他3冊と合1帙)  
(1789) (1792)  
菅専助・中村魚眼作 寛政元初演・刊、同4再板  
京 菊屋七郎兵衛(寺町通松原上ル町)、江戸  
松本平助(四日市)、大坂 天満屋安兵衛  
(平野町御霊筋西へ入)  
※七行本。96丁。内題下に「座本豊竹此母」とあ  
る。「本榮」の印あり。  
4-28マ95 大惣番号不明 20銭

32022 キシャウジリヤクカタンソデエンギ ユツウダイネンブツ  
亀鉦事略 融通大念佛  
片袖縁起  
半1冊(他3冊と合1帙)  
(1811)  
佐川藤太作、吉田新吾添削 文化8初演・刊  
書肆不明  
※七行本。45丁。内題下に「豊竹悦太夫」とある。  
内題上に朱で「老番」と書込みあり。題籤下部  
に「豊竹越前少掾相傳/本屋清七版」とある。  
4-28マ95 五百九番㊦ 20銭

32023 ヨシツネコソゴエジャウ  
義経腰越状  
半1冊(他4冊と合1帙)  
(1754)  
千路莊主人守常作・自跋 宝暦4初演・跋  
京 菊屋七郎兵衛(寺町通松原上ル町西側)  
※十行本。39丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」  
とある。  
4-28マ96 な式六八㊦ 20銭

32024 ダイモツノフナヤグラヨシノハナヤグラ  
大物船矢倉 ヨシツネセンボンザクラ  
吉野花矢倉 義経千本桜  
半1冊(他4冊と合1帙)  
(1747)  
竹田出雲・三好松洛・並木千柳作 延享4初演・刊  
書肆不明  
※七行本。100丁。末尾16丁にわたり上部破損。  
32025に同版本あり。  
4-28マ96 百〇巻 20銭

32025 ダイモツノフナヤグラヨシノハナヤグラ  
大物船矢倉  
吉野花矢倉  
ヨシツネセンボンザクラ  
義経千本桜  
半1冊(他4冊と合1帙)  
(1747)  
竹田出雲・三好松洛・並木千柳作 延享4初演・刊  
書肆不明  
※七行本。100丁。内題下に「再版」とある。32024  
に同版本あり。  
4-28マ96 な百巻 20銭

32026 ヨシナカクンコウキ  
義仲勲功記  
半1冊(他4冊と合1帙)  
浅田一鳥・黒藏主・七才子・難波三蔵・豊竹應律作  
(1756)  
宝暦6初演・刊  
江戸 鱗形屋孫兵衛(大伝馬町三丁目)、大坂  
西沢九左衛門(心齋橋筋四丁目)  
※七行本。101丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」  
とある。内題の上に「再刊」とある。32027に  
同書十行本あり。  
4-28マ96 九㊦ 20銭

32027 ヨシナカクンコウキ  
義仲勲功記  
半1冊(他4冊と合1帙)  
浅田一鳥・黒藏主・七才子・難波三蔵・豊竹應律作  
(1756)  
宝暦6初演・刊  
京 菱屋治兵衛(寺町松原上ル西側北より)  
※十行本。70丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」  
とある。32026に同書七行本あり。  
4-28マ96 大惣番号不明㊦ 20銭

32028 ヨシノシヅカヒトメセンボン  
吉野静人目千本  
半1冊(他6冊と合1帙)  
(1775)  
松貫四・吉田仲三作 安永4初演・刊  
書肆不明  
※七行本。95丁。内題下に「座本豊竹東治」とあ  
る。  
4-28マ97 三九一㊦ 20銭

32029 ヨシノミヤコランナクスノキ  
吉野都女楠  
半1冊(他6冊と合1帙)  
(1710)  
近松門左衛門作 宝永7初演、刊年不明  
大坂 作本屋八兵衛(南谷町)  
※七行本。90丁。竹本筑後掾の奥書あり。同帙に

同書十一行本あり。

4—28マ97 三百二十七 20銭

32030 ヨブコドリヲグリジツキ  
呼子鳥小栗實記

半1冊(他6冊と合1帙)

菅専助・若竹笛躬作 安永2初演・刊  
書肆不明

※七行本。72丁。内題下に「座本豊竹此吉」とある。

4—28マ97 な三百番㊥ 20銭

32031 ヨリマサツイゼンノシバ  
頼政追善芝

半1冊(他6冊と合1帙)

西沢一風・田中千柳作 享保9初演  
書肆・刊年不明

※七行本。90丁。初丁の一部破損し、補修されている。終丁にも小破損あり。

4—28マ97 式百八十七㊥ 20銭

32032 ゾウホ  
増補 用明天皇職人鑑

半1冊(他6冊と合1帙)

近松門左衛門作 宝永2初演・刊

京 山本九兵衛(二条通寺町西へ入町), 大坂  
山本九右衛門(高麗橋式町目出店)

※次第に行数を増し、八行から九行、十行を経て十一行となる。70丁。題簽下部に「竹本筑後掾直傳/山本九兵衛新板」とある。

4—28マ97 大惣番号不明㊥ 20銭

32033 ランジャタイニツタケイヅ  
蘭奢待新田系圖

半1冊(他2冊と合1帙)

近松半二・竹田平七・竹本三郎兵衛作 明和2初演・刊

書肆不明

※七行本。96丁。内題下に「座本竹田因幡掾」とある。32034に同書十行本あり。

4—28マ98 七十八㊥ 20銭

32034 ランジャタイニツタケイヅ  
蘭奢待新田系圖

半1冊(他2冊と合1帙)

近松半二・竹田平七・竹本三郎兵衛作 明和2初演・刊

江戸 売所 鶴屋喜右衛門(通油町), 京 板元鶴

屋喜右衛門(二条通寺町角)

※十行本。64丁。見返しに朱で「(大惣印)/百十五号/一冊」とある。内題下に「座本竹田因幡掾」とある。32033に同書七行本あり。

4—28マ98 大惣番号不明 20銭

32035 ラクヤウヒサゴネンブツ  
洛陽瓢念佛

半1冊(他2冊と合1帙)

梁塵軒作 宝暦13初演・刊  
書肆不明

※七行本。96丁。内題下に「座本豊竹越前少掾」とある。表紙に「□六十七」の小札あり。

4—28マ98 二百六十五㊥ 20銭

32036 ネノトシネノヒ  
子の歳 リツシュンヒメコマツ  
子の日 立春姫小松

半1冊(他3冊と合1帙)

青江堂・原羽裳・吉田冠子作 安永9初演・刊

京 菱屋七郎兵衛(寺町通松原上ル町西側)

※十行本。70丁。題簽下部に「竹本義太夫直傳/菱屋治兵衛板」とある。32037に同書七行本あり。

4—28マ99 な三百四十八㊥ 20銭

32037 ネノトシネノヒ  
子の歳 リツシュンヒメコマツ  
子の日 立春姫小松

半1冊(他3冊と合1帙)

青江堂・原羽裳・吉田冠子作 安永9初演・刊

京 山本九兵衛(二条通寺町), 江戸 鱗形屋孫兵衛(大傳馬町三丁目), 大坂 天満屋源治郎(西横堀船町)

※七行本。101丁。32036に同書十行本あり。「文貫堂」の印あり。見返しに「永田源九郎持主」と書込みあり。

4—28マ99 な三百四十八㊥ 20銭

32038 シャウトクタイシ  
聖徳 メグミノイケミヅ  
太子 利生の池水

半1冊(他3冊と合1帙)

八民平七作 明和7初演・刊

江戸 鱗形屋孫兵衛(大傳馬町三丁目), 大坂 糸屋源助(博勞町心斎橋筋)

※七行本。30丁。内題下に「座本竹本春吉」とある。題簽下部に「竹本春吉/竹本春太夫/直傳/糸屋源助新板」とある。32039に同版本(た

だし55丁まで収める)あり。

4—28マ99 六百貳拾五番㊦ 20銭

- 32039 シャウトクタイシ メグミノイケミツ  
聖徳太子 利生の池水  
半1冊(他3冊と合1帙)  
(1770)  
八民平七・寺田兵藏作 明和7初演・刊  
江戸 鱗形屋孫兵衛(大傳馬町三丁目), 大坂  
糸屋源助(博勞町心斎橋筋)  
※七行本。55丁。内題下に「座本竹本春吉」とあ  
る。題簽下部に「竹本春吉/竹本春太夫/直傳  
/□□□」とある。第30丁までが一冊目で八民  
平七作, 七月廿五日の日付あり, 32038と同版  
本。第31丁より「利生池水二冊目」で, 八民・  
寺田の作, 八月十二日の日付あり。

4—28マ99 □□□五㊦ 20銭

- 32040 ワカミドリアヒオヒゲンジ  
嫩葉葉相生源氏  
半1冊(他1冊と合1帙)  
(1773)  
福内鬼外作・自跋 安永2初演・刊  
江戸 山崎金兵衛(本石町三丁目十軒店)  
※七行本。76丁。内題下に「座本豊竹東治」とあ  
る。巻末に福内鬼外戯作の目録がある。刊記の  
刊年の部分, 上から紙片を貼付けて天明5に訂  
している。

4—28マ100 三百五十八㊦ 10銭

- 32041 ワダカツセンヤンナマヒヅル  
和田合戦女舞鶴  
半1冊(他1冊と合1帙)  
(1736)  
並木宗助作 元文元初演カ, 刊年不明  
大坂 西沢九左衛門(心斎橋南四丁目)  
※七行本。95丁。見返しに「座本 豊竹越前少掾  
藤原繁泰/太夫豊竹筑前少掾藤原為政」とある。  
上記作者は『義太夫年表』によった。

4—28マ100 な六拾七番㊦ 10銭

## 黄 表 紙

大惣本以外の冊子もまじえて数部ずつ函に入れられて  
いるが, ここでは各函における部数などについて  
は記述しない。「4—43サ」が黄表紙に与えられた  
配架番号で1~13がその函の番号である。なお, 大  
惣本の黄表紙は表紙改装などにより題簽の原状をと

どめないものが多く, 主に『<sup>坂本別</sup>黄表紙絵題簽集』  
<sup>年代順</sup>によって書名を確定した場合も少なくない。

- 32042 モツモセカイチュウシングラ テマヘツケアカホノシホカラ  
尤世界 手前漬赤穂の 韃  
忠臣蔵  
上・下 中1袋2冊  
(1795)  
本膳亭坪平著・自序, 勝川春朗画 寛政7刊  
江戸 榎本吉兵衛  
※両冊とも絵題簽剥落し, 上冊表紙にうちつけ書  
「あかう」, 袋に「赤穂上下」とのみある。

4—43サ1 大惣番号札剥落 30銭

- 32043 シンパンアダカタキ テウチシンソバ  
新/仇 手打新蕎麦 前編・後編  
版/敵  
各上・中・下 中1袋6冊を合綴1冊  
(1807)  
南仙笑楚満人著, 豊廣画 文化4刊  
江戸 和泉屋市兵衛(神明前)  
4—43サ1 大惣番号不明ウ 30銭

- 32044 アダクラベユメノウキハシ  
仇 競夢浮橋 上・下  
中1袋2冊を合綴1冊  
(1779)  
著者・画工未詳 安永8刊  
江戸 西村与八  
※「尾州/名古屋/かのや」「かのや」印あり。  
「持主/永治郎」の書込みあり。

4—43サ1 大惣番号不明 30銭

- 32045 アラヤマミツテングノハジマリ  
荒山水天狗鼻祖 上・中・下  
中1帙3冊  
(1793)  
曲亭馬琴著・自序, 北尾政美画 寛政5序・刊  
江戸 大和田(大傳馬二丁目)  
※柱書「てんぐ」。上冊題簽の書名上部に「丑春」  
(寛政5)と記されている。

4—43サ1 四百六十八㊦ 30銭

- 32046 イツシンノムナザンヨウジヤクトンチサイベエ  
一心のむな算用磁鉄頓智才兵衛  
(上・中・下) 中1袋3冊を合綴1冊  
(1795)  
虚呂利著・自序, 長喜画 寛政7序・刊  
書肆不明  
※表紙改装。

4—43サ1 □百六十四㊦ 30銭

32047 イ ズ ニツ キアサヒゲンジ 伊豆日記旭源氏 上・下

中1袋2冊を合綴1冊

南杣笑楚満人著、勝川春亭画 (1803) 享和3刊

江戸 榎本吉兵衛

※表紙を欠く。上記書名は巻頭の内題による。

4—43サ1 大惣番号不明 30銭

32048 ダンジノクチキリヘイゲノロビラキ 源氏口切 イマハムカシキツネノヨバナシ 平家炉開 今昔狐夜噺

上・中・下 中1帙3冊を合綴1冊

十返舎一九著・画、雪亭主人跋 (1797) 寛政9刊

江戸 榎本吉兵衛

※初丁に板元の口上あり。その角書は「源氏炉開／平家口切」。

4—43サ1 大惣番号不明 30銭

32049 ウソハツビヤクバンジンイチザ 嘘八百萬神一座 上・下 中2冊

樂山人馬笑著、式亭三馬関・序、歌川豊國画 (1797)

寛政9序・刊

江戸 和泉屋市兵衛（神明まへ）

4—43サ1 □□記帳㊦ 30銭

32050 エドノハルイチャセンリヤウ 江戸春一夜千両 (上)・中・(下)

中1袋3冊を合綴1冊

山東京傳著・自序、まさのぶ（北尾政演）画 (1786)

天明6刊

江戸 蔦屋重三郎（通油町）

※上冊表・中冊裏・下冊表の各表紙が失われており、3冊を合綴した上から表紙を新装している。

4—43サ2 大惣番号不明 30銭

32051 オトシバナシエリタチゴメ 笑府 衿裂米 中1袋1冊

馬琴著・自序、北尾政美画 (1793) 寛政5序

書肆不明

※「赤本」と自称する。柱書「いつはりなし」。

4—43サ2 大惣番号不明 30銭

32052 チゴクイチメン 地獄 カガミノジャウハリ 一面 照子浄頗梨 (上・中・下)

中1袋3冊を合綴1冊

山東京傳著・自序、北尾政演画 (1789) 寛政元刊

江戸 蔦屋重三郎

※最終丁落丁。後補墨書題簽「黄四百十ノ内／かゝ見の常はり」。袋には「京傳作／小野篁傳」

とある。

4—43サ2 り四百十番 30銭

32053 オハンガベニ 於半紅 上遍上・中・下・下遍上・下

中1袋5冊を合綴1冊

感和亭鬼武著・自序、北川美丸画 (1809) 文化6刊

江戸 村田次郎兵衛（通油町）

※「叙」題「敵討於半紅」。

4—43サ2 り□□㊦ 30銭

32054 マジメノセイハシヤレニモメウザイ 老實製法 オヤノカタキウチマタカウヤク 滑稽妙劑 親 讐 脰 膏 藥

(上)・中・下 中1袋3冊を合綴1冊

式亭三馬著・自序、歌川豊廣画 (1805) 文化2序・刊

江戸 西宮新六

4—43サ2 大惣番号札剥落 30銭

32055 オヤノカタキウツノミヤモノガタリ 父讐宇津宮物語 ※参照

中1袋5冊を合綴1冊

傀儡子肖略著、曲亭馬琴校、歌川豊國画 (1801) 寛政13刊

江戸 鶴屋喜兵衛（通油町）

※第2冊以下の本文冒頭には㊦～㊦と番号がある。

第2・5冊のみ原題簽が残る、それぞれ「父讐宇津宮物語、中」「宇津宮四五之巻／五齣浄瑠璃酒肆、下」とある。

4—43サ2 り□□拾式㊦ 30銭

32056 オヤノカタキウツノヤマヒコ 親 讐 撃 山 魅 前編 (上・中)・下・

後編上・下 中5冊

南杣笑楚満人著、一柳齋豊廣画、狂歌堂主人序 (1806)

文化3刊

江戸 西村屋与八（馬喰町）

※前編の上・中冊の題簽剥落。後編の原題簽は「後編撃山魅」。

4—43サ2 り百六拾六㊦ 30銭

32057 オヤコヅカゼンベン 親子塚 トウセツモノガタリ・ 前 編 冬雪物語・

オヤコヅカコウヘン 親子塚 シュンセツモノガタリ 後 編 春雪物語

各上・中・下 中1袋6冊

南杣笑楚満人著、歌川豊廣画 (1804) 文化元刊

江戸 和泉屋市兵衛

4—43サ2 り百五拾九㊦ 30銭



32058 ア フ ム ガヘ シ ブン プ ノ フタミチ  
あふむ返し文武の二道 上・中・下  
中1袋3冊を合綴1冊  
恋川春町著・自序, 北尾政美画 寛政元刊  
江戸 鳥屋重三郎(通油町)  
※合綴に際し原表紙を失ったままである。刷状態粗悪。  
4—43サ2 り六百廿四〇 30銭

32059 グワカイヘイケモメノガタリ  
画解平家物語 上・下  
中1袋2冊を合綴1冊  
著者未詳 享和3刊  
江戸 榎本吉兵衛  
4—43サ3 大惣番号札原欠 30銭

32060 カタキウチウメノツギホ  
敵討梅之棧 上・(中)・下  
中1袋3冊を合綴1冊  
南仙笑楚満人著, 豊廣画 享和元刊  
江戸 和泉屋市兵衛  
※3冊を表紙ごと合綴。中冊の絵題簽剝落。  
4—43サ3 大惣番号不明う 30銭

32061 ゼンベン 前 カタキウチア コ ヤ ノ マツ  
編 復讐阿姑射之松 (上)・中・下  
中1袋3冊を合綴1冊  
馬琴著・自序, 豊廣画 文化2序・刊  
江戸 仙鶴堂(通油町)  
※上冊表紙欠損。初丁上部に「馬琴/始十五丁/㊦」の小札あり。  
4—43サ3 大惣番号不明 30銭

32062 カタキウチイハデノウメガ カ  
敵討崑手の梅香 前編上・中・下・  
後編上・下 中1袋5冊を合綴1冊  
竹塚東子著・自序, 歌川豊廣画 文化2刊  
江戸 西宮新六  
4—43サ3 大惣番号不明う 30銭

32063 カタキウチガンリウジマ  
敵打巖流鳥 前編上・(中)・下・  
カタキウチゴニチバナシ  
報讐後日話 後編上・(下)  
中1袋5冊を合綴1冊  
十偏舎一九著・画・自序 寛政13刊  
江戸 岩戸屋源八(横山町二丁目)  
4—43サ4 り貳百三 30銭

32064 カタキウチキンシ ノ ツメヌヒ  
敵討金糸之詰縫 上・中・下・  
コウヘンキン シ ノ ツメヌヒ  
後編金糸之詰縫 上・下 中1袋5冊  
楚満人門人 面徳齊夫成著, 南仙笑楚満人序, 豊廣画  
文化2序・刊  
江戸 榎本吉兵衛(大てんま)  
4—43サ4 大惣番号不明う(後篇上冊) 30銭

32065 ゼンベン 前 カタキウチカウカウグルマ  
編 仇報孝行車 上・中・下  
中1袋3冊を合綴1冊  
南仙笑楚満人著, 歌川豊國画, 狂歌堂四方真顔序  
享和4刊  
江戸 西村屋与八(馬喰町二丁目)  
※下冊の表紙の見返しに「甲子春新版目録」あり。  
4—43サ3 り三百四十三う 30銭

32066 カタキウチダイクラウバナシ  
敵討代九郎咄 中1袋1冊  
面徳斎著, 歌川豊國画, 南仙笑楚満人序 文化4刊  
江戸 西村与八(馬喰町二丁目)  
※見返しに書肆西村の『手紙之文言』の広告あり。  
絵題簽下部に「前」とある。全15丁で原体裁3冊を合綴1冊か。  
4—43サ4 り□拾八 30銭

32067 シンバン 新版 カタキウチドモリノワタシゼンベン  
敵討遠森渡前編 上・中・下・  
シンバンカタキウチ 新/敵 新/敵  
版/討 後編遠森之渡  
上・(中)・下 中1袋6冊を合綴2冊  
南仙笑そまひと著, 豊廣画 文化4刊  
江戸 和泉屋市兵衛(芝神明前)  
※前後編とも各3冊を表紙ごと1冊に合綴。後編中冊のみ絵題簽剝落。  
4—43サ4 大惣番号不明う 30銭

32068 カタキウチフタバノ マツ  
復讐二葉の松 中1袋1冊  
眉寿亭著・自序, 北尾政美画 天明4序, 同5刊  
江戸 仙鶴堂鶴屋喜右衛門(通油町)  
※見返しに「ゑ/百拾貳番ふろく」と書込みあり。  
柱書「いはらき」。全25丁で原体裁5冊を合綴1冊か。  
4—43サ3 り三百拾八〇 30銭

32069 シンパンカタキウチ ミツカサネチユウカウタイ  
新/敵討 三重忠孝貞 ※参照  
中1袋9冊を合綴1冊  
南仙笑楚満人著、一柳齋豊廣・一陽齋豊國画 (1807)  
文化4刊  
江戸 和泉屋市兵衛 (芝神明前三嶋町)  
※本書の構成は「三重忠孝貞初編」「中編三重忠孝貞」「三編三重忠孝貞」各上・中・下の9冊。  
4—43サ4 大惣番号不明 30銭

32070 フクジウ ヤサンガウラ  
復讐 矢指浦 中1袋1冊  
十返舎一九著、歌川豊國画、書肆榮邑堂序 (1806)  
文化3序  
江戸 榮邑堂 (村田次郎兵衛)  
※表紙を欠く。前編のみ。末尾に後編の予告あり。  
柱書に5丁ずつ、巻一〜巻六の別が示されてお  
り、原体裁6冊を合綴1冊か。  
4—43サ3 り二百六十二う 30銭

32071 カタキウチ セツシウガツバウガツジ  
敵討 摂州合邦辻 ※参照  
中1袋5冊を合綴1冊 (1803)  
十返舎一九著、芝南楚序、歌川豊國画 享和3刊  
江戸 榎本吉兵衛  
※表紙を欠く。序によれば5丁ずつ前編上・中・  
下・後編上・下の構成だったか。第15丁欠。  
4—43サ4 大惣番号不明 30銭

32072 カルカヤスミゾメニツ キ  
苧萱染衣日記 上・中・下  
中1袋3冊を合綴1冊 (1793)  
寛政5刊  
南仙笑楚満人著、勝川春英画  
江戸 榎本吉兵衛  
※各冊見返しに「此本何方江 参候共早速御返し可  
被下候頓首」(下冊)などと書込みあり。中冊  
には「井澤屋左衛門」と記す。  
4—43サ4 り六百九十 30銭

32073 カンニンブクロラジメノゼンダマサンベン  
堪忍袋緒 善玉三編 中1袋1冊 (1793)  
寛政5刊  
山東京傳著、北尾重政画  
江戸 蔦屋重三郎 (通油町)  
※第4丁破損。全15丁で、原体裁は上・中・下3  
冊を合綴1冊か。  
4—43サ4 大惣番号不明 30銭

32074 キ ツネノヨメイリ  
きつね嫁入 上・下  
中1袋2冊を合綴1冊 (1799)  
寛政11序・刊  
十偏舎一九著・(自画か)・自序  
江戸 村田次郎兵衛  
※上下冊とも絵題箋剝落。上記書名は上册表紙の  
うちつけ書きによる。内容は『穴賢狐縁組』に  
同じ。  
4—43サ5 り五百三拾四 30銭

32075 ギハヒカルヤコウノタマ  
義光夜功珠 上・中・下 中1袋3冊  
十偏斎一九著・画 刊年不明  
江戸 村田次郎兵衛  
※柱書「忠しん」。  
4—43サ5 り五百三十二 30銭

32076 クラベコシナリヒラガタ  
競腰業平形 (上)・中・下  
中1袋3冊を合綴1冊 (1801)  
寛政13序・刊  
櫻川慈悲成著・自序、歌川豊國画  
江戸 西村與八 (馬喰街)  
※3冊を表紙ごと合綴、上册題箋剝落。  
4—43サ5 り六百七十五 30銭

32077 ソレモキヤウトコレモトウト  
夫京都 ケンブツザ エモン  
是東都 見物左衛門  
(上・下) 中1袋2冊 (1800)  
寛政12刊  
陀々羅大尽色主著、歌川豊國画  
江戸 西村与八  
※上册表紙と第1丁を欠く。下冊絵題箋剝落。  
4—43サ5 大惣番号不明 30銭

32078 エホンタイコウキ  
繪本太功記 中1袋1冊  
芝山人虚呂利著、長岳画  
書肆・刊年不明  
※上記書名は表紙うちつけ書による。最終丁ウラ  
に「故人芝全交追善」と記す。袋には「五臓」、  
本書に挟みこまれた付せんには「風流 芝全交  
腹内、寛政六」とある。『国書総目録』の「芝  
全交腹内」の記事は本書の著者・画者と一致す  
る。  
4—43サ5 大惣番号原欠か 30銭

32079 シンパン  
新板 ゴタイソウシメテコレホド  
五鉢惣 而是程 (上)・中・  
(下) 中1袋3冊を合綴1冊 (1790)  
寛政2序・刊  
七珍萬宝著・自序、北尾政美画

江戸 榎本吉兵衛

※合綴の表紙には中冊の絵題簽を残している。

4—43サ5 大惣番号不明 30銭

コビトシマコゴメザクラ

32080 小人國殿櫻 上・下

中1袋2冊を合綴1冊

山東京傳著、北尾重政画

(1793) 寛政5刊

江戸 薦屋重三郎(通油町)

※上冊見返しに「名古屋／中嶋屋／天王寺町」の  
印あり。

4—43サ5 り四百九〇 30銭

ナカムラシウカクオモカゲノカヘリサキ

32081 中村秀雀 面影帰咲 御評判高雄文覚

上・中・(下)

中1袋3冊を合綴1冊

萬宝著、北尾政美画

(1791) 寛政3刊

江戸 鶴屋喜右衛門(通油町)

※3冊を表紙ごと合綴。下冊は絵題簽剝落。

4—43サ6 □廿七番 30銭

ゴメイワクココロノオニタケ

32082 悟迷惑心之鬼武 上・下

中1袋2冊を合綴1冊

感和亭鬼武著、浸酒樓摘華序、歌川豊廣画

(1805) 文化2序・刊

江戸 榎本吉兵衛(大伝馬町)

※上・下2冊を表紙ごと合綴。

4—43サ6 大惣番号札原欠か 30銭

コンガウリキンブダウノイシズエ

32083 金剛力士武道礎 前編上・中・下・

後編上・下

中1袋5冊

守信亭赤城山人著・自序、歌川豊廣画

(1805) 文化2序・刊

江戸 西宮新六

4—43サ6 り三百廿九 30銭

コンタンテオリシマ

32084 紺丹手織縞 上・中・下 中1袋3冊

畑之土人真芋介著・自序、北尾重政画

(1793) 寛政5序・刊

江戸 大和田(大傳馬二丁目)

4—43サ6 り六百七十二〇 30銭

コンドハオニムスコ

32085 今度者鬼息子 上・下 中1袋2冊

南仙笑楚満人著、豊國画

(1797) 寛政9刊

江戸 和泉屋市兵衛(神明前)

4—43サ6 大惣番号札原欠か 30銭

コウシジマトキニアキゾメ

32086 孔子縞于時藍染 (上・中・下)

中1袋3冊を合綴1冊

山東京傳著・自序、北尾政演画

(1789) 天明9刊

※参照、

※表紙改装。『黄表紙絵題簽集』によれば書肆は  
上・中冊が榎本吉兵衛、下冊は大和田。大惣の  
後補墨書題簽「こう子縞／大名しま」。

4—43サ6 □式十七〇 30銭

ナガイキウケヤイキンケンセカイ

32087 長生請合 金々世界 悖入寶山吹

上・中・下

中1袋3冊

樹下石上著、歌川豊國画、式亭三馬序

(1797) 寛政9序・刊

江戸 西宮新六(本材木町一丁目)

※絵題簽の書名上部に「巳新版」とある。

4—43サ7 大惣番号札原欠か 30銭

サクラガハナハナシノチャウトデ

32088 櫻川話帳綴 上之巻・下之巻

中1袋2冊を合綴1冊

櫻川慈悲成著・自序、豊國画

(1801) 寛政13序・刊

江戸 西村與八(馬喰街)

※内容の一部に筆彩あり。

4—43サ7 大惣番号札原欠か 30銭

サルノシリキンピラゴバウ

32089 猿尻金平牛蒡 (上・下)

中1袋2冊を合綴1冊

芝櫻川慈悲成著、歌川豊國画

(1793) 寛政5刊

江戸 西村与八

※上冊表表紙・下冊裏表紙を欠く。下冊絵題簽も  
剝落。柱書「さるの尻」。

4—43サ7 大惣番号不明 30銭

シチノナガレモツケノサイハヒ

32090 質流思外幸 上・中・下

中1袋3冊を合綴1冊

十遍舎一九著・自画・自序

(1801) 寛政13刊

江戸 岩戸屋(横山町二丁目)

※3冊を表紙ごと合綴。

4—43サ7 大惣番号札原欠か 30銭

ゼンカウホフシツネツネグサ

32091 全交法師つねつね草 (上・中・下)

中3冊を合綴1冊

芝全交著、北尾重政画

(1794) 寛政6刊

江戸 鶴屋喜右衛門

※3冊とも絵題籤剝落。第1冊の後補墨書題籤は「芝全交つねつね草」。

4—43サ7 り六百拾六〇 30銭

32092 シバゼンカウユメノムダガキ  
芝全交夢寓書 上・中・下  
中1袋3冊を合綴1冊  
式亭三馬著・自序、歌川豊國画 寛政9刊

江戸 和泉屋市兵衛（神明前）

※3冊を表紙ごとこよりで合綴。

4—43サ7 大惣番号札原欠か 30銭

32093 ホクコクジュンレイウタハウベン  
北國順禮唄方便  
所在不明

※早大の目録によれば「順礼（北国順礼縁起）」。

該当の黄表紙は4—43サ7 函中になく、書名は『黄表紙絵題籤集』などに照らして上記のものと考えられる。馬琴著、北尾重政画、寛政9刊、中本3冊（上・中・下）。

4—43サ7 30銭

32094 ジフニカグララサナカルワザ  
十二神楽稚輕業 上・中・下  
中1袋3冊を合綴1冊  
發田芋助著・自序、北尾重政画 寛政5刊

江戸 大和田安右衛門（大傳馬二丁目）

※上・中・下3冊を表紙ごと合綴。上冊表紙に「寛政五癸丑」の小札あり。

4—43サ7 大惣番号不明 30銭

32095 ジャウダンシツコナシ  
滑稽しつこなし 上・中・下  
中1袋3冊を合綴1冊  
十返舎一九著・自序・自画、「改名月曆筆」 文化2刊

江戸 山口屋忠助（馬喰町三丁目）

※3冊を表紙ごと合綴。下冊末に版元山口屋の口上あり。

4—43サ7 り五百五番〇 30銭

32096 ケフハニジフハチニチ  
今日ハ 尻搦御用神 上・（下）  
中1袋2冊を合綴1冊  
芝全交著、歌川豊國画 寛政5刊

江戸 和泉屋市兵衛

※巻頭に「用神之縁起」を載せる。2冊を表紙ごと合綴。ただし下冊絵題籤剝落。

4—43サ7 り六百十五番〇 30銭

32097 ジンクハナシ  
甚句はなし 中1袋1冊  
北尾政演画

書肆・刊年不明

※上記書名は袋による。改装表紙の書名は「はなし」。甚句に、絵を添えたもの。

4—43サ7 大惣番号不明 30銭

32098 カタキウチスルガノハナ  
敵討駿河花 上・中・下  
中1袋3冊を合綴1冊  
伊庭可笑著、北尾政演画 安永10刊

江戸 岩戸屋源八（浅草茅町）

※合綴に際して表紙を改装したと思われる。大惣番号札にあたる札があるが、白紙。

4—43サ8 ※参照 30銭

32099 スハノウミキツネクワイダン  
諏訪湖狐怪談 後篇一〜五  
中1袋5冊を合綴1冊  
十返舎一九著・自序、勝川春亭画 文化5序・刊

江戸 村田屋治郎兵衛

※第1・3冊の絵題籤は前編の上・下（前編は序によれば文化4刊）のものを貼付。第5冊の絵題籤は後編下のもの。

4—43サ8 〇老〇 30銭

32100 ゼンアクジャシヤウオホカンヂヤウ  
善悪邪正大勘定  
中1袋3冊を合綴1冊  
東来三和著・自序、北尾重政画 寛政7序・刊

江戸 蔦屋重三郎

※表紙に落書甚し。小さな札に墨書された書名は「大かんぢやう」。

4—43サ8 大惣番号不明 30銭

32101 ゼンアクフタツノリヤウヤク  
善悪両良薬（上）・下  
中1袋2冊を合綴1冊  
十偏舎一九著・自画 寛政11刊

江戸 岩戸屋

※上冊の題籤剝落。墨書題籤「善悪二津ノ良薬」。柱書は「ひんふく上」「ひんふく下」。下冊の絵題籤には「未春」とあり、書名「善悪両良方」。

4—43サ8 り六百廿二 30銭

32102 センリヒトハネイサミノテツベン  
千里一剋勇天邊（上）・中・（下）  
中1袋3冊を合綴1冊

十偏舎一九著・画・自序 <sup>(1796)</sup> 寛政8序・刊  
江戸 和泉屋市兵衛 (芝神明前)  
※3冊を表紙ごと合綴、ただし下冊表紙は欠落。  
また、上册絵題簽は磨減。

4—43サ8 大惣番号札剥落か 30銭

<sup>ソクセキミミガクモン</sup>  
32103 即席耳學問 上・(中・下)  
中1袋3冊を合綴1冊 <sup>(1790)</sup>  
市場通笑著・自序、北尾政美画 寛政2刊  
江戸 つたや (通油町)  
※上册の絵題簽のみ存する。「中・下」は「上」  
の字の右左に墨書。

4—43サ8 り六百五十四㊦ 30銭

<sup>カウシン</sup>  
32104 庚申 増補大江山物語 上・中・下  
中1袋3冊を合綴1冊 <sup>(1800)</sup>  
十返舎一九著・画 寛政12刊  
江戸 榎本吉兵衛  
※丁附「十一」より「廿五」まで。本書は『増大  
江山幾野記行』上・下2巻の続編である。

4—43サ8 大惣番号札剥落か 30銭

<sup>ダイシ ガハラナデシコバナシ</sup>  
32105 大師河原撫子話 前編(上・中・下)・  
後編(上・中・下)  
中1袋6冊を合綴1冊  
曲亭馬琴著・「引首」・自序、醉放逸人画 <sup>(1805)</sup> <sup>(1806)</sup>  
文化2成、同3序・刊  
江戸 耕書堂 (蔦屋重三郎)  
※表紙すべて欠落。上記書名は「引首」題および  
序中に引く題による。後編第7丁表に『四天王  
剽盜異録』『勸善常世物語』『三國一夜物語』の  
広告あり。

4—43サ8 り百三拾式㊦ 30銭

<sup>ダイブツモチ</sup>  
32106 大佛餅 ※参照 中1袋2冊を合綴1冊  
芝全交著 (前半8丁半ぶん)、きよろり著 (後半5  
丁)  
書肆・刊年不明  
※著者・画者の異なる2種の黄表紙を合綴したも  
の。書名は袋による。それぞれ本来の書名未詳。  
改装表紙の打ちつけ書は「大佛」、後半柱書は  
「大ふつ」とある。芝全交著である前半の末尾  
の部分、錯脱あるか。きよろり著である後半の

初丁オモテ頭部に書肆の略号あるが、詳細未詳。

4—43サ8 り四百廿六 30銭

<sup>トリカイドウゴジフサンツギニンゲンイッショウゴジフネン</sup>  
32107 東海道五十三驛 凸凹話 <sup>タカビクハナシ</sup>  
人間一生五十年 <sup>(1798)</sup>  
上・中・下 中1袋3冊を合綴1冊  
山東京傳著・自序、北尾重政画 寛政10序・刊  
江戸 蔦屋 (とをりあぶら町)  
※大惣番号札原欠、小札あるも白紙。画者名は  
『国書総目録』による。各冊の絵題簽中に「惣  
地春のあけぼのぞめ／めでたきもやうもん所」  
とある。

4—43サ8 ※参照 30銭

<sup>ジツベンシヤゲサクノタネホン</sup>  
32108 十偏舎戯作種本 (上・下)  
中1袋2冊を合綴1冊 <sup>(1798)</sup>  
十返舎一九著・画・自序 寛政10序・刊  
江戸 榎本吉兵衛  
※後補題簽「一九たね本」、柱書「たね本」。「口上」  
「しやれの部」<sup>ウラ</sup>「方言の部」「ぢぐちの部」より  
成る。

4—43サ8 大惣番号不明 30銭

<sup>シンバンヤワ</sup>  
32109 新板/夜話 雅種軍談 (一)・二～五  
中1袋5冊を合綴1冊  
井久治茂内著 刊年不明  
江戸 西村与八  
※第1冊表紙を欠く。以下の冊は表紙ごと合綴。  
『国書総目録』によれば、天明7成。書名の用  
字「若草」とも。

4—43サ13 大惣番号不明 30銭

<sup>チャ ジ カ ゲンヤクワリバンツケ</sup>  
32110 茶事加減役割番附 上・下  
中1袋2冊 <sup>(1790)</sup>  
七珍萬宝著・自序、歌川豊國画 寛政2刊  
江戸 伊勢治 (伊勢屋次助)  
※中冊 (第6～10丁) を欠く。ただし、下冊の丁  
附は「中十一・中十二・下十三・下十四・下十  
五了」。

4—43サ9 大惣番号札剥落か 30銭

<sup>テンガヂヤヤホマレノアダウチ</sup>  
32111 殿下茶店譽仇討 上・中・下  
中1袋3冊を合綴1冊 <sup>(1799)</sup>  
十遍斎 (十返舎一九) 著・画・自序 寛政11刊

江戸 岩戸屋

※各冊裏表紙欠落。上記書名は上・中冊表紙絵題  
 籤による。下冊の絵題籤では「殿下茶屋譽仇討」。  
 上冊見返しに「先年御當地ニ而芝居興行」云々  
 の書込みあり。

4—43サ9 大惣番号札剥落か 30銭

32112 チュウシングラゴニチ テンナルカナギシンノヘイゼイ  
 忠臣蔵後日 天哉義心平成

上・中・下

中1袋3冊  
 (1803)

恒醉夫著、北尾(政美)画

享和3刊

江戸 永壽堂西村屋與八(馬喰町二丁目)

※第3冊裏見返しは西村屋の「癸亥春新版繪雙紙  
 目録」。

4—43サ9 り六百五十巻㊦ 30銭

32113 ニタヤマブシキツネノシカヘシ  
 賽山伏狍狐修怨 上・下

中1袋2冊を合綴1冊  
 (1798)

唐丸子(畊書堂唐丸)著・自序

寛政10序・刊

江戸 蔦屋重三郎(とをりあふら町)

※絵題籤中に「惣地春のあけぼのそめ／めでたき  
 もやうもん所」とある。

4—43サ10 り六百三十六㊦ 30銭

32114 ノリノチカヒリンエノアダウチ  
 法誓輪廻仇討 上・中・下

中1袋3冊を合綴1冊

十返舎一九著、自立庵天九序、歌川豊廣画

(1806)  
 文化3序・刊

江戸 岩戸屋喜三郎(横山町二丁目)

※上冊表裏見返しに「寅春新刻」の岩戸屋の「稗  
 史目録」あり。

4—43サ10 り貳百拾五 30銭

32115 アカボンノムカシヤクシヤアラホンノシンキヤウゲン  
 赤本昔俳優  
 青本新狂言

バ ケクラベハコネカ ブキ  
 怪化競箱根戯場 上・中・下

中1袋3冊を合綴1冊

式亭門人楽山人馬笑著・自序

書肆不明

※上記著者は下冊末丁による。上冊原題籤中には  
 「三馬作」とある。刊年は各冊原題籤中に「辰  
 新版」とあるが、未詳。下冊裏表紙欠落。本文  
 中に筆彩。

4—43サ10 り六百十六㊦ 30銭

32116 バケモノ ミ セビラキ  
 化物見世開 (上)・下

中1袋2冊を合綴1冊

十偏舎一九著・画・自序

(1800)  
 寛政12序・刊

江戸 村田次郎兵衛

※上冊表紙を欠く。本文も一部破損。

4—43サ10 大惣番号不明 30銭

32117 シンパン ハナイクサムメノサキガケ  
 新版花鬘戦梅魁 (上)・下

中1袋2冊を合綴1冊

笑丸著・画

(1796)  
 寛政8刊

江戸 つたや(通油町)

※上冊表紙を欠く。著者・画者名・刊年は『国書  
 総目録』による。上册序には「辰乃初春」とあ  
 る。(寛政8は丙辰。)『黄表紙絵題籤集』では  
 (1799)  
 山口屋、寛政11刊に同題のものあり。

4—43サ10 大惣番号不明 30銭

32118 ハ ナ シ  
 はなし

中1袋1冊

著者未詳

書肆・刊年不明

※上記書名は後補墨書題籤による。第5丁までは  
 絵入りで、柱書「よしつね」。第6・7・8丁  
 は柱書「春の山」で、「かみなり」「ひとりも  
 の」などのはなしを集めたもの。

4—43サ10 大惣番号不明 30銭

32119 ハ ナ シ  
 はなし

中1袋1冊

著者未詳、橋本千鳥画

刊年不明

江戸 西村屋

※半丁1話で、10丁に20話を収める。絵の一部に  
 彩色。袋には「落語」とある。

4—43サ10 大惣番号不明 30銭

32120 ハナノシタナガモノガタリ  
 鼻下長物語 上・中・下

中1袋3冊

芝全交著・自序、北尾重政画

(1792)  
 寛政4刊

江戸 つるや(通油町)

※絵題籤中に「形容化景 唇動」とある。下冊  
 裏表紙に「本主 尾陽金城南住／里曉」と書込  
 みあり。

4—43サ10 り六百十巻㊦ 30銭

32121 ハナモミヂフタリアンカウ  
花紅葉二人鮫鯨 上・中・下

中1袋3冊を合綴1冊  
(1805)  
内新好著、喜多川月磨画、魚堂序 文化2刊  
江戸 岩戸屋源八

4—43サ10 大惣番号札原欠か 30銭

32122 ヒコサンゴンゲンチカヒノスケダチ  
彦山権現誓助剣 一〜(五)

中1袋5冊を合綴1冊  
(1797)  
傀儡子著・自序、北尾重政画、寛政9序・刊  
江戸 葛屋重三郎

※表紙上部に「十四〇敵討」の小札あり。第1冊  
見返しに「持主小澤永次郎」の書込みあり。第  
5冊裏表紙欠損。

4—43サ11 り三百拾七 30銭

32123 ヒンブクミツカゲロン  
貧福水掛論 (上・中・下)

中1袋3冊を合綴1冊  
(1797)  
十偏斎一九著・自序・画 寛政9序・刊  
江戸 榎本吉兵衛

※3冊とも絵題簽剝落。旧蔵者署名・印多数あり。  
袋・墨書題簽・柱書に「貧福」とある。上記書  
名は『国書総目録』による。下冊の裏表紙を欠  
く。早稲田大学の大惣本目録に本書を『貧福蜻  
蛉返』とするのは誤り。

4—43サ11 り五百六番〇 30銭

32124 コガネヤマフクザウジン  
黄金山福藏實記 (上・中・下)

中1袋3冊を合綴1冊  
(1778)  
林生著、鳥居清經画 安永7刊  
江戸 鱗形屋孫兵衛

※上記書名は早稲田大学の大惣本目録による。本  
書に書名標示なし。上冊表紙・下冊裏表紙など  
欠落。袋には「福そう」とある。

4—43サ11 大惣番号不明 30銭

32125 フジニツキノサガノヤシロ  
富士日記曾我社 上・中・下

中1袋3冊  
(1805)  
面徳齋夫成著、勝川春亭画 文化2刊  
江戸 榎本吉兵衛 (大てんま)

※丁附は「十一」から「廿五」まで。『国書総目  
録』によれば『伊豆日記旭源氏』の後編。

4—43サ11 り六百七十〇 30銭

32126 ブンブンニダウマンゴクトホシ  
文武二道万石通

中1袋3冊を合綴1冊  
(1788)  
朋誠堂喜三二著・自序、喜多川行磨画 天明8刊  
江戸 耕書堂葛屋重三郎 (通油町)

※原表紙を全て欠く。末尾1丁半は狂歌・絵本等  
の目録。表紙見返しに「代拾文也 紙拾七枚/  
神戸法治郎」と書込みあり。

4—43サ11 百五三 30銭

32127 シンパンホシカブトヤコエノカチドキ  
新版星兜八聲歌 上・下

中1袋2冊を合綴1冊  
(1796)  
著者未詳 寛政8刊

江戸 葛屋重三郎 (通油町)

※武将13名の絵と解説より成る。絵に朱筆が入れ  
られている。

4—43サ11 大惣番号札原欠か 30銭

32128 ホシツキヨカマクラヤマ  
星月夜鎌倉山 上・下

中1袋2冊を合綴1冊  
(1799)  
十返舎一九著・画 寛政11刊

江戸 岩戸屋源八

※丁附は「十六〜廿五」で後編にあたるが、前編  
については未詳。著・画者は『国書総目録』に  
よる。

4—43サ11 大惣番号札原欠か 30銭

32129 チュウシングラゼンセノマクナシ  
忠臣藏前世幕無 (上・中・下)

中1袋3冊を合綴1冊  
(1794)  
山東京傳著・自序、北尾重政画 寛政6刊  
江戸 葛屋 (通油町)

※後補墨書題簽および柱書「まくなし」。

4—43サ11 り四百三十九 30銭

32130 ウソカラデタマコトノサウシ  
虚生實草紙

中1袋3冊を合綴1冊  
(1797)  
山東京傳著・自序、北尾重政画 寛政9刊  
書肆不明

※表紙すべてを欠く。袋および柱書「まこと」。

4—43サ11 大惣番号不明 30銭

32131 シマガハタイヘインゾウホアダウチ  
嶋川太平 増補仇討 御堂詣未刻太鼓

前編上・(中)・下・後編(上)・中・下

中6冊

式亭三馬著、門人古今亭三鳥校、歌川豊廣画<sup>(1808)</sup>  
文化5刊

江戸 西宮新六(本材木町一丁目)  
※上記書名は扉による。前編上冊の絵題簽の書名  
は「嶋川太平敵討御堂詣未刻太鼓」。後編中・  
下冊の絵題簽の書名は「嶋川太平」。

4—43サ12 □百拾貳〇 30銭

32132 シヤウホンハダテクラベユカホンハツツレノニシキ  
正本伊達競  
床本襦褌錦

ムカシガタリワデノアヤツリ  
宿昔語筆操 上・下

中1袋2冊を合綴1冊

山東京傳著・自序、北尾政美画<sup>(1793)</sup>  
寛政5刊

江戸 蔦屋重三郎(通油町)

※下巻末に京傳作「貧福両道中之記」(上・中・  
下)の広告あり。見返しに落書。

4—43サ12 大惣番号札原欠か 30銭

32133 ムカシムカシハナサカセ デヂ  
古昔花咲勢親父 中1袋1冊  
著者未詳<sup>(1797)</sup>  
寛政9刊

江戸 西村与八

※上記書名は表紙絵題簽による。柱書は「花さき  
ぢゝ」。題簽の上部に「壽」とある。第1丁上  
部に「再板」とある。上記刊年は『黄表紙絵題  
簽集』による。

4—43サ12 大惣番号札原欠か 30銭

32134 ムカシレウリタヌキノスヒモノ  
昔料理狸吸物 上・(下)

中1袋2冊を合綴1冊

櫻川慈悲成著・自序、歌川豊國画<sup>(1795)</sup>  
寛政7刊

江戸 西村与八

※題簽の上部に「永壽」とある。

4—43サ12 大惣番号札剝落 30銭

32135 アクダマコウヘン  
悪魂 ニンゲンイツシヤウムナザンヨウ  
後編 人間一生胸算用

(上・中・下) 中1袋3冊を合綴1冊

山東京傳著・画・自序<sup>(1791)</sup>  
寛政3刊

江戸 蔦屋重三郎(通油町)

※柱書「むなさん用」。

4—43サ12 大惣番号不明 30銭

32136 ヤホヤオシチ  
八百や カ ラクリキヤウゲン  
お七 加羅操狂言 (上・中・下)

中1袋3冊を合綴1冊

榮昌堂呂二著、榮松齋長喜画<sup>(1802)</sup>  
享和2刊  
江戸 村田次郎兵衛

※原表紙欠落。袋の題は「八百屋お七」。一部に  
筆彩。また、汚損あり。

4—43サ12 大惣番号不明 30銭

32137 ヨニハナシ  
世にはなし 中1袋1冊  
鬼たけ著・自序、歌川豊廣画<sup>(1806)</sup>  
文化3序か

江戸 蔦屋重三郎

※大惣番号・書名ともに墨で打ちつけ書。序には  
「寅のはつ春」とある。絵入りの落し咄集。

4—43サ12 り千八百十三 30銭

32138 ヨリマサイチダイ キ  
頼政一代記 (一〜五) 中1袋5冊を合綴1冊  
南仙笑楚満人著・自序 刊年不明

江戸 榎本吉兵衛

※改装された表紙に「頼政一代記」と打ちつけ書。

また、「む<sup>□</sup>始十丁欠」の貼札があるが、第  
10丁までは欠なく、第20丁が欠。裏見返しに  
「寛政七年卯五月吉日馬琴画」と書込みあり。  
最終丁ウラに「名和長年一代記」近刻の旨記す。  
あるいは『頼政名歌芝』(楚満人著、榎本、寛  
政7刊、上・中・下3冊)に同じか。<sup>(1795)</sup>

4—43サ12 り貳拾七 30銭

ウラシマタラウ  
32139 浦島 太郎 龍宮 鱸鉢木 (上)・中  
・下 中1袋3冊を合綴1冊

山東京傳著・自序、北尾重政画<sup>(1793)</sup>  
寛政5刊

江戸 鶴屋喜右衛門(通油町)

※上冊の絵題簽は欠落。序題に角書なく、振仮名  
「リウグウナマグサハチノキ」となっている。

柱書は「りうぐう」。

4—43サ13 り四百老〇 30銭

チクサイラウタカラノヤマブキイロ  
32140 竹齋老寶山吹色 上・中・下  
中1袋3冊を合綴1冊

築地善文著、北尾重政画、簀内竹齋序<sup>(1794)</sup>  
寛政6刊

江戸 鶴屋(通油町)

4—43サ13 り六百三十〇 30銭

32141 ロクサツガケトクヨウザウ シ  
六冊掛徳用草紙 上・中・下  
中1袋3冊を合綴1冊



曲亭馬琴著・自序（五大力・切落咄とも）、北尾重政画 (1802)  
享和2序

江戸 蔦屋重三郎

※上記書名は第1丁裏「よみよう」による。表紙が改装されており、後補題簽に書名「徳用草し」と下記大惣番号が併記されている。本書は「五大力三畫訓讀」と「賣切申候切落咄」から成るが、挿絵をはさんで上部に「五大力」本文が、下部に「切落咄」本文が配され、それぞれが別個に進行する形式となっている。

4—43サ13 り四百五十七〇 30銭

32142 ワタランジャクキカウノヒキフダ 綿溫石奇効報條 上・中・下

中1袋3冊 (1802)

式亭三馬著・自序、歌川豊廣画 享和2刊

江戸 和泉屋市兵衛

※絵題簽中の書名の右に「自先達／御吹聴」とある。

4—43サ13 り六百拾貳〇 30銭

32143 ハヤカハリカ コ ガハホンザウ 早化加古川本蔵 上・(中)・下

中1袋3冊を合綴1冊 (1809)

十返舎一九著・自序、喜多川月磨画 文化6刊

江戸 岩戸屋

※中冊絵題簽は剝落、下冊絵題簽の書名は「加古川本蔵」。序の題「加古河本蔵建立之序」。

4—28サ10 大惣番号札剝落か 30銭

## 幕 府 写 本

32144 スンワ ホンベツシフ 駿話本別集 一〜五 半1帙5冊

瑞竜軒著 (1756)  
宝暦6成

写本

※著者名・成立年は『国書総目録』による。大惣の半紙を使用。徳川家に関する故事を集めた書。

5—63ス2 大惣番号札剝落 30銭

32145 ミカハキ テキエウ 三河記摘要 一〜六 半1帙6冊

写本

※本文の10巻を第1〜4冊に配し、第5・6冊は「参河記摘要附録」5巻から成る。内容は徳川

家の合戦記。第5冊の冒頭に「武陽隠士」による「三河記摘要ノ引」を付す。第1〜4冊には朱筆の書入れがある。旧蔵者「屋／本徳」印あり。

5—62ミ1 ゆ三百四拾卷全六 50銭

32146 ギョクテキインケン 玉滴隠見 (一)〜二十 半2帙20冊

著者未詳

写本

※雑史。巻之一目録題の下に「又名士林談叢」とある。大野屋の半紙を使用。

5—61キ1 大惣番号札剝落 2円

32147 コレイトメガキウツシ 古例留書寫 壹〜四 半4冊

写本

※上記書名は各冊題簽による。第1冊内題「評定所古例函書」。受入番号、上記「32147」の上に「消」の印が押され、新たに「1808516」が与えられている。

2—03ヒ6 ゆ八百三拾五全四 30銭

32148 シンクンメイワ シフ 神君名話集 乾・坤 半1帙2冊

写本

※大惣の半紙を使用。家康公の伝記。

5—63シ4 ゆ八百四拾九全貳 30銭

32149 ブエイヒ ロク 武英秘録 天・地・人 半1帙3冊

写本

※武家の逸話を集めた書。全8巻。

5—63フ1 □貳拾六全三 10銭

32150 ヒゼンノクニシマバラキ 肥前國嶋原記 半1冊

(1726)  
享保11写

写本（吉田氏写）

※島原の乱の記録。巻頭内題「肥前國嶋原切支丹記有増」。

8—28ヒ2 ゆ貳百八拾五全 15銭

32151 モミヂシフ もみぢ集 上・下 半1帙2冊

写本

※慶長15から明和4までの事件書留め。罫線入り半紙を使用。

5—61モ1 大惣番号札剝落 30銭

32152 <sup>ヒ タチオビ</sup> 常陸帯 一〜四 半1帙4冊  
藤田東湖(彪)著・自序 天保15序  
写本

※大惣の半紙を使用。内容は徳川齊昭の事蹟。  
5—62ヒ3 ゆ八百三拾貳 20銭

32153 <sup>タイヘイサク</sup> 太平策 乾・坤 大1帙2冊  
物茂卿(荻生徂徠)著 (1844) 正徳4成  
写本  
※政治論。

2—42タ1 や千五拾老全貳 15銭

32154 <sup>シラカハコウ ミ コト バ</sup> 白河侯美言葉 大1帙1冊  
(1721) 享保6成  
写本

※題簽右横に「半紙ニ写し、表題白川仁政録ト有  
り」と書かれた小札あり。朱の書込みあり。虫  
損。

2—42シ2 大惣番号札剝落 5銭

32155 <sup>ジャウスイケンデウレイキ</sup> 常水君条令記 半1帙1冊  
(1721) 享保6奥書  
写本

※大惣の半紙を使用。朱の書込みあり。題簽右横  
に「白河侯美言葉ト合／白川仁政録ト有」と書  
かれた小札あり。奥書に「右件者水戸前中納言  
光國卿所示家臣之條令也／享保六年辛丑五月九  
日」とある。

2—42シ5 大惣番号札剝落 5銭

32156 <sup>シリユウザン キ</sup> 四竜雜紀 乾・<sup>ゴリユウザン キ</sup> 五竜雜紀 坤 半2冊  
写本

※『四竜雜紀』の題簽に「下ハ五竜」、『五竜雜紀』  
の題簽に「上ハ四竜」とある。ともに徳川家の  
軍事記録。前者の表紙には「百弍十五」の小札、  
後者の題簽右には「大坂御陳之記録也」と書込  
みあり。

8—28シ3

ゆ弍百七拾三番・ゆ弍百七拾四番 30銭

32157 <sup>タイヘイチユウグワイデン</sup> 太平中外傳 一〜十六 半2帙16冊  
著者未詳

写本

※大坂の陣に取材した読本。

4—41サ38 ゆ弍百弍拾四全拾六 55銭

32158 <sup>キウサウケン カ ログ</sup> 鳩巢献可録 天・地・人 半3冊  
室鳩巢著、南涯邨山編・跋 (1760) 宝暦10跋  
写本

※室鳩巢の策書を集めたもの。

2—42ケ4 ゆ八百三拾七全三 15銭

32159 <sup>ブソウシフゴヨク</sup> 武叢拾玉 壹〜拾  
特大(30.0×21.7cm) 1帙10冊  
著者未詳・自序あり

写本

※渡邊数馬・大石内蔵助などの仇討の実録。

5—63フ7 き百弍拾全拾 60銭

32160 <sup>イウ ヒ ロ ク</sup> 有斐録 乾・坤 半1帙2冊  
写本

※31192に異本がある。乾冊第1丁に「名古屋／  
本市／書林」の印があるが抹消。

5—62ユ1 大惣番号札剝落○ 15銭

32161 <sup>ゲン ケ ニ ツ キ</sup> 源家日記 壱〜四 半1帙4冊  
忠恒編・序 (1689) 元禄2序・成  
写本

※『家忠日記』の抄出本。

5—10ケ3 大惣番号札剝落 30銭

32162 <sup>マツダヒラカイウンロク</sup> 松平開運録 半1帙1冊  
写本

※徳川家の始祖の伝および徳川家康の事績。上記  
書名は題簽による。内題「松平崇宗開運録」。

5—62マ3 ゆ三百八拾貳 10銭

32163 <sup>トウダウ カ デン ・ キ イ キ ・ ク ゼ ヒロユキサク</sup> 藤堂家傳・井伊記・久世廣之作  
<sup>カチユウデウモク</sup> 家中條目 半1帙3冊を合綴1冊

(藤堂家傳) (1683) 天和3奥書

写本

※上記書名は題簽による。内題「藤堂和泉守殿家  
傳」。大野屋の半紙を使用。

(井伊記) (1755) 宝暦5写

写本(周政写)

— 幕 府 写 本 —

- (久世——) <sup>(1664)</sup> 寛文 4 成 5—65フ 2 ゆ三百貳拾四全拾冊 50銭
- 写本
- 5—15ト 1 ゆ三百八拾七番 15銭
- 32164 マツダヒラキ 松平記 上・中・下 半 1 帙 3 冊
- 阿部定次著
- 写本
- ※徳川家康の事績など。
- 5—62マ 2 ゆ三百六拾七全三 25銭
- 32165 ブ ケシヨジトメオボエ 武家諸事留覚 半 1 冊
- 写本
- ※上記書名は題簽による。内題は「諸事留覚」で、<sup>(1676)</sup>その両傍に「延寶四年／辰之十二月改之」とある。
- 2—03フ 2 大惣番号札剝落 10銭
- 32166 ゲンペイトウサンケ ケイ ツ 源平藤三家系図 一〜四 半 1 帙 4 冊
- 写本
- ※「藤原姓系圖」「清和源氏系圖」「村上源氏峯戎源氏宇多源氏清和源氏平家系圖」「平氏系圖」の 4 書をまとめ、表紙を新装して上記の統一の書名を与えたもの。表紙には上記冊次の他に、順に「藤原」「源氏清和」「諸源、平家」「平家支流」と記されている。第 2 冊の元の表紙には大惣番号札剝落跡と「蔵」の貼札がある。
- 5—64ケ 2 ※参照 60銭
- 32167 キキガキリウアウシフ 聞書栞櫻集 半 1 帙 1 冊
- 李栄堂編か <sup>(1780)</sup> 安永 9 成
- 写本
- ※「日羽家蔵」などの朱印あり。
- 2—03キ 1 大惣番号札剝落 10銭
- 32168 ブケクワンチョウキ 武家勸懲記 ㊦㊧ 半 2 帙 10 冊
- <sup>(1675)</sup> 延宝 3 序
- 写本
- ※「萬石已上衆將之噂或ハ國郡地形之厚薄等」(序)を記す。第 1 冊は序と「國郡数量之巻」・「教法之巻」・「目録」。第 2 冊以下に巻 1〜39 を収め、各冊題簽に収録巻を示す。各冊本文中に小札貼付による訂正が非常に多い。第 1 冊見返しに本書の内容を紹介する貼札がある。旧蔵者朱印あり。
- ヘンネンタイリヤク 32169(1) 編年大略 半 1 帙 1 冊
- 写本
- <sup>(1600)</sup> <sup>(1700)</sup> ※尾張藩史。慶長 5〜元禄 13 の記事を収録。
- 5—15ヘ 1
- 表紙改装の為大惣番号不明 (2) 共 40 銭
- ヘンネンタイリヤク 32169(2) 編年大略 半他 4 冊と合 1 帙 1 冊
- 写本
- <sup>(1600)</sup> <sup>(1650)</sup> ※尾張藩史。題簽の脇に「慶長五年庚子より慶安三年[ ]<sup>(1650)</sup>」の貼札がある。30450 の第 1〜4 冊と同帙。
- 5—15ヘ 2 大惣番号不明
- ブ ケクワイホウロク 32170 武家懷宝録 半 1 冊
- 写本
- ※「武家官位御昇進之次第」など 9 項目より成る。
- 2—03フ 1 ゆ四百七拾貳全 10銭
- 32171 ケイチヤウブカン・ヨリトモコウゴチセイチャウロク・ 慶長武鑑・頼朝公御治世町禄・
- キヤウトゴシヨジダイクワンロク 京都御所時代貫祿 半 1 帙 1 冊
- 写本
- ※上記書名は墨書題簽によるが、原体裁は 2 冊でそのうち第 1 冊は内容上「慶長武鑑」に相当するもの、第 2 冊は第 1 冊と小異ある「慶長武鑑」に上記の後 2 書を附したものの。大惣の半紙を使用。
- 5—65ケ 1 大惣番号札剝落 20銭
- トクガハキ 32172 徳川記 上・下 大 1 帙 2 冊
- 写本
- ※32192 参照。朱引きを施す。
- 5—62ト 1 き百四拾四全貳 25銭
- イヘタダキ 32173 家忠記 ㊦㊧ 大 1 帙 14 冊
- 松平忠冬著・自序、源(松平)忠房跋 <sup>(1663)</sup> <sup>(1665)</sup> <sup>(1668)</sup> 寛文 3 序、同 5 自序、同 8 跋
- 写本
- ※上記書名は各冊題簽による。全 25 巻で各冊題簽に収録巻次を示す。内題は、第 1〜5 巻「家忠日記増補」、第 6〜25 巻「家忠日記追加」。序題「家忠日記増補追加」。

5—10イ1 き百拾六全拾四 75銭

32174 <sup>ゴネンブ</sup>御年譜 一〜五・<sup>トクガハネンブ フビ</sup>徳川年譜附尾  
一〜十二・十四 大3帙18冊

(御年譜) 源義直著・自序 (御年譜) 正保3序  
写本

※(御年譜) 大惣番号き百拾八全五。

(附尾) 大惣番号札剥落。上記書名は各冊後補  
題籤による。各冊内題は「御年譜附尾」。全25  
巻で各冊題籤に収録巻次を記す。後補題籤は最  
終冊を「十四」とするが「十三」の誤り。

5—62ト9 ※参照 90銭

32175 <sup>キヨ ス ノ ゴニンスウ</sup>清須之御人數

横(14.6×21.2cm) 1帙1冊

写本

※上記書名は題籤による。内題は「松平薩摩守忠  
吉公御人數」。原表紙を残したまま表紙改装。

5—65キ1 ち千九百三拾貳 10銭

32176 <sup>オヤクダカナラビニオヤクメイシ ハイヅケ</sup>御役高并御役名支配附

横(14.0×20.0cm) 1帙1冊

写本

※尾張藩の官職の石高などの記録。

5—65オ3 ち千九百三拾八完 10銭

32177 <sup>オ ヤ シキヅケ</sup>御屋敷附 横(13.6×20.0cm) 1帙1冊

写本

※上記書名は題籤による。題籤に「所書／知行付」  
と記されている。扉には「御家中所附」。裏見  
返しに「文政十一<sup>(1828)</sup> 戊子歳／仲秋吉辰日／春夏／  
人上菴三笑」と書込まれている。尾張藩士のい  
ろは順の住所録。

5—65コ4 ち千九百三拾九 10銭

32178 <sup>ブ ケ シツヤク</sup>武家執役 前録・(後録)

横(13.5×19.5cm) 1帙2冊

写本

※幕府の官職の名簿。

5—65フ3 大惣番号札原欠 20銭

32179 <sup>ブゲンチャウ</sup>分限帳

1冊

所在不明

20銭

32180 <sup>ブゲンチャウ</sup>分限帳 横(14.5×21.5cm) 1帙3冊  
写本

※①『分限帳』(大惣番号ち千九百三拾三), ②  
『<sup>安政五</sup>分限帳』(同ち千九百四拾四全), ③『<sup>寛延</sup>  
<sup>戊午年</sup>分限帳』(同ち千九百四拾五全)の3冊を収め  
る。②表紙に朱で「写済」と記した貼札がある。  
上記の大きさは①のもの。①は綴葉, ②③は袋  
綴じ。

5—65フ7 ※参照 30銭

32181 <sup>リウエイ ヒ カン</sup>柳宮秘鑑 〇〜㊦ 半1帙6冊  
<sup>(1743)</sup>菊池弥門著・自序 寛保3序

写本

※上記書名は第1〜3冊題籤による。内題は「寛  
保柳宮秘鑑」。また第4〜6冊の題籤と第5・6  
冊の内題「後編柳宮秘鑑」, 第4冊内題「<sup>寛保</sup>  
<sup>新正</sup>後編柳宮秘鑑」。各冊題籤に収録巻次を記す。第  
1冊見返しに「武家勸懲記」の内容を紹介する  
貼札がある。第3冊末丁に大野屋の書込みあり。

5—17リ5 ゆ四百八番全六 40銭

32182 <sup>オホサカゴデンオボエガキ</sup>大坂御陣覚書 (一)〜七 半2帙7冊  
<sup>(1771)</sup>藤堂高文編, 光谷種竹序 明和8序

写本

※上記書名は各冊題籤による。第1・2冊は内題  
「大坂冬御陣覚書」で大野屋の半紙を使用。第  
3冊, 内題は「大坂夏陣御先手勤方覚」で, 表  
紙に「<sup>夏</sup>御陣<sup>全部</sup>七冊」の貼札があり, また本書の  
成立事情について記した序がある。

8—28オ1 大惣番号札剥落 50銭

32183 <sup>ウ シウアキ タ ホウレキキガキ</sup>羽州秋田宝暦聞書 上・下  
半1帙2冊

写本

※下冊の本文内題は「羽州秋田宝暦騒動記」, 末尾  
には「宝暦聞書」, 各冊目録題は「羽州宝暦聞  
書」, また上冊脇題籤に「又ノ名杉直臆秘録/  
羽州秋田杉」とある。上冊表紙に「全式冊」  
「 十一番」の貼札がある。大野屋の題籤用  
紙を使用。目録のみ野線入りの半紙を使用。

4—41シ1 み百八拾四全式〇 30銭

一幕府写本一

32184 ケイチャウキ 慶長記 半1帙1冊  
写本

※表紙、題簽剝跡「慶長記全」と朱で打ちつけ書き。表紙右下に「大津」と打ちつけ書きがあり、末丁に「尾陽 大津氏（印）」とある。

5—10ヶ2 大惣番号札剝落 15銭

32185 シマバラキ 嶋原記 上・下 大1帙2冊  
写本

※各冊末に旧蔵者印。

8—28シ4 大惣番号札剝落 10銭

32186 ケイゲン ツ ガン 慶元通鑑 一二・三四・五六・七八 半1帙4冊  
写本

※慶長・元和年間の記録。

5—11ヶ1 ゆ四百貳拾四全四 30銭

32187 トウセン キ ゲフ 東遷基業 一〜三拾 半6帙30冊  
佐久間健（東野散人獨立齋）著・自序・自跋  
(1732) (1733)  
享保17序，同18跋

写本

※徳川家康の事績。

5—62ト6 き百拾壹全三拾 2円

32188 イタクラホソカハ 板倉 殿中刃傷記 半1帙1冊  
細川 延享4成  
(1747)

著者未詳

写本

※上記書名は題簽による。扉には「巴星録」，末丁には「巴星録実記」とある。

5—63ハ1 大惣番号札剝落 5銭

32189 ゲンドウスイ コ デン 玄同水湖傳 半1帙1冊  
著者未詳・自跋あり

写本

※上記書名は内題による。題簽では「玄同水湖傳」であり，その下に「柿木金助一代記」とある。

4—41シ8 み貳百七拾番㊦ 10銭

32190 エイタイグラ 永代蔵 半1帙1冊  
横井也有著か  
写本

※逸名の序・跋・奥書がある。末尾に「此書野有

翁若年之作と云大に非なり」とある。針妙・茶の間・町女・百華・そうかについて述べた書。

4—42エ1 大惣番号札剝落 5銭

32191 オホトモキ 大友記 半1帙1冊  
著者・成立年未詳  
写本

※『国書総目録』によると，「九州治乱記」・「九州治乱物語」の異称がある。

5—15オ1 ゆ百八十六番 10銭

32192 トクガハキ 徳川記 自一至三・（自四至六）・自七至九・自十至十二 中1帙4冊  
写本

※第1冊の表紙に「蔵」の貼札がある。第1冊の見返しに「此本関ヶ原後不足也大本の貳冊の本には関ヶ原より末之所迄も有」とある。32172参照。第4冊裏見返しにも同趣の書込みがある。第3冊見返しに「天明五歳乙巳九月吉日改之時爾重本出来」と書込みがある。第1冊裏見返しにも同趣の書込みがある。

5—62ト2 大惣番号札原欠か 20銭

32193 キンシ カセイロク 金氏荷政録 一〜七 半1帙8冊を合綴7冊  
無名山介著・自序  
(1759)  
宝暦9序

写本

※第1冊は2冊を合綴して1冊とする。本来の第1冊には「發端」と「金森氏系統」を収めている。金森騒動の実録。

4—41シ7 大惣番号札剝落 30銭

32194 ヘイカ サ ワ 兵家茶話 (一)・二〜十 半1帙10冊  
日夏繁高著，逸名序あり  
(1760)  
宝暦10序

写本

※大惣の半紙を使用。序に「兵家茶話全部廿巻」とあるが，本書は第10冊末「巻十九大尾」で終わっている。

5—63ハ1 ゆ三百貳拾三全部拾冊 70銭

32195 ミカハフタバノマツ 三河二葉松 壹〜四 半1帙4冊  
佐野知堯著・自跋，小笠原基長序，渡部堅序  
(1740) (1741)  
元文5跋，同6序（渡部）

写本

※大惣の半紙を使用。跋後に「右二葉松加毫之連名」として「小笠原大弐基長」以下の名を挙げる。その中の「渡辺休白臥立」は即ち序者「渡部堅」か。上記書名は各冊題簽による。序題その他の他は「三河國二葉松」。

5—83ミ2 ゆ九百四拾三全四 60銭

32196 <sup>ブケコハフ</sup> 武家古法 壹～五 半1帙5冊

著者・成立年未詳

写本

5—17フ2 大惣番号不明 40銭

32197 <sup>ザントウケイデン</sup> 残燈傾談 壹～六 半1帙6冊

著者未詳

写本

※『国書総目録』によると寛保元成。<sup>(1741)</sup>

5—63サ2 大惣番号札剝落 50銭

32198 <sup>タイクンゲンカウロク</sup> 大君言行録 上・下 半1帙2冊

成立年不明

写本

※大惣の半紙を使用。上記書名は各冊の題簽及び内題による。上冊見返しには「南龍院様言行録二巻」とあり、また各冊題簽下部に「對山遺事同本」とある。『国書総目録』によると著者は真如。

5—62タ1 ゆ八百四拾七全弐 25銭

32199 <sup>オチボシフログ</sup> 落穂集附録 壹～三(上・中・下) 半1帙3冊

写本

※大惣の半紙を使用。「近世実實」部を収める。『国書総目録』によると、『落穂集』は大道寺友山(重祐)著、享保13成立の見聞記。<sup>(1728)</sup>

5—63オ1 ゆ四百三拾七全三 20銭

32200 <sup>リウエイ</sup> 柳 聞書雜記 上・下 半1帙2冊

著者未詳

写本

※上冊の第1丁に「延寶八申年より聞書ノ年月日ノ次才不同」とある。<sup>(1680)</sup>

5—17リ2 大惣番号札剝落 30銭

32201 <sup>フヤシヨクダン</sup> 武野燭談 壹～七 半1帙7冊

写本

※『日本古典文学大辞典』によれば編者は未詳だが、一説に木村高敦(穀斎)。<sup>(1709)</sup> また宝永6序とあるが、本書は序を欠く。全30巻。「藤本伊八」の印あり。

5—63フ9 ゆ三百三拾六全七 40銭

32202 <sup>セイダン</sup> 政談 一～八 半8冊

物部茂郷著・自序・自跋<sup>(マ)</sup>

写本

※大野屋の半紙を使用。『日本思想大系36荻生徂徠』によれば「成立は、牧野善兵衛『徳川幕府時代書籍考』その他は享保7(1722)年説を採るが寧ろ享保12(1727)年頃と考えられ、また諸本は、写本(享年を明記するもの)としては宝暦9(1759)写のものが、刊本としては安政6(1859)刊のものが、各々最も早い。」

2—42セ2 ゆ八百拾弐全八 30銭

32203 <sup>ブリンケンロク</sup> 武林隱見録 (一二三)・四五六七・

八九十一・十二十三十四十五・

十六十七十八十九

大1帙5冊

齊東野人著・自序

写本

※『国書総目録』に享保3自序とあるが、本書の自序には年時を記さず。<sup>(1718)</sup>

5—63フ10 き百三拾五全五 30銭

32204 <sup>ケイチヤウイライ ブゲンカウ</sup> 慶長已來分限考 半1冊

張州城西隱士著・自序

天明元成<sup>(1781)</sup>

写本

※内題は「分限考」。題簽には「明治二 十分一<sup>(1869)</sup> 御直命 享」ともあるが、本書中に該当する部分なし。

2—03ケ2 ゆ六百八拾七全 20銭

32205 <sup>ゴカウサツノウツシ</sup> 御高札之寫 半1帙1冊

写本

※内題は「高札之写」。表紙右上に「新」、右下に「三十七番」の小札あり。<sup>(1843)</sup> 『国書総目録』によると、天保14刊の版本が存する。

5—15ヨ1 ゆ八百七拾四番全 10銭

32206 <sup>オチボシフ</sup>落穂集 天・地・人 半1帙3冊  
大道寺友山著 <sup>(1728)</sup>享保13成  
写本

※下記の大惣番号は天冊見返しにある。人冊表紙  
の大惣番号札は剝落、天冊表紙にも「<sup>(百力)</sup>□□」の  
小札あり。

5—83オ1 一番<sup>㊤</sup> 25銭

32207 <sup>スイフコウケンサク</sup>水府公獻策 上・中・下 半3冊  
徳川齊昭著  
写本

※『国書総目録』に天保9成とある。大野屋の半  
紙を使用。朱の書込みあり。

2—42ス1 大惣番号札剝落<sup>㊤</sup> 15銭

32208 <sup>メイケンチュウシンザツセウロク</sup>名君忠臣雑鈔録 (一)・二～六  
半1帙6冊  
深澤庸著・自序、龍道人題辞 <sup>(1798)</sup>寛政10序  
写本

※大惣の半紙を使用。

5—63メ2 大惣番号札剝落<sup>㊤</sup> 50銭

32209 <sup>ホウサケンモンザツショ</sup>蓬左見聞雑著 半1帙1冊  
猿猴菴(高力種信)著・自跋

写本  
※記事内容は明和9から安永8まで。自跋に「こ  
の本は先年人に与えた自分の日記の写しである  
が、誤写・遺漏など多いので自ら書き改めある  
いは書き加えた云々」という旨を記す。筆写は  
複数の手に成る。

5—11ホ1 <sup>(1772)</sup> <sup>(1779)</sup> <sup>(1798)</sup> 番 15銭

32210 <sup>ブケヒサツ</sup>武家秘冊 <sup>アラベウシ</sup>青標紙 (前編)一～四・  
後編一～三 半7冊

写本  
※前編第1冊初丁表に「青標紙前編之上／帙之銘  
(以上朱)／<sup>武家秘冊</sup>青標紙完／(後略)」, 同裏に  
「<sup>両面折本</sup>標紙之裏書(朱)／天保庚子春新刻／<sup>武家秘冊</sup>青標  
紙完／禁商領限三百部」, また後編第1冊初丁  
表に「青標紙後編之上(朱)／天保辛丑春新刻  
／<sup>武家秘冊</sup>青標紙後編／(後略)」, 同裏に「青標紙後  
編書目／(中略)忠廼屋藏板／猥不許出冊」, 更  
に後編第3冊末丁裏に「天保十一庚子 季冬脱稿

／全十二辛丑孟陬刻成／東都訂書堂蔵梓」とあ  
る。『日本古典文学大辞典』によると、編者は  
大野広城、前編は天保11、後編は天保12にそれ  
ぞれ小型折本として刊行された。

2—03ア1

ゆ四百式拾七初編全四冊・ゆ四百式拾八番 50銭

32211 <sup>リウエイヒロク</sup>柳營秘録 <sup>トノキブクロ</sup>殿中袋 老～(四) 半4冊  
写本

※第4冊が所在不明。大野広城編で天保12に刊行  
された同じ名前の書とは内容を異にする。内容  
は老「御定書并人数書」, 式「御門番規定書秘  
録」, 三「諸白問答其外心得留」。

2—03ト3 ゆ四百式拾老全四 20銭

32212 <sup>トクガハカイウンロク</sup>徳川開運録 半1帙1冊  
写本

※上記書名は題簽による。内題は「松平崇家開運  
録」。表紙右上に「〇〇九十二」の貼札あり。  
罫線入り半紙を使用。

5—11ト3 ゆ三百八拾四番 10銭

32213 <sup>ハヤシダウシユナンクワウバウ</sup>林道春 <sup>デンチュウモンダフ</sup>殿中問答  
南光坊 乾・坤 半2冊

写本  
※大惣の半紙を使用。林道春と南光坊天海の神仏  
をめぐる議論。

1—26テ2 ゆ四百五拾八全式<sup>㊤</sup> 15銭

32214 <sup>エイハイロク</sup>栄廢録 老～五 半1帙5冊  
写本

※上記書名は各冊題簽により、その下部に第1・  
2冊「恩榮之部」, 第3～5冊「廢絶之部」と  
記されている。内題は第1冊に「恩榮録」, 第  
3冊に「廢絶録」。慶応元までの記事が見られ  
る。大惣の半紙を使用。

5—65エ1 ゆ三百五拾式全五 40銭

32215 <sup>シヨサツトメ</sup>書札留 半1帙1冊  
写本

※慶安から天和にかけての、幕府要職者あての書  
簡と、尾張藩主あての書簡集。

4—09シ3 ゆ四百八拾三全 20銭

- 32216 <sup>リウエイ</sup>柳營 <sup>ゴテンニンゴシンカイ</sup>御轉任 <sup>セウロク</sup>小録 半1帙1冊

写本

※文政10の記事を取める。朱・青の書込みあり。  
5—65リ1 大惣番号札原欠 30銭

- 32217 <sup>キシヤウモン</sup>起請文 半1帙1冊

写本

※関が原合戦の関係の起請文を集める。  
5—11キ1 百六拾八 10銭

- 32218 <sup>ゴユイクン</sup>御遺訓 半1冊

写本

※上記書名は題籤による。内題は「東照御遺訓」。  
逸名跋あり。大惣本ではないが1—84ト2『徳川家康遺訓』(写本, 半1冊)も同内容。  
1—84ト1 ゆ四百八拾五番 10銭

- 32219 <sup>ナニハメイジャウロク</sup>浪花名城録 半1帙1冊

写本

※末丁に「嘯虎堂」と書込みあり。表紙の題籤剝落跡に書名打ちつけ書。  
8—28ナ4 ゆ式百七拾式全 15銭

- 32220 <sup>クワンブンシンシン</sup>寛文 <sup>リウエイニツキ</sup>四辰 柳營日記 半1帙1冊

写本

※表紙右上に「□番」の貼札あり。表紙中央に「寛文四辰之年／正月中御城書之写」と朱書,  
小口に「寛文キロク」「公方之儀式」と墨書。  
本文末尾には「寛文八年申ノ仲春廿五日書之早」  
とある。  
5—11カ2 大惣番号札原欠か 20銭

- 32221 <sup>トウセウダウゴキロク</sup>東照宮御記録・<sup>リウエイヤ</sup>柳營夜話・

<sup>ケイコウゴゲンレイサダメ</sup>敬公御軍令定 半1帙3冊を合綴1冊

写本

※上記書名は題籤に並記されている。「東照宮御記録」は内題がないが宝曆11の源村淳の奥書あり。「柳營夜話」には「寛延二巳四月／渋谷隠岐守筆記」と奥書あり。「敬公御軍令定」の内題は「源敬公様軍書合鑑御戴條之大概」。初丁に「十里□營」の朱印あり。  
5—62ト5 ゆ四百九拾三全 15銭

- 32222 <sup>タイヘイヒラン</sup>太平秘覽 自壹至四・自伍至七・  
自八至十終 半1帙3冊

写本

※第1冊表紙右上に「〇百九十」の貼札あり。各冊初丁に「四日市／太秦堂／札ノ辻」の印あり。  
4—47タ1 ゆ四百四拾番全三〇 25銭

- 32223 <sup>コウジツロク</sup>公實録 半1帙1冊

写本

※題籤下部に「公實敵秘録トハ異本也」と書込みあり。『近代公実敵秘録』と『諸家深秘録』から数条づつ抄出。  
5—63コ7 ゆ四百七拾老全 10銭

- 32224 <sup>ショウケシンビロク</sup>諸家深秘録 一—五 半1帙5冊

写本

※上記書名は各冊題籤などによる。各巻1冊, 全5巻。第2—5巻, 巻末内題は「深秘録」。諸大名の逸話など。『日本古典文学大辞典』によると, 二十四巻で著者・成立年とも未詳, 写本で伝わるという。  
4—41シ11 ゆ三百五拾三全五〇 25銭

- 32225 <sup>キンダイブキヨキ</sup>近代武挙記 上・下 半1帙2冊  
武蔵野之隠士某序 延宝8序

写本

※下冊題籤の傍に大惣番号札剝落跡あり。上冊は徳川家の系図に傍系諸公の伝を付す。元禄3の記事が見える。下冊は徳川家康の伝。  
5—62キ3 ゆ三百七拾四全式 30銭

- 32226 <sup>ギョクヨキ</sup>玉興記 半1帙1冊

写本

※題籤傍に「柳營婦女傳拔翠」の貼札あり。初丁に「藪蚊藏」の印あり。『国書総目録』によると安永10成。  
5—63キ3 ゆ四百七拾三全 15銭

- 32227 <sup>ニツクワウカントタンマクラ</sup>日光郡鄕枕 大1帙1冊

写本

※逸名自序があり, 「書本」の「日光郡鄕枕」を増補した旨を記す。  
4—41シ16 き百五拾六番 20銭



32228 <sup>タダオキブユウモノガタリ</sup> 忠興武勇物語 半1帙1冊

写本

※表紙右上に「□い番」の貼札あり。細川忠興  
(1563-1645) の伝記。逸名序あり。32236参照。  
5—62タ4 ゆ三百八拾六番 10銭

32229 <sup>シラカハクワンカイロク</sup> 白川勸戒録 半1帙1冊

写本

※見返しに旧蔵者印あり。内容は「松平越中守様  
御家中江之御渡」(朱の校合書込みあり), 「松平  
越中守殿心得書」(天明8奥書)<sup>(1788)</sup>, 「松平越中守  
殿禁裏御造宮掛り御勘定奉行御作事奉行吟味役  
江御申述候口上覚書」より成る。  
2—03シ10 大惣番号札剝落 10銭

32230 <sup>リウエイ 柳 高貴事略</sup> 高貴事略 半1帙1冊

写本

※文政10の諸士の昇進などの記録。上記書名は題  
籤による。内題は「高貴事畧」。  
5—17リ3 ゆ四百七拾五全 15銭

32231 <sup>クジキ</sup> 公事記 上・下 半1帙2冊

写本

※両冊題籤剝落。上記書名は剝落跡に朱の打ちつ  
け書。宝永から享保の記事。上冊扉に事件の関  
係者「小林新助」「藤原頼兼」の名を示す。  
京都ク1 大惣番号札剝落か 15銭

32232 <sup>コゲンキ</sup> 古諺記 半1帙1冊

写本

※『国書総目録』によると、別題「故諺記」「牛  
込家伝」「時楽記」「慕昔集」、著者は牛込重恭、  
『遺老物語』の内。早稲田大の大惣本目録によ  
れば「柳営古諺記」。  
4—47コ1 大惣番号札剝落○ 10銭

32233 <sup>センキンギョクヒシフ</sup> 千金玉秘集 乾・坤 半2冊

写本

※政論。別名「本佐録」として『日本思想大系』  
28に翻刻あるが、そこに含まれていない序文や  
注を有する。見返しに「此書二代將軍秀忠御上  
意=付本田佐渡守正信書上有之、諸人心得=可  
成之事也」と記された札あり。

1—84セ7 大惣番号不明 25銭

32234 <sup>ゲンクワンニツキ</sup> 元寛日記 一〜五 半1帙5冊

写本

※上記書名は各冊題籤による。内題は第1・2冊  
が「元和日記」、第3〜5冊が「寛永日記」。元  
和<sup>(1615)</sup>と元<sup>(1643)</sup>から寛永20までの記事を取める。  
5—11ケ6 ゆ九百三拾五番全五 25銭

32235 <sup>スンブセイジロク</sup> 駿府政事録 一〜八 半1帙8冊

後藤元次著

<sup>(1700)</sup> 元禄13成、<sup>(1827)</sup> 文政10写

写本

※大野屋の半紙を使用。慶長16から同20までの記  
事を取める。  
5—11ス1 大惣番号札剝落 35銭

32236 <sup>ホソカハケグンコウキ・ミツノカヅナリブコウキ</sup> 細川家軍功記・水野勝成武功記

半1帙1冊

(細川——) 著者・成立年未詳

(水野——) 水野勝成著

<sup>(1641)</sup> 寛永18成

写本

※「細川家軍功記」は『忠興武勇物語』(32228参  
照)と同内容だが、字句に異同がある。「水野  
勝成武功記」は『国書総目録』によると『水野  
勝成自記』と同じ。「水野——」の初丁に「奈  
茶軒」、末丁に「菅原/□」の印。

5—62ホ1 ゆ三百八拾八番 20銭

32237 <sup>トウセウガンカンハチダイキ</sup> 東照軍鑑八代記 一・二 半1帙2冊

写本

※大野屋の半紙を使用。逸名自序あり。その中に  
「我幼より源君に仕へ」とある。

5—61ト1 ゆ四百五拾四全式 20銭

32238 <sup>キテケンブヒカン</sup> 熙朝賢婦秘鑑 一〜五 半1帙5冊

武陵逸士鴻著・自序

写本

※柳沢騒動物の実録。

4—41シ5 み百貳拾卷全五○ 40銭

32239 <sup>ブケコウバウキ</sup> 武家興亡記 一〜十 半1帙10冊

写本

※戦国期から江戸初期までの武将について石高と  
略伝を記す。

5—61フ1 大惣番号札剥落 20銭

32240 <sup>フリタクシバノキ</sup> 折たく柴の記 壹〜十二 半1帙12冊  
源君美(新井白石)著・自序 享保元起草

※上記書名は第1冊内題などによる。題籤には「折焼柴」(第1〜6・11・12冊)、「遠里堂苦斯場」(第7・8冊)、「をりたくしば」(第9・10冊)などとある。序に「丙申の十月四日に筆を起しつ」とある丙申は享保元と考えられ、本文末に「正徳六年丙申五月下辭筆を絶つ」とあるのは内容上の終結期日と見なすべきものであるという(『国史大辞典』など)。本文末に「文化二年乙丑九月日拉／黒田文雅鳥居寅忠」の書込みがある。第1冊見返しにも「明治三年七月日／鉄齊題□□」として書込みがある。

5—62オ2 大惣番号札剥落 25銭

32241 <sup>ブトクタイセイキ</sup> 武徳大成記 壹貳〜廿九三拾 半2帙15冊

阿部豊後守正武「奉行」、林春常・人見友元・木下順菴「書記」・跋 貞享3跋  
写本

※全30巻を2巻ずつ15冊に配し、巻次を「壹貳」「三四」のごとく並べたものを各冊題籤中に記す。各冊とも表紙や見返しに目録を記す。跋に本書の成立事情を記す。

5—62フ1 ゆ三百貳番全部拾五冊 35銭

32242 <sup>タウダイキ</sup> 當代記 一二〜十九廿 半2帙10冊  
写本

※『国書総目録』によれば著者は伝松平忠明。全20巻だが各冊に2巻ずつ収め「一二」「三四」〜「十九廿」を冊次とする。

5—62ト8 大惣番号札剥落 30銭

32243 <sup>ケイトクヘン</sup> 替徳編 (一)〜二十五・附録壹〜三 半1帙28冊

深田正詒著・自序、(附録)清原重巨著・自序 文化4序、天保5附録序

写本

※第10冊以下には大惣の半紙を使用。上記書名は第1冊序題などによる。第10冊以降の題籤には「啓徳編」とある。徳川家康はか名君の言行を集めた書。

5—61ケ1 (正篇)表紙剥落のため大惣番号不明  
・(附録)ゆ八百貳番附録三冊 1円

32244 <sup>シヤウワエウカン</sup> 正和要簡 目録序起・一〜八・九十 半1帙10冊  
赤松範元著、審齋河清序 元禄12序

写本

※天正12から元和2までの記録。

5—10シ2 大惣番号札剥落 40銭

32245 <sup>ケイゲンキ</sup> 慶元記 宮・商・角・徴・羽 半1帙5冊

写本

※慶長・元和年間の記録。『国書総目録』によれば、著者は北条氏長。

5—10ケ1 ゆ九百三拾四全五 40銭

32246 <sup>ブトクヘンネンシフセイ</sup> 武徳編年集成 一〜四十五 半9帙45冊  
木村高教著、信陽大宰純序 元文5序

写本

※第1冊と第16冊の表紙右上に貼札の剥落跡があり、第31冊の表紙同箇所に「三篇十五冊六十四ヨリ九十三迄」との貼札がある。全93巻を45冊に配し、各冊題籤に所収の巻を記す。

5—62フ2 ゆ三百壹全四拾五冊 1円50銭

32247 <sup>ミカハキイカウシフキログ</sup> 三河記異考拾遺録 半1帙1冊  
明和4写

写本

※題籤の書名および内題は上記の通りだが、末尾に「右此三ヶ寺物語町屋太田氏處持之」とある。『国書総目録』によると、別名「参河記拾遺録」・「三河三ヶ寺物語」。表紙に「□□二」の小札あり。

5—10ミ2 ゆ三百七拾三全 10銭

32248 <sup>クワンチュウヒサク</sup> 官中秘策 序目・一〜三十三 半3帙34冊  
西山元文著・自序 安永4序

写本

※序目冊に、自序とは別に「西山物語」として著者の言が伝えられる。

5—17カ8 大惣番号札剥落 1円50銭

32249 <sup>ゴカフ</sup> 御家譜 一〜十八 半2帙18冊  
山田正修仲糺著・自序, 君山松平秀雲士龍序  
(1755) (1771)  
宝暦5自序, 明和8序

写本

※「世良田家譜」(2巻1冊)・「松平家譜」(12巻6冊)・「徳川家譜」(21巻11冊)から成り, 各冊題簽にその書名と所収の巻及び通算の冊次を記す。上記の統一書名は第1冊見返しにあるもの。両序の題は「世良田松平徳川三家譜」である。

5-11コ1 ゆ六百老全拾八 2円50銭

## 和 軍 書 類

32250 <sup>ヨシサダクンコウキ</sup> 義貞勲功記 壹〜拾三 大1帙13冊  
(1717)  
馬場信意(玄隆)著・自序・自跋 享保2序・跋  
菊屋七郎兵衛・西村屋利右衛門・菱屋治兵衛  
※壹は目録。第2・3冊見返し等に松屋太兵衛による落書あり。

4-41サ73 大惣番号札剝落 1円50銭

32251 <sup>トウゴクタイヘイキ</sup> 東國太平記 壹〜十八 大2帙18冊  
杉原親清著, 國枝清軒「重訂」・序  
(1624) (1680) (1706)  
寛永元成, 延宝8序, 宝永3刊

久保田九郎左衛門

※全16巻。

4-41サ63 大惣番号札剝落 1円

32252 <sup>カウゲンブカン</sup> 江源武鑑 壹〜十八, 但し四・十五は上  
・下2分冊 大3帙20冊  
(1656)  
佐々木氏郷著か 明暦2刊  
荒木利兵衛

※第1冊墨書題簽下部に「全式拾冊」と記す。

5-15コ2 て三百式拾九 1円50銭

32253 <sup>ソガモノガタリヒヤウバン</sup> 曾我物語評判 (-)〜十五 大2帙15冊  
(1716)  
馬場玄隆信意著・自序 正徳6序・刊  
江戸 古川進七郎(通本石町十軒店)・田井利兵衛(二條通御幸町西江入町)・金屋平右衛門

4-40ソ1 大惣番号札剝落 1円

32254 <sup>ヨシツネコウハイキ</sup> 義經興廢記 一〜十二 大2帙12冊  
(1703) (1704)  
小幡邦器著・自序 元禄16序, 同17刊  
書肆不明

※自序には「廷尉興廢記」と呼び, 家伝の「廷尉實録」の一古本(著者不明)に基づき, 是正を加えたものという。題簽下部に「共十二冊」と書込みあり。

4-41サ74 て四百拾七 1円

32255 <sup>ヲグリジツキ</sup> 小栗實記 首巻(序目録)・壹〜十二 大1帙13冊

畠山泰全著, 穂積以貫序・「参考」

(1733) (1735)  
享保18序, 同20刊

大坂 寺田與右衛門(心齋橋筋傳馬町)・松村九兵衛(心齋橋南江壹丁目)

※首巻に「平姓小栗系圖」「小栗家臣圖讃」「小栗實記總目録」あり。

4-41サ8 大惣番号札剝落 50銭

32256 <sup>ケンモンゲンセウ</sup> 見聞軍抄 壹・巻二〜巻八 大1帙8冊  
(1667)  
三浦茂信(浄心)著・自序 寛文7刊  
京 書林堂風月

5-63ケ3 て六百十老 75銭

32257 <sup>タケダサンダイゲンキ</sup> 武田三代軍記 一〜廿二 大2帙22冊  
(1715) (1720)  
片島武矩(深淵子)著・自序 正徳5序, 享保5刊  
大坂 松村九兵衛・大野本市兵衛・澁川清右衛門

※第1冊表紙欠。内題「甲源武田三代軍記」とも。

4-41サ39 大惣番号不明 1円50銭

32258 <sup>シンベントウゴクキ</sup> 新編東國記 壹〜十 大1帙10冊  
(1712)  
蟠龍子(井沢長秀)著, 虚船散人序 正徳2序・刊  
京 柳枝軒茨城信清(小河多左衛門)

4-41サ30 て三百五拾三全拾 70銭

32259 <sup>カキツゲンキ</sup> 嘉吉軍記 大1帙1冊  
(1669)  
著者未詳, 中橋道室序 寛文9序・刊  
吉田四郎右衛門

※後補墨書題簽「赤松嘉吉軍記」。柱書「嘉吉記」。巻末の内題「赤松記」。序によれば, 家に古くから伝わる本の甚しい誤りを正し, 加点了もののという。

5—09カ2 大惣番号札剥落 20銭

32260 <sup>タイカフキ</sup> 太閤記 一〜十一 半2帙11冊

小瀬甫庵著・自序・自跋、朝山意林菴素心跋  
(1616) (1625) (1626) (1661)  
元和2自跋、寛永2序、同3跋、万治4刊

山田參郎兵衛  
※全22巻。序題「豊臣記」。

5—10タ1 大惣番号札剥落か 1円50銭

32261 <sup>アサキサンダイキ</sup> 浅井三代記 (一)〜十五 大1帙15冊

著者未詳、山雲子序 貞享5序、元禄2刊  
(1688) (1689)

江戸 富野治右衛門  
※序題「題浅井軍記首」、各巻内題「浅井三代軍  
記」、柱書「浅井記」。

5—15ア1 大惣番号札剥落 75銭

32262 <sup>ココンゲンリモンダフ</sup> 古今軍理問答 一〜七 大1帙7冊

漂白野人(江島為信)著・自序・自跋 寛文5刊  
(1665)

繪双紙屋喜左衛門

※絵入り。

8—21コ1 大惣番号札剥落 1円

32263 <sup>シンバンエイリ</sup> <sup>新板</sup> 鎌倉繁栄廣記 (一之巻)

一・二之巻〜十二之巻 大1帙12冊  
(1745)

八文字屋自笑著・自序 延享2序・刊

京 八文字屋八左衛門(ふ屋町通せいくわんじ  
下ル町)

※各巻内題下に「武徳鎌倉旧記後編第十三(〜第  
廿四)」とある。

4—41サ15 大惣番号札剥落 1円50銭

32264 <sup>ゼンタイヘイキ</sup> 前太平記 一之二〜卅九之四十(㊥〜

㊦) 大3帙20冊

兀亭子藤元元著

書肆・刊年不明

※30371参照。

4—41サ34 大惣番号札剥落 1円25銭

32265 <sup>サンシャウダウカイ</sup> 三將軍解 壹〜八 大1帙8冊

松田秀任著・自序・自跋 明暦2刊  
(1656)

京 荒木利兵衛(寺町通)

※上杉謙信・武田信玄・織田信長の「三家の軍法」  
を述べた書。

8—21サ3 て式拾壺 75銭

32266 <sup>シンゲンゼンシフ</sup> 信玄全集 目錄・一〜二十二・目錄<sup>本</sup>  
大3帙24冊

著者未詳

書肆・刊年不明

※各巻頭の内題「甲陽軍鑑全集」。柱書「全部抄」。

「信玄全集 目錄<sup>本</sup>」は本書とは別内容で、大惣  
番号「て三番共廿冊」。

8—21コ7 て式番全式十三 2円

32267 <sup>ヘイケモノガタリ</sup> 平家物語 壹〜拾式 大2帙12冊

著者未詳 延宝5刊  
(1677)

京 書肆堂(二條通)

※絵入り。

5—06へ1 て三百七拾五全拾式冊㊥ 1円20銭

32268 <sup>ホンテウ</sup> <sup>本</sup> <sup>ナンカイチランキ</sup> 南海治亂記 序目錄・一〜十七  
大1帙18冊

香西成資「輯述」・自跋、竹田定直序  
(1663) (1714) (1773)

寛文3跋、正徳4刊、安永2改板

京 辻井吉右衛門(寺町通松原上ル町)・小川  
太左衛門(誓願寺通数屋町東へ入町)・山田卯  
兵衛(二條通車屋町角)・林權兵衛(間之町御  
池上ル町)・林喜助(同)

※本書は植松左衛門尉資信、三谷彦兵衛尉景近、  
片山是右衛門尉久則ら古老の説や父祖の言い伝  
えなどに基づく。「足利將軍家來由記」より秀  
吉四国・九州平定まで。第1冊見返しに「此書  
は南朝太平記の續集といふべき書也撰河泉紀和  
すべて南國所々の争戦足利末代戰國之世迄を記  
す」と記した貼紙あり。内題に角書なし。

5—15ナ2 て三百式拾五 1円50銭

32269 <sup>キクチデンキ・サツサデンキ</sup> 菊池傳記・佐佐傳記 一〜五・

六上・六下・七〜十 半1帙11冊

蟠龍子井澤節長秀著・自序・自跋、竹塙散人序、淇  
(1708) (1710)

亭野黙子序 宝永5序(いづれも)、同7跋

京 茨木多左衛門(六角通御幸町西へ入ル町)

※柱書「菊池佐佐傳記」。第1〜7冊内題「菊池  
傳記」。第6冊系図、第7冊花押。第8〜11冊  
内題「佐佐傳記」。第10・11冊は附録「歴代事  
跡略」。「佐佐傳記」は天正15〜16の記事。  
(1587〜1588)

5—15キ1 大惣番号札剥落 1円

一 和 軍 書 類 一

ゼンゼンタイヘイ キ  
32270 前々太平記 一～六・七八・九～廿一  
大2帙20冊  
(1715)  
建春山人橋墩著・自序 正徳5序・刊  
江戸 須原茂兵衛(日本橋南壹丁目)、大坂  
毛利田庄太郎(北御堂前)、第6冊のみ写本  
※第1冊は序・惣目録と巻一の冊を、第7冊は巻  
七と巻八の冊を合綴。  
4—41サ33 て三百六番㊦ 1円

コ コンガンリンイツトクセウ  
32271 古今軍林一徳鈔 序目録・一・二三・  
四五・六七・八・九・十一・十二・十三・  
十四・十五・十六・十七・十八(㊦～㊧)  
大2帙12冊  
(1658)  
山本内蔵助源尚勝著・自序 明暦2序  
京 岡本半七  
※軍書。自序の下部に破損あり。  
8—21コ2 て九番全拾式 1円

タイヘイ キ  
32272 太平記 一～二十一 大3帙21冊  
著者未詳、逸名序あり  
書肆・刊年不明  
※第1冊は序・名義并來由・劔巻・惣目録より成  
る。以下の冊は全40巻、2巻ずつを1冊とする。  
書込み多し。  
5—08タ2 大惣番号札剝落 2円

イシダダンキ  
32273 石田軍記 壹～十一・十二・十三・  
十四・十五 大1帙13冊  
著者未詳  
書肆・刊年不明  
※『国書総目録』によると元禄11刊  
(1698)  
4—41サ2 て三百七拾四全拾三冊 1円

デユウヘンオウニン キ  
32274 重編應仁記(序総目録)・一～貳拾  
大2帙21冊  
小林正甫著・發題、源永常序、源武好跋  
(1706) (1708) (1711)  
宝永3序・發題、同5跋、同8刊  
書肆不明  
※第1冊の題簽剝落。第2・3冊は前集、第4～  
8冊は廣集、第9～11冊は後集、第12～21冊は  
續後集。  
5—09シ1 て三百貳拾六共貳拾壹冊 1円50銭

ホンテウ ブ リンデン  
32275 本朝武林傳 壹～二十五 大3帙25冊  
(1679)  
諏訪忠晴著・自序 延宝7序  
梅林堂  
※第1冊冒頭と第25冊末に「濃州／參河屋／芝北  
方」の印がある。著者名は『国書総目録』によ  
る。  
5—61ホ2 て三百三拾四 1円50銭

ゴコク ショ ケ カウミヤウキ  
32276 護國諸家高名記 壹～十五 大2帙15冊  
(1714)  
樋口好運著 正徳4刊  
書肆不明  
※絵入り。刊記の前に『護國太平記前編』の広告  
あり。  
4—41サ29 て三百六拾五 2円

タダ ノマンデユウゴダイ キ  
32277 多田滿仲五代記 一～十 大1帙10冊  
(1691)  
多田兵部著、瀧川育子欽跋 元禄4跋・刊  
茨木太左衛門・淺野久兵衛・田中庄兵衛  
※内題は「多田五代記」。柱書は「滿仲五代記」。  
4—41サ37 大惣番号札剝落 1円50銭

ブケウゼンショ  
32278 武教全書 壹～六  
特大(29.2×18.5cm) 1帙6冊  
山鹿素行著・「後序」  
写本  
※筆彩図入り。第1冊末尾に「武州住／藤原安信  
法師／謹白」とある。「後序」は第2冊末尾に  
ある。  
8—21フ1 て百拾四全六冊 50銭

ゴタイヘイ キ  
32279 後太平記 ※参照 大3帙22冊  
多々良一龍(南宗庵)著・自序、井上氏家正重校  
(1692)  
元禄5刊

平野屋佐兵衛・丸屋源兵衛  
※目録1冊、天部が壹之貳～十一之十二の6冊、  
人部が十三之四～廿五之六の7冊、地部が廿七  
之八～四十一ノ貳の8冊より成る。通し番号  
(△壹～△廿二)の書込みあり。  
4—41サ23 て三百七七全貳拾貳冊 2円

ブモンコウガク タイヘイ ブ バウキ  
32280 武門後學 太平不忘記 壹～十  
大2帙10冊  
(1706)  
相良就興著・自序、尾崎氏正豊序 宝永3序・刊

京 富永清兵衛 (二条通), 大坂 三崎半兵衛  
(平野町), 江戸 崎川庄兵衛 (黒門前)  
※内題「武門太平不忘記」。序題「太平不忘記」。  
柱書「武門不忘記」。

8—21フ16 て拾巻番全拾 1円50銭

キンダイセイセツサイギョクワ  
32281 近代正説 碎玉話  
近代正説 武將感狀記  
壹〜拾 大1帙10冊  
備州熊澤淡庵子著, 和田正尹序 正徳6序・刊

大坂 柏原屋清右衛門・河内屋宇兵衛  
※序題「碎玉話」, 内題「近代正説碎玉話」また  
は「碎玉話美談」。  
5—63キ9 て三百九拾三全部拾冊 75銭

ワシウシヨシヤウグンデン  
32282 和州諸將軍傳 壹〜十二 大2帙12冊  
閑雲子著・自序 (1706) 宝永3序  
書肆不明

※第13冊 (大尾) 欠。『国書総目録』によれば宝  
永4初刊。第1冊墨書題簽下部に「共拾三冊」,  
見返しに「全部十三冊」と墨書。  
5—61ワ1 て三百七拾三〇 1円

サイコクセイスイキ  
32283 西國盛衰記 一〜十七 大2帙17冊  
馬場玄隆信意著 (1711) 宝永8刊  
京 山岡勘右衛門 (寺町通二條上ル町), 江戸  
小河彦九郎 (日本橋南壹町目)  
※内題は「西國諸家盛衰記」, 柱書は「鎮西諸家  
武備」。

4—41サ24 て三百五十八 1円50銭

ゴデンシフ  
32284 語傳集 一之二・三之四  
特大 (29.7×20.2cm) 1帙2冊

逸名自序あり

写本

※第1冊題簽上に「武家物語とも」, 同第1丁に  
「又武家物語とも云」の札がそれぞれ貼られて  
いる。序に「語りつたへを聞集て此一巻となし  
ぬれば語傳集とそ名付侍らへとも外題をは武家  
物語共云なるへし」とある。第2冊末に旧蔵者  
朱印あり。

5—63コ1 て六百八拾六全式 30銭

センシウカシノキオモテカウセンノシダイオボエガキ  
32285 泉州檣之井表合戦之次第覺書  
特大 (28.1×20.1cm) 1冊

亀田高綱著 (泉州——)  
(1687) 貞享4写, 寛永5成 (泉州——)  
(1628)

写本 (二階堂命明写)

※上記書名は内題により, 題簽には「覺書」なし。  
表紙に「式百五十」の小札, 「泉州檣之井表合  
戦之次第/式百五拾貳番/若江道明寺八尾合戦  
覺書/一冊」の札あり。「若江道明寺矢尾合戦  
之覺書」, 「若江矢尾口之合戦之覺書」を附す。

8—28セ6 て五百六拾四番 10銭

テクゼン  
32286 筑 宗像軍記  
大1帙1冊  
著者未詳, 被髮翁禾日甫序 (1703) 元禄16序, 同17刊  
(1704)

京 川嶋屋半兵衛 (押小路通)

5—15ム1 五百廿六 15銭

ナンタイヘイキ  
32287 難太平記 天・地 大1帙2冊  
今川了俊著, 力石忠一序 (1402) 応永9成, 貞享3序・刊  
(1686)  
京 茨木多左衛門, 江戸 富野治右衛門  
※序・凡例の題名「校正難太平記」。「嚴山真屋」  
の朱印あり。

5—08ナ3 大惣番号札剥落 20銭

ミヨシグンキ  
32288 三好軍記 上・中・下 大1帙3冊  
福長濟菴玄清著, 桃溪山人序 (1662) 寛文2序, 同3刊  
(1663)  
京 中野太郎左衛門 (五條寺町)  
※上冊の冒頭に細川家・三好家の系図を附す。序  
題・目録内題・柱書は「三好記」。

5—09ミ1 て四百七拾七 30銭

シンシウ  
32289 信 州 河 中 島 五 戰 記 一〜三 大3冊  
著者未詳 (1713) 正徳3刊

大坂 野村長兵衛 (高麗橋一丁目)

※上記書名は各冊原題簽による。目録題「信州河  
中島合戦記」。柱書は「北越太平記」で, 『国書  
総目録』によると本書は『北越太平記』からの  
抜粋書。第1冊見返しに「式百拾七」の貼札。

8—28カ2 て四百七拾八 40銭

ワコクグンキ  
32290 倭國軍記 大1帙1冊  
卜部兼俱著・奥書 (1450) 宝徳2奥書, 寛文9刊  
(1669)  
林生堂

※大惣番号左傍に「軍」(朱)の小札あり。

一 和 軍 書 類 一

8—217 1 て五百三拾貳 20銭

- 32291 オウニン キ 應仁記 上・(下)  
特大 (28.5×19.7cm) 1 帙 2 冊を合綴 1 冊<sup>(1633)</sup>  
著者未詳・自序あり 寛永10刊  
書肆不明  
5—09オ 1 て五百七番合 25銭

- 32292 メイトク キ 明德記 上・中・下  
特大 (27.7×19.5cm) 1 帙 3 冊<sup>(1632)</sup>  
著者未詳 寛永 9 刊  
書肆不明  
※上册表紙に「共三冊」の小札あり。各冊の見返しに「恵空上人／遺物／善水」の書込みあり。上册本文に朱で振仮名の書込みあり。  
5—09メ 1 大惣番号札剥落 25銭

- 32293 ジョウキウキ 承久記 上・下 大 1 帙 2 冊を合綴 1 冊  
著者未詳  
書肆・刊年不明  
※整版本。  
5—07シ 1 て五百六番 25銭

- 32294 カフヤウグン 甲陽軍 川中嶋合戦評判 半 1 冊  
柳田可石著, 深津貞好序 貞享 4 序・刊<sup>(1687)</sup>  
江戸 深津貞好  
※上記書名は原題簽によるが一部破損。内題に角書なし。原題簽, 書名の右に「并信玄謙信備立之圖」とある。  
8—28カ 1 た七百三十五 10銭

- 32295 アウウグンキ 奥羽軍記 一〜四 大 1 帙 4 冊  
著者未詳, 向陽林子序 (第 1 冊), 法印権大僧都玄慧序 (第 2 冊), 端亭子了の跋 (第 1 冊), 逸名跋 (第 4 冊) 貞和 3 序<sup>(1347)</sup>  
(玄慧), 寛文元序 (林子), 同 2 跋 (了の)・刊<sup>(1661)</sup><sup>(1662)</sup>  
京 林和泉掾時元 (今出川)  
※第 1 冊序と跋の書名「奥羽軍志」, 内題「陸奥話記」。第 2〜4 冊内題「奥州後三年記」, 絵入り。  
5—06オ 3 て五百三番全四 1 円

- 32296 タイヘイキ 太平記 劔巻・壹〜四拾 大 8 帙 41 冊

著者未詳

- 書肆・刊年不明  
※劔巻に総目録, 各冊に目録あり。絵入り。「壹」冊の表紙見返しに「太平記評判／同 大全／参考太平記」の書込み, 「四拾」冊の末尾に「此一部之筆者□兵衛書之」とある。  
5—08タ 4 て三百十番全部四十一冊 5 円

- 32297 タイヘイキヒヤウバン 太平記評判 目録・一〜四十・恩地左近太郎聞書 (十七・廿七は上・下, 卅五は本・末に 2 分冊) 大 8 帙 45 冊  
今川駿府守入道心性著か・奥書, 大運院大僧法師跋, 逸名跋あり (恩地——)<sup>(1470)</sup>  
文明 2 奥書, (恩地——)<sup>(1670)</sup>  
書肆不明

- ※内題は「太平記評判秘傳理盡鈔」。朱引きあり。第 45 冊は後補墨書題簽「太平記評判 恩地楠物語」, 内題は「恩地左近太郎聞書」, 柱書は「恩地巻」とある。  
5—08タ 5 て三百拾貳番 4 円

- 32298 カウライデンニツキ 高麗陣日記 半 1 帙 1 冊<sup>(1702)</sup>  
大田信一著・自序 元禄 15 序・刊  
京 水玉堂  
※内題の右に「加藤主計頭正實録」とある。柱書は「日記」。本文は上・中・下 3 巻と附録より成る。刊記には「五条橋詰 書林開版」とあるのみ。  
5—13コ 1 た七百六拾六全巻 30銭

- 32299 ワチユウエイリ 和注 源平盛衰記 一〜廿四 横 (13.5×19.4cm) 3 帙 24 冊<sup>(1707)</sup>  
著者未詳 宝永 4 刊  
京 伊藤七郎兵衛 (押小路御幸町西へ入町)  
・辻三郎兵衛 (二條高倉東へ入町)  
5—06ケ 2 合本共四冊⊖ 2 円

- 32300 タイヘイキ 太平記 序目劔巻・(一)〜拾 横 (14.0×19.9cm) 2 帙 11 冊<sup>(1698)</sup>  
著者未詳, 逸名序あり, 書林の跋あり 元禄 11 刊  
「洛陽書林等開板」  
※絵入り。本文は全 40 巻で, 4 巻を 1 冊とする。  
5—08タ 3 ち千百貳拾貳全拾巻 1 円

32301 <sup>ホウデウゴダイキ</sup> 北條五代記 壹～十 大1帙10冊  
三浦茂信(浄心)著・自序 万治2刊<sup>(1659)</sup>  
風月庄左衛門  
※絵入り。柱書は「北条記」。第1冊の見返しに  
名古屋の永楽屋東四郎の『萬葉集畧解目録 全  
二冊』の広告の貼紙あり。第10冊の裏見返しに  
旧蔵者の朱印、尾州大野屋の「ゆびやみの薬」  
の広告印および書込みあり。  
5—09ホ1 □三百八拾□全拾冊 1円50銭

32302 <sup>ホクリク</sup> 北 <sup>シチコクシ</sup> 七國志 壹～貳拾 大2帙20冊  
馬場(玄隆)信意著・自序 宝永7序・刊<sup>(1710)</sup>  
江戸 須原氏茂兵衛(日本橋南一丁目)・玉置  
次郎兵衛(増上寺表門前), 京 山岡四郎兵衛  
(二條通御幸町西江入町)  
※各巻の内題と序題は「北國全太平記」, 柱書に  
は「續北國」とある。  
4—41サ68 大惣番号札剥落 1円50銭

32303 <sup>フサウギシンデン</sup> 扶桑義臣傳 □・一～(十四)  
半2帙15冊  
片島深淵子武矩著, 穂積已貫序, 平住氏序, 藤□序<sup>(1719)</sup>  
享保4序(いずれも)  
書肆不明  
※各冊内題は「赤城義臣傳」。32308と同文異版で,  
32308には存する自序を欠く。  
5—61セ3 大惣番号札剥落 75銭

32304 <sup>ゾクセンキヨマサキ</sup> 續撰清正記 一～七 大1帙7冊  
古橋又玄著・自序 ※参照  
京 八文字屋清兵衛(東洞院五条上ル)  
※別名「清正記」。第7冊本文末に落丁あるか。  
序に「今茲寛文四乃曆までは」とあるが, 本文  
末に貞享3の記事がみえる。著者名は『国書総  
目録』による。本文中に書込み多し。第1冊表  
紙に「全七冊」の小札あり。  
5—62ソ1 て四百四拾六 1円

32305 <sup>ニホンヒヤクシヤウデンセウ</sup> 日本百將傳抄 壹～七 大1帙7冊  
向陽林子(鷲峯)著・自跋 明暦元跋, 寛文7刊<sup>(1655)</sup><sup>(1667)</sup>  
荒川宗長  
※柱書は「百將傳抄」。  
5—61=5 て四百三拾七 50銭

32306 <sup>ホンテウブケヒヤウリン</sup> 本朝武家評林 一～四十六・(系圖)  
壹～五 大5帙51冊  
廣長軒遠藤元閑敬休子著・自序 元禄13序・刊<sup>(1700)</sup>  
大坂 岡埜安兵衛  
※上記大惣番号の札は「系圖」第1冊表紙に存す  
る。「系圖」5冊の内題「本朝武家評林大系圖」,  
墨書題簽「<sup>系</sup>本朝武家評林」。  
5—63ホ2 て三百三番系圖共五拾壹冊 2円50銭

32307 <sup>ソウケンキ</sup> 總見記 卷一ノ二～卷廿一ノ廿二・  
卷廿三 半2帙12冊  
遠山信春著・自跋, 竹洞子序 貞享2跋, 同3序<sup>(1685)</sup><sup>(1686)</sup>  
写本  
※別名「織田軍記」「織田治世記」。甫庵「信長  
記」を取捨し, 併せて古老の所説を考証したも  
の。第1冊見返しに「口上/何方様も此本借テ  
御讀可被下候/大野屋惣八」, 第3冊見返し  
「此本外へかす事御断申候」など墨書。堀尾義  
晴に関する記事を記した紙をはさみ込んでいる。  
5—10ソ1 大惣番号札剥落 60銭

32308 <sup>セキジャウギシンデン</sup> 赤城義臣傳 序・一～十四 大1帙15冊  
片島深淵子武矩著・自序, 穂積已貫序, 平住氏序,  
藤□「後叙」(「序」冊末)<sup>(1718)</sup><sup>(1719)</sup>  
享保3自序, 同4序(已貫・平住)・「後叙」  
書肆不明  
※柱書「四十六臣傳」。原題簽は各冊とも剥落。  
32303参照。  
5—61セ2 て九百六拾全拾五 40銭

32309 <sup>シヤウモンキ</sup> 将門記 1冊  
廃棄 40銭

32310 <sup>ヘイケモノガタリ</sup> 平家物語 (一)～廿 大2帙20冊  
著者未詳  
写本  
※各冊題簽に「長門本」と記す。第1冊表紙破損。  
大惣の印なし。第1冊巻頭に「平家物語之事」  
と題して長門本が正本であることを述べた文あ  
り。

5—06へ2 大惣番号不明 7円50銭



— 和軍書類, 和軍写本 —

- 32311 ゾクワウダイイチラン 續王代式覽 一〜六・七八・九・  
 十一・十二 大1帙10冊  
 片山圓然著・自序 (1804) 文化元序  
 書肆不明  
 ※原題簽本文内題は「續日本王代一覽」。

5—11ソ5 て三百七拾番全部拾冊 30銭

- 32312 バンシヨウキンデンアナウノキ 萬松院殿穴太記 大1帙1冊  
 著者未詳 (1682) 寛文2刊  
 京 田中清左衛門(室町通鯉山町)  
 ※絵入り。柱書「穴太記」上・下2巻より成り、  
 原体裁は2冊か。原題簽下部に「上下巻」とあ  
 る。

5—09ア4 て五百貳拾毫 25銭

## 和 軍 写 本

- 32313 ツウゾク アサヒ ナカウライゲンダン 通俗 朝比奈高麗軍談 乾・坤  
 大1帙2冊

著者・成立年未詳

写本

※全10巻。

4—41サ42 大惣番号札原欠 30銭

- 32314 チュウシウゲンキ 中州軍記 第一冊・三之四〜七之八  
 半1帙4冊

著者未詳, 三条西實隆批語, 紹巴跋, 逸名序あり  
(1572) 元龜3跋

写本

※毛利家の伝。元龜3の「大僧正」の識語あり。

5—10チ1 大惣番号札剝落 25銭

- 32315 ケイチャウゲンキ 慶長軍記 一〜十四 大2帙14冊  
 植木悦(東林耕人)著・自序 (1668) 寛文8序

写本

※全28巻。2巻ずつ1冊とする。

4—41サ21 き百貳拾七番 75銭

- 32316 セキガハラカツセンシキ 關ヶ原合戦誌記 一二〜九十・  
 十一二三・十四五六・十七八・十九二十・

- 二十一・二十三・四・二十五・六・七 大12冊  
 峯賀高亮(孤鸞)著 (1687) 貞享4成

写本

※著者・成立年は『国書総目録』による。

8—28セ1 き百貳拾四全部拾式 1円

- 32317 ゲンボンタウゲンキ 元本鳥原記 一〜十 大10冊  
 野子著・自跋, 逸名序あり (1643) 寛永20跋

写本

※第4冊内題「元本山鳥記」, 第8・10冊内題  
 「山鳥記」。跋文中で本書を「天草物語」と称  
 する。

8—28ケ3 大惣番号札剝落 70銭

- 32318 ケイチャウゲンキ 慶長治乱記 乾・第二冊 大1帙2冊  
 井上重政著 成立年不明

写本

※彩色図入り。第2冊題簽は後補。乾冊題簽に  
 「○慶長軍記トハ異也」, 見返しに「此本慶長  
 軍記とハ違ひ申候」と書込みあり。乾冊表紙に  
 「□百四十七」の小札あり。全6巻。著者名は  
 『国書総目録』による。

5—11ケ3 き百四拾六全式 30銭

- 32319 ナニハセンキ 難波戦記 卷一〜卷五

特大(29.6×20.9cm) 1帙5冊

万年頼方・二階堂行憲著 (1672) 寛文12成?

写本

※著者名・成立年は『国書総目録』による。「津  
 陽坂口町小川屋」など蔵書印3種あり。

8—28ナ5 大惣番号札原欠か 50銭

- 32320 シユシヨナガク テカツセンキ ①首書長久手合戦記・

ビシウナガク テセンキ ②尾州長久手戦記 大2冊を合綴1冊

①著者・成立年未詳

写本

※上記書名は合綴の表紙の打ちつけ書による。本  
 文内題「長久手記」。

②「根岸直利編 木村高敦校正」

写本

※末尾の本文に「丁亥ノ夏」とある。正保4成か。 (1647)

8—28シ5 き百五拾四番 30銭

一 和 軍 写 本 一

セキ ガ ハラカツセンホンデンニツ キ  
32321 関ヶ原合戦本傳日記 大1冊  
著者・成立年未詳  
写本

8—28セ7 き百貳拾五番 5銭

ナガクテキ  
32322 長久手記 大1帙1冊  
(1725)  
享保10写か  
写本

※巻頭内題「尾張州長久手記」。題籤、「手」を「乎」に誤る。

8—28ナ1 き百五拾三番 5銭

ミノシュゴキ  
32323 美濃守護記 大1帙1冊  
(1711)  
正徳元写  
写本

※扉と後補題籤では「美濃主護記」で、「主」を「守」に訂正。大惣番号も「き貳拾壹全」から下記のように訂正。奥書に「栗野大竜寺淳岩和尚之記也刪繁文而写之／園田安之家藏也」とある。

5—15ミ1 き貳拾貳全 10銭

ナニハセンキカキイレ  
32324 難波戦記書入 半1帙1冊  
著者未詳 成立年不明  
写本

※表紙に「□十一」の小札あり。

8—28ナ6 ゆ貳百七拾壹 20銭

ナガクテガンダンシヨ  
32325 長湫軍談書 半1帙1冊  
鈴木重方著 成立年不明  
写本

※巻末に「此本亡父鈴木重方長湫熟見有議論之後  
艸案埋久予爲清書猶彼地悉見ス／己亥如月書  
重武」と識語あり。本文に朱の書込みあり。

8—28ナ3 ゆ貳百五拾貳番 20銭

ミカタガラジツキ  
32326 味方原實記 半1帙1冊  
著者未詳  
写本

※表紙に「□十八」の小札あり。

8—28ミ1 ゆ貳百五拾六全 10銭

セキガハラキ  
32327 関箇原記 半1冊  
(1607) (1786)  
著者未詳 慶長12奥書、天明6写

写本

8—28セ3 ゆ貳百六拾三全 20銭

ケイチャウゲンキ  
32328 慶長軍記 壹〜三 半3冊  
(1668)  
植木悦（東林耕人）著 寛文8序

写本

※著者名・序の年は『国書総目録』による。但し  
本書には序を欠く。

8—28ケ1 大惣番号札原欠か 40銭

サイゴクタイヘイキ  
32329 西國太平記 半1帙1冊  
馬場信意著

写本

※全5巻。上記著者名は『国書総目録』による。  
各巻末と第1巻半ばに旧蔵者印あり。各巻内題  
と序題は「西國七將軍記」。表紙に「□四」  
の小札あり。

4—41サ25 ゆ百八拾五番 10銭

トキサイトウリヤクゲンキ  
32330 土岐斎藤畧軍記 半1帙1冊  
著者未詳

写本

※朱の書込みあり。内題は「美濃國土岐斎藤畧軍  
記」。

5—11ト1 ゆ百七拾六番全巻 20銭

チンゼイゴダゲンキ  
32331 鎮西御軍記 一〜十七 半2帙17冊  
著者未詳

写本

※全35巻。第1冊から第16冊までは各冊に2巻ず  
つ、第17冊には三十三・三十四・三十五の3巻  
を収めている。各巻内題は「豊臣鎮西御軍記」。  
第1冊表紙に「薩摩征伐」の小札あり。

4—41サ62 ゆ百貳拾番① 1円

セキガハラキタイゼン  
32332 関原記大全 一〜十六 半16冊  
(1690)  
宮腰秀興著・自序 元禄3序

写本

※巻之巻・貳各1冊、巻之三以降巻之三十まで、  
各2巻を1冊に収める。序に羽林忠勝が林道春  
・春斎・春徳と共に編した『関原始末記』をも  
とに、諸家の伝記を勘案して作したとする。第  
3冊初に書込みあり。

8—28セ2 大惣番号札剝落① 75銭

32333 ナガクテグンキ 長久手軍記 一〜七 半1帙7冊

著者・成立年未詳

写本

※内題「長久手始末記」。

8—28ナ2 ゆ式百五拾老全七冊 40銭

32334 エツガホンダワンジツツロク 越賀本願寺実録 一〜十五 半2帙15冊

著者未詳

写本

※第1冊のみは表紙改装。全10巻。各巻内題はすべて「越賀本願實記」。

5—10エ1 大惣番号不明 75銭

32335 サトミグンキ 里見軍記 壹・貳・三四・五六・七〜十五 半2帙13冊

著者未詳

写本

※落書多数あり。

4—41サ27 ゆ百三拾貳全拾三冊 55銭

32336 コゴン 古 今 武家盛衰記 上〜上十五・二一〜二十五 半4帙30冊

著者・成立年未詳

写本

※全30巻。第二部の第1冊から第15冊に巻之十六〜巻之三十を配す。それらの題簽「武家盛衰記」。罫線入り半紙を使用。冊により落書あり。第1冊の表紙破損。

5—11コ2 大惣番号不明 1円

32337 イシヤマグンカン 石山軍鑑 一〜十五 半15冊

立甘軒著・自序、逸名序あり

天保3写

写本

※全30巻。巻之一「親鸞聖人御系圖」。『国書総目録』によれば明和8自序。書写者「七十一翁」の奥書あり。大野屋の半紙を使用。

8—28イ1 ゆ百〇拾番〇 60銭

32338 アサクラシマツキ 朝倉始末記 壹〜八 大1帙8冊

著者・成立年未詳、自序あり

写本

5—10ア1 大惣番号札剝落 75銭

32339 ヒヤウグンキ 肥陽軍記 一〜六 大1帙6冊

著者・成立年未詳

写本

※總目録・巻之一の内題下に「一名龍造記」とある。

5—15ヒ3 て五百五拾八全六 1円

32340 モウリケノキ 毛利家之記 特大(28.4×20.5cm) 1帙1冊

著者・成立年未詳

写本

※表紙に「□百十五」の小札あり。朱の書込みあり。系図および巻一・二より成る。

5—61モ2 て五百六拾五全 30銭

32341 イガランキ 伊賀乱記 上・中・下 特大(29.1×20.6cm) 1帙3冊

著者未詳、逸名序あり、岡田氏奥書 享保10写

写本(持主岡田氏写)

※全5巻。各巻内題「伊乱記」。朱の書込みあり。

5—15イ1 て五百六拾貳全三 60銭

32342 モガミグンキ 最上軍記 一〜五 大1帙5冊

著者未詳・自跋あり、逸名序あり 天和3奥書

写本

※天和3の書写奥書は本書を「最上義光軍記」と称する。また本書は『国書総目録』には「最上義光物語」として出る。第1冊見返しに近江屋新兵衛による『増補都年中参詣記』の広告の刷り物を貼付。各冊第1丁に「西六条／佛具屋町通／魚店下ル町／和泉屋」の印あり。

5—15モ1 て五百六拾老全五 40銭

32343 コクカチランバツエウセウ 國家治乱拔要抄 一〜四 大1帙4冊

著者・成立年未詳

写本

※「將心治国之法」「野戦」「難戦之類」などより成る。軍記類より評を抄したもの。朱の書込みあり。各冊末に「徳」の印あり。第1・2冊末に遊白多し。

8—21コ5 て百貳拾三番 75銭

32344 コウカイダイトウキ 弘開大統記 第一巻〜第十五巻 大2帙15冊

下西城不欺子著・自序，世醉閑人岸竜顯子序  
(1680)  
延宝8自序・序

写本

※自序に「采天文年中以來所出諸家軍評軍鑑而，  
揖之號弘開大統記」という。

5—11コ4 大惣番号札剝落 75銭

32345 <sup>ホンテウセイスイ キ</sup> 本朝盛衰記 初編一〜拾六・貳編(一)〜  
拾五・三編(一)〜(拾五)・四編(一)〜拾五  
・五編(一)〜拾五 半10帙76冊

著者未詳 (※参照)，逸名序あり (五編第1冊)

成立年不明

写本

※上記書名に角書あり，初編のみ「泰平真撰／難  
波秘録」，貳編〜五編「大坂／御陣」。大惣番号  
は，貳編「ゆ式百七番／貳編拾五冊」，三編は  
番号札剝落，四編「ゆ式百九番／四編拾五冊」，  
五編「ゆ式百拾番／五編拾五冊」。各編30巻か  
ら成り，1冊につき2巻を収めるが，初編は第  
1冊・第2冊ともに巻一および巻二をおさめる。  
(但し内容異なる。)初篇第1冊巻一「真田左衛  
門佐系圖」の注は「浪華隠士／和 雲龍軒著」，  
第1冊巻二序に評あって「虎猛勇軒著」，同冊  
同巻「真田謀計秘傳の評説」は「東都柳橋 明  
徳斎」。第2冊巻末15丁は彩色人物画に伝を  
附す。内題は初篇第1〜6冊「本朝盛衰記大全」。  
初編第1冊のみ朱書・白墨で誤を訂する。近世  
初期の雑史。大野屋の半紙を使用。

4—41サ70

ゆ式百六番初編拾六冊 (貳編以降※参照) 2円65銭

## 兵 書

32346 <sup>ワタナベカン ベ エブヘンオボエガキ</sup> 渡邊勘兵衛武邊覚書 大1帙1冊

渡邊勘兵衛著

成立年未詳

写本

※頭部に書込みあり。

5—63ワ1 て六百八拾九全 10銭

32347 <sup>ムシヤモノガタリ</sup> 武者物語 上・中・下 大1帙3冊

松田一樂入道秀任著

(1654) (1656) 承応3奥書，明暦2刊

京 荒木利兵衛 (寺町通)

※下冊に「軍歌」を附す。奥書に，古き侍の物語  
から名将名士の噂を書きとめ本書を成した由を  
述べる。画図入り。

8—21ム2 て六百六拾貳 50銭

32348 <sup>エウカンセウ ツ シキ</sup> 要鑑抄圖式 半1帙1冊  
津田高州図 (1773) 安永2奥書

写本

※題簽に「曼倩先生記」と記す。奥書に「右要鑑  
抄拝聞之圖，修練の為記置もの也」(原漢文)  
とある。武具・城壁等の図を集めた書。

8—22ヨ1 て百三拾壹全 5銭

32349 <sup>ヘイハフアウ ギ セフケイ・シンジュブツアウ ギ セフケイ</sup> 兵法奥義捷徑・神儒佛奥義捷徑  
半1帙2冊を合綴1冊

松田兵部平幸照著・自序

(1820) 文政3刊

蜷川乗雲斎藏

※前者を「乾之巻」，後者を「坤之巻」とする。

8—21ヘ1 た七百五拾五全貳 20銭

32350 <sup>ヘイハフ トウカシフ</sup> 兵法 登假集 大1帙1冊

寺田市右衛門正浄著・自跋，春溪村道格玄微序

(1729) 享保14序

写本

※表紙に「□百三十九」の小札あり。

8—71ヘ4 て百三拾七全 5銭

32351 <sup>ヘイハフモンダフ</sup> 兵法問答 大1帙1冊  
著者未詳 (1666) 明暦2刊

中野是誰

※巻末内題および題簽下部に「古戦問答」とある。

題簽には更に「写本とは違ひ申候」とある。表

紙に，内容の合戦の名を記した札と「兵」(朱)

の小札あり。

8—21ヘ2 て八拾八全 10銭

32352 <sup>タウリウグンバフコウシヤショ・タウリウグンバフコウ</sup> ①當流軍法功者書・②當流軍法功  
<sup>シヤシヨウマノリ タツナヒ ショ・グンバフ バシヨ</sup> 者書馬乗手經秘書・③軍法馬書

<sup>メイイツクワンシヨ</sup> 明一卷書

大1帙1冊

①小笠原昨雲勝三著・自跋，逸名序あり，②沙弥興  
元相伝奥書 (応永17，文亀4)，③出羽國山上入道

著

(1649)  
①慶安2刊

①京 林長右衛門（寺町通）

※墨書後補題簽「當流 武士道功者書」。①は巻之上・下より成り、全235条。「群書／要語」を「採取」したもの。③巻末内題「軍法馬書」。②③図入り。

8—21ト2 大惣番号札剝落 10銭

チクリン  
32353 竹林（一）～四

大1帙4冊  
(1778)  
安永7写か

著者未詳

写本

※上記書名は帙に与えられたもの。第1・2冊の題簽剝落、それぞれの内題「當願衆生之弁」「歌知射之事」。第3冊題簽「箴中王卷之弁」、第4冊題簽「箴父母卷之弁」。弓術書。

8—71チ1 て百貳拾叁共四 20銭

クスノキマサシゲイツクワンノシヨ  
32354 楠正成一卷書

大1帙1冊

著者未詳

書肆・刊年不明

8—21ク2 て八拾三番 10銭

オホツボリウ バ ハウバツロクセウ  
32355 大坪流馬方援擁抄

大1帙1冊  
(1670)  
寛文10奥書

写本

※大坪流馬術。

8—71オ1 て百三拾五 10銭

ケウ ジツ フ ゴ ケン ・ コウ ミヤウ  
32356 ①教示十五件・②功名

大2冊を合綴1冊  
(1766)  
明和3序

①二本松右仲著、義元序

②著者・成立年未詳

写本

※表紙に「三百三十七番」の小札あり。①巻頭に「始當所御城主肥州唐津江 御所替／此書ハ水野家御年寄二本松右仲殿／御臨居梅邑山海郎ト御変名／御家督御養子江 御教訓書也」と書込みあり。

1—84キ3 て百三拾六 10銭

ヘイダウ キ  
32357 兵道記

大1帙1冊  
(1674)  
延宝2成

明石三郎兵衛尉著

写本

※内題「兵導記」。大惣番号を記した札に「此兵

道記ハ不動智とハ達候」と墨書。

8—71ヘ3 て百四拾四番 10銭

グンバフノマキコウカウオボエガキ  
32358 軍法之巻口講覚書

半1帙1冊  
(1726)  
享保11奥書

中尾久右衛門伝授、逸名の奥書あり

写本

※内題「軍法之巻釈覚書」。本書の内容は「小幡流軍之初門」で、伝授者中尾は神谷久左衛門法名存心の高弟（奥書による）。

8—21ク6 大惣番号札原欠か 5銭

タン キ ヒ カ フ コ デン  
32359 単騎被甲古傳

半1帙1冊  
(1737)  
元文2写

著者未詳

写本（土源写）

※冒頭に「當家鑑温奥之巻」の一文を附す。図入り。

8—22タ2 た八百三拾八全 5銭

クンモウ シン グ フ セウ  
32360 訓蒙士業鈔

一・二・三上・三下・  
四～八 半1帙8冊

多々良真任著・自序、松岡文雄序、林通好跋

(1732) (1735) (1736)  
享保17自序、同20序、元文元跋

「起龍堂藏版」

※第7冊末尾に「阿川新介編述書取次／江府日本橋南一丁目升屋五郎右衛門／洛陽寺町通二条下所栗山弥兵衛」の書込みあり。図入り。

8—21ク9 大惣番号札剝落 35銭

カフヤウグンカンケツエウホン  
32361 甲陽軍鑑結要本

一～九 大1帙9冊  
(1661)  
寛文元刊

小幡景憲著か

江戸 本屋善右衛門（新両替町二丁目）

※各冊内題「甲陽軍鑑末書結要本」。朱の書込みあり。著者名は『国書総目録』による。

8—21コ9 て拾四番 40銭

ビ ジン サウ  
32362 美人草 上・下

大2冊

多賀高忠著、逸名の奥書あり

(1464) (1780)  
寛正5奥書、安永9刊

京 循古堂

※内題によれば別名「美人雜」「就弓馬儀大概聞書」。全225条より成る。各冊末に「□木氏記」朱印あり。

8—71ヒ1 て七拾壹全式 25銭

32363 <sup>ブグコデン</sup> 武具故傳 大1帙1冊  
真野安代著・自序・自跋, 男安道校, 山本正圭跋  
(1752) (1791)  
宝暦2自跋, 寛政3跋

書肆不明

※記紀, 續日本紀, 三代実録などにみえる武具の故実を抜粋したもの。表紙に「 四百七」の小札あり。

8—22フ3 て八拾六番 20銭

32364 <sup>グンバフゴクヒデンシヨ</sup> 軍法極秘傳書 一〜七 大1帙7冊  
竹中半兵衛著・自序・奥書, 竹中久作奥書  
(1649)  
慶安2刊

京 西村又左衛門(寺町誓願寺前)

※第1冊表紙に「竹中半兵衛軍法之書」と記された小札あり。第3冊の内容は図のみ。

8—21ク5 て三拾七全七 50銭

32365 <sup>ハチデンツセツ</sup> 八陣圖説 乾・坤 大1帙2冊  
山脇重頭著, 洛編戸見素序 (1667)  
寛文7序  
大和屋伊兵衛

※図入り。各冊初丁に「嘯松堂」の朱印あり。

8—21ハ2 て六拾八全式 25銭

32366 <sup>コセントクシツロン</sup> 古戦得失論 一〜三 半3冊を合綴1冊  
(1701)  
元禄14刊

森則房著

江戸 万屋清兵衛(日本橋万町)

※奥書「右箇書は余部七冊余あり。然れ共先是を分て三冊開板し侍る。此次は近々さし出すべきもの也。」とある。第2・3冊の墨書題簽は「<sup>軍選</sup>古戦録」。第1冊冒頭2丁の目録および第2冊末の本文5丁は筆写による補訂。第1冊の見返しに「合戦評論/古戦得失論續編也」と書込みあり。『合戦評論』は元禄16刊。  
(1703)

8—28コ2 大惣番号札剝落 15銭

32367 <sup>ブダウ</sup> 武<sup>ゲイジユツフタバハジメ</sup> 道藝術二葉始 上・下 半1帙2冊を合綴1冊  
(1756)  
宝暦6刊  
古萱軒緑水著・自序

江戸 須原屋茂兵衛

※絵入り。

8—71フ2 大惣番号札剝落 20銭

32368 <sup>ユウカンセウ</sup> 雄鑑抄 一〜廿六 特大(28.5×19.7cm) 3帙26冊  
(1645)  
北条氏長著・奥書 正保2成

写本

※内題「兵法雄鑑」。全52巻。この外に、「微妙至善」2巻あるも「兵法之秘事成故不顕之」と奥書にいう。図入り。

8—21へ5 て百〇六番 75銭

32369 <sup>カツセンカウミヤウキ</sup> 合戦高名記 一〜六 半6冊を合綴1冊  
(1713)  
白龍子神田勝久著・自序 正徳3刊

江戸 赤井又三郎(長谷川町)

※原題簽角書「新板/評林」。第1冊初丁オモテに「黄書」印あり。6冊を表紙ごと合綴。

8—21カ4 大惣番号原欠か 60銭

32370 <sup>ソンシクワンレイ</sup> 孫子管蠡 一〜七 大1帙7冊  
(1720)  
碎玉軒佐枝尹重「集注批評」・自序(享保5), 竹軒木寅亮序(同14), 東海神逸原資序(同9), 杉島氏成跋(同6)  
(1729) (1724) (1721)

写本

※竹軒の序題「管蠡抄ノ序」。

8—21ソ4 て百拾三全七 40銭

32371 <sup>シチシヨ</sup> 七書 孫子・呉子・司馬法・尉繚子・六韜  
・三略・大宗問答(一〜七) 大1帙7冊  
(1659)  
同那口伯虎序 万治2刊

野田弥兵衛尉

※「呉子」「大宗問答」冊は墨書後補題簽。「大宗問答」内題は「唐太宗李衛公問對」。

8—21シ1 大惣番号札剝落 30銭

32372 <sup>クスノキケゼンシヨ</sup> 楠家全書 一〜八 半2帙8冊  
關武隠士種田氏隨柳軒吉豊著・自序  
(1669) (1683)  
寛文9序, 天和3刊

田中勝兵衛

※第1冊見返しに「楠二代記」と書込みあり。同冊初丁に「本山田」朱印あり。

8—21ナ1 大惣番号不明 40銭

32373 <sup>ヘイジユツエウクン</sup> 兵術要訓 乾・坤 大1帙2冊  
安建正寛著・自序, 剛斎山口景德跋

(1786) (1790)  
天明6跋, 寛政2序・刊  
玉英館藏板, 江戸 野田七兵衛(日本橋通二町目), 大坂 渋川清右衛門(心齋橋順慶町), 京  
野田藤八(二条通富小路西江入町)  
※乾冊表紙に「□三十一」の小札あり。  
8—71ハ2 て六拾貳全貳 10銭

32374 カフヤウダンカンマツシヨシフ カ デウ  
甲陽軍鑑末書集簡條 (一)〜三・  
カフヤウダンカンマツシヨシフ  
甲陽軍鑑末書下巻 四〜八  
大1帙8冊

著者・成立年未詳  
写本  
※「末書集簡條」は19条より成り, 第1冊は後補  
題簽には「完」とあるが第5条まで。第2・3  
冊はそれぞれ「第自六品至十二品」「第自十三  
品至十九品」。「末書下巻」はうち3冊が上でそ  
れぞれ「九品ノ内一二三」「九品ノ内四五六」  
「九品ノ内七八九」, 2冊が中で「九品ノ内四  
五六七」「九品の内八九」(題簽への書込みによ  
る)。旧蔵者朱印あり。  
8—21コ11 大惣番号札剝落 30銭

32375 フ ガクケイモウシヨロク  
武學啓蒙 初録 半1冊  
越前力丸彈正之光(東山)著・自序(享和元), 藤原  
(1806) (1801)  
則徳序(文化3), 近江 紀信豪序(文化元), 男力丸  
(1804) (1802)  
靖大吉郎跋(享和2), 門人吉川常跋(享和元)  
(1809)  
文化6刊

京 額田正三郎・葛西一郎兵衛  
※巻末に「寓京 力丸彈正著」とある。「平安白  
山街力丸氏青松塾蔵書畧目」あり。「男増大吉  
郎」の「土家心得」を末尾に附す。  
1—84フ3 た四百六拾三番 5銭

32376 セウユウダイユウ・デンテユウザツシフキ  
小勇大勇・陣中雜集記  
半1帙2冊を合綴1冊

著者・成立年未詳  
写本  
※上記書名は題簽による。前者の本文は「小勇之  
巻」「大勇之巻」から成る。そのそれぞれに  
「目録之序」があるが, 逸名。後者の内題「陣  
中雜集録」。  
8—21シ6 た八百四拾六 5銭

32377 デンバフ ク デン ノ シヨ  
軍法口傳之書 半1帙1冊  
著者・成立年未詳  
写本  
※内題・小口に「甲陽軍鑑」とある。同書に関す  
る口伝の集。  
8—21ク4 た八百三拾六 5銭

32378 クスノキゲダンガクノシヨ  
楠家軍学之書 上・下 半1帙2冊  
源光直著  
写本  
※上冊は「初學城取巻」4巻, 下冊は「初學兵亂之巻」  
「初學地形巻」「初學足輕巻」「初學軍制巻」。下冊内題  
「楠家軍學秘書」。  
8—21ク1 た八百貳拾四全貳 5銭

32379 バンクワロク  
萬花録 (一)〜七 半2帙7冊  
著者未詳  
写本  
※第2冊以下の各冊表紙に, 内容の項目を記した  
紙を貼付。第1冊表紙には「野全七巻」と打ち  
つけ書。寛永〜享保頃の「談話」の聞書集。  
4—47ハ2 大惣番号札剝落 4円40銭

32380 オホツボリウホンセイキンキキガキ  
大坪流本政院聞書 半1帙1冊  
著者・成立年未詳  
写本  
※馬術書。  
8—71オ2 た八百四拾老 15銭

## 料 理 書

32381(1) トウフヒヤクテン  
豆腐百珍 縦長(22.1×12.5cm) 1冊  
醒狂道人何必醇著, 曹鼎子九氏序  
(1781) (1782)  
天明元序, 同2刊  
江戸 山崎金兵衛(通本石町十軒店), 京 西  
村市郎右衛門(堀川錦小路上町)・中川藤四郎  
(堀川六角下町), 大坂 藤屋善七(高麗橋壹  
町目)  
※絵入り。続編は(2)参照。見返しに朱で「三百十  
二号/二冊(大惣印)」とある。

— 料理書, 往来書 —

9-69ト1 大惣番号札剝落か (2)共50銭

9-69ホ1 や千十番 20銭

豆腐百珍續篇

縦長 (21.9×13.0cm) 1帙1冊

醒狂道人何必醒 (二斗庵下物) 著・自序 天明3刊

江戸 西村源六 (通本町三丁目)・山崎金兵衛  
(本石町十軒店), 京 西村市郎右衛門 (堀川  
錦小路上町)・中川藤四郎 (堀川六角下町),  
大坂 北尾善七 (高麗橋壺町目)

9-69ト1 ち八百貳番

イモヒヤクチン  
いも百珍

1冊

所在不明

9-69イ1 20銭

鯛百珍料理秘密箱

乾・坤

半1帙2冊

景甫序

天明5序・刊

江戸 西村源六 (通本町三丁目), 大坂 柏原  
屋清右衛門 (心斎橋順慶町北へ入丁), 伊勢  
内神屋三四郎, 京 木村吉兵衛 (東洞院通二條  
上ル町)・中川藤四郎 (堀河通六角下町)・  
西村市郎右衛門 (堀河通錦小路上町)

※『江戸時代料理本集成資料篇』の解題によれば  
作者は器土堂主人。上册末に「養脾丸」下冊見  
返しに「<sup>しらか</sup>黒油」の広告札あり, 取次所大  
野屋嘉兵衛 (尾州名古屋本町七丁目)。

9-69タ1 ち八百三全式 50銭

献立集

横 (12.1×17.9cm) 1冊

山音亭著・自序

文化15序, 文政2刊

江戸 前川六左衛門 (新右衛門町), 大坂 松  
本平四郎 (高麗橋四丁目), 京 中川藤四郎  
(堀川六角下町)・中川新七 (同所)

※原題籤には角書「精進/料理」あり, 序題・目  
録題「精進献立集」。「中川文林堂」の書目2丁  
あり。

9-69シ1 ち八百三〇式 25銭

庖丁書録

大1帙1冊

林道春著

慶安5刊

「崑山館道可處士鍍板」

※表紙に「千貳十七」「柳」の小札あり。裏見返  
しに「安房坊」の書込みあり。

カセソノクミイト  
料理歌せんの組系

32386

横 (13.0×18.0cm) 1帙1冊

冷月庵 (谷水) 著・自序・自跋

(1747) (1748)  
延享4跋, 寛延元刊

江戸 出雲寺和泉掾 (日本橋通一丁目)

9-69リ1 ち八百三十巻 30銭

料理素人庖丁

1冊

所在不明

9-69小別 5銭

後篇  
名酒 手造酒法

中1冊

十返舎一九著・自序

文化10刊

江戸 鶴屋喜右衛門 (通油町)・西村源六 (本  
石町二丁目)・島村平藏 (通油町)・村田屋治  
郎兵衛 (同所)・小川與右衛門 (本所花町)

※序題の角書は「手製集/後編」。巻末に, 十返  
舎一九撰『<sup>餅菓子</sup>手製集』の広告あり。絵入り。

8-06テ1 ち八百式十五〇 15銭

往 来 書

四民往来 土上・土下・農・工・商

32389

半1帙5冊

網錦齋中村平五 (三近子) 著・自序・画

(1729)  
享保14序・刊

京 文臺屋治郎兵衛 (堀川通錦小路上町)・  
木村市郎兵衛 (同通高辻上ル町)・文臺屋源治  
郎

※原題籤に角書「万海/宝蔵」あり。

4-09シ1 よ四拾九全五 50銭

今川童蒙解 上・中・下

32390

半3冊

蕪菜軒狸臍著・自序, 垂竿釣夫跋

(1754) (1755)  
宝曆4序, 同5刊

江戸 松田治右衛門 (室町三丁目)・大坂屋平  
三郎 (同)



— 往来書, 大工書 —

※絵入り。中冊やや汚損。

1—84イ7 そ九百拾貳全三 25銭

32391 フジノワウライ 富士野往来 大1帙1冊  
置散子筆 延宝7刊

江戸 本屋三右衛門(通油町)

※『日本教科書体系』第4巻によれば正保4初刊。

4—09フ1 大惣番号不明 15銭

32392 シンパン 新板 四季仮名往来 上・中・下 大1帙3冊

置散人著, 置散人門弟松葉軒筆書・校・跋 延宝6跋

江戸 井筒屋三右衛門(通油町)

※『日本教科書大系』第6巻に翻刻の底本では、書肆名が「通油町吉田文三郎」になっている。上冊題簽脇に内容を紹介する小札らしきものの剥落跡あり。

4—09シ2 こ 50銭

32393 ブンクワシンコク 文化新刻 児讀古状揃講釋 大1帙1冊

高井伴寛思明(蘭山)編・自序 文化3序・刊  
江戸 前川六左衛門(日本橋新右衛門町)・花屋久次郎(東叡山下五条天神前)

※原題簽の書名両脇に「文句改正」「平假名附」とある。「本文九札目録」を記した脇題簽あり。巻末に出版広告あり。柱書「改正古状揃抄」。序題「正文古状揃」。口絵「浅草寺御境内略圖」あり。

4—09ヨ1 こ九百五拾七 5銭

32394 オイヘセイトウ 御家正統 書札文海 大1帙1冊

梅厓十時先生著, 風月堂主人序, 筆臨江跋 享和元刊

尾張 大觀堂・風月堂

※目録1丁半あるが小破損。37種の文例集。末尾に「亀井善之助」と書込みあり。

4—09シ4 大惣番号不明 20銭

32395 テイキンワウライセウ 庭訓往来抄 上・下 大1帙2冊

注者未詳・自序あり

書肆・刊年不明

※柱書「庭訓抄」。

4—09テ3 こ九百四拾全貳冊 20銭

32396 ドウモウシチシヨ 童蒙七書 大1帙1冊

星泉齋梅龍田井尚存著・自序, 海野行言跋, 小宮山昌世君延甫序 寛延元自序, 宝暦10序・跋, 同11刊  
星泉齋藏板, 江戸 前川六左衛門(日本橋南式町目)

※原題簽には角書「四民ノ必用」あり。脇題簽に「新板頭書」として目録をしるす。末尾に「天明三卯八月川村氏持主」と書込みあり。

1—51ト16 大惣番号札剥落 25銭

32397 カウキヤウドウジン 孝經童子訓 大1帙1冊

上河正揚著・自跋, 下河邊拾水書・画 安永9跋, 天明元刊

京 山本長兵衛(二条通麩屋町東へ入北側)・近江屋次郎吉(麩屋町通三条上ル二丁目)

※絵入り, 筆彩を施す。はじめの2丁小破損あり。

1—66コ104 大惣番号札剥落 30銭

32398 コマツナイダイジンケンウクンジャウ 小松内大臣教訓状 大1帙1冊  
治承3成, 寛永20刊

京 堤六左衛門(要法寺前町)

※後補墨書題簽には「小松殿教訓状」とある。表紙に「柳」の小札あり。

1—84コ5 大惣番号札剥落 10銭

32399 イマガハゲンカイ 今川諺解 大1帙1冊  
山岡元隣(昌陽軒)著・自跋 元禄2跋, 享保13刊

京 八幡屋四郎兵衛(寺町通御池上ル所)

※後補墨書題簽には「今川諺解大成」とある。落書多し。

1—84イ6 こ九百五拾六 15銭

大 工 書

32400 ソクセツセイゴ 俗説 匠家必用記 上・中・下 半1帙3冊

美作國津山立石定準著・自序, 鶴皋原益友諒甫序

— 大工書、伝授書 —

(1755) (1756)  
宝暦5自序，同6序・刊  
江戸 須原屋茂兵衛（日本橋通一丁目）  
※巻末に『神道湯津爪櫛』の広告あり。  
8—07シ1 そ五百七拾弍 40銭

伝 授 書

タイヘイタワウキ ヒヤツコウヒジュツ  
32401 太平 百工秘術 上・中・下  
廣記  
半1帙3冊を合綴1冊  
入江貞庵著，燕雀齋山郭序 享保8序，同9刊  
江戸 竹田藤助（南紺屋町）  
※巻尾の内題「百工秘術前編」。上冊「智工門」  
「器工門」，中冊「食工門」「女工門」，下冊  
「磁工門」「雑工門」より成る。図入り。3冊  
を表紙ごと合綴。  
8—85ヒ1 そ四百四十四 20銭

セハウタイセイ バンキンスギハヒブクロ  
32402 世寶 萬金産業袋 一之巻～  
大成  
（六之巻） 半1帙6冊  
三宅氏也來著・自跋，洛西兼山序  
享保17序，寛政12刊  
京 錢屋吉兵衛（寺町二条上ル），大坂 日野  
屋彦左衛門（北久太郎町心齋橋東）  
※第6冊末に「後編續編之略目録」及び「後編」  
予告あり。第6冊のみ表紙改裝。第1冊表紙に  
「□智術」の小札及び脇題簽剥落跡あり。  
8—59マ1 そ四百三十四〇 30銭

モロコシヒ ジ ノ ウミ  
32403 唐土秘事の海 日・月  
半1帙2冊を合綴1冊  
多賀谷環中仙著・自序  
大坂 和泉屋卯兵衛（心齋橋北詰）  
※2冊を表紙のまま合綴。第1冊は丁附に従えば  
落丁多数。『国書総目録』によれば享保18刊。  
見返しなどに落書多し。  
8—85ト1 そ四百九十三全弍冊 10銭

イ ロ ハデンジュ  
32404 以呂波傳授 上・下 半1帙2冊  
武陵書林宣揚堂主人序 (1757)  
宝暦7序・刊

江戸 竹川藤兵衛・大坂屋平三郎  
※序に著者不明という。  
4—65イ1 よ百拾弍番全弍冊 20銭

テンジュツ サンゲブクロ  
32405 珍 さんげ袋 上・下  
半1帙2冊を合綴1冊  
環中仙い三著・自序 刊年不明  
京 含靈軒（著屋傳兵衛）  
※座敷芸を集めた書。絵入り。下巻末に「含靈軒  
藏板目録」あり。落書き夥し。  
8—85サ1 そ四百九十卷全弍冊 30銭

メウジュツハクブツセン  
32406 妙術博物筌 ㊦～㊧ 半1帙7冊  
著者未詳  
書肆・刊年不明  
※絵入り。「錦囊萬代寶鑑」「神変仙術錦囊秘卷」  
「秘事指南車」「秘事思案袋」「智恵枕」「鎮火  
用心車」の6部を集めた書。㊦はいろは引きの  
索引の「目録」。㊦～㊧に通しの丁附を与え原  
題簽に丁数の従・至を記している。  
8—85ミ1 そ四百三十弍全七 50銭

キンノウチジュツゼンシヨ  
32407 錦囊智術全書 ㊨～㊩ 半1帙7冊  
著者未詳 (1788)  
天明8刊  
大坂 吉文字屋市兵衛（心齋橋南四丁目）  
※第1冊は節用集式の索引の「目録」。第2冊は  
「百工秘術前篇」，第3・4冊は「拾玉統智恵  
海」（柱書は「統智恵海」），第5冊は「拾玉新  
智恵海」（柱書は「新智恵海」），第6・7冊は  
「増補拾玉智恵海」（柱書は「智恵海」）。第2  
～7冊に通しの丁附を与え，墨書題簽に丁数の  
従・至を記している。各冊見返しなどに出版広  
告多数。  
8—85キ1 そ四百三拾卷 50銭

ワコク チエクラベ  
32408 和 國智恵較 上・下 半2冊  
環中仙著・自序 (1727)  
享保12刊  
京 ひしや治兵衛（寺町松原上ル西側北より）  
※絵入り。上冊表紙に大惣番号札以下に何かの番  
号を記した札あり。序題「和國智恵角方」。  
8—64ワ1 そ四百九十弍全弍冊 10銭

ワカンネンデユウ  
和漢 シュ ジ ヒ エウ  
82409 年中 修事秘要 半1帙1冊  
大江文坡(匡弼)著・自序, 豊臣秀時跋  
(1782)  
天明2序・刊

京 吉野屋為八(寺町通五条上ル丁)  
※早稲田大の大惣本目録には「一名仙術不老伝」  
とある。絵入り。

8—86ワ1 そ五百八十式 15銭

オンヤウ ジ テウホフ キ  
82410 陰陽師調法記  
横(10.8×16.5cm) 1帙1冊  
(1701)  
元禄14刊

京 書林米川森岡貞久(四條上ル式町目堀川)  
※諸種のまじない125種を収めた書。(但し目録に  
は132種あり。)逸名序あり。後補墨書題簽には  
「續咒咀調法記」, 別紙に「一名陰陽師調法記」  
と記す。『国書総目録』は森岡貞久を著者とす  
る。絵入り。

8—85イ1 へ百五拾四番全 5銭

## 算 術 書

テンゲンイチヒヤクカウ  
32411 天元一百好 乾・坤 半2冊  
(1826)  
西尾喜宣著 文政9写

写本

※奥書に「文政九年戊八月写之勝川□□持」とあ  
る。図入り。旧蔵者印あり。

6—41テ1 大惣番号札剝落 10銭

シンセンテイセイ  
新撰 サンパフケイ コ ツ エ  
32412 訂正 算法替古圖會 半1帙1冊  
(1831)  
摂府曉鐘成著・図 天保2刊

「浪華 耕耘堂／玉淵堂／石倉堂合梓」(見返  
し), 京 吉野屋仁兵衛・伏見屋半三郎・山城  
屋佐兵衛, 江戸 小林新兵衛, 丁子屋平兵衛,  
名古屋 永楽屋東四郎・松屋善兵衛, 堺 住吉  
屋彌三郎, 大坂 檜皮屋友七・河内屋源七郎・  
河内屋喜兵衛

※図入り。見返し内題および原題簽に「百家通用  
直指便蒙」とある。脇題簽あるが磨滅。

6—41サ1 そ四百六十八 10銭

ヒ デンサンシヨ  
32413 秘傳算書 半1帙1冊  
著者未詳  
写本  
※図入り。

6—41ヒ2 大惣番号札剝落 10銭

キ ク ゲンバフチャウケンツハフ  
32414 規矩元法町間圖法 式・貳・参・三  
・伍 半1帙5冊

著者未詳

写本

※図入り。上記書名は第1冊の題簽による。第2  
冊題簽は「表傳口義」, 第3～5冊題簽は「別  
傳口義一(～三)」。

6—41キ1 そ四百七拾五共五冊 25銭

サンバフトクカウロク  
32415 算法得幸録 (前編)上・下 半1帙2冊  
(1773)  
岸通昌著・自序 安永2刊

「和州南都岸與三右衛門通昌蔵版」, 名古屋  
風月孫助(本町老丁目), 江戸 前川六左衛門  
(日本橋南へ三丁目), 大坂 和泉屋卯兵衛  
(心齋橋北詰), 京 菊屋七郎兵衛(寺町通松  
原上ル丁)・菊屋安兵衛(寺町通三条上ル丁)

※図・挿絵入り。

6—41サ4 そ四百七拾五全貳冊 10銭

リクブンエンキ  
六分 リヤウチ テ ビキグサ  
32416 圖器 量地手引草 半1冊

(1853)  
津藩村田佐十郎恒光著, 土井格序 嘉永6序・刊  
大坂 河内屋茂兵衛(心齋橋博勞町)・河内屋  
喜兵衛(心齋橋北久太郎町), 江戸 須原屋茂  
兵衛(日本橋通壹町目)・同伊八(浅草茅町)  
・同佐助(日本橋通四丁目)・岡田屋嘉七(芝  
神明前)・小林屋新兵衛(日本橋通二町目)・  
英屋大助(本石町十軒店)・山城屋佐兵衛(日  
本橋通二町目)・山城屋政吉(南傳馬町壹町目)  
※図入り。見返しには「學而堂梓」とある。

8—09リ1 大惣番号不明 5銭

ギョクセキツウカウ  
32417 玉積通考 上・中・下 半1帙3冊  
蘭曉(伯一)著・自序, 峠谷良跋  
(1795) (1798)  
寛政7序・跋, 同10刊

名古屋 三星屋藤助(本町五丁目)

※柱書は「玉積考上(中・下)」。

6—41キ2 そ四百七拾五全三冊 25銭

- 32418 <sup>セイエウサンバフ</sup> 精要算法 <sup>(1779)</sup> 上・中・下 半1帙3冊  
藤田定資著・自序(安永8), 安嶋直圓訂・跋(同),  
田中一貫夫序(同), 林信有序(同9) 天明元刊  
京 植村藤右衛門(堀川通高辻上ル町), 大坂  
浅野彌兵衛(高麗橋壱丁目), 江戸 植村善  
六(通石町十軒店)  
※巻末に山崎金兵衛(本石町十軒店)の目録あり。  
図入り。

6—41セ1 そ四百六拾五番 25銭

- 32419 <sup>セキリウ</sup> 關 <sup>ヒカイセイサンバフ</sup> 流 非改精算添 半1帙1冊  
藍水神谷定令元卿著・自序, 安直圓序  
天明6自序・序, 同7刊  
江戸 山崎金兵衛(本石町十軒店), 大坂 河  
内屋喜兵衛(心斎橋北久太郎町), 京 天王寺  
屋市郎兵衛(寺町通五條上ル町)  
※朱の書込みあり。

6—41ヒ1 そ四百六十九 5銭

- 32420 <sup>チウサン シナン</sup> 籌算指南 半1冊  
千野乾弘著・自序 明和4序・刊  
江戸 吉文字屋治郎兵衛(日本橋通三丁目),  
大坂 藤屋弥兵衛(高麗橋壱丁目)・柏屋佐兵  
衛(心斎橋筋)・河内屋茂八(同)  
※6—41チ6に同版本あり。序に朱の書込みあり。  
6—41ト1 そ四百六拾六籌算 5銭

- 32421 <sup>シフギョク</sup> 拾 <sup>サンバフドウ ジモン</sup> 玉 算法童子問 首巻・一〜五 半1帙6冊  
村井中漸著・自序, 平千里跋  
安永10序, 天明3跋, 同4刊  
京 天王寺屋市郎兵衛(寺町通五條橋詰町西側)  
※図・挿絵入り。首巻題簽には小さく「日用算□  
(破損)」と刷られている。末尾に水玉堂(天王  
寺屋)の「曆算書目」1丁あり。  
6—41サ3 そ四百六拾式全六 40銭

- 32422 <sup>キウワサンケイ</sup> 九華算經 乾・坤 大1帙2冊  
北川孟虎文皮著 文化10写  
写本  
※図入り。内題「數書上(下)」。奥書に「此書二

本為子恭懇望書以授焉/文化十年癸酉冬十一月  
文皮(印)」とある。

6—41ス1 こ九百八拾五全貳冊 10銭

- 32423 <sup>チハウ</sup> 地 <sup>シンキンソクリヤウハフ</sup> 新器測量法 <sup>(1856)</sup> 上・下 大1帙2冊  
五十嵐篤好著, 成菴序(安政3), 逸名氏序(同),  
五十嵐豊生訂・跋(上冊, 同4), 高嶋正秋訂・跋  
(同3), 里木義輔跋(同4) 安政4刊  
「鳳吟堂藏梓」, 金沢 八尾屋喜兵衛(上堤町)  
・近岡屋太兵衛(上安江町)  
※図入り。下冊原題簽下部に「六位十分/八線表」  
と刷られている。下冊の内容は「八線真数表」  
(柱書)で, つまり三角関数表。巻末に「家翁  
著書表目」あり。

8—09シ1 大惣番号札剥落 10銭

- 32424 <sup>チ シンサンバフ</sup> 知新算法 大1冊  
北川孟虎著  
写本  
※図入り。朱の書込み・訂正あり。書写未了。内  
題は「知新算法巻」。

6—41チ1 大惣番号札剥落 10銭

- 32425 <sup>ブ ケサンジュウエウクン</sup> 武家算術要訓 大1帙1冊  
著者未詳 元禄元奥書  
写本  
※本文誤脱を貼紙によって補訂している。

6—41フ1 て百三拾九 10銭

- 32426 <sup>コ コンジブンライジュウ</sup> 古今事文類聚 ※参照 大100冊  
祝穆・富大用・祝淵編, 菊池東均校点・跋, 林羅山  
跋 寛文6刊

京 八尾勘兵衛友久  
※構成は, 前集21冊(目録2冊および60巻)・後  
集20冊(目録2冊および50巻)・續集13冊(目  
録1冊および28巻)・別集14冊(目録1冊およ  
び32巻)以上祝穆編, 外集8冊(目録1冊およ  
び15巻)・新集15冊(目録2冊および36巻)以  
上富大用編, 遺集9冊(目録1冊および15巻)  
以上祝淵編。内題に「重刻補遺古今事文類聚」  
「新編古今事文類聚」とある。

10—04コ2 大惣番号札剥落 13円

書 目

- 32427 ベンギシヨモクロク 辨疑書目録 仁・義・礼・智・信  
半1帙5冊  
(1709) (1710)  
中村富平著・自序 宝永6序, 同7刊  
京 中村孫兵衛(高辻通鷹金町)  
※冊次は原題簽へ書込まれている。内容は巻之上  
(3冊), 中・下(各1冊)よりなる。  
4—49へ1 そ八百四拾八全五 50銭
- 32428 ニホンシヨジャクカウ 日本書籍考 大1帙1冊  
(1667)  
向陽林子(林鶯峯)著 寛文7刊  
荒川宗長  
※表紙に「目」(朱)の札あり。舊事記・古事記  
から天正記・太閤記までの簡略な解説をします。  
4—49=2 や四百六十式 20銭
- 32429 ケイテンダイセツ 經典題説 1冊  
廃棄  
1—60ケ1 20銭
- 32430 ワハンシヨジャクカウ 倭板書籍考 上・下  
大1帙5冊を合綴2冊  
(1702)  
幸島宗意著 元禄15刊  
京 木村市郎兵衛  
※上册見返しに「巻次」一覧あり, 下冊にも「下  
巻目次」を写込んでいます。  
4—49フ1 や四百拾九 1円50銭
- 32431 シヨジャクモクロク 書籍目録  
横(13.2×19.2cm) 1帙1冊  
書肆・刊年不明  
※表紙破損。上記書名は帙に施されたもの。目録  
の丁の柱書には「書籍目録」とある。朱・墨の  
書込みあり。  
4—49シ7 大惣番号不明 20銭
- 32432 シンバンゾウホ シヨジャクモクロク 新板増補 書籍目録  
横(9.5×19.4cm) 1帙1冊  
刊年不明  
京 山田市郎兵衛(寺町通二條上ル町)

※裏見返しに「延寶七年未／正月求之／下平秀朝」  
と書込みあり。

4—49ソ2 へ百九十六 20銭

書 画

- 32433 ワカンケンパ 和漢研譜 一冊・二冊・三冊  
大1帙3冊  
石希聰唐父編・自序, 栗山柴邦彦序, 源元凱序  
(1795) (1797)  
寛政7自序, 同9序(栗山)・刊  
京 小川多左衛門・林伊兵衛・梅村宗五郎・西  
田莊兵衛・鶴鶴惣四郎・林喜兵衛  
※硯の図象。「研林」なる一文とその小引を附す。  
奥書右に「續和漢硯譜 嗣出」とある。  
8—42ワ1 こ式百三拾八全三 1円10銭
- 32434 ココンボクセキ 古今 カンテイベンラン 墨蹟 鑒定便覧 3冊  
所在不明  
8—42小別 30銭
- 32435 センテツボクセキカンテイベンラン 先哲墨蹟鑒定便覧  
所在不明  
8—42小別 25銭
- 32436 イガンサイカイヒン 怡顔齋介品 上・下 半1帙2冊  
松岡玄達(恕庵)著・自序, 甲賀敬元校  
(1740) (1758)  
元文5序, 宝暦8跋・刊  
京 野田彌兵衛(寺町通二條下ル町)・野田藤  
八(二條通富小路西江入町)  
※蟹・蝦・亀・貝の博物誌。もと附属図書館にあ  
ったときの配架番号は「6—21カ4(119と書込  
みあり)」。序・跋の題と柱書は「介品」。挿絵  
あり。  
薬学I6 そ九百六拾八全式 30銭
- 32437 セキインシフギ 石印集誼 上・下 半2冊  
芽州木母馨著, 曇齋道人序, 黄犢主人跋  
(1752) (1787)  
宝暦2序・跋, 天明7刊  
大坂 沢川清右衛門(心齋橋順慶町柏原屋)  
※図入り。第2冊原題簽は「石印集義」, 序題・

内題は「鐵筆集誼(義)」(上冊内題の用字は「鎮」)。上冊表紙に「方」六十一の小札あり。

8—45テ2 そ九百七拾九全式 30銭

クワンガヒヤクタン  
32438 觀鷺百譚 壹〜伍 大1帙5冊  
廣澤膝知慎著・自序・自跋

(1725) (1726) (1734)  
享保10序, 同11奥書, 同19跋

書肆不明

※書に関する和漢の故事100話をおさめる。『国書  
総目録』によれば享保20刊。

8—43カ4 や四百三十五 60銭

ベイアンボクダン  
32439 米菴墨談 卷一〜卷三 半1帙3冊  
市河米庵著, 佐藤坦序, 池桐孫序, 門人澤德基・島親長・尾惟徳校 (1812)

文化9序(いずれも)・刊  
※8—43へ2に同版本あり(第3冊重複, 続編共7冊)。各巻内題は「墨談」。

8—42ホ3 よ八拾貳全三 25銭

シヨウシウエンシヨダン  
32440 松秀園書談 上・中・下 大1帙3冊  
雪齋膝侯(正賢)著, 時賜跋 (1792)

(1793)  
寛政4識語, 同5跋・刊

江戸 須原屋善五郎, 名護屋 永樂屋東四郎

8—43シ8 や四百三十七 30銭

ホンテウメイコウボクホウ  
32441 本朝名公墨寶 上・中・下 大1帙3冊  
逸名跋あり (1645)  
正保2跋

写本

※板本からの写本。

8—43ホ3 や四百四拾五全三 30銭

ワカンインヅクシ  
32442 和漢印盡 上・中・下 中1帙3冊  
刊年不明

京 林久次郎(車屋町通夷川角)

※上巻のみ題籤改裝。序に落丁あり。『国書総目録』によれば万治2序の写本・版本がある。

(1659)  
8—44ワ1 大惣番号札剝落 50銭

インセイ フェツ  
32443 印正附説 大1冊

明秣陵甘陽旭著, 劉光君原校, 淡海竺常序 (1596) (1763)  
万曆24成, 宝曆13序・刊

(12年=1762)  
「宝曆壬午秋浪華木氏兼葭堂藏版」, 京 林伊

兵衛

8—45イ3 大惣番号札剝落 10銭

インバン ヒ ケツシフ  
32444 印判秘決集 大1帙1冊

野州佐野大聖密院 (1732)

享保17成(本文), 寛保3成(増補)・刊 (1743)

江戸 吉文字屋次良兵衛(日本橋南通三丁目)

※巻末に「増補印判秘決集」と, 吉文字屋市兵衛の「人家=求メ置テ重宝成書ノ目録」を附す。

見返しにも出版広告あり。

8—82イ1 や四百貳拾六 10銭

シンセンゾウホ  
32445 新増補 和漢書畫一覽 前・續 横(6.7×16.5cm)2冊

石文山人著, 谷壮太郎編輯, 南陔野叟序(續冊) (1881) (1883)  
明治14序, 同16刊

編輯人 東京府平民 谷壮太郎(神田區皆川町五番地), 出版人 大阪府平民 高橋平三郎(神田區今川小路一丁目三番地寄留), 發兌人 松田幸助(東京書林)

※本文巻頭内題, 前冊「増補和漢書畫一覽」, 續冊「新和漢書畫一覽」。

8—42小別 大惣番号札原欠㊦ 10銭

シンゾウ ワ カンシヨグワシフラン  
32446 新增和漢書畫集覽 横(7.0×16.3cm)1冊  
古筆了意作・自序 (1832) (1835)  
天保3序, 同6刊

「華木館藏」

※原題籤と巻頭内題は「新增」を角書とする。序題は「書画集覽」。脇題籤に「部類目次」あり。

8—42小別 ち千五百五全 10銭

ワ カンシヨグワシフラン  
32447 和漢書画集覽 1冊  
所在不明

ゾクシンセン ワ カンシヨグワシフラン  
32448 續新撰和漢書画一覽 横(6.6×16.2cm)1冊

文隆園主人著, 南陔野叟序

(1821) (1822)  
文政4序・凡例, 同5刊

「文隆園藏」, 名古屋 美濃屋市兵衛・藤屋惣助, 関 紅屋伊兵衛, 岐阜 藤屋久兵衛

※原題籤は「続書畫一覽」。巻頭内題「新和漢書

畫一覽」。

8—42小別 ち千五百三全 10銭

32449 <sup>ワ カンシヨグワ カインブ</sup> 和漢書畫家印譜

横(7.4×16.4cm) 1冊

駒村晴耳著・自序

刊年不明

「長生堂藏」

※原題簽「和漢書畫印譜」。序題「書画家印譜」。

目次題「和漢名家書画印譜」。巻頭の内題「名家書畫印譜」。目録を記した脇題簽あり。

8—42小別 ち千五百七全 13銭

## 神 道

32450 <sup>シンバン</sup> 新板 <sup>ジンギフキリヤウ</sup> 神祇服紀令

半1帙1冊

清原宣賢著

書肆・刊年不明

1—05シ35 大惣番号札剝落 10銭

32451 <sup>ワ テウモト ツ グサ</sup> 和朝本津草 天・地・人 半1帙3冊

人見英積著・自序, 増穂取仲(残口)序

(1728) 享保13自序・刊

京 岡本半七(五條橋通東洞院之角)・一富市郎兵衛(四條立賣), 江戸 小川彦九郎(日本橋二町目)

※上記書名は見返し内題による。原題簽は「繪入津草」。奥書左上に「續本津草追付板行」とある。天明表紙に「天」「口十六番」「全三」の小札あり。

1—05モ1 よ式百三十八全三 20銭

32452 <sup>ウザウムザウ</sup> 有像無像 <sup>ホコラサガシ</sup> 小社探 上・下

半1帙2冊を合綴1冊

似切斎残口著・自序

(1716) 享保元刊

書肆不明

※2冊を表紙とともに合綴。各冊原題簽に「繪入」とある。第1冊表紙「神」の小札あるが, その上に「天」の小札を重ねて貼付, 別に「神二十」の小札あり。

1—05ホ1 大惣番号札剝落 15銭

32453 <sup>シヨコク</sup> 諸國 <sup>ヌケマキリユメモノガタリ</sup> 拔參夢物語 半1帙1冊

是道子題著・自序, 無殘郎拔作跋, 一睡軒跋

(1771) 明和8序・跋(いずれも)・刊

京 菊屋安兵衛(寺町通三条上ル町北角)

※刊年左に『赤烏帽子都氣質』の広告あり。見返し内題右に「本神宮教訓問答」とある。同配架番号(別帙)に30730『拔參夢物語返答』3冊あり。巻末に菊屋の「板行目録」あり。

1—05ヌ1 よ式百七十五㊦ 10銭

32454 <sup>シンコク</sup> 神國 <sup>カマハラヒ</sup> 加魔祓 天・地・人 半1帙3冊

十寸穂取仲著・自序

(1718) 享保3刊

江戸 須原屋茂兵衛(日本橋通一町目)

※奥書右に書肆の広告あり。各冊第1丁に「文鳩堂」の印あり。天明見返しに神道書の書名列挙の書込み, 人冊末に天明7の持主の書込みあり。

1—05シ9 大惣番号札剝落 30銭

32455 <sup>ナカトミノハラヘイブキセウ</sup> 中臣祓氣吹抄 上・下・附録全

半1帙3冊

多田利見著・自跋, 植松宗南・植松宗清校

(1739) 元文4跋

写本

※第1冊表紙に「天」「口四十三」の小札あり。

虫損。第3冊附録は享保19成, 多田義俊著「創複辨」。

1—05ナ1 よ三百〇五番全三 10銭

32456 <sup>シンガクソンギョク</sup> 神学存疑録 半1帙1冊

多田利見著, 能勢貞八満治序 元文3序, 明和3写

写本(兼鑒写)

※版本からの写本で, もとの書肆は「京 川勝通志堂(五條橋通高倉西入所), 元文3刊」。三巻と「附篇故実問答一通」より成る。巻一のあとに, 序と引用書目がある。

1—05シ33 大惣番号札剝落 20銭

32457 <sup>シンジコジツ</sup> 神事故實 半1帙1冊

著者未詳

写本

※題簽なく表紙に「神事故實 年成判」と打ちつけ書。

1-05シ39 大惣番号不明 10銭

32458 シンケイ ツ 神系圖 半1帙1冊  
 著者未詳 文化8写  
 写本

※上記書名は墨書題簽および扉（もとの表紙か）  
 によるが、帙に与えられた名は、巻頭の表の名  
 「熊野新宮十二社尊號」を誤って採用している。  
 終丁ウラに「紀州新宮／三方社家／社家一蘭」  
 の記事および旧蔵者印あり。

1-04ク1 よ三百七番 10銭

32459 イセダイジングウシンイキ 伊勢大神宮神異記 乾・坤（上・下）  
 大1帙2冊  
 度會延佳著 寛文6奥書・刊

「伊勢度會郡沼木郷一志杉本正永板行／野田弥  
 兵衛板行」

1-04イ1 や七百八十二全二 15銭

32460 ユイツシンタウタイイ クケツセウ 唯一神道大意口訣抄 大1帙1冊  
 著者未詳 享保3成、同8写  
 写本

※題簽「唯一神道口訣抄全」。表紙に「天」の小  
 札あり。

1-05ユ2 や八百七十巻 10銭

32461 ユイツシンタウヒキユミメイゲンノ クデン 唯一神道引弓鳴弦之口傳  
 大他1冊と合1帙1冊

著者未詳

写本

※表紙右上スミに「天」の小札あり。32519と同  
 帙。

1-05ユ5 や八百七十二 10銭

32462 シンタウガクソク 神道學則 大1帙1冊  
 夢倉精舎文雄著、河北經義跋 享保18跋

京 谷口七老兵衛（松原通麿屋町西江入町）

※表紙に「天」の小札あり。書込みはなはだし。

1-05シ45 や八百廿五 8銭

32463 サンサイシヨジンホンギ 才諸神本紀 上・下 大1帙2冊  
 寺島良安著・自序 享保8序、同14刊

「攝州大阪 杏林堂藏板」 大坂 河内屋茂兵衛  
 （心齋橋筋）

※後補墨書題簽には「通俗三才諸神本紀」とある。

丁附を見ると上冊がもとは2冊、下冊がもとは  
 3冊であつたらしい。柱書「諸神本紀」。

1-05ツ1 や七百三拾七全二 40銭

32464 カイコクシントカウ 開國神都考 乾・坤（巻之一・巻之二）  
 半1帙2冊

度會正身口授、曠井正英・川寄正世・宇野實兄筆受  
 写本（二宮守恒写）

※「勢州山田御文庫役人因有テ」云々との書写者  
 識語あり。「式宮藏書」の朱印あり。

1-05カ1 大惣番号札剥落 50銭

32465 ホンメイゲンシン 本命 北斗七星神符傳  
 元辰 半1帙1冊  
 江匡弼文坡著・自序 安永4序・刊

京 梅村宗五郎（御幸町通佛光寺上ル町）

※絵入り。刊記前に出版広告あり。

8-82ホ3 よ三百五十四全巻冊⊖ 10銭

32466 シュゲンシンダウシフ 修験引導集 半1冊  
 著者未詳 刊年不明

京 中野六右衛門

※内題「山伏道葬送行列次第」。表紙右上に「□  
 式十式」（墨）・「仏」（朱）の小札あり。刊記、  
 中野六右衛門の横に別刷りで「六角通御幸町西  
 江入町／本屋岡権兵衛」とある。

1-26ヤ2 大惣番号札剥落 5銭

32467 ゴガクシンケイ ツデン 五岳真形圖傳 半1冊  
 大江匡弼著・自序、杜方熙序 安永4自序・刊

江戸 山崎金兵衛（通石町十軒店）、大坂 荒  
 木佐兵衛（北久宝寺町）、京 梅村市兵衛（寺  
 町通松原下ル町）

※表紙に「神百三十式」の小札。逸名跋あり。内  
 題「道藏経五嶽真形図傳」。神仙思想。絵入り。

8-86コ1 よ三百六十五全巻冊 15銭

32468 シンタウカンエウシフ 神道肝要集 上・中・下 大1帙3冊  
 著者未詳

書肆・刊年不明

※第1冊のはじめ3丁に「高願私文集」が混入。  
 上冊表紙に「天」「□十二」の小札あり。

1-05シ13 や七百五十七全三 30銭



一 神

- 32469 <sup>シンコクケツ ギヘン</sup> 神國決疑編 上・中・下 大1帙3冊  
龍瀧近著・自跋、泊如運敝序、英中玄賢序  
(1673) (1677) (1691)  
延宝元跋、同5序(泊如)、元禄4刊

古藤七郎兵衛

※上冊表紙に「天」「〇九十一」の小札あり。

1—05シ10 や七百六十六全三 20銭

- 32470 <sup>シンパン</sup> 新 <sup>ダイコクテンレイゲン キ</sup> 大黒天靈驗記 上・中・下  
半3冊  
(1717) (1718)

八十八歳老翁(空無)著・自序 享保2序、同3刊

江戸 浅倉又兵衛(浅草観音前広小路)

※内題「大黒福德靈驗記」。

1—26タ1 よ三百四十四全三冊 30銭

- 32471 <sup>シンタウミヤウモクツイジュセウ</sup> 神道名目類聚抄 一〜六  
大1帙6冊

城西野殿某著・自序 元禄12序、正徳4刊  
(1699) (1714)

京 伏見屋藤右衛門、大坂 伏見屋藤次郎

※第1冊表紙に「〇九十四」「天」の小札あり。

内題には「鈔」字も用いる。図入り。第3冊末に別刷りで「已上畫師中山市左衛門喜次圖」とある。

1—04シ5 や七百十七番全六冊 50銭

- 32472 <sup>ヲダマキ</sup> 芋手巻 大他1冊と合1帙1冊  
浅利太堅著 貞享2刊  
(1685)

平野屋佐兵衛

※表紙に「天」「□六十八」の小札あり。

1—05オ1 や八百式十番 10銭

- 32473 <sup>イナフ</sup> 稲 <sup>ミタマノタネ</sup> 美田間の種 大他2冊と合1帙1冊  
玉田永教著、一簣斎至峰貞亮序 寛政9序  
(1797)

書肆不明  
※絵入り。序題・柱題「みたまのたね」。裏見返しに「秀穂舎玉田氏藏書目録」8部を録す。旧藏者印あり。表紙に「天」「□百二十五」の小札あり。

1—05ミ4 や八百十番 15銭

- 32474 <sup>ヤマトヒメノミコトノセイキ</sup> 倭姫命世記 大1帙1冊  
祢宣五月麻呂著(「神護景雲二年」), 度會主雅明写  
(1129) (768)  
(大治4), 度會神主章尚写(丁卯歳5年), ト部朝臣写(応永25), (逸名「奉写之」奥書, 元和5),  
(1418) (1619)

道 一

- 藤原信景写(元禄5), 熱田神宮祢宜若山安道写  
(1692) (1699)  
(同12)

写本

※若山安道奥書のあとに「本字ハ藤原信景之於写也/点者/門人/大原氏武直之於写也」とある。

1—04ヤ1 や八百七十番 5銭

- 32475 <sup>シヤウトクタイシジフシチケンバフチュウ</sup> 聖徳太子十七憲法註 大1冊

「濃州大慈山小松禪寺比丘潮音註」・自序

(1670)  
寛文10序・刊

江戸 戸嶋惣兵衛(室町三丁目)

※上記書名は墨書題簽による。本文内題「聖徳太子十七憲法」・末尾内題「十七憲法註」・序題「太子憲法」。表紙に「律」(朱), 「□千十一番」・「柳」(墨)の小札あり。

1—26シ24 や千七番 10銭

- 32476 <sup>シンタウデンジュ ヒ ショ</sup> 神道傳授祕書 大1帙1冊

林道春著, 源勝長写 宝永2写・同4「目録」奥書  
(1705) (1707)

写本

※表紙に「天」の小札あり。宝永4の東氏の奥書あり。

1—05シ49 や八百七十六 20銭

- 32477 <sup>ハチマン カヤウ キ</sup> 八幡河陽記 上・下 大1帙2冊  
雲松堂著 享保4刊  
(1719)

京 田中庄兵衛(寺町五条上ル丁), 大坂 中林徳兵衛(道修町真齋橋筋)

※上冊表紙右上スミに「□四十四」の小札あり。絵入り, 一部筆彩。「上」本文にさきだつ冒頭9丁に絵図と「老僧隨聞筆記」などあり。

1—04ハ1 や七百八十一全二 30銭

- 32478 <sup>ナカトミノハラヘゲンカイ</sup> 中臣祓諺解 乾・坤 大1帙2冊  
楊雪菴山本豊安著・自序・自跋 元禄3跋, 同4刊  
(1690) (1691)

京 田中庄兵衛

※表紙に小札あり, 「神」と書いたものか。

1—05ナ10 や七百九十一全二 15銭

- 32479 <sup>ロクコンシヤウジャウオホハラヘシフセツ</sup> 六根清浄大板集説 上・下 大1帙2冊

匹田以正著・自序 延宝8刊  
(1680)

京 永田長兵衛

※序は「寛文上章閣茂萍始生曰」の成立。下冊裏

見返しに「古本賣買／尾州名古屋本町七丁目／大野屋嘉兵衛」の札あり。

1-05ロ1 や七百八十九全二 15銭

ゴテンザシダイキカウギシフセツ  
32480 御鎮座次第記講義集説 大1帙1冊  
安井五山子述 寛保2奥書  
写本

※服部八大夫の奥書あり。内題「御鎮座次第紀講義集説」、背書きに「御鎮座次第講義集説」、小口に「御鎮座次第秘記」とある。表紙に「天」「□七十」の小札あり。

1-04コ1 や八百七十七 20銭

カイマイセウ シンタウヒシヨ  
32481 開昧抄・神道秘書  
半1帙2冊を合綴1冊  
(開昧抄) 吉川惟足著 寛延元写

写本(野間氏某写)  
※鏡味弥兵衛による元禄5の書写奥書と藤原房智(1692)  
による享保20の書写奥書がある。上記著者名は『国書総目録』による。

(神道秘書) 元禄6写  
写本

1-05カ2 大惣番号札剝落 15銭

クワンケズイオウデン  
32482 菅家瑞應傳 元・亨・利・貞半1帙4冊  
著者未詳 文化8写  
写本(沙門万秀写)

※上記書名及び冊次は各冊題簽などによる。「元」冊内題は「菅家瑞應錄卷之上」。各冊末に「沙門万秀書」「上野山利生院沙門万秀持所／書之」などとあるが、いずれも墨で塗沫。

5-62カ5 大惣番号札剝落 20銭

シンタウタイイセウ  
32483 神道大意抄 半1帙1冊  
藤原足彦著 享保2成

写本  
※大野屋の半紙を使用。最後丁に「神道長上ト部二位兼敬卿讀大意抄和歌」と、「姉小路前中將嘯翁」の和歌を載せている(享保5)。

1-05シ47 大惣番号札剝落 10銭

シンジュブツ サンゴクモンダフ  
32484 神儒佛 三國問答 半1帙1冊  
著者未詳 寛保元奥書  
写本

1-05サ1 大惣番号札剝落 5銭

ナカドミハラヒセウ  
32485 中臣菰抄 半1帙1冊

榎並光成著、仁木祐之進將恒跋  
(1671) (1675) (1677)  
寛文11成、延宝3跋、同5刊

江戸 林左兵衛(新兩替町)

※表紙に「天」の小札あり。書名の読み方は本文の振仮名によった。

1-05ナ12 大惣番号札原欠か 10銭

シンタウイチマイキシヤウ・ワタラヘノハシ・  
①神道一枚起請・②度會の橋・  
サンゴクコンザツベンワクヅ シキコウヘン  
③三國混雜弁惑圖式後編  
半1帙3冊を合綴1冊

①岸大路洗齋翁著・自序 (1735) (1769)  
享保20序、明和6奥書・刊

京 西村平八

②伴部安崇(八重垣翁)著 元文2刊  
江戸 西村又右衛門(本町三丁目)

※絵入り。合冊の墨書題簽の書名は「神道渡會の橋」。

③久野彈政著・自序 (1780)  
伊勢山田 藤原長兵衛・文臺屋庄左衛門  
※合冊の墨書題簽の書名は「三國辨惑図説」。絵入り。一箇所頭註があるが、上部切断されている。

1-05シ44 大惣番号札剝落 10銭

ナカドミノハラヘカウギ  
32487 中臣菰講義 半1帙1冊  
講義者未詳 享保20写

写本  
※奥書に「藤原天足彦門葉(抹消) (在原忌彦謹記之) 図」とある。朱書をまじえる。

1-05ナ11 よ三百廿三番 20銭

イナリダイミヤウジン  
32488 稻荷大明神 御利生記 半1帙1冊  
惶齋原田高懸(又は高惠)著  
(1790) (1805)  
寛政2「附録」成、文化2刊

京 河南儀兵衛(三条寺町西入ル丁)

※巻頭内題は「稻荷大明神神驗恩頼記」。絵入り。

1-04イ4 よ式百七十八全巻 10銭

シチフクジンデンキ  
32489 七福神傳記 半1帙1冊  
増穂取仲著・自序・自跋 (1737) (1738)  
元文2序、同3跋

書肆不明

※刊記なし。絵入り。表紙に「天」の小札あり。

1—05シ2 よ式百七拾四全巻 15銭

- 32490 ダジャウケイミンカツカウ ヒ ログ  
**太上惠民甲庚秘録** 半1帙1冊  
(1777) (1778)  
 江匡弼著・自序，關富翁跋 安永6序，同7刊  
 江戸 山崎金兵衛（通石町十軒店），大坂 吉  
 文字屋市兵衛（心齋橋南四町目），京 近江屋  
 市兵衛（堀川通四條下ル町）・銭屋庄兵衛（堀  
 川通綾小路下ル町）  
 ※序題「甲庚秘録」。  
 8—86コ3 よ三百五拾九番 20銭

- 32491 ホンテウジンジャカウ  
**本朝神社考** 一～六 大1帙6冊  
 羅浮子道春著・自序 刊年不明  
 京 上村次郎右衛門（二條通玉屋町）  
 ※上（一・二）中（三・四）下（五・六）の全3  
 巻。各冊に目録を付す。中巻（第3冊）にも自  
 序あり。  
 1—04ホ1 や七百十六番全六冊 60銭

- 32492 ハチマンダウホンギ  
**八幡宮本紀** 一・二・三之上・三之下  
 ・四～六・附録 半1帙8冊  
(1691) (1691) (1697)  
 貝原好古著，安枕窩主人序（元禄4），筑州損軒貝  
 原篤信序（同8），松下見林跋（同4） 元禄10刊  
 大坂 毛利田正太郎  
 ※序・跋は「附録」冊におさめられ，更に好古の  
(1689)  
 「八幡宮本紀題」（元禄2）なる一文，および  
 逸名跋（書肆か）あり。  
 1—04ハ3 よ式百〇巻全八 75銭

- 32493 レイガウホンギ  
**禮綱本紀** 一～四 大1帙4冊  
 潮音等著 延宝7刊  
 江戸 戸島惣兵衛（室町三丁目）  
 ※本書は「先代舊事本紀」の巻五十七～六十に該  
 当する。  
 1—03セ2 や九百五拾四全四 25銭

- 32494 シュシヨカイセイ  
**改正 陽復記** 乾・坤  
書  
 縦長（28.0×19.2cm）1帙2冊を合綴1冊  
(1671) (1710)  
 度會延佳著，山本廣足跋 寛文11跋，宝永7刊  
 伊勢山田 文臺屋次郎兵衛・藤原長兵衛  
 ※内題に角書なし。原題籤は乾冊のもので、「坤

／全」と書込み。表紙に「天」「□六十七」の  
 小札あり。

1—04ヨ2 や八百六番 15銭

- 32495 ナカトミハラヒフクロダシ  
**中臣祓囊櫛** 上・下  
 大1帙2冊を合綴1冊  
 菅原僧都信圖著・自序，源春海序  
(1696) (1699)  
 元禄9自序，同12序・刊  
 京 野田弥兵衛（寺町二条下ル），江戸 野田  
 太兵衛（石町拾軒店）  
 ※表紙に「天」「神五十五」の小札あり。  
 1—05ナ14 や八百七番 15銭

- 32496 サンカウアツ タ ダイジンエンギ  
**参考熱田大神縁起** 大1帙1冊  
(1769)  
 伊藤信民著・自序，秦鼎校 明和6序  
 名古屋 永楽屋東四郎（玉屋町）  
 ※永楽屋の「製本目録」を附す。  
 1—04サ1 や八百三十巻 10銭

- 32497 シヨシンコンゲンセウ  
**諸神根元抄** 大1帙1冊  
(1692)  
 著者未詳 元禄5写  
 写本  
 ※表紙に「天」「神六十九」の小札あり。  
 1—04シ1 や八百六十巻 50銭

- 32498 ジンジャカウ  
**神社考** 大1帙1冊  
(1645)  
 林道春著・自跋 正保2刊  
 京 田原仁左衛門（二條通鶴屋町）  
 ※表紙に「天」「神五十一」の小札あり。目録・  
 跋・本文の内題は「神社考詳節」。  
 1—04シ2 や八百十四番 20銭

- 32499 コアサマ ジャサ タ ブミ  
**小朝熊社沙汰文**  
 縦長（29.5×19.7cm）1帙1冊  
(1648) (1717)  
(ママ)  
 荒本田盛澄校 慶安元奥書，享保2写  
 写本  
 ※表紙に「天」「神百三十六」の小札あり。朱に  
 よる書込みあり。『国書総目録』には「小朝熊  
 社神鏡沙汰文」として載る。  
 1—04オ1 や八百七十九 20銭

- 32500 ロクコンシャウジャウバラヘフウエフセウ  
**六根清浄祓風葉抄** 上・下  
 大1帙2冊  
(1690) (1691)  
 真野時綱著・自序 元禄3序，同4刊

京 永田調兵衛（錦小路新町西へ入町），名古屋  
屋 木村五郎兵衛（本町両替町角）

※頭部に書込みあり。各冊表紙に「生」と書込みあり。

1—05ロ3 や七百八十八全二 15銭

ア ソグウセイ ア モンダフ

32501 阿蘇宮井蛙問答 上・下 大1帙2冊

阿蘇宮神主従五位上宮内藤著・自序 延宝4序・刊

京 丁子屋三郎兵衛（京極通四條上ル大文字町）

※上下冊とも墨書題簽に角書「神道」とある。

1—05ア1 や七百八十七全二 15銭

ム ミノセツ

32502 夢寐説 大他1冊と合1帙1冊

跡部光海著，伴部安崇跋 享保8跋・同9刊

江戸 杉浦三郎兵衛（日本橋南一丁目）

1—05ム1 や八百十八番 10銭

ジンダイ ズ カイ

32503 神代圖解 大1帙1冊

真野時綱著・自序 元禄3序，同4刊

京 永田調兵衛（錦小路新町西へ入町），名古屋

木村五郎兵衛（本町両替町角）

※度會延佳著・自序（明暦2）「神代之圖」の解を記したもの。同序には「度會延良」とある。

「度會延佳」は時綱の自序による。表紙に「天」

「神七十一」の小札あり。

1—05シ43 や八百廿六 10銭

タイシヤシ

32504 大社志 大1帙1冊

著者未詳 寛保3写

写本

※出雲大社に関する雑録。元文2の谷垣守の奥書のあと，寛保3の「五十鈴国祝穂野 萱生由舊蔵」とある。表紙に「□百四十九」の小札あり。

1—04オ3 や八百六十六 30銭

サンジヤタクセンノセウ

32505 三社託宣鈔 大1帙1冊

松本清房著

書肆・刊年不明

※著者名は『国書総目録』による。初刊は慶安3。表紙に「天」「百式十七番」の小札あり。後補墨書題簽の用字「抄」。

1—05サ2 や八百十三番 10銭

シントチャウレイ キ

32506 神都長嶺記 半1帙1冊

秦定賢著

(1792) (1796)  
寛政4成，同8写

写本

※表紙に「神」の小札の上から「天」の小札が貼られている。本文と同筆と思われる頭書書入れに「今寛政八年」と繰り返し書かれている。

1—04シ4 大惣番号札原欠か 8銭

シンタウタイ イ キキガキ

32507 神道大意聞書 半1帙1冊

吉川惟足述，不破帷益記 寛文9成

写本

※表紙に「神三十八」の小札あり。見返しに「元神萬起 ト部兼直撰」と貼札あり。講義は寛文九己酉年十一月十九日，下総国葛西ノ本庄菅谷八郎兵衛亭にて行われた。朱引きあり。

1—05シ46 大惣番号札剝落 8銭

シンメイ ヒ モンモンダフ

32508 神明秘傳問答 半1帙1冊

度會延良著・自跋 万治3跋

写本

※大野屋の半紙を使用。『国書総目録』によると別名「神宮秘伝問答」。

1—05シ37 大惣番号札剝落 5銭

ジンダイモンダフ

32509 神代問答 大1帙1冊

著者未詳

写本

※見返しに「普沾院日地」とあり。末尾に享保18の記事あり。

1—04シ3 や八百六十式 10銭

シンタウタイガイタクシンノキ

32510 神道大概得心紀 大1帙1冊

著者未詳 享保2成

写本

※頭注あり。表紙に「天」「神七十三」の小札あり。

1—05シ48 や八百六十四 10銭

ク ジゲン ギ バツスイ

32511 舊事玄義拔萃

特大(29.0×21.1cm) 1帙1冊

友部安崇著・自序 宝永6序

写本

※内題「舊事本紀玄義拔萃」。

1—03ク1 や八百八十番 20銭

- 32512 <sup>カミカゼメグミダサ</sup> 神風恵帥 大1帙1冊  
新松忠義著・自序, 跡部光海跋 享保9序・跋  
江戸 小川彦九郎(日本橋南二丁目)  
※墨書題籤には角書「乾坤」あり。上・下2巻より成る。見返しに「中山氏」と書込みあり。  
1—05カ3 大惣番号札剝落 15銭

- 32513 <sup>ベンボクセウ</sup> 辨卜抄 大1帙1冊  
出口(度会)延経著  
写本  
※表紙に「□四十一番」の小札あり。奥書に「本云」として, 紀音壽松軒雲郷が享保2に, 益弘本をもって書写した由, 記されている。  
1—05へ1 や八百七十三 20銭

- 32514 <sup>シンガクタイギ</sup> 神學大義 大1帙1冊  
春華樓尊瓊著, 多田義俊序, 知鴻冥鵠跋  
寛保元序・刊  
京 銭屋儀兵衛(堀川高辻上ル町)  
※表紙に「天」「神六十五」の小札あり。内題・柱書「神学太義」。  
1—05シ34 や八百廿三 8銭

- 32515 <sup>イチデウゼンカフギヨセン ミヨハジメセウ</sup> 一條／禪閣／御撰御代始鈔  
大他1冊と合1帙1冊  
一条兼良著, 大外記奥書  
文明10・寛正2奥書, 宝永8刊  
京 今井七郎兵衛(京極松原), 伊勢山田 藤原長兵衛(一志)  
※原題簽中に「御即位／大嘗會」とある。表紙に「□五十」「天」の小札あり。ただし「天」は「有」(有職の意か)に訂正。神道書の目録あるが, 「在所取次」の書肆は上記のうちの藤原と「京寺町松原下ル菊屋喜兵衛」。虫損甚し。同版本(5—17ミ1)と同帙。『国書総目録』によれば本来の書名は「代始和抄」。  
5—17ミ2 や千五番 5銭

- 32516 <sup>エイリ</sup> 繪入 神國石臼歌 大1帙1冊  
藤原舊富著, 天竺承安序, 松平秀雲跋, 三郎璞跋,  
番寛利図 宝暦元成, 同9序, 同10跋(三郎)  
名古屋 菱屋久兵衛(本町九丁目)  
※112首より成る。一首は七・七・七・五の音律

を有す。絵入り。朱でカナ遣いの誤りを所々訂正している。表紙に「天」「神六十一」の小札あり。

1—05シ38 や八百廿四 15銭

- 32517 <sup>トユケグウギンキチヤウ</sup> 止由氣宮儀式帳 大1帙1冊  
度会五月麻呂等著 延暦23成, 寛永14奥書  
写本  
※宮写兎毛砂田写。奥書の書名「兩宮儀式帳」。  
表紙に「天」「神百三十五」の小札あり。  
1—04ト1 大惣番号札剝落 30銭

- 32518 <sup>ビシウ ツシマサイキ</sup> 尾州津島祭記 大1帙1冊  
真野時繩著, 松陰亭主人序 正徳元序, 同2刊  
永田調兵衛・木村六右衛門  
※内題「尾州津嶋天王祭記」。表紙に「天」「□五十八番」の小札あり。  
1—04ヒ1 や八百十九番 15銭

- 32519 <sup>ユイイツシンタウミヤウボフエウシフ</sup> 唯一神道名法要集  
大他1冊と合1帙1冊  
ト部兼俱著 明暦元刊  
京 林和泉掾(今出川)  
※著者は『国書総目録』による。表紙に「天」の小札あり。原体裁は2冊か。32461と同帙。  
1—05ユ4 や八百四番全一 15銭

- 32520 <sup>ゲンシンバンキ クケツセウ</sup> 元神萬起口訣鈔 上・下  
大他1冊と合1帙2冊  
吉菅夫重弘著 享保3成  
写本  
※奥書「享保三 戊戌 孟冬廿五日艸藥畢／吉菅夫重弘」とある。上冊表紙に「天」の小札あり。下冊表紙に「や八百」と書きかけた大惣番号札あり。内題下に「或名兼直大意」とある。1—05ケ1「元浄秘傳」と同帙。  
1—05ケ2 や八百六十三全二 25銭

- 32521 <sup>シンタウエウケツ</sup> 神道要訣 大1帙1冊  
尚舎散人著・自跋 延宝元跋  
書肆不明  
※表紙に「天」「神五十六」の小札あり。  
1—05シ50 や八百廿壹 8銭

— 神道, 易・方位・天文 —

32522 シンタウサウサイシキジツ 神道葬祭式實 半1帙1冊  
藤原千何裁奥書 (1695) 元禄8奥書, 寛延2写 (1749)

写本 (中雅長写)

※書写奥書には「右一卷従俵天足翁借之授与之寫畢」とある。表紙に「中七十二」の札あり。内題「神道葬禮」。

1—05シ14 大惣番号札剝落 5銭

32523 シンタウカイ 神道解 半1冊  
写本

※表紙, 題簽剝落跡に書名が打ちつけ書きされ, その下に「静齋先生」とある。『国書総目録』(1808) (1811) によると, 斎宮必簡著, 文化5序で同8に刊行されている。

1—69シ47 大惣番号札剝落 20銭

32524 シンゾクガフロン 真俗合論 半1帙  
杜多法上著・自跋, 龍口隠士序 (1825) (1827)  
文政8序・跋, 同10刊

松阪 無礙光社蔵板

※仏教の側から神道を論じた書。

1—26シ34 そ千七拾式全 8銭

32525 ゾウエキベンボクセウゾクカイ 増益辨卜鈔俗解 上・下 半1帙2冊  
吉見左京太夫源幸和述 (1739) (1749)  
元文4序・成, 寛延2「追下」

写本

※序に卜部家吉田神道の虚妄を正親町従一位公通卿の教えと, 文献によって考証するという。筆者「尾州正四位下行左京太夫源朝臣吉見幸和」, 号「風水山人」という。虫損甚し。

1—05ソ1 大惣番号札剝落 20銭

32526 タンゲンセウ 探玄抄 (一)・二~十三 半2帙13冊  
著者未詳

写本

※大惣番号札は「神代巻かうしやく」なる札とともに第13冊の表紙にある。日本書紀神代巻の注釈書。虫損甚し。

1—03タ2 よ三百番全拾三 50銭

32527 ユイイツ 唯 ジンタウゾクゲ 神道俗解 一~五・六附録 半1帙6冊

吉田靱負編・自序・自跋 (1685) (1686)  
貞享2跋・同3序  
書肆不明

1—05ユ1 大惣番号札剝落 30銭

32528 キメンノレイケン 鬼面ミブノシヤテンデン 靈験 壬生謝天傳 壹~五 半1帙5冊 (1787)

菊丘臥山人江文坡著・自序 天明7序・刊  
京 吉野屋勘兵衛 (柳馬場六角下ル町)・野村屋伊兵衛 (高倉佛光寺上ル町), 大坂 塩屋喜助 (心齋橋筋久宝寺町)

※読本。絵入り。『つれつれ悴か川』など3書の広告あり。「永東」の蔵書印あり。

4—41サ71 大惣番号札剝落 30銭

易・方位・天文

32529 カウウンシシヤウ 考運指掌 卷一~卷六 半1帙6冊  
「早川氏」著, 雄梅巷丹水子序 (1691) 元禄4序・刊  
江戸 西村理右衛門 (大傳馬町三町目), 京 武田治右衛門 (五条通烏丸東へ入ル町)  
※図入り。大惣番号はもと「よ八百〇式番全六」を改めている。各冊脇題簽に目録あり。  
8—82コ3 よ千四番全六 1円25銭

32530 ハツケホウライセウ 八卦蓬萊鈔 半1帙1冊 (1709)  
非雨亭斧磨著・自序 宝永6序  
大坂 浅野彌兵衛 (高麗橋壹町目)  
※卷一~卷五および「八卦 下」から成る。図・絵入り。卷末に「星文堂蔵板目録」あり。  
8—84ハ3 よ千四拾壹 30銭

32531 ワカンレキゲンカウ 和漢曆原考 大1帙1冊  
下毛石井光致 (磯岳亭主人) 著・自序, 釋希巽校 (1829) (1830)  
文政12序, 同13刊  
江戸 須原屋茂兵衛  
※図入り。6—04ワ2に同版本あり。  
6—04ワ1 け八拾六番全 10銭

32532 ボシネンハウキツキョウ 戊子/方位 スウヒキヤウ 年/吉凶 趨避鏡 大1帙1冊  
渡邊赤松 (之道) 著・自序, 馬會通跋, 神谷輔明校

一 易・方位・天文 一

関 <sup>(1826)</sup> 文政9序・跋  
名古屋 東壁堂、「張南石濱 含章亭藏版」  
※図入り。原題籤は「<sup>戌</sup>子趨避鏡全」。朱・墨の二色刷り。

8—82ス2 げ八拾七番 15銭

32533 <sup>シンエキセウ</sup> 心易抄 半1帙1冊  
(宋) 邵康節著、劉刻序、逸名序あり、註者未詳  
書肆・刊年不明  
※図表入り。上記書名は柱書・墨書題籤による。  
劉刻の序題は「心易梅花數」「梅花益傳」「尾州名古屋／橋町住／都築重春」と書込みあり。  
8—81ハ2 け七拾貳番全 25銭

32534 <sup>ハウカン ヒ デンシヨ</sup> 方鑑秘傳書 上・中・下 大1帙3冊  
松浦純逸(琴鶴)著・自序、松浦逸成・松浦逸順校  
(1834) 天保10序  
「観濤閣藏」  
※「方鑑類要附録」「方鑑秘傳書(上・中・下)」より成る。後者は図のみ。下巻末尾に「此書為施門人／不許賣買者也」の印あり。各冊題籤右に上「上元甲子年ヨリ癸酉年迄」、中「甲子正月ヨリ戊辰十二月迄」、下「己巳正月ヨリ癸酉十二月迄」と墨書の小札あり。大惣印なし。図に墨・朱の書込み多し。

8—82ホ7 大惣番号不明 60銭

32535 <sup>ハウカン ヒ ケツシフセイ</sup> 方鑑秘訣集成 大1帙1冊  
吉田元祐著・自序 (1817) (1823) 文化14序、文政6刊  
江戸 須原屋茂兵衛、大坂 敦賀屋九兵衛・河内屋八兵衛・藤屋彌兵衛・藤屋善七  
※図表入り。一部墨朱の二色刷り。

8—82ホ6 け九拾三番全巻冊 15銭

32536 <sup>シチジフ ニコウ</sup> 七十二候 上・中・下・七十二候抄 (一～四) 大1帙4冊  
久佐道允著・自跋 (1664) 寛文4跋  
書肆不明  
※絵入り。

6—04シ2 大惣番号札剝落 50銭

32537 <sup>ボクセイゲン キ</sup> ト筮元龜 一～四 大1帙4冊  
著者未詳 (1666) 寛文6刊

京 田原仁左衛門(二條通鶴屋町)  
※図入り。墨の書込み多し。各巻内題は「ト筮元龜鈔」。

8—81ホ2 け貳拾壹番 70銭

32538 <sup>カイセイゾウホ</sup> 改正 <sup>ガウトウチャウレキ</sup> 増補 龜頭長曆 大1帙1冊  
小泉松卓著・自序 (1688) (1750) (1816)  
貞享5序・原刻、寛延3重彫、文化13補刻・刊  
京 勝村治右衛門、大阪 秋田屋太右衛門・塩屋喜助・奈良屋長兵衛  
※図入り。原題籤は「増補頭書長曆」。柱書は「首書長曆」。

6—04ソ1 け八拾貳番 50銭

32539 <sup>カンキヤク</sup> 韓客 <sup>ニンサウヒツワ</sup> 人相筆話 大1帙1冊  
新山退甫道人著、弟千之・門人内藤無角校、岡白駒  
(1764) (1764) 序(明和元)、南海陶山序(宝暦14)、芥煥彦章序(明和元) 明和元刊  
「天橋窩藏板」京 梅村三郎兵衛(寺町通松原下ル)、江戸 須原屋茂兵衛(日本橋通一丁目)  
※絵入り。原題籤「人相筆話」。序題に「韓客神相編」。

8—83=3 大惣番号札剝落 15銭

32540 <sup>ケイケンセイ ギ</sup> 經驗精義 大1帙1冊  
松浦琴鶴著・自序 (1842) 天保13序  
「浪華 松浦観濤閣藏板」  
※内題・墨書題籤は角書「方鑑／家相」を附す。  
「松浦琴鶴著述書目録」あり。

8—82ケ1 け九拾壹番 20銭

32541 <sup>ハウカン ク ケツシヨ</sup> 方鑒口訣書 大1帙1冊  
松浦琴鶴著、松浦逸成・松浦逸順校 刊年不明  
「浪華 松浦観濤閣藏板」  
※図表入り。末尾に「松浦琴鶴著述目録」あり。  
8—82ホ4 け八拾八番 20銭

32542 <sup>サンサイハツ ビ セウヨウ</sup> 三才發秘鈔要 上・下 大2冊  
苗村元長著・附言、藤時憲序、石川浚明跋  
(1805) (1807) 文化2附言、同4序・跋・刊  
京 野田藤八郎(二條通富小路西入町)・西尾六兵衛(富小路竹屋町下町)・教来寺彌兵衛

(同町)

※上冊見返しに「中華家相之書を國字解にして八宅八門□卦之法を以て本朝之家相に引合し用ひ安くさとして初学之階梯となすべきの書也」と書込みあり。

8—84サ1 け五拾五全式 30銭

キツバウセフラン

32543 吉方 捷覽 方則指要 大1冊  
黒田昌輯, 田宮悠述, 宇仁館信富訂正・跋, 石津亮澄序 (1816) 文化13刊

大阪 敦賀屋九兵衛(心齋橋通南二丁目)・河内屋八兵衛(心齋橋通南久宝寺町)・藤屋彌兵衛(高麗橋壹丁目)・藤屋善七(同町)

※図表入り。巻末に四徳書堂蔵板豫題目録あり。

8—82ホ9 け九拾番 15銭

シウエキメイゴキヤウ

32544 周易命期經 大1帙1冊  
(1655) 承応4写

写本

※奥書に「承應乙未 番陽焉求閑人正因秀閑／誌愁楽軒 代安窓(印)」とある。表紙改裝。  
10丁表に「周易命期經畧私抄 焉求閑人抜集」とある。

8—84シ1 大惣番号不明 15銭

テンケイワクモン

32545 天經或問 乾・坤 大1帙2冊  
游子六著, 芭山張自烈爾公序, 蘆中人余颺齋序, 桐城方以智密序, 廣昌楊喧子宣序, 三山嚴宗望志馭序, 牧仲父跋 成立・書享年不明

図15丁分整板刷, 他は写本

※乾冊表紙「天文」の小札あり。朱・墨の書込みあり。

6—04テ4 け五拾八全式 30銭

ホ キ ナイデンセウ

32546 簠簋内傳鈔 上・中・下 大3冊  
(1629) 寛永6刊  
著者未詳

京 菊屋勝太夫(三條寺町本能寺内)

※上記書名は後補墨書題簽による。柱書と, 中・下冊末内題は「簠簋抄」, 上冊末内題は「簠簋内傳鈔」。

8—82ホ2 け四拾番全三冊 60銭

カイセイ

改正 授時曆儀 元・亨・

カイセイ

改正 授時曆經 利・貞 大1帙4冊  
(1672) 寛文12刊  
宋濂・王禕等脩, 黃汝良・周如砥校刊

京 太和屋重左衛門(二條通土橋町)

※「元史」第五十二卷(曆志第四)が元, 第五十三卷(同第五)が享, 第五十四卷(同第六)が利, 第五十五卷(同第七)が貞の各冊にあたる。図表入り。

6—04シ3 け式拾四全四冊 40銭

レキガクハフスウゲン

32548 曆学法數源 壹~伍(法源門上・中・下, 數源門上・下) 大1帙5冊

中西敬房著・自序, 中西块脇跋

(1780) (1782) (1787)  
安永9序, 天明2跋, 同7刊

京 天王寺屋市郎兵衛(寺町通五條橋詰上ル町)・加賀屋卯兵衛(寺町通四條上ル町)

※図表入り。

6—04レ1 け式拾番全部五冊 40銭

ハウカンベンゼツ

32549 方鑒辨説 大1帙1冊

松浦琴鶴著・自序, 松浦逸成・逸順校

(1834)  
天保5序・刊

「浪華 觀濤閣蔵板」, 京 田中屋専助, 江戸 須原屋茂兵衛, 大阪 藤屋彌兵衛・藤屋善七・河内屋八兵衛・敦賀屋九兵衛・井筒屋和助

※内題に角書「神殺／撰要」あり。

8—82ホ8 け八拾九番 15銭

センジツケウエウ

32550 撰日 授時曆口訣 大1帙1冊  
(1716) 享保元跋  
小泉松卓著・自跋

大坂 高橋平助(心齋橋通南久宝寺町)

※高橋平助の「興文堂發行書目」および他の出版  
広告1丁を附す。内題は「撰日教要録 口説 授時  
曆法」。

6—04セ2 け八拾四番全 10銭

テンモンリヤクセツ

32551 天文畧説 大1帙1冊

却虱窩主叟著

刊年不明

名古屋 「却虱窩蔵板／彫工 竹呂軒／製本所  
風月堂」

(1769)  
※表紙改裝。末尾の「附説」に「明和六年」と見



える。大惣印なし。「黄書」の印あり。

6-04テ10 大惣番号不明 10銭

32552 サンセイソクカイ 三正俗解 大1帙1冊  
中根璋彦圭著、土木散人序、源元寛訂・跋  
(1696) (1769)  
元禄9序、明和6訂・跋  
「容塾蔵版」、京 瀬尾源兵衛、大坂 田原平  
兵衛  
※表紙に「曆」(朱)の小札あり。

6-04サ3 け八拾五番全 15銭

32553 タイリヤクテンガクミヤウモクセウ 大略天學名目抄 大1帙1冊  
西川忠次郎正休著 (1729) 享保14成  
「松葉軒」(柱書)  
※題簽下部に「天經或問附録」とある。朱の書込  
みあり。

6-04テ2 け九拾貳番全 10銭

32554 シヨガクテンモンシナン 初學天文指南 一〜五 大1帙5冊  
馬場信武著、東關退士孤山居士序 宝永3序・刊  
大坂 鳴井茂兵衛(梶木町)  
※図入り。各巻内題「初學天文指南鈔」。柱書  
「天文指南鈔」。

6-04シ5 け拾貳番全部五冊 30銭

32555 シュミセンギメイナラビニョウゲ 須彌山儀銘并序和解 卷之上・  
卷之下 大1帙2冊  
無外子釋圖通著 刊年不明  
大坂 海部屋勘兵衛(新町砂場)、京 橋屋儀  
兵衛(御幸町押小路下町)・林権兵衛(寺町二  
條下ル町)・菱屋孫兵衛(御幸町御池下ル町)、  
江戸 須原屋茂兵衛(日本橋壹町目)、和歌山  
総田屋平兵衛

※上冊裏見返しに多田勘兵衛の『須彌山儀圖』の  
広告あり。32625参照。

1-26シ8 け五拾七全式 20銭

32556 テンケイホエン 天經 テンガクシエウ 天學指要 元・亨・利・貞  
補衍 大1帙4冊

西村遠里著、本保以守子鎮序  
(1776) (1778)  
安永5成・序、同7刊  
江戸 須原屋新兵衛、大坂 吉文字屋市兵衛、  
京 美濃屋治右衛門・錢屋善兵衛  
※松永國華という人が享和2に朱で注などを書入

れている。

6-04テ1 け式拾三全四冊 15銭

32557 フウウノフコクジベン 風雨賦國字辯 乾・坤(圖翼・賦)  
(上・下) 大1帙2冊  
中西如環敬房著・画・自序 (1776) (1777) 安永5序、同6刊  
京 加賀屋卯兵衛(建仁寺町四條下ル貳丁目)  
※坤冊末に「中西華文軒藏板目錄」(加賀屋)2  
丁あり。

6-04フ2 け六拾叁全式 25銭

32558 テンモンギロン 天文義論 上・下 大1帙2冊  
西如先生著、野源翁殘夢跋 (1712) 正徳2跋  
京 茨城多左衛門(六角通御幸町西江入町)  
※下冊末に大坂の河内屋太助(心斎橋唐物町)の  
「森本文金堂藏板目錄」2丁あり。

6-04テ8 け五拾三全式 20銭

32559 テンケイワクモンチユウカイ 天經或門註解 序巻・圖巻上・下  
大1帙3冊  
東阿入江脩保叔著・自序、望三英序  
(1750) 寛延3自序・序・刊  
江戸 嵩山房 小林新兵衛(日本橋南二町目角)  
※末尾に「嵩山房藏板目錄」2丁あり。

6-04テ6 け三拾叁全三 30銭

32560 シカンカウ 支干考 大1帙1冊  
齋藤宇八郎敬天著、男得衆・大島光福校、龍淵森殿  
子咲序、機岡瀬觀序 (1793) 寛政5序・刊  
名古屋 永樂屋東四郎(本町通七町目玉屋町)  
※刊記の書肆名は削られている。永樂屋の目録を  
附す。

8-82シ1 け八拾番全 15銭

32561 サンゲンネンゲン 三元 ホンメイテキサツソクカン 本命的殺即鑑 大1帙1冊  
年月 松浦琴鶴著・自序、同逸成・逸順校  
(1834) (1835) 天保5序、同6刊  
「浪花 観瀾閣蔵版」、京 錢屋惣四郎、江戸  
須原屋茂兵衛、大阪 藤屋彌兵衛・藤屋善七  
・河内屋八兵衛・敦賀屋九兵衛・井筒屋和助  
※「松浦琴鶴先生著述書譜」1丁あり。

8-82ホ11 け七拾七番全 20銭

32562 ハツケ ヒ デンセウ  
八卦秘傳鈔 一・二之三・四五・  
六七八 大1帙4冊を合綴1冊  
(1652)  
著者未詳 承応元刊

「高野山往生院／攝津國屋重兵衛板」  
※内題および柱刻は「八卦抄」。第1冊表紙に  
「八卦雜書／メ九卷之内／常光院／什物」とう  
ちつけ書。各冊末に「イセ秀賢房」あるいはそ  
れを消して「金海」と書込みあり。

8-84ハ2 け貳拾貳番 40銭

32563 テンドツセツ ニツトウツウレキ  
天度 圖説 日東通曆 乾・坤 大1帙2冊  
(1731) (1732)  
杉村長郡著・自序 享保16序, 同17刊

江戸 須原屋茂兵衛, 京 前川仁兵衛・梅村彌  
右衛門

※上記書名は乾冊原題簽による。坤冊原題簽の角  
書は「新刻／改口(正カ)」。

6-04ニ1 け〇拾六番 30銭

32564 ユメアハセエンジュブクロタイセイ  
夢合延寿袋大成 1冊  
所在不明

8-84ニ1 15銭

32565 エキジュツクワツバフ ジツゲツ ケ デンセウ  
易術 活法 日月卦傳鈔 前編・後編  
小1帙2冊

庭田見龍子著・自序(後編), 越後竹内豊軌序  
(1750) (1754) (1827)  
寛延3序, 宝暦4自序, 文政10刊

大坂 浅野彌兵衛(高麗橋壹町目)・井狩佐吉  
※前編は浅野の単独版, 後編は浅野・井狩の合版。  
柱刻は「卦傳鈔」。

8-81シ2 ほ三拾壹前編・ほ三拾貳後編 15銭

32566 カタヌキノウラキボクノウラ シンエキセン  
肩板占 龜卜占 神易占 小1帙1冊  
(1766) (1770)

新井白翁著・自序 明和3「御免」, 同7「新刻」  
大坂 浅野彌兵衛(高麗橋一丁目)・野村長兵  
衛(同丁)・渋川彦太郎(心齋橋南二丁目角)

※絵入り。見返しに「神亀龍馬」とある。末尾に  
渋川彦太郎の「松寿堂藏板書籍目録」を附す。

8-84シ2 ほ三十三算木拾貳本添 15銭

32567 エキジュツダンソク  
易術斷則 小1帙1冊  
著者未詳, 浪華隠士ト甫序

(1811) (1812)  
文化8官許, 同9序・刊

京 野田藤八(二条通富小路), 江戸 須原茂  
兵衛(日本橋一丁目), 大坂 浅野彌兵衛(高  
麗橋一丁目)

※藤屋浅野彌兵衛の「星文堂藏書目録」10丁を附  
す。

8-81ニ7 ほ四拾壹番 15銭

32568 サイケダン  
歳卦斷 中1冊

井田龜學「口授」・自序, 清水道勝凡例, 岡田某跋  
(1782) (1784) (1786)  
天明2自序, 同4凡例, 同6跋・刊

京 西村市郎右衛門(堀川通錦小路上ル町)・  
野田藤八(二条通富小路西江入町)・木村吉兵  
衛(東洞院通二条上ル町)

※「井田龜學先生著述目録」1丁あり。

8-82サ1 ち百拾五 10銭

32569 アデモノ ココロオボエ ヘイケモノガタリ  
射 覆 こゝろおほへ 平家  
物語

室町一扇著・自序 小1帙1冊  
(1817) (1819)  
文化14序, 文政2刊

江戸 英屋平吉(本石町十軒店)・竹川藤兵衛  
(日本橋通貳丁目)・山田佐助(兩國吉川町)  
・西村宗七(本石町拾軒店)・若林清兵衛(馬  
喰町三丁目)

※末尾に室町一扇の著作物の広告あり。

8-84ア1 ほ五十三番 15銭

32570 クワンテイレイセンミクジタイゼン  
關帝靈籤御闢大全 小1帙1冊  
(1725)

小野木の何某著, 鶴仙子序 享保10序・刊

京 天王寺屋市郎兵衛(寺町通五條橋詰町)  
※上記書名は序題による。はじめの5丁「關帝靈  
籤經題辭」あり。墨書題簽「關帝靈籤」。

8-84カ2 ほ五十貳 10銭

32571 シンバン ソウホ イダウベンエキ  
新 版 増補醫道便易 小1帙1冊

平澤隨貞著, 平澤左内校, 隨鳳平澤左仲跋, 逸名序  
(1770)  
あり 明和7序

京 簗屋勘兵衛, 大坂 藤屋彌兵衛, 江戸 須  
原屋市兵衛, 名古屋 永楽屋東四郎(本町通玉  
屋町)

※巻頭内題「醫道便易和解」。「平澤隨貞先生著述  
書」目録半丁, 「東壁堂藏版目録」1丁あり。

8-84ソ1 ほ四十三 10銭

32572 <sup>エキジュツムダン</sup> 易術夢斷 小1帙1冊  
片岡如圭基成著、釋貫（實力）道校・序、田龍輔校  
・附言 <sup>(1767)</sup> 明和4刊  
京 永田調兵衛（錦小路新町西江入所）  
8—84エ1 ほ四十式 15銭

32573 <sup>ホンケハヤミモクロク</sup> 本卦早見目録 小1帙1冊  
林生軒美伯著・自序・自跋 <sup>(1804)</sup> 文化元序・跋  
書肆不明  
8—84ホ1 は五拾六番 10銭

32574 <sup>ガウトウゾウホ</sup> 龍頭 <sup>エキガクセウセン</sup> 易学小筌  
廃棄  
10銭

32575 <sup>カサウヒロク</sup> 家相秘録 乾・坤 小1帙2冊  
正田慶明著・自序 <sup>(1782)</sup> 天明2刊、<sup>(1783)</sup> 同3序  
京 秋田屋平左衛門、江戸 山崎金兵衛、大坂  
藤屋彌兵衛（高麗橋一丁目）・泉屋卯兵衛  
（長堀心斎橋北詰）  
※乾冊見返しに家相の本5部を紹介する書込みあり。館内閲覧。  
8—82カ6 ほ七十巻 15銭

32576 <sup>エキジュツメウキヤウ</sup> 易術妙鏡 1冊  
所在不明  
8—81エ8 15銭

32577 <sup>シンセンインヤウハツケナラビニセウ</sup> 新撰陰陽八卦并抄 乾・坤  
中1帙2冊  
著者未詳 <sup>(1663)</sup> 寛文3刊  
書肆不明  
※墨書題籤「新撰八卦抄」。柱書「八卦抄」。  
8—84シ3 ち百〇貳番 30銭

32578 <sup>バイクワエキヤウチュウ</sup> 梅花易評註 中1帙1冊  
新井白蛾著、白純序 <sup>(1762)</sup> 宝暦12序  
江戸 山崎金兵衛（通本石町十軒店）、大坂  
浅野彌兵衛（高麗橋一丁目）  
※巻末に「星文堂蔵版目録」5丁あり。  
8—81ハ1 ち百〇九番 15銭

32579 <sup>コエキイツカゲン</sup> 古易一家言  
廃棄 15銭

32580 <sup>コエキセイギ</sup> 古易精義 中1帙1冊  
新井白蛾著・自序・自跋、森白淵序 <sup>(1751)</sup>  
寛延4自序・凡例、宝暦6序、同7自跋 <sup>(1756)</sup> <sup>(1757)</sup>  
江戸 <sup>(山)</sup> 崎金兵衛（本町 <sup>(石)</sup> <sup>(十軒)</sup> 店）、大坂 浅  
野彌兵衛（高麗橋一丁目）  
※「星文堂蔵版目録」5丁あり。  
8—81コ2 ち百拾三番 10銭

32581 <sup>コエキセイギシナン</sup> 古易精義指南 上・下 中1帙2冊  
新井篤光著、新井白蛾閱、眞勢彦右衛門序 <sup>(1798)</sup>  
寛政10序・刊  
江戸 北澤伊八（東叡山池之端）、京 野田藤  
八（二條通富小路西入）、大坂 浅野彌兵衛  
（高麗橋一丁目）、金沢 松浦善兵衛（堤町）  
※柱書「精義指南」。下冊末に料理書の目録半丁あり。  
8—81コ3 ち百拾四 25銭

32582 <sup>ゾウゾク</sup> 増 <sup>ボクゼイマウキヨウ</sup> 卜筮旨筌 上・下 小1帙2冊  
平澤隨貞「口授」、仲祇徳校・跋、隨運堂俊仍序 <sup>(1753)</sup> <sup>(1774)</sup>  
宝暦3序・跋、安永3刊  
京 簀屋勘兵衛、大坂 藤屋彌兵衛、江戸 須  
原屋市兵衛、名古屋 永楽屋東四郎（本町通玉  
屋町）  
※「東璧堂蔵板目録」1丁を附す。序のあとに  
「安永三年甲午初秋再増續訂正上梓而已」とあ  
る。  
8—81ソ2 ほ四十番全式 15銭

32583 <sup>ゾウホシヨシキ</sup> 増補 <sup>サウテイコウゲデン</sup> 諸色 相庭高下傳 小1冊  
玉江漁隠編・自序 <sup>(1801)</sup> 寛政13自序、享和元刊 <sup>(1801)</sup>  
大坂 藤屋彌兵衛（高麗橋一丁目）・小刀屋六  
兵衛（御堂筋瓦町）・塩屋長兵衛（北久太郎町  
心斎橋筋北へ入）・河内屋太助（唐物町心斎橋  
筋南へ入）  
※目録題「諸色相庭高下傳」、序題「高下傳」。投  
機に関する占い。  
9—64シ1 ほ四十九 10銭

32584 コエキサツビヤウデン 古易察病傳 中1帙1冊

紀州 便道著・自序, 金龍序, 門人田中谷水・(1798) 獻量凡例 (1800) 寛政10自序・序, 同12刊

名古屋 永楽屋東四郎 (本町通玉屋町), 江戸 北澤伊八郎 (東叡山池之端), 京 野田藤八郎 (二條通富小路西へ入), 大坂 浅野彌兵衛 (高麗橋壹町目)

※「東壁堂藏版目録」1丁あり。その目録に名を列ねる書肆は永楽屋の他に, 京 簗屋勘兵衛, 大坂 藤屋彌兵衛, 江戸 須原屋市兵衛。

8-84コ1 ち百六拾四 15銭

32585 ニンゲンイツシヤクワフクノウラナヒ 人間一生禍福卧 小1帙1冊

江匡弼文坡著・自序 天明元序・刊

大坂 吉文字屋市兵衛 (心齋橋南四丁目), 江戸 山崎金兵衛 (通本石町十軒店), 京 大和屋嘉右衛門 (寺町通錦小路上ル町)

※本文内題「法秤輕重貴賤命格人間一生禍福卧」。

8-84ニ1 ち百四十五 15銭

32586 エキガクセウセンシヤウイカウ 易学小筌象意考 中1帙1冊

國城山人便道 (紀州孤竜先生) 著・自序, 今城維禎 (1796) 序 (1808) 寛政8自序, 文化5序, 同9刊

名古屋 片野東四郎 (本町), 和歌山 田中平右衛門 (新町三丁目), 京 野田藤八 (二條通富小路), 大坂 浅野彌兵衛 (高麗橋壹丁目)

※序題いづれも「象意考」, 柱書「易學象意考」。「星文堂藏書目録」10丁を附す。

8-81エ5 ち百〇六番 15銭

32587 ココンハツケシフスイセウ 古今八卦拾穗抄 半1帙1冊

洛東隱士玄貞著 享保16刊

京 中野宗左衛門・西村太右衛門・藤屋治兵衛

8-82コ2 よ千九拾七 15銭

32588 カサウヅカイ 家相圖解 乾・坤 中1帙2冊

松浦久信著・自序 (寛政7), 松浦國祐校・序 (同 (1798) 10), 伊澤友應序 (同元), 犬飼谷六三郎序 (同10) (1798) 寛政10刊

江戸 西村宗七, 京 斎藤庄兵衛, 大坂 浅野彌兵衛 (高麗橋一丁目)・上田卯兵衛 (心齋橋北詰)・藤澤重兵衛 (同博勞町)

※題簽は「大惣」と刷られた紙に墨書。館内閲覧。

8-82カ2 ち百四拾貳番 20銭

32589 ビヤウサウルイサン 病相類纂 中1帙1冊

横山草醫長樂由章著・自序 (文化3), 源龍序, 活々堂晃序 (同4) (1807) 文化5刊 (1808)

京 鋤屋安兵衛, 伊勢津 山形屋傳右衛門

※図入り。

7-02ヒ11 ち百三十三番 15銭

32590 シウエキタンカイ 周易彖解 中1帙1冊

吉川祐三著・自序, 村上周青校 明和2序, 同3刊 (1765) (1766)

江戸 山崎金兵衛 (通本石町十軒店), 大坂

浅野彌兵衛 (高麗橋壹丁目)

※「星文堂藏版目録」5丁を附す。

8-81シ6 ち百拾叁番 20銭

32591 ネンヂユウウンキ シ ナン 年中運氣指南 中1帙1冊

岡本為竹一抱子著・自序 正徳4序, 同5刊 (1714) (1715)

京 中川茂兵衛 (姉小路通堀川東江入町)

8-82ネ1 ち百貳拾壹全 10銭

32592 カトラクシヨシヤウスウゼンシヨ 河圖洛書象數全書 半1帙1冊

著者未詳

写本

※題簽「河洛象數全書完」。

8-81カ3 よ千百壹全 10銭

32593 カシラガキダイザツシヨ 首書大雜書 1冊

廃棄

15銭

32594 ジンエキツウヘン 人易通變 八卦掌中指南鈔 一〜五

半1帙5冊

馬場信武著, 逸名序あり 元禄16序・刊 (1703)

京 教来寺

※全5巻。巻之一〜四の内題は「通變八卦掌中指南」。第五冊の内題は「秘密符法」。序題と柱書「八卦掌中指南」。第4冊末に「書梓風月堂」と書込みあり。図入り。

8-82ハ2 よ千八番全五 50銭

32595 サウヒロク 相秘録 半1帙1冊

浪華六休先生著, 門人湖晴館蘆月序 宝曆13序 (1763)

写本

※図入り。人相。

8—83ソ3 よ千九拾八番 15銭

エキソビゲン  
易種 センバフエウリヤク  
微言 占法要略 幹・支

32596

半1帙2冊

高松芳孫(貝陵)著、桃里木下辰序、西村應・山田正鶴・下村是義校  
(1830) (1831)  
文政13序、天保2刊

京「易蘇堂藏版」・吉田屋治兵衛(二條通堺町)、江戸和泉屋庄次郎(浅艸新寺町)、名古屋永樂屋東四郎(本町七丁目)、大坂藤屋彌兵衛(高麗橋壹丁目)

8—84セ3 よ千六拾貳全式 20銭

レイカン  
靈 観音籤三十二卦占  
クワンオンセンサンジフニケノウラナヒ

32597

大1帙1冊

厚見道純著・自序、黄葉晦岩序

(1694)  
元禄7序

書肆不明

8—84カ1 よ千七拾壹全壹 20銭

ダイシヤウクワンギテンシチダイリヤクセウ  
大聖歡喜天 六十四籤  
七大力益抄 ロクジフ シセン

32598

半1帙1冊

豊南修真言士直至老人著・自序、坂陽清信士某甲跋  
(1766) (1767)  
明和3序、同4刊

大坂石原茂兵衛(心齋橋南一丁目)

※内題「大聖歡喜天六十四籤」、柱書「六十四籤」。

8—84タ1 よ千六拾九全壹 15銭

テンダクレイカクワンオンセン  
天竺靈感観音籤

32599

半1帙1冊

著者未詳、三竿軒一任子跋

(1662)  
寛文2跋

書肆不明

※跋に「濃州大慈山小松寺之正本ヲ以テ校正ス」と言う。表紙に「㊥番」の小札あり。

8—84テ1 よ千六拾七 10銭

シユシヨホチユウ  
首書 テンモンハツ ケセウ  
補注 天門八卦鈔

32600

半1帙1冊

著者未詳

(1685)  
貞享2刊

京中村孫兵衛(高辻通鷹金町)

※巻上内題「天門八卦秘傳鈔」。巻下内題「首書天門八卦秘傳鈔」。図入り。書込み多し。丁附からみて、原体裁2冊を合綴したか。

8—82テ1 よ千四拾三 15銭

テンガクモンダフセフケイロン

32601 天學問答捷經論

半1帙1冊

著者未詳

(1842)  
天保13刊

「八木藏板」(柱書)、京近江屋佐太郎・中尾三衛門

※内題は「天学初学問答」。別名「大略天学名目抄」。

6—04テ3 よ千百番全壹 10銭

ニチヨウレキダン

32602 日用曆談

半1帙1冊

小林隨景著・自序

(1748) (1749)  
延享5序、寛延2刊

「隨景門峰松軒藏版/欣榮軒安雅繡梓」、名古屋藤屋傳兵衛(本町通)

6—04=2 よ千七拾五全壹 15銭

シンコク コレキベンラン

32603 新刻古曆便覧

半1帙1冊

中根元圭著・自跋、江南蘆濟序

(1685) (1687) (1732)  
貞享2序、同4自跋、享保17刊

江戸清兵衛店、京梅村彌右衛門

※末尾に「小倉氏藤性董」なる署名と「小倉」「東晉川」の朱印あり。凡例の題は「新撰古曆便覧」、柱書は「新撰古曆」。享保18以降の曆は一部墨書で、宝暦6以降は半紙を追加して曆を記入している。

6—04シ6 よ千八拾四番全 15銭

ウンキ  
運 ニチヨウセイ ウ ベンラン

32604 氣 日用晴雨便覧

半1帙1冊

北勢山田住延寿軒紙盛子著・自序・自跋、東王山主  
(1715)  
浮木序 正徳5序

書肆不明

※跋中に本書を「日用晴雨辨覧」と記す。

8—82=2 よ千七拾貳全壹 15銭

カイセイクワウエキ

32605 改正 廣益 新撰八卦大全秘密箱

シンセンハツ ケ タイゼン ヒ ミツバコ

半1帙1冊

周ト著・自序

(1748)  
寛延元序・刊

京菊屋七郎兵衛・菱屋治兵衛・河南四郎右衛門・風月庄左衛門

※絵入り。終丁オモテは裏見返しに刊記とともに切り貼りされている。

8—82シ3 よ千四拾貳 20銭

- 32606 カサウヒツヨウ 家相 必用 ハウカンセイ ギタイセイ 方鑒精義大成 乾・坤 半1帙1冊  
松浦東鷄久信著・自序，同國祐校，菊谷葛陂古馮序，  
晁觀公達甫序，季子明喬「追加」  
(1802) (1803) (1804)  
享和2自序，同3序（菊谷・晁觀），同4刊  
京 著屋儀兵衛（三条通御幸町），江戸 山城  
屋佐兵衛（日本橋四日市），大坂 敦賀屋九兵  
衛（心齋橋通南二丁目）・藤屋弥兵衛（高麗橋  
通一丁目）・河内屋八兵衛（心齋橋通南久宝寺  
町）  
※坤冊末に河内屋の「崇高堂藏板目錄」1丁あり。  
8—82ホ5 よ千五拾貳全貳 20銭

- 32607 ゼモンケウジュ 図説 教授 カサウタイゼン 家相大全 上・中・下 半1帙3冊  
松浦久信著・自序，松浦國祐校，南部正宣序，八木  
為貞跋  
(1800) (1801) (1802)  
寛政12自序，享和元序・跋，同2刊  
江戸 北沢伊八（東叡山池之端），京 能勢儀  
兵衛（寺町三条下町），大坂 上田卯兵衛  
（心齋橋北詰）・菅利助（心齋橋通安堂寺町）・  
北尾善七（高麗橋一丁目）・浅野弥兵衛（同町）  
※各卷内題・各序題・跋題「家相圖説大全」。下  
冊末に「松浦東鷄先生同泉隣先生著述目錄」半  
丁あり。  
8—82カ4 よ千三拾三全三 30銭

- 32608 シウエキアラ キ キキガキ 周易新井聞書 半1帙1冊  
写本  
※裏見返しに「新井翁聞書／野間氏」と記す。  
8—81シ4 よ千九拾三全壹 30銭

- 32609 サウハフ ヒケツ 相法秘訣 半1帙1冊  
菅沼穀風著，住田元端校，那波祐昌序  
(1751) (1752)  
宝暦元刊，同2序  
京 梅邨三良兵衛・藤澤三良兵衛，大坂 松村  
九兵衛  
※図入り。朱の書込みあり。  
8—83ソ4 よ千七拾七全壹 25銭

- 32610 ケ カウモンダフ 卦文問答 卷上・卷下 半1帙2冊  
平澤隨貞著，菅原俊仍録・序，北敬堂主人跋，一貫  
齋滋野幸當校  
(1753)  
宝暦3序・跋

- 「莫辰樓藏版」，江戸 小倉屋金兵衛（本石町  
四丁目大横町）  
※表紙改装。墨書題策・内題「ト筮卦文問答」。  
卷下末に「隨貞先生述作書目」半丁あり。  
8—81ホ1 大惣番号不明 30銭  
チリフウスイ 地理 カサウイチラン  
32611 風水 家相一覽 乾・坤 半1帙1冊  
松浦琴鶴著・自序，全男逸成・逸順校  
(1833) (1834)  
天保4序，同5刊  
京 田中屋專助，大坂 井筒屋和助・藤屋弥兵  
衛・河内屋喜兵衛・藤屋善七・藤屋徳兵衛  
8—82カ1 よ千五拾八全貳 25銭

- 32612 ジュルイサンカウ 聚類 参考 バイクワシンエキシャウチュウシナン 梅花心易掌中指南  
壹～五 半1帙5冊  
郡康節原著，時習齋源（馬場）信武著・自跋，泉田  
梅翁序  
(1696) (1697) (1751)  
元禄9序・跋，同10初刊，寛延4刊  
京 永田調兵衛（錦小路通新町西へ入町）・上  
坂勘兵衛（四條通越屋町東へ入町）  
※柱書「掌中指南」。第3・4冊見返しに墨書の  
目錄紙片が貼られている。  
8—81ハ3 よ千九番全五 40銭

- 32613 コエキダン ジゲン 古易斷時言 元・亨・利・貞 半1帙4冊  
新井白蛾著・自序，葛陂高道昂伯起序，田中白賁跋  
(1769) (1771)  
明和6自序，同8序・跋・刊  
大坂 星文堂（藤屋淺野彌兵衛）（高麗橋壹町  
目）  
※貞冊末に「星文堂藏版目錄」4丁あり。  
8—81コ5 よ千貳拾六全四 60銭

- 32614 ハツ ケ タイカウモク 八卦大綱目 乾一・兌二・離三・  
震四・巽五・坎六・艮七・坤八 半1帙7冊  
渡部東伯秀當著  
(1715)  
正徳5刊  
京 終屋伝兵衛（四条坊門通高倉西入町）  
8—84ハ1 よ千三番全七 75銭

- 32615 サウハフシウシンロク 相法脩身録 一～四 半1帙4冊  
水野南北著・自序，青霄小谷宗清跋  
(1812) (1813)  
文化9序・跋，同10刊  
京 勝村治右衛門（寺町松原下町），江戸  
須原屋伊八（東叡山池之端），大坂 敦賀屋九

兵衛（心齋橋南一丁目）・扇子屋利助（中橋通瓦町）

※柱書「南北相法極意一〜四」序題「南北相法極意抜粹」巻之二・三巻頭内題「南北相法脩身録」。

8-83ナ1 よ千貳拾三全四冊㊦ 40銭

32616 <sup>コエキセンビヤウキハン</sup> 古易占病軌範 乾・坤 半2冊  
井上主殿教親著・自序（文化13）<sup>(1816)</sup> 男觀國孟光校・跋（同14）<sup>(1817)</sup> 井上鴻齋亮重凡例（同13）<sup>(1812)</sup> 關重季序（同9）<sup>(1819)</sup> 佐和世魚序（同13）<sup>(1819)</sup> 木場好古附言（同13）<sup>(1819)</sup> 文政2刊

京 植村藤右衛門、江戸 須原屋伊八・前川六左衛門、加州 八尾屋喜兵衛、大坂 藤屋彌兵衛（藏板）、名古屋 永楽屋東四郎（藏板）

※巻頭内題及び柱書「占病軌範」。

8-84セ2 よ千四拾九全貳 20銭

32617 <sup>ベンモウセフケイ</sup> 便蒙 捷徑 <sup>コエキセン</sup> 古易筮 乾・坤 半1帙2冊  
山田美番著、徽猷山人序、永澄永昌校 <sup>(1812)</sup> 文化9序・刊

大坂 浅野弥兵衛（高麗橋一丁目）

※坤冊末に「星文堂藏版目録」5丁あり。

8-81コ4 よ千四拾五 25銭

32618 <sup>グワエキレイカン</sup> 晝易靈鑑 半1帙1冊  
邵堯夫著 <sup>(1701)</sup> 元禄14刊

京 中村七兵衛（五條醒井）

※巻之上・巻之下より成る。

8-81カ2 よ千七拾番全壹 15銭

32619 <sup>シウエキシヒジ</sup> 周易著秘事 半1帙1冊  
松聲軒津高嘉琴著・自序 <sup>(1678)</sup> 延宝6序・刊

京 中川茂兵衛（姉小路通堀川東へ入町）

※上・下2巻より成り、各巻頭内題「易著秘事」。

8-81ニ24 よ千六拾六㊦ 15銭

32620 <sup>ガサウゼンショ</sup> 家相全書 上・下・附録 半1帙3冊  
長田葉雀著・自序、皆川愿序、樗道人角浅跋 <sup>(1803)</sup> 享和3自序、文化元序・跋 <sup>(1804)</sup>

書肆不明

※序の一部と附録冊最終丁破損。画入り。内題「家相圖解全書」。

8-82カ3 よ千三拾四全三 35銭

32621 <sup>チヨウテイコレキベンランビカウ</sup> 重訂古曆便覽備考 一〜三 半1帙3冊

苗村丈伯著・自序 <sup>(1692)</sup> 元禄5序・刊

大坂 伊丹屋太郎右衛門、京 吉野屋次郎兵衛・大和屋勘七郎

※上記書名は内題による。第1・2冊の原題簽は

「授時曆考 古曆便覽備考 元禄改正」<sup>(1692)</sup>、第3冊原題簽は「年筭節要 古曆便覽備考」。各冊第1丁に「義湛」<sup>(1692)</sup> 曆卜捷徑の印あり。

6-04シ4 よ千貳拾七全三 20銭

32622 <sup>ワカン</sup> 和 <sup>ハツケシヨセウタイセイ</sup> 漢 八卦諸鈔大成 一〜四 半1帙4冊

岡村氏巳東軒著・自跋、下邨玄壽序、秦和閑序 <sup>(1694)</sup>

元禄7序（いづれも）・跋、同8刊 <sup>(1695)</sup>

京 小佐治半右衛門（堀川通本國寺前）、大坂 古本屋清左衛門（心齋橋筋）、江戸 藤屋三郎兵衛（東叡山黒門前）

※各巻内題「和漢八卦諸抄参考大成」柱書「八

卦大成」（序および目録部分）、「八卦集註」（本文部分）。

8-82ワ1 よ千貳拾五全四 1円

32623 <sup>セイメイ</sup> 清 <sup>ツウヘンセン</sup> 明 通變占 一（秘傳卷）・二〜五 半1帙5冊

（卜詩）<sup>(1686)</sup> 貞享3刊

管天子著・自跋

京 風月堂（二条通観音町）

※第1冊初丁には「清明通變占 又云神明通變占」とある。絵入り。

8-84セ1 よ千七番全五 55銭

32624 <sup>リツヘウソクケイ</sup> 立表 測景 <sup>レキジツゲンカイ</sup> 曆日諺解 半1帙1冊

柳精子著 <sup>(1789)</sup> 寛政元刊

江戸 蔦屋重三郎（常盤橋御門本町筋下ル八丁目通油町）

※図入り。柱書「曆日詳解」。

6-04レ2 よ千七拾四全壹 10銭

32625 <sup>シンコク</sup> 新 <sup>シュミセンノヅカイ</sup> 刻 須彌山圖解 半1帙1冊

高井蘭山著・自跋、富家恭序 <sup>(1809)</sup> 文化6序・跋

江戸 星運堂花屋久次郎（下谷竹町）

※原題籤は「<sup>改</sup>正須彌山圖解」。表紙「中四十式番」の小札あり。32555参照。「高井蘭山先生著書」目録1丁半あり。

1—26シ9 よ千九拾九全 15銭

ザウセウ  
像 ニンサウコカガミタイゼン  
抄 人相小鑑大全

32626 半1帙1冊

喜多村氏江南軒著，難波山人序

(1684) (1684)  
天和4序，貞享元刊

江戸 山崎金兵衛，大坂 敦賀屋九兵衛（心齋橋南一丁目）

※末尾に敦賀屋の「文海堂藏版豫願目録」1丁半あり。

8—83=1 よ千七拾八全 20銭

ニチヨウセイ ウ ベンラン ・ ニンサウ ツ カイ  
日用晴雨便覧・人相圖解

32627

半1帙1冊

（日用晴雨便覧）延寿軒紙盛子著・自序，東王山主  
浮木序

（人相圖解）著者・成立年未詳

写本

8—83=2 よ千九拾壹合壹 15銭

ハチモントンカフ ヒ ケツ  
八門遁甲秘訣

32628 半1帙1冊

水野政和著

写本

※図入り。朱筆を交える。

8—82ハ3 よ千九拾六全 20銭

バゼンカレイ  
馬前詞禮

32629 半1帙1冊

著者未詳 寛文6刊

京 福田市右衛門（二条通烏丸東へ入ル町）

※裏見返しに「不合之時」などの書込みあり。墨書題籤に「錢ニテ占」と書込みあり。

8—84ハ4 大惣番号札剝落か 15銭

キンギンカイウン  
金銀 開運 筭篋内傳

32630 半1帙1冊

安天星名著・自序，芦屋高慢序 安永9自序・刊

書肆不明

※内容は戯文。絵入り。伊勢屋忠兵衛の印あり。

4—25オ1 そ千七拾六全 5銭

ハウテンカン ・ ハウチ カン

32631 方天鑑・方地鑑（上・下）

大1帙2冊

著者未詳

写本

8—82ホ10 よ千五拾六全式 20銭

ホ キ ザツ ショ  
籠篋雜書

32632 半1帙1冊

著者未詳

写本

※「右一條以岡部河内守一徳本書寫／文化三正月／検校保己一」との奥書あり。裏見返しに「増補改暦／人正菴三笑」と記す。大惣印なし。

8—82ホ1 大惣番号札原欠 10銭

サウガクハツ キ

32633 相學發揮 天・地・□（禮・智・□）

大1帙3冊

野田元隆長勝著・自序，橋元周序

(1777) (1778)  
安永6自序，同7序・刊

京 梅村三郎兵衛（寺町通松原下ル町）・林權兵衛（間町通御池上ル町），大坂 松村九兵衛（心齋橋一丁目），江戸 前川六左衛門（日本橋南三丁目）

※第3冊題籤剝落。第1冊本文前に「相法神心論要言五條」（吉田素琴・中村梅山述）あり。各巻内題は「神心論相學發揮」。大惣番号札にある『相法神心論』2冊は不明。

8—83ソ1 け拾七番相法神心論共五冊 50銭

ハツケサンミツリヤク ゲ セウ  
八卦三密略解鈔

32634

横（13.0×18.8cm）1帙1冊

慧明著，謙亭小宮山昌世君延序 明和2序・刊

江戸 前川権兵衛（本石町三丁目）

8—82ハ1 ち百拾八番 15銭

エキセン ヒ ケツ

32635 易占秘訣 乾・坤

大1帙2冊

熊阪定濟伯美著・自序，熊阪秀君實校・序

(1777) (1796) (1798)  
安永6自序，寛政8序，同10刊

江戸 北澤伊八郎（東叡山池之端），京 野田藤八郎（二条通富小路西）・渋谷川左衛門（順慶町五丁目），大坂 浅野彌兵衛（高麗橋壹丁目）

※乾冊見返しには「悦齋／杉山眞雄藏」，坤冊見返しには「室小路花榮／菅原愛雄藏」と書込み



あり。

8—81ニ10 け五拾毫全式 30銭

書肆不明

4—23メ2 大惣番号札剝落 10銭

32636 シウエキジヨクワダンパフ  
周易序卦斷法 乾・坤 半1帙2冊  
(1824) (1825)  
高松辰策著・自序 文政7序、同8刊  
「平安 易蘇堂藏版」京 植村藤右衛門、江  
戸 須原屋伊八、大阪 藤屋弥兵衛  
※柱書「序卦断法」。

8—81シ5 よ千五拾九全式 20銭

32641 サンカヒヤクシュ  
山家百首 大1帙1冊  
(1812)  
文化9写

写本（源常安写）

4—23ヤ2 れ百廿毫 10銭

32642 カモノチヤウメイシフ  
鴨長明集 半1帙1冊  
書肆・刊年不明

※初丁に「上下合本全部也」と書かれた小札あり。

4—23カ5 れ九拾三番 20銭

## 歌 書

32637 サイギヤウホフシ カシフ  
西行法師家集 一〜(四) 半1帙4冊  
(1674)  
僧西行著 延宝2刊

永田長兵衛

※第1冊春・夏、第2冊秋・冬・恋、第3・4冊  
雑。

4—23サ2 大惣番号札剝落 30銭

32638 シンタマツ シマホウナフ ワ カ  
新玉津嶋奉納和歌 一〜三  
半1帙3冊  
(1719)  
享保4写

写本（藤原章伊写）

※第1冊巻頭に「享保四年六月二十七日／新玉津  
嶋社奉納和歌」巻尾に「享保四<sub>二</sub>年十一月十  
三日／社頭森川右兵衛 藤原章尹」とある。

4—23シ14 れ百十一番全三冊 25銭

32639 コキンワ カシフジヨキギガキ  
古今和歌集序聞書 半1帙1冊  
(1733)  
享保18写

写本（浄賢寺住定演写）

※『古今秘伝集』の内の一部を写したと『国書総  
目録』にいう。巻末に、古今和歌集仮名序・真  
名序の本文を附す。仮名序・真名序には、朱の  
句点あり。

4—23コ8 れ百十八 10銭

32640 メイシヨワ カタンボンキウゲンセウ  
名所和歌探本求源抄 上・下  
半1帙2冊を合綴1冊  
(1689)  
元禄2序  
羽田不威著・自序

32643 コキンワ カシフデンジュ  
古今和歌集傳授 半1帙1冊  
写本

※巻頭内題「古今和歌集傳授切紙」。虫損。

4—22コ4 れ百廿四 30銭

32644 スミヨシヒデンノマキ  
住吉秘傳巻 半1帙1冊  
(1761)  
室暦11写

写本

※紫霞齋前因（辻久五）が摂州住吉安立町筆工貞  
堂老人より傳受を受けた書が更に「予」へ伝え  
られたもの。

4—22ス2 れ百廿五 10銭

32645 イウサイヲウキギガキ  
幽斎翁聞書 上・下  
半1帙2冊を合綴1冊  
(1717)

佐方宗佐著・自序、有賀長伯校・跋 享保2刊  
京 萬屋作右衛門

※柱書「幽斎公聞書」。大藏卿二位法印口述、佐  
方宗佐筆録の書を廣澤長孝が筆写、長孝自筆の  
本を長伯が校合して、刊行したと、跋文にいう。

4—22コ1 れ七拾番 10銭

32646 テイカキヤウタカウタ  
定家卿鷹歌 三百六十首  
大他1冊と合1帙1冊  
(1636)  
藤原定家詠 寛永13刊

書肆不明

※巻頭内題「鷹三百首」。柱書「鷹」。32647と合  
帙。

4—23タ1 大惣番号札剝落 10銭

- 32647 サイランジタカウタ  
西園寺鷹歌 一百首 大他1冊と合1帙1冊  
(1636)  
西園寺公経詠、実兼注 寛永13刊  
書肆不明  
※巻頭内題「鷹百首」。柱書は「鷹西」。32646と  
合帙。  
4—23タ2 大惣番号札剥落 10銭

- 32648 ギョクワイワ カ  
御會和歌 延享貳年 半1帙1冊  
(1745)  
延享2成  
写本  
※延享二年正月の和歌御會始から同年六月聖廟御  
法案に至るまでの御會和歌記録。  
4—23エ2 れ百〇四番 10銭

- 32649 キンゴチャクタウヒナクシユ  
院御着到百首 半1帙1冊  
(1720)  
享保5成  
写本  
※扉に「享保五年／院御所御着到百首 第二度」と  
ある。  
4—23キ4 れ百六番全 10銭

- 32650 ゲンロクギョクワイワ カ  
元禄御会和歌 半1帙1冊  
(1691~1715)  
元禄4～正徳5成  
写本  
※全巻に亘り補訂多数あり。天満宮御法楽・玉津  
嶋御法楽・天満宮御法楽・御當座・元禄九年仙  
洞御会・□年仙洞御会始・元禄十年内裏御会  
始・仙洞御会始 元禄十一年・公宴和歌御会始  
・仙洞和歌御会始 正徳五年より成る。見返し  
の紙背に「近代和歌」とある。  
4—23ケ1 れ百〇五番 10銭

- 32651 マンギンシフ  
漫吟集 乾・坤 半1帙2冊  
上巻僧契沖詠、下巻賀茂真洩詠  
(1681) (1775)  
延宝9成、安永4写  
写本（林眞榮写）  
※各巻頭・巻末に訂正・書込みあり。上巻巻頭は  
「漫吟集 延宝九年四月十八日  
沙門契沖四十二歳自集」とある。下巻巻頭  
は「萬吟集坤之巻賀茂真洩哥集」とある。下巻  
巻末は「釈契沖」を消して「萬吟集終」とな  
おす。不審紙あり。乾冊表紙「上巻契沖／下巻真  
洩」の小札あり。上巻末に書写者の識語あり。  
4—23マ3 れ百三十一 15銭

- 32652 ナンザウザンシフ  
難藏山集 大1帙1冊  
(1782)  
小沢蘆庵著・自序・自跋 天明2成  
写本  
4—22ナ2 れ百拾七番全 10銭

- 32653 ギョクワイワ カ  
御會和歌 上・下 半1帙2冊  
(1720) (1725)  
享保5成、同10写

写本  
※各冊末に旧藏者印あり。享保五年正月十七日よ  
り同年十二月二十一日までの御会記録。上巻末  
に「中院大納言通躬卿より来由」と記す。  
4—23キ3 れ百貳番 10銭

- 32654 コキンワ カシフキキガキ  
古今和歌集聞書 半1帙1冊  
(1785)  
天明5写  
写本（中川常香写）  
※題簽に「れ百」と書込まれている。巻末に「古  
今注一部／冷泉流之相傳」とある。識語に藤原  
實光藏書を借りて中川常香が写したという。  
4—23コ7 れ百十九番 10銭

- 32655(1) ダイゴハナアソビモノガタリ  
醍醐花遊物語 半1帙(2)(3)と合綴1冊  
写本  
※成立年未詳。巻頭内題「秀吉公醍醐花見之事」。  
(2)(3)と合綴。  
4—30タ2 れ百廿八 (2)(3)共15銭

- 32655(2) シヤウゲンケ ゴビヤウブ ワ カ  
將軍家御屏風和歌 半1帙1冊  
(1739)  
通躬・光栄・公福・為久詠 元文4成  
写本  
4—30タ2

- 32655(3) トヤマノ ハル  
戸山のはる 半1帙1冊  
(1793) (1803)  
佐野義行著 寛政5成、享和3写  
写本  
4—30タ2

- 32656 ワ カシヨクゲンセウ  
和歌職原鈔 一～五 半1帙5冊  
今出川晴季著（序による）、逸名序あり、万里巷隱  
子「追加序」  
(1687)  
貞享4序  
書肆不明  
※『国書総目録』によれば吉田定俊編。第4・5  
冊は「追加」。追加にのみ絵入り。

一 歌

2-0371 そ八百六拾七番 30銭

32657 <sup>タメイヘシフ</sup> 為家集 一〜八 (春・夏・秋・冬・戀・  
雑上・雑下・一百首) 半1帙8冊  
藤原為家詠 元禄7刊 (1694)  
京 出雲寺和泉掾 (三條通升屋町)  
4-23タ5 れ十四番全八冊 35銭

32658 <sup>ホ ムキノヤシフ</sup> 穂向屋集 4冊  
廃棄  
35銭

32659 <sup>モミチアハセ</sup> 紅葉合 大1帙1冊  
著者未詳  
写本  
※物語。「室町末、天正頃の写か」と徳江元正氏  
推定。「同内容にて『玉水物語』を称するもの、  
国文学研究室 (頼原文庫本、白描絵入本)・図  
書館 (江戸中期以降の写、奈良絵本をうつせる  
ものか)・天理図書館 (写本) などに存す」と  
いう (挟み込みメモ)。『国書総目録』には「玉  
水物語」の項に所載。  
4-30モ1 大惣番号札剥落 15銭

32660(1) <sup>ニ セイ ワ カチユウ</sup> 二聖倭歌注 大1帙(2)(3)と合綴1冊  
下河邊長流著、圓慈序、頭陀野鴨子跋 (1667) (1788)  
寛文7跋、天明8序  
書肆不明  
※序題「神仏二聖和歌注」。聖徳太子の片岡歌に  
ついての注釈書。  
4-23シ15 大惣番号札剥落 (2)(3)共15銭

32660(2) <sup>コ キンサウデン ノ シ ダイ</sup> 古今相傳之次才  
写本  
※「三重」から「七重」まで。目録にしるす「初  
重・二重」を欠く。天和3の「宗明判／律梵益  
御房」,「漁陽子宗明」の極め書あり。旧蔵者  
「王華園」の朱印あり。  
4-23シ15

32660(3) <sup>ダウジャウガタワ カシフ</sup> 堂上方和哥集  
写本  
※巻末に「講師 爲香朝臣／題者 民部卿／奉行 光栄」  
とある。

書 一

4-23シ15

32661 <sup>ワ カンラウエイシフ</sup> 和漢朗詠集 上・下 大2冊  
藤原公任撰 寛文13初刊 (1673)  
京 中村七兵衛 (=初刊)・菊屋七郎兵衛 (寺  
町通松原上ル西側) (=再刊)  
※見返しに朱で「因六百廿五号／二冊」と書込み  
あり。巻末に2丁の菊屋七郎兵衛「假名本抜書  
目録」あり。「鈴木重孝藏書」朱印あり。  
8-4371 大惣番号札剥落 15銭

32662 <sup>ワ カシヨクモツホンザウ</sup> 和歌食物本草 卷之上・卷之下  
大1帙2冊を合綴1冊  
編者未詳 寛永7刊 (1630)  
書肆不明  
※裏見返しに旧蔵者の書込みあり。7-0971に  
寛永19の改刻本あり。  
7-0972 け式百八拾卷合 30銭

32663 <sup>サン カシフ</sup> 山家集 上・下 大1帙2冊  
西行詠 刊年不明  
京 風月荘左衛門 (二條通衣棚)  
※上冊表紙に「歌集」(朱)の小札あり。各巻頭  
内題「山家和歌集」。  
4-23サ4 ふ式百四拾八 全式 50銭

32664 <sup>ワ カダイリンセウ</sup> 和歌題林抄 上・下 大1帙2冊  
能因法師編、慶融奥書 (弘安10), 日野光継奥書  
(天文3), 大宮英季奥書 (宝暦7), 槍溪居士序 (1757)  
宝暦7刊 (1534)

大坂 平瀬新右衛門 (大坂船町)  
※上記の正本奥書は、上冊本文前に置かれている。  
見返しに「能因法師編輯／大宮正三位 英季卿御校  
正」とある。原題簽には角書「能因／法師」あ  
り。

4-2371 ふ三百三拾六全式 15銭

32665 <sup>フデガゴヒヤクシユセウ</sup> 藤川五百首鈔 大1帙1冊  
藤原定家・藤原為家・藤原為定・阿佛尼・三条西実  
隆詠、編注者未詳、逸名序あり 寛文7刊 (1667)  
西脇半兵衛  
※表紙に「哥」他3枚の小札あり。

4-2372 ふ式百六十卷全 30銭

32666 サウエフシフ 霜葉集 上・下 大1帙2冊  
藤原(河辺)清意編・自序, 平常操跋  
(1822)  
文政5序・跋

写本

※扉ウラに「因一一八五／二冊」(朱)の書込みあり。当代歌人の作を10巻(四季・羈旅・恋・雑)に分けて編集したもの。

4-23ソ5 大惣番号札原欠か 20銭

32667 ゴミツノヲキンギョセイシフ 後水尾院御製集 上・下(乾・坤) 大1帙2冊

後水尾院詠

写本

※本文巻頭内題「後水尾院御歌集」。上冊表紙に「哥」の小札あり。

4-23コ14 ふ式百八十三 35銭

32668 コキンワカシフヒナコトバ 古今和歌集ひなことは 一・二 大1帙2冊

尾崎雅嘉校注・自跋

書肆・刊年不明

4-23コ10 大惣番号札原欠か 45銭

32669 ナイシドコロゴホフラク センシユワカ 内侍所御法楽 千首和歌 大1帙1冊  
桜町天皇勅撰 宝暦9写

写本

※奥書にいわく「右千首和歌為 内侍所御法楽／櫻町帝勅選也／寶暦九己卯年六月写之(朱印)」。

4-23ナ1 ふ式百八十九 15銭

32670 コキンデン 古今傳 特大(29.4×21.0cm) 1帙1冊  
写本

※墨書題簽の右の後補題簽に「古今集傳授」とある。表紙に「哥」の小札あり。

4-22コ2 ふ三百八拾四 15銭

32671(1) シュガクキンゴカウノキ 修学院御幸之記

半1帙(2)(3)と合綴1冊

加茂直兄著

(1824)  
文政7成

写本

※「御幸三記」(題簽下部)の内。大野屋の半紙を使用。表紙に「歌」「修学院御幸之記」の小札あり。

4-30キ2 四番 (2)(3)共15銭

32671(2) アンゲンオンガノキ 安元御賀之記

藤原隆房著

写本

※「御幸三記」の内。安元2の記事。

4-30キ2

32671(3) キタヤマギヤウカウキ 北山行幸記

藤原経嗣著カ

写本

※「御幸三記」の内。

4-30キ2

32672 コキンワカシフキリガミ 古今和歌集切紙 半1帙1冊  
(1763)  
宝暦13写

写本(松田主馬亮写)

※大野屋の半紙を使用。

4-22コ1 大惣番号札原欠か 15銭

32673 セイアセウ 井蛙抄 壹~四・五六 大1帙5冊  
(1648)  
頓阿著 慶安元刊

書肆不明

※表紙に「哥」「千三百四十三」の小札あり。第1冊はじめの2丁は書写による補修。各冊見返しに「守貞」なる書込みあり。

4-22セ1 ふ式百拾卷全五 35銭

32674 キヤウゴクテユナゴンゴヒヤクワイキ ツイゼンワカナラビニシ 京極中納言 追善和歌并詩 大1帙1冊  
(1740)

柳沢吉里等詠

写本

※巻頭には「元文五年八月二十日 京極前中納言五百回忌追善和歌 宗家勸進」とある。巻末には「元文五年八月二十日 京極黄門五百回忌追善」とある。表紙に「哥」の小札あり。

4-23キ2 ふ式百八拾五 15銭

32675 ウキヤウノダイブカシフ 右京大夫家集 上・下 大1帙2冊  
(1438)  
建礼門院右京大夫詠, 藤原利永奥書 永享10奥書  
書肆・刊年不明

※上冊表紙「建禮門院の御集也全貳冊」と書かれた小札あり。下冊表紙改裝, ただし原題簽は残

している。

4—23ウ1 ふ式百四拾式全式 25銭

32676 <sup>ワ カ モンダフ</sup> 和歌問答

特大 (27.5×20.3cm) 1帙1冊

藤原清輔著

写本

※「奥儀抄」の抄録。表紙に「哥」の小札あり。

4—22ワ10 ふ三百八拾式 10銭

32677 <sup>サンブセウノセウ</sup> 三部抄之抄 百人一首上・下 (乾・坤)

特大 (27.7×18.6cm) 1帙2冊

書肆・刊年不明

※『三部抄之抄』(5巻5冊)のうちの2冊。内題は「小倉山荘色紙和哥抄」。上冊表紙に「哥千百七十九」の小札あり。

4—23サ6 ふ百拾七全式冊 20銭

32678 <sup>シヨガクワカシキ</sup> 初學和歌式 一〜七 半1帙7冊

有賀長伯著・自序 正徳3刊

京 中野六右衛門, 江戸 須原茂兵衛, 大坂 柏原清右衛門

※各冊題簽下部に「讀方／詞寄」とある。

4—22シ4 れ十七全七 30銭

32679 <sup>ワカセウヒデン</sup> 和哥抄秘傳 半1帙1冊

(1667) 寛文7奥書

写本

※奥書に「寛文七年<sup>丙</sup>九月上旬／淺井一團齋判／和哥抄秘傳」とある。

4—22ワ4 大惣番号札原欠か 20銭

32680 <sup>サクラマチキンギョシフ</sup> 櫻町院御集 半1帙1冊

桜町天皇詠

写本

※題簽剝落, 書名は表紙に打ちつけ書。

4—23サ3 れ百十番 20銭

32681 <sup>ギョクワイワカ</sup> 御會和歌 天・地 半1帙2冊

(1741) 寛保元成

写本

※元文6年正月より寛保元年12月までの御会記録。

題簽下部に天冊は「自元文六年正月至六月」,

地冊は「自寛保元年七月至十二月」と書込まれ

ている。

4—23カ6 れ百・三番全二 15銭

32682 <sup>ワカロクブセウ</sup> 和歌六部抄 一〜六 半1帙6冊

刊年不明

林和泉掾

※各冊の内容を題簽に記している。一「和哥式(定家卿)」, 二「正風体抄(定家卿)」, 三「和哥庭訓(定家卿)」, 四「八雲口伝(為家卿)」, 五「和哥口傳(阿佛)」, 六「近來風体抄(摂政良基公)」。

4—22ワ11 大惣番号札剝落 40銭

32683 <sup>ムラサキシキブカシフ</sup> 紫式部家集 上・下 半1帙2冊

紫式部詠, 加藤虚卿序, 田中氏村栄跋 (1696) 元禄9序・刊

江戸 秋田屋十兵衛

※上冊表紙に「言」の小札あり。

4—23ム2 れ七十五全式 30銭

32684 <sup>キンカイワカシフ</sup> 金槐和歌集 上・下 半1帙2冊

源実朝詠 (1687) 貞享4刊

北村四郎兵衛

4—23キ20 れ七拾八番全式冊 50銭

32685 <sup>テイカワカフウテイセウ</sup> 定家歌風体抄 上・下 半1帙2冊

伝藤原定家著 (1697) 元禄10刊

江戸 万屋清兵衛

※『国書総目録』には「桐火桶」の項に所載。絵入り。「久木」「河内屋金兵衛」の印あり。

4—22ワ7 れ七十六全式 30銭

32686 <sup>ワカテナラヒ</sup> 和歌手習 上・下 半1帙2冊

著者未詳 (1664) 寛文4刊

京 ゑさうしや喜左衛門(東洞院三本木三町目)

※書名は上冊巻頭と上下冊柱書に「和歌手習」。但し上冊巻頭書名は塗抹されて「和歌初心種」に変えられている。墨書題簽には「和歌初心種」。背に「和哥の手習」。上・下冊共さらに, 「和歌の手習上(下)」と書かれた後補の題簽あり。

4—22ワ12 □全式 30銭

32687 <sup>セントウゴチャクタクウヒヤクシユ</sup> 仙洞御着到百首 半1帙1冊

(1720) 享保5成

写本

※内題「院御着到百首」。また、帙に与えられた書名は「享保五年院御着到百首」。

4—23キ5 れ百四拾番全 15銭

32688 <sup>ヒトマロヒ ミツセウ</sup> 人丸秘密抄 半1帙1冊  
著者未詳 (1692) 元禄5刊

京 栗山伊右衛門・森田長左衛門

4—22ヒ1 れ八十八巻冊 20銭

32689 <sup>ナギサノタマ</sup> 渚の玉 巻之一〜巻之五 半1帙5冊を合綴1冊  
編者未詳, 雪翠画 (1707) 宝永4刊

京 新井弥兵衛(京極通五条橋詰町)

※『国書総目録』によれば、宝永2版があるという。後補墨書題簽は「和渚農玉」。

4—22ナ3 れ廿九番全五冊合巻 25銭

32690 <sup>ワ カ メイシヨエイカク</sup> 和歌名所詠格 (一二)・三四 半1帙2冊

瑞立齋廉長著・自跋

書肆・刊年不明

※全4巻4冊を2冊に合綴。各巻内題「名所詠格」。第1冊巻頭に「詠格大意」・目録あり。絵入り。各冊表紙に「玄玄堂蔵」と墨書あり。『国書総目録』によれば、正徳3刊本あり。

4—22ワ9 れ四拾番全貳 20銭

32691 <sup>シンバン</sup> 新板 <sup>ムミヤウセウ</sup> 無名抄 上・中・下 半1帙3冊  
著者未詳 (1702) 元禄15刊

江戸 山口権兵衛(日本橋川瀬石町)

※鴨長明の『無名抄』にあらず。和歌などに関する故事をあつめた書。下冊末に「世話字尽」あり。

4—22ム1 れ六拾三番全三 30銭

32692 <sup>ミ モスソガハウタアハセ</sup> 御裳濯河歌合・  
<sup>ミヤガハウタアハセゾクサンジフクロクバン</sup> 宮河歌合續三十六番 半1帙1冊

(御裳濯河) 西行詠, 藤原俊成判

(宮河) 西行詠, 藤原定家判

写本

※題簽には「御裳濯河 宮河歌合 前後・全」とある。

32693参照。

4—23ミ2 大惣番号札原欠 20銭

32693 <sup>ミヤガハウタアハセゾクサンジフクロクバン</sup> 宮河歌合續三十六番・  
<sup>ミ モスソガハウタアハセ</sup> 御裳濯河歌合 半1帙2冊

(宮河) 西行詠, 藤原定家判

(御裳濯河) 西行詠, 藤原俊成判

写本

※墨書後補題簽は「宮川歌合 乾(坤)」とある。

32692参照。

4—23ミ3 れ百廿九 <sup>作者西行判者定家</sup> 20銭

32694 <sup>エイ ガタイホンヒ ケツ</sup> 詠歌大本秘訣 半1帙1冊  
著者未詳 (1716) 享保元写か

写本

※表紙に「哥」の小札あり。巻末に風観斎長雅から近文へ、高屋長徹から大嶋長融へ相伝の旨の奥書あり。

4—22ニ4 ふ貳百九拾五 15銭

32695 <sup>ギョクシンフシフ</sup> 玉拾集 上・中・下 半1帙3冊  
著者未詳 (1674) 延宝2写

写本(中岡氏輔右写)

※連歌寄合集。

4—22キ3 れ百巻番全三冊 25銭

32696 <sup>ワ カアウギセウ</sup> 和哥奥義抄 (巻一二・三四) 半1帙2冊

細川幽齋述, 烏丸光広記

刊年不明

江戸 万屋清兵衛(日本橋万町)

※慶長年間成。別名「耳底記」。墨書題簽には角書「繪入」があり、「光廣卿」と傍記。大惣番号札は巻三と四の冊に付され、裏見返しに「文(1806)化三/丙寅/長月中旬/佐野忠良(朱印)/求之」と墨書。

4—22ワ1 れ八十貳番全二 25銭

32697 <sup>コ ライフウテイセウ</sup> 古來風鉢抄 巻〜三 半1帙3冊  
藤原俊成著 (1690) 元禄3刊

京 小崎七左衛門・田中市左衛門

※第2冊表紙に「中百四十六」の小札あり。第1冊末丁裏に朱で「木下氏持之」と書込みあり。奥書は「建仁元年五月日/依式子内親王仰被進之」。

— 歌

4-22コ7 大惣番号札剝落 35銭

- 32698 <sup>テイカナンダイ</sup> 定家 <sup>フデカハヒヤクシユセウ</sup> 藤河百首鈔 上巻・中巻・  
下巻 半1帙3冊  
切臨叟(和田以悦)著・自跋 元和5跋, 正徳3刊  
京 出雲寺和泉掾(三条通舛屋町), 江戸 同  
(日本橋南一丁目)  
※定家の「藤河百首」の注釈。

4-23フ3 れ五拾三番全三冊 30銭

- 32699 <sup>シノノハグサ</sup> しのゝ葉草 上・中・下 半1帙3冊  
著者未詳, 玉山堂序 宝永5序・刊  
永田調兵衛・梅村市郎兵衛  
※絵入り。第1冊表紙「古キ哥物語の古事をあつめ書たる本也」との札あり。同見返しにも「神仏霊夢之和歌又ハ名哥等感應有し事其外古キ名哥の物語其由來之古事をあつめたるをもしろき本也」の札があり, 文泉堂と書込みあり。3冊いずれも初丁に「書肆文教堂」の印あり。

4-22シ1 れ六拾六 25銭

- 32700 <sup>ホリカハキンジラウヒヤクシユ</sup> 堀河院次郎百首 上・中・下  
半1帙3冊  
源頭仲・藤原仲実・源俊頼・源忠房・源兼昌・常陸・大進詠, 細川玄旨奥書  
永久4成, 慶長5奥書, 延宝4刊  
京 林和泉掾  
4-23ホ2 大惣番号札剝落 30銭

- 32701 <sup>ワカ</sup> 和 <sup>ヒヤクダイシフエウセウ</sup> 歌百題拾要鈔 一〜六・(七)  
半1帙7冊  
編者未詳, 逸名序あり 元禄4刊  
山口茂兵衛・長谷川傳兵衛  
※別名「明題拾要鈔」。歌題別, いろは引。  
4-23ワ2 大惣番号札剝落 40銭

- 32702 <sup>ア マノモクツ</sup> 海人藻芥 3冊を合綴1冊  
所在不明  
5-17ア1 35銭

- 32703 <sup>トウシャシウシフダ</sup> 東野州拾唾 半1帙1冊  
東常縁述, 宗祇聞書 元禄6刊  
水田甚左衛門

— 書 —

<sup>(1482)</sup>  
※奥書「文明十四年十一月十六日」。別に書肆の奥書あり。絵入り。

4-22ト2 れ九拾番 30銭

- 32704 <sup>ワ カ ノモノガタリ</sup> 和歌の物語 半1帙1冊  
桂秀樹「口授」 延享5成  
写本

※歌学。奥書に「右歌の物語一卷延享戊辰夏桂先生秀樹の許にて口授し筆記之畢不可出於別席人数之外也云々」とある。別名「名賢和歌秘説」。

4-22ワ5 れ百廿三 10銭

- 32705 <sup>タナバタアキノツキ</sup> 七夕秋之月 半1帙1冊  
写本

※七夕に関する和歌・狂歌・発句を諸書から抜き書きしたもの。野線の刷られた半紙を使用。紙背に点取俳諧の句および点印あり。

4-23タ4 そ千四拾九全 10銭

- 32706 <sup>コ キンデン</sup> 古今傳 上・中・下  
特大(28.4×20.1cm) 1帙3冊  
写本

※上冊表紙に「歌学」(朱)の小札あり。彩色入りの絵あり。

4-22コ3 ふ三百七拾巻全三 25銭

- 32707 <sup>コ キンシフセウ</sup> 古今集抄 中1帙1冊  
写本 貞応2奥書  
※『古今和歌集』仮名序・真名序の注釈。

4-23コ2 ち千六百卅四 10銭

- 32708 <sup>ワ カ ヒケツ</sup> 和歌秘決 中1帙1冊  
写本

※和歌作法・歌会における慣例などを記す。短冊の並べ方を図を用いて説明する箇所あり。内題「和歌口傳之支」。

4-22ワ6 れ百廿式 15銭

- 32709 <sup>ラ サウシフ</sup> 蘿窓集 上・下・餘白 半1帙3冊  
横井也有(「時般愚詠/退隠後改並明」)  
写本

※上・下には歌文, 餘白には漢詩をおさめる。上冊末に「たれこめ草」, 下冊末に「末の露」なる文章を附す。

4-23ラ1 れ百拾四番全三冊 25銭

32710 <sup>キリヒヲケ</sup> 桐火桶 大1帙1冊  
 藤原定家著 <sup>(1638)</sup> 寛永15刊

京 仁左衛門(二条通)  
 ※書肆奥書あり。末尾に「萩園藏」の印あり。裏  
 見返しに「下村久富」と記名。表紙に「哥」の  
 小札あり。

4-22キ4 ふ三百五拾八 20銭

32711 <sup>セゲンモンダフ</sup> 世諺問答 特大(27.5×19.9cm) 1帙1冊  
 一条兼良著, 逸名跋あり

写本  
 ※『国書総目録』<sup>(1544)</sup>によれば天文13跋。  
 5-17セ1 や千九番 15銭

32712 <sup>ゾウホワカミチシルベ</sup> 増補和哥道しるへ 一〜四  
 小1帙4冊

飛鳥井雅親(栄雅)編, 醉露堂(河瀬)菅雄増補・  
 序 刊年不明  
 京 吉田三郎兵衛・和田庄三郎, 江戸 安浦  
 □衛(通石町)  
 ※上記編者は『国書総目録』による。

4-22ソ4 大惣番号不明 25銭

32713 <sup>ジャウドシンシユウギョクリンワカシフ</sup> 浄土真宗玉林和歌集 中1帙1冊  
 先啓編, 釋辨恵序 <sup>(1797)</sup> 寛政9序, <sup>(1798)</sup> 同10刊

京 著屋勘兵衛(烏丸五条下ル二丁目)・菊屋  
 喜兵衛(寺町通松原下ル)・銭屋庄兵衛(西堀  
 川佛光寺上ル)

※上記書名は各巻内題による。原題簽上部破損。  
 序題「玉林和歌集」。柱書「玉林集」。「和樂斎  
 図書館」の朱印あり。

4-23シ7 ち六拾四番 10銭

32714 <sup>ナガウタバカシフ</sup> 長唄馬歌集 中1帙1冊

醉川子著・自序, もしは屋主人序, 逸名跋あり。  
<sup>(1824)</sup> 文政7自序・刊  
 京 吉野家仁兵衛・吉野家勘兵衛・山城屋佐兵  
 衛, 大坂 玉屋市兵衛

※絵入り。跋に「日かくれると飛ありくふくろ町  
 にすみし色男なにはの旅やとりにしるす」と言  
 う。

4-25ナ1 ち四百七十三 10銭

32715 <sup>ダイカカリユウ</sup> 定家 名所和歌三百首秘抄  
<sup>メイシヨワカサンビヤクシユヒセウ</sup> 春・夏・秋・冬・恋・雑 半1帙6冊

紹巴法師著, 打波軒序 享保年間刊  
 京 河南四郎右衛門(堀河通佛光寺下ル町)  
 ※内題「建保名所三百首抄」。絵入り。刊記の年  
 次「享保」とのみ。

4-23メ1 れ拾八番全六冊 30銭

32716 <sup>ナシノモトシフ</sup> 梨本集 一〜五 半1帙5冊

梨本(戸田)茂睡著・自序, 源朝臣跋  
<sup>(1698)</sup> 元禄11奥書, <sup>(1699)</sup> 同12跋, <sup>(1700)</sup> 同13刊

江戸 平野屋吉兵衛  
 ※第1・4冊の原題簽上部に「ゑ入」と書込みあ  
 り。絵入り。歌語を挙げて説明し, 例歌を示し  
 た書。

4-22ナ1 れ廿六番全五冊 50銭

32717 <sup>ウタフクロ</sup> うたふくろ 一〜六 半1帙6冊

北邊二世成壽(富士谷御杖)著・自序 寛政5刊  
 京 北村四郎兵衛・武村嘉兵衛・西村平八・山  
 田屋卯兵衛・佐々木惣四郎・天王寺屋葛西市郎  
 兵衛(寺町五條上ル町)

※「水玉堂(天王寺屋市郎兵衛)藏板和歌連俳書  
 目」1丁あり。

4-22ウ3 れ貳拾四番全六冊 50銭

32718 <sup>ワカシチブノセウ</sup> 和歌七部之抄 ※参照 大1帙8冊  
<sup>(1652)</sup> 承応元刊

書肆不明  
 ※各冊題簽下部にそれぞれ次のようにある。第1  
 冊「一詠歌大概」, 第2冊「二秀歌大鉢上」, 第  
 3冊「二秀歌大鉢下」, 第4冊「三百人一首上」,  
 第5冊「三百人一首下」, 第6冊「四未來記/  
 雨中吟」, 第7冊「五三体和歌」, 第8冊「六結  
 題百首」。第1冊(巻頭内題「詠歌大概抄」)は  
 『詠歌大概』歌論部の抄物。第2・3冊(巻頭  
 内題「秀歌體大畧」)は『詠歌大概』「秀歌體大  
 畧」の抄物。第4・5冊(内題「小倉山庄色紙  
 和歌抄」)は「百人一首」の抄物。第6・7・  
 8冊はそれぞれ「未來記」・「雨中吟」, 「三体和  
 歌」, 「結題百首」の抄物。尚, 第5冊には文明



— 歌 —

(1478)  
10宗祇奥書、第8冊には称名院奥書並びに文禄  
(1594)  
3宗頼奥書あり。

4—22ワ3 大惣番号札原欠か 40銭

シンセンロクデフ  
32719 新撰六帖 一・二・三四・五・六 大1帙5冊  
藤原家良編 (1660) 万治3刊

中野五郎左衛門

※各冊内題は「新撰六帖題和歌」。

4—23シ12 ふ式百拾六全五 25銭

カ センフタ バ セウ  
32720 歌仙二葉抄 上・中・下 大1帙3冊  
平春幸著・自序、紀宗直跋 (1746) 延享3序、文化9刊 (1812)  
大坂 松根堂加賀屋善藏(心齋橋通北久太良町)  
※三十六歌仙の歌体について。下冊に穴があいて  
いる。

4—20カ2 ふ式百三拾壹全三 30銭

ウラ ノ シ ホ ガ ヒ  
32721 浦農志保貝 上・中・下・(拾遺)花  
・鳥・風・月 大2帙7冊  
熊谷直好詠、三井宗之編・正編序(弘化2), 陸奥  
介景恒拾遺序(安政3), 尾張国つしまの里人茂之  
跋 (1845)

「夢華園藏」(正編), 「長春亭藏」(拾遺), 名  
古屋 永楽屋東四郎, 大坂 河内屋喜兵衛・河  
内屋和助・秋田屋太右衛門・伊豫屋善兵衛(正  
編)

※正編末に「発行書肆」12軒を列挙。拾遺は刊記  
を欠く。各冊に「茂松圖記」の印あり。

4—23ウ6 ふ百九拾九全三冊他=拾遺  
・ふ式百番拾遺四冊 1円50銭

カ ハ ヤ シ ロ  
32722 嘉波也之路 一〜五 大1帙5冊  
契冲著, 小沢蘆庵序, 前波黙軒序  
(1796) (1797)  
寛政8序(黙軒), 同9序(蘆庵)・刊  
「羅風亭 梅逕堂 松壽亭藏版」, 江戸 須原  
屋伊八, 大坂 高橋喜助, 京 葛西市郎兵衛・  
吉田四郎右衛門

※第5冊末に「契冲阿闍梨選書品目」を附す。書  
名は「河社」などとも表記。

4—69カ1 ふ三百拾六全五 50銭

キヨスケフクロサウシ  
32723 清輔袋草紙 壹〜四 大1帙4冊  
藤原清輔著 (1648) 慶安元奥書, 貞享2刊 (1685)

— 書 —

書肆不明

※各冊内題「袋草紙」。第1冊表紙に「千三百四  
十二」の小札あり。

4—22フ1 ふ三百式十卷全四 50銭

タケノ イ ホ エ  
32724 竹の五百枝 上・下 大1帙2冊  
竹村尚規詠, 本居太平序, 石塚龍磨跋 (1819)  
文政2序・跋

書肆不明

※下冊に穴があいている。

4—23タ3 ふ式百四拾五全式 20銭

フ ル カ ガ ミ  
32725 布留鏡 上・下 大1帙2冊  
橘蔭道著・自跋 (1845) 弘化2跋  
「鶯蛙園文庫」  
※旧蔵者朱印あり。

4—23フ4 ふ式百五拾全式 20銭

スズノヤシフ  
32726 鈴屋集 一〜九 大1帙9冊  
本居宣長詠, 本居春庭序, 本居大平跋

(1799) (1803)  
寛政11刊(一〜五), 享和3跋

「須受能耶藏板」, 江戸 須原茂兵衛(日本橋  
通壹丁目), 京 錢屋利兵衛(寺町通四條上ル),  
伊勢松坂 柏屋兵助(日野町)

※大惣番号が第4冊に「ふ拾七共式冊」, 第6冊  
に「ふ拾八共式冊」, 第8冊に「ふ拾九共式」  
と附されている。第1冊表紙に「居」の小紙あ  
り。頭部の余白に書込みあり。原題簽中に内容  
を記す。

4—23ス1 ふ拾六共三冊(※参照) 1円80銭

ミ ノ ノ イ ヘ ヅ ト  
32727 美濃の家褌 一〜五・ 大1帙8冊  
ミ ノ ノ イ ヘ ヅ ト ラ リ ソ ヘ  
美濃の家褌折添 上・中・下

本居宣長著, 藤原磯足序, 大矢重門序, 泰鼎序  
(1791) (1795) (1797)  
寛政3成, 同7正編刊, 同9折添刊  
名古屋 風月堂孫助(本町壹丁目)

※新古今の歌の注釈。一〜五の内題「新古今集美  
濃の家つと」。

4—23ミ1 ふ百九拾式折添共八冊  
・ふ百九拾三共三 1円30銭

- 32728 エツモクセウ 悦目抄 上・下  
大1帙2冊を合綴1冊  
(1645)  
伝藤原基俊著 正保2刊  
書肆不明  
※上冊表紙に「哥」「〇千百五十一」「さらしな之記」の小札、見返しに「さらしな之記一名悦目抄」と書込みあり。基俊・釋阿・藤原氏・妙阿・為氏・為世の相伝奥書あり。  
4—22マ5 ふ三百三十五全式 15銭

- 32729 マンエフシフトホタフミノウタカウ 萬葉集遠江歌考 大1帙1冊  
賀茂真淵著、内山真多都序、夏目蘊磨跋  
(1819) (1820)  
文政2序、同3跋・刊  
書肆不明  
※表紙に「居」の小札あり。序題は「遠江歌考序」。  
4—23マ10 ふ三百六拾式 10銭

- 32730 ゴギンワガシフ 吾吟我集 上・下 大1帙2冊  
石田未得著、緑峠園主人序  
(1649) (1757) (1776)  
慶安2成、宝暦7序、安永5刊  
大坂 柏原屋佐兵衛  
※「室小路花栄藏」と書込み・蔵書印あり。狂歌集。  
4—25コ1 ふ七百四拾三全式 30銭

- 32731 ホリカハキンヒヤクシユワカ 堀川院百首和哥 上・中・下 大1帙3冊  
(1650)  
藤原公実・大江匡房ら詠、雲堂大居士跋 慶安3跋  
西田勝兵衛  
4—23ホ3 ふ貳百三拾式全三 20銭

- 32732 フサウシフエフシフ 扶桑拾葉集 系圖上(目録)・下・巻～十三・十四上・十四下・十五～三十 大6帙33冊  
参議源朝臣徳川光圀卿編、兵部卿幸仁親王序  
(1689)  
元禄2序  
十一～十四上・十五～二十六は板本で書肆不明、それ以外は写本  
※内容については『国書総目録』叢書目録を参照。  
4—21フ1 ふ四百〇巻番 7円30銭

- 32733 ツキノオチバシヨクニホンコウキノウタカウ 槻の落葉續日本後紀歌考 大1帙1冊

- 宇治五十槻荒木田神主久老著、永井幸直序、田内秀真跋  
(1788) (1791) (1794)  
天明8成、寛政3序・跋、同6刊  
大坂 播磨屋新兵衛(博労町佐野屋橋筋)  
※「磯足蔵書」朱印・「城戸蔵」朱印あり。表紙に「歌学」(朱)の小札あり。  
4—23ツ1 ふ三百六拾番 15銭

- 32734(1) タマクラ 手枕 大1帙(2)(3)と合綴1冊  
(1792)  
本居宣長著、大館高門跋 寛政4跋  
書肆不明  
※(2)(3)参照。表紙右上に「居(墨)歌学(朱)」の貼紙あり。  
4—30タ1 大惣番号不明 (2)(3)共20銭

- 32734(2) ノリナガタクウタハセ・ミナモトノシタガフウマノナハセ・スミヨシウタハセ 範永宅歌合・源順馬名合・住吉歌合  
(1802)  
享和2刊

- 京 竹苞樓・揺芳堂  
※巻頭内題横に「真蹟臨本」とある。三者はそれぞれ忠家、俊忠、西行書。  
4—30タ1

- 32734(3) コクンオホバラヒコトバ 古訓大板詞  
(1816)  
中尾義稻著・自序 文化13序・刊  
「多計能屋蔵板」、尾張 片野東四郎  
※「松本鳥亀」の朱印、「櫻戸蔵版」の印あり。  
4—30タ1

- 32735 カモカリウメアハセ 賀茂下流梅合 大1帙1冊  
(1824) (1825)  
賀茂真淵編、大石千引序 文政7序、同8刊  
江戸 小林新兵衛(日本橋通二町目)・英平吉(本石通十軒店)・同文蔵(下谷御成道)  
※序題「うめあはせの序」。表紙に「和文」(朱)の小札あり。英平吉の「和書目録」13丁を附す。  
4—23ウ5 ふ四百四拾式 20銭

- 32736 ケンチュウミツカン 顕註密勘 一～八 大1帙8冊  
(1657)  
顕昭注、藤原定家補 明暦3刊  
京 和泉掾林時元(今出川)  
※第1冊表紙に「哥学」(朱)の小札あり。巻頭書名は「古今秘註抄」。第1冊原題簽下部に「定家卿/顕昭法師/両抄」とある。  
4—23コ1 ふ三百〇八全八 50銭

マンエフコトバノカイ  
32737 萬葉詞解 大1帙1冊

著者未詳

写本

※万葉集巻一～十の語を挙げ解説した書。表紙に「哥」の小札あり。

4-23マ7 ふ三百八拾毫 15銭

ザツワシフ  
32738 雑和集 上・中・下 大1帙3冊

著者未詳

書肆・刊年不明

※上冊表紙に「□三百三十九」「全三□」の小札あり。刊記部分を欠く。

4-22サ2 ふ三百貳拾七全三 30銭

セイハクシフ  
32739 清白集 大1帙1冊

中林成昌著・自跋、伊東松編、大倉穀序  
(1845) (1846)  
弘化2跋、同3序

書肆不明

※成昌の歌・詩・文を収める。

4-23セ1 大惣番号札剝落 10銭

ツキマウデワ カシフ  
32740 月詣和歌集 春・夏・秋・冬 大1帙4冊

賀茂重保撰、橋千蔭序、平春海跋

(1808)  
文化5序・跋・刊

京 遠藤平左衛門(富小路三條下ル)、江戸

遠藤平助(日本橋南三丁目)・小林新兵衛(日本橋二丁目)・英平吉(神田鍋町)

※冬の巻末尾に清水濱臣による附考(文化5成)あり。

4-23ツ2 ふ貳百貳拾貳全四 50銭

ワカ  
和歌古語深秘抄 一～十 半1帙10冊

惠藤一雄編・自序・自跋 (1702) 元禄15刊

京 出雲寺和泉掾、江戸 同店(日本橋南老町目)

※原題簽下部に各冊の内容を記している。一・二「秘藏抄」、三「新撰龍腦ノ莫傳抄ノ和哥肝要」、四「後鳥羽院御口傳ノ定家国歌式」、五「正風躰抄ノ和哥庭訓」、六「家隆口傳ノ近來風躰抄」、七「瑩玉集ノ鏡川上」、八「八雲口傳ノよるのつる」、九「耕雲口傳ノ桂明抄」、十「八雲一言記ノ和哥二言集ノ同用意」。

4-22ワ2 れ六番全拾 50銭

サウアンシフモウギウゲンカイ  
32742 草庵集蒙求診解 一～十五

半3帙15冊

頼阿法師詠、香川宣阿著・自序、香川景新增訂

(1724)  
享保9序

書肆不明(32743に同じか)

※各巻内題は「草庵和歌集蒙求診解」。32743に続篇あり。

4-23ソ2 れ貳番 45銭

ゾクサウアンシフモウギウゲンカイ  
32743 續草庵集蒙求診解 一～五

半1帙5冊

頼阿法師詠、香川宣阿著、香川景新增訂 享保8刊

京 武村新兵衛(西堀川通松原上ル町)・財間加兵衛(寺内通妙顯寺前町)

※32742に正編あり。表紙に「十六～二十」(朱)の小札あり。各巻内題「續草庵和歌集蒙求診解」。

4-23ソ1 大惣番号札原欠 15銭

カリニヤウザイシフ  
32744 歌林良材集 上・中・下 半1帙3冊

一条兼良著・自序 (1704) 宝永元刊

江戸 万屋清兵衛(日本橋南詰)

※上冊見返しに「天台ノ沙門ノ圓如」という書込みと朱印あり。絵入り。

4-22カ7 れ六拾番全三冊 30銭

ゾウホ  
増補 歌枕秋の寝覚 一～三

半1帙3冊

有賀長伯著・自序 (1771) 明和8刊

大坂 松村九兵衛(心齋橋南老町目)・鳥飼市兵衛(心齋橋南四町目)

4-22ウ5 大惣番号札原欠か 55銭

ホソカハイウサイ  
32746 細川 幽齋 詠歌大概抄 一～三

大1帙3冊

三条西実枝講、細川幽齋編 (1668) 寛文8刊

京 風月庄左衛門

※第1冊表紙に「哥」の小札あり。

4-22エ3 ふ三百貳拾六全三 30銭

ホソカヘゲンシ  
32747 細川 玄旨 聞書全集 一～五

大1帙5冊

一 歌 書, 徒然草 一

編者未詳

(1678)  
延宝 6 刊

4-22キ 2 大惣番号札剥落 50 銭

京 青木勝兵衛

※第 1 冊表紙に「千三百四十四」の小札あり。

4-22ホ 1 ふ三百拾七全五 50 銭

シンカ  
新 ブルイゲンエフシフ  
歌 部類現葉集

32748 卷一〜卷十六

半 2 帙 16 冊  
(1735)  
享保 20 刊

伯水堂梅風編・自跋

江戸 万屋清兵衛 (日本橋南一丁目), 京 北

尾八兵衛 (寺町通五條上ル丁)

※内題は「部類現葉和歌集」。

4-23フ 1 れ八番全拾六冊 60 銭

カシラガキサイハン

頭書 ゾウ ホ ワ カダイリンセウ  
再版 増補和歌題林抄

32749 十一 半 2 帙 11 冊

一条兼良編, 北村季吟増補

(1706) (1777)  
宝永 3 初刊, 安永 6 再刊

江戸 須原屋茂兵衛 (日本橋老町目), 京 北

村四郎兵衛 (五條通塩竈町)

※内題には「増補題林抄」とも。

4-22ソ 3 れ三番全拾一冊 60 銭

ニ テイ キ

32750 耳底記 上・中・下 半 1 帙 3 冊

細川幽斎述, 鳥丸光廣記 刊年不明

京 林和泉掾

※大惣番号札, 墨で「そ」を「れ」に, 「六百四十五」を「六拾四番」に訂している。

4-22ニ 2 そ六百四十五全三冊 30 銭

トウ ヲ シウキキガキ

32751 東野州聞書 一〜五 半 1 帙 5 冊

東常縁著 (1694) 元禄 7 刊

京 錢屋四郎兵衛 (河原町), 江戸 錢屋五郎

兵衛 (芝)

※第 1 冊表紙に「言/隨筆」の小札あり。逸名の「序例」あり。

4-22ト 1 そ六百〇卷全五 30 銭

キヨスケザフタンシフ

32752 清輔雜誌談集 上之一・上之二・下之一

・下之二 半 1 帙 4 冊

藤原清輔著, 逸名序あり (1685) 貞享 2 刊

書肆不明

※第 1 冊の見返しに「和歌威徳物語/和國玉かつら/梨本集」と書込みあり。

徒 然 草

ツレツレグサシヨセウタイセイ  
徒然草諸抄大成

32753 一二〜一九廿

(全 20 卷 2 巻づつ 1 冊) 大 1 帙 10 冊

淺香山井著 (1688) 貞享 5 刊

京 武村新兵衛・吉田四郎右衛門・谷口七左衛

門・田中庄兵衛

※第 1 冊表紙破損。原体裁は各巻 1 冊の全 20 冊か。

10-05ツ 5 大惣番号不明 1 円 50 銭

ツ レ ツ レグサシンチュウ

32754 つれつれ草新註 一〜四 大 4 冊

清水春流著・自序 (1666) (1667) 寛文 6 序, 同 7 刊

中野氏市右衛門尉

※各冊に落書あり。内題「寂寞草新註」。

10-05ツ 6 ふ八百七拾七全四 50 銭

ツ レ ツ レグサ

32755 つれつれ草 乾・坤 大 2 冊

吉田兼好著 (1645) 正保 2 刊

書肆不明

※見返しに「因/三百廿三号/二冊」と朱の書込みあり。

10-05ツ 1 大惣番号札剥落 15 銭

ツ レ ツ レ ノ サン

32756 つれつれの讃 序・一〜八 大 9 冊

東華坊支考著・自序・自跋 (渡辺狂)

(1694) (1711)  
元禄 7 序, 宝永 8 跋

京 柏屋勘右衛門 (寺町押小路上ル町)・同勘

九郎

※一〜八が本文。別に「讃之序」(柱書) 1 冊。

本文頭部に書込み多数。

10-05ツ 9 ふ八百五拾八全部九冊 70 銭

ノ ツ チ

32757 野槌 上之一〜八・下之一〜五 (一〜

十三) 大 1 帙 13 冊

林道春著・自序・自跋, 逸名序あり (1621) 元和 7 序

書肆・刊年不明

※徒然草の註釈書。本文頭部に書込みあり。

10-05ノ 1 ふ七百拾三番 1 円

## 百 人 一 首

32758 <sup>ヒヤクニンイツシユチユウカイ</sup> 百人一首注解 上・下 半1帙2冊  
著者未詳

写本

※下冊末に「九拾軒町」と書込みあり。

4-23ヒ6 れ百三拾式 50銭

32759 <sup>サガノヤマブミ</sup> 嵯峨の山布見 上・中・下  
大1帙3冊

藤原彦麻呂著・自序, 源元凱序, 平景看跋, 木川勝  
子跋, 村上真澄跋 <sup>(1816)</sup> 文化13自序・跋(村上)

「芦之仮庵蔵板／製本所銀座町二丁目松屋要助」,  
江戸 英平吉(本石町十軒店)・山田佐助(両  
国吉川町)

※内題「百人一首嵯峨の山ぶみ」。

4-23サ1 ふ百〇九全三冊 30銭

32760 <sup>ヒヤクニンイツシユシツチユウ</sup> 百人一首集註 上・下 半1帙2冊  
醉月園嘉基著・自序, 鈴木朗序

<sup>(1821)</sup> 文政4 奥書, <sup>(1822)</sup> 同5序

写本

※大惣の半紙を使用。序題「百首集註」。

4-23ヒ4 れ百三十三 20銭

32761 <sup>ヒヤクニンイツシユヒセウ</sup> 百人一首秘抄 大1帙1冊  
著者未詳 <sup>(1766)</sup> 明和3 奥書

写本

※頭部書込み・不審紙あり。野線入りの用紙を使用。

4-23ヒ7 大惣番号札剝落 20銭

32762 <sup>ヒヤクニンイツシユコチユウカセン ドウロクカセン</sup> 百人一首 古中歌仙／同六哥仙  
大1帙1冊

写本

※大惣印なし。朱の振仮名あり。内容は「百人一首」に「古哥仙」「中歌仙」「中六哥仙」「古六哥仙」を附す。『国書総目録』に「中院通躬写」という。

4-23ヒ1 大惣番号札原欠か 10銭

32763 <sup>ヒヤクニンイツシユメイギ</sup> 百人一首明疑 上・下 大1帙2冊  
編者未詳

写本

※拾穂抄・改観抄など諸注の集成。上册表紙に「哥」の小札あり。

4-23ヒ8 ふ百式拾六全式 20銭

32764 <sup>ヒヤクニンイツシユセウ</sup> 百人一首抄 上・中・下 大1帙3冊  
丹山隱士(細川幽斎)著・自跋

<sup>(1596)</sup> 慶長元跋, <sup>(1631)</sup> 寛永8刊

京 杉田良庵玄与(東洞院諏訪町)

4-23ヒ5 ふ百拾三全三 15銭

32765 <sup>ウヒマナビ</sup> うひまなび 上之一・上之二・中之一  
・中之二・下之終(㊦~㊧) 大1帙5冊

賀茂真淵著・自序 <sup>(1765)</sup> 明和2成, <sup>(1781)</sup> 天明元刊

江戸 須原屋市兵衛(室町三丁目), 京 勝村  
治右衛門(寺町通松原下ル町)

※第1冊題簽に「百人一首」と書込み, また, 表紙に「居」の小札あり。

4-23ウ2 ふ百〇六共五冊 50銭

32766 <sup>ヒヤクニンイツシユシフスイセウホチユウ</sup> 百人一首拾穂抄補註 一~六  
大1帙6冊

北村季吟著・自跋, 谷口元談補註・序  
<sup>(1681)</sup> 天和元跋, <sup>(1737)</sup> 元文2序, <sup>(1748)</sup> 延享5刊

江戸 梶屋五良右衛門, 京 梶屋孫兵衛(寺町  
通松原上ル町)・梅村三良兵衛(寺町通松原下  
ル町)

4-23ヒ3 ふ百〇五全六 20銭

## 国 書・和 書

32767 <sup>タマカツマ</sup> 玉かつま 目録・壹~十四 大2帙15冊  
本居宣長著, 本居萬麻呂跋, 植松有信跋

(目録) 刊年不明, 名古屋 永楽屋東四郎

(壹~参冊) 寛政6刊, 「宇恵奈蔵板」, 名古屋

藤屋吉兵衛(本町七丁目), 松坂 伊豆田屋

瀬三郎(中町)・柏屋兵助(日野町)

(四~六冊) 書肆・刊年不明

(1799)  
(七～九冊)寛政11刊, 野田藤八・林伊兵衛・  
蒲生金七・林安五郎  
(1804)  
(十～十二冊)享和4刊, 「鈴之屋藏板」, 林伊  
兵衛・柏屋兵助・山形屋傳右衛門  
(1810) (1811)  
(十三・十四冊)文化7成, 同8跋(萬麻呂),  
(1812)  
同9跋(植松), 「鈴の屋藏板」

※「四」「七」冊表紙に大惣番号札剝落跡あり。

4—69タ1 ふ拾壹番(「壹」冊)  
・ふ拾四(「十」冊) 2円50銭

32768 <sup>コジキデン</sup>古事記傳 目録上・中・下・一～四十四  
・「三大考古事記傳十七附卷」 大10帙48冊  
本居宣長著

(1808)  
(目録)文化5刊, 「鈴乃屋藏板」  
(1844)  
(本文)天保15刊, 名古屋 永楽屋東四郎(本  
町通七丁目), 江戸 同出店(日本橋通本銀町  
二丁目)  
(これ以外の「發行書林」), 江戸 須原屋茂兵  
衛(日本橋通壹丁目)・山城屋佐兵衛(日本橋  
通二丁目)・岡田屋嘉七(芝神明前), 大阪 河  
内屋喜兵衛(心齋橋筋北久太郎町)・河内屋和  
助(心齋橋筋安土町南江入), 京 風月庄左衛  
門(二条通衣ノ棚角)・俵屋清兵衛(麩屋町通  
姉小路上ル)

※最終冊末に「東壁堂製本署目録記」あり。「尾  
張神祇局印」あり。

5—05コ4 大惣番号札剝落 13円

32769 <sup>ホンテウトンシ</sup>本朝遼史 上・下 大2冊  
林靖(讀耕齋)著・自序・自跋, 埜三竹子苞序, 菊  
(1660) (1663) (1664)  
盧逸民金節跋 万治3自序・跋, 寛文3序, 同4刊  
谷岡七左衛門

※本朝の隠者51人の伝。柱書「遼史」。上冊表紙  
に「傳」(朱)の小札あり。

史関 国史か5—13 や五百全式冊 50銭

32770 <sup>コシセイブン</sup>古史成文 一～三 大1帙3冊  
(1823)  
平田篤胤著・藤原貞直序 文政6序  
「塾藏版」

※「伊吹廻屋先生及門人著述刻成書目」を附す。  
『国書総目録』によれば文化8成立。第1冊見  
返しに「因/六百四十七号/三冊」(朱)の小  
札あり。

5—05コ5 大惣番号札剝落か 35銭

32771 <sup>クズバナ</sup>くす花 上・下 大1帙2冊  
(1780)  
本居宣長著・自跋, 市岡多氣彦跋 安永9自跋

名古屋 永楽屋東四郎(本町通七丁目)

(これ以外の「發行書林」)江戸 須原屋茂兵  
衛(日本橋通一丁目)・山城屋佐兵衛(同通二  
丁目)・岡田屋嘉七(芝神明前), 大阪 河内  
屋喜兵衛(心齋橋筋北久太郎町)・河内屋和助  
(心齋橋筋安土町南江入), 京 風月庄左衛門  
(二条通衣ノ棚角)・俵屋清兵衛(麩屋町通姉  
小路上ル)

※永楽屋の「製本署目録」あり。

1—05ク1 ふ四拾六番全二 25銭

32772 <sup>トハジグサ</sup>とはじぐさ 上・下 大1帙2冊  
(1770)  
凉袋(建部綾足)著 明和7刊

京 梅村市兵衛(寺町下ル町)・菊屋安兵衛  
(寺町姉小路角)・梅村宗五郎(御幸町仏光寺  
上ル町)

※俳論書。表紙に「〇千百八十」(墨)・「俳」  
(朱)の小札あり。

4—24ト1 ふ七百五拾六全式 25銭

32773 <sup>シンブウキダン</sup>神風遺談 上・中・下 大1帙3冊  
(1773) (1774)  
菊地寛三郎著, 立原朴二郎画 安永2成, 同3刊  
「立原氏藏梓」, 江戸 須原屋伊八(浅草茅町  
二丁目)

※上冊見返しに「畫/竹崎五郎兵衛繪卷/日蓮註  
畫讀」とある。下冊のみ「摸畫」に「渡邊笑兵  
衛」が加わる。

5—13シ1 大惣番号札原欠 35銭

32774 <sup>モジゴエノカナツカヒ</sup>字音かなつかひ 大1帙1冊  
本居宣長著・自序, 須賀直見序  
(1775) (1776)  
安永4自序・序, 同5刊

松坂 柏屋兵助(日野町)・田丸屋正藏(本町),  
京 錢屋利兵衛(寺町四条上ル町), 「弘所」に  
は上記の田丸屋が欠け, 江戸 須原茂兵衛(日  
本橋通壹丁目)が加わる

※自序の書名に「モジゴエノカナツカヒ」と仮名  
を振っている。

4—64シ2 ふ三百五拾壹〇全 20銭

フリワケガミ  
32775 ふりわけかみ 大1帙1冊  
(1796)  
小沢蘆庵著・自跋 寛政8成・刊  
京 吉田四郎右衛門(二條通富小路東へ入町)  
※表紙に「居」の小札あり。

4-62フ1 ふ三百五拾七 20銭

タマア ラ レ ロン  
32776 玉あられ論 大1帙1冊  
(1792) (1815)  
優婆塞竺愷(加藤千蘆)著, 實田村のくすし跋 寛政4跋, 文化12刊  
「松下園藏板」 名古屋 松屋善兵衛(本町十  
丁目)  
※「玉あられ論」「玉霰附論」の2編より成る。  
4-62タ2 ふ六拾九全巻 20銭

ベンタマアラレニロン  
32777 辨玉霰二論 大1帙1冊  
(1816)  
三井高蔭著 文化13刊  
「松下園藏板」 名古屋 松屋善兵衛(本町十  
丁目)  
※上記書名は内題による。原題簽は「弁玉あられ  
論」。「鈴屋門人尾張社中著述目録」を附す。  
4-62タ1 大惣番号札原欠 20銭

タフモンロク  
32778 答問録 大1帙1冊  
本居宣長著, 千村仲雄訂・序, 本居太平序, 鈴木眼  
跋 刊年不明  
名古屋 永楽屋東四郎(本町通七丁目)  
※「尾陽東壁堂藏目録之内歌書之部」を附す。  
『国書総目録』によると, 安永6成。  
4-69ト1 ふ七拾六全巻 20銭

マク ラ ノ ヤマ  
32779 まくらの山 大1帙1冊  
(1800) (1802)  
本居宣長詠・自跋 寛政12跋, 享和2刊  
松阪 柏屋兵助(日野町), 京 錢屋利兵衛  
(寺町通四條上ル町)・河南儀兵衛(三條通御  
幸町西江入町)  
※歌集。題簽下部などに「桜花三百首」とある。  
4-23マ1 ふ八拾貳全巻 20銭

コクイ カウ  
32780 國意考 大1冊  
(1806)  
賀茂真淵著 文化3刊  
「琴屋社中藏板」 大坂 河内屋儀助(心斎橋  
通南本町)  
※表紙に「居」の小札あり。淡海野公臺による漢

(1781)  
文の「讀加茂真淵國意考」(天明元成)および  
源稻彦による「辨讀國意考」(文化3成)をも  
収録。

1-88コ4 ふ八拾五全巻 30銭

コ ゲン テイ  
32781 古言梯 大1帙1冊  
梶取魚彦著, 藤原宇万伎序, 賀茂真淵跋  
(1764) (1765)  
明和元成, 同2序  
江戸 須原屋市兵衛(室町三丁目), 大坂 柏  
原屋清右衛門(心斎橋順慶町)  
※原題簽下部に「再考」とある。表紙に「歌学」  
(朱)の小札あり。巻末に書籍目録2丁あり。  
4-63コ1 ふ三百五拾五 25銭

アウアウヒツゴ  
32782 嚶々筆語 一・二篇 大1帙2冊  
野之口隆正・西田直義・岡部東平・義門著, 岩倉具  
集序(一篇), 正三位有功序(二篇)  
(1842)  
天保13序(いずれも)・刊  
「佐紀乃屋藏板」(一篇), 京 近江屋佐太郎  
(寺町通佛光寺上ル)(両篇)  
(以下は一篇の「諸國寶弘書肆」)大坂 河内  
屋儀助・藤屋善七, 和歌山 坂本屋記一郎, 姫  
路 灰屋助治, 江戸 和泉屋吉兵衛  
二篇の刊記では「葛根堅室藏板, 雪之屋開版」,  
近江屋と京 勝邑治右衛門(寺町通)を並記,  
また, 「諸國寶弘書房」として一編の灰屋助治  
が脱け, 大坂 河内屋茂兵衛, 岡山 片上屋孫  
兵衛, 熊本 橋屋儀助が加わる  
※二篇見返し内題, 書名右に「諸家隨筆」とある。  
4-69オ1 ふ五拾六全貳冊 30銭

カミヨノマサゴト  
32783 神代正語 上・中・下 大1帙3冊  
本居宣長著・自序, 栗田土満序, 横井千秋跋  
(1789) (1790)  
寛政元自序, 同2刊  
「木綿苑藏板」  
※刊年は『国書総目録』による。

5-05カ1 ふ三拾五全三冊 35銭

アガタキザツロク ホ セウ  
32784 縣居雜録補抄 大1帙1冊  
(1812)  
長野美波留著・自序 文化9自序  
江戸 英平吉郎(本石町十軒店)  
※賀茂真淵の雜録に標注を加えたもの。巻末に  
「萬笈堂英遵藏板目録」8丁を附す。表紙に  
「居」の小札あり。

4—69ア1 ふ三百五拾四 30銭

32785 <sup>ウ ヒ ヤマフミ</sup> 宇比山踏 大1冊  
本居宣長著 <sup>(1798)</sup> 寛政10成  
「須受能屋蔵板」江戸 須原茂兵衛（日本橋  
通壹丁目）、京 錢屋利兵衛（寺町通四條上ル  
町）、松坂 柏屋兵助（日野町）  
※『国書総目録』によれば寛政11刊。<sup>(1799)</sup>

1—88ウ1 ふ七拾三全巻 20銭

32786 <sup>ジンダイ キ ウズノヤマカゲ</sup> 神代紀響華山蔭 大1帙1冊  
本居宣長著 <sup>(1800)</sup> 寛政12刊  
「鈴乃屋蔵板」松坂 柏屋兵助（日野町）、京  
錢屋利兵衛（寺町通四條上ル町）・河南儀兵  
衛（三條通御幸町西へ入町）  
※柱書「うすの山蔭」。

5—05シ2 ふ八拾三番全 25銭

32787 <sup>テイセイイ ツ モ フ ド キ</sup> 訂正出雲風土記 上・下 大1帙2冊  
千家俊信著、本居太平序 <sup>(1806)</sup> 文化3序・刊  
「梅之舎蔵板」江戸 須原屋善五郎（白銀町  
二丁目）、名古屋 風月孫助（本町一丁目）・  
永楽屋東四郎（玉屋町）、大阪 河内屋喜兵衛  
（心齋橋北久太郎町）、出雲 和泉屋助右衛門  
（杵築）・沢屋卯兵衛（松江）、松坂 柏屋兵助  
（日野町）、京 錢屋利兵衛（三條通柳馬場東  
入町）・河南儀兵衛（三條通寺町西へ入町）  
※巻末に「寛政九年七月十五日校合畢」とある。<sup>(1797)</sup>  
序題・柱書は「出雲風土記」。

5—83テ1 ふ五拾八全貳冊 50銭

32788 <sup>シラヌ ヒ カウ</sup> 不知火考 大1帙1冊  
中島廣足著、遠霞陳人序、長瀬真幸序、木下相幸序、  
藤原永章跋 <sup>(1835)</sup>  
天保6序（遠霞・木下）・跋（いづれも）・刊  
「十千堂蔵」江戸 英大助（江戸通十軒店）、  
大阪 秋田屋太右衛門（心齋橋通）  
※色刷の地図・景図2面あり。木下相幸序は、そ  
の説明。「樞園大人著述目録」1丁半あり。

5—83シ4 ふ八拾六全巻 20銭

32789 <sup>コンアンメイセキカウ</sup> 今按名蹟考 一～五 大1帙5冊  
岩橋秀榮著・自序、日野正二位跋、長原忠睦（著者  
の甥）跋

<sup>(1790)</sup> 寛政2跋（日野）、<sup>(1805)</sup> 文化2跋（長原）・刊

「弱府敏恵亭蔵板」和歌山 加勢田屋平右衛  
門（新通三丁目）・帶屋伊兵衛（新通二丁目）、  
京 菱屋孫兵衛（御幸町姉小路上ル）、江戸  
和泉屋庄次郎（浅草新寺町）、大阪 大津屋治  
郎右衛門（心齋橋南江五丁目）・奈良屋長兵衛  
（本町四丁目）・河内屋太助（心齋橋筋唐物町）

5—83キ6 ふ三百拾五全五 50銭

32790 <sup>チ ヨ ノ スミ カ</sup> 千世の住處 上・下 大1帙2冊  
岡真人熊臣著、源椿正舎序、配川信芳「附録」著、  
三好義英跋 <sup>(1833)</sup> 天保4序・刊

「櫻舎蔵板」

※下冊は「附録対問」と「後書」と「書目」より  
成る。

1—05チ1 大惣番号札原欠か 25銭

32791 <sup>ワミヤウルイジユウセウ</sup> 和名類聚抄 一～五 大1帙5冊  
源順著・自序、那波道圓校、羅浮散人序  
<sup>(1617)</sup> 元和3序

大坂 澁川清右衛門（心齋橋筋順慶町）

※大惣番号中「㊦六冊」の6冊目は32792にあた  
る。

4—85ワ5 ふ貳拾三㊦六冊 75銭

32792 <sup>ワミヤウルイジユウセウザンベン</sup> 和名類聚抄殘篇 大1帙1冊  
源順著、稻葉通邦「謄写」・跋  
<sup>(1801)</sup> 寛政13跋、<sup>(1801)</sup> 享和元刊

京 錢屋惣四郎、大坂 柏原屋清右衛門、江戸  
須原屋市兵衛、名古屋 永楽屋東四郎（玉屋  
町）

※内題「尾州大須宝生院藏倭名抄殘篇」。

4—85ワ6 32791の大惣番号参照 75銭

32793 <sup>カ ナ タイ イ セウ</sup> 假字大意抄 大1帙1冊  
村田春海著・自跋 <sup>(1801)</sup> 享和元跋、<sup>(1807)</sup> 文化4刊  
「織錦齋蔵板」

※表紙に「和学」の小札あり。

4—63カ2 ふ七拾四全巻 20銭

32794 <sup>タマク シ ゲ</sup> 玉くしけ 大1帙1冊  
本居宣長著、横井千秋序 <sup>(1789)</sup> 寛政元序・刊  
「名古屋 越智廣海蔵板」江戸 須原屋茂兵  
衛（日本橋一丁目）、松坂 柏屋兵助（日野町）、



名古屋 藤屋吉兵衛（玉屋町）

※表紙に「居」の小札あり。

1—05タ1 ふ六拾七全巻 15銭

コクガウカウ

32795 國號考

大1帙1冊

本居宣長著

(1787) 天明7初刊, (1799) 寛政11再刊

松坂 柏屋兵助（日野町）, 京 錢屋利兵衛  
（寺町通四條上ル町）

※裏表紙見返しに宣長の著述目録あり。

5—82コ5 ふ六拾七全巻 20銭

タマアラレ

32796 玉あられ

大1帙1冊

本居宣長著, 三井高蔭序

(1792) 寛政4刊

松坂 柏屋兵助（日野町）, 京 林伊兵衛（二  
條通柳馬場東入町）・錢屋利兵衛（寺町通仏光  
寺下ル町）

※見返しに「因／九二七号／一冊」（朱）の書込  
みあり。裏見返しに「本居先生著述書目」を附  
す。

4—62タ1 ふ六拾八番全 20銭

テンソトジャウベンベン

32797 天祖都城辨々

大1帙1冊

本居宣長著

(1767) 明和4奥書

名古屋 永楽屋東四郎（玉屋町）

※柱書「都城弁々」。永楽屋の目録1丁あり。

5—05テ1 や八百式拾八全 15銭

ニツチュウギヤウジリヤクダ

32798 日中行事畧解

大1帙1冊

大石千引著, 玄盅序, 松の屋のあるじ序, 永本寛光  
跋 (1820) 文政3序（いずれも）・跋・刊

「星廬藏板」

(1527) (1554)  
※本文末に大永7の藤資直, 天文23の沙弥, 慶長  
(1600) (1625)  
5の平胤信, 寛永2の源定和の相伝奥書あり。

図入り。

5—17ニ2 や千六番 20銭

コクテウカセツロク

32799 國朝佳節録

大1帙1冊

松下見林著・自跋

(1688) 貞享5跋・刊

大坂 森田庄太郎（北御堂前）

※表紙に「故」の小札あり。日本の年中行事を漢  
文で解説している。

5—17コ39 や千十四番 20銭

ニツボンセン トカウ

32800 日本遷都考

大1帙1冊

平本定智著, 十玉齋賀璋跋

(1669) 寛文9跋

書肆不明

※柱は「遷都考」, 内題は「日本歴代遷都考」。刊  
記は「洛陽書肆 刊行」とのみあって, 書肆名  
は削られている。

5—03ニ16 や千十七番 15銭

ワジココンツウレイゼンショ

32801 倭字古今通例全書 一〜八

半1帙8冊

橘成員著・自序, 山崎保春校・序, 幽谷庵伴益敏跋  
(1695) (1696)  
元禄8自序, 同9序・跋・刊

江戸 中川惠隆

※上記書名は見返し内題による。原題簽は「倭字  
通例書」。第1冊の表紙下部に「散三／共八本」  
の小札あり。

4—63ワ2 よ式十式番 50銭

ゴダウベン

32802 悟道辨 上・下

半1帙2冊

平田篤胤講談, 門人等筆記, 門人小島元吉・千本松  
(1813) (1811)  
吉周序 (上) 文化10成, (下) 同8成

「伊吹酒屋藏板」

※上冊内題は「悟道辨講本」。下冊の題簽下部に  
「尻口／物語」とあり, 同内題に「尻口物語」  
とある。柱書は上巻「悟道辨」下巻「悟道辨附」。  
下冊末に「伊吹酒屋先生及門人著述刻成之書目」  
1丁あり。

1—05コ1 ふ九拾五番全式 20銭

ジンダイノマキデキシヤウカイ

32803 神代巻直指詳解 一〜四

大1帙4冊

著者未詳・自序

(1697) 元禄10刊

京 小佐治半右衛門（堀川通本國寺前）, 大坂  
古本屋清左衛門（心齋橋筋）・河内屋平兵衛  
（同所）

※巻頭内題「日本書紀卷第一直指詳解」。

1—03シ4 や七百五拾式全四冊 50銭

シツノイハヤ

32804 志都の岩室 上・下

半1帙2冊

平田篤胤講談, 門人筆記, 早田弘道序, 奥山正胤跋  
(1811)  
文化8成

伊吹酒屋藏板

※内題は「志都能石屋講本一名意」。下冊末に「伊

吹酒屋先生及門人著述刻成之書目」1丁あり。

1—05シ3 ふ九拾六番全貳冊 30銭

32805 <sup>コダウタイイ</sup>古道大意 上・下 半2冊

平田篤胤講談，門人等筆記，小澤三折俊秀序  
(1824)  
文政7成

伊吹酒屋蔵板

※序について平田鐵胤による「古道大意由縁」あり。下冊末に「伊吹酒屋先生著述刻成之書目及巻数」1丁あり。

1—88コ3 ふ四拾番全貳 30銭

32806 <sup>サンゴホンゴクカウ</sup>三五本國考 上・下 大1帙2冊

平田篤胤述，門人等校  
(1835)  
天保6成  
写本

※内題下に「酒井氏記」の朱印あり。『国書総目録』によると版本に文久2版，(1862) 慶応2版，(1866) 刊年不明版があるという。

5—42サ1 ふ九拾九番全二 30銭

32807 <sup>ウミノナアヘセカイ</sup>馬名合解 大1帙1冊

本居大平著  
(1813)  
文化10刊  
書肆不明

4—23ウ4 ふ七拾八全壹 15銭

32808 <sup>ココンエウミカウ</sup>古今妖魅考 一～三 大1帙3冊

平田篤胤著，門人等校，柱譽正序  
(1828) (1831)  
文政11成，天保2序

伊吹酒舎蔵板

※1—29コ4(2)には同書四之巻～七之巻(大1帙4冊，写本，大惣本にあらず)を収める。本文前に平田鉄胤の「此書の成れるゆゑよし」あり。第3冊末に「伊吹能舎先生著撰書目」「門人著書類」を附す。

1—29コ4(1) ふ三拾八全三 50銭

32809 <sup>セイセキガイロンカウホン</sup>西籍慨論講本 一～四 大4冊

平田篤胤著  
(1811)  
文化8成  
写本

※内題下に「平田先生講談門人等筆記」とある。成立年は『国書総目録』によった。一名「儒道大意」。

1—88セ1 ふ貳拾九番全四冊 40銭

32810 <sup>コシホンジキヤウ</sup>古史本辭經 一～四 大1帙4冊

平田篤胤著，奎齋西宮先序，田中定秋序，男鐵胤・孫延胤校  
(1850)  
嘉永3序(西宮)・刊

伊吹酒屋蔵板

※内題下に「亦云五十音義訣」とある。第4冊末に「伊吹酒屋先生及門人著述刻成之書目」あり。

4—63コ3 ふ三拾番全四冊 60銭

32811 <sup>ケイヨウセウ</sup>螢蠅抄 一～五・附録 大1帙6冊

塙保己一著・自序，静寛堂のあるじ序  
(1811) (1849)  
文化8自序・序，嘉永2刊

書肆不明

※本文前に「螢蠅抄引用書目」を示す。日本の外交・軍事の歴史を述べた書。

5—13ケ1 て八百七拾全六冊 50銭

32812 <sup>ジンダイキアシカビ</sup>神代紀葦牙 一～三 大1帙3冊

栗田士満著・自序，本居大平序，青柳種信跋  
(1810) (1811) (1817)  
文化7自序，同8序，同14跋・刊

江戸 須原茂兵衛，大阪 高橋喜助・岡田儀助・葛城長兵衛，京 河南儀兵衛

※第1冊表紙に「神代の巻かうしやく」の小札，見返しに本書を紹介する「處士盧政」の書込みあり。

5—05シ1 や七百六拾番 40銭

32813 <sup>サキタケノベン</sup>さき竹の辨 大1帙1冊

本居宣長著  
(1798)  
寛政10成

松阪 文海堂柏屋兵助(日野町)

※内題は「伊勢二宮さき竹の辨」。成立年は『国書総目録』によった。

1—04イ2 ふ七拾七番㊦ 10銭

## 有 職

32814 <sup>イウソクコジツモンダフ</sup>有職古實問答 一～五 半1帙5冊

伊勢貞方著・自跋  
(1738)  
元文3跋  
写本

※大野屋の半紙を使用。

5—17ユ1 ゆ六百三拾貳全五 1円

32815 <sup>シャクヘイキ</sup> 酌并記 一～四 大4冊  
伊勢貞順著, 伊勢貞益抄, 伊勢貞丈増抄  
(1759)  
宝暦9識語(貞丈)

写本

※図入り。

1-86シ11 大惣番号札剥落 1円50銭

32816 <sup>ブザツキホチュウ</sup> 武雑記補注 上・中・下 大3冊  
伊勢貞丈著・自序・自跋 長澤伴雄補校・序・跋  
(1759) (1847) (1848)  
宝暦9自跋, 弘化4跋, 嘉永元刊  
「絡石舎藏版」江戸 須原屋茂兵衛・山城屋  
佐兵衛・須原屋伊八・岡田屋嘉七, 京 勝村治  
右衛門・上阪庄次郎, 若山 阪本屋喜一郎, 大  
阪 秋田屋太右衛門  
※図入り。

1-86フ1 〇〇拾三全三 75銭

32817 <sup>クワンシヨクヒカウ</sup> 官職備考 一～七 半1帙7冊  
三宅帯刀著・自序 (1695)  
元禄8刊  
京 永田調兵衛(錦小路通新町西エ入町)・上  
坂勘兵衛(押小路通御幸町西エ入町)・梶川儀  
兵衛(堀川通佛光寺下ル町)  
※内題は「本朝官職備考」, 柱書は「本朝官職考」。  
2-03ホ3 そよ八百三十巻全七冊 30銭

32818 <sup>カウセイシャウゾクシフエウセウ</sup> 校正装束拾要鈔 上・下 大1帙2冊  
(1798)  
寛政10刊  
大塚嘉樹校  
江戸 須原屋伊八  
(1614) (1797)  
※慶長19と寛政9の識語あり。内題・柱書「装束  
拾要抄」。  
5-17コ15 や九百八十五全二 35銭

32819 <sup>デヤウエイ</sup> <sup>シキモクゲンカイタイセイ</sup> 貞永式目諺解大成 一～五(六欠) 大1帙5冊  
環翠軒宗尤著・自序  
書肆・刊年不明  
※内題「御成敗式目諺解」, 柱書「式目抄」。  
2-03チ5 や九百三拾六全六 1円

32820 <sup>ホンテウ</sup> <sup>ジャライイヌオフモノ</sup> 本朝射禮犬追物記 (上)・下 半2冊を合綴1冊  
(1697)  
元禄10刊  
嶋津久通述, 林春斎記・跋

栗山宗兵衛  
※上冊表紙に「〇〇百十三」の小札あり。  
1-86シ10 大惣番号札剥落 20銭

32821 <sup>ワカ</sup> <sup>シヨクゲンセフケイ</sup> 和歌職原捷経 上・下 半1帙2冊を合綴1冊  
大江資衡(久川靱負)著, くさふせの龍のきみえ序  
(1783)  
天明3序・刊  
江戸 須原屋茂兵衛, 大坂 大野木市兵衛・淺  
野彌兵衛, 京 風月莊左衛門・近江屋治郎吉  
2-03ワ2 そ九百七拾六全貳〇 15銭

32822 <sup>シヤウジカイ</sup> <sup>ベンボウロク</sup> 姓氏解弁髦録 上・下 半1帙2冊  
宇野鼎(明霞)著, 子管跋 (1740)  
元文5跋・刊  
京 磯嶋卯右衛門  
※内題は「姓氏解」。表紙に「琴/共二本」の小  
札あり。  
5-64シ5 よ百拾七番全貳冊 30銭

32823 <sup>シヨクゲンセウベンゴ</sup> 職原鈔辨疑 上・中・下 大3冊  
壺井義知著・自跋, 下賀茂縣主清茂序, 衣笠散人  
(1717) (1718)  
「跋」(本文前にあり) 享保2跋, 同3序・刊  
京 唐本屋宇兵衛  
※内題・柱書「職原鈔辨疑私考」。原題簽左下ス  
ミに「卯」と刷られている。  
2-03シ7 や九百六拾三全三 30銭

32824 <sup>コ</sup> <sup>ジツシフエウ</sup> 古實拾要 一～五 大1帙5冊  
写本  
※内容は『続史籍集覧』八収録の「故実拾要」全  
15巻(篠崎東海著)からの抄出。第1冊表紙に  
「有職」(朱)の小札あり。  
5-17コ1 や千七十一全五 75銭

32825 <sup>イウソクシウチュウセウ</sup> 有職袖中鈔 一～六 小1帙6冊  
(1698)  
著者未詳 元禄11刊  
小笹平右衛門・川勝五郎右衛門  
※大惣印なし。  
5-17ユ2 大惣番号札原欠か 30銭

32826 <sup>カイセイ</sup> <sup>ヒヤクレウケンエウセウ</sup> 改正百寮訓要抄 大1冊  
(1455) (1663)  
二条良基著 康正元奥書, 寛文3刊  
野田弥兵衛

2-03ヒ3 大惣番号札剝落か 10銭

32827 <sup>リヤウシカウ</sup> 令私考 一〜五 大5冊

写本

※一名「令義解私考」。『国書総目録』によれば  
(1724)  
壺井義知著、享保9跋。但し、本書には跋文なし。

2-03リ4 や千七拾式 1円

32828 <sup>ブモン</sup> 武 門 禮用制度集 上・中下 半1帙2冊

著者未詳 享保12写

写本 (山本格安写)

8-22フ5 ゆ九百六拾老全式 20銭

32829 <sup>ゴザウエイキ</sup> 御造営記 上・中・下

特大 (27.6×20.2cm) 1帙3冊  
(1790) (1791)  
寛政2〜3成

著者未詳

写本

※上記書名は内題および中・下冊墨書題簽による。  
上冊の題簽には「京都 御造営記寛政」とある。  
「寛政元年御造営記」で本館カード目録に入る。  
中冊の奥書に「寛政二年八月日 儒負臣 柴邦彦  
記」とある。また、下冊冒頭に寛政3の「今上  
皇帝御詠」あり。

京カ6 や千五十三全三 40銭

32830 <sup>ゴソクタイオメシノキ・カクゴセウ・キン</sup> 御束帯御召之記・覚悟抄・禁

<sup>チュウノコジツリヤクキ</sup>  
中之故實略記 大1帙3冊を合綴1冊

写本

※三書それぞれ別筆。

5-17オ1 や千六十二 30銭

32831 <sup>カザリセウ</sup> 飭鈔 上・下

特大 (28.4×20.0cm) 1帙2冊

土御門通方著 享保20写

写本

※上冊表紙に「式百五十九」・「有」の小札あり。

5-17カ3 や千五十五全二 60銭

32832 <sup>ニハンモンダフ</sup> 二判問答

特大 (29.6×19.6cm) 1帙1冊

写本

※同書『群書類従』第十七輯所収本によれば、二

階堂判官政行間、後成恩寺関白兼良公御答。

5-17ニ1 や千六十八 10銭

32833 <sup>ヘイギキダン</sup> 平義器談 上・下 大1帙2冊

伊勢平蔵貞丈著・自序、塙保己一序、嫡孫 平貞春訂  
(1771) (1802)  
明和8自序、享和2刊

江戸 翫月堂堀野屋仁兵衛 (本石町四丁目大横町)

※上冊表紙に「千四百四十八」の小札あり。下冊紙面に破損あり、書写により補修してある。上は「平家物語」、下は「義経記」の武具に関する記事。

8-22ヘ1 て七拾三全式 20銭

32834 <sup>ガイウマンロク</sup> 雅遊漫録 一〜七 半7冊

大枝流芳著、大江都庭鐘序 (1755) (1763) 宝暦5序、同13刊  
大坂 渋川清右衛門 (心齋橋筋順慶町)・大賀惣兵衛 (南新町一丁目)

※第1〜3冊に「田氏家蔵」朱印あり。

8-64カ1 そ八百三十四全七冊 70銭

32835 <sup>シヨククワンシ</sup> 職官志 一〜六 大6冊

蒲生秀實著、阿波介以文序、會沢安跋 (1835) 天保6序・刊

大坂 加賀屋善蔵 (心齋橋通安土町)

※第6冊の跋文に落丁あり。第1冊表紙に「有職 (朱)」の小札あり。

2-03シ2 や九百三十七全六冊 35銭

32836 <sup>ギシキ</sup> 儀式 一〜十 大1帙10冊

阿波介藤原以文校、男有孝同志者等再校 天保5刊 (1834)

京 出雲路文治郎・佐々木惣四郎・林喜兵衛、  
大坂 吉田善蔵

※見返しに「㊦/三百五十四号/十冊」と朱の書込みあり。

5-17キ4 大惣番号札原欠 1円50銭

32837 <sup>ガウトウデウユカイ</sup> 龍頭 重改 <sup>ゾウチュウ</sup> 増註 <sup>シヨクゲンセウサンカウ</sup> 職原鈔參考

上・下 大2冊

讀人於雲子著・自跋 (1704) 宝永元跋

書肆不明

※内題および柱書は「増註職原鈔」。全5巻。原体裁5冊を合綴2冊か。

史関 国史さ5-14 や九百八拾三全二 35銭

32838 <sup>ブ ケ ジ キ</sup> 武家事紀 一~五十八 (※参照)

特大 (29.2×20.3cm) 8帙52冊

写本 (題簽のみ整版)

※冊次, 二十九と三十, 四十一と四十二, 四十七と四十八, 五十と五十一, 五十五と五十六, 五十七と五十八が, それぞれ1冊。寛延4<sup>(1751)</sup>の朱印がある。「小室氏藏書印」「本多藏書印」(朱)あり。大正4出版の山鹿素行先生全集刊行会『山鹿素行全集』所収の「武家事紀」によると, 山鹿素行著, 延宝元の自序あり。本書に序なし。

5-03フ5 大惣番号札原欠か 55円

32839 <sup>エンタイリヤク</sup> 園太暦 目録上・下・延慶四~延文五

特大 (28.3×21.1cm) 6帙37冊

洞院公賢著, 按察使前原奥書

写本

5-04エ3 大惣番号札原欠か 20円

32840 <sup>ホンテウドリヤウケンカウカウ</sup> 本朝度量權衡考 ※参照 大7冊

符谷望之著

写本

※各冊題簽は順に「本朝度考全」「本朝量考/本朝權衡考全」「本朝度量權衡攷附録 上之上 (上之下・中・下之上下)」「本朝度量權衡攷図全」。

6-48ホ1 大惣番号札原欠か 15円

32841 <sup>カウリヤウビカウ</sup> 講令備考 一~十六 大16冊

稲葉通邦・河村秀根・石原正明・神村正鄭等著

写本

※各冊の表紙に「東二十一」及び「律令部/第十六/共十六本」の札あり。各冊初丁に「和学講談所」の朱印あり。著者は『続々群書類従』第六による。本書には序を欠く。

2-03コ10 大惣番号札原欠か 19円33銭

## 仏 書

32842 <sup>ホツシンヂキニフ ロ</sup> 發心直入路 大1冊

著者未詳

書肆・刊年不明

※表紙に「禪仏百八十二」の小札あり。

1-25ホ2 ま六百拾七全 10銭

32843 <sup>ゼンリンタンダウラシャウ カ ナ ホフ ゴ</sup> 禪林湛道和尚 加那法語 大1冊

湛道常然著

安永4刊

京 菊屋安兵衛 (寺町通三条上ル町)

※第10丁ウラに「花園末枝勢州三重郡禪林寺藏板」とある。第11丁より「無相娘児省悟歌」。末尾に「菊英館藏板目錄拔書」あり。原題簽下部に「附録/省悟歌」とある。表紙に「禪」の小札あり。

1-25タ5 ま六百三拾三 10銭

32844 <sup>ニジフサンモンダフ</sup> 廿三問答 大1冊

夢窓疎石著

(1350~52) (1648) 観応ごろ成, 正保5刊

書肆不明

※上記の著者・成立年は『国書総目録』による。

表紙に「禪」の小札あり。

1-25ニ1 ま六百貳拾七 10銭

32845 <sup>エイヘイカウソ シヤウボフゲンザウギヤウヂヘン</sup> 永平 正法眼藏行持篇 大1冊

道元著, 玄透即中校・識語

(1787) 天明7刊

「攝陽 佛眼藏版」

※上・下より成る。原題簽に「禪」と書込みあり。

1-25シ8 ま六百〇八全 15銭

32846 <sup>ダイジヨウボダイシウ</sup> 大乘菩提舟 上・下 大2冊

著者未詳

(1684) 貞享元刊

京 吉野屋惣兵衛

※表紙に「佛」「禪」の小札あり。

1-25タ3 ま五百八拾六全式 20銭

32847 <sup>エイヘイカウソ ベンダウワ</sup> 永平 辨道話 大1冊

道元著, 玄透即中校・序

(1788) 天明8序・刊

摂津 佛眼禪寺藏版

※裏見返しに旧藏者朱印あり。表紙に「柳」「仏六百八十三」の小札あり。

1-25ヘ5 ま六百〇三全 10銭

32848 <sup>ホウグシフ</sup> 反故集 上・下 大2冊

鈴木正三 (石平道人) 著

(1671) 寛文11刊

京 堤六左衛門 (寺町二条上町)

※別称「石平反故集」。上册表紙に「仏式百九十一」「全二冊」の小札あり。

1—25ホ1 ま五百八拾九全式 25銭

32849 <sup>エイヘイシ</sup>永平 <sup>ガクダウヨウジンシフモン</sup>祖師 學道用心集聞解 大1冊

面山瑞芳述・自序，慧観記，可翁叟門髓跋  
(1766) 明和3序・跋，同4刊 (1767)

京 河南四郎右衛門（堀川通佛光寺下ル町）・  
長村半兵衛（同町）・小川多左衛門（六角通御  
幸町西エ入町）

※表紙に「禅」「佛」「仏式百三十」の小札あり。

1—25カ3 ま六百〇五全 15銭

32850 <sup>マウアンヂヤウ</sup>盲安杖 大1冊

鈴木正三著，堵庵序 (1655) 承応4奥書，安永7序 (1778)

「千載房藏板」，京 山本長兵衛（二条通麩屋  
町東入町）・森口勘兵衛（松原通柳馬場東入町）  
・脇坂庄兵衛（二条通堺町東入町）・淡海治郎  
吉（麩屋町通御池上ル町）・平井文藏（堀川通  
松原上ル町）

※承応4版に手島堵庵の序ならびに注を補刻した  
ものと思われる。原題簽に「禅宗」と書込みあ  
り。見返しに「鈴木正三和尚七部之書」など書  
名を示した札を貼付する。

1—25モ2 ま六百三拾九 10銭

32851 <sup>フカトクモノガタリ</sup>不可徳物語 上・下 大2冊

著者未詳・自跋あり (1648) 正保5刊

書肆不明

※内題の用字は「不可得物語」。仮名草子。上册  
表紙に「禅」「仏式百七十八」の札あり。

1—25フ1 ま五百九拾三全式 20銭

32852 <sup>シヤウイチコクシホフゴ</sup>聖一國師法語 大1冊

圓爾辨圓著 (1648) 正保5刊

水田甚左衛門

※表紙に「禅」「佛」「仏式百七」の小札あり。

内題「東福聖一國師ノ法語」。別称「（聖一國  
師）坐禅論」。末尾に朱印あり。

1—25シ6 ま六百五十九 10銭

32853 <sup>ケウヤウシフ</sup>孝養集 上・中・下（壹・貳・参）

大3冊 (1643) 寛永20刊  
覺鏝偽撰

京 林甚右衛門（三条通菱屋町ふ屋）

※第1冊表紙に「真言」「□三百廿三」の小札あ  
り。「カウヤウシフ」とも。

1—26キ3 ま四百三拾七全三 40銭

32854 <sup>カシラガキ</sup>頭 <sup>テウセイデン</sup>宛誓傳 大1冊  
大木食以空著 (1671) 寛文11成

「山州山崎観音寺藏板」

※末尾に観音寺僧による「首」なる一文を附す。

1—26チ3 ま四百七拾四 10銭

32855 <sup>ネンブツダイゴヒエウザウ</sup>念佛醍醐秘要藏 大1冊  
諦忍著・自跋 (1746) 延享3跋，同5刊 (1748)

京 澤田吉左衛門（知恩院門前）・茨木多左衛  
門（六角通），名古屋 藤屋傳兵衛（本町）

※表紙に「真言」「□百四十一」の小札あり。第  
1丁と裏見返しに「白雲」の印あり。

1—26ネ3 ま四百七拾九 15銭

32856 <sup>カウキカウリヤク</sup>校正 <sup>シヤウミヤウネンブツキドクゲンシヨウシフ</sup>略 稱名念佛奇特現證集  
上・下 大2冊

隆堯著，蓮溪寅載序，湛澄序，鶴寶洲跋，棲蓮居跋  
(1712) 正徳2序（いずれも）・跋（寶洲）・刊

京 澤田吉左衛門（知恩院対門）

※「文教堂」印あり。各冊見返しに「直乗房所持  
／貳巻之内」と書込みあり。

1—26シ185 天台ま四百五十八全式 20銭

32857 <sup>ダンギモドリ</sup>談義もとり 上・下 大1帙2冊  
洞空著，蓮盛跋 (1690) 元禄3跋・刊

京 秋田屋五郎兵衛（寺町和泉式部前）

※上册表紙に「○三百六十三」の小札あり。絵入  
り。

1—26タ7 ま三百十二番 25銭

32858 <sup>ニンニクズイヒツ</sup>忍辱隨筆 天・地 大2冊  
愚菴著 (1778) 安永7刊

京 澤田吉左衛門（知恩院古門前）

※天冊表紙に「浄」の小札あり。同見返しに「忍  
辱雜記 四冊」と朱の書込みあり。

1—26ニ5 ま八百六拾三全式 30銭

32859 シャウカクホフイン 聖覺 法印 シジフハチグワンシヤク 四十八願釋 一〜五  
大5冊  
(1690)  
元禄3刊

聖覺法印著

京 河南四郎右衛門

※第1冊表紙に「浄」の小札あり。

1—26シ3 ま七百五拾三全五 40銭

32860 ジャウドシンシユウ 浄土 眞宗 ハイビウヨクシユウヘン 排謬翼宗篇 上・下  
大2冊  
(1789)  
寛政元刊

流海忘已著

江戸 須原屋茂兵衛（日本橋）、大坂 大野木市兵衛（心齋橋）、名護屋 藤屋吉兵衛、和州 郡山 永原屋忠兵衛、京 河南四郎兵衛（堀川）

※上冊表紙に「本」の小札あり。

1—26ハ2 ま千五百拾番全式 15銭

32861 ボンマウリツシユウソウカイセツ 梵網律宗僧戒説 大1冊  
恋西子敬光著、寅綱序、良嚴跋  
(1791) (1792) (1793)  
寛政3成、同4序、同5跋・刊

京 赤井長兵衛（寺町通仏光寺上ル町）

※『国書総目録』によれば「諺談円頓戒義」また「梵網宗海僧戒説」なる別称あり。後補題策「律宗僧戒説」、序題「僧戒説」。

1—26ホ6 ま四百九拾番 10銭

32862 ネンブツムジャウダイゴヘン 念佛無上醍醐編 大1冊  
諦忍妙龍著、「無名氏」序、卮尾嶺周跋  
(1740) (1757) (1758)  
元文5成、宝暦7刊記、同8跋

京 澤田吉左衛門（知恩院門前）・村上勘兵衛（二条通車屋町角）・中野宗左衛門（寺町通五条上ル町）・銭屋七郎兵衛（堀川通仏光寺下ル町）・茨城多左衛門（誓願寺通麩屋町東へ入町）、名古屋 藤屋傳兵衛（本町）

※表紙に「□仏四百四十七」の小札あり。上・中・下の3巻より成る。柱書「念佛醍醐編」。

1—26ネ5 ま四百八拾四 25銭

32863 リツランギヤウジモンベン 律苑行事問辨 一〜十 大10冊  
諦忍著・自序、真龍「跋」（本文前にある）  
(1753) (1764) (1776)  
宝暦3成・自序、同14刊記、安永5跋

京 澤田吉左衛門（知恩院町古門前）・小川多左衛門（六角通御幸町西エ入）・梶川七郎兵衛

（堀川仏光寺下ル町）、名古屋 菱屋久兵衛（本町）

※第1冊表紙に「律」の小札あり。末尾に諦忍著・自序「坐具顯正録」を附す。

1—26リ1 ま四百〇三全拾冊 1円

32864 ネンブツワウジャウケツシンキ 念佛往生決心記 大1冊  
蓮阿（良遍）著、釋清慶序、慧堅戒山序、華頂義山跋  
(1251) (1697)  
建長3成、元禄10序（いずれも）・跋  
古藤彩賢堂

※表紙に「法相宗」「仏百五十一」の小札あり。柱書「往生決心記」。

1—26ネ1 ま四百九拾貳 10銭

32865 ジュンレイカエウカイ 順禮歌要解 上巻・下巻 大2冊  
啓譽知寛著・自序 宝暦11序、安永8刊  
(1761) (1779)  
大坂 沢川清右衛門（心齋橋順慶町）・野村長兵衛（高麗橋壹町目）

※内題は「西國巡禮歌要解」。刊記右に『西國順礼歌諺注』の広告あり。

1—26サ1 ま三百八番 25銭

32866 ネンブツフゾクツウ 念佛風俗通 乾一・乾二・坤三・坤四 大4冊  
勸智（皆空）著・自序、藤原俊將序、藤原重豊跋  
(1742) (1745)  
寛保2自序・序・跋、延享2刊

京 中西與兵衛（寺町押小路下ル町）

※第1冊表紙に「天」「□三百五十三」の小札がある。各冊末に旧蔵者「杵田」の印。

1—26ネ4 ま四百貳拾卷全四 35銭

32867 シンレンセウ 心蓮鈔 大1冊  
惠心（源信）著 (1694)  
元禄7刊  
藤田八兵衛

※上記書名は目録題および墨書題策による。本文内題は「心蓮雜識鈔」。表紙上部中央に「天台」の小札あり。

1—26シ37 ま四百六拾六全 15銭

32868 アミダキヤウギエウ 阿彌陀經義要 上本・上末・下本・下末 大4冊

光遠院惠空著・自序、西湖沙門某跋  
(1702) (1710) (1711)  
元禄15序、宝永7跋、同8刊

京 奈本屋大角清兵衛（佐女牛井通第五橋）

※柱書「小經義要」。第1冊表紙に「経」「□」三  
百五十四」の小札あり。

1—23ア1 ま五拾三共四冊 30銭

32869 ソンガウシンザウメイモン  
尊號眞像銘文 本・末 大2冊  
親鸞著 (1255) (1713)  
建長7成, 正徳3刊  
京 河南四郎右衛門

1—26ソ2 ま千百七拾三全式 15銭

32870 ジャウドクワンゲンゲンカイ  
淨土勸化言々海 (巻上・中・下)  
大3冊を合綴1冊  
智洞著・自序, 春國芳瑞序, 紀南瓊芳跋 (1749) (1750)  
寛延2自序, 同3序・跋

京 八尾清兵衛 (堀川通松原上町)

※旧第2冊と第3冊の間に「此巻一部之肝要=候  
間御求被成候/上=而 封印御切可被下候以上」  
と刷られた遊び紙が挿みこまれている。表紙に  
「浄」「本仏四百八十七」の小札がある。上記  
書名は内題などによる。芳瑞の序の題及び跋題  
は「言々海」。

1—26シ23 ま八百三拾壹合壹 30銭

32871 リンザイケゴ  
臨在家語 巻上・巻中・巻下 大3冊  
玄樓奥竜「演説」, 侍者編, 盟香慎序 (1819)  
文政2序・刊

「當陽軒藏版」, 大坂 播磨屋九兵衛 (高麗橋  
壹町目)

※上記書名は見返し内題による。原題簃には角書  
「佛心宗」あり。巻頭内題「玄樓禪師臨在家語」。  
第1冊表紙に「禪」の小札あり。

1—25リ2 ま五百五拾三全三 40銭

32872 ハシヤクヒヤウバン  
破釈評判 上・下 大2冊  
鉄眼道光著 (1670)  
寛文10刊  
書肆不明

※『楞嚴講談破釈』を批評した書。墨書題簃には  
角書「楞嚴/講釈」あり。上冊表紙に「仏三百  
八十六」「禪」の小札あり。

1—25ハ1 ま五百九拾貳全式 10銭

32873 タイニンリツ シホフゴ  
諦忍律師法語 大1冊  
諦忍述, 金臺山穩岡序, 門人小子謙光記・跋 (1784) (1785)  
天明4序・跋, 同5刊  
京 河南四郎兵衛 (堀川通佛光寺下町), 名

古屋 藤屋吉兵衛 (本町七丁目), 岐阜 同喜  
平次

※表紙に「真言」「仏百七十二」の小札あり。見  
返しに朱で諦忍著作の書名を書込んでいる。  
「附録古歌四十八首」「古詩廿二首」あり。

1—26ヤ1 ま四百七拾六〇 10銭

32874 ヲハリクニフシマムラ  
尾張国 津島 妙栄山本蓮寺由来記  
特大 (29.3×21.5cm) 1冊 (1796)  
著者未詳 寛政8写

写本 (佐藤徳甫写)

※巻頭に美濃版3丁分の「尾張国 妙栄山本蓮寺略  
縁記」(寛政11写) (1799) が綴じ込まれている。表紙  
に「仏貳百番」「日」の小札あり。

1—22ミ4 ま千三百九拾九 10銭

32875 ドウジャツブツソゲンリウエイサン  
洞上佛祖源流影讀 大1帙1冊  
無得良悟著・自序・自跋, 無明跋, 祖海跋 (1737) (1738)  
元文2序, 同3跋 (無明・祖海)  
書肆不明

※表紙上部に「禪」の小札あり。画入り。

1—21ト1 ま六百貳拾壹 20銭

32876 エイヘイカイサングウゲンダイヲシヤウ カ ナ ホフゴ  
永平開山道元大和尚假名法語  
大1帙1冊 (1250) (1659)  
道元著 建長2識語, 万治2刊

飯田忠兵衛

※後補墨書題簃は「永平 開山 道元禪師法語全」。巻末内  
題「永平開山道元和尚假名法語」。

1—25ト1 ま六百〇貳全 10銭

32877 ズイリニウ  
瑞 鐵眼禪師假字法語 大1冊  
鉄眼道光著, 弟子優婆塞跋 (1691)  
京 八わたや四郎兵衛 (寺町通御池上ル町下よ  
り経師小細工所)

1—25テ1 ま六百五拾番 15銭

32878 ニョウン シテキラウ カ ナ セツボフ  
如雲紫笛翁假名説法 大1冊  
如雲紫笛著, 瑜伽僧巴狀序, 無事菴跋 (1777)  
安永6奥書・跋

京 山本長兵衛 (二条通麴屋町東江入町)・伊  
賀屋善右衛門 (寺町通姉小路上ル町)・八文字  
屋仙次郎 (二条通堺町東江入町)・炭屋勘兵衛



(烏丸通松原下ル町)・美濃屋治右衛門(堀川通三条下ル町)・銭屋善兵衛(四条上ル町)  
※末尾に「附録いろはうた」があり、後補墨書題  
簽中に「附録いろは歌」と書込まれている。

1-26シ5 ま六百五十八 15銭

サイハン ミ ノブサンシヨルイジュ  
32879 再板 身延山書類聚 大1帙1冊  
(1668) (1837)  
編者未詳 寛文8初刊, 天保8再板

書肆不明

※巻頭・巻末の内題・目録題「身延山記」。「身延文庫」の印あり。

1-22ミ3 ま千三百八拾九全壹 15銭

シカイシヤウダウ ニチザウ ボ サツトクカウ キ  
32880 四海 唱導 日像菩薩德行記 大1帙1冊  
(1772)  
日將著・自跋, 日觀序 明和9序・跋

京 村上勘兵衛(二条通車屋町角)  
※絵入り。柱書「日像德行記」。序題「増補龍華 日像菩薩德行記」。著者・序者ともに洛陽妙顯寺の僧。序跋より本書は著者の前著『龍華傳』が漢文で「文字俗に通じがた」きにより「假名を以て抜書し德行記と名づ」け「児童をして読やすからしめんと欲」したものであることがわかる。

1-21ニ2 ま千三百七拾七 10銭

ケツエウセウ  
32881 決要鈔 上・下 大2冊  
(1633) (1680)  
日澄著, 日暹跋 寛永10跋, 延宝8刊

書肆不明

※上冊表紙上部に「日」の小札あり。「眞光」の印あり。

1-26ケ1 ま千三百四拾五 30銭

ニチレンシユウコ ジ デン キ  
32882 日蓮宗古事傳記 大1冊  
著者未詳 成立年不明

写本

※講席の記録。見返しに「正月ノ勸信題目抄初メニアリ」「山科義寛(花押)」と別筆で記す。

1-26ニ4 ま千三百九拾四 15銭

ゴ ショエウモン  
32883 御書要文 上・下 大2冊  
(1564)  
世雄坊日性著 永祿7成

京 桐華堂中村五兵衛(寺町通二条下ル町)  
※上冊表紙に「日」「日仏式百九十六」の札あり。

同見返しに「屋陽醫士ハ岐立玄元長/良寛(花押)」などと書込みあり。

1-26コ2 ま千三百六拾三 30銭

コンギョクサツエウシフ  
32884 岷玉撮要集 大1冊  
(1716)  
日重編 正徳6刊

京 勝村治右衛門

※大惣蔵書印なし。本書は本文末尾に「延山重師制スル所ノ岷玉集ハ先季世ニ流布スト雖モ廣博成故懷用仕難シ。之ニ依テ撮要シテ弘通ノ為開板セ令ル者也」(原漢文)というもの。上・下2巻より成る。日蓮宗。

1-26コ7 ま千三百八拾壹 15銭

ダウゲンヲシヤウ イロハウタナラビニチュウ  
32885 道元 和尚 伊呂波歌并註 大1冊  
(1683)  
道元和尚著 天和3刊

江戸 三河屋久兵衛・吉野家徳兵衛

※表紙に「九十四」の小札あり。巻頭内題は「佛徳開山道元和尚伊呂波歌抄」, 巻末内題は「興聖寺開山道元和尚述伊呂波道歌并註」。

1-25イ2 ま六百三拾四 10銭

フオウコクシン サンバウヤワ  
32886 普應 國師 山房夜話 大1冊  
中峯廣慧禪師著 刊年不明

京 興文閣小川源兵衛

※巻頭・巻末には「一華五葉集巻上」とあり, 巻末の「興文閣蔵版目録」には「中峯和尚 一華五葉全三冊」とある。「一華五葉」は『山房夜話』を含む中峯著作五部の総称。

1-25サ3 ま六百貳拾貳 10銭

フ サウサイギン  
32887 扶桑再吟 一〜四, 大4冊  
(1654)  
扶桑大嗽著 承応3刊

京 中野市右衛門

※第1冊表紙に「禪」の小札。巻頭内題「天女山孝顯十二世扶桑大嗽禪祖説吟」。各冊末内題と柱書は「扶桑之説吟」。

1-25フ2 ま五百四拾壹全四 50銭

ゼンシユウムモンクワン  
32888 禪宗無門関 乾・坤(巻之上・巻之下) 大2冊  
(1633)  
無門比丘惠開著, 彌衍宗紹編, 注者不明 寛永10刊  
京 中野市右衛門

※題簽は墨書後補。上冊表紙に「禪」〔□□式百七十三〕の小札あり。序末題・目録題は「佛祖機縁無門関」。本書は『無門関』の抄物。本文の漢文に振仮名の書込みあり。

1—25ム2 ま五百七拾七全式 30銭

ダンセイシヤウニンエコトバデン  
32889 彈誓上人繪詞傳 乾・坤

大1帙2冊

信阿宅亮著・自跋、諦忍序、善阿序

(1767)  
明和4序(諦忍)・跋・刊

大坂 澁川清右衛門(心斎橋筋順慶町)、江戸  
西村源六(通本町三丁目)、京 西村市郎右  
衛門(堀川通錦小路上ル町)

※乾冊表紙の題簽右に「淨」の小札、同右上スミ  
に「□□□百七十三」の小札あり。柱書は「行  
狀記」。坤冊の裏見返しに仏書広告(『往生要  
集』以下12点)あり。

1—21タ4 ま八百六拾八全式 20銭

ゲツアンクワシヤウノホフゴ  
32890 月庵和尚法語

大1冊

月庵宗光著

刊年不明

「松會開板」

※書名の振仮名、「和尚」を「をしやうの」とも。  
また『国書総目録』によれば「げつたん……」。  
表紙右上に「禪仏百三十五」「佛」の小札あり。

1—25ケ1 ま六百四拾五 10銭

メイゴモンダフシフ  
32891 迷悟問答集

大1帙1冊

著者未詳

(1643)  
寛永20刊

京 林甚右衛門(三條通菱屋町)

※表紙に「禪」〔□□百式十一〕の小札あり。

1—25メ1 ま六百式拾六 10銭

ホンモンジイチネンサンゼンギ  
32892 本門事一念三千義 上・下 大2冊

觀如院日透著、日塔序、日幹序、無名氏序、日體跋  
(1717) (1767) (1768)

享保2奥書、明和4序(日塔・日幹)、同5跋  
江戸 丹波屋甚四郎

※柱書「事觀義」。上冊表紙上部に「日」の小札  
あり。

1—26ホ7 ま千三百五拾六 20銭

シユクワウ  
32893 殊 往生集 一・二

縦長(26.2×15.5cm) 1帙2冊

抗沙門祿宏著・自序、釋子慧覺跋  
(1584) (1652) (1652)  
万曆12序、慶安5跋、承応元刊

京 西村又左衛門(寺町誓願寺前)

※各冊表紙に「禪」、また第1冊表紙に「□□式  
百八十九」の小札あり。全3巻で、跋は巻之三  
の前にある。

1—21オ1 ま五百七拾六全式 20銭

ゴシヨオンギ  
32894 御書音義 上・下 大2冊

著者未詳

(1648)  
正保5刊

書肆不明

※上冊表紙の題簽右に「日」の小札あり。内容は、  
(上冊)立正安国論、開目鈔上・下、撰時抄上、  
(下冊)撰時抄下以下70余点中の文字の読み方  
の説から成る。

1—26コ1 ま千三百六拾壹 25銭

ヤマシロ  
32895 山城 新編法華靈場記 冠部上・下・  
一之上・中・下・二〜六 半1帙10冊

豊臣義俊編・自序(一之上)、三折敬甫跋

(1685) (1686)  
貞享2序、同3跋

京 植村藤右衛門(堀川通高辻上ル町)

※冠部上・一之上・二〜六各冊巻頭に目録あり。

冠部は日蓮宗関係についての一般論。一〜六は  
京にある日蓮宗諸寺院についての説明。「境内  
之図」あり。一之上冊、序の次に凡例あり。各  
冊内題「法華靈場記」。

1—22ホ1 よ七百五拾壹全拾 1円

シフズイシヨ  
32896 拾穂書 (巻上・中・下)

大3冊を合綴1冊

著者未詳

(1646)  
正保3刊

平田半左衛門

※末丁に成立事情を記した逸名跋がある。『国書  
総目録』には「拾穂集」として出る。

1—26シ10 ま六百式拾三全 25銭

シチカウソウサンダンセウ  
32897 七高僧譚喫鈔 巻一巻二・巻三巻四・  
巻五・巻六巻七 大1帙7冊を合綴4冊

著者未詳

(1727)  
享保12刊

永田調兵衛・芝田忠次・安田利兵衛・永田喜兵  
衛

※第1冊見返し内題は上記の通りだが、その上に

一 仏

右横書きで「眞宗傳燈」とある。各冊原題簽は「三朝七高僧勸化鈔」。第1冊表紙に「本」「仏五百七」「全部四冊」の貼札がある。本書は元来全7巻を1巻1冊計7冊に配したもののだが、もとの第1冊と第2冊、第3冊と第4冊、第6冊と第7冊をそれぞれ1冊に合綴し、原題簽の冊次などを適宜書き改めている。

1—21シ3 ま千九拾貳全四 70銭

32898 タフバク シクワ 答駁止訛 大1冊  
綾水沙門大極著・自序、慈菴天心序  
(1719) 享保4序・自序

書肆不明

※表紙に「法論」「仏貳百七十一」などの貼札がある。原題簽には「前」とある。天台宗。

1—26ト3 ま三百三十九 10銭

32899 カイナン カマシ キ 解難 金斯幾 半1帙1冊  
鳥有道人著・自序・自跋、三埜隱士某序  
(1793) 寛政5自序・序・刊  
江戸 蔦屋重三郎、名古屋 月孫助・永楽屋東四郎  
※表紙に「禪」の小札あり。

1—25カ6 よ五百拾四全壹 10銭

32900 ジャウドシンシユウ 浄土 開疑鈔 卷之一・卷之二末  
眞宗 開疑鈔 大1帙5冊  
・卷之三〜五 (1681) 延宝9刊  
空誓著

書肆不明

※「卷二之本」冊を欠く。刊記の書肆名が切りとられている。上記事者名は『国書総目録』による。

1—26カ9 ま千七拾五全五 40銭

32901 レンニョシヤウニン 蓮如 シンシユウケウエウセウ 眞宗教要鈔 本・(末)  
上人 (上・下) 大1帙2冊  
(1644) 寛永21刊  
蓮如著

京 丁子屋(五條橋通扇屋町)

※原題簽は剥落し、本書にはさみ込んである。上冊表紙に「蓮如上人御作」の小札あり。上冊末の内題「教要抄」。

1—26シ30 ま千百六拾四全貳 15銭

書 一

32902 トウリンカウメイシフ 東林更鳴集 上之本・末・中之本・末  
・下之巻 大5冊  
(1716) 享保元序、同2刊  
著者未詳・自序あり

小林半兵衛・河南四郎右衛門

※第1冊表紙に「本」の小札あり。浄土眞宗。

1—22ト1 □四百八十二 40銭

32903 ヒ ユセウ 譬喩鈔 乾・坤 大2冊  
慧空師著 (1717) 享保2刊

京 菱屋五兵衛(東六條)

※乾冊表紙に「仏貳百八十」「本」の小札あり。

浄土宗。

1—26ヒ3 大惣番号札剥落 20銭

32904 ゾンカクシヤウニン 存覚 ヒ デンセウ 上人 秘傳抄 上・下(本・末)  
大1帙2冊  
(1716) 正徳6刊  
常樂臺釋存覺著、逸名序あり

京 河南四郎右衛門

※上冊の表紙中上部に「本」の小札あり。序題は「親鸞聖人御因縁秘傳鈔」。「本」冊の内題ではこの「鈔」を「集」とする。下冊にのみ目録あり。

1—21シ22 ま千百六拾三全貳 20銭

32905 カチヲアラエengi 勝尾寺縁起 上・中・下 大1帙3冊  
廬山大舟禪寺嗣祖沙門別傳經薫手著  
(1683) 天和3奥書(正篇)、元禄11奥書(続)、同16刊  
京 古川三郎兵衛(寺町五條上ル町藤屋)

※上冊の表紙中上部に「縁起」、右上スミに「仏三百三十三」の小札あり。内題は「應頂山勝尾寺縁起」とある。下冊は、原題簽「勝尾寺續縁起」で、「應頂山勝尾寺續縁起」(内題)上・下より成る。絵入り本。旧蔵者印あり。

1—22カ1 ま百五拾壹全三 30銭

32906 ネンブツアンジン 念佛 クワンゲグダウシフ 安心 勸化求道集 一〜七  
大1帙7冊  
(1723) 享保8刊  
沙門盤察著

京 錢屋庄兵衛(堀川通綾小路下ル町)

※第1冊表紙に「□百九十四」の小札あり。各冊表紙に白字で「碑」の書込みあり。

1—26カ5 ま七百三十壹全七 60銭

32907 ム ノウヲシヤウギヤウゲフキジ  
無能和尚行業遺事 大1帙1冊  
不能著, 西海行子序 (1778)  
安永7識語

京 澤田吉左衛門・菊屋長兵衛

※表紙に「百九十」の小札あり。刊記の前に  
「奥州無能寺門下某甲等」の識語あり。柱書は  
「行業遺事」。

1—21ム1 ま九百六拾七 10銭

32908 ニツシンシヤウニン トクゴヤウキ  
日親 徳行記 上・下  
上人 徳行記 上・下  
特大 (28.4×19.8cm) 1帙2冊

二十七嗣法日達著・自序

書肆・刊年不明

※絵入り。上冊表紙に「四百七十」の小札あり。

1—21ニ1 ま千三百六拾四 20銭

32909 トクホンシヤウニンエイカゲンチュウ  
徳本上人詠歌諺註 半1冊  
徳本上人詠, 沙門某甲註・自序, 大光普照子序, 前  
弘經寺眞譽龍道序 (1806) (1818) (1819)

文化3自序, 文政元序 (普照・龍道), 同2刊  
江戸 角丸屋甚助, 名古屋 永楽屋東四郎 (本  
町七丁目)・美濃屋伊六 (京町通小牧町)・美濃  
屋市兵衛 (京町通中市場町)・美濃屋清七 (傳  
馬町通御園町角)

※本文内題・序題 (某甲)「徳本和尚詠歌諺註」。  
序題 (龍道)「徳本道人和歌集」。

1—26ト1 大惣番号札原欠か 10銭

32910 カウ シゼンノジョウカントクデン  
孝子善之丞感得傳 (巻上・巻下) 半2冊

飲誉厭求「筆記」, 奥州伊達郡南半 田村直往奥書, 林丹  
治画 (1723) 享保8奥書

京 澤田屋吉左衛門 (洛東知恩院古門前石橋町)

※本文のあとに偈・和讃など9丁 (天明2成),  
「華頂山御藏版目録」1丁, 澤田屋の「藏版標  
目録」7丁がある。

1—21コ1 よ五百六拾壹 15銭

32911 セメネンブツ  
攻念佛 上・下 半2冊  
著者未詳・自序あり (1707) 宝永4序

書肆不明

※序によれば, 寛永の頃の舜統院真超著『破邪頭  
正禁断義』を論駁した日蓮宗の書。原題簽中・

内題下に「禁断義返答」とあり, 上冊原題簽に  
は「日蓮宗ヨリ」と書込みあり。

1—26セ5 よ七百五拾九全部式冊 20銭

32912 ケウゲノリノフネ  
教化法船 半1冊  
源空・源空母著, 摂州難波安土町東濱住西村氏序 (1710)  
宝永7序・刊

大坂 松壽堂 (本町壹町目)

※墨書後補題簽「法然上人教化法船」。絵入り。

1—26キ2 よ五百六拾九全 10銭

32913 ニホンリヤウイキ  
日本靈異記 上・中・下 半1帙3冊  
景戒著 (1714) 正徳4刊

京 茨木多左衛門 (六角通御幸町西江入町)

※各冊の目録題は「日本國現報善惡靈異記」。下  
冊末内題「日本國善惡現報靈異記」。上冊表紙  
に「仏三百式番」「因」の小札あり。

1—21ニ5 よ四百三十六全三 35銭

32914 サンシヨウダウエイ  
傘松道詠 半1冊  
道元詠, 面山編・自序, 方杜多跋 (1746) (1747)  
延享3序, 同4刊

京 柳枝軒小川多左衛門

※本文の内題「傘松祖師道詠」。「傘松祖師自賛眞  
影」あり。裏見返しに「尾ノ祖印謹」の印あり。  
序文などに訓点の書込みあり。

1—25サ1 禅よ五百拾八全 10銭

32915 ホフゴ サンニンモノガタリ  
法 三人物語 乾・坤 半1帙2冊  
東往軒元通居士三千風著・自序・自跋 (二個所), (1695) (1696)  
顯誉祐天跋 元禄8自跋, 同9跋・刊

江戸 木下甚右衛門 (大傳馬町貳丁目)

※乾冊表紙上部に「禅」「仏式百五十四」の小札  
あり。

1—26サ7 ワよ五百六十六全式 50銭

32916 モシホシフ  
藻塩集 半1冊  
白隠和尚著, 臨池堂梅主序 (1759) 宝暦9序

京 小川源兵衛

※歌集。裏見返しに小川源兵衛の版行書目あり。

その中の本書書名には角書「和歌」がつく。

1—25モ1 禅よ五百式拾壹 10銭

32917 キンダイケンブン 近代 新選發心傳 乾・坤  
見聞 シンセンホツシンデン  
大1帙2冊  
(1737)  
性均著・自序・奥書 元文2序・刊  
江戸 出雲寺和泉掾(日本橋通壹町目), 京  
同店(三條通高倉東江入町)  
※乾冊表紙に「浄」の小札あり。内題には角書が  
ない。  
1-21シ17 ま八百六拾五全式 10銭

32918 ユカクゴホフヘン 論客護法篇 大1冊  
(1795)  
釋春貞著 寛政7成・刊  
京 「善休寺藏板」 小林庄兵衛(醒井通魚棚  
上ル水町)・八尾清兵衛(油小路御前通下ル町)  
・永田勘兵衛(油小路御前通上ル町)・永田調  
兵衛(花屋町油小路東江入町)  
※「附録」8丁を付す。表紙に「本」「百二  
十四」の小札。浄土真宗の立場から神仏を論じ  
た書。  
1-26ユ1 ま千式百貳拾貳 10銭

32919 ジャウドシンシユウ 浄土 善信聖人十徳傳  
眞宗 ゼンシンシヤウニンジツトクデン  
上・下 大1帙2冊  
(1761)  
謙冲著・自序, 釋慶遇序 宝暦11序・刊  
京 永田調兵衛(錦小路新町西江入町)  
※表紙に「親鸞上人之御事也」「式百十九」  
の小札あり。自序中に「眞宗開祖善信聖人」に  
ついて割注で「御諱は親鸞なり。御在世の時,  
皇太子告命して善信菩薩と称し給ふ」と説明あ  
り。  
1-21セ6 ま千百五拾六全式 15銭

32920 シンシユウクワンカイシフ 眞宗勸誠集 上・下  
特大(27.9×19.2cm) 2冊  
(1741)  
釋性均著・自序 寛保元序・刊  
京 河南四郎右衛門(堀川通佛光寺下ル町)・  
小林半兵衛(同町)  
※原題簽書名下・各内題下に「持妻食肉章」とあ  
る。上冊表紙に「本」「式百八十二」の小  
札あり。  
1-26シ29 ま千百八拾番全式 20銭

32921 ホゴノウラ 變古裏 大1冊  
著者未詳

書肆・刊年不明  
※表紙右上に「本仏百七十三」, 同上部に「本」  
の小札あり。見返しに「蓮如上人」の貼紙あり。  
1-26へ1 ま千式百貳十九 10銭

32922 ミヅカガミセウ・ニニンビクニノセウ 水鏡抄・二人比丘尼之抄 大2冊  
(1656) (1657)  
山岡元隣著・自序 明暦2序, 同3刊  
京 西村九郎右衛門(五條橋通扇屋町丁子屋)  
※後補墨書題簽は「一休水鏡抄二人比丘尼上(下)」。  
上冊表紙に「一休和尚」「百九十」の小札  
あり。仮名草子。  
1-25ミ1 ま六百八拾八 20銭

32923 イチマイキシヤウモンシヨセツベンダン・ 一枚起請文諸説辨斷・  
ゼンクワウジニョライセツケツシヤウ  
善光寺如来異説決正 大1冊  
諦忍著・自序・自跋, 空華老人題詩, 眞隆嚴和南跋,  
可梁敬跋  
(1776) (1777) (1778)  
安永5成(弁断), 同6成(決正), 同7刊  
京 浅井庄右衛門(堀川佛光寺下ル町)・澤田  
吉左衛門(知恩院古門前)・赤井長兵衛(寺町  
綾小路下ル町), 名古屋 澤吉兵衛(本町)・津  
田久兵衛(同所)  
※題簽横に「浄」の小札あり。柱書は全丁にわた  
り「一枚起請諸説辨斷」。  
1-26イ3 ま九百拾九 10銭

32924 ガイジャセウ 改邪鈔 本・末 大2冊  
覚如(宗昭)著  
書肆・刊年不明  
(1419)  
※応永26の書写奥書あり。浄土眞宗。  
1-26カ4 ま千百六拾八全式 20銭

32925 シヤウボフゲンザウズイモンキ 正法眼藏隨聞記 大1冊  
侍者懷笑著, 面山瑞方(遠孫方面山)序・跋, 嗣祖  
遠孫洲菴僧參跋, 永慶知藏慧白識語  
(1758) (1769) (1770)  
宝暦8序, 明和6跋(いずれも), 同7刊  
豊後 「永慶寺藏版」 京 小川多左衛門(六  
角通御幸町西江入)・小川源兵衛(寺町通六角  
下ル町)  
※重版本。序題「重刻正法眼藏隨聞記」。凡例に  
前版は寛文9に京の小亀三左衛門(五条室町)  
が印版した旨を記す。表紙に「禪」「三十三」  
の小札がある。末尾に柳枝軒小川多左衛門

の「佛書目録」を附す。

1—25シ9 ま六百〇七重刻 15銭

32926 ダイオウコク シ ホフ ゴ 大應國師法語 大1冊  
編者未詳 (1646)  
正保3刊

中野道也

※上記書名は墨書題簽による。本文は「横嶽大應國師法語」「紫野大燈國師法語」「徹翁和尚法語」「古人法語」から成る。柱書は「大法」。表紙に「禪」「仏百十一番」などの小札がある。巻頭と裏見返しに旧蔵者印。

1—25タ2 ま六百四拾八 10銭

32927 ハ ホフザイジフセウ 破法罪聚鈔 本・末 大2冊  
圓樂寺圭州(隠惠)著 (1831)  
天保2奥書

書肆不明

※「本」冊表紙に「雜」の小札あり。仏敎的敎誡書。

1—26ハ1 ま三百十八番 20銭

32928 クワンジュセウ ・ トチャウモクロクシフ 卷數鈔上・戸帳目録集下 大2冊  
宥快著 (1681)  
延宝9刊

京 村上勘兵衛

※「卷數鈔」は祈願などの状の式法。「戸帳目録集」はその文面集。上冊表紙に「式」の小札あり。

1—26カ7 ま三百七番 20銭

32929 クワンオンジュンレイ 觀音 三拾四處 サンジフシヨ  
順禮 三拾四處

チチ ブ エン ギ レイゲンエンツウデン 秩父縁起靈驗圓通傳 一〜五・五末

大1帙6冊

圓宗著・自跋, 静觀校 (1744)  
延享元跋

江戸 辻村五兵衛(浅草御門跡前)・上原勘兵衛(浅草上野通新寺町)

※第1冊表紙に「仏五百二十五」「縁起」の小札あり。書名は、凡例冒頭「觀音圓通傳」、各冊内題「秩父三十四所觀音靈驗圓通傳」(但し第1・2冊末では「秩父卅四處觀音圓通傳」)。第6冊最終丁に『秩父觀音靈驗縁起』『秩父案内記』『追考觀音靈驗圓通傳大成』の広告を載せている。

1—22チ1 ま百拾卷全六冊 60銭

32930 ジヤネンシヤウワゲヒヤウ 十念章和解評 大1冊

眞察著・自跋, 觀了校・序, 大我絶外跋  
(1730) (1762)  
享保15自跋, 宝曆12序・跋・刊

書肆不明

※浄土宗。

1—26シ11 ま九百拾六 10銭

32931 ニヨニンワウジャウデン 女人往生傳 上・下 大1帙2冊  
佛牙院向西著・自序・自跋 (1685)  
貞享2自跋

京 二口伊豫

※上冊表紙右上に「佛」「仏貳百八十六」、同題簽脇に「浄」の小札あり。下冊表紙下部・裏見返しに「正照(花押)」と墨書。

1—21ニ7 ま八百六拾四全貳 20銭

32932 ジャウド 浄 グエウセウ 愚要鈔 上・中・下 大3冊  
明秀著 (1707)  
宝永4刊


京 澤田吉左衛門(智恩院前)

※寛正2成立。天文10, 天正8, 同18, 寛文6の書写を経た本であることを奥書に記す。上冊表紙に「浄」の小札あり。

1—26ク2 ま八百貳拾九全三 30銭

32933 ヨシミツビヤクジャクン 吉水辟邪訓 大1冊  
大我著, 義穩序, 宝瀾大信跋 (1749)  
寛延2刊

京 吉野屋藤兵衛(京極二條下町)

※上記書名は扉による。原題簽および内題は「吉水辟邪訓疏」。表紙に「 仏百六番」の小札あり。

1—26ヨ1 ま九百四拾七 10銭

32934 エンクワウタイシイチマイキシヤウモンカウガイキキガキ 圓光大師 一枚起請文梗槩聞書  
上卷・中卷・下卷 大3冊

「關通上人述」, 宣條序, 藤原重豊序(宝暦4)・跋  
(1757) (1761)  
(同7), 平山當義跋(同11)

京 澤田吉左衛門(知恩院古門前)

※大尾の内題「圓光大師御遺訓一枚起請文梗槩聞書」。澤田屋の「華頂山御藏版目録」6丁あり。上冊見返し・下冊裏見返しにも出版目録あり。

1—26イ2 ま八百拾三全三 40銭

32935 ジャウドシンシユウキカン 浄土眞宗龜鑑 乾・坤 大2冊  
先啓著・自序 (1762)  
宝暦12序・刊

大坂 柏原屋清右衛門

※乾冊見返しに「親鸞聖人御法語／下妻蓮位大徳集記」とある。序題・各冊内題「眞宗龜鑒輯釋」。坤冊末に『浄土眞宗聖教目録』他5部の広告あり。虫損甚し。

1—26シ25 ま千五百拾五全式 15銭

32936 <sup>ネンブツ</sup> 念 佛 <sup>ヒヤクマンベンキタウベンセウ</sup> 百萬遍祈禱辨抄 大1冊  
(1700) (1756)  
最著・自跋、震管序 元禄13跋・初刊、宝暦6序  
京 河勝五郎右衛門(五條橋通り高倉西江入町)、  
江戸 枅屋(日本橋南一丁目)  
※序によれば、本書は初刷の「誤字落字など彫り  
あらため」た再板本。序者は「洛東本山百萬遍  
知恩寺四十八世」。

1—26ヒ5 ま九百七拾七 10銭

32937 <sup>テキギセツ</sup> 摘欺説 (巻上・巻下) 大2冊を合綴1冊  
(1728)  
無名子著・自序 享保13序・刊  
江戸 前川權兵衛

※表紙改裝。表紙にうちつけ書の書名および挟み  
込まれた原表紙の墨書題簽の書名は「談義摘欺  
説」。原表紙に「禅宗浄土争論」の小札あり。  
巻上に書込み多し。

1—26テ1 ま三百十番 15銭

32938 <sup>ケウカウシンガク ヒ ク ギヤウゴリツギ</sup> 教誡新學比丘行護律儀 大1帙1冊  
道宣著 刊年不明

大坂 河内屋平兵衛(安堂寺町心齋橋筋)

※墨書題簽「教誡律儀 カナ付全」。表紙に「律宗」  
の小札あり。

1—23キ1 ま四百八拾九律宗 10銭

32939 <sup>レイコンインダウフウジュキ</sup> 靈魂引導諷誦記 乾・坤 大2冊  
(1684)  
總陽沙門傳慧著 貞享元刊

京 中野小左衛門

※頭注あり。

1—26レ1 ま三百貳拾全式冊 30銭

32940 <sup>シンランシヤウニンキトクホフリンシフ</sup> 親鸞聖人遺徳法輪集 一〜七 大1帙7冊  
(1710) (1711)  
宗誓著・自序か 宝永7序、同8刊

京 植村藤右衛門

※内題「遺徳法輪集」「法輪遺徳集」「法輪集」。

上記著者名は『国書総目録』による。

1—21シ19 ま千三拾卷全七 40銭

32941(1) <sup>ミライキハゴ</sup> 未來記破誤

特大(27.9×18.7cm) (2)と合綴1冊

著者未詳・自序あり

(1649)  
慶安2刊

書肆不明(江戸とのみ)

※表紙に「□千十五番」の小札あり。本文内題は  
「偽書未來記破誤」。表紙を開くと(2)「日本國  
未來記」を綴じ込んである。(2)の偽書であるこ  
とを論ず。

1—26ミ1 ま三百三拾六 (2)共15銭

32941(2) <sup>ニホンコクミライキ</sup> 日本國未來記 大(1)と合綴1冊  
(1648)  
著者未詳(聖徳太子に付会) 慶安元刊

書肆不明

※表紙ごと(1)「未來記破誤」の巻頭に綴じ込む。

巻頭内題「聖徳太子日本國未來記」。

1—26ミ1

32942 <sup>フシンセキサンゼモノガタリ</sup> 浮真夕三世物語 上・中・下 大1帙3冊  
(1645)  
著者未詳 正保2刊

書肆不明

※巻下巻頭・巻末内題「ふしんせき」。上冊表紙  
に「仏三百十八」「浄土」の小札あり。

4—40フ3 ま八百貳拾三全三 50銭

32943 <sup>エコトバエウリヤク</sup> 繪詞 要略 <sup>セイグワンジエンギ</sup> 誓願寺縁起 上・下 大2冊

慧明著・自跋、法橋東洲画、逸名序あり

(1792) (1793)  
寛政4跋、同5刊

京 鷄鷄總四郎(寺町通御池下ル町)・藤井孫  
兵衛(御幸町通御池下ル町)・澤田吉左衛門  
(知恩院古門前)・能勢義兵衛(寺町通三條下  
ル町)、「洛陽誓願寺蔵版」

※上冊表紙に「浄」「仏四百七十八」の小札あり。

1—22セ1 ま八百六拾卷全式 20銭

32944 <sup>ジャウドナガウタチユウ</sup> 浄土長歌註 大1帙1冊  
湛澄著・自序、獅谷忍澄序  
(1693) (1694)  
元禄6自序、同7序・刊

京 尾崎七左衛門

※題簽の書名の下に「頓阿法師」とある。自序の書名「浄土宗長歌註」表紙右上スミに「□□八十八」の小札あり。

4-23シ8 ま九百七拾貳歌 10銭

32945 佛國禪師文殊指南圖譜

縦長(26.4×14.1cm) 1冊

佛國惟白著、張商英序、隨流直指叟跋、篠輔嗣画、  
篠應道書 (1767) 明和4跋

「浪華莊驚菴藏版」

※表紙に「禪」の小札あり。跋に「佛國惟白禪師、文殊指南之圖ニ賛シ張氏無盡序ヲ作テ刊行」した宋本を翻刻したものという。画・書者いずれも「浪華」の人。原題簽剥落。本文末の内題は「文殊指南圖譜」。見返しに「忽覺煩惱夢 直發菩提心/天高地濶無雙境 虎伏龍婦不二門」と書込みあり。

1-26モ1 ま六百〇九 15銭

32946 永平 正宗 前總持桃水和尚傳贊

大1帙1冊

面山瑞方著・自序 寛延2成、同3自序、明和5刊  
(1749) (1750) (1768)  
「肥谷雲龍山清潭禪寺藏板」、京 小川多左衛門(六角通御幸町西へ入町)

※序題「桃水和尚傳贊」。内題「洛北鷹峰桃水和尚傳贊」。絵入り。卷末3丁半に「柳枝軒佛書目録」を附す。

1-21ト2 ま六百〇四全 10銭

32947 ①天竺往生驗記・②天竺往生驗記

ハシガキ・ジュンギケイケツシフ

瑞書・③隼疑問決集 大1帙1冊

①伝天親菩薩著、羅什三藏訳、②良定(袋中)著、  
(1645) 正保2刊  
③聖閑了譽著 書肆不明

※①卷末内題「天竺往生本記」。奥書「延暦二十四年 入唐歸朝沙門最澄」。②卷末内題「天竺往生本記瑞書」。

1-21テ1 ま三百四十六 10銭

32948 盆供施餓鬼問辨 大1冊

諦忍(空華道人)著・自序・自跋  
(1765) (1778)  
明和2序、安永7刊

京 澤田吉左衛門(知恩院古門前)

※表紙に「真言」の小札あり。見返しに諦忍の著作を記した書込みあり(「以呂波問辨/空華隨筆/厭求上人行狀記/諦忍律師語録/念佛醍醐秘要藏/閑窓雜録/念佛無上醍醐篇/善導大師行狀記/空華談叢」)。裏見返しに書肆の出版目録あり。柱書「施餓鬼問辨」。

1-26ホ4 ま四百八拾番 10銭

32949 光明院 以八上人行狀記

大1帙1冊

素信著、空華序、信阿宅亮跋 明和6序、安永8跋  
(1769) (1779)  
名古屋 藤屋吉兵衛(本町)、大坂 澁川清右衛門(心斎橋順慶町)、江戸 西村源六(通本町三丁目)、京 同市郎右衛門(堀川通錦上ル町)

※巻頭内題は「光明院開基以八上人行狀記」、卷末内題は「華降山光明院以八寺開祖行狀記」。附録あり。末尾に「隨喜助刻衆名位」及び書肆の仏書目録(往生要集以下14点)を附す。

1-21イ1 ま九百五拾五 10銭

32950 東福佛通禪師枯木集 大1帙1冊

癡兀大慧著 寛永18刊  
理兵衛

※全43丁の内、第30丁表まで巻之上、同裏以降巻之下。柱書は、第38丁まで巻一、第39丁以降巻二。巻之下巻頭内題「枯木集」。卷末内題「佛通禪師枯木集」。表紙に「禪」「禪□三十八」の小札あり。

1-25フ3 ま六百拾四番 10銭

32951 興御書諺解 半1冊

藤井重貞注、鼎足道人序 天明6凡例・序、同7刊  
(1786) (1787)  
京 田中庄兵衛(寺町五条上ル町)

※表紙原題簽の右に「法然上人より親鸞上人江御文」の貼札があり、その上に「本」の貼札がある。「興御書諺解凡例」の右に「こうのごしょげんかいはんれい」、左に「おふみのはじまりぞくごのあらまし」の振り仮名があり、また内題「興御書」の右に「こうのごしょ」、左に「はしめのおふみ」の振り仮名がある。万治3初刊の再刊本か。

1-26コ6 ま千貳百〇八 10銭



マンボフザウサンセウ  
32952 萬法藏讚鈔 大1帙1冊  
著者未詳 寛永20刊

京 輪書堂(二条露屋町南)

※第1丁内題下に「池尻村義什」と書込まれている。上記書名は内題による。後補墨書題籤には角書「浄土<sup>真宗</sup>」あり。表紙右上に「□百九十一」の小札あり。

1-26マ1 ま千式百三十番 10銭

アミダハダカモノガタリ  
32953 あみだはたか物語 上・下 大2冊  
著者未詳 明暦2刊

書肆不明

※墨書題籤は「一休和尚／あみだはたかものかたり」。各冊の題籤と裏見返しに旧蔵者印。仮名草子。

1-25ア1 ま六百八拾七全式 25銭

イツキウラシヤウホフゴ  
32954 一休和尚法語 1冊  
所在不明

1-25イ1 10銭

カナムグラ  
32955 假名菴 大1冊  
白隠和尚著、参徒是性跋 成立年不明  
沙羅樹下蔵板

※上記書名は扉題による。墨書題籤に「白隠和尚」の角書あり。巻頭内題は「新板假名菴／附たり新談議」。31093参照。表紙に「禅」の札あり。

1-25カ4 ま六百三拾五 10銭

ケイアンヲシヤウカホフワテン  
32956 桂菴和尚家法倭點 大1帙1冊  
桂菴玄樹著

書肆・刊年不明

※表紙に「禅」「仏百廿五」の小札あり。巻末2丁分の「儒釋道三教」の記述では、元和<sup>(1624)</sup>10年を基準に年代をさかのぼって数えている。

4-64ケ1 ま六百拾三 10銭

クワウミヤウザウサンマイ  
32957 光明藏三昧 大1冊  
孤雲懷辨著、方面山序、玄梁跋

(1278) (1766)  
弘安元奥書、明和3序・跋

京 小川久兵衛(寺町通綾小路下町)

※見返しに旧蔵者「巖的」の文政8<sup>(1825)</sup>の書込みあり。表紙に「禅」の小札あり。第1丁に永慶開山孤

雲辨祖の肖像と、方面山による像賛あり。賛の識語は明和4<sup>(1767)</sup>。

1-25コ5 ま六百拾八 15銭

デヨスイセウ  
32958 除睡鈔 一〜八 大1帙8冊  
洛西前浄圓教寺沙門盤察著・自序 享保6序・刊

京 錢屋庄兵衛(堀川通綾小路下町)、江戸須原茂兵衛(日本橋南壹町目)

※説話集。

4-47シ5 こ百式拾毫 70銭

ヒミツアンジンワウジャウシフ  
32959 秘密安心往生集 大1冊  
蓮體著・自序 享保3序、同4刊

江戸 前川権兵衛(神田本乗物町)・須原屋茂兵衛(日本橋南一丁目)、大坂 小島勘右衛門(心齋橋筋北久太郎町)

※内題「秘密安心往生要集」。表紙に「□仏百四十九」の小札あり。

1-26ヒ2 ま四百八拾貳 20銭

シヤウフウシフ  
32960 唱諷集 上・中・下 大3冊  
著者未詳 寛文12刊

京 中村五兵衛(寺町通二條下町)

※日蓮宗。上冊表紙に「式」の小札あり。

1-26シ27 ま式百八十八 50銭

ゼンシユウホフゴ  
32961 禪宗法語 大1冊  
編者未詳 刊年不明

京 芳野屋徳兵衛(寺町通三條上ル式町目)＝裏見返し・徳田十兵衛＝本文末

※「大徳寺開山大灯國師法語」以下10の法語を収める。表紙に「禅」「□百五十八」の小札あり。

1-25セ3 ま六百五拾五 10銭

シンパン クワコチヤウセウ  
32962 新板過去帳鈔 上・中・下 大3冊  
編者未詳 万治2刊

京 上村次郎衛門(二条通)

※各巻内題「過去帳年月明鑒」。上冊表紙に「仏三百十式」などの小札あり。

1-26カ2 ま式百八十九 30銭

タイジヤウカンオウヘンセンチュウツセツ  
32963 太上感應篇箋註圖説 上之一〜上之四・下之一〜下之四

特大(27.7×17.1cm) 2帙8冊

沈溥補石著，黃延松・程如且校訂，鼓山道霈序，李  
 振郷序，燕巖程士燾序，程如且跋 <sup>(1695)</sup> 元禄 8 刊  
 中野小左衛門・中野宗左衛門

※上記書名は本文内題による。「上之一」冊扉に  
 は「太上感應篇箋註引經圖説」とある。原題箋  
 は「太上感應編」とある。「上之一」・「下之一」  
 冊の初丁の右下スミに「鎮淵」「宣有之印」の  
 朱印。「上之一」冊の巻頭に凡例を附す。絵入  
 り。33023 参照。

8—86タ1 ま千五百拾巻 75 銭

センシウシノ ダ ビヤクコデン  
 32964 泉州信田白狐傳 一〜四 大1 帙4 冊  
 誓譽著，道阿序 <sup>(1757)</sup> <sup>(1790)</sup> 宝暦 7 序，寛政 2 刊

書肆不明

※第1冊表紙に「〇五百三十巻」の小札あり。序  
 題は「信田白狐傳」。目録題は「泉州／信田」  
 を角書とする。第4冊の末に『安倍仲麿入唐記』  
 の広告あり。全5巻。第4冊に巻之四と五を取  
 める。

4—41サ32 ま千五百三十一 30 銭

チンゼイゼン シ エコトバデン  
 32965 鎮西禪師繪詞傳 一〜十八 大2 帙18 冊  
 浪花城南大福寺沙門風航了吟著，英信画，二品親王  
 尊峯序（天明 6），華頂山大僧正興玄序（同 5），  
 三譽愍海龔跋（同 6） <sup>(1786)</sup> <sup>(1785)</sup> <sup>(1784)</sup> 天明 4 成

「洛東華頂山藏版」京 澤田吉左衛門（知恩  
 院古門前）

※各巻内題「鎮西禪師行狀繪詞」。第1冊表紙に  
 朱字で「嶽」と打ちつけ書。

1—21チ5 ま七百〇三全拾八冊 1 円50 銭

ダイシユツテイケイ  
 32966 在出 大龍寺龍水老人國字  
 提携 <sup>(1779)</sup> <sup>(1783)</sup>

ホフゴ  
 法語 乾・坤 大2 冊

摂陽退藏峰休隠龍水和尚述・自序，「侍者寮筆記」  
 瀬古烝然跋 <sup>(1779)</sup> <sup>(1783)</sup> 安永 8 跋，天明 3 序

「勢州松坂廓翁禪門開板流通」

※序題「摂州退藏峰龍水和尚假字法語」。本文内  
 題「丹丘菴蜉蛤禪」。乾冊表紙に「禪」「□三百  
 七十九」の小札あり。

1—25リ1 ま五百八拾巻全式 20 銭

ハンニヤシンギヤウケツダンセウ  
 32967 般若心經決談抄 大1 冊  
 湛道常然著，前権大納言宜季序，西王嵩山自孝序

<sup>(1764)</sup> 明和元序（いずれも），<sup>(1765)</sup> 同 2 刊

京 菊屋伊兵衛（寺町通三條上ル町）

※内題「摩訶般若波羅密多心經決談鈔」。

1—23ハ4 ま八拾六番 15 銭

チャウフクサウカイヲシヤウゴロク  
 32968 長福曹海和尚語録 一二三四・五六  
 大2 冊

曹海著，小師直傳等編，大乘芳充序，東谷跋

<sup>(1767)</sup> 明和 4 序・跋・刊

書肆不明

※第1冊表紙に「禪」の小札あり。第2冊の末に  
 「助縁名簿」を附す。序題「華嚴海禪師語錄序」。

1—25ソ2 ま五百八拾三全式 25 銭

チュウシヤク  
 32969 註 佛法道哥集 上・下 大2 冊  
 釋

著者未詳，逸名序あり 刊年不明

山岡四郎兵衛

※序題・各巻頭内題「安樂佛法要歌」，下巻末内  
 題「佛法要歌」。館内閲覧。

1—26ア5 ま三百七番 20 銭

ケンモン グアンキ  
 32970 見聞愚案記 一〜二十四 大3 帙4 冊  
 日重著 <sup>(1658)</sup> 萬治元刊

書肆不明

※内題「愚案記」とも。各冊見返しに「堅妙（花  
 押）」と書込みあり。第1冊表紙に「□／仏四  
 百七十四番／全廿四冊」の小札あり。慶長20か  
 ら元和年間にかけて書かれた日蓮宗の僧の隨筆。

1—26ケ2 ま千三百〇貳番 2 円

ブツ キン  
 32971 佛鬼軍 大1 冊  
 伝一休和尚著・画，筠庭節信跋 <sup>(1823)</sup> 文政 6 跋

江戸 萬笈堂英平吉（本石町十軒店）

※表紙に「佛」（朱）の小札あり。裏見返しに英  
 平吉の「藏板法帖目録」あり。

8—44フ4 ま三百五拾六 10 銭

ギワウギヂョ  
 32972 祇王 勸闡風葉篇 （巻之一〜  
 祇女 卷之五） 大1 帙5 冊を合綴 1 冊  
<sup>(1765)</sup> <sup>(1767)</sup>

大江文坡著，赤蘿洞摩訶真人序 明和 2 序，同 4 刊

京 河南四郎兵衛（堀川通佛光寺下ル所）・文  
 臺屋多兵衛（三条通新町東江入所）・梅村市兵  
 衛（寺町通松原下ル町）・藤屋東七（同町）・

錢屋新助（五條通柳馬場東江入所）・永田伊助  
（醒井通五条上ル所）

※表紙に「□百九十一番」の小札あり。勸化本。  
4—41サ16 ま千五百三十七 25銭

32973 シュゲン 修 行者傳記 乾・坤（上・下）  
大1帙2冊  
元禄4序

峯雲外著・自序

書肆不明

※目録題「修驗道傳記」，柱書「修驗七部鈔」。原  
題簽に「大峯記／葛城記」（乾），「本山記／當  
山記」（坤）と刷られている。乾冊表紙に「修  
驗」の小札あり。

1—22シ1 ま千五百式十式全式 30銭

32974 シャカ オウゲリヤクゲンカイ 釋迦應化略詳解 大1帙1冊  
妙光大冥禪師著・自跋（文化元），鑑太靈序（同2），  
令詰序（同元） 文化2刊

名古屋 永樂屋東四郎（玉屋町）

※鑑太靈の序題「應化略詳解」，令詰の序題「應  
化畧詳解」。『釋迦應化略』は甲州の天崖禪師が  
寛政12に著した書。表紙に「禪」「□式百二十  
式」の小札あり。

1—21シ5 ま六百式拾四 15銭

32975 ジョウウン シ テキダウジン フ ニ ホフモン 如雲紫笛道人不二法門 上・下  
大1帙2冊  
安永9序・刊

小子紫髯編，巴津盧山叟明子蘭序  
京 山本長兵衛（二條通御幸町西江入町）・八  
文字屋仙次郎（柳馬場西江入町）・炭屋勘兵衛  
（烏丸通松原下ル町）・美濃屋治右衛門（堀川  
三條下ル町）

※下冊末に「附録 孝の道」あり。序題・柱書  
「不二法門」。

1—26シ6 ま五百九拾六 20銭

32976 ソノヲウヲシヤウギヤウジャウ 損翁和尚行狀 大1帙1冊  
「參學 慧月 愚中 瑞方 等撰」，西山瑞方序  
（1705），宝永2成，宝暦元序  
（1751）

永福菴藏板

※本文冒頭の内題は「奥州損翁和尚行狀并引」。

原題簽には角書「松之□宿」あり。

1—21ソ6 ま六百拾九 10銭

32977 ミカハノクニホウライジリヤクエンギ・サウデンヤワ 三河國鳳来寺畧縁起・掃塵夜話  
大1帙1冊

（掃塵夜話）松高院法印大僧都善慧尋得著  
（1763）  
宝曆13奥書

書肆不明

※墨書題簽には前者の書名のみ記され「等覚院」  
と書込まれている。表紙に「縁起」「仏百廿九」  
の小札あり。

1—22ミ1 ま百七拾五 10銭

32978 カンキヨノトモ 閑居友 上・下 大1帙2冊  
慶政著カ 刊年不明

京 めと木屋宗八（寺町通六角上ル町）

※上冊表紙に「□六百五十」「發心の集 慈鎮」の  
小札あり。説話集。

1—21カ4 ま三百十七番 20銭

32979 シャウザイシフ 聖財集 上・中・下  
縦長（28.1×18.3cm）3冊  
（1306）（1643）  
无住著 嘉元4奥書，寛永20刊

京 野田弥兵衛（二條寺町）

※上冊表紙に「禪 無住國師」の小札あり。

1—25シ7 ま五百五拾八全三 35銭

32980 ヲラテカマ 遠羅天釜 上・中・下（續集） 大3冊  
白隠慧鶴著，慧梁序・奥書 寛延2序，同4奥書  
（1749）（1751）

京 田原重兵衛・吉田三郎兵衛  
※上冊表紙に「禪巻番」「□百三十九」の小札  
あり。著者と「門徒」との「往復ノ簡語」をあ  
つめたもの。

1—25オ2 ま五百五拾四全三 40銭

32981 シホヤマバツスイホフゴ 塩山抜隊法語 大1冊  
著者未詳 （1649）  
慶安2刊

書肆不明

※内題「シホヤマカ ナホフゴ 塩山假字法語」。書肆は「於武州江戸開  
板」とのみある。

1—25シ2 ま六百五拾六 10銭

32982 シヨホフジハフソク 諸法事法則 大1帙1冊  
著者未詳 （1679）  
延宝7刊

田中庄兵衛

※末尾の内題「法事法則」。

1-26シ21 ま三百三拾巻 10銭

32983 サンジヤフサンショ バンドウクワンオンレイヂヤウキ  
三十三所 板東観音靈場記 一〜十

大1帙10冊  
(1766) (1771)  
沙門亮盛著・自序 明和3序, 同8刊

江戸 前川權兵衛(本石町三丁目)

※序題「坂東三十三所観音靈場記大成縁由」。各  
巻内題「坂東三十三所観音靈場記」。柱書「坂  
東靈場記」。第1冊表紙に「□百二十七」の  
小札あり。

1-22ハ1 ま百〇九番 1円

32984 フドウミヤウワウレイオウキ  
不動明王 靈應記 一〜四 大1帙4冊

覺城密院乞士三等著・自序, 極喜堂詮曼序  
(1722) (1737)  
享保7自序, 元文2序・刊

大坂 藤屋彌兵衛(高麗橋一丁目)

※序題・各巻内題は「大聖不動明王靈應記」。柱  
書「不動靈應記」。

1-21フ1 ま百三拾九全四 50銭

32985 アンジンケツヂヤウセウチュウゲ  
安心決定鈔注解 一二・三四・五六  
・七八 大4冊

(1654) (1714)  
肥之後州教閑八尾勘兵衛著 承応3成, 正徳4刊

京 西村九郎右衛門(五條通高倉西へ入町)・

川勝五郎右衛門

※真宗。全8巻。朱墨書込みあり。第1冊表紙に  
「□五百十」の小札あり。

1-26ア2 ま千八拾式全四 60銭

32986 イヅミシキブ  
和泉 シフエフセツボフ  
式部 拾葉説法 一〜六 大6冊

(1742)  
湖東片岡邑東光寺南溟著 寛保2刊

京 藤屋武兵衛(京極通五條上ル町)

※第1冊表紙に「□五百三番」の小札あり。

1-26シ15 ま千五百三十八 50銭

32987 ハチキヤウガイチュウ  
八境界註 乾・坤(上・下) 大2冊

(1656)  
著者未詳 明暦2刊

徳田八郎兵衛

※禪宗の金言集の註釈書。

1-25ハ3 ま三百弐番 20銭

32988 フンチャウシンダラニゾエ  
佛頂心陀羅尼圖會 大1冊

(1668)  
肥前國上松浦郡名護屋村観音禪寺 澤翁・北心・永元「開板  
発願」 寛文8刊

中屋傳三郎

※上記書名は後補墨書題簽による。上・中・下3  
巻より成り, 各巻末の内題は「佛頂心經」。各  
巻頭の内題は, 上「佛頂心陀羅尼經」, 中「佛  
頂心療病救産方」, 下「佛頂心救難神驗經」。仏  
頂心經を絵によって説いた書。

1-23フ3 ま八拾九番 10銭

32989 シンタイクサウシ  
新體九相詩 大1冊

道光著・自序, 村治氏廣光画・序, 摂陽僧觀性序,  
伯之散人釋環虚子跋

(1674) (1675)  
延宝2序(廣光), 同3自序・序(觀性)・跋  
京 林傳左衛門(三條菱屋町ふ屋)

※老病死の九相をめぐる詩と和歌に挿絵を添えた  
もの。旧蔵者「龍泉寺祐圓」の書込みあり。

1-26シ35 ま三百五拾七全壹冊 15銭

32990 ネンブツキヤウ  
念佛鏡 乾・坤(本・末)

大2冊を合綴1冊  
(1076)  
「沙門道鏡善道共集」, 無為子楊傑序(熙寧9), 如  
(1613) (1063)  
賢和南序(萬曆41), 莫生一葉跋(清寧9)

書肆不明(五條橋通松屋町) 寛永19刊

※原題簽には角書「□那/□」あり。如賢の序題  
(1642)  
「重鍍念佛鏡叙」, 巻末内題「求生西方浄土念  
佛鏡」。扉に口絵あり。

1-24ネ2 ま三百四十三 15銭

32991 シ チクシヨカンワウフク  
紫竹書翰往復 大1冊

(1709)  
光念精舍旅客講者・鷹峰蓮宗學達著 宝永6成  
書肆不明

※表紙に「日蓮宗/浄土宗/問答」と書かれた小  
札あり。題簽下部に㊦と記されている。本書の  
成立事情は32992の序文に詳しい。

1-26シ4 ま式百八十六 10銭

32992 ザイテンサイナンセウ  
摧碾再難抄 上・下 大2冊

(1710) (1712)  
單阿了海著・自序 宝永7序, 正徳2刊

京 富山伊兵衛

※内題「摧碾再難條目抄」。原題簽に「かな」と  
刷られており, また㊦・㊦と書込まれている。

32991参照。上冊表紙に「浄」の小札あり。

1-26サ2 □百九十一 15銭

32993 <sup>ボンマウボサツカイジャクモウ</sup> 梵網菩薩戒通蒙 上・中・下 大3冊  
戒山著・自序、門弟子等跋、慈空跋 <sup>(1690)</sup> 元禄3序  
京 秋田屋清兵衛・梅村彌白  
※上冊表紙に「□三百八十九」「律宗」の小札あり。

1—26ホ5 ま四百三拾八全三 30銭

32994 <sup>センシンネンブツ</sup> 専心 念佛 <sup>レンゲヘウメイロク</sup> 蓮華標名録 大1冊  
尾州八事山比丘諦忍著・自序、慈光跋 <sup>(1748)</sup>  
寛延元序、同3跋・刊

京 錢屋七郎兵衛（堀川通佛光寺下町）、大坂 大野木市兵衛（心齋橋安堂寺町）、江戸 西村源六（通本町三丁目）、名古屋 藤屋傳兵衛（本町）・藤屋吉兵衛（同所）

※表紙に朱のうちつけ書「常楽」「全」および「淨」の小札あり。

1—26レ2 ま九百七拾番 15銭

32995 <sup>クワンゲアンジン</sup> 勸化 安心 <sup>セツポフメイカベン</sup> 説法名歌辨 上本・中本・下本 大3冊  
信州釋惠燈著・自序 <sup>(1757)</sup> 宝暦7序、明和6刊 <sup>(1769)</sup>  
大坂 敦賀屋太助（嵐之内鰯屋町）

※『説法雪月花』の改題本。

1—26セ3 ま式百八十三 35銭

32996 <sup>クサウシゲンカイ</sup> 九想詩診解 上・下 大2冊  
葉山ノ隠士山雲子（坂内直瀬）著・自序 <sup>(1693)</sup> 元禄6序、同7刊 <sup>(1694)</sup>  
京 澤田吉左衛門（洛東知恩院古門前石橋町）  
※上冊が蘇東坡の「九想詩」の注釈で、下冊には「見葉ノ金句并ビニ倭漢ノ明言」を収めている。絵入り。「華頂山御藏版目録」6丁を附す。

1—26キ1 ま三百九番 30銭

32997 <sup>ホンケベツトウカウソデン</sup> 本化別頭高祖傳 乾・坤 大1帙2冊  
智寂日省著・自跋、同廣日中序 <sup>(1686)</sup> 貞享3序、享保5跋、同21刊 <sup>(1720)</sup> <sup>(1736)</sup>  
京 村上勘兵衛（二條通車屋町角）

※本文内題「本化別頭末法高祖日蓮大菩薩傳」。各冊見返しに「惠入院日賀（花押）」の書込みあり。本文中に朱の書込みあり。乾冊表紙に「日□百六十七」の小札あり。

1—21ホ9 ま千三百四拾卷 30銭

32998 <sup>グワンソケダウキ</sup> 元祖化導記 上・下 大1帙2冊  
日朝著 <sup>(1666)</sup> 寛文6刊

京 栗山弥兵衛

※目録の内題「日蓮聖人化導記」。上冊表紙に「□式百八十四」の小札あり。両冊初丁に「通賢日意」と書込みあり。

1—21カ7 ま千三百五拾五 25銭

32999 <sup>ホンケカウソキネンロク</sup> 本化高祖紀年録 序目録 御系図・一〜九・合巻十一 大1帙11冊  
深見徳要言著・自序（寛政7）、日種序（同6）、藤原覃序、山本信有序、坐光寺為祥履吉序（同5） <sup>(1795)</sup> <sup>(1794)</sup> <sup>(1793)</sup>

「不染濁堂藏梓」

※大惣番号札は「一」の冊にある。

1—21ホ8 千三百〇五全拾卷 70銭

33000 <sup>ジャウゴフソキ</sup> 淨業圖記 大1帙1冊  
沙門一到靈玄著・自序 <sup>(1692)</sup> 元禄5序、同6刊 <sup>(1693)</sup>

京 茨木多左衛門

※原題簽書名下に「善導大師道跡」とある。表紙に「□百九十八」「淨」の小札あり。絵入り。

1—21シ14 ま九百七拾三 20銭

33001 <sup>ヒガンベンギ</sup> 彼岸辨疑 上・下 大2冊  
著者未詳 <sup>(1716)</sup> 正徳6奥書

京 澤田吉左衛門（洛東知恩院古門前石橋町）

※上冊題簽に「浄土宗」と書込みあり。末尾に「華頂山御藏版目録」1丁および澤田の目録・広告6丁半あり。

1—26ヒ1 ま八百六拾番 25銭

33002 <sup>クワンツウヲシヤウギヤウゴフキ</sup> 關通和尚行業記 上・中・下 大1帙3冊  
引接室遣弟某甲等著・識語、桂弼澤序（天明4）、 <sup>(1784)</sup>  
華頂大僧正仰馨序（享和元） <sup>(1801)</sup> 享和2識語 <sup>(1802)</sup>

「洛北轉法輪寺藏版」

※上冊表紙に「淨」の小札あり。冒頭に図像「關通和尚之眞」あり。

1—21カ5 ま八百三拾番全三 35銭

33003 <sup>ニホンサイシヨネンブツホフゴゲンチュウ</sup> 日本最初念佛法語諺註 大1冊  
空革老人（諦忍）著・自序 <sup>(1768)</sup> 明和5序、安永2刊 <sup>(1773)</sup>

京 茨木多左衛門（六角通御幸町）・村上勘兵衛（二条通車屋町）・澤田吉左衛門（知恩院古門前）、名古屋 藤屋吉兵衛（本町）

※表紙に「真言」（さらに「浄土」と書込み）。  
「□十四」の小札あり。序題「聖徳皇太子念佛法語」。

1-26ニ 1 ま九百貳拾毫 10銭

33004 エングシヤウニンギヤウジヤウキ 厭求上人行狀記 大1帙1冊

信阿宅亮著・自跋、空華老人（諱忍）序、潮音跋  
(1768)  
明和5序・自跋・跋

名古屋 藤屋吉兵衛（本町）、大坂 沢川清右衛門（心斎橋順慶町）、江戸 西村源六（通本町三丁目）、京 同市郎右衛門（堀川通錦上ル町）

※冒頭に「厭求和尚之肖像」あり。表紙に「□貳百二十八」の小札あり。

1-21エ 1 ま九百四拾六 15銭

33005 ジャウド 浄土 念死念佛集 上之一・上之二・中之一・中之二・下（㊦～㊧） 大5冊  
(1684)  
知空著 天和4刊

川勝五郎右衛門

※各冊見返しに「主平野圓無」の書込みあり。第1冊表紙に「浄」「□四百二十四」の小札あり。

1-26ネ 6 ま七百五拾六全五 40銭

33006 シヨシユウネンブツホフゴ 諸宗念佛誦語 大1冊

濃州岐阜知足菴是心居士著、龍窟紀廣序  
(1785)  
天明5序・刊

岐阜 知足菴藏板、京 河南四郎兵衛（堀川通佛光寺下ル町）、岐阜 藤屋喜平次（加和屋町）、名古屋 藤屋吉兵衛（本町七丁目）

※本文内題「諸宗念佛誦語拔萃」。巻末に「附録古歌二十三首」あり。表紙に「□百番」の小札あり。

1-26シ 18 ま九百七拾六 10銭

33007 サイハウホツシンシフ 西方發心集 大1冊

「法然上人御作」（内題下）

書肆・刊年不明

※『国書総目録』によれば著者は「源空？」、慶安元版本あり。表紙に「□八十四番」の小札

あり。

1-26サ 3 ま九百〇毫 10銭

33008 クワンゼンサクラヒメデン 勸善櫻姫傳（一～五）

大1帙5冊を合綴1冊

大江文坡著、白雲洞主人孚道者序  
(1764) (1765)  
明和元序、同2刊

京 野田藤八（二條通富小路西江入町）

※表紙に「□貳百三十一」の小札あり。勸化本。  
柱書「櫻姫傳」。

4-41サ 17 ま千五百三十六 35銭

33009 ソウエンクワウダイシガウエコトバ 贈圓光大師号繪詞 大1帙1冊  
(1711)  
前侍講義山著、白華園信阿奥書 宝永8刊  
書肆不明

※初丁の「贈号繪詞小引」、および末尾の信阿の奥書は書写による補訂。本文中にも墨で訂正多数あり。表紙に「浄」の小札あり。

1-21ソ 3 ま九百拾八 10銭

33010 シンバン 新板 死靈解脱物語 上・下 大1帙2冊  
(1690) (1712)  
残寿著 元禄3刊、正徳2再版

山形屋吉兵衛・川村源左衛門

※累の怨霊を扱った仮名草子。内題「死靈解脱物語聞書」、柱書「死靈物語」。上冊表紙に「因」の小札あり。

4-41サ 28 ま三百六番 25銭

33011 ナントダイブツデンゴエンギ 南都大佛殿御縁起 大1冊  
(1783)  
龍松院崇憲著・自跋 天明3跋

書肆不明

※絵入り。本文の前に「聖武皇帝金銅勅願文」あり。本文内題「東大寺大佛殿縁起」。表紙に「縁起」の小札あり。

1-22ナ 2 ま百七拾六 10銭

33012 シヤウゲンミヤウギセウ 正源明義抄 一～四 大1帙4冊  
(1692)  
著者未詳 元禄5刊

八尾清兵衛

※逸名跋あり。法然上人の伝記。第1冊表紙に「□五百六」の小札あり。

1-21シ 15 ま貳百七拾六 35銭

33013 ケフチュウ 夾註 菩提心集 卷上・卷中・卷下  
大3冊

珍海己講述，獅谷嘉洲註・序，庸訓跋  
(1735) 享保20序・跋，元文元刊 (1736)

京 澤田吉左衛門（知恩院石橋町）・中野宗左  
衛門（京極五条橋詰町），江戸 前川権兵衛  
（通石町三丁目），大坂 浅野弥兵衛（高麗橋  
一丁目）

※序題「菩提心集夾註」。第1冊表紙に「浄」「□  
四百六十」の小札あり。  
1—26ホ2 ま八百式拾式全三 50銭

33014 ウンゴヲシヤウワウジヤウエウ カ  
雲居和尚往生要歌 大1冊  
雲居希庵著・自序 (1650) 慶安3序

書肆不明

※第12丁までが序。第13丁は匡郭のみ書かれた紙  
が後補されている。以下第26丁までが本文。表  
紙に「浄」の小札あり。柱書「往生要哥」。  
1—26ウ1 ま九百〇九 十三丁目落丁 15銭

33015 インエンベンダン 因縁 辨斷 セツボフ シレウセウ 説法詞料鈔 一之上・  
一之下・二〜四・五之上・五之下 大7冊  
南溟鷗著・自序 (1730) 享保15序，同16刊 (1731)

京 永田調兵衛・植村藤右衛門

※第4冊の末の内題のみ「勸化詞料鈔」。各巻内  
容は，一「因縁部」二「故事部」三「經釋部」  
四「譬喩部」五「古語詩歌部」。これらが原題  
簽下部にも記されている。

1—26セ2 ま千三拾七全七冊 55銭

33016 シンコクカシラガキ 新刻 首書 ヘキガンセウ 碧巖鈔 壹〜十  
特大 (29.8×20.7cm) 2帙10冊  
万安英種著 (1650) 慶安3刊

京 堤六左衛門（寺町通二條上町）

※内題「圓悟碧巖集」「佛果圓悟禪師碧巖鈔」「碧  
巖集」「佛果圓悟禪師碧巖錄」ともある。第1  
冊見返しに「共十 法幢山常住」と書込みあり。  
1—25へ4 ま五百拾三全拾冊 2円

33017 カンジャチンゼン キ 閑邪陳善記 一〜五 大1帙5冊  
老比丘日題著・自序・自跋 (1708) 宝永5序，同6刊 (1709)  
京 栗山宇兵衛

※各冊見返しに「春道日行」と書込みあり。第1  
冊表紙に「日」「〇四百七十二」の小札あり。  
1—26カ6 ま千三百式拾五全五 70銭

33018 ヤ センカン ワ 夜船閑話 半1冊  
白隠慧鶴著，窮乏菴主饑凍序 (1757) 宝暦7序・刊  
京 友松堂小川源兵衛（寺町通六角下町）  
※後補墨書題簽には角書「白隠／禪師」あり。  
1—25ヤ1 よ五百拾三全巻〇 10銭

33019 タフシヤクキキガキ 答釋 ホツケネンブツオシカノミヤウゴンロン 法華念佛記 四箇名言論 半1冊  
日宣著，伏水師旦老樵可一跋 (1815) 文化12奥書・跋  
「八木貢聞書印施／伏見本教寺納板」  
※表・裏見返しに貸本屋の書込み・印があるが，  
その名前は塗抹されている。  
1—26シ1 よ七百六拾五 15銭

33020 ホフネンシヤウニン 法然 上人 ゴ エデンリヤクサン 御画傳略讃 上・下 半1帙2冊  
舜昌原著，金谷道人著・自序 (1802) 享和2序・刊  
「福田舎藏板」

※表紙に「□式百五十二」の小札あり。  
1—21ホ6 よ五百六十式全式 25銭

33021 リツシンガクチヨノイシズエ 立身學 シフセイ ジゲン 千代之礎 習性邇言 半1帙1冊

書肆・刊年不明

※絵入り。修身を説いた書。扉題「神垣外の慢氣」。  
末尾に「徳農無盡藏」（穀類栽培の手引書）11  
丁を附す。『国書総目録』によれば著者は徳水  
尚興，文久2序というが，本書に序なし。  
1—84シ14 大惣番号札原欠か 5銭

33022 チャクホフゲン 擇汰眼 巻本・巻末 大2冊  
旨外編・自跋 (1695) 元禄8跋，同9刊 (1696)  
京 村上平樂寺（銅駝坊）  
※禅宗の法語のアンソロジー。第1冊表紙に「禅」  
の小札，また題簽にも「禅」と書込みあり。  
1—25チ2 ま五百八拾四全式 15銭

33023 ダジヤウカンオウヘンゲンチュウ 太上感應編諺註 一〜四 大1帙4冊

寛道鋒（知還散人）著・自序（本編および「輔翼」）  
(1719) (1720) (1723)  
 享保4本編序，同5輔翼序，同8刊

中野宗左衛門・中野小左衛門・兒玉勘十郎・佐野伊兵衛

※第4冊は「太上感應編輯翼」。32963参照。

8—86タ2 ま千五百拾三全四 60銭

クワンギヤウレウオンセウ  
 33024 觀經了音鈔 一〜八 大1帙8冊

沙門了音著，西山光明寺卅七世澤了校・跋  
(1265) (1720)  
 文永2成，享保5刊

京 小佐治半右衛門（堀川本國寺前金屋）・同半四郎，大坂 毛利田庄太郎（北御堂前）

※各冊の内容は，一・二「觀經玄義分抄出」，三「觀經序分義抄出」，四・五・六「觀經定善義抄出」，七・八「觀經散善義抄出」。各冊内題下に「文永二年七月五日於六角大宮本願寺始之／沙門了音述」とある。第1冊表紙に「藏」の小札あり。

1—23カ2 ま式拾壹全八冊 1円

クロダニシヤウニン  
 33025 黒谷 念佛法語 大1冊  
ネンブツホフゴ  
 上人  
 沙門隆堯編

書肆・刊年不明

※表紙に「浄」の小札あり。もとの墨書題簽は「黒谷上人御法語」で，その上から上記書名の墨書題簽を貼っている。

1—26ク3 ま九百拾三 10銭

サイハウジャウドズイオウサクテン  
 33026 西方浄土瑞應刪傳  
(1650)  
 縦長（27.2×16.3cm）1帙1冊

著者未詳 慶安3刊

中尾市郎兵衛

※中国の往生伝（48名）の和刻本。内題「往生西方浄土瑞應刪傳」。表紙に「浄」の小札および白字で「洪十五」の打ちつけ書あり。

1—21サ1 ま九百〇三 10銭

チヨウゼンヲシヤウギヤウジャウキ  
 33027 澄禅和尚行狀記 上・中・下

特大（27.9×19.0cm）1帙3冊

常宇船石著・自跋，雄東獅谷潭月智忍序，遠山常則  
(1722) (1723)  
 画 享保7跋，同8序

京 沢田吉左右衛門（洛東智恩院古門前）

※下冊末に「澄禅和尚行狀記遺事」を附す。

1—21チ4 大惣番号札原欠か 35銭

サイゴクサンジフサンショリヤクエンギ  
 33028 西國三十三所畧縁起 上・下

大2冊  
(1832)  
 天保3序

老衲某著・自序

「名震雲精舎藏版」

※内題「西國三十三所縁起略集」。

1—22サ1 ま百六拾八全式㊦ 40銭

ゾウシフ  
 33029 増 諸部私訣 一〜五 大5冊  
シヨブ シケツ  
(1699)  
 元禄12刊

京 栗山宇兵衛

※内容は，第1冊が「通佛義」「四教俱説私記」「施権同異之事」「三惑同異時之事」「等妙智断之事」「華嚴教主私記」（以上日耀著）・「流通搜源記」（日乗著）・「帯現記」（日忠著）・「入重玄門義」「教證二道義」「家々義」（以上日演著）・「草木成佛」（日詔著）・「浄名天華」（日寛著）・「齊探私決」（日崇著），第2冊が「三周義私記」（惠心著）・「聲聞乘入道修行次位之畧要」（著者未詳），第3冊が「拂惑袖中策」（最澄著），第4冊が「廻向通不之一句詰」（日遠著）・「片簡録」（日祐著），第5冊が「三十六箇條」（日生著）。各冊見返しに「智感日應／嚴惠琢」などと書込みあり。

1—26シ20 ま千三百式拾四 50銭

インダウエウジフベンモウ  
 33030 引導要集便蒙 一〜六 大1帙6冊  
(1684)  
 總州沙門傳慧著・自序 貞享元序・刊

前川茂右衛門・井上氏忠兵衛

※全12巻。各巻内題は「眞言引導要集便蒙」。末尾に，伊勢屋額田正三郎（京都寺町通五條西橋詰町）の蔵板目録1丁あり。第1冊表紙に「雜」の小札あり。

1—26イ5 大惣番号札剝落 1円

ジャウドクワンゲ  
 33031 浄土 扶桑怪談辨述鈔 一〜七  
フサクワイダンベンジュツセウ  
 勸化

大1帙7冊  
(1742)  
 寛保2刊

厚譽春鶯著・自序

京 河南四郎右衛門

※柱書「怪談辨述鈔」。第1冊表紙に「因」「☐」三百五十四」の小札あり。

4—47フ1 ま式百三拾式全七 60銭



33032 <sup>ゾウホブンリイ</sup> 増補 分類 無縁雙紙 目録・一〜三 大4冊

著者未詳

書肆・刊年不明

※早稲田大の大惣目録によれば回向などにおける用語集。本来は全8冊のところ後半4冊を欠くらしい。

1—26ム1 ま式百貳拾五始四 70銭

33033 <sup>シンランシヤウニン</sup> 親鸞 上人 御舊跡二十四輩記 一〜七 大1帙7冊

是心著, 竹内寿菴編, 洪音校・序

(1730) (1731)  
享保15序, 同16刊

京 中野宗左衛門(寺町通五條上ル町)・植村藤次郎(堀河通高辻上ル町)

※本文内題「親鸞聖人御舊跡并二十四輩記」。序題「親鸞聖人遺蹟記」。脚注あり。第1冊表紙に「□四百九十」の小札あり。

1—22=2 ま千三拾六全七冊 60銭

33034 <sup>センネンワウジャウデン</sup> 専念往生傳 一〜三・二編一〜三 大1帙6冊

陽焰庵音空著・自序

(1863)  
文久3序

「尾張祐福寺藏版」, 京 澤田吉左衛門(知恩院古門前)・神先宗八(寺町通三条下ル)

1—21セ8

ま八百三拾七全三・ま八百三拾八後三冊 40銭

33035 <sup>イツキウヲシヤウイチダイキ</sup> 一休和尚一代記 上・下 大1帙2冊

著者未詳

(1674)  
延宝2刊

永田長兵衛

※内題「東海一休和尚一代記」。上冊表紙に「□三百七十一」の小札あり。『国書総目録』には「一休和尚年譜」(寛文9初刊)として載る。

1—21イ2 ま六百八拾六全式 15銭

33036 <sup>シヨ エ カウセイ キ シキ</sup> 諸回向清規式 一〜五 大5冊

天倫楓隠編

(1657)  
明暦3刊

「為□祠堂梓行/施主政清敬白」の小札あり。

各冊裏見返しに「岱宗的」と書込みあり。上記編者は『国書総目録』による。永禄9成。

1—26シ16 ま式百五拾貳全五 50銭

33037 <sup>ヤクワ</sup> 和 好生録 一〜四 大1帙3冊

明 覺夢居士王廣宣原著, 虚卿父訳・自序, 慈雲元岫跋 (1677) (1678) (1679)  
延宝5序, 同6跋, 同7刊

江戸 本屋七郎兵衛

※第1冊表紙に「□六百五十六」の小札あり。

1—21=2 け式百七拾卷 50銭

33038 <sup>ミテン</sup> 彌 西山鑑知國師圖會全傳 一〜八 大1帙8冊

西山三鈔寺實導上人著, 辨才校, 白木妙空序(第1・8冊, 後者文化13), 辨輪跋(第7冊, 同12), 辯貞跋(第8冊, 同13), 春泉齋谷本清秀画

「西山吉祥藏」

※内題「繡像西山上人緣起」。第8冊は辨才著の同「略解」。末尾に「尾張辨才和尚校合藏版書目」1丁あり。絵入り。

1—21セ1 大惣番号札剝落 75銭

33039 <sup>キウミンテントク チ フクデン</sup> 救民天德地福傳 上・下 大1帙2冊

英保氏一風軒良哲西好著

(1704) (1706)  
元禄17奥書(上), 宝永3奥書(下)

「江戸銀町通三町目東頼開板之/英保氏一風軒良哲西好」

※柱書「天德地福傳」。農書。

8—82キ1 こ九百三拾五全式 20銭

33040 <sup>エイリ</sup> 繪 入 辨財天利益和談鈔 一〜五 大1帙5冊

著者未詳・自序あり

大菱屋嘉右衛門

※内題「弁才天利益讃談抄(鈔)」 「弁才天讃談抄」 「利益讃談抄」。第1冊表紙に「仏四百十七」の小札あり。『国書総目録』によれば, 元禄12刊。

1—21へ1 大惣番号札剝落 50銭

33041 <sup>シナセンジュツ</sup> 支那 撰述 孟蘭盆經疏新記 上之一・上之二・下之一・下之二 大4冊

錢塘沙門元照原著・自序, 註者未詳 (1682)  
天和2刊

書肆不明

1—23ウ1 ま五拾貳全四冊 50銭

33042 シンランシャウニンギヤウジャウキ  
親鸞聖人行狀記 一〜八

大2帙8冊

「信州沓本正行寺了雲本紀／同國塩崎康樂寺淨超遺  
編」信州沓本西教寺了可序 元応元序

書肆不明

※『国書総目録』によれば、享保7刊。

1-21シ20 ま千式十六全八冊 60銭

33043 ホンメイカイゴシフ  
翻迷開悟集 一〜六 大6冊

摂州大坂大善寺燕居松譽巖の著・自序

(1712)

正徳2序・刊

京 志水四郎右衛門(寺町通)、江戸 泉長兵衛(駿河町)

※各冊原題簽下部に「日蓮宗邪正問答書破文／彌陀萬徳之經論釋」とある。第1冊表紙に「浄」「日蓮宗邪正問答破文全六」の小札あり。

1-26ホ8 ま千三百拾六番 40銭

33044 タイ マンダラジュツシャウキ  
當麻曼荼羅述弊記 一〜四

大他2冊と合1帙4冊

義山著

(1703)  
元禄16刊

京 今井重左衛門(四条通堀川角松葉軒)・羽倉大介勝正

※絵入り。30683『當麻曼陀羅縁起』2冊と同帙。

1-22タ1 大惣番号札剝落 50銭

33045 フゴ  
和眞宗法要 一〜四 大1帙4冊

本願寺法如編・自序

(1760)  
宝暦10序

書肆不明

1-26シ32 大惣番号札原欠か 80銭

33046 サンテウジジツ  
三朝 淨土論註勸化講釋

一〜廿

大3帙20冊

洛下隠士比丘玄真著・自序

(1687)  
貞享4刊

京 小佐治半右衛門(堀川通本国寺前)・武田治右衛門(五条橋通松屋町)

※虫損あり。第1冊表紙に「浄」「〇五百三十」「全廿」の小札あり。

1-24シ7 ま七百〇式全式十冊 1円50銭

33047 ニチレンダイシャウニンゴデンキ  
日蓮大聖人御傳記 壹〜六

大1帙6冊

著者未詳、逸名序あり

(1681)  
延宝9刊

京 中村五兵衛(寺町二條下町)

※後補墨書題簽およびいくつかの内題は「日蓮聖人御傳記」。全11巻より成るが、巻十一の内題「日像聖人御傳記」で、他の巻と紙質が異なる。絵入り。

1-21=6 ま千三百拾壹全六冊 60銭

33048 ジャウド  
淨 諸廻向審鑑 卷一〜卷五 大5冊

幻化沙門必夢著・自序

(1698)  
元禄11序・刊

京 菱屋治兵衛(寺町通松原上ル町)

※序題・各巻内題「淨家諸回向寶鑑」。第1冊表紙に「浄」「□四十」の小札あり。

1-26シ17 ま七百五十七全五 50銭

33049 ホフダツラジャウギヤウグフキ  
法岸和尚行業記 軋・坤 大1帙2冊

法洲著、隆圓「或問」著、駿州江尻前江浄寺沙門 志剛序、定仙跋

(1817)  
文化14序・跋

「長州大日比西園寺藏」

※第1冊表紙に「浄」の小札あり。

1-21ホ3 ま八百七拾九全式 20銭

33050 エンゴシンエウ  
圓悟心要 上之一・上之二・下之一・  
下之二(○〜四) 大4冊

子文編

(1658)  
万治元刊

村上勘兵衛

※内題「佛果圓悟眞覺禪師心要」。第1冊表紙に「禪」の小札あり。

1-25エ1 ま五百四拾三全四 40銭

33051 ゼンダウタイシギヤウジャウキ  
善導大師行狀記 乾・坤 大1帙2冊

諦忍著、潮龍序(宝暦11)、空華子薫監序(同2)、性明和南跋

(1761)  
(1752)  
(1761)  
宝暦11刊

京 梶川七郎兵衛(堀川佛光寺下町)・村上勘

兵衛(二條通車屋町)・茨木多左衛門(六角通

御幸町)・澤田吉左衛門(知恩院古門前)・中野

宗左衛門(寺町通五條上町)、名古屋 藤屋傳

兵衛・藤屋吉兵衛

※絵入り。柱書「善導行狀記」。乾冊表紙に「□三百六十九」の小札あり。

1-21セ7 ま八百五拾六全式 25銭

33052 セツボフウカシフゲンチュウ  
説法用歌集診註 一〜十 大10冊

山雲子(坂内直頼)著・自跋、無底盤水序

一 仏

(1691)  
元禄4序・跋・刊

京 中村孫兵衛富平(高辻通鷹金町)  
※第1冊表紙に「□二百三十四」の小札あり。  
1—26セ4 ま式百拾壹全拾冊 1円

チャウメイホツシンシフ  
33053 長明發心集 一〜八 大1帙8冊  
鴨長明著・自序 (1670) 寛文10刊

京 吉田四郎右衛門・藤村傳右衛門  
※絵入り。内題「發心集」。第1冊表紙に「□百七□」の小札あり。  
1—21ホ1 大惣番号札剝落 80銭

スミダガハカガミガイケデン  
33054 隅田川鏡池傳 一〜五 大1帙5冊  
西向庵春帳子「遺稿」, 遊川春信画, 東都桑門含蓮社跋 (1749) (1751) 寛延2跋, 同4刊

大坂 波川清右衛門(心齋橋筋順慶町), 京  
西村市郎右衛門(堀川錦上ル町), 江戸 西村源六(本町三丁目)  
※読本。各冊原題籤には角書「勸化/資補」, 同下部に「木母寺来由」とある。柱書「鏡池傳」。本書の改題本に『梅若丸一生記』がある。末尾に西村源六の目錄3丁半あり。

4—41サ31 ま千五百三十五 30銭

クラチユウメウホフレンゲキヤウセウ  
33055 科註妙法蓮華經鈔 一〜廿三  
大3帙23冊

坂東逢善寺定珍著・自序 (1590) (1648)  
天正18序・奥書, 慶安元刊

京 村上平樂寺(二條玉屋町)  
※上記冊次は朱の書込みによる。原題籤によれば序, 序抄上, 一之上〜三, 一之下〜三, 二之上〜三, 二之下, 三之上, 三之下, 四之上, 四之下〜二, 五之上, 五之下, 六之上, 六之下, 七之上〜二, 七之下。序冊内題「妙經科註序私」。本文内題「妙經科註私」。

1—23カ1 ま三番全式十三 3円

センジフセウ  
33056 撰集抄 一〜九 大1帙9冊  
伝西行著・自序 (1650) 慶安3刊

澤田庄左衛門  
※各冊墨書題籤「西行撰集抄」。第1冊表紙に「撰集抄/西行記」「□六百七十三」「全九冊」の小札あり。

1—21セ4 ま式百貳拾壹 60銭

書 一

クラウミヤウシンゴン  
33057(1) 光明眞言 照闇鈔纂靈記  
上之一・上之二・中之一・中之二・  
下之一・下之二(㊦〜㊧)

大(2)と合1帙6冊 (1710)  
梅國泰音著・自序・自跋 宝永7序・刊  
書肆不明

※内題「光明眞言經照闇鈔纂靈記」。刊記は「神叢書肆」とあって書肆名は削られている。「拾遺」は(2)参照。第1冊表紙に「眞言」の小札あり。

1—21シ13 ま四百〇八番 (2)共45銭

クラウミヤウシンゴン  
33057(2) 光明眞言 纂靈記拾遺 上・中・下  
(㊦〜㊧) 大(1)と合1帙3冊 (1715)

東奥僊臺弘誓音如著・自序 正徳5刊  
林正五郎・西村太右衛門

※内題「光明眞言照闇鈔纂靈記拾遺」。上冊表紙に「眞言」の小札あり。

1—21シ13

クラフオンミヤウオウシフ  
33058 觀音冥應集 一〜六各本・末(㊦〜㊧)  
大1帙12冊

蓮體著・自序・自跋 (1705) (1706)  
宝永2刊(第2冊刊記), 同3跋  
小嶋勘右衛門・毛利田庄太郎

※第2冊末と第12冊末に刊記あり, 後者では書肆に柏原清右衛門が加わる。第7〜12冊を「後集」一〜六とする。内題「觀自在菩薩冥應集」とも。

1—21カ6 ま百四番 2円50銭

ジャウドワ サンチュウゲ・カウソウワ サンチュウゲ・  
33059 ①浄土和讃注解・②高僧和讃注解・

シヤウザウマツワサンチュウゲ  
③正像末和讃注解 ※参照 大20冊  
(1670) (1671)  
武江妙延寺釋空誓著・自跋 寛文10跋, 同11刊

京 西村九郎右衛門(五條橋通扇屋町丁子屋)  
※④8冊(巻之一〜巻之八), ②7冊(巻之一・巻之二・巻之三上・同下・巻之四上・同下・巻之五), ③5冊(巻之一・巻之二上・同下・巻之三・巻之四)。①の第1冊表紙に「本」の小札あり。いわゆる「三帖和讃」(親鸞著)の注釈書。

1—26サ5 ま千〇壹全式十冊 3円

- 33060 <sup>ヲハリシウハチジサン</sup> 尾張州 八事山 <sup>タイニンリツ シ ゴ ロク</sup> 諦忍律師語録 大1冊  
(1748) 諦忍(妙竜)著 (1749) 寛延元奥書, 同2刊

京 感恩堂・柳枝軒, 尾州 竺魯堂

※内題は「雲蓮社諦忍和尚語録」とある。表紙に「浄」「仏」「仏百六十九」の小札あり。附録として「鐵壁法語引據」8丁あり。

1—26タ5 ま九百五拾三 15銭

- 33061 <sup>ランシカウケン</sup> 高驗 <sup>クンジュセウ</sup> 拈聚鈔 上・下 大1帙2冊  
(1700) 天旭著 元禄13刊

京 中野宗左衛門(寺町五條)

※上冊表紙に「本」「□百七十七」の小札あり。

1—22キ1 大惣番号札剝落 20銭

- 33062 <sup>サンゴク</sup> 三 <sup>クシヨウヒヤクマンシヤウキノキ</sup> 口稱百萬聲起之記 上・下 大2冊

「百万返御念佛老尊師御説法」, 「一至聞書」, 銀椀鏡無徳下冊「百萬聲機信行記」著・自序

(1773) 安永2成・序, 同4刊 (1775)

京 小川源兵衛(寺町蛸薬師角)・澤田吉左衛門(知恩院古門町)・赤井長兵衛(寺町佛光寺上ル町)

※上冊表紙に「浄」の小札あり。

1—26ク1 ま八百五拾八全式 18銭

- 33063 <sup>ゼンヨモンダフ</sup> 禅餘問答 乾・坤 大2冊  
(1674) 山木道人(高雲祖稜)著・自序 延宝2序, 同3刊 (1675)

京 林傳左衛門(三條菱屋町ふや)

※乾冊表紙に「禅」の小札あり。

1—25セ4 ま五百七拾九 20銭

- 33064 <sup>セイザンシヤウニンデンホウオンセウ</sup> 西山上人傳報恩鈔 一〜六・七本・七末 大1帙8冊

東山前禪林是湛著・自序(宝曆10), 瑞空愿亮序(同), 眞空慧玉序(同13), 逸空瑞崑序(同10), 眞翁徹瑞序(同), 眞空炬道序(同), 眞空實堂跋(同), 堅空實印跋(明和元)

書肆・刊年不明

※内題「西山上人縁起報恩鈔」とも。末尾に「靈空上人(是湛)傳」(大我薰沐著, 明和2)を附す。第1・8冊裏見返しに, 名古屋 永楽屋

東四郎(本町通七丁目), 江戸 同出店(日本橋通本銀町二丁目)の出版広告を貼付。

1—21セ2 ま七百弐十五全五 60銭

- 33065 <sup>ジツクワンオンキヤウレイゲンキ</sup> 十句観音經靈驗記 壹〜三 大3冊  
(1759) 白隠慧鶴著 宝曆9成

書肆不明

※本文巻頭内題「八重葎巻之二／附けたり延命十句經靈驗記」。第1冊表紙に「白隠和尚作」の小札あり。

1—25エ11 ま五百五拾老全三 35銭

- 33066 <sup>エイソギヤウジツ</sup> 永租 <sup>タイホケンゼイキ</sup> 訂補建撕記圖會 乾・坤 大1帙2冊  
(1806) 行實 文化3序(いづれも), 同14刊 (1817)

「永福面山訂補 輪王大賢等圖會」, 岡珍牛序, 黙宝・白龍序

京 風月庄左衛門・小川太左衛門

※道元の一代理記。絵入り。柱書「建撕記圖會」。

1—21チ6 ま五百七拾三全式 25銭

- 33067 <sup>エンザンワダイガフスイシフ</sup> 鹽山和泥合水集 上・中・下 大3冊  
 抜隊得勝著, 逸名跋あり 刊年不明  
 參郎兵衛

※上冊表紙に「禅仏三百廿六」の小札あり。

1—25エ2 ま五百五拾式全三 45銭

- 33068 <sup>セイシウシソウワウジヤウゲンキ</sup> 勢州緇素往生驗記 上・中・下 大1帙3冊

専修沙門大順著・自序, 單靈序, 惠頓跋

(1769) 明和6自序, 安永9序, 天明6刊 (1780) (1786)

京 澤田吉左衛門(知恩院古門前)

※序題「勢州往生驗記」, 柱書「緇素往生驗記」。

下冊裏見返しには安永7の澤田の出版広告あり。上冊表紙に「浄」の小札あり。

1—21セ3 ま八百〇五全三冊 35銭

- 33069 <sup>ヒラガナ</sup> ひら <sup>シンランシヤウニンゴイチダイキ</sup> かな 親鸞聖人御一代記 上・下 大1帙2冊  
(1771) 著者未詳 明和8刊

京 北村四郎兵衛(五條橋通高倉東江入ル町)

1—21シ21 ま千五百五拾式全式 20銭

一 仏 書、狂 詩 一

33070 シジユヒヤクインエンシフ  
私聚百因縁集 壹～五 大1帙5冊  
愚勸往信著・自序 承応2刊

上村次郎右衛門

※上記書名は各巻内題による。第1冊原題・第2冊墨書題の書名は「<sup>(1653)</sup>天<sup>(1653)</sup>百因縁集」。以下の冊の墨書題の角書は「唐土」(第3冊)、「和朝」(第4・5冊)。全9巻、原体裁9冊を合綴5冊か。

1—21ヒ1 ま式百五拾巻合五 1円

33071 キョウタクデン キコクジ カイ  
虚鐸傳記國字解 上・中・下 半1帙3冊

山本守秀著、柿原遵序、千花堂跋  
(1779) (1781) (1795)  
安永8跋、天明元序、寛政7刊

京 升屋庄兵衛(麩屋町松原下町)

※下冊に「普化和尚小傳」を収める。

1—21キ2 そ九百拾八全三 25銭

33072 キンセイケンブン  
近世 南紀往生傳 一～三

隆圓著・自序、仰聖聖道序 享和2自序・序・刊  
(1802)  
「南紀城西岸淨寺藏版」京 澤田吉左衛門  
(洛東知恩院古門前)・菊屋長兵衛(寺町綾小路下町)・著屋宗八(寺町通三條下町)

※第1冊冒頭に「圓光大師遺訓一枚起請文」「圓光大師之真」および天龍倫桂洲の題言あり。同冊表紙に「浄」「仏六百五十四」の小札あり。

1—21ナ1 ま八百〇四全三冊 40銭

33073 シンキヤウシテイセン  
心經止啼錢 大1冊  
螺蛤大師述、侍者某等記、不肖徒某甲跋、五十川正  
(1751)  
敬跋 寛延4跋(五十川)

摂州「退蔵峰藏板」

※内題「退蔵螺蛤老人般若心經止啼錢」。表紙に「經」の小札あり。本文全体に振仮名を書き込んでいる。

1—23ハ1 ま八拾五番 10銭

33074 ダンギマイリ  
談義まいり 大1帙1冊  
西音著・自跋 元禄3跋・刊  
(1690)

京 中村孫兵衛(高辻厂金町)・唐本屋又兵衛(堀川)

※表紙に「四百四十三」の小札あり。

1—26タ6 ま三百三拾五 10銭

33075 サンジフサンジン  
三十身 七観音靈驗鼓吹 一～八

浄土比丘必夢著・自序 大1帙8冊  
(1695) 元禄8序・刊

京 川勝五郎右衛門・永田調兵衛

※内題「七観音三十三身靈驗鈔」または「靈驗鈔」。柱書「観音靈驗鈔」。第1冊表紙に「西國三十三ヶ所靈驗鈔」と書かれた小札あり。

1—21シ2 大惣番号札剝落 1円40銭

狂 詩

33076 タイヘイガフ  
太平樂府 中1帙1冊  
銅脈先生著、應昭子序、北山業寂僧都序、兼津賀栗  
(1769) 跋 明和6序(業寂)・跋

京 竹苞樓佐々木惣四郎

※刊記「多和井茂内著・書林 只見屋調助/大井屋左平次」。

4—25タ1 ち六百巻全 5銭

33077 シンベン  
新 太平樂府 小1帙1冊  
編 素寒貧序

書肆・刊年不明

※『片低先生詩集』の改題本。本文冒頭に「胡逸減方海著/惠來安陀羅校」, 刊記「今見屋甚次/時雨屋庄五/陽屋大六/同刊/矢毛野勘八著」とある。『片低先生詩集』は出方第減多著,  
(1771) 明和8刊。

4—25シ9 ち六百式巻全 5銭

33078 ソクタイヘイガフ  
續太平樂府 小1帙1冊  
愚佛著、美前武朱眉序、逸孝夢徹方序、部間半氏譽  
(1820) 入道跋 文政3序(いづれも)・刊

京 錢屋惣四郎・堺屋伊兵衛

※刊記戯書「猪飼五九郎著・書林下田屋善内/尾計屋万八」。裏見返しに大野屋の「御業あらいこ、かみそめ油」の広告を貼付。

4—25ソ2 ち六百〇式 5銭

33079 <sup>タイヘイシンキョク</sup> 太平新曲 中他1冊と合1帙1冊  
安穴先生著, 娛息齋主人序, 依様斎晃采序, 何羅傑  
必三跋 <sup>(1819)</sup> 文政2序 (いづれも)・跋  
京 堺屋伊兵衛  
※33080『太平二曲』と同帙。裏表紙に「雪山處  
持/五兩菴珍藏」と書込みあり。  
4—25タ3 ち六百貳拾四全 5銭

33080 <sup>タイヘイニキョク</sup> 太平二曲 中他1冊と合1帙1冊  
安穴先生著・自序, 武朝保跋 <sup>(1820)</sup> 文政3序  
京 堺屋伊兵衛  
※33079『太平新曲』と同帙。  
4—25タ3 ち六百貳拾五 5銭

33081 <sup>タイヘイサンキョク</sup> 太平三曲 中1帙1冊  
安穴先生著・自序, 武朝保序, 我慢院豪常阿闍梨跋 <sup>(1821)</sup> 文政4自序・跋  
京 堺屋伊兵衛  
※裏見返しに文政8の落書あり。  
4—25タ2 ち六百貳十六 5銭

33082 <sup>ギョランセンセイシユンノウキ</sup> 魚籃先生春遊記 上・中・下  
中1帙3冊を合綴1冊  
陳奮翰著・自序, 寢惚道人序, 板部羅甫跋 <sup>(1839)</sup>  
天保10自序・序・跋, 同11後序・附卷序 <sup>(1840)</sup>  
書肆不明  
※「新樂府五十首」を附す。絵入り。柱書など  
「春遊記」。刊記戯書「<sup>フルカハ</sup>陳皮勘藏著/舞醉道人  
圖」。  
4—25キ3 ち六百四十番 15銭

33083 <sup>シバキシヤウ ネ ダマ</sup> 觀場性根玉 中1帙1冊  
太平道人著・画, 陳湖摩慈耐序, 麒麟道人序, 多湖  
莊吸附道人跋  
書肆・刊年不明  
※絵入り。芝居についての狂詩集。  
4—25シ5 ち六百拾番 5銭

33084 <sup>シンセイ ゴシチゴンキヤウシグワフ</sup> 新製五七言狂詩畫譜 中1帙1冊  
銅脈先生著, 錢屋惣四郎序 <sup>(1786)</sup> 天明6序  
京 錢屋惣四郎  
※上記書名は見返し内題による。原題簽は「銅脈  
先生狂詩畫譜」, 序題「狂詩画譜」, 目録の題

「狂詩五七言画譜」。

4—25キ13 ち六百拾壹全 5銭

33085 <sup>ネ ボケセンセイブンシフシヨヘン</sup> 寢惚先生文集初編 小1帙1冊  
寢惚(陳奮翰)著, 風来山人序, 木子服序, 物茂ら  
い跋 <sup>(1767)</sup> 明和4序 (いづれも)・刊  
書肆不明

※上記書名は見返し内題による。風来の序の題は  
「寢惚先生初稿」, 木子服の序の題は「寢惚初  
稿」。後補墨書題簽「寢惚文集」。附録として  
「奥北海天民著」の「病目錢神論」あり。

4—25ネ1 ほ五百五拾九 5銭

33086 <sup>ゴソクサイ シブンシフ</sup> 娛息齋詩文集 小1帙1冊  
娛息齋著・自跋, 津田井佐衛内序・編, 向水能轉戲  
序 <sup>(1770)</sup> 明和7序 (向水)・刊  
書肆不明

※刊記戯書「徳若屋才藏/田分彦左衛門/四々野  
十六兵衛」。表紙に「王㊦」の小札あり。

4—25コ3 大惣番号札剝落 5銭

33087 <sup>タイヘイブンシフ</sup> 太平文集 中1帙1冊  
愚佛著, 王須閑赤遍序, 匹澤樓主人跋 <sup>(1823)</sup> 文政6序  
京 林藤助・堺屋伊兵衛  
※内題「愚佛先生太平文集」。

4—25タ4 ち六百四十七 5銭

## 狂 歌

33088 <sup>キヤウカ シフキイヘツト</sup> 狂歌拾遺家土産 天・地 半1帙2冊  
由縁齋貞柳著, 西峨大僧都杉菴主龍尊序, 荒木忠良  
序, 一本亭芙蓉序, 林孝徳跋 <sup>(1758)</sup>  
宝暦8序 (荒木・芙蓉)・跋・刊  
京 額田正三郎 (寺町通五條上ル), 江戸 西  
村源六 (通本町二丁目), 大坂 西沢庄八 (南  
本町一丁目)・荒木佐兵衛 (心齋橋北久宝寺町)  
※絵入り。

4—25シ6 れ三百〇三番 30銭

- 33089 ショクニンゾクシキヤウカハセ  
職人盡狂歌合 上・下 半1帙2冊  
六樹園飯盛判, あみのはりかね序, 文亭一通跋  
(1807) (1808)  
文化4序・成, 同5跋・刊  
江戸 葛屋重三郎(通油町)  
※絵入り。書肆・刊年は『狂歌書目集成』に拠る。  
4—25シ7 れ四百拾三 75銭
- 33090 ガエンスイキヤウシフ  
雅筵醉狂集 春之巻上・下・夏之巻・  
秋之巻・冬之巻・雑之巻・戀之巻・附録之巻  
半1帙8冊  
正親町公通(風水軒白玉翁)著, 松岡文雄序  
(1729) (1731)  
享保14序, 同16刊  
大坂 河内屋宇兵衛・池田屋三郎右衛門  
※各冊題簽下に「老」〜「八」の小札あり。  
4—25カ1 れ十三全八冊 60銭
- 33091 ミヤコノテブリ  
都の手ふり 大1帙1冊  
六樹園飯盛著, 加藤千蔭序, 山本長祥跋  
(1808) (1809)  
文化5跋, 同6刊  
江戸 角丸屋基助(麹町平川丁二丁目)  
※擬古文体の随筆。表紙に「和文(朱)」「六樹園  
先生(墨)/和文(朱)」の小札あり。  
4—25ミ1 ふ四百四拾弍 20銭
- 33092 エイリ  
繪 入 狂哥はなし 一〜五 大1帙5冊  
瓢水子茶雲著・自序 刊年不明  
京 河内屋藤四郎(寺町通佛光寺), 江戸 須  
原屋茂兵衛(日本橋通壹丁目)・山城屋佐兵衛  
(同貳丁目)・須原屋新兵衛(同貳丁目)・山  
城屋政吉(同四日市)・英大助(同本石町十軒  
店)・英文蔵(同下谷御成道)・丁子屋平兵衛  
(同大傳馬町貳丁目)・岡田屋嘉七(同芝神明  
前), 大阪 河内屋藤兵衛(心齋橋通)・河内  
屋茂兵衛(心齋橋筋博勞町角)  
※「巻第二」以降, 内題「曾呂里狂哥咄」。すなわ  
ち『狂歌書目集成』によれば寛文12刊大本3冊  
の本だが, 本書は幕末期の後刷り本と思われる。  
4—25キ9 あ六百拾九全五 40銭
- 33093(1) キヤウブンボウカセン  
狂文棒哥撰 半1帙(2)と合綴1冊  
泥田房(鳴瀧音人)撰・自序・自跋, 四方赤良・朱  
(1785)  
天明5自序・序・刊  
楽漢江序

- 江戸 須原屋茂兵衛(日本橋通壹町目)  
※原3冊本(『狂歌書目集成』)。(2)の『繪本見立  
假譬盡』と合綴1冊。墨書題簽「繪本/狂文棒  
哥撰/見立假譬盡/全」。  
4—25キ17 れ四百七拾七 (2)共35銭
- 33093(2) エホンミタテカヒツクシ  
繪本見立假譬盡 上 半1帙(1)と合綴1冊  
竹杖為輕(万象亭)撰・自序, 勝尾春政画  
(1783)  
天明3序・刊  
江戸 須原屋市兵衛  
※本書は3冊本の上冊のみ。(1)『狂文棒哥撰』  
と合綴。書肆・刊年は『狂歌書目集成』による。  
4—25キ17
- 33094 キヤウカ  
狂 歌 畫像作者部類 上・下 大1帙2冊  
六樹園撰・自序 (1811)  
文化8刊  
江戸 角丸屋基助, 名古屋 永楽屋東四郎  
4—25キ4 大惣番号札剝落 45銭
- 33095 スイチクシフ  
醉竹集 かみ・しも(上・下) 半1帙2冊  
唐衣橋洲著, 石川雅望序, 四方真顔序, 芦邊田鶴丸  
(1802)  
跋 享和2跋・刊  
書肆不明  
※附録「謠百首和歌」「俳諧鉢歌」「画讃和歌」  
あり。刊記を欠く。刊年は『狂歌書目集成』に  
よる。朱・青筆の書込み甚し。  
4—25ス1 れ四百番全式 20銭
- 33096 クダカケブンコ  
燭夜文庫 上・下 半1帙2冊  
奇々羅金鷄著, 朱楽漢江題辭, 平秩東作題辭, 橘洲  
散人序, 狂歌堂真顔序, 山東京傳讃, 緑水主人讃,  
(1790) (1796) (1800)  
四方山人跋 寛政2跋, 同8序(橘洲), 同12刊  
京 須原屋平左衛門(三條通富小路), 大坂  
河内屋喜兵衛(心齋橋北久太郎町), 名古屋  
風月孫助(本町), 江戸 須原屋安兵衛(大傳  
馬町二丁目)  
※俳文集の分類に倣った狂文集。漢江題辭に「克  
学牛門鉢復効尾陽風」という。上冊表紙「百二十」の小紙, 小口に「くだかけ」の札あり。  
4—25ク2 れ四百七十式共式 25銭

— 狂歌、武器刀剣 —

- 33097 <sup>ボクヤウキヤウカシフ</sup> 卜養狂哥集 天・地 半1帙2冊  
 半井卜養著、半井瑞成序 安永5「求板」<sup>(1776)</sup>同6序<sup>(1777)</sup>  
 大坂 永昌堂柏原屋佐兵衛（心齋橋通伝馬町）  
 ※所謂安永求板本。4—25ホ1に大本2冊の異板あり。  
 4—25ホ2 れ三百三十九 40銭

- 33098 <sup>ユエンサイオキミヤゲ</sup> 由縁斎置みやげ 半1帙1冊  
 永田貞柳著、紀海音堂貞義序、永田貞竹跋<sup>(1734)</sup>  
 享保19跋・刊  
 大坂 田原屋平兵衛（道具屋町筋順慶町）・田  
 川卯右衛門（南久宝寺町二丁目）・大和屋清六  
 ・近江屋甚兵衛（南久太郎町六丁目）  
 4—25オ2 れ三百〇四番全巻冊 15銭

- 33099(1) <sup>イヘツト</sup> 家津登 半(2)と合1帙1冊  
 油烟斎貞柳著、淵田不威序、萬笈斎桑魚跋<sup>(1729)</sup>、境屋四  
 良兵衛撰 享保14跋・刊  
 大坂 譽田屋久兵衛（博労町心齋橋筋）  
 ※『狂歌書目集成』は、本書書肆として上記の外  
 に大坂桑名屋甚兵衛を挙げている。  
 4—25イ3 れ三百〇老全巻冊 (2)共30銭

- 33099(2) <sup>キヤウカ</sup> 狂歌 <sup>ソクイヘツト</sup> 續家津と 半(1)と合1帙1冊  
 由縁斎貞柳著・自序、可親軒主人跋<sup>(1729)</sup> 享保14刊  
 大坂 蟠口太兵衛（心齋橋すしあはち町）  
 ※『狂歌書目集成』は享保19刊、大坂 田原抱玉  
 軒・坂口太兵衛梓とするが、それは再板本であ  
 り、正篇と同年の蟠口単独板の本書が初板か。  
 末尾に「狂歌式」を附し、原題簽に「并相傳書」  
 と刷られている。  
 4—25イ3 れ三百〇式全巻㊦

- 33100 <sup>フウゾクブンシフ</sup> 風俗文集 <sup>ムカシノホグ</sup> 昔之 反古 卷之一・卷之二  
 半1帙2冊  
 自墮落先生（山崎北華）著、後北華篇・序、朝隠貞  
 宇序<sup>(1744)</sup> 延享元序（いずれも）・刊  
 京 西村市郎右衛門（堀川錦上ル町）、江戸  
 西村源六（本町三丁目）  
 ※追福遺稿集。表紙に「中百二十一」の札あり。  
 4—25フ2 大惣番号札剝落 50銭

- 33101 <sup>フウキヤウブンサウ</sup> 風狂文帥 (一)〜五 半1帙5冊を合綴1冊  
 田中友水子著<sup>(1752)</sup> 宝暦2刊  
 江戸 須原茂兵衛（日本橋南壹丁目）、大坂  
 大野木市兵衛（心齋橋安堂寺町）  
 ※初板は延享2。絵入り。  
 4—25フ1 れ四百六十式 70銭

- 33102 <sup>ホリカハヒヤクシユダイキヤウカシフ</sup> 堀河百首題狂歌集 上・中・下 大1帙3冊を合綴1冊  
 中院也足軒判、池田正式撰<sup>(1671)</sup> 寛文11刊  
 京 荒川宗長  
 ※本書は堀河百首の題ごとに、建仁寺雄長老・よ  
 み人しらす・明心居士貞徳・安井了忠・如竹・  
 猶影・布留田造・平郡実柿（池田正式）の狂歌  
 を配列、集成したもの。『狂歌書目集成』寛文  
 11年に池田正式撰、大坂 柏原屋佐兵衛刊とし  
 て載る。合綴に際し中・上・下の順に綴じ違え  
 ている。裏見返しに享保元年云々の書込みあり。  
 4—25ホ3 ふ七百七拾六全 30銭

- 33103 <sup>キヤウカナニハスガカサ</sup> 狂歌浪華菅笠 上・下 半1帙2冊  
 芦原蟹丸著、難波の言輔序<sup>(1807)</sup> 文化4刊  
 「雌雄軒藏板」、大坂 谷嘉兵衛（心齋橋南壹  
 丁目）・松村九兵衛・田中太右衛門（同塩町）  
 ※「讃芸詣日記」「芳塾花見記行」（上之巻）、「但  
 州温泉記行」「附録 職人歌合 序并撰者尾田初九」（下  
 之巻）より成る。絵入り。内題「浪花菅かさ」。  
 4—25キ8 大惣番号札剝落 20銭

武器刀剣

- 33104 <sup>ベンキヤウブンシフ</sup> 便器養武集 壹〜五 半1帙5冊  
 著者未詳 成立年不明  
 写本  
 ※武具・装具の解説書。  
 8—22へ2 た七百五十巻全五 50銭

- 33105 <sup>タウケチャクヨウシヤウゾクセウ</sup> 當家着用装束抄 上・下 大1帙2冊  
 一条兼良著



写本

※上冊の表紙右上に「□百五十」と書かれた小札あり。朱の書込みあり。書名は巻頭には「當家着用装束以支」とある。別名「桃華藥葉」。奥書には貞享<sup>(1688)</sup>5「從四位上左近衛権中将藤原朝臣」の識語がみられる。

5—17ト2 や千五十七 40銭

8—22シ2 大惣番号不明

グンヨウキ

33109 軍用記 ㊦〜㊧

半1帙7冊

平貞丈著・自跋

写本

※『国書総目録』によると天保14版の本が存する。<sup>(1843)</sup>  
図入り。

8—22ク3 ゆ九百貳拾毫全七 1円

ココンメイヅクシタイゼン

33106 古今銘盡大全 参照 半1帙4冊

著者未詳・自序あり 元禄<sup>(1702)</sup>15刊

江戸 利倉屋喜兵衛(日本橋通三町目)

※題簽に「一 系圖秘談抄/二 秘傳抄」,「三 目利/四 目利」,「五 忠鑑刃/六 心形像銘形」,「七 心形像銘形/八 附録」。惣目録に記すところは少々異なる。刀剣目利の書。識語には本書の内容を家伝であるという。

8—22コ1 そ八百七十四 60銭

サウケンキシヤウ

33107 装剣奇賞 壹〜柒 半1帙7冊

稲葉通龍著・自序, 源頼行序, 北海片猷序, 龍公美序, 稲葉通邦跋

<sup>(1781)</sup>  
天明元序(源・北海・龍)・跋・刊

江戸 須原茂兵衛(日本橋南壹丁目), 京 山本平左衛門(寺町通蛸薬師前), 大坂 澁川清右衛門(心斎橋筋順慶町)・上田卯兵衛(同北詰町)・柳原喜兵衛(同南久太郎町)・石原茂兵衛(同南へ貳丁目)・大野木市兵衛(同安堂寺町),「浪華 芝翠館蔵板」

8—46ソ1 そ八百三十三全七 65銭

アラミメイヅクシ

33108(1) 新刃銘盡 卷之一・二〜六

大(2)と合1帙6冊

神田白龍子勝久著・自序

書肆・刊年不明

※後集は(2)参照。原題簽中に「諸國新刀/目利之書」とある(後集も同様)。

8—22シ2 大惣番号札剝落 (2)共1円

アラミメイヅクシコウシフ

33108(2) 新刃銘盡後集 卷二・三〜六

大(1)と合1帙5冊

中島惣兵衛寿福著

書肆・刊年不明

※各巻頭内題は「續新刃銘盡」。第1冊を欠く。  
脇題簽に国名を列举している。

ウン カ シフ ・ カツチウメイジツシフ

33110 雲霞集・甲冑名實集 半1帙1冊

上田重秀「相傳」(雲霞集)

成立年不明

写本

※「雲霞集」巻末に大坪廣秀等4名の識語あり。

「高田求古堂記」の印あり。馬術指南書。「甲冑名實集」は甲冑の歴史・部位の解説書。著者未詳。

8—71ウ3 た八百四拾四全 15銭

ブヨウベンリヤク

33111 武用辨畧 一〜八

半1帙8冊

式樹戸木下義俊著・自序, 袈衣齋負喧子校

<sup>(1684)</sup>  
貞享元序

渡邊善右衛門

8—71フ3 た七百〇壹番全八 40銭

ゾカイ

図 タンキエウリヤク

33112 解 單騎要略 卷之一〜五 半1帙5冊

村井昌弘著・「序例」, 服部南郭序 <sup>(1729)</sup> 享保14刊

京 野田彌兵衛, 江戸 野田太兵衛

※刊記前に盧橘堂版行目録を附す。原題簽中に小さく「彼甲辨」とあり。各巻内題は「單騎要略 彼甲辨」。

8—71タ1 た七百拾貳全五 20銭

## 經典及詩文

シフクケイジャウヒヤクエイ

33113 集句閨情百詠

縦長(22.5×13.5cm) 1帙1冊

著者未詳, 龍草盧序, 荷田信郷跋

<sup>(1779)</sup> <sup>(1780)</sup>  
安永8序, 同9跋・刊

京 額田正三郎

※明の洪熙初元の原序(逸名)あり。附録「舊編

集句閨情百詠」あり。

4—07シ10 つ四百三拾七全 10銭

サンジキヤウコク ジ カイ

33114 三字經國字解 半1冊

多賀主一郎著、陸可彦序、陸祐吉跋

(1801) 享和元序・跋、文政2刊

京 額田正二郎・河南四良兵衛、大阪 葛城長兵衛・吉田善藏

1—84サ3 よ百三拾七番全 5銭

シヨガクブンダン

33115 初學文談

縦長(22.3×13.6cm) 1帙1冊

大典禪師竺常著・自序 天明3序、同4刊

京 近江屋庄右衛門(堀川通高辻上ル町)

※表紙に「文材」(朱)、「中三十九番」(墨)の小札あり。

4—04シ13 よ百四拾七全 10銭

シンテイ シ ゴサイキン

33116 新定詩語碎金 半1帙1冊

東條琴臺著・自序、門人佐藤養君正・穂積克正吉士編

(1847) 弘化4序、同5刊

「掃葉山房藏」江戶 山崎屋清七(浅草福井町茗丁目)

4—06シ26 よ百六十五番 5銭

シヨリヤク ツ カイ

33117 四書畧図解 上・中下 大2冊

大原武清著・自序 承応2序

書肆不明

※原題簽にはそれぞれ「大学／論語」「孟子／中庸」の角書あり。序・目録の題は「四書引蒙略圖解」。

1—66シ21 や八拾三番全式 20銭

ケイテン ヨ シカウキヤウ

33118 經典餘師孝經 半1帙1冊

溪百年著 文化12刊

江戶 山盛堂

※巻末「出来目録」に拠れば、『經典余師』には四書・小学・詩経・書経・武経七書・孫子あり。他にも諸書の『余師』あり。

1—66コ2 よ百三十一 10銭

ヤクブンセンテイ シヨヘン

33119 譯文筌蹄 初篇 卷一〜卷六

半1帙6冊

荻生徂徠「口授」、僧聖黙・吉有鄰「筆受」

(1715)  
正徳5刊

京 沢田吉左衛門(洛東知恩院門前)

※類義の文字の異同を説いたもの。

4—04ヤ1 大惣番号札剝落 50銭

コブンカウキヤウコク ジ カイ

33120 古文孝經國字解 半1冊

太宰春臺著 (1770) 明和7刊

江戸 小林新兵衛

※表紙に「経」(朱)と記された小札あり。

1—66コ5 大惣番号札剝落 10銭

ガツボン

33121 合本 雅語音聲考・希雅 半1帙1冊

鈴木朗著 刊年不明

名古屋 永楽屋東四郎

※『雅語音声考』は大和言葉、『希雅』は漢字音につき音義説を展開したもの。

4—85カ2 よ百三拾八 20銭

シヨベン

33122 庶辯 半1冊

山典元常(白田中徳兵衛)著 安永9刊

京 銭屋七郎兵衛(堀川仏光寺下ル町)、大坂 河内屋平兵衛(河波橋町)

※「學生辯」「孝經辯」「學庸辯」「人品辯」「生業辯」「財用辯」「風俗辯」「時人辯」「讀書辯」「文辭辯」より成る。内「學生弁」のみは漢文。著者名の「白田中」は「畠中」か。原表紙の上から表紙改裝。原表紙に「中四十一番」の小札あり。

1—69シ32 大惣番号札剝落 10銭

ガクシヨセフケイ

33123 学書捷徑 半1帙1冊

鳩谷孔平著、宮田勝用序 安永7序

江戸 松本善兵衛(日本橋三丁目)

※原題簽は上部欠損。「□書捷徑 完」とのみで、角書あったか。内題下「手習はやみちとも世ニハ云リ」。巻末に「鳩谷孔平先生撰著已刻將梓書統類」および松本善兵衛の出版目録。書道入門書。

8—43カ1 よ百五十五全巻 10銭

コウモンヒツドク

33124 孔門必讀 半1帙1冊

橋本嘉著・自序、平住専菴序 享保4自序・序

書肆不明

※孔子とその弟子の事跡。卷之一・卷二および「世紀」より成る。丁附よりみて原体裁は5冊か。

5—67コ2 よ六十六 15銭

33125 フシヤウシフ 覆醬集 半他3冊と合1帙1冊  
石川丈山著、講習堂人(松永)昌三序(慶安元)<sup>(1648)</sup>;  
野間三竹序(同4)<sup>(1651)</sup> 寛文11刊<sup>(1671)</sup>

京 林庄五郎

※3冊本の同書(4—07フ2)と同じ帙に入る。  
表紙の題簽の右側に「石川丈山朝鮮来使と筆談贈答之詩集」と記された札あり。昌山序題「凹凸窠先生詩集序」。朝鮮来使は寛永14の通信使のこと。

4—07フ3 よ百貳拾六全 15銭

33126 コウシ ケ ゴゲンカイ 孔子家語諺解 一〜十 半1帙10冊  
高田彪(鏡湖・周郷)著・自序 寛政5序, 同6刊<sup>(1793)</sup>  
江戸 小林新兵衛(日本橋)<sup>(1794)</sup>

※内題は「孔子家語合注諺解」。内題下に「魏王肅子雍注/太宰純増注 千葉玄之標箋/冢田叔瓚注」とある。巻頭に「反切字例」を附す。

1—69コ10 よ拾五全十 40銭

33127 ソライ 徂 學則國字解 半1冊  
熊井清庸「撰」・自序<sup>(1779)</sup> 安永8序, 同9刊<sup>(1783)</sup>  
江戸 小林新兵衛

※内題「徂徠先生學則國字解」。

1—69ソ4 大惣番号札剝落 5銭

33128 ダイガクセウカウ 大學鈔稿 半1冊  
林文欽著、南畝子序<sup>(1789)</sup> 寛政元序・刊<sup>(1783)</sup>  
江戸 須原屋市兵衛(室町三丁目)・和泉屋幸右衛門(小傳馬町三丁目)・遠州屋清右衛門(同町)

※表紙に「中四十五」の小札あり。

1—66タ21 よ百三十三 5銭

33129 トウシ センゲンカイ 唐詩選諺解 上・中・下 半1帙3冊  
宇成之(宇野東山)著、物茂卿跋<sup>(1783)</sup> 天明3刊  
「宇野耕齋塾版」

※内題は「唐詩選解」。

4—02ト6 大惣番号札剝落 20銭

33130 ヤクブンエウケツ 譯文要訣 (本編)・附録 半1帙2冊  
高安其齋著・自序<sup>(1784)</sup>

天明4刊(本編), 同5刊(附録)<sup>(1785)</sup>

大坂 高橋平助(本編のみ)・稲葉新右衛門

※表紙に「文材」(朱)の小札あり。附録末に「白石先生手簡」を附す。

4—04ヤ3 よ百拾四共貳冊 20銭

33131 ゼツク カイコク ジ カイ 絶句解國字解 從序一至二・從三至四  
・從五至六・從七至八 半1帙4冊

田中江南訃, 市川匡為序, 學海平寛跋<sup>(1776)</sup>

安永5序・跋, 同6刊<sup>(1777)</sup>

江戸 松本善兵衛(日本橋南三丁目)・小川彦九郎(日本橋南二丁目)・奥村喜兵衛(芝神明前三嶋丁), 京 梅村宗五郎(寺町通五条上ル丁)・錢屋庄兵衛(堀川通佛光寺上ル丁)・丁子屋庄兵衛(醒井通五条下ル三丁目)・梅村市兵衛(寺町通松原下ル丁)

※内題は「唐後詩絶句解國字解」, 柱書「徂来先生絶句解國字解」。第1冊が五言絶句, 第2〜4冊が七言絶句。

4—02セ5 よ五拾七全四 20銭

33132 ジョ ジ コク 助辭鵠 一〜五 半1帙5冊  
河北景楨著・自跋(安永5)<sup>(1776)</sup>, 北海江村序(天明5)<sup>(1785)</sup>,  
石川安貞序(安永8)<sup>(1779)</sup>, 藤堂高文序(明和4)<sup>(1767)</sup>, 東江源麟序(天明5)<sup>(1786)</sup> 天明6刊

「一身田學寮藏版」

※漢文における助字の用法の解説。

4—04シ9 よ四拾四 50銭

33133 キンキヤウベンモウセウ 韻鏡便蒙抄 半1帙1冊  
不孤齋有必著・自序<sup>(1685)</sup> 貞享2序, 同3刊<sup>(1686)</sup>

京 永田長兵衛(錦小路)

※表紙に「中三十四番」の小札あり。序題は「韻鏡削補便蒙抄」。見返しに「朗辯清」の署名あり。

4—64イ6 大惣番号札剝落か 20銭

33134 ショセンベンダン 諸説 辨斷 韻鏡袖中秘傳鈔 卷之壹  
〜卷之十一 半2帙11冊<sup>(1715)</sup>

毛利貞斎著

京 錢屋庄兵衛・河南四郎右衛門

※著者は『国書総目録』による。構成は卷之壹「韻鏡名乗字大全」、卷之二・三「韻鏡字予集」、卷之四～卷之十一「韻鏡袖中秘傳鈔卷之一～卷之八」。

4—64イ3 大惣番号札剝落 50銭

シンパン  
新板 33135 キンキヤウヒ ジ タイゼン  
韻鏡秘事大全 乾・坤

半1帙2冊  
(1679)  
延宝7刊

小亀勤斎(英益)著

京 八尾清兵衛

※著者名は『国書総目録』による。奥書には「津高益奥／糾古記之」と記す。内題、乾は「韻鏡秘事抄」、坤は「韻鏡秘事大全」となっている。朱墨の書込み多し。乾冊原題籤の「大全」の2字は埋木により抹消されている。

4—64イ5 大惣番号札剝落 20銭

シウエキシツチュウセウ  
33136 周易集註鈔 一～拾巻 大2帙11冊  
(1661)  
著者未詳 寛文元刊

書肆不明

※朱・墨の書込み多し。24巻より成り、原体裁は1巻ごとに1冊だったらしい。各巻末に「道立」なる人が寛文2年の読了記録を記している。『国書総目録』が記すところの「首巻」を欠いている。

1—62シ7 や拾貳合拾巻 75銭

ゲイエンダン  
33137 藝苑談 大1帙1冊  
(1768)

清田絢(儵叟)著、江邨綏君錫甫序 明和5序・刊

京 日野屋源七・林伊兵衛

※詩文を論ずる書。表紙に「文材」(朱)「柳」「千九十式」(墨)の札あり。文錦堂(林伊兵衛)の蔵板目録を附す。

4—04ケ2 や百拾八 20銭

イリンセウ  
33138 彝倫抄 大1帙1冊  
(1640)

松永昌三著・自跋 寛永17跋

「直廣開板」

※儒学書。表紙に「経」(朱)・「蔵」(朱)千六番(墨)・「柳」(墨)の札あり。

1—69イ7 や三百〇三 15銭

ジュツイキ  
33139 述異記 大1帙1冊  
(1749)

梁樂安任昉著、明會稽商濬校

寛延2刊

京 植村藤右衛門(堀川通高辻上ル町)、江戸植村藤三郎(通本石町三町目)、大坂 植村藤三郎(高麗橋壹町目)

※表紙に「雜」(朱)の小札あり。中国の小説類。古代中国に関わる俗説を集めたもの。4—47シ2 Bに享保元刊の同書2冊本あり。

4—47シ2 や五百八十七 15銭

バイゲツダウキンガウシンワ  
33140 梅月堂金鰲新話 大1帙1冊  
(1660)  
金時習著 万治3刊

京 飯田忠兵衛

※表紙に「小説」(朱)、「千八番」・「柳」(墨)の小札あり。内容は中国の「剪燈新話」を朝鮮風に脚色した朝鮮の漢文小説。

4—47ハ4 や五百八十八 10銭

ランテセイエウホヨク  
33141 温知精要輔翼 大1帙1冊  
(1731)  
中村平五(三近子)著・自序 享保16序  
写本

※徳川宗春著、享保16序・刊の『温知精要』を「輔翼」した書。表紙に「経」(朱)の小札あり。

1—84オ2 や三百〇貳番 10銭

チハウエウシ  
33142 治邦要旨 一～四 大1帙4冊  
(1736)  
布施維安著・自序・自跋 元文元序  
写本

※第4冊は「附録事君提綱」。第1冊末に「寛延三年庚午五月十日校考」、第4冊末に「寛延四年辛未正月九日校考」とあり、これは書写年を示すか。第1冊表紙に「式百三十五」の札あり。

2—42チ1 や三百五拾九 10銭

ゴエキノシヨ  
33143 五益之書 大1冊  
(1741)  
佐藤直方編 寛保元編  
写本

※本書は「勸学」(佐藤直方著、元禄2成)、「武家須知」(著者未詳、元文元成)、「詩学指要」(東溟著、元文3成)、「烏丸殿教訓御書」(烏丸光広著、成立年不明)より成る。前三者に編者の序があり、いずれも寛保元。

1—69コ1 や三百五拾五 10銭

ボクテンシデン  
33144 穆天子傳 1冊

一 経典及詩文一

所在不明

※本館カード目録に「R」と記す。5—42ホ1に  
同板と思われる本(大本1冊, 書肆・刊年不明)  
あり。

10銭

33145 皇明百孝傳 大1帙1冊  
黄梁性堂(獨湛)著・自序, 門人東明山興福寺章悦  
峰跋 (1682) (1702)  
京 今井重左衛門 天和2序, 元禄15刊

5—67ミ1 や五百九拾九 15銭

33146 大学童蒙解 大1冊  
植村正助(説齋)著, 上河正揚序, 津山北山誠跋  
(1793)  
寛政5序・跋・刊  
「津山莊敬舎藏版」, 京 循古堂淡海莊兵衛  
(京都弘所)  
※表紙に「経」(朱), 「千四百一番」(墨)の小札  
あり。

1—66タ25 や百〇巻 20銭

33147 聖學圖講義 大1冊  
浅見安正綱齋述, 門人等録 (1709)  
宝永6成  
書肆不明  
※表紙に「経」(朱)の小札あり。大惣番号, 「や  
三百〇巻」を「や三百式拾九」に改めたと思わ  
れる。本文に朱の書込みあり。  
1—69セ4 や三百式拾九 10銭

33148 喪祭小記 大1冊  
浅見安正著・自跋 (1691)  
元禄4跋  
写本  
※神道の喪祭作法書。題簽の書名, 「喪祭小説」  
と書かれ「説」を「記」に改めている。表紙に  
「類(朱)三百十三(墨)」の小札あり。  
1—69ソ9 や三百五拾八 10銭

33149 繪入二十四孝抄 大1冊  
著者未詳 (1665)  
寛文5刊

京 婦屋仁兵衛尉(三条通菱屋町)  
※表紙に「史」(朱)・「柳」(千式十二)(墨)の  
小札あり。内題「二十四章孝行録抄」。  
1—84=1 や五百九拾七 15銭

33150 蠡海集 大1帙1冊  
宋銭唐王達著, 明會稽商濬校 (1645)  
正保2刊  
京 書舎仁左衛門(二條通鶴屋町)  
※表紙に「雜」(朱)の小札あり。  
8—82レ1 や五百八十三 15銭

33151 詩經示蒙句解 壹~六・七八・十一  
十二・十三~十八 大14冊  
楊齋仲先生(中村楊齋)著, 増田謙之序  
(1718) (1720)  
享保3序, 同5刊

京 山形屋(衣棚二條下町)  
※巻九・十を収めた第8冊を欠く。内容を表紙に  
打ちつけ書している。第7冊以下は原題簽の巻  
数の下に冊数の通し番号を書き込んでいる。  
1—63シ31 や拾三全拾五 55銭

33152 假名貞觀政要 一~五 大1帙5冊  
「史臣呉兢撰」 (1647)  
正保4刊  
京 沢田庄左衛門(二条通)  
※内題は「貞觀政要」。

2—42カ1 や式百式拾五 25銭

33153 冷齋夜話 大1帙1冊  
末僧惠洪編 (1666)  
寛文6刊  
京 上村次良右衛門(二条通玉屋町)  
※詩話集。表紙に「柳」(千式十)の小札あり。  
4—04レ1 や五百八十六 25銭

33154 赤穂四十七士傳 上・下 大1帙2冊  
青山延光著・自序, 藤田彪序, 佐藤槐跋 (1829) (1834) (1851)  
文政12自序, 天保5序, 嘉永4跋・刊  
水戸 珮弦齋藏版, 江戸 須原屋伊八(浅草茅  
町二丁目)  
※上記書名は原題簽によるが, 見返し内題は「珮  
弦齋雜著」で, 目録として本書のほか「刀剣  
録」「名花有聲畫」「南狩野史」「三藩事略」の  
名が記されている。

5—61ア2 て五百六拾四全二 20銭

33155 小蓮殘香集 詩・文 大1帙2冊  
鈴木恭遠耻著, 岡橋光矩子良・藤江計文倪甫編, 皆  
川愿序, 葛質序, 曾榮序, 霞亭北条讓跋, 蓬華仁尾  
永胤跋 (1803)  
享和3序・跋(いずれも)・刊

江戸 須原屋伊八

※皆川序題「昨非遺稿序」。表紙に「文」(朱)の小札あり。

4—03シ14 や八拾七番全式 15銭

サンカウゴジャウ ワ ショ

33156 三綱五常和書

大1冊

著者未詳

(1697)  
元禄10刊

京 井上實氏

※表紙に「経」(朱)・「千三十七」「柳」(墨)の小札あり。

1—69サ4 や三百〇九 10銭

テン チ バンブツザウクワロン

33157 天地萬物造化論

大1帙1冊

魯齋王栢撰、後學盧陵周頤註・序、江東吳文度跋

(1642)  
寛永19刊

京 田原仁左衛門(二条通鶴屋町)

※表紙に「経」(朱)・「千四十九」「柳」(墨)の小札あり。上記書名は内題によるが、上部破損した原題簽は「萬物造化論全」。

6—01テ1 や三百拾貳 10銭

シンガクショウデン

33158 心學 承傳

セイケンショウゴク ジ カイ

聖賢證語國字解 大1冊

上河原藏正揚著・自序、有山統跋

(1792) (1793)  
寛政4序、同5跋・刊

「淇水樓塾藏」、京 鶴鶴惣四郎

※柱書「聖賢證語解」。表紙に「経」(朱)の小札あり。

1—82セ1 や三百三拾三 15銭

ホウ シ ヒツダン

33159 豐子筆談

大1冊

武蔵豐幹(豐島終吉)著、岐融子明氏序、上野越智元

達跋 (1778) (1780) (1781)  
安永7成、同9跋、天明元刊

江戸 須原屋茂兵衛・松彦八

※本文内題「筆談」。「附録／與菅強甫書」あり。

表紙に「経」(朱)の小札あり。

1—69ホ1 や三百貳拾番 10銭

ナンイウ ジ モウ

33160 南遊示蒙

大1冊

西依成斎(周行)述、鈴木尋思斎記・跋、高木潤序

(1793) (1794)  
寛政5序、同6刊

京 若井屋善五郎(元普願寺堀川東入町)・石

田治兵衛(一条大宮西入一丁目)、大坂 尼屋

貞次郎(心齋橋筋塩町)

※表紙に「経」(朱)・「千八十九」「柳」(墨)の小札あり。

1—69ナ1 や三百十六 10銭

キンガクゾクン

33161 勤學俗訓

大1冊

石川安貞著・自序

(1800)  
寛政12序・刊

京 菱屋孫兵衛(御幸町通姉小路上ル町)・林

伊兵衛(二條通柳馬場東江入町)

※表紙に「経」(朱)・「千九十一」「柳」(墨)の小札あり。大惣番号は「や三百〇五」から下記のように訂正。

1—69キ12 や三百拾三 10銭

シ ゲンセウ

33162 卮言抄

卷之上・卷之下

大1帙2冊を合綴1冊

林道春著・自跋

(1620)  
元和6跋

書肆不明

※表紙に「経」(朱)・「柳」「千三十」(墨)の小札あり。刊記なし。整版本。

1—69シ5 や三百貳拾八 15銭

サウゲフスイトウ・コウ シ セイガクギリヤクセウ

33163 創業垂統・孔子正學義畧抄

大2冊を合綴1冊

(創業垂統)長尾龍著、間資承序、屈憲猷卿跋

(1796)  
寛政8序・跋

「尊親樓發行」

※創業篇と垂統篇より成る。

(孔子正学——)南屏源爲祥著

書肆・刊年不明

※柱書「孔子正學義抄」。合綴改裝の表紙に「経」(朱)の小札あり。

1—69ソ7 や三百〇七 10銭

ベンダウ

33164 辨道

大1冊

物茂卿(荻生徂徠)著

(1717)  
享保2成

書肆不明

※表紙に「経」(朱)の小札あり。

1—69ヘ1 や貳百八十三 10銭

ベンダウシヨ

33165 辯道書

大1冊

太宰純(春台)著、水野元朗跋

(1735)  
享保20跋・刊

江戸 嵩山房須原屋新兵衛

※表紙に「蔵(墨)」・「経(朱)」と記した小札あり。

1—69ヘ5 や貳百八十四 10銭

一 経典及詩文一

33166 <sup>ニフクワンダイイチギ</sup> 入官第一義 大1帙1冊  
塚田多門虎述 刊年不明

「雄風館蔵」

※序にいわく「此入官の篇は孔子家語及大戴禮に記せる所にして仕官する者の其官職に居て人民を治る用心を論されし聖人の金言」。柱書「第一義」。「雄風館著書目録」を附す。表紙に「経」(朱),「柳」「千四百二十四」(墨)の小札あり。

2—42=1 や三百〇六 10銭

33167 <sup>ハクロクドウシヨキンカツ シ ケイサイセンセイカウギ</sup> 白鹿洞書院揭示綱齋先生講義 大1冊

淺見綱齋講義, 山崎闇齋集註・序  
(1650) (1787)  
慶安3序, 天明7刊  
京 風月莊左衛門, 江戸 山崎金兵衛, 大阪 泉本八兵衛

※上記書名は見返し内題によるが, 原題簽は「白鹿洞書院揭示講□(義)」, 序題「白鹿洞學規集註」, 本文内題「白鹿洞書院揭示」, 柱書「白鹿洞講義」。河内屋八兵衛(大阪心齋橋筋南久宝寺町)の「嵩高堂蔵板目録」を附す。表紙に「経」(朱)の小札あり。

1—69ハ3 や三百貳拾五 5銭

33168 <sup>ベンガク シ コク ジカイ</sup> 勉學詩國字解 大1帙1冊  
丘瓊山原著

写本

※表紙に「経」(朱)の小札あり。五言絶10首と五言律5首の注釈。

1—84へ4 や百貳拾七 10銭

33169 <sup>ジゲンカイ</sup> 邇言解 大1帙1冊  
小田穀山述, 田寛序, 田堅跋, 田寛・原泰・田堅校  
(1803)  
享和3序・跋・刊

「小田穀山蔵板」, 江戸 嵩山房小林新兵衛  
※表紙に「字」(朱),「千四百三十三」(墨)の小札あり。

4—25シ3 や五百八十五 10銭

33170 <sup>ショダクセイケンモンベン</sup> 初學聖賢問辨 大1冊  
赤松弘著・自序・自跋 刊年不明

大坂 吉文字屋市左衛門(心齋橋南へ四丁目)

※政論。表紙に「経」(朱),「千四百十六」(墨)

の小札あり。吉文字屋の出版広告を附す。序跋の年は「寅」とのみ。

1—69シ49 や三百拾五 10銭

33171 <sup>カウキヤウタイギ</sup> 孝經大義 大1冊  
「朱文公刊誤, 鄱陽董鼎註」, 武夷熊禾序, 淳安徐貫跋  
(1647)  
正保4刊

書肆不明

※柱書「孝經新註」。

1—66=22 大惣番号札剝落 10銭

33172 <sup>ダイガクセウ</sup> 大學抄 大1冊  
朱熹「章句」・自序, 注者未詳  
(1630)  
寛永7刊  
書肆不明

※序題と巻末内題「大學章句」。表紙に「千三十九」の小札あり。

1—66タ15 や百〇三 10銭

33173 <sup>ドウクワンセウ</sup> 童觀鈔 大1冊  
林道春編・自跋  
(1659)  
万治2刊  
武村市兵衛

※表紙に「経」(朱)の小札あり。

1—69ト5 や三百〇四 15銭

33174 <sup>コブンカウキヤウワ ジクン</sup> 古文孝經和字訓 大1冊  
塚田多門(大峯先生)訓  
(1788)  
天明8刊

江戸 嵩山房小林新兵衛(日本橋)

※柱書・巻末内題「孝經和字訓」。表紙に「千四百貳」「柳」の小札あり。

1—66=11 や百六番 10銭

33175 <sup>シ ショセウジヨ</sup> 詩書小序 大1冊  
荻生徂徠著, 宇佐美澤水編・跋, 服元喬(服部南郭)跋  
(1741)  
元文6刊

江戸 谷村豊左衛門

※内題・柱書「詩序」, 服元喬跋の題は「題詩書舊序首」。表紙に「千五十九」「柳(墨)経(朱)」の小札あり。

1—63シ12 や百〇九番 10銭

33176 <sup>セイケン キゲンカウギ</sup> 靖獻遺言講義 大1冊  
淺見安正著・自跋, 後学某跋  
(1689) (1748) (1748)

元禄2自跋, 延享5跋, 寛延元刊

京 風月堂莊左衛門

※表紙に「経」(朱)、「三番」(墨)の小札あり。  
全8巻より成り、原体裁は巻之四までが上、巻  
之五以下が下の2冊だったか。

1—69セ6 や三百式拾四 10銭

- 33177 <sup>コウハンワゲ</sup> 洪範和解 大1冊  
白靈泉著・自序 (1809) 文化6序, 同7刊 (1810)  
江戸 須原屋平助, 大坂 河内屋太助, 京 吉  
田屋作兵衛・岩崎卯之三郎

※表紙「千四百五十二」の小札あり。上記書名は  
原題簽による。扉題は「洪範全書和解」。

1—63コ2 や百拾壹 15銭

- 33178 <sup>ダイガクセイイ</sup> 大學誠意 大1冊  
轉妙覺一統道與著・自序・自跋 (1729) 享保14序・跋  
書肆不明

※表紙に「□千三十式」(墨)、「経」(朱)の小札  
あり。

1—66タ22 や百〇式 5銭

- 33179 <sup>メイシンホウカン</sup> 明心寶鑑 大1帙1冊  
「太倉綴山王衡校, 書林弼廷陳氏梓」 (1631) 寛永8刊  
京 道伴

※柱書および目録題は「明心寶鑑正文」。上下2  
巻よりなる。編者は高麗末「秋適」と言われる。

1—84メ2 や三百式拾六 10銭

- 33180 <sup>ケイキヤウ</sup> 刑經 大1冊  
山崎闇斎編, 水野重明補  
書肆・刊年不明

※表紙に「経」(朱)の小札あり。「儀齋」朱印あ  
り。編者は『国書総目録』に拠る。内容は刑罰  
について。

1—63ケ1 や三百三十巻番全 10銭

- 33181 <sup>セイチコクジカイ</sup> 井地國字解 大1冊  
荻生徂徠著, 大曾効校

写本

※租税における土地の測量単位を古代中国の土地  
制度と比較しながら説いたもの。

2—04セ4 や三百五拾六 10銭

- 33182 <sup>サウレイセウロク</sup> 喪禮小録 大1冊  
著者未詳

写本

※本文は「喪禮小録」と「祭禮小録」の2部に分  
かれている。神道の作法。図入り。

1—69ソ11 や三百五拾七 10銭

- 33183 <sup>キヤウサイセンセイキカウ</sup> 強齋先生遺稿 大1帙1冊  
強齋(若林進居正義)著 (1731) 享保16成か

写本

※文章33編と詩歌とより成り、最後の文章「瀧津  
亭記」の奥書に「享保辛亥正月十五日 守中謹  
記」とある。

4—03キ2 や百式拾六 5銭

- 33184 <sup>ゲイホケイロク</sup> 藝圃雛防 大1帙1冊  
良範(濬公)著, 長済美序, 岡子蘭跋 (1755) 宝暦5跋  
大坂 田原屋平兵衛(順慶町壹丁目)・敦賀屋  
九兵衛(心斎橋南壹丁目)

※表紙に「文材」(朱)、「千四十式」(墨)の小札  
あり。末尾に「良範和尚詩文鳴海録葉拔萃」を  
附す。内容は漢詩文の作法について。虫損甚し。

4—04ケ3 や百式拾四 10銭

- 33185 <sup>マウシゼンゾ</sup> 孟子全圖 大1帙1冊  
著者未詳, 逸名序あり (1598) 萬曆26刊  
安正堂劉黼松氏

※表紙に「経」(朱)の小札あり。柱書「孟子故  
事」。本文は中国版。序は和版。図入り。

1—66モ11 や百〇四 15銭

- 33186 <sup>セイガクシヤウ</sup> 三學指掌 大1冊  
尾藤孝肇著, 尾藤孝章序 (1787) 天明7刊  
京 風月莊左衛門, 江戸 山崎金兵衛, 大坂  
増田源兵衛・泉本八兵衛

※表紙に「経」(朱)、「千七十」「柳」(墨)の小  
札あり。「正学指掌附録」を附す。末尾に「嵩  
高堂(河内屋八兵衛)藏板目録」あり。内容は  
漢学の語句解説。

1—69セ3 や三百拾九 10銭

- 33187 <sup>ナンクワクセンセイトウカノシヨ</sup> 南郭先生燈下書 大1帙1冊  
服部南郭著, 瀧長愷彌八序 (1733) 享保18序, 同19刊 (1734)  
京 丸屋市兵衛(二條通柳馬場西江入町)

※表紙に「文材」(朱)の小札あり。内容は漢詩  
文の風体について。



4—04ナ1 や百拾七 5銭

- 33188 カイクワンイツセウ 開卷一笑 乾・坤 大1帙2冊  
明 李卓吾編、張鹿鳴野人譯、巢庵(巢居)主人閱・  
序、三台山人序 (1755) 宝曆5序(巢庵)・刊  
大坂 渋川清右衛門・大賀惣兵衛  
※乾冊表紙に「小説」(朱)、「 千百廿七」  
(墨)の小札あり。

4—45カ1 や五百七拾三 20銭

- 33189 キンラン シ シフ 金蘭詩集 初編自一至四・初編自五至七  
大1帙2冊  
龍公美(艸廬)編・自序、龍世華秀松校・跋  
(1754) 宝曆4序・跋・刊  
京 武村嘉兵衛  
※目錄題「幽蘭居金蘭詩集初編」。見返し内題の  
頭部には「幽蘭居」とある。

4—02キ10 大惣番号札剝落か 40銭

- 33190 ギ テイシヨゲン 蟻亭撫言 甲篇・乙篇 大2冊  
(1745) 延享2刊  
雪齋大井守静篤甫述  
京 西村市郎右衛門(堀川錦上ル町)、江戸  
西村源六(本町三町目)  
※儒学。甲冊表紙に「雜」(朱)、「 百廿九」  
(墨)の小札あり。

1—69キ3 や貳百七拾六 15銭

- 33191 サイヨウドクダシ 蔡邕独断 2冊  
所在不明  
20銭

- 33192 ニヨゼンダウジン チ キ シナウシヨヘン 如禅道人知己詩囊初篇 天・地  
半1帙2冊を合綴1冊  
如禅道人賢雄著・自序、従四位少將源勝長序、久留  
米 樺島公禮序、東海漁人菅原誼跋、朝散大夫瀧川利  
雍跋、敬齊跋 (1801) 享和元自序、文化3序(源  
(1817) (1820) (1821) 勝長)、同14附言、文政3跋(敬齊)、同4跋(瀧川)  
江戸 「智仙堂藏梓」(日本橋通三町目)・和泉  
屋新八(芝神明町)  
※2冊を表紙ごと合綴。各冊表紙に「詩」(朱)  
の小札あり。

4—02チ1 よ百貳拾三全二冊 15銭

- 33193 タウオン ワ ゲ 唐音和解 乾・坤 半1帙2冊

岡島冠山著、逍遙軒序、逸名跋あり  
(1716) (1750) 正徳6序、寛延3刊

大坂 河内屋太助(心齋橋通唐物町南へ入)  
※絵入り。中国語入門書。坤冊は「唐音和解音曲  
笛譜」。河内屋の蔵板目録あり。

4—83ト2 よ百拾五全貳 20銭

- 33194 ジュゲフヘン 授業編 一二・三四・五六・七八・九十  
半5冊

江村北海著・自序 (1781) (天明元)、木曾山村良由序、朱  
鳳序、北山彰元章序(三者とも天明3) 天明3刊  
京 唐本屋吉左衛門(堀川通佛光寺下ル町)・  
林伊兵衛(二條通柳馬場東江入町)・菱屋孫兵  
衛(御幸通小池下ル町)  
※第5冊裏見返しに「此主今井友吉」と書込みが  
あるが塗抹。漢学。

10—05シ3 よ四十貳番全五冊㊦ 30銭

- 33195 ケイガクエウ ジ セン 經学要字箋 上・中・下 半3冊  
穂積以貫著、北谷周徳琳竹序 (1731) 享保16序・刊  
大坂 渋川清右衛門(心齋橋筋順慶町)・小嶋  
勘右衛門(北久太郎町)  
※上記書名は原題簽はかによる。見返し内題のみ  
「要字箋」。

1—69ケ1 大惣番号札剝落か 30銭

- 33196 サウジ コク ジ ベン 莊子國字辨 一〜四 半4冊  
南霞主人著・自序 (1792) 寛政4刊  
江戸 山崎道紀、大坂 柏原屋嘉兵衛  
※各巻内題「莊子繪抄」。絵入り。

1—67ソ2 う貳百五拾六 35銭

- 33197 カウキヤウシヤクギベンモウ 孝經釋義便蒙 上・下・下末(㊦〜  
㊧) 半3冊  
春菴竹田定直著・自序、貝原益軒「訂正」  
(1717) 享保2序

京 茨木多左衛門(六角通御幸西入町)  
※上冊表紙に「中百四十五」の小札あり。

1—66コ16 よ六拾老番全三冊 25銭

- 33198 ケイシヨカウギ ホツタンノベン 經書 發端辨 乾・坤 半1帙2冊  
三雲氏義正著 (1725) 享保10刊  
江戸 川勝五郎右衛門(日本橋南一丁目)

※大学・中庸以下18書の成り立ちを概説する。大  
惣番号札と別に「□百式十八」の小札あり。

4—49ホ 2 よ九十七 10銭

ジョゴ ジゲンカイタイセイ

33199 助語辭諺解大成 一〜五 半1帙5冊

毛利貞齋著、男瑚珣校閱 宝永5刊

京 小佐治半右衛門（堀川通本国寺前）・大和  
屋伊兵衛、江戸 出雲寺和泉掾（日本橋南壹町  
目）

※内題「訓蒙助語辭諺解大成」。

4—04シ 6 よ三拾九全五 25銭

テウセン  
朝鮮 懲毖録

33200 一〜四 大1帙4冊

著者未詳・自序あり、貝原篤信序 元禄8序・刊

京 大和屋伊兵衛（二條通）

※秀吉の朝鮮出兵の記録。第1冊見返しに「因／  
四百九号／四冊」（朱）の書込みあり。

5—13チ 4 大惣番号札剝落 30銭

コブンシンボウタイセイリ ゲンセウ

33201 古文眞寶大成俚諺鈔 卷之一〜

卷之二十 半4帙20冊

毛利貞齋著、男瑚珣校 元禄17初刊、宝永4再刊

村上勘兵衛・瀬尾源兵衛・弓場勘右衛門・伊藤  
勘七・村上又三郎

※上記書名は卷之一の扉題による。各冊原題簽は  
「古文後集俚諺鈔」でその上部に角書「示圖／  
○類」（○のところに辭・賦・説…と各冊の内  
容がはいる）が記されている。内題は「古文眞  
寶後集俚諺鈔」あるいは「古文眞寶俚諺鈔」。  
絵入り。

4—02コ 14 よ壹番 80銭

ワゴ エンキクワツバフ

33202 倭語圓機活法 一・二・三上・三下・

四〜十（一〜十一） 半2帙11冊

宮川一翠子著・自跋、西峯散人松下見林序、恭齋序

元禄9序（いづれも）・跋・刊

京 小佐治半右衛門宗貞（堀川通本国寺前町）  
・植村藤右衛門（堀川通佛光寺下ル町）・河南  
四郎右衛門（同町）・梅村弥右衛門（寺町通五  
條上ル町）・小佐治半七郎（醒井通五條上ル町）

4—06ワ 1 よ五番全十一 40銭

カクリンギョクロ

33203 鶴林玉露 天集・地集・人集 各上・中・

下 特大（28.3×20.5cm）1帙9冊

廬陵羅大經景綸著・自序、黃貞外序 慶安元刊

林甚右衛門

※各冊内題「新刊鶴林玉露」。第1冊表紙に「大  
のや」の札で「全部九冊」とある。詩話。

4—47カ 11 や五百拾五 1円30銭

ホチュウ  
補註 モウギウコク ジカイ

33204(1) 註 蒙求國字解（壹）

半1帙1冊 ※参照

東潮淇園先生（田興甫）著、平安松正楨「刪訂」、松  
正楨周之父序 安永7序

京 信行堂

※第1冊のみ。同じ帙の第2〜6冊は『新刻蒙求  
國字辨』で著者等が異なる。(2)参照。

5—67ホ 1 大惣番号札剝落 (2)共40銭

シンコクモウギウコク ジベン

33204(2) 新刻蒙求國字辨 二〜六

半1帙5冊 (1)参照

東都宇野成之著・自跋 安永4跋、同6刊

京 植村藤右衛門・田原勘兵衛・櫻井藤兵衛・

山本平左衛門、江戸 植村善六

※(1)参照。第1冊を欠く。

5—67ホ 1 大惣番号不明

シブンセイシキ

33205 詩文製式 上・下 半1帙2冊

江州堀正純修安著・自序、大江資衡序

明和2自序、同7序、同8刊

江戸 須原屋茂兵衛（日本橋南一町目）、大坂  
大野木市兵衛（心齋橋筋）、京 河南四郎右  
衛門（堀川通佛光寺下ル町）

4—04シ 3 よ百拾番全式冊 20銭

テイハンコク ジカイ

33206 帝範國字解 天・地（一・二）

半1帙2冊

鶴鳴市川匡著・自序 天明8序、同9刊

江戸 出雲寺和泉掾、大坂 泉本八兵衛、京

出雲寺文次郎

※上記書名は原題簽による。見返し内題は「唐太  
宗御製帝範」。

1—84テ 12 よ五拾三臣軌共々四冊 15銭

テイガウツウラン

33207 帝號通覽 半1帙1冊

藤益根著・自序 寛政6序

書肆不明

※旧藏者朱印あり。

5—03テ1 大惣番号札剝落 10銭

33208 <sup>シンパン</sup>新<sup>ケイシヨエウベン</sup>版<sup>ケイシヨエウベン</sup>經書要辨 乾・坤 半1帙2冊  
著者未詳 宝永2刊

「古川氏梓行」  
※乾冊表紙に「目」(朱),「中百三十一」(墨)の小札あり。本文に朱引の書込みあり。

1—61ケ2 よ九拾八全貳 25銭

33209 <sup>シメイゼン</sup>四鳴蟬 半1帙1冊  
「享亨亭逸人譚」,「堂堂堂主人訓」・序  
(1771) 明和8序・刊

江戸 山崎金兵衛(通店町十軒店), 大坂 渋谷清右衛門(心齋橋筋順慶町)  
※惜花記(湯屋)・扇芝記(頼政)・移松記(山崎與二壽門松)・嘆鑑記(大塔宮嘆鑑)の4編よりなる。漢文に和訓を傍記した狂文。絵入り。

4—45シ1 そ千六拾壹全 10銭

33210 <sup>シガクルイゴ</sup>詩學類語 老~三 半1帙3冊  
橋氏桂洲著・自跋, 荔齋熊谷散人序 貞享5序・跋  
(1688) 京 小島彌三右衛門  
※全6巻。原体裁6冊か。

4—06シ8 よ八拾五全三 20銭

33211 <sup>シガクネコマナコ</sup>始学猫まなこ 上・下 大2冊  
須賀安貞(詔安)著・自序・自跋  
(1749) (1769) (1770) 寛延2跋, 明和6序, 同7刊

江戸 近江屋嘉兵衛(麴町十二丁目), 名古屋 藤屋吉兵衛(本町七丁目)  
※教訓勸学の書。上册表紙に「経」(朱),「〇千百五十八」(墨)の小札あり。

1—69シ2 や貳百七拾壹 15銭

33212 <sup>キンシウダンシヤウカイ</sup>錦繡段詳解 一~六 大1帙6冊  
前建仁天隠叟龍澤「錦繡段」編・自序・自跋, 毛利  
(1685) 瑚珀貞齋注 貞享2刊

「洛下書林」  
(1483)  
※内題は「新刊錦繡段詳解」。序は文明15, 跋は  
(1456) 康正2。

4—02キ11 や四拾七全六 20銭

33213 <sup>コブシンボウカウジュツ</sup>古文眞實講述 壹~十二 大2帙12冊  
著者未詳, 梅康序 (1691) (1692) 元禄4序, 同5刊

京 玉樹堂(烏丸)

※序題「古文講述序」。序文中に「惜哉失作者之名姓」と述べている。脇題簽(第7冊は剝落)に内容を記す。本文の頭部に書込みあり。各冊見返しに「弦歌(花押)」とある。本書は『古文真宝後集』の抄物。

4—02コ18 や拾八全拾貳 50銭

33214 <sup>ケイテンヨシ</sup>經典<sup>エキキヤウノブ</sup>餘師<sup>エキキヤウノブ</sup>易經之部 一~七 半1帙7冊  
讃岐溪百年世尊著・自序, 橋本好道跋  
(1817) (1819) 文化14序, 文政2跋・刊

京 勝村治右衛門, 江戸 須原屋茂兵衛・全伊八, 大坂 渋谷與左衛門・浅野彌兵衛・柳原本兵衛・岡田儀助・森本太助

※上記書名は見返し内題による。原題簽は「經典餘師易經」。内題「周易餘師」。

1—62ケ1 よ貳拾六全七冊 60銭

33215 <sup>ボクミンチュウコクリゲンセウ</sup>牧民忠告俚諺鈔 一~五 半5冊  
豫陽隱人指月堂著・自序 刊年不明  
京 風月莊左衛門(二條通衣棚), 名古屋 風月孫助(本町一丁目)  
※第1冊表紙に「教訓」の小札あり。『国書総目録』によれば享保5刊。

2—42ホ3 よ四拾全五冊 20銭

33216 <sup>タウシセンコクジカイ</sup>唐詩選國字解 壹・自三至四・  
自五至六・七 半1帙4冊

服部南郭著, 嵩山房小林高英序, 徂來先生跋  
(1780) (1782) (1791) (1814) 安永9「御免」, 天明2開板, 寛政3序, 文化11再版

江戸 小林新兵衛(日本橋南貳町目西側角)  
※内題下「済南李攀龍編選/皇和 南郭先生辯/門人 林元圭録」とある。

4—02ト44 よ五十八全四 30銭

33217 <sup>シシヨ</sup>四<sup>チュウウシヤウゾクカイ</sup>書<sup>チュウウシヤウゾクカイ</sup>註者攷俗解 上・下 半2冊  
那波活所編, 竹谷山人跋 (1696) 元禄9跋・刊

田方屋伊右衛門・井上三左衛門・若狹屋権兵衛  
※内題「通俗四書註者考」。原題簽中に「附字訓」とあり,「四書虚字考附録」を本文末に附す。上册表紙に「中百二十九」の小札あり。

1—66シ22 よ九十四番全貳冊 10銭

- 33218 <sup>メイシンゲンカウロク</sup> 名臣言行録 前集一〜三・後集一〜三 大1帙6冊  
朱熹著・自序, 李衡校, 張采閔・序, 焦竑序, 楊以  
序 (1667) 寛文7刊  
京 風月莊左衛門(二條街)  
※内題「宋名臣言行録」「宋朱晦庵先生名臣言行  
録」。  
5—67ノ2 大惣番号札原欠か 40銭
- 33219 <sup>ミンシチサイ シシフコク ジカイ</sup> 明七才詩集國字解 一・二(李攀龍  
部・王世貞部) 大1帙2冊  
薊門木蟬子虬著, 中原于女德世一校, 平原東作序  
(1767) (1768)  
明和4序, 同5刊  
江戸 須原屋茂兵衛(日本橋通壹町目)・須原  
屋市兵衛(室町三町目), 京 梅原三郎兵衛  
(寺町通松原下ル町)・井上忠兵衛(寺町通五  
條上ル町)・木村庄兵衛(烏丸通綾小路下ル町)  
※第1冊表紙に「詩」(朱), 「千百六十七」(墨)  
の小札あり。  
4—02ミ6 や八拾八番全式 20銭
- 33220 <sup>セイケイザツ キ</sup> 西京雜記 天・地 大1帙2冊  
晉 丹陽葛洪集, 明 新安程榮校, 明 吳郡黃省會  
序, 伊藤長胤跋 (1689) (1690)  
元禄2跋, 同3刊  
唐本屋又兵衛  
※表紙改裝。天冊の原表紙に「雜」(朱), 「□十  
□」(墨)の小札あり。  
4—47セ1 や五百七拾貳 20銭
- 33221 <sup>イ タンベンセイ</sup> 異端辯正 上・中・下 大1帙3冊  
萊平詹陵艮卿著・自序, 魯峰徐岱世瞻序 刊年不明  
ふ屋仁兵衛  
※儒学。脇題簽に中冊は「辨正策文」下冊は「辯  
正雜話」(上冊は剝落)とあり, 内容を記して  
いる。上冊は「辯正要語」。  
1—69イ5 や貳百五十壹 30銭
- 33222 <sup>ゼツクカイヒヤウシヤク</sup> 絶句解評釋 半他3冊と合1帙1冊  
望駒山人福奚處(福島松江)著, 山子敏・瀧子明  
(1766) (1768)  
「輯録」, 市南子序 明和3序, 同5刊  
大坂 田原屋平兵衛(順慶町壹丁目筋)  
※原題簽中に「五言」とある。33249(4—42セ7)  
『絶句解辨書』3冊と合帙。
- 33223 <sup>シセイコク ジツウ</sup> 四聲國字通 平・上・去上・去下・  
入(一〜五) 半1帙5冊  
牧田方穀著・自序, 伊藤忠藹・杜規右校, 源伊信序  
(1766) (1768)  
明和3自序・序, 同5刊  
江戸 須原茂兵衛(日本橋南一丁目)・和泉屋  
仁兵衛(下谷中町)・萬屋新助(芝口新橋金六  
町), 京 山本平左衛門(寺町通蛸薬師前),  
郡山 永原屋善兵衛(柳町二丁目)・田原新助  
(同), 大坂 大野木市兵衛(心齋橋筋安堂寺  
町)  
4—64シ3 大惣番号札剝落 20銭
- 33224 <sup>ムエンロクジュツ</sup> 無冤録述 上・下 大1帙2冊  
元ノ王氏著, 朝鮮國ノ諸学士「音注」, 泉州河合甚  
(1736) (1768) (1799)  
兵衛源尚久編・序 元文元序, 明和5刻, 寛政11刊  
江戸 前川六左衛門(日本橋通三丁目)  
※「獄事檢驗/法ヲ説ク」書。上冊表紙に「□六  
十八」の小札あり。  
7—42ム1 や九百八十二 15銭
- 33225 <sup>ラウシキヤウゲンカイタイセイ</sup> 老子經諺解大成 上之一二・上之三  
・下之一二・下之三(東・西・南・北) 大1帙4冊  
梅室子山本洞雲著・自序 (1675) (1681)  
延宝3序, 同9刊  
文臺屋治郎兵衛・大和屋善兵衛・敦賀屋彌兵衛  
・和泉屋八左衛門  
※内題「老子屋齋口義」。  
1—67ロ2 や六拾六番全四 65銭
- 33226 <sup>キン シロク ジモウク カイ</sup> 近思錄示蒙句解 壹・貳上・貳下・  
參・肆・伍・陸柒・捌玖・十十一十二・  
拾參拾肆 大10冊  
南郊仲欽敬甫(中村惕斎)著・自序 (1701)  
元禄14序  
書肆不明  
※「近思錄」は宋の朱熹・呂祖謙著の初学者入門  
書。  
1—69キ11 や三拾貳全拾 50銭
- 33227 <sup>トリツツンカイシチゴゴンセウ</sup> 杜律集解七五言鈔 序目錄・(七言鈔)  
一〜七・(五言鈔)一〜十二 大3帙20冊  
陳学業以成甫序(2文) (1659)  
(七言鈔) 万治2刊

京 西田加兵衛 (二條寺町)  
(五言鈔) (1650) 同 3 刊  
京 山村傳右衛門 (上立賣通御三間町)  
※上記書名は第 1 冊扉題による。原題簽は「杜律  
七言鈔」また「杜律五言鈔」。序の書名は「杜  
工部七言 (または五言) 律詩集解」。「尾崎氏藏  
書」印あり。

4—08ト5 や拾九全貳拾 1 円

モウギウ リ ゲン ホ ケツセウ  
33228 蒙求俚諺補闕鈔 首巻・巻之一〜  
巻之十四 半 2 帙 15 冊  
毛利虚白著・自跋 (1690) 元禄 3 跋・刊  
「京師堀川通書堂全版」  
※絵入り。内題「故事俚諺繪鈔」。跋文中には  
「故事俚諺補闕鈔」と称する。

5—67モ3 よ三番全拾五 50 銭

ケイテンヨシ  
33229 經典 餘師 近思録之部 一〜十 半 10 冊  
讃岐百年溪著・自序, 必山島圭跋  
(1842) (1843)  
天保 13 序, 同 14 刊

京 出雲寺文治郎 (三條通堺町西へ入), 江戸  
須原屋茂兵衛 (日本橋通壹丁目), 大阪 河  
内屋仁助 (心斎橋通唐物町南へ入)・河内屋直  
助 (全通南久宝寺町北へ入)・河内屋太助 (全  
通唐物町南へ入)  
※原題簽「經典餘師 近思録」。内題「近思録餘  
師」。

1—69ケ6 よ拾六番全拾 50 銭

ソ ショコク ジ カイ  
33230 素書國字解 上・下 半 1 帙 2 冊  
物茂卿 (荻生徂徠) 著, 宇恵校・序 明和 6 序・刊  
(1769)  
京 出雲寺文次郎, 江戸 松本善兵衛  
※内題下に「漢黄石公傳」とある。「此書ハ黄石  
公が張良ニツタヘタル書」という。

8—21ノ1 大惣番号札剝落 20 銭

ケイテンヨシ ソンシノブ  
33231 經典餘師 孫子之部 上・下 半 1 帙 2 冊  
溪百年 (世尊) 著, 菅原胤長序  
(1786) (1796)  
天明 6 序, 寛政 8 刊  
大坂 松村九兵衛・淡川與左衛門・淡川清右衛  
門・泉本八兵衛・浅野彌兵衛・梶原嘉兵衛  
※早大の大惣本目録では「孫子經典餘師」。

8—21ケ1 よ九拾壹全貳 20 銭

ケイテンヨシ  
33232 經典 餘師 蒙求之部 上・中・下 半 1 帙 3 冊  
(1826) 文政 9 刊  
桃華園 (溪百年) 著  
江戸 須原屋茂兵衛・大坂屋茂吉, 京 天王寺  
屋市郎兵衛, 大坂 河内屋太助・同儀助・同直  
助・同曾七  
※凡例の書名は「蒙求標題經典餘師」。河内屋太  
助 (森本文金堂) の藏板目録を附す。

5—67ケ1 よ八十全三 20 銭

コブンゼンシフヨシ  
33233 古文前集餘師 一〜四 半 1 帙 4 冊  
(1836) 天保 7 序・刊  
森伯容「譯」, 岡本東臈校・序  
江戸 須原屋茂兵衛, 大坂 河内屋喜兵衛, 京  
風月莊左衛門・勝村治右衛門・山本長兵衛・  
藤井孫兵衛・神先宗八・須磨勘兵衛・大谷仁兵  
衛  
※大尾の内題「古文眞實餘師」。

4—02コ23 大惣番号札剝落 30 銭

コブンヨシ ショウシフノブ  
33234 古文餘師後集之部 一〜四 半 1 帙 4 冊  
(1808) (1811) 文化 5 序, 同 8 刊  
増田春耕著・自序  
江戸 須原屋茂兵衛, 京 中川藤四郎・植村藤  
右衛門・菱屋孫兵衛・著屋宗八・菊屋長兵衛・  
梅村伊兵衛  
※大尾の内題「古文眞實餘師」。虫損甚し。

4—02コ25 よ五拾壹/後集/共四冊 25 銭

ケイテンヨシ シキヤウノブ  
33235 經典 餘師 詩經之部 壹〜八 半 8 冊  
溪百年 (世尊) 著, 菅原胤長序  
(1786) (1793)  
天明 6 序, 寛政 5 刊  
大坂 柏原屋與左衛門・柏原屋嘉兵衛  
※後補墨書題簽「經典餘師 詩經之部」。早大の大惣  
本目録では「詩經經典余師」。

1—63ケ2 大惣番号札剝落か 50 銭

シ ガクヒツウウ  
33236 詩學必用 上・下 半 1 帙 2 冊  
穗尚明纂輯, 田文亮校訂, 岡田挺之序, 藤益根序  
(1799) 寛政 11 序 (いずれも)

書肆不明

※四季の詩題ごとに熟語をあつめ, 韻字によって  
排列した書。

4—06シ6 大惣番号札剝落 10銭

1—69イ1 や式百七拾貳 15銭

- 33237 學問捷徑 上・中・下 半3冊  
ガクモンセフゲイ  
 平賀中南著, 赤井通子達序・校 安永8刊  
 京 澤田吉左衛門(智恩院古門前)・赤井長兵衛(寺町通佛光寺上ル町)  
 ※別名「日新堂学範」(『国書総目録』による)。  
 内容は、学範・学儀・作詩法・作文法・稱呼より成る。上册表紙に「中百四十」の小札あり。  
 1—69カ7 よ六十八番全三冊 10銭

- 33238 詩林良材 一〜六 半1帙6冊  
シリンリヤウザイ  
 村田通信著・自序, 平井誠之跋 貞享4序・跋・刊  
 京 植村藤右衛門(堀河)  
 ※6冊の内容は乾集・坤集各上・中・下に分かれ、乾は作法解説、坤は熟語集。第3・4冊表紙には目録を記した脇題簽が残る。  
 4—06シ20 よ三拾四全六 30銭

## 經書・詩文

- 33239 儒門思問録 壹〜四 大4冊  
ジュモンシ モンロク  
 林道春撰 寛文2刊  
 荒川宗長  
 ※第1冊表紙に「経」(朱), 「千三百三十八」(墨)の小札あり。  
 1—69シ24 や式百三拾壹 50銭

- 33240 辨名 上・下 大2冊  
ベンメイ  
 物茂卿(荻生徂徠)著 寛政元刊  
 江戸 野田七兵衛(日本橋南二丁目)  
 ※上册表紙に「経」(朱)の札あり。  
 1—69へ8 や式百八拾七 25銭

- 33241 爲學初問 上・下 大1帙2冊  
キ ガクシヨモン  
 周南先生(長門山縣少助)著, 「南郭先生考訂」  
 刊年不明  
 江戸 仙鶴堂  
 ※原題簽下部に「校正」とある。上册表紙に「経」(朱), 「〇千百八十八」(墨)の小札あり。

- 33242 秋風録 上・中・下 大3冊  
シウフウロク  
 藤野氏春東甫木樵先生著, 山内辰保・日形尚政「筆受」, 鈴木獨清序, 源朝熙跋  
 宝暦10序, 同12跋, 明和4刊  
 京 野田藤八(二條通富小路西エ入町)  
 ※上册表紙に「経」(朱), 「〇千貳百十四」(墨)の札あり。上册原題簽に「答問書」と墨で書込み。背には「春風録」と書込まれている。  
 1—69シ29 や式百五拾貳 10銭

- 33243 辨辨道書 上・下 大2冊  
ベンベンダウシヨ  
 佐々木高成(掌静翁)著, 留守友信跋 元文2跋・刊  
 大坂 北田清左衛門(心斎橋筋唐物町)  
 ※徂徠の『弁道』に抗議する書。上册表紙に「経」(朱), 「〇千百十八」(墨)の小札あり。  
 1—69へ7 や式百八十五 20銭

- 33244 蘭亭先生詩集 序目・一二〜九十 大1帙6冊  
ランテイセンセイ シ シフ  
 高野惟聲(蘭亭)著, 松崎惟時序, 睿麓陳人膝忠乃序, 熊耳山人餘承祐跋, 白石頭陀禪賦跋  
 宝暦7跋(禪賦), 同8刊  
 「明月樓藏板」, 江戸 嵩山房小林新兵衛  
 ※第6冊に附録として松崎惟時の「東里先生壽藏記」, 山惟熊の「東里先生墓誌銘」あり。  
 4—07ラ3 や四拾八番全六冊 30銭

- 33245 考工記管籥 上・中・下 大3冊  
カウコウキクワンヤク  
 上野義剛著, 井口文炳訂補・序 寛延2序, 宝暦2刊  
 京 伏見屋藤右衛門・唐本屋吉左衛門  
 ※下巻は図。  
 1—64コ2 こ八百貳拾四全三 30銭

- 33246 太極圖說鈔 卷之乙・卷之二〜卷之四 大4冊  
タイキョクツセツセウ  
 蘆齋釣雪父著 延宝8刊  
 京 文臺屋治郎兵衛  
 ※第1冊表紙に「経」(朱), 「〇千四百四十五」(墨)の小札あり。  
 1—69タ4 や式百三拾三 50銭

33247 ジュツザウチユウシヤク 出像 註釋 皇明千家詩 一〜四  
大1帙4冊  
(1685)  
汪萬頃選註、瀧川昌楽加點・序 貞享2序・刊

京 青堂浅野久兵衛重惟  
※呉道南引を持つ周文卿校梓、萃慶堂刊本の覆刻  
本である。各巻内題「新鐫註釋出像皇明千家詩」、  
柱書「皇明註釋千家詩」。絵入り。  
4—02ミ7 や七拾番全四冊 25銭

33248 ダイガクワクモン 大學或問 乾・坤(上・下) 大2冊  
(1788)  
熊澤了介著、随心王府芝龍序 天明8序・刊  
「凌霄閣蔵板」、江戸 山崎金兵衛(本石町十  
軒店)、京 林伊兵衛(二條通柳馬場)、大阪  
小川新兵衛(佐野屋橋通博勞町)・山口又一(心  
斎橋通北久太郎町)・泉本八兵衛(同通南久宝  
寺町)  
※乾冊表紙に「〇千百四十□」の小札あり。  
1—69タ1 や九百八十九 25銭

33249 ゼツ ク カイベンシヨ 絶句解辨書 上・中・下  
半他1冊と合1帙3冊  
(1768)  
中川景福著、白隆熙校、淡園碕哲序(明和5)、物  
道濟序、服元喬序(享保17) 宝暦13刊  
京 梅村三郎兵衛(寺町通松原下ル町)、大坂  
大野木市兵衛、江戸 松本善兵衛(日本橋通  
三町目)  
※上冊は五言絶句、中・下冊は七言絶句。33222  
『絶句解評釋』と同帙。  
4—02セ7 大惣番号札剝落 20銭

33250 カウセイキウシジュン 高青邱詩醇 一〜四 半1帙4冊  
齋藤謙(拙堂)録・序、梁緯公圖・菊池保定士固校  
(1836) (1849) (1850)  
天保7および嘉永2序、嘉永3刊  
京 勝村治右衛門・風月荘左衛門、江戸 岡田  
屋嘉七・須原屋伊八、大坂 秋田屋太右衛門・  
河内屋茂兵衛・河内屋喜兵衛、津 山形屋傳右  
衛門・雲出屋伊十郎・本屋佐兵衛、江戸 和泉  
屋金右衛門  
※明史本伝より高青邱の伝を引く。扉に「㊦五百  
五十三号/四冊」と朱の書込みあり。  
4—08=17 よ八十九番全部四冊 40銭

33251 ロンゴシツカイコクジベン 論語集解國字辯 一〜五 大5冊

小林東山著・自跋、池之辰序 明和7序・刊  
江戸 須原屋茂兵衛  
※序題および大尾の内題は「論語國字辯(辨)」。  
1—66ロ9 や五拾三全五 40銭

33252 ショウホウシシフ 松浦詩集 上・下 大1帙2冊  
(1728)  
肥釋元皓大潮著、靈苗序 享保13序  
京 知新齋・尚古堂  
※「稻葉□蔵」朱印あり。上冊、見返内題のウラ  
に「㊦/二二五/二冊」と朱の書込みあり。  
4—07シ28 大惣番号札剝落 30銭

33253 ダイガクキンエイセウ 大学金鑑抄 一〜七 大7冊  
横田俊益著・自序、子息俊将校・跋  
(1690) (1691)  
元禄3序、同4刊  
京 上村次郎右衛門(二條通)、大坂 鴈金星  
庄兵衛(高麗橋筋上人町)、江戸 吹田屋平兵  
衛(芝三嶋町)  
※全7巻。巻之一は大學章句序、巻之二は經文、  
巻之三〜七は傳。第1冊表紙に「經」(朱)の  
小札あり。  
1—66タ32 や三拾八全七冊 30銭

33254 センリョウサク 千慮策 上・中・下 大1帙3冊  
(1857) (1858)  
楊萬里著、天章禪師校・序・跋 安政4序、同5刊  
江戸 須原屋芝兵衛(日本橋通一町目)・山城  
屋佐兵衛(日本橋通二町目)・岡田屋利七(芝  
神明前)、大坂 河内屋和助(心齋橋筋南本町)  
・敦賀屋彦七(心齋橋筋北久寶寺町)・河内屋  
茂兵衛(心齋橋筋博勞町角)、京 勝村治右衛  
門(寺町通松原下ル)・勝村伊兵衛(寺町通佛  
光寺下ル)

※下巻末に「淳熙薦士録」を附す。  
2—42セ3 こ式百三拾四全三 25銭

33255 セイリジギセウ 性理字義抄 一卷〜八巻 大8冊  
(1659)  
林羅山著・自序 萬治2刊  
京 山口市郎兵衛(東洞院通六角下ル町)  
※陳淳著『性理字義』の注釈書。原題簽「性理字  
義抄」、柱書「性理諺解」、各巻内題「性理字義  
諺解」。系図・陳淳略伝付。「融山」印あり。  
1—69セ13 や式百拾番 40銭

33256 キウケイダン 九經談 元・亨・利・貞 大1帙4冊

一 経書・詩文 一

大田元貞著、門人ら校 <sup>(1805)</sup> 文化2刊  
京 伏見屋藤右衛門(堀川佛光寺下町), 大  
坂 秋田屋太右衛門(心齋橋安堂寺町), 江戸  
丹後屋伊兵衛(神田新シ橋)・和泉屋庄次郎  
(浅草新寺町)

1—61キ1 や六拾九全四 60銭

ナントノ フ  
33257 南都賦 乾・坤 <sup>(1723)</sup> <sup>(1726)</sup> 大1帙2冊  
小笠原基長著・自序 享保8序, 同11刊  
京 瀬尾源兵衛  
5—83ナ8 や八拾六番全式 20銭

ブンカヒツヨウ  
33258 文家必用 上・下 半1帙2冊  
人見直養著・自序, 玉井方教序, 松村蘭溪校  
<sup>(1715)</sup> <sup>(1716)</sup> 正徳5序・自序, 同6刊

大坂 村上清三郎, 江戸 升屋五郎右衛門

※原題簽に角書「初學/須知」あり。内題「重鐫  
文家必用」。上冊表紙に「中百番」の小札あり。  
上巻「和辨類」(助字を註する), 下巻「分辨  
類」(同訓の字意を論ずる)より成る。

4—04フ2 よ百〇五番全式 15銭

ミンシチサイ シ シフヤクセツ  
33259 明七才詩集譯説 一・二

<sup>(1774)</sup> <sup>(1775)</sup> 大1帙2冊  
北海江邨著, 巖垣彦明序 安永3序, 同4刊

京 井上忠兵衛(寺町通五条下町)・木村庄  
兵衛(烏丸通高辻上町)・梅村三郎兵衛(寺  
町通松原上町)

※内題「明嘉靖七子詩七言律譯説」。表紙に「詩」  
(朱)の札あり。各冊原題簽下部には「李攀龍  
之部」とある。

4—02ミ5 や八拾九番全式 20銭

カ ナ シャウリ  
33260 假名性理 <sup>(1669)</sup> <sup>(1722)</sup> 大1帙1冊  
藤原惺窩著, 野間三竹跋 寛文9跋, 享保7刊  
水戸 本屋五郎兵衛(本五町目)

※表紙に「經」(朱), 「柳」「千三十一」(墨)の  
小札あり。

1—84カ7 や三百三十番 10銭

コブンゼンシフゲンカイタイセイ  
33261 古文前集諺解大成 卷一〜卷十七  
大3帙17冊

簞州穉原玄輔校注・自跋, 震澤柳剛序  
<sup>(1683)</sup> 天和3序・跋・刊

書肆不明

※各卷内題は「古文眞寶前集諺解大成」, 柱刻  
「古文前集諺解」。各冊見返しに「古文十七本  
/苞栩園藏」などと書込みあり。

4—02コ20 や拾六 50銭

コブンシンボウゲンカイタイセイ  
33262 古文眞寶諺解大成 卷之一〜  
卷之二十 大3帙20冊

羅山林道春「諺解」, 石齋鵜信之「大成」・跋, 霞谷  
山人妙子序 <sup>(1663)</sup> 寛文3序・跋・刊

京 村上平楽寺(二條通玉屋町)

※古文眞寶後集の註釈書。卷一の内題のみ「古文  
眞寶後集諺解大成」, 第1冊表紙には「古文後  
集諺解全二十冊」の小札あり。柱「古文諺解」。

4—02コ17 や拾七 1円

ハクシモンジフ  
33263 白氏文集 序目録上・目録下・壹貳〜  
七十七十一附録 大5帙35冊

白樂天著・自序, 馬元調校, 婁堅序, 那波道圓序  
<sup>(1618)</sup> <sup>(1657)</sup> (元和4), 元稹序 明暦3刊

京 林和泉椽

※本文は2〜3巻を1冊として33冊。附録は「新  
唐書本傳」(宗祁), 「碑銘」(李商隱), 「龍門重  
修白樂天影堂記」(陶穀)。内題「白氏長慶集」  
とも。

4—03ハ4 や貳拾壹番全部三拾五冊 4円50銭

サンタイシヤウカイ  
33264 三體詩詳解 絶句卷一〜卷八・七律  
卷一〜卷六・五律卷一之上・卷一之下・  
卷二・卷三之上・卷三之下・卷四・卷五  
之上・卷五之下・卷六 大3帙23冊  
遯菴宇的著・自跋 <sup>(1700)</sup> 元禄13刊

京 吉田四郎右衛門・野田庄右衛門

※内題「増註唐賢絶句三體詩法」「増註唐賢絶句  
三體詩詳解鈔」「増註唐賢七言律詩三體家法詳  
解」「増註唐賢五言律句三體家法詳解」。第1〜  
8冊原題簽「三體詩絶句詳解」, 第9〜14冊原  
題簽「三體詩七言律詳解」, 第15〜23冊原題簽  
「三體詩五言律詳解」。柱刻「増註唐賢絶句三  
體詩詳解」「増註七言律詩三體詩詳解」「増註五  
言律詩三體詩詳解」。

4—02サ8 や拾四 2円



- 33265 シンヨシツチュウセウ 四書集註抄 大学上・下・中庸一・二  
・論語一〜廿・孟子一〜十四 大38冊  
著者未詳 寛文9刊 (1669)

京 武村市兵衛昌常・村上勘兵衛元信・山本平  
左衛門常知・八尾甚四郎友春

※各部巻頭の内題「大學章句抄」「中庸章句抄」  
「論語集註抄」「孟子集註抄」。柱刻はそれぞれ  
「大学抄」「中庸抄」「論語抄」「孟子抄」。各冊  
末に「濃丞作々鼻見陽堂正倫」の印あり。

1-66シ12 や拾壹 2円

- 33266 リ ガクルイヘン 理學類編 一天地二天文・三天文四地理  
・五鬼神六人物・七性命八異端 (朱書)

大4冊  
張九韶美和著・自序, 序多数※参照 万治2刊 (1659)

京 吉野屋權兵衛 (柳馬場通二條下ル町)

※第4冊表紙に大惣番号札並びに「経」(朱)の  
小札貼付。原体裁8冊か。勿齋序, 吳當序, 汪  
賓序, 著者による「編輯大意」, 張拱の序あり。  
刊記は, 汪賓「後序」の末にある。

1-69リ1 や弐百三拾貳式全四 50銭

- 33267 ガンシヨシフダ 群書拾唾 大6冊を合綴1冊  
張九韶美和著・自序, 李登序, 錢法謹序 万治元刊 (1658)

京 村上勘兵衛

※全12巻。原題簽に「九, 十, 十一, 十二」(墨)  
「摠計三本」(朱)と書込みあり。原体裁は6  
冊だったが, 3冊の合綴を経て1冊にまとめた  
と思われる。

10-04ク1 や五百六拾貳 50銭

- 33268 ラウ シ ダウトクキヤウゲ 老子道德經解 大1帙1冊  
釋德清著 刊年不明

長谷川六兵衛

※上・下巻より成る。原体裁は4冊だったか。上  
記書名は本文内題による。扉には「道德義解」  
墨書題簽には「老子經義解」とある。表紙に  
「老」(朱), 「百九十八」「柳」(墨)の小  
札あり。館内閲覧。

1-67ロ7 や百拾貳 30銭

- 33269 クワイヨザツロク 膾餘雜録 一〜五 大5冊  
善齋道慶著・自序 慶安5自序, 承応2刊 (1652) (1653)

書肆不明

※第1冊表紙に「雜」(朱)の小札あり。「萱生家  
藏」印あり。

10-05カ37 や五百三十三 60銭

- 33270 ハクブツ シ 博物志 一〜四 大1帙4冊  
張華著, 周日用等注, 鏡湖居士序 天和3刊 (1683)

京 伏見屋藤右衛門 (堀川)

※第2冊第3冊は内容からみて順序逆。第2冊第  
4冊は内題「續博物志」(李石著, 崔世序, 都  
穆跋)。第1冊表紙に「□千三百三十七」「真」  
の小札あり。

4-47ハ1 や五百五十巻 25銭

- 33271 イウヤウザツ シ 酉陽雜俎 前集一〜二・三之五・六之十  
・十一之十四・十五之十七・十八之二十・  
後集一〜二・三之四・五之六・七之十

大2帙10冊

段成式著・自序, 毛晋校・跋 (前・後集)

(1697)  
元禄10刊

京 山下氏半六・中村孫兵衛・井上忠兵衛 (宣  
風坊書林)

※「幽篁園図書印」(朱)あり。柱刻下部に「汲  
古閣」とある。巻頭の内題「酉陽雜俎」。

4-47ニ1 や五百〇七 70銭

- 33272 チンセイロク 沈靜録 一二〜九十 大1帙5冊  
塾静軒著, 朝鮮國進士螺山居士朴真卿父序 宝永4刊 (1707)

大坂 村上清三郎

※表紙に「雜」(朱)の小札あり。

1-69チ7 や五百三拾四 40銭

- 33273 リウカウシンジョ 劉向新序 一〜五 大5冊  
劉向著, 程榮校, 曾鞏序, 金華平玄仲訓点 (1735)  
享保20刊

江戸 錦山堂植村藤三郎

※全10巻。各巻内題は「新序」。朱・墨・青の書  
入れあり。「平安書肆植村玉枝軒儒書藏板目録」  
を附す。

1-69シ46 や五百三拾八 20銭

- 33274 ワウチュウラウシコク ジ ベン 王注老子國字辯 一〜四 大4冊  
田子龍著, 井孝雅序 安永2序・刊 (1773)

江戸 松本善兵衛・須原屋茂兵衛・須原屋平助

1—67オ1 や六拾七番全四 35銭

# 絵 本

33275 エンシウセキトクコク ジ カイ  
弇州尺牘國字解 上・中・下

大1帙3冊

高葛波先生（高道昂伯起）著，蒲原道人赫照序，越  
後山義恭元泰跋 (1769) (1770) 明和6序，同7跋・刊

京 田中市兵衛・河南四良右衛門・植邨藤右衛  
門・梶川七郎兵衛・長村半兵衛

※表紙に「文」（朱），「〇千式百十式」（墨）の小  
札あり。柱刻「弇州國字解」。

4—05エ1 式百五拾九 20銭

33276 ダウシユン  
道 春 ラウシキヤウセウ  
老子經抄 上・中・下

大1帙3冊

林道春著，才質序 (1669) 寛文9刊

京 田原仁左衛門（二條通鶴屋町）

※各卷内題は「老子廣齋口義發題」。

1—67ロ3 や七拾三番全三 50銭

33277 タウサイ シ デン  
唐才子傳 卷一〜卷五 大1帙5冊  
辛文房著 (1647) 正保4刊

上村二郎衛門

※第1冊表紙に「傳」（朱）の小札あり。全10巻。

2巻ずつ1冊とし，上記冊次と齟齬する。柱書

「才子」。朱の書込み，旧蔵者印多数あり。

4—01ト2 や五百三十巻 70銭

33278 スウ ロ タイ シ  
鄒魯大旨 卷上・卷下 大2冊

伊藤長胤（東涯）著・自序，藤原高顯跋，奥田士亨  
跋 (1725) (1730) 享保10序，同15跋（いづれも）

京 奎文館

※第1冊表紙に「經」（朱），「〇千百六十五」  
（墨）の小札あり。

1—69ス1 や式百七拾五 20銭

33279 ダイガクシヤウクソクカイ  
大學章句俗解（卷之一〜卷之五）

大5冊を合綴1冊

山田昌殷著，永菴主人序 (1671) (1676) 寛文11序，延宝4刊  
書肆不明

※表紙に「經」（朱），「□三百九十七」（墨）の  
小札あり。

1—66タ20 や五拾壹 30銭

33280 ランナヨウキンモウツ キ  
女用訓蒙圖彙 卷一〜卷三・四・卷五

半1帙5冊

奥田松伯軒著・自序，吉田半兵衛画 貞享4刊 (1687)

京 片山三右衛門（二條通），大坂 山本清三  
郎（高麗橋一丁目），江戸 本屋清兵衛（日本  
橋万町）

※第4・5冊のみ原題籤上部を残す。第2〜5冊  
内題「當流女用鑑」。

貴1—85シ1 う拾五全五 7円50銭

33281 シヨサイリユライリ  
所作入 ジンリンキンモウツ キ  
由來入 人倫訓蒙圖彙 卷〜七

半1帙7冊

蔭絵師源三郎画，逸名序あり 元禄3刊 (1690)

京 平楽寺「開板」，大坂 村上清三郎（高麗  
橋一丁目），江戸 村上五郎兵衛（日本橋南平  
松町）

※第7冊末に，写本「人倫訓蒙圖彙補遺」を合綴  
している。

貴3—47シ1 大惣番号札剝落 10円

33282(1) ヘンガク キ ハン  
扁額軌範（初編）大(2)と合1帙1冊  
合川珉和・北川春成画，機亭琴魚序，菅原雪臣跋

文政2序・刊 (1819)

京 袋屋佐七（二條通麩屋町東エ入町）

※巻末に「文集堂藏板書目」あり。(2)参照。

8—44へ3 さ式百貳拾六全 (2)共2円20銭

33282(2) ヘンガク キ ハン  
扁額軌範（二編）壹〜五  
大(1)と合1帙5冊

速水春曉齋編，北川春成画，湯浅経邦序 (1821)  
文政4序・刊

京 袋屋佐七（御幸町二条上ル）・吉田屋新兵  
衛（三条柳馬場東）・植村藤右衛門（堀川高辻  
上ル），大阪 河内屋太助（心齋橋唐物町），江  
戸 角丸屋甚助（麴町平河町二丁目）

※第5冊は「附録」。巻末に「文集堂藏板書目」  
あり。

8—44へ3 さ式百貳拾七式篇全五

33283 <sup>グワ ツ スイ フ ヨウ</sup> 畫圖醉芙蓉 上巻・中巻・下巻  
大1帙3冊<sup>(1809)</sup>  
老蓮真逸（鈴木芙蓉）著・自跋，亀田犀序（文化6），  
皆川愿序（享和3） 文化6刊  
江戸 青藜閣須原屋伊八  
8—44カ5 さ七百式全三 1円

33284 <sup>ソウ シ セキ グワ フ</sup> 宋紫石画譜 天・地・人 大3冊  
副孟義編・自跋，（天）維南牧父序，（地）源之熙序<sup>(1764)</sup>  
明和元序（いづれも），同2刊<sup>(1765)</sup>  
江戸 須原屋茂兵衛（日本橋通壹丁目）・須原  
屋四郎右衛門（日本橋通四丁目）  
※天冊に副孟義による凡例あり。序題，天冊は  
「花鳥画譜序」，地冊は「宋君赫画譜序」とあ  
る。地冊，部分的に多色刷。人冊末に「宋紫石  
先生畫譜目録」を附す。  
8—44ノ3 さ七百三全三 1円50銭

33285 <sup>ヘン シ グワ フ</sup> 邊氏畫譜 大（折本）1帙1冊<sup>(1799)</sup>  
渡邊湊水画，渡邊英編序 寛政11序  
書肆不明  
※表紙に「漢」の小札あり。巻末に清暉主人によ  
る「題 槃礴主人畫巻後」なる詩を附す。  
8—44へ4 大惣番号札剝落 1円

33286 <sup>ケン シ グワ エン</sup> 建氏畫苑 (一)～三 (□・西・南)  
大1帙3冊<sup>(1770)</sup>  
寒葉齋孟喬先生筆，門人輯校，高道昂序（明和7），  
龍道人雄序（同8），木孔龔序（同），芥煥彦章序<sup>(1771)</sup>  
（同） 安永4刊<sup>(1775)</sup>  
京 風月堂  
※第3冊，一部丹青刷り。  
8—44ケ1 大惣番号札剝落 1円50銭

33287 <sup>ホウコウ キ ホウツリヤク</sup> 豊公遺寶圖略 上・下 大2冊  
法印大僧都真静序，呉景文・岡本豊彦画，前日吉社<sup>(1832)</sup>  
司従四位下祝部希聲跋 天保3序・跋・刊  
書肆不明  
8—49ホ1 こ式百八拾六全式 50銭

33288 <sup>シヨシヨクエカガミ</sup> 諸職畫鑑 大1冊  
申椒堂主人編，北尾政美画<sup>(1794)</sup>，寛政6画，同7凡例<sup>(1795)</sup>  
江戸 須原屋市兵衛（日本橋室町二丁目）

※巻末に『改正月令博物筌』などの広告あり。部  
分的に筆彩あり。手刷れ跡甚し。

8—44シ6 大惣番号札剝落か 50銭

33289 <sup>エイリ</sup> <sup>ニ ホ ヒブクロ</sup> 入 にほひ袋 上・下 半2帙2冊  
著者未詳，香具軒序 刊年不明

京 永原屋源義（高辻通柳橋東へ入町）

※上冊表紙に「しつけ方」の小札あり。

1—85=1 そ式百九番全二冊 1円50銭

33290 <sup>ヒ ナ ツ ル</sup> ひなつる 一～六 半1帙6冊<sup>(1726)</sup>  
※参照 享保11刊

江戸 富士屋（通銀町三丁目）

※絵入り（一部落書的に着色されている）。第2・  
3冊墨書題簽に「わかむらさき」，第4～6冊  
墨書題簽に「末つむはな」とある。浮世草子。  
『国書総目録』によると宝永5成，梅翁著，奥  
村政信画。第1冊巻頭に「わかむらさき」，第  
4冊巻頭に「末つむはな」の登場人物の系図あ  
り。

4—30ヒ1 大惣番号札剝落 1円50銭

33291 <sup>エイリナンチヨウホウキ</sup> 繪入男重寶記 一～五 半5冊<sup>(1693)</sup>  
艸田子三徑著・自序 元禄6序・刊

京 大和屋勘七良（四条通東洞院東へ入町）

※第1冊表紙に「□十一番」の小札あり。絵は  
一部筆彩。

1—84ナ1 よ四十三番全五冊 1円50銭

33292 <sup>エイリ</sup> <sup>絵 エ ホ ウ ノ ハ ル コ マ</sup> 入 恵ほうのはる駒 壹～五 半1帙5冊を合綴1冊<sup>(1693)</sup>  
著者未詳，逸名序あり 元禄6刊

江戸 万屋清四郎（日本橋万町）

※第1冊表紙に「口」の札あり。第2～5冊の原  
題簽に「たうけはなし」「どうけはなし」と小  
さく記されている。

4—25エ1 大惣番号札剝落 2円50銭

33293 <sup>エイリ</sup> <sup>繪 ホンテウビジンカガミ</sup> 入 本朝美人鑑 一～五 半1帙5冊  
著者未詳

書肆・刊年不明

※仮名草子。第5冊に乱丁あり。『国書総目録』  
によれば貞享4序というのが本書は序を欠く。柱

書および第1・2・3冊巻末内題は「美人鑑」。

第1冊表紙に「六拾六番全五冊」の小札あり。

貴8—44ホ1 つ五百四十式 5円

サンゴクラウエイキヤウブタイ  
33294 三國朗詠狂舞臺 乾・坤 半1帙2冊  
節志堂文貫著・自序、也来「頌」、東叡堂屋業跋、  
川枝豊信画 享保16序・跋・刊

京 井上忠兵衛

※役者評判記。

貴8—66サ1 む式百八拾式全貳冊 5円

キヤウトエドオホサカ アマヨノサンバイ キ ゲン  
33295 京都 雨夜三盃機嫌 上・下  
江戸 大坂

半1帙2冊を合綴1冊

木笛庵瘦牛著・自序 板本夕顔宿邊跋 元禄6序  
書肆不明

※役者評判記。

貴8—66ア1 む式百八拾三全壹冊 5円

エイリ カゴミミ  
33296 入籠耳 一〜五 半1帙5冊  
嶋田齋著・自序 貞享4刊

田中庄兵衛、萬屋庄兵衛

※仮名草子。柱書「くわい中」。題簽に「よめば  
おかしひ此世話はなし」などとある。

4—47カ12 そ五百四十六全五冊 2円50銭

シュシ カクン エセウ  
33297 子家訓繪抄 上・中・下 半1帙3冊  
陳元賛著、逸名序・逸名跋あり 元禄5刊  
山口屋権兵衛（川瀬石町）

※内題「朱子家訓私抄」。

貴1—84シ1 大惣番号札剝落 1円

ムスメチリ ケグサ  
33298 娘ちりけ草 上・中・下 半1帙3冊  
如水軒駉角著 元禄13成、同14刊

児玉氏・並河氏

※柱書「ちりけ草」。末尾に「元禄かのえ辰五月  
雨のそら 筆を白河のほとりに執」とある。上  
冊題簽に「女教」と書込みあり。

貴1—85ム1 れ式百十番 5円

シンパン ボクサイハ ナ シ  
33299 新板 木斎はなし（一〜五）  
半1帙5冊を合綴1冊  
著者未詳 元禄8刊

書肆不明

※仮名草子。内題「木斎咄醫者評判」。見返しに  
医者物の草子の書名の書込みあり。上記受入番  
号から2250116に変更されている。

貴4—25モ1 つ六百四拾壹 6円

イシヤカガミビヤウニンカガミ チクサイレウ デ ノヒヤウバン  
33300 醫者鏡 竹斎療治之評判  
病人鑑

上・下

半1帙2冊を合綴1冊

圓顚子著・自跋 貞享元跋、同2刊

大坂 庄太郎（北御堂前安士町）

※仮名草子。原題簽下部に「ゑ入」とある。跋の  
後「追加」がある。内題には角書なし。

4—25チ2 つ六百八拾七全貳 1円50銭

ブ ダウツギホノウメ  
33301 武道継穂梅 一〜五 半1帙5冊  
石川流宣著・画・自序・自跋 宝暦2刊  
江戸 相模屋太兵衛

※浮世草子。初刊は元禄年間とされる。

貴4—42ツ4 た七百八十式 10円

エイリ ランナチャウホウキ  
33302 ゑ入女重寶記 大1帙1冊  
著者未詳・自序あり 元禄15刊

書肆不明

※全5巻。表紙に「女」「柳」「合本一冊」の小札  
あり。各巻内題「新板増補女重（調）寶記」。

1—85オ2 け六百三十一 70銭

リツクワキンモウ ヅ キ  
33303 立華訓蒙圖彙 一〜六 半1帙6冊  
藤立著・自序 元禄8序、同9刊

大坂 萬屋彦太郎（本町壱町目）

※巻二〜四の巻頭内題は「立花訓蒙圖抛入百瓶之  
花形」、巻五・六の巻頭内題は「立花訓蒙圖」。

8—63リ1 百〇五番全六冊 3円

チクサイモノガタリ  
33304 竹斎物語 大1帙1冊  
磯田道治著

書肆・刊年不明

※絵入り。仮名草子。整版本。表紙に「柳」の小  
札あり。上・下二冊を合綴したか。

4—25チ1 千百九十五 2円50銭

シンパンエイリ イングワモノガタリ  
33305 新板 因果物語 一二・三四・  
五六 大1帙3冊

正三道人著

書肆・刊年不明

※表紙改裝。原体裁は各巻1冊で全6冊か。巻一の冒頭に「正三道人聞書」とある。仮名草子。

4—40イ3 大惣番号不明 50銭

シンパンエイリ

新板 ジフワウサンダンセウ

33306 繪入 十王讃嘆抄 壹〜五

半1帙5冊

著者未詳、逸名序あり

書肆・刊年不明

※第5冊の巻頭には「寶満長者巻」とある。

4—40シ5 よ四百拾八全五 1円50銭

エイリ

繪 ワカンキゼンロク

33307 和漢為善録 一〜四 半1帙4冊

よもぎが仙人著・自序 元禄元序、同2刊

西村孫右衛門

※内題及び柱書は「大和為善録」。

1—84ワ1 た式百七十八全四冊 75銭

マクラノヒビキ

33308 枕のひびき 上・中・下

半3冊を合綴1冊

方山真次（了夢堂）著・自序 貞享5刊

京 八尾市兵衛・松本九右衛門

※上冊墨書題簽には「教訓」と角書あり。中・下冊の原題簽下部に「守柱之巻」とある。中冊に逸名の「守柱序」あり。

1—84マ1 た三百拾八全三冊 2円50銭

ハルノイロ

33309 春の色 大（折本）1帙1冊

来楊菴編・自序、巴人亭題言、哥磨ら画 寛政6序

江戸 蔦屋重三郎（通油町南側）

※狂歌集。多色刷・打出技法を施した絵4面あり。

貴4—25ハ1 さ千四拾老 5円

モモサヘツリ

33310 百さへつり 大（折本）1帙1冊

後巴人亭光編・自序、華溪老人「書」

寛政8序・奥書

江戸 蔦屋重三郎（通油町南側）

※狂歌集。多色刷の絵入り。

4—25モ2 さ千四拾全 2円

シンパン イケイセンニンエホン

33311 新板 異形仙人繪本 大1帙1冊

菱川師宣画、逸名序あり 元禄2刊

江戸 鱗形屋（大傳馬町三町目）

※序題「異形仙人つくし」。表紙に「和」の札あり。見返しに「有」印あり。

貴8—44イ1 大惣番号札原欠か 4円

クワテウエツクシ

33312 花鳥繪づくし 大1帙1冊

菱川吉兵衛画・奥書、逸名序あり 天和3刊

江戸 鱗形屋（大傳馬三町目）

※後補墨書題簽に「菱川真跡」と書込みあり。墨による汚損および絵が切りぬかれて損われている部分あり。

貴8—44カ1 さ五百七拾六 7円50銭

コウモウシヤシンカガミ

33313 紅毛写信鏡 大（折本）1帙1冊

昇亭北寿画

書肆・刊年不明

※二見ヶ浦・江之島・品川・佃島・深川・両国・浅草川・隅田川・御茶之水・銚子浦・九十九里の風景を描いた多色刷りの画集。

貴8—44コ1 さ千三拾八 5円

エイギョクグワカン

33314 栄玉画鑑 上・下 大1帙1冊

月斎画、清原宣光序 寛政10序

書肆不明

※上冊表紙に「和」の小札あり。

8—44エ41 さ八百拾七全式 1円

キウラウグワフ

33315 九老画譜 乾・坤 大1帙2冊

九老著、関更序 寛政11刊

京 著屋儀兵衛・著屋甚助

※乾冊表紙に「和」の小札あり。『国書総目録』には寛政9跋とあるが本書には跋を欠く。

8—44キ1 さ八百拾五全式 1円50銭

カツラカサネ

33316 かつらかさね 大1帙1冊

耳鳥斎画、風来山人序 享和3序・刊

大坂 河内屋喜兵衛・河内屋宗兵衛・今津屋辰三郎・塩屋忠兵衛

※表紙に「東」の小札あり。多色刷。関更・四方山人らの句文をおさめる。

8—44カ10 さ七百五拾老 1円50銭

ボウサイセンセイグワツキョウチユウザン

33317 鵬齋先生畫譜 胸中山 大1帙1冊

鵬齋老人画・自序、興再跋、菊塙老人跋

(1816)  
文化13序・跋(いづれも)・刊  
「屑麥書房蔵」京 植村藤右衛門(堀川佛光  
寺上ル), 大坂 秋田屋太右衛門(心齋橋安堂  
寺町), 江戸 和泉屋庄次郎(浅草新寺町)・和  
泉屋金右衛門(深川)  
※表紙に「漢」の小札あり。刊記に「抱一上人畫  
譜/文晁先生畫譜/近日刻成」とある。彩色刷。  
8-44キ2 さ八百四拾 1円

サイシキグワセン  
33318 彩色畫選 大1帙1冊  
※参照 (1767) 明和4刊  
大坂 渋川大蔵(心齋橋順慶町角), 京 河南  
四郎右衛門(堀川通佛光寺下ル), 江戸 須原  
平祐(日本橋南三丁目)  
※多色刷。巻末には「彩色畫誌全三冊」の出版予  
告あり。『国書総目録』によれば北尾雪坑斎著。  
表紙改裝。  
8-44サ2 大惣番号不明 1円50銭

ホクサイグワシキ  
33319 北斎画式 大1帙1冊  
葛飾北斎画, 景山處士序 (1818) (1819) 文政元序, 同2刊  
江戸 須原屋茂兵衛(日本橋一丁目)・和泉屋  
庄治郎(浅草新寺町), 名古屋 永楽屋東四郎  
(本町七丁目), 大坂 秋田屋太右衛門(心齋  
橋安堂寺町), 京 伏見屋藤右衛門(堀川佛光  
寺)・和泉屋利兵衛(三条通御幸町)  
※朱・薄墨の彩色刷。  
8-44ホ1 大惣番号札剝落 1円50銭

グワツシフキ  
33320 畫圖拾遺 前編上・中・下 大1帙3冊  
高木貞武画・自序 (1720) 享保5序・刊  
大坂 瀬戸物屋傳兵衛(北久太郎町心齋橋筋)  
・鴈屋清助(天満曾根崎)  
※上冊表紙に「和」の小札あり。巻末に「全部三  
卷 畫圖拾遺後編 農業武者艸木追付出来」と  
の広告あり。見返し内題脇に「和朝古筆絵本」  
とある。原題簽には角書「古筆/絵本」あり。  
8-44カ4 さ七百拾三 60銭

シヨグワフ  
33321 詩餘畫譜 大1帙1冊  
湯賓尹序 (1824) 文政7写  
写本(竹内敬写)  
※「清音館蔵板」と見返しにある。文政7年を乙  
酉とするが甲申が正しい。

8-44シ2 さ八百八拾五全巻冊 25銭

メイグワテカガミ  
33322 名画手鑑 1冊  
廃棄(昭和32.1.7)  
50銭

サンサイツエニジフクジフハチラカンヅサン  
33323 三才圖會二十九十八羅漢圖譜  
大1帙1冊  
眉山蘇軾・瑯琊王世貞著 (1687) 貞享4刊  
京 経師宗真(三條繩手新五間町)  
※表紙に「雜」の小札, 白字で「辰五十二」と打  
ちつけ書あり。  
8-44シ4 ま三百四十七 50銭

ホントウグワサン  
33324 本朝畫纂 大1帙1冊  
谷文晁編 (1829) 文政12写  
写本(豪杰写)  
※題簽破損。上記書名は早大の大惣本目録によっ  
た。編者名は『国書総目録』による。奥書には  
「文政十二年己丑初夏/於尾張柳原三密道場/  
豪杰写之圖」とある。  
8-44ホ5 大惣番号札剝落 15銭

サウクワセイシヤ  
33325 草花生寫 大1帙1冊  
画者未詳  
写本  
※一部筆彩。  
8-44ク1 さ八百四拾八番 25銭

マツノハ  
33326 松の葉 大1冊  
画者未詳  
写本  
※花鳥の写生画集。一部筆彩。見返し, 第1丁オ  
モテに雑多な書込みあり。  
8-44マ1 さ八百拾六 20銭

シンコクキンシグワフ  
33327 新刻金氏畫譜  
特大(30.0×19.7cm) 1帙1冊  
九峰寄田延著・自跋, 秦鼎序, 塩官許令典題辭  
(1813) 文化10序・跋・刊  
京 佐々木惣四郎(寺町), 大坂 松林九兵衛  
(心齋橋筋)・森本太助(唐物町), 江戸 前川  
六左衛門(日本橋中通), 名古屋 片野東四郎  
(本町通七丁目)

8—44キ3 さ八百四拾六 50銭

33328 リンロクゴクワン 林麓娛觀 大1帙1冊

内田穀「輯選」, 芝塙邦山序, 桃俵膝宜卿跋  
(1804) 文化元序・跋・刊

「風篁館藏」

※中華の古筆・印譜集。絵入り。

8—44リ2 さ八百四拾五 30銭

33329 カンダワセフケイ 漢畫捷徑 大1帙1冊

大倉笠山著 嘉永4刊

江戸 須原屋茂兵衛(日本橋通壹丁目)・岡田屋嘉七(芝神明前)・和泉屋吉兵衛(全所), 大坂 河内屋喜兵衛(心齋橋北久太郎丁)・秋田屋太右衛門(心齋橋安堂寺丁)・河内屋茂兵衛(心齋橋博勞丁角)・河内屋和助(心齋橋本町北江入), 京 林由兵衛(二條高倉東江入)・勝村伊兵衛(寺町高辻上ル)・近江屋佐太郎(寺町仏光寺上ル)・田中屋治助(東洞院二條上ル)

※表紙見返し内題左に「四愛人物之部」とある。

8—44カ11 さ八百七拾三全壹冊 30銭

33330 トウバキイ 東坡遺意 大1帙1冊

葛跛野人高峻編・自序, 安徒子深氏跋  
(1760) 宝曆9序, 同10跋・刊

京 佐佐木惣四郎・清水宗七

※墨書題簽「東坡竹譜」, 序題「東坡画竹譜」とある。表紙に「賞軒軒墨竹譜」の小札あり。

8—44ト3 さ八百四拾貳 30銭

33331 リヨウウンチクフ 李用雲竹譜 大1冊

寒葉齋孟喬著, 金竜雄杜角序  
(1768) (1771) (1802) 明和5序, 同8初刊, 享和2再刊

京 菱屋孫兵衛(御幸町通姉小路上ル町)

※原題簽下部に「寒葉齋先生/臨寫」とある。表紙に「寒葉齋/李用雲竹譜」「漢」の小札あり。

巻末に「皇都書肆五車樓藏板客書目」5丁あり。

8—44リ1 さ八百三拾五 30銭

33332 チクフシヤウロク 竹譜詳録 上・下 大1帙2冊

息齋道人蘆丘李衍画・自序, 隆山半應龍序, 天台柯謙自牧甫序, 村上秀範跋  
(1748) (1756) 寛延元跋, 宝曆6刊

京 林伊兵衛

※上冊表紙に「漢」の小札あり。

8—44チ2 さ八百貳拾全貳 50銭

33333 ココンメイカボクセキ ショグワドウチン 古今名家墨蹟 書画同珍 前・後

大2冊  
(1783) 天明3刊  
梧岡鄒聖詠画・自序

江戸 小川彦九郎・丹波屋理兵衛, 京 林伊兵衛

(1762) ※巻末に「宝曆十二年歳次 壬午 夏六月翻刻」とある。前冊表紙に「漢」の小札あり。原題簽は「書畫同珍」。

8—44シ5 さ八百拾三全貳 50銭

33334 メイジン ランチクグワフ 名 蘭竹畫譜 乾・坤 大1帙2冊

景山中澤先生著・自序, 山本信有序, 中野正興跋  
(1804) 文化元序・跋・刊

江戸 須原屋茂兵衛

※乾冊表紙に「漢」の小札あり。原題簽には乾冊・坤冊にそれぞれ「蘭譜」「竹譜」とある。坤冊末に「涉趣園藏板/蘭竹畫譜二冊/同後編續刻」とある。

8—44ラ2 大惣番号札剝落 40銭

33335 イウイウツキ 優游一哥 大1帙1冊

根本常南(蟻齋)画, 南山道人序, 谷隆盛「小引」, 国元穆「小引」, 志士輦「題言」, 勾堆園主人「後序」  
(1797) (1798) 寛政9序・「小引」(谷)・「後序」, 同10題言・刊  
「遷臺蟻齋社中」

※詩画集。一部色刷。

8—44ユ1 さ八百八拾壹番 1円

33336 チクドウサンスイグワカウ 竹洞山水畫稿 乾・坤 大2冊

中林成昌著・自跋, 梅佚藤親亮序  
(1801) (1809) (1812) 享和元跋, 文化6序, 同9刊

京 植村藤右衛門・藤井孫兵衛・林宗兵衛・泉太兵衛, 尾張 片野東四郎

※原題簽及び序題は「竹洞畫稿」。原題簽下部, 乾冊に「畫式」, 坤冊には「摹古」とある。一部色刷。

8—44チ1 大惣番号札剝落 50銭

33337 スイフ テイギグワフ 翠釜亭戲画譜 大1帙1冊

翠釜亭画, 戲城黠仙序, 醉郷老頑跋, 徳貞朱玄黙跋,

喰噓子跋

書肆・刊年不明

※見返しには「藏珍堂較正／正較堂珍藏」とある。

役者の姿絵集。見返しと初丁に「式番」「仁」と書込みあり。

貴 8—66ス1 さ千六拾八 1円50銭

サン ジ サンスイグワテフ

33338 三時山水畫帖 上・下 大(折本)2冊

秦鼎序, 秦世壽跋 (1821) 文政4跋

書肆不明

※多色刷。折本を背に紙をあてて綴じている。表紙に打ちつけ書の書名は「山水畫帖」。

8—44サ3 大惣番号札原欠か 2円

メイスウグワフ

33339 名數畫譜 壹〜四 大1帙4冊

大原民聲著・自序, 清原宣明序 (1809) (1810)

文化6序, 同7自序・刊

「紀藩 南嶺館藏」

※一部色刷。第4冊は壹〜参冊までの書画及びそれらの作者についての説明を記す。各冊見返しなどに絵の書込みあり。

8—44メ2 さ六百四十七全部四冊 1円

クワキ

33340 花彙 草木各四巻 大8冊

所在不明(早稲田大学蔵大惣図書目録によれば「廃棄」)

※9—25カ1に, 同本 (1765) (明和2刊) あり。

6—21カ1 2円50銭

サウモクセイフ

33341 草木性譜 天・地・人 大1帙3冊

清原重臣撰, 沼田月斎・水谷豊文等画, 菅原在経序, (1823) (1825) (1827)

清原重光校, 秦鼎跋 文政6自序, 同8序, 同10跋

書肆不明

※もと附属図書館にあった時の配架番号は「6—21ノ1」。

薬学S34 さ六百三拾四 1円50銭

イウドクサウモク ツ セツ

33342 有毒草木図説 前・後 2冊

廃棄(昭32)

1円

タウドメイサン ツ エ

33343 唐土名山圖會 天・地・人 大3冊

芙蓉木雅画・自序, 皆川應序, 木恭跋 (1801)

享和元序・跋

江戸 須原屋茂兵衛(日本橋通孝町目)

※見返し内題の右に「芙蓉先生摹寫」とある。序題・目錄題は「名山勝槩圖」。人冊末に「日本名山圖會 谷文晁先生畫 全三冊」の近日出版予告, 及び須原屋の「略書目録」を附す。

8—44ト2 さ五百四十六全部参冊 75銭

フクゼンサイグワフ

33344 福善齋畫譜 一〜五

縦長(27.5×15.0cm)(折本)5冊

藤彰甫画・自跋(第4冊, 天明元), 来山道人巢握固序(第1冊, 文化11), 石川安貞序(第2冊, 天明元), 天放老人序(第3冊, 天明元), 圖南居士跋(第5冊, 天明元), 鈴木浪跋(第5冊) 天保11刊 醉雪軒藏

※画はすべて多色刷。刊記は第4冊末にあり「天保庚子十年」とあるが, 庚子は天保11。

8—44フ3 さ六百三拾八 2円

ツ エソウイ

33345 圖繪宗彙 一〜七 大1帙7冊

楊爾曾字聖魯編・自序, 冲寰蓼佐画 (1607) (1735)

萬曆35序, 享保20刊

江戸 須原屋新兵衛

※見返し内題右に「合併諸名公益譜筆法口訣俱全」, 左に「武林楊衛夷白堂精刻不許番刊」とある。

第1冊表紙に「漢」の小札あり。

8—44ス2 大惣番号札剝落 1円50銭

ヒ カンゲンサンスイグワシキ

33346 費漢源山水画式 上巻・中巻・下巻

大1帙3冊

費漢源著, 費晴湖序(乾隆57), 鬼道山樵澤元愷序 (1792) (1787)

(天明7), 木雍文熙序(同), 杜昂雄飛跋(同) (1789)

寛政元刊

江戸 須原屋茂兵衛

※上記書名は原題簽による。柱書「費氏画式」, 各冊扉の書名「山水畫式」。下巻末に「鈴木新兵衛先生画」とある。第1冊表紙に「漢」の小札あり。

8—44ヒ1 大惣番号札剝落 50銭

ランサイグワフ

33347 蘭齋畫譜 蘭部一〜四・竹部一〜四

大8冊

森蘭齋文祥子禎著・画・自序, 伊藤善詔序, 片猷序, 金谷興般跋 安永7序(いづれも)・跋, 天明2刊 (1778) (1782)



江戸 須原屋茂兵衛、京 山本平左衛門・吉野屋為八・大和屋勘兵衛・林伊兵衛、大坂 梁瀬傳兵衛・大野木市兵衛

※蘭部には目録につづき「繡江熊先生小傳」、竹部には自序がある。竹部第2・4冊の一部色刷。柱書には「南蘋先生畫傳」とある。竹部第4冊末に「蘭齋畫譜花鳥部嗣出」とある。

8—44ラ1 さ六百廿九部四冊 3円

33348 カイ シ エングワデン 芥子園畫傳 一〜五

大1帙3冊および帙なし2冊

王安節(王鑒)著、笠翁李漁序、陳扶揺跋  
(1679) 康熙18序

「日本河南氏翻刻」

※第4冊の途中から第5冊にかけて諸画家の「摹倣」があり多色刷。8—44カ21に同書あり。それによると本書は三集あるうちの初集にあたることわかる。序によると、序者の婿の因伯に命じて上梓せしめたという。

8—44カ8 さ六百貳拾壹全五 1円50銭

33349 カイ シ エングワデン 芥子園畫傳 一〜六 大6冊

王宓草・王安節・王司直編、王澤弘序  
(1701) 康熙40序・成

「芥子園甥館鑄藏」

京 河南四郎右衛門(堀川通佛光寺下ル町)・植村藤右衛門(同)、江戸 西村源六(通本町三町目)、大坂 大野木市兵衛(心齋橋筋安堂寺町)

※原題篆書名の下に一〜四は「花鳥譜」、五・六は「人物樓閣式」とある。第1冊19丁に「畫傳三集卷末目」あり。序より、第三集は蘭竹梅菊の描写法を示した第二集に続き鳥獸草木の描写法を示すために著されたものであることがわかる。ただし、同書8—44カ41にみられる「草虫花卉譜」は本書では省かれ、新たに第5・6冊に「人物樓閣式」が付加されている。第2冊4丁オに「翎毛花卉譜」とみえる。第2〜4冊各本文内題は「青在堂花卉翎毛譜上冊目」「青在堂翎毛花卉集譜上冊目」「(同)下冊目」。第3・4冊多色刷。

8—44カ8 さ六百貳拾全六 1円50銭

33350 サンスイキクワン 山水奇観 前編一〜四・續編一〜四  
前編中1帙4冊および續編半1帙4冊

旭江洲上禎白亀著  
(前編) 自序(寛政11) (1799) 寛政12刊

大坂 鳥飼市左衛門・松村九兵衛・渋川清右衛門・渋川與左衛門・柳原喜兵衛、「鳴亭蔵板」

(続編) 梅屋居士序(享和元) (1801) 享和2刊

前編の書肆に森本太助が加わる

※大惣番号は続編にある。前編第1冊には剝落の跡あり。続編第1冊表紙に「漢」の小札あり。続編第1冊見返しに「大日本勝地真景／旭江先生縮圖」とある。内容は(前)一「山陰奇勝」、二「山陽奇勝」、三「南海奇勝」、四「西海奇勝」、(続)一「五畿奇勝」、二「東海奇勝」、三「東山奇勝」、四「北陸奇勝」。

8—44サ4 さ六百五拾三 1円

33351 キンシンシウコウ チングワ フ 錦心 綉口 珍画譜 上・中・下

半1帙3冊  
(1756) (1757) 一龍子著・自序、花耕山人画 宝曆6序、同7刊

京 小佐治半七・梶川七郎兵衛・河南四郎右衛門・同四郎兵衛

※部分的に筆彩。刊記部分に『鳳雅百女傳』の近日刊行予告あり。

4—25チ4 う六百五拾四 60銭

33352 エバナシ ジ テウサイ 画話耳鳥齋 春・夏・秋・冬

半1帙4冊

松屋平太左衛門(耳鳥齋)著、花癡道人序  
(1782) 天明2刊

京 八文字屋八左衛門(東洞院二条上ル町)

※春冊末に『畫水や空』、秋冊末に『慶子画譜』『華夷通商考拾遺』の近刊予告あり。

8—67ニ1 う六百六拾七 1円50銭

33353 ガクワン スイグワ シナン 雅 玩 水画指南 半1帙1冊

松本一雄著・自序、訥齋主人跋  
(1817) (1818) 文化14序・跋、文政元刊

江戸 須原屋茂兵衛(日本橋通)、京 植村藤右衛門(堀川通)、大坂 橋本徳兵衛(心齋橋通)・前川嘉七(同)

※一部多色刷。文化14の凡例あり。

8—44ミ1 う百八拾四全 50銭

33354 <sup>ゾウホ</sup>増補 <sup>エホンワスレガサ</sup>絵本忘草 半1帙1冊  
著者未詳 安永2「再校」<sup>(1773)</sup>

大坂 渋川清右衛門（心齋橋順慶町柏原屋）

※見返しに「絵本目録」があり、裏見返しには「女大学寶箱」の広告がある。絵は一部筆彩。原題簽書名の下に「草木鳥／獸魚虫」とある。<sup>(1718)</sup>『国書総目録』によると本書は享保3刊本の増補本である。

8—44エ39 う四拾七番 50銭

33355 <sup>エドシヨクニンウタアハセ</sup>江戸職人歌合 上・下 大1帙2冊  
石原正明著・自跋、藤原春季画、藤原泰周序<sup>(1808)</sup> 文化5序

名古屋 永楽屋東四郎（玉屋町）<sup>(1805)</sup>

※跋によれば、本書は文化2年7月10日磯部千貝の聞書という。下冊末に書肆の目録あり。

4—23エ1 ふ七百四拾八全式 50銭

33356 <sup>ネザメノトモ</sup>ねさめの友 大1帙1冊  
寺田友英編、長谷川等蹟画、雲竹書<sup>(1696)</sup> 元禄9刊  
書肆不明

※末尾1丁破損。上記の編画者・刊年は『国書総目録』による。半丁に絵1面と和歌1首を収める。

8—44ネ1 大惣番号札原欠か 30銭

33357 <sup>マウケウザツグワ</sup>孟喬雜畫 一〜五 大1帙5冊  
寒葉齋建孟喬（建部綾足）画・自序、伊勢高道「引」<sup>(1770)</sup> 明和7序・「引」・奥書、同9刊<sup>(1772)</sup>

大坂 渋川与左衛門（心齋橋順慶町）、京 上坂勘兵衛（四條通御幸町西江入丁）・梅村宗五郎（御幸町通仏光寺上ル丁）・神先宗八（寺町通四條上ル丁）

※原題簽「孟喬呼漢雜畫」。第1冊表紙に「漢」の小札あり。

8—44モ1 さ六百三十巻全部五冊 2円

33358 <sup>クンヤクゼンザウ</sup>訓譯 <sup>ニジフ シカウ</sup>二十四孝 全像  
<sup>シヨエイニツキコジ</sup>初願日記故事 上・中・下 半1帙3冊

石川雅望（五老山人）訳、茂木寛（菖溪主人）画、<sup>(1797)</sup> 忠信堂主人序 寛政9刊

江戸 蔦屋重三郎（常盤橋御門本町筋北エハ町目通油町）


※原題簽は「繪本二十四孝」。下冊末に『初願日記故事 弟忠信之部』他の刊行予告あり。また「耕書堂蔵板繪本目録」を附す。

8—44エ11 う式百拾八 20銭

33359 <sup>フクネズミシリヲノフトザヲ</sup>福鼠尻尾太棹 上・下 半1帙2冊  
櫻川慈悲成著・自序、歌川豊廣画 享和4序・刊<sup>(1804)</sup>

江戸 近江屋與兵衛（日本橋通四丁目）・山田屋三四郎

※多色刷。

4—43ア26  1円

33360 <sup>エ ホンタソガレグサ</sup>繪本黄昏艸 一〜五

半他1冊と合1帙5冊を合綴1冊<sup>(1793)</sup>

岡田玉山著・画、浪華人の瓢太郎序 寛政5序・刊  
京 大和屋吉兵衛（駄屋町三条上ル町）

※「万利」印あり。30335『繪本玉池水』と同帙。

8—44エ6 う六百三拾六 50銭

33361 <sup>エホン</sup>繪 <sup>フクジエガホノミナト</sup>福壽笑顔湊 上・下 半1帙2冊  
水争木々子著・自序、花言秀山人校、後素軒清月画<sup>(1798)</sup> 寛政10刊

京 著屋勘兵衛（烏丸五条下ル二丁目）・伊勢屋庄助（烏丸通六角下ル）

※序の後に「口上」あり。下冊末に『福壽身ふりの湊』『福壽かへのさる』の続刊予告あり。

4—43ア25 う五百拾五 20銭

33362 <sup>ニホンメイブツツエ</sup>日本名物圖會 壹〜伍 半5冊  
平瀬徹齋著、長谷川光信画、半時庵序、赤松閣平瀬忠望跋<sup>(1754)</sup> 宝暦4序・刊

「赤松閣版」、江戸 西村源六（通本町三丁目）、京 著屋勘兵衛（四條通寺町西）・兼屋喜兵衛（寺町通松原）、大坂 丹波屋傳兵衛（北久太郎町心齋橋東）・千種屋新右衛門（舩町）

※巻頭内題「日本山海名物圖繪」、柱書「山海名物圖繪」。第5冊末に「浪花書林赤松閣」（千種屋新右衛門）の蔵板目録1丁半を附す。

9—01ニ3 う六百六 40銭

33363 <sup>エホンチチブヤマ</sup>繪本千々武山 上・中・下  
半他5冊と合1帙3冊を合綴1冊

一 絵

北尾重政画，玄々斎序 <sup>(1793)</sup> 寛政5刊  
江戸 山崎金兵衛（本石町三丁目十軒店），大  
阪 河内屋八兵衛（心齋橋筋南久寶寺町）  
※33364と同帙。下冊末に河内屋八兵衛の「崇高  
堂藏板目録」がある。  
8—44エ9 う三百三拾三 30銭

33364 <sup>エホンチカラコブ</sup> 繪本智迦良兒布 一〜五  
半他1冊と合1帙5冊  
勝川春亭画，曲亭野史序 <sup>(1802)</sup> 享和2序・刊  
江戸 鶴屋喜右衛門（通油町）  
※33363と同帙。  
8—44エ8 う三百拾三 25銭

33365 <sup>ハルベグサ</sup> 春邊草 半1冊  
画者・刊年未詳  
大坂 勝尾屋六兵衛（北久太郎浪花橋筋西江入）  
※上記書名は後補墨書題簽による。数点の絵本を  
集めたもので，柱書は「為」「よしつね」「カ  
イ」「花」「武」「勇士」などとする。  
8—44ハ3 う三百六拾六 30銭

33366 <sup>エホンイコクイチラン</sup> 繪本異國一覽 一〜五 半1帙5冊  
春光園花丸著・自序，勢州白子幸人跋 <sup>(1799)</sup> 寛政11序・刊  
大坂 川口惣兵衛・大西甚七・松本平四郎  
※序題「異國一覽」。第5冊末に「大日本國 <sup>ほんこく</sup> 書舖  
の圖」あり。  
8—44エ1 う六百八番 70銭

33367 <sup>エホンバケモノゴテン</sup> 繪本化物御殿（※参照）  
半1帙4冊を合綴1冊  
（四天王土蛛退治）堀尾新九郎守保著・画，園乙州 <sup>(1738)</sup>  
序 元文3序  
書肆不明  
※上記書名は合綴の墨書題簽による。「四天王土  
蛛退治」（乱丁あり）の他，化物の百人一首  
（柱書「百」），猿がさまざまな人物に扮する絵  
本，柱書「もうしう」とある絵本を合綴。表紙  
に「□物四天王土蛛退治／百人一首」と打ちつ  
け書き。一部筆彩を施す。  
8—44エ22 う四百三拾七 2円

本 一

33368 <sup>エホンヒラドシヨロヒ</sup> 繪本緋威鎧（上・下）  
半他3冊と合1帙2冊を合綴1冊 <sup>(1802)</sup>  
下河辺拾水子著・画 享和2刊  
京 菱屋治兵衛（寺町松原上ル町）  
※下冊末に絵本類の目録あり。書込み・筆彩甚し。  
30360『繪本女貞木』3冊と同帙。  
8—44エ24 う三百五拾三 20銭

33369 <sup>エホンヨシツネヤシマカツセン</sup> 繪本義經八島合戦 上・下  
半他3冊と合1帙2冊  
下河辺拾水子・堀田里席子画，逸名序あり <sup>(1806)</sup>  
文化3序・刊  
名古屋 菱屋久兵衛（本町九丁目），京 菱屋  
治兵衛（寺町通松原上ル町）  
※30443『繪本勇武鑑』3冊と同帙。一部筆彩を  
施す。  
8—44エ37 う三百五拾七 20銭

33370 <sup>ムシヤ</sup> 武 <sup>エホングンバフノマキ</sup> 者 繪本軍法巻 上・中・下  
半1帙3冊  
下河邊拾水子画，似童散人序 <sup>(1802)</sup> 享和2序・刊  
京 菱屋治兵衛（寺町松原上ル町）  
※序題は角書を欠く。目録題は「古今勇者車」。  
下冊末に菱屋治兵衛の「福寿軒繪本目録」があ  
る。  
8—44エ2 う三百六拾全三 30銭

33371 <sup>エホンヨリトモイツシャウキ</sup> 繪本頼朝一生記（上・下）  
半1帙2冊を合綴1冊  
紀吉信画，逸名序あり <sup>(1799)</sup> 寛政11刊  
京 菱屋治兵衛（寺町通松原上ル町）  
※下冊裏見返しに菱屋治兵衛の広告あり。  
8—44エ38 う三百五拾貳 10銭

33372 <sup>ブツクバンゼイカガミ</sup> 武徳萬歳鑒（上・下）  
半1帙2冊を合綴1冊  
画者未詳  
書肆・刊年不明  
※源平合戦や曽我物語などの名場面を集めた絵本。  
8—44フ1 う三百五拾八 10銭

33373 <sup>バンセイフキウノホマレ</sup> 萬世不朽譽 上・中・下 半1帙3冊  
画者未詳

書肆・刊年不明

※歴史・文芸史上の名場面を集めた絵本。

8-44ハ4 う三百四拾毫 20銭

- 33374 オトギサンセウ コウナツキ  
お加三笑子點頭 松・竹・梅  
半1帙3冊

画者未詳

書肆不明

※『国書総目録』によれば寛保2刊か。各冊1話の計3話より成る。梅冊のみ内題「繪本猿島六本杉」がある。

8-44オ1 う六百三拾七 1円50銭

- 33375 サイカイブ ユウマル  
西海武勇丸 半1帙1冊  
逸名序あり

書肆・刊年不明

※多色刷。

8-44サ1 う七百五拾四 5銭

- 33376 サミヤウジドノウケンヒヤクシユ  
最明寺殿 教訓百首 繪本清水乃池  
半他3冊と合1帙1冊(※参照)

西川祐信著・画、中村三近子序 享保16序、同19刊  
京 菊屋喜兵衛(寺町通松原下ル町)

※末尾に菊屋の絵本類書目を附す。裏見返しに「絵本しみづのいけ全部三冊」との刷り物を附す。丁附から見ても、原体裁上・中・下3冊を合綴したものらしい。

8-44エ4 う五百廿九全壹冊 50銭

- 33377 ワカン エホンユウ シサウ  
和 漢 繪本勇士帥 (上・下)

半他6冊と合1帙2冊を合綴1冊

西川祐尹(文華堂祐信嫡男)著・画・自序  
宝暦3刊

江戸 鱗形屋孫兵衛(大傳馬町三丁目), 京  
菱屋治兵衛(寺町通松原上ル町)

※末尾に菱屋の絵本目録を附す。30365『繪本武者大佛櫻』(3冊を合綴1冊)・30366『繪本武者評判』(5冊)と同帙。

8-44エ34 う三百五拾四 20銭

- 33378 シンパン エホンブユウザクラ  
新板 繪本武勇櫻 上・下 半1帙2冊  
長谷川光信画 宝暦6刊

書肆不明

※上記画者・刊年は『国書総目録』による。

8-44エ29 う三百六拾毫 20銭

- 33379 ソウホカシラガキ  
増補 頭書 訓蒙圖彙 一〜八 半8冊  
中村惕斎著・自序 寛文6序, 元禄8刊  
書肆不明

※上記冊次は後補の通し番号による。原題簽は剝落などで不揃いだが、本来は第1冊が目録, 以下が一〜七(全21巻)。各巻内題「頭書増補訓蒙圖彙」, 序題と凡例の題は「増補訓蒙圖彙」。

10-03ソ1 う拾壹全八 60銭

- 33380 エホンコ ジダン  
繪本故事談 壹〜四・五上・五下・六  
〜八 半1帙9冊

山本序周著・自跋, 椎本舊徳貞才方麿序, 橘有税(守国)画 正徳4序・跋・刊

江戸 須原茂兵衛(日本橋南壹丁目), 大坂  
大野木市兵衛(心齋橋安堂寺町)

※「八」冊末に「全本繁多故分之為兩編而令所頭者前編也猶後編也俟來日可令刊行者也」とある。

8-44エ3 う十 85銭

- 33381 モロコシキンモウ ツ キ  
唐土訓蒙圖彙 序目・一〜十四  
半15冊

平住専菴著・自序, 檜村有税子画・跋, 玉井直道序, 穂積以貫跋 享保3序, 同4自序・跋・刊

大坂 大野木市兵衛(安堂寺町心齋橋), 江戸  
須原茂兵衛(日本橋南一丁)

10-03ト1 う拾三全拾五 75銭

- 33382 ブンリイ エホンリヤウザイ  
分類畫本良材 一〜十 半1帙10冊  
淡水居士画, 馬場信意編・序 正徳5序・刊  
江戸 須原茂兵衛(日本橋南壹丁目), 京 柏  
屋四郎兵衛(二条通御幸町西江入町)

※内題「画材良材」。内容, 一は画法・明君之部。以下, 原題簽下部の記事によれば, 二忠臣・三聖賢・四美人・五仙人・六智臣・七勇臣・八および九詩人・十雑説の各「故事來曆」。

8-44フ5 う貳拾四全拾 1円50銭

- 33383 エホンヒ ジフクロ  
繪本秘事袋 一〜四・六・五七  
半1帙6冊

文華堂西川自得叟祐信画, 澤井隨山序

一 絵

(1775)  
安永4序・刊

京 近江屋市兵衛 (堀川通四条下町)

※第6冊は巻七・巻五を合綴し、原題簽「七八」を「五七」に訂正している。歌題ごとに和歌一首・挿絵半丁を集めた絵本。

8-44エ23 う三拾七全七 2円

グワテンツウカウ

33384 畫典通考 一〜十 半1帙10冊

普齋大岡子雉著・自序、橋辨次守國画、平住専安跋  
(1727)  
享保12序・跋・刊

大坂 實文堂大野木市兵衛 (心齋橋筋安堂寺町五丁目南江入西側書林秋田屋)、江戸 須原屋茂兵衛 (日本橋南壹丁目)

※見返し内題の上部に「故事談後編」とある。大岡普齋は「大坂安堂寺町五丁目」、橋辨次は「同順慶町四丁目」住。巻末に「實文堂藏板豫題目録」3丁を附し、その本書の紹介に「故事談にもれたる和漢の故事を集め山水等くはしく出す」とある。

8-44カ3 大惣番号札剝落 1円

ハツセンザイフカノイツスイ

33385 八千歳鱈一睡 半1冊

編者・画者未詳

書肆・刊年不明

※歴史上の武者を集めた絵本。部分的に筆彩あり。

8-44ハ2 大惣番号札剝落 40銭

コウシ ジセキツ カイ

33386 孔子事蹟圖解 壹〜三 半1帙3冊

小林高英編・自跋、瑞陽口授、張府里景龍序、天民・鷺洲画  
(1805)  
文化2序・跋・刊

江戸 小林新兵衛 (日本橋南二丁目)

※第3冊の裏見返しに小林新兵衛の画本の目録あり。

8-44コ2 う貳百拾五 20銭

コンジャク

今 ヒヤクキヤギヤウ

33387 昔 百鬼夜行 初篇壹〜三

半1帙3冊

鳥山石燕画・自跋、雪中庵夢太序、老蠶序

(1775)  
安永4序 (老蠶)・

(1776) (1777) (1805)  
自跋、同5初刊、同6序 (夢太)、文化2「求板」

伊勢 長野屋勘吉 (洞津書林)

8-44ヒ3 う六百三拾 1円

本 一

コンジャク

今 ヒヤクキシフ キ

33388 昔 百鬼拾遺 雲・霧・雨

半1帙3冊

鳥山石燕画・自序、勝武幹序

(1780) (1781)  
安永9自序、同10序・刊

江戸 出雲寺和泉掾 (日本橋通壹丁目)・遠州屋弥七 (元飯田町中坂)

※一部筆彩を施す。目録題「百鬼夜行拾遺」。

8-44ヒ2 う六百三拾三〇 1円

ツウゾクグワ ツ セイユウダン

33389 通俗画圖勢勇談 天・地・人 半3冊

志水燕十著、華川山人序、鳥山石燕画

(1784)  
天明4序・刊

江戸 蔦屋重三郎 (通油町)

4-45ツ10 大惣番号札剝落 3円

オ サ ナ ゲン ジ

33390 おさなげんし 一〜十 大1帙10冊

立圃著・自序 (1670)  
寛文10刊

八屋勘兵衛

4-30オ1 ふ五百拾四全拾冊 2円

カイフ

見 ウラノニシキ

33391 譜 浦之錦 上・下 大2冊

大枝流芳著・自序・自跋 (1749) (1751)  
寛延2序・跋、同4刊

江戸 西村源六 (通本町三丁目)、大坂 渋川清右衛門 (心齋橋順慶町)・伊和惣兵衛 (南新町老丁目)

※原題簽「貝盡浦の錦」。序題「介譜浦之錦」。上冊表紙に「品」の小札あり。

8-64カ2 こ八百三拾壹全貳冊 80銭

アヅマノ ツ ト

33392 吾妻のつと 上・下 大1帙2冊

西浦祐賢 (鶴亭) 著、西隈山人序、繁雅の翁跋

(1812)  
文化9序・刊

江戸 須原屋伊八 (東叡山池之端)、京 吉田新兵衛 (三条通富小路)、大坂 扇屋利助 (瓦町中橋筋)

※上冊が乾之巻、下冊が坤之巻。上冊の表紙に「居」の小札あり。

5-85ア2 ふ四百貳十九全貳 1円

サイイウリヨダン

33393 西遊旅譚 巻之壹〜巻之伍 大1帙5冊

司馬江漢著・画、門人蘭江平民誌、福山太田方序、

(1790) (1794)  
赤穂神口序 寛政2成、同6序 (いずれも)

書肆不明

※江戸長崎往復の紀行画文。第5冊末に「春波樓蔵版目録」半丁を附す。

5—85セ7 〇〇〇 巻全五 1円

33394 エ ホン タケ ノ ハル  
繪本竹濃春 半1帙1冊  
猿猴菴著・画 (1830)  
文政13成  
写本

※筆彩画あり。稿本。冒頭に「ことし文政十三年」とある。豹の見せ物の記録。原表紙の上から表紙を改装。

6—24エ1 大惣番号不明 30銭

33395 エ ホン ウ ノ ハナ ガ サ  
繪本卯濃花賀沙 大1帙1冊  
猿猴菴著・画・自跋 (1830)  
文政13跋  
写本

※筆彩画あり。稿本。おかげ参りの記録。表紙の下書きが挿み込まれており、そこには「画誌卯花笠」、「人なみにあたまかけたるほとゝぎす」の発句、「かうりきのほん」と記されている。

1—04エ1 大惣番号札原欠か 60銭

33396 ボンアソビカウロホウ・  
①盆遊香爐峯・  
ナ ゴ ヤチャウデユボンテンツクリモノノヅ・  
②名古屋町中梵天造物之圖・  
パウデンカウ・ テツパウデンカウ  
③防奠考・④駭防奠考 半1帙1冊

写本

※①〜④合冊の表紙題簽に「寶曆癸未 梵天造物 香爐峯」とある。

①吹梵子序 (宝曆13)。(1763) 上巻のみ。中途より内容を省略している。

②著者未詳。図のみ。表題横に「宝曆十三癸未年」と記す。

③著者未詳。「天明乙巳七月吉日」(天明5)奥書。防奠(パウデン)をボンデンと唱えることの考証。

④奥書「天明乙巳秋九月／城南苾莸慧頼慢書」。

1—04コ3 う九百三拾巻 30銭

33397 ミ ツアフィア ラモノガタリ  
三津扇仰向物語 半1冊  
東山家之隠士禁多樓著・自序、都鹿齋画 (1823)  
文政6成  
写本

※滑稽本。「4—43サ12」の函に、黄表紙本多数

と共に入る。中本の基準よりわずかに大きい。「禁多樓」と「都鹿齋」は同一人か。末尾に「此類書都鹿齋撰述戯作物目録」あり、4部の書名をしるしている。

4—43サ12 う九百六拾五 30銭

33398 エ ホン ク フウノニシキ  
繪本工夫の錦 前編上之巻・下之巻  
半2冊合綴1冊  
仙臺船山喜一輔之著・自序 (1795)  
寛政7序・刊

尾州 風月堂・玉山房・永樂堂

※各巻「一」丁表の書名は「繪本算問入／工夫之錦前編」。算術の入門書。前編四十一問、答は「後編に委し」というが、その後編を欠く。扉には「全三冊」とある。船山輔之は「山路君樹先生門人」。題簽に「そろばんの事」と書込みあり。

6—41エ1 う五百貳拾四 20銭

33399 ヨナホシゾウシ  
世直しぞうし 半1帙1冊  
猿猴菴著・画・自序 (1819)  
文政2成  
写本

※稿本。序文中に「今茲文政二年己卯六月十二日の大地震」云々とある。

5—19ヨ1 う九百三拾九〇 10銭

33400 ホウリヤクカノトミダイゴホフエ  
實曆辛巳 庭儀圖  
大御法會 テイギノヅ  
半1帙1冊  
編者・画者未詳 (1761)  
宝曆11成

京 靈著軒

※内題「本願寺聖人五百年忌大御法會庭儀之圖」、後補墨書題簽「親鸞聖人五百年忌御法會」。

1—21シ25 う六百四拾三 10銭

33401 ムシメツケジ  
蟲目付字 半1帙1冊  
著者未詳  
書肆・刊年不明  
※虫尽し絵本。

8—44ム1 大惣番号札原欠か 30銭

33402 エ ホン バイサイウガンダン  
繪本徹瘡軍談 卷之一二・卷之三四・  
卷之五六 半1帙3冊  
錦海船越敬祐著・「述意」、烽山重春画、樗陰散人序 (1838)  
天保9「述意」・序・刊

大坂「藏六亭藏版」

※本文は巻之五迄。巻之六は、「徽瘡雑話」。本書は売本でなく、病に苦しむ人々のため望みの人に無料で頒布する由、巻末に記す。延寿丸など家製の薬の広告多し。

4—41サ66 そ九百貳拾七全三 30銭

33403 クワンクセン 冠句選 半1帙2冊

柳江菴撰

書肆・刊年不明

※冠付の秀句選。墨・薄墨・朱の3色刷りの挿絵を添えている。

4—25カ3 う百九拾弍 25銭

33404 タチバナヒンルイカウ 茅藤果品類考 (正編)・後編 半1帙2冊

灌河山人著、桂菴木村俊篤序(正篇)、月桂庵序(後篇) (正篇)寛政9序・刊、(後篇)同10刊  
大坂 尼屋與兵衛(心斎橋塩町)、京 吉田新兵衛(寺町二条下ル町)

※正篇の後補墨書題簽・続篇の原題簽・目録題などは「橘品類考」。もと附属図書館にあった時の配架番号は「6—21タ1(180と書込みあり)」。

薬学T2 大惣番号札原欠か 55銭

33405 テウセンジンダイギヤウレツキ 朝鮮人大行列記 半他1冊と合1帙1冊

逸名序あり 宝暦13刊

京 菊花堂 菊屋七郎兵衛(寺町松原上ル町)

※原題簽「(旗印の中に)清道/朝鮮人大行列記大全/宝暦十三年末新版入」, 目録題「朝鮮人大行列記大全」, 序題「朝鮮人來朝物語」。(30183「朝鮮人大行列記」(延享5版)1冊と同帙。

5—13チ2 大惣番号札剝落 10銭

33406 ワカン 和 漢 増補畫本寶鑑 一〜九

半1帙9冊  
(1698) 元禄11序

「無名子」序

書肆不明

※序題・柱書「増補繪本寶鑑」。第1〜6冊の内題「繪本寶鑑」, 柱書「繪本」。第7〜9冊の内題「増補繪本寶鑑」, 柱書「増繪本」。『国書総目録』に載る「繪本寶鑑」(六巻, 橘宗重作, 長谷川等雲画, 貞享5刊)の増補本か。和漢の

人物, 故事などについて記す。

8—44ニ31 う三拾四全九 60銭

33407 フウリウ ユキ ノ エジカウ 風流遊貴之衣司香 一〜五

大1帙5冊を合綴1冊

種仙著・自序, 逸名序あり, 奥村政信画 宝永5序  
京 横山松之丞(智恩院前), 江戸 辻村五兵衛(浅草田町)

※書名の表記は多様で, 「雪の衛士香」「夕幾の衛治孝」など。浮世草子。

貴4—42ニ1 あ百五拾九 45円

33408 シンシュン フウリウカガミガイゲ 新春風流鏡か池 壹〜六

大1帙6冊

獨遊軒好文の梅吟著・自序, 奥村政信画 宝永6刊  
江戸 燕雀堂平野屋吉兵衛(牛込肴町)

※見返しに「此書は薄雪物語様の書也」と書込みあり。表紙に「 物語也」の小札あり。浮世草子。

貴4—42フ5 あ百四拾四 40円

33409 シンバン 新 カウシヨクゾクム ラ サ キ 板 好色俗むらさき 一〜五

半1帙5冊  
(1694)

畫徘徊流宣著・自跋

近江屋九兵衛(長谷川町)

※浮世草子。「名古屋書林松屋善兵衛」印あり。

貴4—42コ3 大惣番号札剝落 25円

33410 シンバン 新 カウシヨクエド ム ラ サ キ 板 好色江戸むらさき 一〜五

半1帙5冊

石川氏(流宣)著・自跋

刊年不明

「作者石川氏版本」

※浮世草子。挿絵に朱・黄の筆彩ないし汚損あり。

『国書総目録』によれば, 貞享3刊, 古山師重画。

貴4—42コ4 大惣番号札剝落 15円

33411 シンバン 新 ホンテウ ブ ケ オホケイツ 板 本朝武家大系圖 一〜四

大1帙4冊

著者・刊年末詳

江戸「本問屋開板」(通油町)

※第1・2冊は墨書題簽で角書なし。第1冊の本

文に朱の書込みあり。第3・4冊原題簽下部に「ゑ入」とある。

5—64ホ5 九百五十三 2円70銭

## 咄

シンパンエイリ  
新板 モロコシマコトバナシ  
33412 絵入 唐土真話 一〜五  
半1帙5冊  
安永3刊  
来義庵南峯著・自序

大坂 吉文字屋市兵衛(心齋橋南四丁目), 江戸 同次郎兵衛(日本橋南四丁目)

※末尾に「定栄堂新版當世讀本目録」ならびに「定栄堂藏板目録」を附す。

4—45モ1 つ五百式十三全五冊 50銭

セキフデン  
33413 跣婦傳 上・中・下 半1帙3冊  
泥郎子著, 風鈴文人序, 杯物郎序, 葛飾守株窓跋  
(1749)  
寛延2序(いづれも)・跋

書肆不明

※本文内題・杯物郎序題「跣婦人傳」。

4—43カ25 〇〇〇番全部三冊 70銭

コンタンソウカンヂヤウ  
33414 魂胆惣勘定 上・中・下 半1帙3冊  
石嶋政植著・自序, 玉泉女跋  
(1754)  
宝暦4序  
江戸 中村治兵衛(本町四丁目)  
※絵入り。「松月堂記」「風月堂記」印あり。遊里の心得などを述べる。

4—43カ12 つ千〇拾壹 1円

ソクタウエアハセ  
33415 即當笑合 春・夏・秋・冬(壹〜四)  
半1帙4冊  
(1796)  
舎楽齋赤蘿著・自序  
寛政8序  
書肆不明

※滑稽本。絵入り。各巻末の内題「笑合」。

8—67ソ1 つ千百四十八全四冊 60銭

シンパンエイリ  
新板 カルクチ ハルブクロ  
33416 絵入 軽口はる袋 (※参照)  
半他1冊と合1帙5冊を合綴1冊  
(1741)  
元文6序・刊  
洛風之著・自序  
京 額田正三郎(寺町通五条上ル町)

※第2冊を欠き, 第5冊が2部存する(計5冊)。

板行者額田正三郎は風之と同一人。巻末に『福おこし』『春ふくろ』『耳過寶』の広告をのせる。

30369と同帙。

8—67カ4 大惣番号札剝落 1円

カイガンシンワ  
33417 解顔新話 天・地・人 半1帙3冊  
「清 游戲主人編/日本 未足齋月風記」, 粥原徳  
(1794)  
尚序 寛政6序

書肆不明

※滑稽本。絵入り。

8—67カ1 つ千百七十巻全三冊 75銭

ナンイウキ  
33418 南遊記 壹〜五 半1帙5冊  
最一兼六著・自序, 和気雅内跋・餅やの隣跋  
(1800)  
寛政12序・跋(いづれも)・刊  
大坂 川端徳兵衛(心齋橋北久太郎町)・田村九兵衛(同安堂寺町)

※第1冊表紙に「大坂新町しやれ本」の小札あり。絵入り。

4—43カ33 つ千〇三十五 70銭

イカイオセワ  
33419 十界和尚話 一〜五  
半1帙5冊を合綴1冊  
(1797) (1798)  
酒屋橋子著・自序, 夜市序 寛政9序, 同10刊  
「釣鐘屋捨兵衛・輪達屋八兵衛」

※第2冊のみ表・裏表紙共になし。他の冊は表紙ごと綴じ込んでいる。大坂物洒落本。絵入り。

4—43カ2 大惣番号札剝落 75銭

スイゲツ  
水 モノハナシ  
33420 月 ものはなし 上・中・下  
半1帙3冊  
溝岳散人蛭侯著・画・自跋, 飛鳥山下嬢姑序  
(1756) (1758)  
宝暦6跋, 同8序・刊  
西村廣山房

※序題・柱書「無物論」。洒落本。

4—43カ22 大惣番号札剝落 1円

ホウネンシヤウニン  
豊年 ヒヤクドウゴシヨウアンシン  
33421 上人 百銅五升安心 一〜五  
半1帙5冊  
(1785)  
安楽庵豊年著・自序, 物部某跋 天明5序  
京 山田屋卯兵衛・武村吉兵衛・八文字屋庄兵衛



※絵入り。内題「五升安心」，「豊年上人五升安心」とも。

4—25コ2 つ六百三拾六 70銭

33422 <sup>スイガクモン</sup> 粹学問 一〜四 半1帙4冊を合綴1冊  
若井時成著・自序，水田刃跋

(1798) (1799)  
寛政10跋，同11序・刊

京 菊屋安兵衛，江戸 野田七兵衛，大坂 藤尾九兵衛・八文字屋八左衛門

※洒落本。絵入り。表紙ごと合綴。

4—43カ21 つ千三十巻全四冊 50銭

33423 <sup>ハキヨセダサ</sup> 掃奇草 上・中・下 半1帙3冊  
温令舎漁徑著・画・自序 成立年不明

写本

※筆彩絵入り。稿本か。序末署名下，巻一内題下に朱印「おんれいしやきよけい」あり。目録に続く人物画の末の署名の下に朱印「も。しやく。しや」あり。上冊表紙に「ケ」の小札あり。

4—41タ6 め五百二十七全三 50銭

33424 <sup>ゲツクワツガン</sup> 月花通鑑 一〜五 半1帙5冊  
其鳳著・自序 安永7刊

京 錢屋善兵衛（堀川通四条上ル町），大坂 吉文字屋市兵衛（心齋橋南四丁目），江戸 同次郎兵衛（日本橋南四丁目）

※末尾に「定榮堂新版當世讀本目録」を附す。中国の，婦人の貞節の逸話を集めた読本。書名のよみは「ツキハナツガン」とも。

4—42ケ2 つ五百式十五 60銭

## 奇談怪談故事

33425 <sup>ヒヤクモノガタリヒヤウバン</sup> 百物語評判 乾・坤 半1帙2冊  
山岡元隣著，梶川常政跋 貞享3刊

京 梶川常政（堀川通西吉水町）

※跋に「而慍斎の長子何がし」の増補と言う。絵入り。

4—47ヒ2 つ三百四十七 50銭

33426 <sup>キンセイ</sup> 近世怪談實録 壹〜五 半1帙5冊  
紀常因著・自序 (1765) (1766)  
明和2序，同3刊

江戸 須原屋茂兵衛（日本橋通一丁目）・同伊八・天野屋甚八（日本橋数寄屋町）

※絵入り。各冊柱書は「怪談實記」。第1冊表紙に「怪」の小札あり。

4—47カ6 つ三百式十四 30銭

33427 <sup>クワイダンオトギザル</sup> 怪談御伽猿 一〜四 半1帙4冊  
著者未詳，臥作序 (1767) (1768)  
明和4序，同5刊

京 秋田屋伊兵衛・秋田屋忠兵衛

※絵入り。第1冊表紙に「怪」の小札あり。

4—47カ5 つ三百式十三 60銭

33428 <sup>ココンヒヤクフクダン</sup> 古今百福談 古・今・百・福・談  
半1帙5冊  
青路館主人著・自序 (1773)  
明和10序・刊

江戸 鴈金屋儀助（小石川傳通院前）

※絵入り。柱書「百福談」。「古」冊表紙に「九拾八番五冊」「奇霊の福ひを得し実談也」と書かれた札あり。

4—47コ4 つ五百〇八 50銭

33429 <sup>ケウクンゾクヘタダンギ</sup> 教訓續下手談義 一〜五 半1帙5冊  
沙弥静観房好阿著・自序，西向庵好阿跋 (1752) (1753)  
宝暦2序，同3跋

江戸 大和田安兵衛（室町二丁目）

※序題・柱書・跋題は「續下手談義」。大和田の「瑞玉堂藏書目録」あり。絵入り。

4—43キ3 大惣番号札剝落 25銭

33430(1) <sup>コジダンセイヘン</sup> 古事談正編 一〜六 半1帙6冊  
源顯兼編，浪花雲水子序 (1751)  
寛延4刊

大坂 田原平兵衛（順慶町一丁目筋）

※絵入り。同配架番号の別帙に『續古事談』がある。(2)参照。正・続とも，第1冊の表紙に「古事談續古事談式部と御伽座頭と同板」と記した札あり。33431参照。

4—47コ6 つ四百〇巻全六冊 50銭

33430(2) <sup>ゾクコジダン</sup> 續古事談 一〜六 半1帙6冊  
著者未詳，浪華眞逸雲水子序 寛延4序，明和8刊 (1751) (1771)  
京 武村嘉兵衛・大和屋善七

※絵入り。(1)参照。第6冊裏見返し「ろ百八十六」  
と書込みあり。

4—47コ6 つ四百式全六 40銭

33431 シンパンエイリ  
新板 ココンオトギザトウ  
参入 古今御伽座頭 一〜三各本  
・末・四〜七 半1帙10冊  
著者未詳 (1714) (1737)  
正徳4序、元文2刊

大坂 村上伊兵衛・嶋田理兵衛

※絵入り。第1冊表紙に「古事談續古事談二部ト  
同版」の札あり。各巻内題「宿直座頭」。

4—47オ2 つ三百拾式 1円60銭

33432 ショコクジダン  
諸國 ホウネンチンワ  
事談 豊年珍話 一〜四  
半1帙4冊  
静観房好阿著、自序 (1760)  
宝暦10序  
書肆不明

※第5冊欠。

4—41ホ1 つ式百三拾式 30銭

33433 シンサイヤゴ  
新齋夜語 青・黄・赤・白・黒(一〜五)  
半1帙5冊

梅臈館主人著・自跋、君山朱正齋序  
(1774) (1775)  
安永3跋、同4刊

京 錢屋莊兵衛(堀川綾小路下ル町)、江戸  
須原屋茂兵衛(日本橋南壹丁目)、大坂 糸屋  
源助(心齋橋筋博労町)・田原屋平兵衛(同塩  
町)

※絵入り。田原屋の「男女教訓書籍目録」あり。

「青」冊表紙に「奇」と記した札あり。33453  
に続篇あり。

4—47シ10 つ式百三十五全五冊 25銭

33434 ショコク  
諸國 シウイウキダン  
周遊奇談 一〜五 半1帙5冊  
昌東舍眞風著、浦玉美序 (1806)  
文化3刊

京 植村藤右衛門(堀川通高辻上ル町)、大坂  
大野木市兵衛(心齋橋筋安堂寺町)、江戸  
角丸屋甚助(麴町平川町二丁目)・花屋久次郎  
(東叡山麓下谷町)・柏屋忠七(下谷御成小路)

※絵入り。柱書「周遊談」。第1冊見返し内題左  
に記された書肆は江戸の「星雲堂/柏悦堂」。

4—47シ4 つ式百貳拾五全五 25銭

ワカンエイリ  
和漢 キ イザフタンシフ  
繪入 奇異雑談集 壹〜六  
半1帙6冊  
中村某著 (1887)  
貞享4刊

江戸 富野治右衛門、京 茨木多左衛門

※絵入り。上記著者名・刊年は『国書総目録』に  
よる。

4—47キ1 つ三百四十五全六冊 60銭

33436 キダン  
奇談 ホツコクジュンヂヤウキ  
北國巡杖記 一〜五 半1帙5冊  
鳥翠臺北丞著・自序、伴蒿蹊関・序、大西洞竹軒跋  
(1806) (1807)  
文化3跋、同4刊

京 唐本屋新右衛門・野田儀兵衛・白粉屋与兵  
衛・林太兵衛・近江屋仙助、江戸 野田七兵衛、  
大坂 河内屋太助、洞津 山形屋傳右衛門

※絵入り。内題・柱書「北國奇談巡杖記」。第1  
冊表紙に「地」の札あり。

4—47ホ1 つ式百拾八全五冊⊖ 40銭

33437 トホヤマキダン  
遠山奇談 (前篇) 一〜四・後編一〜四  
半1帙8冊

華誘居士(花誘山人)著・自序(後篇)、浄林坊辨  
恵序(前篇)

(前)寛政10序・刊、(後)享和元序・刊  
京 錢屋利兵衛(寺町四条上ル町)・著屋甚助  
(寺町六角南角)・著屋宗八(=後篇のみ、寺  
町三条下ル町)

※絵入り。後篇第1冊表紙に「三」「地」の札あ  
り。

4—47ト3

つ式百貳拾六前四・つ式百貳拾七後編四冊 70銭

33438 ショコク  
諸國 キイウダン  
奇遊談 卷之一・卷之二・三之上  
・三之下 半1帙4冊  
川口好和著、信美序 (1798) (1799)  
寛政10序、同11刊

京 錢屋庄兵衛(堀川綾小路下ル町)

※絵入り。第1冊表紙に「奇」の札あり。

4—47キ4 つ式百貳十番 30銭

33439 グワイウキダン  
臥遊奇談 壹〜伍 半1帙5冊  
一夕散人著・自序 (1782)  
天明2序・刊

京 菊屋安兵衛(寺町三条上ル町)

※絵入り。菊屋の板行目録を附す。第1冊表紙に

「奇天」の札あり。

4—47カ1 つ三百六十巻全五冊 30銭

33440 當世花街談義 一〜五 半1帙5冊  
止藏著、洛陽孤舟序、樓船主人跋 宝曆4刊

江戸 長谷川新兵衛・日野屋與兵衛・伏見屋吉兵衛

※内題「問答花街談義」。絵入り。『白増譜言経』の改作本。

4—43カ29 つ六百八番 50銭

33441 戯男伊勢物語 一〜五 半1帙5冊  
頭少々禿磨著・自序 寛政11序・刊  
大坂 藤屋徳兵衛（心齋橋）、江戸 蔦屋重三郎（通油町）、名古屋 永楽屋東四郎（本町通）、京 伊勢屋嘉兵衛（智恩院町）・吉田屋新兵衛（京極通）

※滑稽本。絵入り。第1冊見返しに本書紹介の刷り物貼付。

4—25タ5 つ千〇三十三全五冊 50銭

33442 うき人形水中談 一〜四 半1帙4冊  
於田福平著・自序 天明4刊

江戸 須原屋茂兵衛（日本橋南一丁目）、大坂 河内屋八兵衛（心齋橋筋南久宝寺町南）、京 梅村伊兵衛（寺町姉小路角）・圓屋清兵衛（寺町押小路下町）・秋田屋藤兵衛（寺町二条下町）

※滑稽本。絵入り。

4—43ア5 つ六百五十六 30銭

33443 春夜談 一〜五 半5冊  
著者未詳・自序あり 文化2刊

京 澤田吉左衛門（知恩院町）・三木安兵衛（寺町二條下町）

※絵入り。巻一内題「俗悟春夜談」。随筆。

10—05シ11 そ六百〇五全五 40銭

33444 當世下手談義 一〜五 半1帙5冊を合綴1冊  
静観房好阿著・自序 宝暦2刊

江戸 大和田安兵衛・大坂屋平三郎

※絵入り。

4—43イ2 大惣番号札剝落 25銭

33445 六道士會録 一〜五 半1帙5冊  
伏斎禰山著・自跋 享保14跋

書肆不明

※絵入り。刊記なし。ただし第4冊の末に江戸奥村喜兵衛（芝神明前）の書籍目録あり。柱書・各巻末内題、および跋題は「士會録」。

4—47ロ1 そ八百五拾七番 35銭

33446 本心 破堯筵 一〜四・四下 半5冊を合綴1冊  
開悟 破堯筵 安永10序・刊

甘誕齋著・自序、是道子序 京 西村平八（新町二條上ル町）・藤屋新兵衛（下長者町千本東入町）

※絵入り。書込み・旧蔵者印多数。

1—84ヤ1 つ六百三十番全五冊 40銭

33447 湘中八雄傳 一〜五 半1帙5冊  
聚水菴北壺游著・自序 明和5序

江戸 前川六左衛門（日本橋通式町目）

※朝比奈義秀の一代記。絵入り。前川の「崇文堂藏版書目」を附す。

4—41ア57 つ六百六十九 40銭

33448 水の往方 近代隠逸傳 一〜五 半1帙5冊

平原屋東作著・自序、風来山人序、南條居士跋 明和元自序、同2序・刊

江戸 須原屋市兵衛（室町通三丁目）

※近世隠逸僧に擬して教訓するもの。第1冊表紙に「戲談教訓」「□□三番」の小札あり。

4—43ア27 つ六百拾三 35銭

33449 神路乃事婦禮 上・中・下 半1帙3冊

堀越齋宮（坪内真佐得〔慎水〕）著・自序（2文）、増穂取仲序 享保15自序、同17自序・刊

江戸 小川彦九郎（日本橋通貳町目）

※絵入り。下冊表紙に「神」の小札あり。朱・墨書込み多し。

1—05カ4 大惣番号札剝落 30銭

33450 世間 錢神論 東・西・南・北 半4冊を合綴1冊  
譬喩 錢神論

一 奇談怪談故事 一

田中友水子著, 浪華興文堂主人序 <sup>(1779)</sup> 安永 8 刊

京 錢屋莊兵衛 (堀川通綾小路下ル町), 大坂  
塩屋平助 (心齋橋筋南久太郎町)

※内題「世間錢論」。絵入り。「東」冊表紙に  
「□廿四番」の小札あり。

1—84セ 6 つ六百五十五 30 銭

33451 ツベコベグサ つへこへ草 一〜五 半 1 帙 5 冊

蘆橋庵著・自序, 後月房下物序, 玉東序, 偏屈者跋 <sup>(1786)</sup>  
天明 6 自序・刊

京 錢屋莊兵衛 (堀川通綾小路下ル町), 江戸  
前川六左衛門 (日本橋通三丁目), 大坂 塩  
屋平助 (心齋橋南久宝寺町)・加賀屋善蔵 (天  
神橋本町一丁目)・平野屋半右衛門 (天神橋又  
次郎町)

※絵入り。書名の表記は多彩。

4—43カ 27 つ□ 40 銭

33452 セツサウヤワ 雪窓夜話 雪・窓・夜・話 半 1 帙 4 冊  
金蛇観主翁著・自序 <sup>(1779)</sup> 安永 8 序

書肆不明

※絵入り。第 4 冊裏見返しに「安永八年刊本なり」  
と書込みあり。

4—47セ 5 つ貳百六十六全四冊 30 銭

33453 ソクシンサイヤゴ 續新齋夜話 宮・商・角・徴・羽  
半 1 帙 5 冊

梅臚館主人著・自跋, 朱正致序, 松石道人序 <sup>(1778)</sup>  
安永 7 序 (いづれも)・跋, 同 8 刊 <sup>(1779)</sup>

江戸 須原茂兵衛 (日本橋南巷丁目), 京 錢  
屋庄兵衛 (堀川通綾小路下ル町), 大坂 田原  
平兵衛 (心齋橋筋塩町)

※絵入り。33433 に正篇あり。「宮」冊表紙に  
「奇」「□十八番」の札あり。

4—47ソ 1 つ貳百三十六 40 銭

33454 ラトコデカケ 養ハダカヒヤクワン 漢裸百貫 壹〜五  
半 1 帙 5 冊を合綴 1 冊

啖川子著, 浮世壹分五鱗斎序, 一任庵序 <sup>(1795)</sup>  
寛政 7 序 (一任庵), 同 8 刊 <sup>(1796)</sup>

大坂 河内屋多助 (心齋橋筋), 京 著屋甚助  
(寺町六角角)・著屋善助 (寺町四条上ル)

※絵入り。

4—43ア 22 つ七百拾八 30 銭

33455 デゴクタンノシミニツキ 地獄樂日記 一〜五 半 1 帙 5 冊  
自楽著・自序 <sup>(1755)</sup> 宝暦 5 序・刊

江戸 駿河屋五兵衛 (銀座鑓屋町)・太田庄右  
衛門 (本石町通式丁目)

※絵入り。「永楽屋」の印あり。

4—43ア 16 つ七百七十七全五冊 55 銭

33456 アカホンチエカガミ 赤本智恵鑑 壹〜五  
半 1 帙 5 冊を合綴 1 冊

脩齊主人飯袋子著・自序

書肆・刊年不明

※絵入り。滑稽本。刊記「東都書林」とのみ。

「文貫堂」印あり。

4—43ア 1 つ七百老番 40 銭

33457 タイヘイベンワク 太平 金集談 元・亨・利・貞  
辨惑 <sup>キンシフダン</sup> 半 1 帙 4 冊

荷來庵主田保里翁 (河田孤松妄) 著・自序 <sup>(1759)</sup>  
宝暦 9 刊

江戸 須原屋茂兵衛 (日本橋南一丁目), 大坂  
大野木市兵衛 (心齋橋安堂寺町)

※絵入り。序題「辨惑金集談」。元冊表紙に「怪」  
の札あり。

4—47キ 5 つ三百五十九 35 銭

33458 ヤロデザツ 八尾 ツヤモノガタリ 地蔵通夜物語 一〜五 半 1 帙 5 冊  
一楽子著 <sup>(1771)</sup> 明和 8 刊

大坂 柏原屋庄兵衛 (心齋橋筋安堂寺町)・敦  
賀屋六兵衛 (同), 江戸 増田屋源兵衛 (日本  
橋北江二丁目)

※絵入り。上記著者名は『国書総目録』による。  
滑稽本。

4—47ヤ 1 そ八百五拾九全五 30 銭

33459 フウリウ シダウケンデン 風流志道軒傳 一〜五 半 1 帙 5 冊  
平賀源内著・自序, 独鈷山人序, しい葺干瓢子跋 <sup>(1763)</sup>  
宝暦 13 序・跋・刊

江戸 岡本理兵衛 (神田白壁町)・木屋又七  
(室町三丁目)

※絵入り。第 1 冊表紙に「ケ」「□十番」の小札。

4—25フ 4 つ七百〇五 40 銭

— 奇談怪談故事 —

33460 オトギヤワ 御伽夜話 一〜四 半1帙4冊  
 安勝子著・自序 延享3序・刊  
 江戸 小林重兵衛(室町三丁目)  
 ※絵入り。第1冊表紙に簡単な内容紹介および  
 「御伽夜話ト同板」と記した小札あり。  
 4—43ア6 つ七百九十五 40銭

33461 ホンテウコクゴ 本朝國語 一〜五 半1帙5冊  
 矢嶋曾甫著・自序, 原文生跋 (1762) (1763)  
 宝暦12序・跋, 同13刊  
 大坂 吉文字屋市兵衛(心齋橋南四丁目)・同  
 次郎兵衛  
 ※絵入り。畿内の名所誌。第1冊表紙に「地」  
 「□五十六番」の小札あり。第5冊裏見返しに  
 「定栄堂蔵板品目」あり。  
 4—47ホ5 つ拾五番全五冊○ 30銭

33462 ウゲツモノガタリ 雨月物語 一〜五 半1帙5冊  
 上田秋成著・自序 (1768) (1776)  
 明和5序, 安永5刊  
 京 梅村判兵衛(寺町通五条上ル町), 大坂  
 野村長兵衛(高麗橋筋壹町目)  
 ※絵入り。第1冊表紙に「奇」の札あり。  
 4—41ウ3 つ貳百三十七全五冊 40銭

33463 リウキウバナシ 琉球談 半1帙1冊  
 森嶋中良著, 蘭溪前野達序, 書林申椒堂主人跋 (1790)  
 寛政2序・跋  
 江戸 須原屋市兵衛(日本橋北室町二丁目)  
 ※絵入り。書名よみかたは巻末「森嶋中良先生著  
 述書目」中の振仮名によった。表紙に「異」  
 「□十貳番」の札あり。  
 5—83リ1 つ百貳十番全壹冊 20銭

33464 ココンキダン 古今 万國山海經 (一〜五) 半1帙5冊を合綴1冊  
 菊丘臥山人江匡弼文坡著・自序 (1783) 天明3序  
 京 錢屋善兵衛(寺町通佛光寺), 大坂 柏原  
 屋勘兵衛(心齋橋筋南久太郎町)  
 ※絵入り。全5巻。巻之五の一部焼損。  
 4—47ハ3 つ百七十三 40銭

33465 ツウゾク 通 古今奇観 壹〜五 半1帙5冊  
 淡齋主人著・自序, 棟園主人序 (1814) 文化11自序・刊

名古屋 風月堂孫助  
 ※自序に曰く「古今奇観四十巻ハ抱邇老人者醒世  
 恒言喩世明言等ノ中ヨリ雋永ナルモノヲ輯メテ  
 刊行ス」。

4—45ツ3 つ四百貳十三全五冊 30銭

33466 キシツヒヤウバン 氣質 乗合噺 一〜五 半5冊  
 車道軒著・自序 (1783) 天明3序  
 京 吉田九郎右衛門(東洞院三条下ル町)  
 ※絵入り。上記書名のよみは第5冊原題簽の仮名  
 書きによる。  
 1—84ノ1 つ六百廿番 50銭

33467 ナンベウキ 南瓢記 一〜五 半1帙5冊  
 枝芳軒静之著・自序, 中野篁序 (1797) (1798) 寛政9序, 同10刊  
 京 錢屋長兵衛(六角通烏丸東江入町)  
 ※絵入り。第1冊表紙に「異」の札あり。南海の  
 異邦の記。  
 5—88ナ2 つ百四十壹全五冊 35銭

33468 ココンヒヤクモノガタリ 古今百物語 壹〜五 半1帙5冊  
 談山著・自序 (1751) 寛延4刊  
 大坂 吉文字屋市兵衛(心齋橋南四丁目)・同  
 源十郎(同筋安土町北へ入), 江戸 同治郎三  
 衛(日本橋通三丁目)  
 ※絵入り。  
 4—47コ5 つ三百五拾全五 50銭

33469 ケンゴワイシロウルリ 見外白得利 一〜五 半1帙5冊  
 舎楽斎鈍草子著・自序 (1758) 宝暦8刊  
 江戸 須原屋平左衛門(日本橋南三丁目), 大坂  
 柏原屋清右衛門(心齋橋筋順慶町), 京 錢  
 屋七郎兵衛(堀川通佛光寺下ル町), 錢屋忠兵  
 衛(堀川通四条上ル町)  
 ※絵入り。書名は「見外白字瑠璃」など表記多様。  
 4—43ア14 つ七百十六五冊 35銭

33470 バンコクシンワ 萬國新話 卷首・其一〜其三・卷末  
 (一〜五) 半1帙5冊  
 森嶋中良著, 桂川甫周國瑞序, 宇田川玄随序, 前野  
 良庵序 (1789) 寛政元序(いづれも)・刊  
 江戸 須原屋市兵衛(日本橋北室町三丁目)  
 ※絵入り。第1冊表紙に「異」「□十四番」の札

あり。「巻首」冊には序と「總目」をおさめる。

5—88ハ1 つ百拾六 20銭

## 芝 居 物

- 33471 <sup>キナカシバキ</sup> 田舎芝居 序開・二ツ目三ツ目・四ツ目  
・五ツ目 半1帙4冊  
万象亭著，竹杖万倍序，狐面堂の主人跋，千差萬別  
・天竺老人校 <sup>(1801)</sup> 享和元序・刊  
大坂 凌雲堂，江戸 千鶴堂  
※洒落本。

8—66イ3 む百五十式全四冊 40銭

- 33472 <sup>ヒヨクモンイキデクラベ</sup> 比翼紋意氣地競 上・下 半1帙2冊  
五柳亭徳升著・自序，香蝶樓國貞画 刊年不明  
江戸 甘泉堂和泉屋市兵衛（芝神明前三島町）  
※内題は「比翼紋意氣地競初編」。下冊末に「二  
編」の予告及び「甘泉堂蔵梓目録」がある。挿  
絵は三色刷。

4—31ヒ1 う八百式拾七㊦ 20銭

- 33473 <sup>エホン</sup> <sup>シバキネンヂユウカガミ</sup> 繪本 戲場年中鑑 上・中・下  
半1帙3冊  
簗竹里著，歌川豊國画，耕書堂主人序 <sup>(1803)</sup>  
享和3序・刊  
江戸 松茂堂浜松屋幸助（通油町）・耕書堂萬  
屋重三郎（通油町）  
※上記書名は上冊見返し内題による。各冊原題簽  
及び内題は「繪本戲場年中鑑」。下冊末に「後  
篇」の予告その他の出版物の広告あり。

8—66エ1 む二百五十三㊦ 1円

- 33474 <sup>サントシバキ</sup> <sup>ヤクシヤヒトクチアキナヒ</sup> 三都 戲場 役者一口商 上・中・下  
半1帙3冊  
八文舎自笑著・自序 <sup>(1805)</sup> 文化2序・刊  
八文字屋八左衛門  
※書名，上冊内題は「役者一口商」，中冊原題簽  
「<sup>三都</sup> 戲場 やくしや一口商」。下冊は「古今俳優家  
譜」。また上冊内題の下に「藝品定」とある。

自序に「正札附の続篇」という。下冊末に書肆  
の広告。各冊第1丁に旧蔵者印。

8—66ヤ5 む二百五十九全三冊㊦ 50銭

- 33475 <sup>ホクセンジミノカラ</sup> 北川 蜆 上・下 半1帙2冊  
二斗庵幸雄「述」・自序，藏二庵五六「聞」・自序，  
とん栗おとこの四端序，一楊齋正信画 <sup>(1826)</sup>  
文政9自序（いずれも）

大坂 曾根松魚館（北花粹通）

※洒落本。絵入り。下冊原題簽「北川蜆のから」。  
上冊表紙に「幸／五」，下冊表紙に「雄／六」  
とある。下冊末に「後編」の予告その他の出版  
物広告あり。

4—43カ37 む百式十四全式冊い印 25銭

- 33476 <sup>エホンアヒオヒノタケ</sup> 會本相生竹 (一)～三 半1帙3冊  
刊年不明

※絵尽くしを集め，表紙題簽をつけたもの。第1  
冊に「大自在雷子寶貨」，「競伊勢物語」，「北条  
五代記會説」，「愛護稚名歌勝閑」，「大當百足山」，  
「祇園祭禮信仰記」，第2冊に「木下蔭狹間合  
戦」（大坂 間月堂），「嬢景清八嶋日記」（大坂  
間月堂），「義經千本櫻」，「北條時頼記」，「一  
谷嫩軍記」，「翻伊勢物語」，「殿下茶屋聚」，第  
3冊に「中睦妹龍宮嶋臺」，「けいせい衣發船」  
（大坂心さいばし塩町角本屋卯之介），「金花咲  
藏入」（心さいばし塩町角正本屋清兵衛），「安  
徳天皇兵器貢」（心斎橋塩町正本屋清兵衛），  
「忠孝大儀通」，「韓和聞書帖」（大坂しんさい  
ばし筋志保町本屋卯之助）を収める。第2冊裏  
表紙に「繪本龍虎勢四」の原題簽あり，表紙の  
み借用したと思われる。

8—66シ7 大惣番号札剝落 1円80銭

- 33477 <sup>ヒキゾウエキ</sup> <sup>シクワンセンソウヒヤクケツウ</sup> 最良 増益 芝翫節用百戲通  
大1帙1冊  
嫺戲堂曉鐘成編，狂画堂蘆洲画，載文堂主人附言  
（見返），市角菴丸人序 <sup>(1815)</sup> 文化12序・刊  
大坂 森本太助・山本長兵衛・都賀和助・木村  
彌四郎

※原題簽書名両脇に「當藝評林圖解／戲文類字兩  
點」。上記書名は原題簽による。扉の題は角書  
を欠く。冊末に書肆の広告。

8—66シ1 さ千八拾貳全壹冊 25銭

シバキガクヤツエ  
33478(1) 戯場楽屋圖會 乾・坤

大(2)と合1帙2冊  
(1800)

松好齋半兵衛画、玄黙山人序 寛政12序・刊

京 八文字屋八左衛門、大坂 塩屋長兵衛(心齋橋通北久太郎町)

※乾冊見返し及び第1丁に「四番」の書込みがある。坤冊末に跋及び書肆の広告があるが、破損のため詳細は不明。

8—66キ2 さ千六拾壹 (2)共60銭

ガクヤツエシフキ  
33478(2) 楽屋圖會拾遺 乾・坤

大(1)と合1帙2冊

松好齋半兵衛画、大伴大江磨序

大坂 鹽屋長兵衛(心齋橋通北久太郎町)

※多色刷。『浪速叢書第15巻』所収の解題によれば享和2刊。  
(1802)

8—66キ2 さ千六拾貳

イチカハシコウイツセイチダイキ  
33479 市川市紅 一世一代記  
イチカハノナガレ 一河の流れ

上・下 半2冊

八文舎自笑著・附言、ほりえ甘泉序

(1809)  
文化6序・附言・刊

京 朝倉儀助、江戸 小林喜右衛門、大阪 高橋喜助・八文字屋八左衛門

※下冊内題下に「藝品定」とある。上冊末に「藝品定板行目録」、下冊末に書肆の広告がある。

「市紅」は3代目市川団藏。

8—66イ1 む二百六十三全二冊○ 30銭

サントヤクシヤスイコデン  
33480 三都俳優水滸傳 乾・坤 半1帙2冊  
(1829)

五柳亭徳升著・自序、五渡亭國貞画 文政12序・刊

江戸 鶴屋喜右衛門(通油町)

※上記書名は坤冊巻頭内題による。各冊後補墨書題籤「三俳優水滸傳」。また上記冊次は墨書題籤による。内容は乾冊が自序と挿絵、坤冊が「序巻」で、坤冊末に「初編絵入讀本三冊」の予告がある。各冊表紙に板元の口上がある。挿絵に薄墨・薄朱を施す。

8—66サ5 う八百三拾四 20銭

ゾウホシバキイチラン  
33481 増補戯場一覽 春・夏・秋・冬

半1帙4冊

八文舎自笑著、久島重序、甘泉菴の主人跋

(1800)  
寛政12序・刊

京 菊屋安兵衛、江戸 鶴屋喜右衛門、大坂

塩屋喜助・八文字屋八左衛門

※扉の題は「増補 戯場一覽」。冬冊末に書肆の広告がある。

8—66ソ1 む二百六十全四冊○ 60銭

ビヤウケダヤウジシ  
33482 尾陽戯場事始 上・中・下

大1帙3冊

西邑海邊著・自序、東海懶叟序、熟柿苦齋黄昏坊跋

(1782)  
天明2自序・跋

写本

※上記書名は内題。各冊題籤は「名 戯場事始」。

(1738)  
元文3までの記事を収める。

8—66ヒ1 む百六拾壹全三冊 1円

シバキセツヨウシフ  
33483 戯場節用集 大1冊

好文舎青氏著、竹原雪峰画、千里亭藪厩序、梨園遊

人題言 享和元刊  
(1801)

江戸 鶴屋喜右衛門、京 鋤屋安兵衛、大坂

扇屋利助

※多色刷の扉絵がある。

8—66キ3 さ千八拾壹全壹冊 40銭

ケイセイハコデンジュ  
33484 契情筥傳授 口明・弐ツ目〜五ツ目・

大切 半6冊  
(1807)

松好齋半兵衛画、並木意既杵序 文化4序・刊

大坂 鹽屋長兵衛(心齋橋通久宝寺町)

※書名、弐ツ目・四ツ目・大切各冊の表紙では「けいせい筥傳授」。序は「繪本戯場語口序」。

絵入根本。31556参照。

8—66ケ1 画本筥傳授む三百〇六全六 60銭

キリノシマダイ  
33485 桐の島臺 上・下 半2冊  
(1797)

八文舎自笑著、椿齋序

寛政9序・刊

八文字屋八左衛門

※嵐三五郎一世一代記。絵入り。下冊末に「藝品定板行目録」。

8—66キ5 む二百七十全二冊○ 20銭

ヤクシヤキジンデン  
33486 俳優畸人傳 初編上・下・二編上・下

半1帙4冊  
(1833)

立川焉馬著・自序、歌川國貞画

天保4序・刊

江戸 錦耕堂山口屋藤兵衛（馬喰町二丁目）・  
永壽堂西村屋與八（同）・錦森堂森屋治兵衛  
（同）

※大惣番号、初編上冊表紙では札剝落、原題簽に  
「㊦」、二編上冊表紙に「う八百拾九番㊦」。絵  
は薄墨・濃墨を刷り込んでいる。上記刊年は二  
編の刊記による。

8—66ハ1 ※参照 40銭

33487 シンセン  
新撰 ヤクシヤメイショ ツ エ  
戯子名所圖會 天・地・人  
（戯廂之弓・生淨之弓・且櫟之弓）

半1帙3冊

曲亭瀧馬琴著・自序、一陽齋歌豊國画、京山跋  
（1799）（1800）  
寛政11跋、同12序・刊  
大坂 八文字屋八左衛門（心齋橋筋安堂寺町）、  
江戸 鶴屋喜右衛門（通油町）

※上記書名は原題簽による。内題は角書を欠く。  
跋末「江戸 京山跋」の左に「同 京傳載」と  
墨書。人冊末に「戯子名所圖會拾遺」の予告が  
ある。

8—66ヤ8 む二百五十二全三 1円

33488 テンマンダウナタネノ ゴ クウ  
天満宮菜種御供 一〜五 半1帙5冊  
（1777）  
安永6刊

京 八文字屋八左衛門（麩屋町誓願寺下ル□）  
※第1冊見返し上部に「大坂道頓堀小川吉太良芝  
居三の替新狂言藝品定狂言本」、同じく見返し  
の内題両脇に「八百七十五年忌筑紫飛梅の奇瑞」  
などとある。歌舞伎「天満宮菜種御供」は、並  
木五瓶・中邑阿契・辰岡万作はか作、安永6初  
演。

4—31テ2 つ千式□□㊦ 60銭

33489 シンコクヤクシヤカウモク  
新刻役者綱目 小6冊  
廃棄

1円

33490 ヤクシヤバナシ  
役者論語 上・下 中1帙2冊  
（1776）  
安永5序・刊

京 八文字屋八左衛門（ふや丁誓願寺下ル丁）  
※上記冊次は各冊原題簽に貼られた小札のもの。  
上冊に「舞臺百ヶ條」（枕九兵衛著）・「藝鑑」  
（富永平兵衛著）・「あやめくさ」（福岡弥五四  
郎著）・「耳塵集」上・下（必能院敬信著）、下

冊に「續耳塵集」（民屋四良五郎著）・「賢外集」  
（東三八著）・「佐渡嶋日記」（蓮智坊著）・「三  
ヶ津盆狂言藝品定」（附録）を収める。

8—66ヤ2 大惣番号札剝落 70銭

33491 シンセイ  
新成 メイワギカン  
明和伎鑑 小1帙1冊

淡海の三磨著・自序、駒嶺楊松序  
（1769）  
明和6序・自序・刊

江戸 書榮堂伏見屋清兵衛（本町四丁目）  
※原題簽下部に「江戸三芝居／全」と刷られてい  
る。「自序」「序」いずれも末尾に本文と別の丁  
附で附されている。末尾に書肆の広告がある。  
末丁に旧蔵者印。

8—66メ1 大惣番号札剝落 50銭

33492 ミンシン  
眠獅選 上・下 中2冊

八文舎自笑著・自跋、安曇散人序  
（1790）  
寛政2序・跋・刊

八文字屋八左衛門  
※初世嵐雛助の引退を記念した出版で、芸評によ  
る一代記。「眠獅」は雛助の俳名。

8—66ミ3 ち千〇式十式う 50銭

33493 キヤウゲンキギヨ  
狂言綺語 上巻・下巻 中1帙2冊

（上）談洲樓鳥亭焉馬著、風来山人序、（下）游戲堂  
式亭三馬著・自序、四方歌垣主人序  
（1804）  
文化元序（風来山人）

江戸 西宮新六・萬屋太次右衛門  
※焉馬・三馬の著した「報條」等を集めたもの。

上冊末に「附録／賀談洲樓耳順／東都諸名家狂  
文」がある。下冊内題「<sup>戲文</sup>狂言綺語」。上冊本  
文前に三馬の著作の広告がある。上冊見返しに  
「壹番㊦」とある。

4—25キ12 大惣番号札剝落 20銭

33494 シンセン  
新撰 ココンヤクシヤタイゼン  
古今役者大全 一〜六 中6冊

八文字其笑・八文字瑞笑著・自跋、南圭梅花嶺老人  
跋、逸名序あり  
（1750）  
寛延3跋

江戸 鱗形屋孫兵衛（大傳馬町三丁目）、大坂  
正本屋九右衛門（高麗橋筋二丁目）、京 八  
文字屋八左衛門（麩屋町通誓願寺下ル）

※原題簽に「紀原巻」（一）、「園批点」（二〜四）、  
「故実巻」（五）、「系図」（六）と刷られている。



第5冊，末丁を欠く。

8—66コ2 大惣番号札剝落 1円75銭

- 33495 古今いろは評林 (卷之上・下)  
中1帙2冊を合綴1冊  
(1785)  
八文舎自笑著・自序，出生子序 天明5自序  
書肆不明  
※忠臣蔵の役柄について記す。巻頭内題の下に  
「藝品定」とある。両見返しに「ミミチカ」の  
朱印。

8—66コ1 大惣番号札剝落 50銭

- 33496 歌舞妓事始 一〜五 中1帙5冊  
カブキジシ  
爲永一蝶著・自跋，凌雲堂自笑序  
(1732)  
宝暦12序・跋・刊  
江戸 鱗形屋孫兵衛 (大傳馬町三町目)，京  
八文字屋八左衛門 (麩屋町誓願寺下ル町)  
※各冊内題下に「役者藝品定本元」とある。  
8—66カ1 ち千拾式全五 1円

- 33497 劇場画史 卷之天・卷之川 大1帙2冊  
ゲキヂャウグワシ  
流光齋如圭画，江南白舟序，緩久里序  
(1802) (1803)  
享和2序 (白舟)，同3刊  
大坂 盈香舎  
※上記冊次は目録による。後補墨書題籤では「乾」  
・「坤」。また各丁隅では「上」・「下」。見返し  
に「一番」と書込まれている。本書は「山水之  
部」で，第2冊末に「人物之部」「禽獸之部」  
「艸花之部」の予告がある。  
8—66ケ2 さ千六拾三 50銭

- 33498 三都 草の種 大1帙1冊  
サンガンノツシバキ クサノタネ  
戲場  
流光齋如圭画，八文舎自笑撰，呑舟道人序，洛の粹  
(1804)  
川土序 文化元序 (いずれも)・刊  
京 菊屋安兵衛，江戸 鶴屋喜右衛門，大坂  
塩屋喜助・塩屋長兵衛・八文字屋八左衛門  
※見返し内題の右に「役者百人一衆第二偏目」と  
ある。丹青刷の挿絵がある。末尾に書肆の広告  
及び「板元八文舎」の口上がある。  
8—66サ3 さ千七拾九全巻冊 30銭

- 33499 三都 役者 世代の接木 壹集〜五集  
サントヤクシヤ ヨ ヨ ノツギキ  
中1帙5冊

俳優堂夢遊著，狂言堂の主序

好遊堂

※役者の家系図。上記書名は見返しによる。原題  
籤は，壹・貳集「俳優世々の接木」，三・四集  
「俳優よゝのつぎき」，五集「俳優世々の接木」。  
上記書肆も見返しによる。各冊随所に「益誠堂」  
「轉豊堂」とある。粘葉装。国立劇場編『俳優  
世々の接木』(歌舞伎の文献8)の「解題」に  
(1859)  
よると，本書は安政6刊。

8—66サ4 か千五百八拾六 30銭

- 33500 増補役者用文章 中1帙1冊  
ゾウホヤクシヤウブンシヤウ  
曲亭馬琴 (著作堂主人) 著・自序，竹川隠逸愚人序，  
秀麿画，逸名跋あり (1813)  
文化10跋・刊  
江戸 中村屋幸蔵  
※末尾に書肆の広告がある。

8—66ヤ7 か千〇百四拾六 10銭

- 33501 劇場 三座例遺誌 中1帙1冊  
シバキイチラン サザレイシ  
一覽  
曲廬菴主人著 (1803)  
享和3刊  
江戸 上総屋忠助 (日本橋通四丁目)・伊勢屋  
忠右衛門 (麩町平川町老丁目)・尾張屋忠輔  
(本銀町四丁目)  
※上記書名は見返しによる。原題籤は角書を欠く。  
見返し内題の下に「全一冊」とあり，また原題  
籤にも「全」とあるが，巻末内題は「三座例遺  
誌前編」で，その前に「後編」の予告がある。  
原表紙の上に新しい表紙を施す。

8—66キ1 か千五百四拾〇 10銭

- 33502 役者必讀妙々痴談 前編上・下 中1帙2冊  
ヤクシヤヒツドクメウメウチダン  
三芝居士「口授」，玉虹老人「編次」，間嘗醉子序，  
神田村主東人序 (1833)  
天保4序 (間嘗醉子)  
書肆不明  
※下冊末に「後編」及び「續編」の予告がある。  
8—66ヤ3 か千五百式拾六 20銭

- 33503 役者妙々後夜の夢 上・下 中1帙2冊  
ヤクシヤメウメウゴ ヤ ノユメ  
(1833)  
三芝居士「編次」，兩國邊人序 天保4序  
書肆不明  
※上記書名は各冊原題籤による。内題は上下冊と

も「役者妙々後の正夢」。

8—66ヤ11 か千五百貳拾八〇 20銭

33504 シバキサイケン  
芝居細見 中1帙1冊  
(1833)  
香蝶楼國貞画 天保4刊

江戸 森屋治兵衛・山口屋藤兵衛

※題簽の役者絵は多色の彩色刷、挿絵は朱と薄墨。  
末尾に書肆の広告がある。柱書が「さいけん中」  
で、もと3冊本の第2冊。旧蔵者「婆心」の朱  
印がある。

8—66シ5 大惣番号不明 10銭

33505 トウトサンデヤウ ヤクシヤケイ  
東都 俳優臈  
三場 中他1冊と合1帙1冊  
(1803)  
東子樵客著・自序 享和3序・刊

江戸 堀野屋仁兵衛(本石町四丁目)・播磨屋  
新七(本銀町三丁目)

※上記書名は振仮名とも見返し内題による。原題  
簽「俳優臈初編」。また自序中で「俳優臈」に  
「はいゆうけい」と振仮名を附す。末尾に書肆  
の広告がある。挿絵は多色刷。33508と同帙。

8—66ハ2 か千五百三拾九〇 15銭

33506 ウキヨザフダン シバキジャウルリジツロク  
雲華 雑談 璃曲歌舞妓實録  
中(折本)1帙1冊  
(1855)  
狂言堂主人著・自序 安政2序

書肆不明

※上記書名は見返しにある序の題による。原題簽  
は「璃曲歌舞妓實録」、末尾に書肆の広告がある  
がそこでは「璃曲歌舞妓實録(じやうりかぶきじつろ  
く)」。一部多色刷。

8—66シ3 か千五百八番 15銭

33507 ナニハシソワ ナリヒサゴ  
浪花 新話 成瓢罩 中1帙1冊  
四阿家可辻著・自序、一勇齋國芳画

江戸 仙鶴堂鶴屋喜右衛門(通油町)

※上記書名は扉内題による。巻頭内題「浪花 成瓢  
罩」後補墨書題簽「なりひさご」。また巻末内  
題は「なにはばなし」で、扉内題の右にも「一  
名なにはばなし」とある。自序に「丑のとし」  
とあるが不明。

8—66ナ1 か千五百五拾三 10銭

サンシバキ ヤクシヤサンジフニサウ  
三 俳優卅二相  
戲 場 33508

中他1冊と合1帙1冊

歌川豊國画、東子樵客著・自序、曲亭子序

(1802)  
享和2序・刊

江戸 翫月堂(本石町)・畊書堂(通油町)

※上記書名は見返し内題による。原題簽は角書を  
欠く。序題「戲子卅二相點顔鏡」、巻末内題  
「俳優人相點顔鏡」。末尾に書肆の広告がある。  
挿絵は多色刷。33505と同帙。

8—66ハ3 か千五百五拾七〇 50銭

33509 ヤクシヤコンガウデン  
役者金剛傳 中1帙1冊

歌川國麿画、舎樂斎喜笑著

書肆・刊年不明

※多色刷。

8—66ヤ6 か千五百六拾〇 15銭

33510 ナカムラシクワントウドノセンベン  
中村芝翫 メウメウ キ ダン  
東都賤別 妙々戲談

上・下

中1帙2冊

南地亭金樂著・自序

(1834)  
天保5序・刊

大坂 河内屋太助・河内屋直助・秋田屋源兵衛、  
江戸 丁子屋平兵衛

※上記書名は見返し内題による。各冊巻頭内題は  
角書を欠く。原題簽は上下冊とも剝落。下冊末  
に大野屋の「養脾丸」の広告がある。

8—66ミ2 か千五百貳拾九 15銭

33511 ケヂヤウスイゲンマク ノ ソト  
戲場粹言幕之外 乾・坤 中1帙2冊  
式亭三馬(四季山人・游戲堂主人)著・自序・自跋  
(1806)  
文化3序

書肆不明

※滑稽本。

4—43ア13 か三百五拾貳 20銭

33512 サンシバキ キヤクシヤヒヤウバンキ  
三 客者評判記 初編上・中・下  
芝 居

横(13.0×18.5cm)1帙3冊

式亭三馬著・自序・自跋、八文舎自笑序、古今亭三  
鳥跋、楽亭馬笑跋、徳亭三孝跋、歌川國貞画

(1810) (1811)  
文化7自跋、同8序・刊

大阪 鹽屋長兵衛(心斎橋筋傳馬町)、江戸  
鶴屋喜右衛門(通油町)・鶴屋金助(田所町)

※上記書名は振仮名とも見返し内題による。中・下冊内題「<sup>花江戸</sup>客者評判記（かくしやひやうばんぎ）」。各跋に前後して三馬店の葉の広告などがある。また下冊末に「残編」の予告がある。見返しは多色刷の絵入り。

4—43ア8 か式百五拾式 40銭

アリノママキナカシバキ  
33513 見通鄙戯場 中1帙1冊  
柳陽舎蘭鶏著・自序・自跋、桜田氏序<sup>(1806)</sup>  
文化3序・跋・刊

大坂 相模屋仁右エ門（京橋弓町）  
※原題簽「<sup>前篇</sup>見通鄙戯場」。表紙に脇題簽の剝落跡がある。末尾に書肆の広告がある。滑稽本。  
4—43ア3 大惣番号札剝落 10銭

サハムラカガミ  
33514 澤村家賀見 中1帙1冊  
敷下堂波静著・自序、談洲樓焉馬校・序、楊柳亭跋、<sup>(1811)</sup>  
五渡亭國貞画 文化8自序・刊

江戸 永壽堂西村與八（馬喰町二丁目角）  
※原題簽「澤村かゞみ家譜」。裏見返しに「永壽堂藏書目録」がある。沢村宗十郎代々の伝。  
8—66サ2 〇五百四拾四 15銭

キナカシバキ ガクヤザフタン  
33515 田舎芝居 樂屋雑談 乾・坤 小1帙2冊  
七文舎鬼笑著・自序、鳥居清峯画、四方歌垣主人序、<sup>(1809)</sup>  
山東京山題言 文化6序・自序

江戸 西村屋與八（馬喰町二丁目南角）  
※巻頭内題は角書を欠く。上記冊次は後補墨書題簽による。内題では「上之巻」・「下之巻」。また坤冊末に「二編」の予告がある。乾冊表紙に「〇全二冊壹番」の札が貼られている。  
4—43ア7 か三百六拾壹 20銭

チュウウシツガラカメヒヤウバン  
33516 忠臣蔵岡目評判 中1帙1冊  
十返舎一九著、近松東南志序<sup>(1803)</sup>  
享和3序  
江戸 丸屋文右衛門（神田弁慶橋通）  
※絵入り。『国書総目録』に本書の改題本として「忠臣蔵樂屋問答」「忠臣蔵心実論」「忠臣蔵皮肉論」が挙がっている。  
4—43ア17 か五百廿六〇 10銭

シツセコトブキ シ テンワウオホサカイリ  
33517 出世 四天王大坂入 中1帙1冊

三文舎自休著・自序、八文舎自笑序<sup>(1815)</sup>  
文化12自序・序・刊

大坂 河内屋太助（心齋橋唐物町），江戸 鶴屋喜右衛門（通油町）・鶴屋金助（田所町）

※原題簽は角書を欠く。末尾に鶴屋金助の「雙鶴堂藏版書目」2丁，裏見返しに同じく鶴屋金助の「文化十三丙子新稗史目録」がある。「四天王」は市川市藏・中村松江・中村大吉・中村歌右衛門。

8—66シ2 か千五百四拾八 15銭

ヤラウバウシ  
33518 桮老妄誌 中1帙1冊  
金子淇水陳人著・自跋，金誰野客序，梅外序<sup>(1791)</sup>  
寛政3跋

「遊戯房藏版」

※上記書名は見返し内題による。原題簽「野蕩忘誌」，巻頭内題「野蕩妄誌」，巻尾に中下編の予告その他の出版物広告があるがそこでは「野老妄誌」。表紙右上に札があるが，読めない。

8—66ヤ10 か五百〇五 15銭

マスカガミアツモノオモカゲ  
33519 萬壽加賀見東俳 上・下 中1帙2冊  
南笠亭房丸著・自序<sup>(1815)</sup>  
文化12序

京 鉛屋安兵衛（寺町通御池上ル），江戸 鶴屋金助（田所町），名古屋 松屋善兵衛（本町十丁目），大阪 河内屋太助（心齋橋筋唐物町）

※上記書名は各冊原題簽による。各冊巻頭内題は「<sup>芝居</sup>萬壽加賀見東俳」。序題「吾妻俳」。下冊末に書肆の広告がある。

8—66マ1 か千五百式拾四〇 20銭

ナカムラシクワンアツマミヤゲ  
33520 中村芝翫<sup>カヘリザキナニハノウラウメ</sup>  
吾妻土產 返咲浪花の裡梅

中1帙1冊<sup>(1833)</sup>  
立川焉馬著・自序，歌川國貞画 天保4刊

江戸 永壽堂西村屋與八（馬喰町二丁目）

※末尾に書肆の広告がある。

8—66カ4 か〇五拾式 10銭

ラグラキヤウカ シバキヒヤクニンイツシュ  
33521 小倉 狂歌 戯場百人一首 中1冊  
諫鼓堂尾佐九著・自跋，勝川春亭画，式亭三馬序，<sup>(1819)</sup>  
鈍々亭和樽跋<sup>(1820)</sup>  
文政2序，同3刊

「鈍々亭藏版」，江戸 春松軒西宮新六  
※原題簽は角書を欠く。

8—66キ4 か千五百拾八㊦ 10銭

- 33522 クライセウ 久羅意抄 中1帙1冊  
葛葉散人(萬寿亭正二)著・自序、式亭三馬序・補綴、歌川國貞画  
(1811) 文化8序・「補綴成」、同10自序・「発販」  
(1813) 江戸 文刻堂西村源六(本石町四丁目)  
※上記書名は原題簽による。三馬の序の題は「蔵意抄」、末尾の書肆の広告中では「<sup>假名</sup>蔵意抄」。  
4—43ア12 か五百四拾弍 20銭

- 33523 カブキザフタン 歌舞妓雑談 中1帙1冊  
百戯園芝翫著・自序、獨醉舎國直画、花笠文京跋  
(1818) 文化15序・跋・刊  
大坂 河内屋太助(心斎橋筋唐物町)、江戸 鶴屋喜右衛門(通油町)・鶴屋金助(人形町通)  
※上記書名は見返し内題及び原題簽による。巻頭・巻末内題「<sup>李園叢書</sup>歌舞妓雑談」。末丁に鶴屋金助の「雙鶴堂藏版略目録」がある。  
8—66カ2 か千五百五十番 10銭

- 33524 テウウシングラジンプツヒヤウロン 忠臣藏人物評論 中1帙1冊  
扁屈道人著・自序 天明元刊  
(1781) 京 錢屋惣四郎(寺町通姉小路上ル)  
※末尾に旧藏者印。  
4—43ア18 か五百拾三 10銭

## 吉 原 物

- 33525 ヨシハラボウシ 吉原帽子 中1帙1冊  
煙花浪子著・自序・自跋  
書肆・刊年不明  
※従来、文化年間刊として扱われている。表紙に「酒」の小札あり。  
4—43カ42 わ百拾三㊦ 20銭

- 33526 ヒトメ センゲン 一目千軒 横(14.0×20.4cm) 1冊  
斜天・呑獅著、文車序、李秀序、しつはた跋  
(1757) 宝暦7序(文車・李秀)・刊  
「賣所」江戸 鱗形屋孫兵衛(大傳馬町三丁目)、

「板元」京 八文字屋八左衛門(麩屋町通誓願寺下ル町)

※京嶋原の細見。

3—47ヒ5 大惣番号札剝落 20銭

- 33527 コトシヤ ミセン 許都洒美撰 中1帙1冊  
志水燕十著・自序、四方山人序、朱楽菅江序、朋誠堂喜三二(物からのふあんど)序、耕書堂主人跋  
(1783) 天明3序(四方)・跋  
江戸 蔦屋重三郎(新吉原大門口)  
4—43カ11 〇拾五全 50銭

- 33528 クワクチュウイチラン 廊中一覽 中1冊  
墨江閣著、芦隠白舟序 享和元刊  
(1801) 大坂 富田屋利三郎(新町西口)・和泉屋卯兵衛(心斎橋北詰)  
(1759) ※宝暦9刊『浪花青楼志』の改題本。即ち、同書の漢序、漢後序、和序、目次を削り、芦隠白舟題の「廊中一覽序」を附す。  
3—47カ9 ち千〇五十弍 20銭

- 33529 オホサカシンマチサイケンノゾ 大坂新町 細見之図 落標 横(14.9×20.9cm) 1冊  
浪華散人著、二斗庵序、流石庵序  
(1783) 天明3序(二斗庵)・刊

江戸 須原屋茂兵衛(日本橋南一丁目)、京 野田藤八(二条通富小路西へ入)、大坂 和泉屋卯兵衛(心斎橋北詰)

※後補墨書題簽「みをつくし」。表紙に「大坂新町」の札あり。大坂新町の細見で、初版本は宝暦7。『浪華叢書』所収の初版本と比較すると、原ノ、李秀、浪華散人の序および撰府無名翁の跋を削り、二斗庵、流石庵の序を新たに加え、板元も異なる。本文においても、末尾「同(惣名寄)定紋」「曲輪名物」を削り、「芸者部類」を附す。寛政板の増補はこれをもたない。著者は『国書総目録』による。

3—47ミ11 大惣番号札原欠か 20銭

- 33530 セイロウクワイダントマノゴゲン 青樓快談玉野語言 中1帙1冊  
花山亭笑馬著・自序 文政5成  
(1822) 書肆不明  
※内題は「<sup>せいろうたまたまのごげん</sup>青樓玉語言」。洒落本。見返しに「鶴

賀新内」と書込みあり。

4—43カ23 わ百弍十七㊦ 10銭

33531 傾城買花角力 中1帙1冊  
ケイセイカヒハナ スマフ  
菊黄舎雲裡著・自序 文化元序  
書肆不明

※表紙に「洒」の小札あり。

4—43カ6 わ百弍十六㊦ 15銭

33532 孔雀染動記 中1帙1冊  
セイロウコンデ クジャクゾメキ  
山旭亭主人著・自序  
書肆・刊年不明

※従来、寛政年間刊として扱われる。後補墨書題  
簽「孔雀楚目喜(青樓小袖——)全」。

4—43カ4 わ百拾六番十二 15銭

33533 洞房語園 半1冊  
ドウバウゴエン  
庄司勝富著・自序 享保5序, 天保8写  
写本(八分舎自量写)

※板本に対して、吉原の沿革を叙述した、いわゆる  
「異本洞房語園」である。燕石十種所収本と  
比較すると、条の配列、本文共にかなりの異同  
あり。

3—47ト11 大惣番号札原欠か 20銭

33534 北州列女傳 一～五 半5冊  
ホクシュレツヂョデン  
色道軒莊司叟著、河南遊子井蛙序 宝曆6序・刊  
江戸 松屋庄吉・庄次郎(日本橋音羽町)

※口絵署名に「浪山」とある。

3—47ホ3 つ五百三十八 1円50銭

33535 廊中掃除 一～五 半1帙5冊を合綴1冊  
ダウセイ 富 クワクテユウサウヂ  
浪華 玉水館著・自序、皇京 盧橋庵校、荒陵燕房序、  
土卵序、長居小麻呂跋

文化3自序・序(いづれも)・跋、文化4刊  
(1806) (1807)

大坂 河内屋太助(心斎橋通)、京 著屋儀兵  
衛(三條通)・近江屋伊兵衛(油小路通)

※校者、盧橋菴(田宮仲宣)とあるが、玉水館は  
盧橋菴の仮名か。

4—43カ28 つ千三十七全五冊 50銭

33536 青樓和談 新造圖彙 中1帙1冊  
セイロウワダン シンゾウツネ  
和談

山東京傳著・自序・自跋 天明9序<sup>(1789)</sup>

江戸 蔦屋重三郎(日本橋通油町)

4—43カ20 か五百弍拾 50銭

33537 花街浪華今八卦 中1帙1冊  
クワガイ ナニハイマバツケ  
備四軒著・自序 安永2刊<sup>(1773)</sup>

大坂 合中堂

※「七情星の占」を附す。

4—43カ30 か四百五拾毫㊦ 10銭

33538 吉原大全 一～五 中1帙5冊  
ヨシハラタイゼン  
沢田東江著、酔郷散人序、鈴木春信画 明和5刊<sup>(1768)</sup>  
江戸 鱗形屋孫兵衛(大傳馬町三町目)・舟木  
嘉助

3—47ヨ3 大惣番号札剝落 2円50銭

33539 二筋道後篇 廓の癖 中1帙1冊  
フタスデミチコウヘン サトノクセ  
梅暮里谷義著・自序、國政画 寛政11序<sup>(1799)</sup>  
書肆不明

※初板本(寛政11刊)、部分的改刻本、改板本、  
改板本の覆刻本とある内、本書は改板本。

4—43カ15 大惣番号札剝落 10銭

33540 傾城買四十八手 中1帙1冊  
ケイセイカヒ シジフハツテ  
山東京傳著・自序 寛政2序<sup>(1790)</sup>  
書肆不明

※『洒落本大成』第十五巻解題にいう復刻本④に  
あたるが、中本形1冊に仕立ててある。猶、最  
終丁裏(京伝の発句)は裏表紙に貼り付けられ  
ている。改装によるものらしい。本書は寛政2  
初刊(蔦屋重三郎)であるが、再版本の刊年は  
寛政末以後とされるのみで、未詳。見返しに  
「④/百五十二号/一冊」(朱)の書込みあり。

4—43カ5 大惣番号札原欠か 15銭

33541 廓意氣地 中1帙1冊  
サトノイキヂ  
十返舎一九著、鯛糸依序 享和2凡例<sup>(1802)</sup>  
書肆不明

※本文内題には角書「倡客真話/傳受之巻」あり。

4—43カ14 わ百五十四全 15銭

33542 傾城買婦足鬻 中1帙1冊  
ケイセイカヒフタリカムロ  
成三樓主人著・自序 享和2刊<sup>(1802)</sup>

書肆不明

※自序に、「戊の初春」とのみある。刊年は『日本小説年表』に拠る。内題は「婦足髷(禿)」。

4—43カ9 わ百貳拾番 10銭

ケイセイカヒトラノマナ

33543 契情買虎之巻

中1帙1冊

田にし金魚著・自序

(1778)  
安永7序

書肆不明

※『洒落本大成』の解題には、1冊本として甲乙丙丁戊の5板を区別するが、本書はその内の丁板にあたる。初板は安永7刊。内題「當世とらの巻」。見返しに「㊦/百五十三号/一冊」(朱)の書込みあり。

4—43カ10 わ百 15銭

ツウゲントウシセン

33544 通言東至船

中1帙1冊

喜楽山人著、南東住東来山人序、富楽卿一盃跋

(1806)  
文化3刊

書肆不明

※著者は跋文に拠る。猪牙亭主人(三馬か)の題辭あり。刊年は『日本小説年表』に拠る。

4—43カ26 わ百拾九㊦ 15銭

フタスデミチサンベンヨヒノホド

33545 二筋道三篇霄之程 前半・後半

中他3冊と合1帙2冊

梅暮里谷峩著・自序

(1800)  
寛政12刊

書肆不明

※『洒落本大成』の解題によれば本書は初板正板本。但し本文25丁までを前半、26丁以下を後半に2分冊製本。表紙改裝。後補題簽は「霄之程傾城買二筋道三篇」とあるが、本来は「三篇二筋道霄之程」とあるはず。なお、上記書名は内題による。30434(4—43カ44)『楊弓一面大當利』3冊と合帙。

4—43カ43 大惣番号不明 15銭

セイロウココロエグサ

33546 青樓心得艸

中1帙1冊

(二世)蓬萊山人著・自序

(1857)  
安政4刊

書肆不明

※本書は山東京伝の『息子部屋』(天明5)の改竄本。表紙多色刷、挿絵は黒・青・浅葱の3色刷。

4—43カ24 わ百八拾番全 10銭

ケイセイカヒフタスデミチ

33547 傾城買二筋道 初篇

中他1冊と合1帙1冊

梅暮里谷峩著・自序・自跋、式亭三馬序 寛政10序

(1798)

書肆不明

※『洒落本大成』の解題にいう、乙板のA本乃至B本かと思われる。同帙の33652の『二筋道後篇廓の癖』と全く同体裁であり、同時に発売されたものと思われる。猶、初板の刊年は寛政10。33652参照。

4—43カ8 わ百六拾五 30銭

ショウキヤクアナガクモン

33548 倡客叢學問

中1帙1冊

十偏舎一九著・自序

(1802)  
享和2刊

書肆不明

※見返しに落書きあり。裏見返しに「御けせう下／御あらひこ／美艶香」の広告刷り物を貼付。

4—43カ18 大惣番号札剥落 15銭

カシクロクサブラウ

33549 六三郎 見通三世相 中1帙1冊

振鷺亭著・自序 寛政8刊

江戸 上総屋利兵衛(江戸橋四日市広小路南側万町)

※書肆・刊年は『洒落本大成』第16巻解題に推定する所に拠る。内題は「<sup>狂言</sup>見通三世相」。絵入り脇題簽あり。末尾に書籍目録2丁あり。

4—43カ39 わ百拾七㊦ 15銭

イウセンクツケムリノハナ

33550 遊仙窟烟の花 上・下 中1帙2冊

青樓薄倖の隠士著・自序、門人それがし(白露糖)跋

書肆・刊年不明

※『洒落本大成』第19巻の解題にいう中本2冊の後印本。初版の刊年は『大成』解題に享和2と考証あり。旧蔵の本屋印多数。

4—43カ41 わ百四拾三㊦ 10銭

## 俳 書

ハナヒグサタイゼン

33551 はなひ草大全

横(12.9×19.3cm)1帙1冊

- 33552 船軒著・自序 寛文5刊<sup>(1665)</sup>  
京 堺屋勝兵衛(寺町通)  
※見返しに「百七十二」(朱)の書込みあり。刊記  
「寛永五年乙巳正月吉日」とあるが、乙巳は寛  
文5。異本に寛文4の河野角之丞板があり、そ  
ちらによって著者が知られる。  
4—24ハ53 大惣番号札剝落 60銭

- 33552 ゾクヤマノキ 増山井 一・二・續山井 三〜七  
横(13.4×19.6cm)1帙7冊<sup>(1663)</sup>  
北村季吟・北村湖春著 寛文3成(増)、同7刊<sup>(1667)</sup>  
京 田中理兵衛(小川通一条上ル町)  
※前者が季吟著、一「春夏詞」、二「秋冬詞」。  
後者が湖春著、三「付句」、四「春發句」、五  
「夏發句」、六「秋發句」、七「冬發句」(附「作  
者并句数」)。句引の末尾に「友静考」とある。  
4—24ソ3 ち五百六十九共七 1円

- 33553 キヨライセウ 去来抄 上・中・下 半1帙3冊<sup>(1774)</sup>  
向井去来著、曉臺序、井上朗跋 安永3序、同4刊<sup>(1775)</sup>  
京 井筒屋庄兵衛・橘屋治兵衛  
※見返しに「百二十九」(朱)と書込みあり。大尾  
に「於暮雨巷 噫居士一音書」とある。上「先  
師評」、中「同門評」、下「修行数」より成り、  
『稿本去来抄』に存する「故実」を欠く。  
4—24キ4 れ七百七十巻全三冊○ 60銭

- 33554 オヒニツキ 笈日記 上・中・下 半1帙3冊<sup>(1695)</sup>  
支考編・自序 元禄8序・刊  
京 井筒屋庄兵衛(寺町二条上ル町)  
※芭蕉追善の句文集。上冊原題簽下部に「蔵」(朱)  
の書込みあり。  
4—24オ5 れ七百七十全三冊◎ 1円

- 33555 ハイカイミライキ 俳諧未来記 半1帙1冊  
夢太編、門人寸松斎周竹序、盤古・吐月・信夫跋<sup>(1765)</sup>  
明和2序・跋  
戸倉屋喜兵衛  
※見返しに「二百二十四」(朱)、旧蔵者「尾龍舎」  
(墨)書込みおよび朱印がある。「雪門俳書目録」  
3丁あり。芭蕉・嵐雪・其角三吟「両の手に」  
歌仙を掲げる他に、雪門の連句・発句を収める。  
4—24ハ45 大惣番号札剝落 15銭

- 33556 レキダイコツケイデン 歴代滑稽傳 半1帙1冊  
五老井許六著、門人治天・越蘭・孟遠・雲鈴跋<sup>(1715)</sup>  
正徳5跋

- 京 野田弥兵衛(寺町一条下ル町)  
※原題簽「<sup>(破損)</sup>傳 彦根」。本文は「歴代滑稽  
傳」「一枚起請」「俳諧指南」「辞世」より成る。  
許六没後の、門人達による刊行。裏見返しに  
「一月庵主人」と書込みあり。  
4—24レ1 大惣番号札剝落① 30銭

- 33557 カレヲバナ 枯尾華 上・下 半1帙2冊<sup>(1694)</sup>  
其角編 元禄7成  
京 「諸仙堂藏板」・井筒屋庄兵衛・橘屋治兵  
衛・浦井徳右衛門  
※其角の「芭蕉翁終焉記」および芭蕉追善の句文  
・連句集。  
4—24カ3 れ八百三十八全貳冊 40銭

- 33558 バセラクセン 芭蕉句選 上・下 半1帙2冊<sup>(1738)</sup>  
擲筆庵華鑑編・自序 元文3序、同4刊<sup>(1739)</sup>  
京 井筒屋庄兵衛(寺町二条上ル町)・同宇兵  
衛  
4—24ハ6 れ八百貳十全貳冊 60銭

- 33559 ハイカイ 俳諧 芋かしら 半1帙1冊<sup>(1727)</sup>  
新潟ノ僧一字編、此柱序、百阿入道跋<sup>(1749)</sup>  
享保12序・跋、寛延2写  
写本(百雉およびその兄柳阿井千箱写)  
※「むし焼や落葉衣のいもかしら(七里)」を立  
句とする一人一唱の百韻のほか、四季発句、い  
もがしらについての句文等を収める。書写者千  
箱の奥書あり。板本は享保12刊か。  
4—24ハ16 れ千三拾七全 20銭

- 33560 モモノカドデ 桃の首途 上・中・下 半1帙3冊を合綴1冊<sup>(1727)</sup>  
廬元坊里紅編、蓮二坊支考序 享保12序、同13刊<sup>(1728)</sup>  
京 橘屋治兵衛(寺町二条)  
※里紅が北陸路を行脚して各地で巻いた長歌行  
(48句連句)、短歌行(24句連句)、および各地  
俳人の発句を収める。  
4—24モ3 れ七百六拾七番三冊合 75銭

- 33561 キヨライモンダフ 去来問答 半1帙1冊  
森川許六著 元禄11成<sup>(1698)</sup>、宝暦13写<sup>(1783)</sup>  
写本（三州矢作村樸栄軒百龍写）  
※「自得發明辨」「同門評判」「再呈落柿舎先生梧  
右下」「俳諧自讃論」より成る。のちの天明5  
刊の『俳諧問答 青根が峯』の許六述の部分に相当す  
る。旧蔵者「玉照堂」の印あり。  
4—24キ5 れ千三十四 20銭

- 33562 ハイカイ アツメグサ 俳諧集草 半1帙1冊  
写本  
※俳諧に関する雑多な書留め。「負山子越人翁遺  
書」からの抜書き、植物などの俳諧語彙につい  
ての書留め、「住吉御法楽寛文四年林鐘朔日奉  
納」（和歌）、湖春著「俳番匠」から跋など抜書  
き、貞享5<sup>(1688)</sup>芭蕉発句「栗稗に」歌仙、「又或俳  
書の中に」書留め、也有曉梧兩吟「琴よりは」  
12句より成る。  
4—24ハ13 大惣番号札原欠か 20銭

- 33563 ハイカイアイウギシフ 俳諧奥儀集 半1帙1冊  
写本  
※奥書に「此書者元祖貞翁ヨリ貞室傳室季吟法師、  
法印傳濃之貞静軒、静傳其子六々庵、六々庵傳  
艸々庵、艸々庵ヨリ愚受之」とある。さらに  
「亥葉月吉辰／六々庵在判」の奥書あり。  
4—24ハ18 れ千参拾番全 15銭

- 33564 バセヲウブンシフ 芭蕉翁文集 半1帙1冊  
芭蕉著、蝶夢編・序、蝶醉跋 安永5序<sup>(1778)</sup>  
写本  
※上記書名は内題による。墨書題簽は「翁文章  
卡全」。版本からの写本。  
4—24オ2 れ千拾九 15銭

- 33565 ハイカイフミノオキジ 俳諧文乃置字 半1帙1冊  
著者未詳  
写本  
※内題「文之置字」。裏見返しに「加藤運為」の  
署名と朱印がある。本文中に朱の書込みあり。  
箴・伝・記などの文体の説明や、起伏・照応な  
どの「文法之傳」、色紙・短冊・書簡などの書  
き方を説く。

4—24ハ44 大惣番号札剝落 15銭

- 33566 バセヲダウカセンツ 芭蕉堂歌仙図  
所在不明  
4—24ハ11 10銭

- 33567 キヤウブンコ 京文庫 大1帙1冊  
天明7ごろ写<sup>(1787)</sup>

写本（花イ写）

※罫線入りの用紙を使用。俳諧（とくに発句多）  
を主とした雑多な書留め。本文中に「天明未冬  
霜月於落芭蕉堂 花イ片時写之」とみえる。見  
返しに「香雪」なる人の書込みあり。  
4—24キ7 れ千三拾貳全 25銭

- 33568 バセヲヲウギヤウジヤウキ 芭蕉翁行状記 半1帙1冊  
路通著・編、硯田舎紀逸序 宝暦2写<sup>(1752)</sup>  
写本  
※いわゆる紀逸本（寛延4再版本＝江戸 榎田和泉町  
鶴本平蔵梓）からの写本。（初刊は元禄8。）路  
通による芭蕉追善句文集。  
4—24ハ3 れ千貳拾番全 5銭

- 33569 ラクシンヤタビネハイロン 落柿舎旅寝俳論 半1帙1冊  
向井去来著・自序 元禄12序<sup>(1699)</sup>  
写本  
※朱の訂正が入っている。巻末に「伯父弄蛾より  
拙子に」ゆずられた旨、朱で記す。「訥叟居士」  
ともある。「素」の朱印あり。一名「旅寝論」。  
4—24タ3 大惣番号札剝落 10銭

- 33570 ハイカイバセヲダン 俳諧芭蕉談 乾・坤 半1帙2冊  
釋文曉編・自跋、湖東美松山人亜溪序 享和2跋<sup>(1802)</sup>  
京 菊舎太兵衛（三条通寺町西）  
※上巻前半は『去来抄』故実篇と一致する。卯七  
の稿本を公刊したものとは跋文にいうが、疑わし  
い。玉屑序でなく亜溪序であり、後刷本と見ら  
れる。朱の書込みあり。柱書「芭蕉談」。菊舎  
の「蕉門俳諧書目録」3丁あり。  
4—24ハ40 れ八百拾八全貳冊 35銭

- 33571 オキナクカイ 翁句解 半1帙1冊  
著者未詳  
写本



※青筆による校合あり。末尾に「寛政二年庚戌冬十一月十三日土来ヨリ借校合之」という。『国書総目録』には「オキナクゲ」として出る。

4-24オ1 れ千廿六番全 10銭

ハイカイシヤリウキタン  
俳かい ユメノカケヘン  
33572 しや流 游女迺加布波誌  
奇たん

乾・坤 半1帙2冊

行過大人著、語免名齋校・跋、南庭茂生序  
(1833) (1834)  
天保4序、同5刊

「穴栗園蔵版／竹里館壽梓」

※原題籤は「俳諧者流 奇談夢之棧」。口絵あり。「蘭更呵蒼虬」など9話から成る。

4-24ハ26 れ八百四十八全式冊 30銭

ケウタイクシフ  
33573 曉臺句集 上・下 半1帙2冊  
土朗序、臥央跋・編 (1809)  
文化6跋

名古屋 風月堂孫助(本町一丁目)・吉田屋惣吉(杉之町)・松屋善兵衛(本町十丁目)

※内題「曉臺先生發句集」。

4-24キ6 十式全式冊 50銭

オクノホソミチスガゴモセウ  
33574 奥細道菅菰抄 (上)・下 半1帙2冊

越前丸岡義笠菴梨一著・自序、青島山樵序、應堂上人序、蝶夢跋 (1778)  
安永7刊

江戸 山崎金兵衛、大坂 河内屋茂兵衛、京 井筒屋庄兵衛・橋屋治兵衛

※刊記に同書の「附録」を予告するが刊行に至らなかった。「附録」稿本は『未刊連歌俳諧資料』におさめられている。

4-24オ3 れ八百四十六全式冊 50銭

モモヌスピト  
33575 桃盗人 上・下 半1帙2冊  
砥波山柳士編、賀城趙北枝序 (1708)  
宝永5刊

京 かしわや勘右衛門(寺町二条下ル)

※下冊第25～28丁を筆写により補う。見返しに「七十二」(朱)の書込みあり。上冊は、歌仙2、五十韻1、半歌仙1、名月・桃発句。下冊は四季発句集。柏屋の「蕉門俳書目録」1丁あり。

4-24モ2 れ八百四十三全式冊 50銭

オニツラクセン  
33576 鬼貫句選 上・下 半1帙2冊  
不夜菴太祇編・序、三葉軒蕪村跋

(1768) (1769)  
明和5序、同6跋

京 橋治(寺町二条下)

※上冊は四季発句集、下冊は元禄3の自跋をもつ「禁足旅記」。蕪村跋に「例の気みしかなる板もとは八文字屋自笑也」とあり、初版は八文字屋か。句文は「仏兄七久留方」(鬼貫自撰集)からの抄出。

4-24オ4 れ八百三十六全式冊 50銭

ヒトリゴトシフ  
33577 獨言集 上・下 半1帙2冊  
鬼貫著、以敬斎長伯序、紫野巨妙字跋 (1718)  
享保3跋  
写本

※俳論。版本からの写本。卷末に「誹諧書籍目録／京二条通富小路西へ入町／橋枝堂野田藤八板行」として目録あり。

4-24ヒ2 れ千式 20銭

クラジツトシナミクサ  
33578 華實年浪草 春之部・夏之部・秋之部  
各卷之一～卷之四・冬之部卷之一～卷之三  
半2帙15冊

油幕菴木雁子胤文著・自序(天明元)、金嶽并能卿序(安永10)、蓼太序、蝶夢跋 (1781)  
天明3刊  
「三餘齋蔵板」京 山本平左衛門・吉田四郎右衛門・勝村治右衛門・野田藤八・伊勢屋庄助、大坂 野田治兵衛・河内屋太助・日野屋彦左衛門

※上記書名は原題籤による。各卷内題「華実年浪草三餘抄」。卷末に胤文の「回向文」を附す。「三餘齋」は胤文の号。季寄せ。

4-24カ1 そ五百三全十五 1円80銭

バクリンシフ  
33579(1) 麦林集 上・(中)・下  
縦長(24.8×14.7cm)(2)とも1帙3冊  
麦浪校・跋、藤羽林序

上冊は版本からの写本、中・下冊は版本で、京 橋屋治兵衛(寺町二条)、江戸 辻村五兵衛(浅草御堂前)

※上・中が四季発句、下が神祇・名所・画讃・悼および「自遁庵之記」。後篇については(2)参照。中・下冊に「松氏□角」朱印あり。麦浪は麦林(乙由)の子で、本書は麦林没(元文4)後の刊。

4-24ハ50 れ七百六十四番前三 (2)共1円25銭

33579(2) 麦林集後篇 乾・坤  
バクリンシフコウヘン  
 半(1)とも1帙2冊  
 五々斎素道編・序、麦浪跋 宝曆9序  
 勢州山田 藤原長兵衛、京 橋屋治兵衛(寺町  
 二条), 江戸 辻村五兵衛(浅草御堂前)  
 ※正篇については(1)参照。麦林の付合集。歌仙2  
 巻を収める。  
 4-24ハ50 れ七百六拾五番後式

33580 俳諧結制集 半1帙1冊  
ハイカイケツセイシフ  
 婦空房編・自序 寛政9序・刊  
 京 津田傳藏(油小路松原上ル町)  
 ※内容は、短歌行3巻・諸国高点句・秀逸吟・歌  
 仙1巻、名録(発句集)。題簽に「朧菴再和房  
 十三回忌」と書込みあり、これは本書所収の歌  
 仙についての記事。  
 4-24ハ19 れ九百五拾式 15銭

33581 焦尾琴 中1帙1冊  
セウビキン  
 其角編・自序、午寂跋 元禄14序、宝曆9写  
 写本  
 ※版本は風・雅・頌の半3冊で、本書は雅巻を欠  
 き、題簽に「風・頌」と書込みあり。奥書「右  
 焦尾琴二冊板行本也 依北暮水野有子借需而写  
 之為合一帖者也/宝曆九<sup>己卯</sup>卑月下浣」とある。  
 4-24シ6 れ千拾老 10銭

33582 三草紙 白さうし・赤冊子・黒さうし  
サンザウシ  
 半1帙3冊  
 服部土芳著 刊年不明  
 江戸 西村源六、伊州 内神屋三四郎、京 井  
 筒屋庄兵衛・野田治兵衛・西村市郎右衛門・吉  
 田九郎右衛門  
 ※「黒さうし」は原題「忘水」。安永5初刊本に  
 ある蘭更序を欠く。  
 4-24ミ1 れ七百七十二全三冊 75銭

33583 泊船集 上・下 半1帙2冊  
ハクセンシフ  
 風國編・自序 元禄11序・刊  
 京 井筒屋庄兵衛(寺町二条上ル町)  
 ※中冊(巻三・四)を欠く。大惣印なし。  
 4-24ハ49 大惣番号札原欠か 30銭

33584 類柑子 上・中・下 大1帙3冊  
ルイカウジ  
 貴志沾州ら編、沾徳跋 享保4刊  
 江戸 万屋清兵衛(日本橋南一丁目)  
 ※其角追悼集。宝永4初刊。本書は十三回忌再刻  
 本。内題「類柑文集」。上・中冊は其角遺稿、  
 下冊は追悼句文集。  
 4-24ル1 ふ七百三拾式共三 2円

33585 淡々文集 前篇一〜三 大1帙3冊  
タンタンブンシフ  
 淡々著、玉舟序、亀毛序、鳥林跋、富天ら編  
 寛保元序(いずれも), 同2刊  
 大坂 梁瀬傳兵衛(心齋橋筋北久太郎町南江入)  
 ※文章30篇を収める。第1冊表紙に「〇〇百十  
 一」の小札あり。  
 4-24タ5 ふ七百三拾四 2円

33586 風俗文選 一〜五 大1帙5冊  
フウゾクモンゼン  
 五老井許六編・自序・自跋、李由序、去来序、支考  
 序 宝永元序(去来・支考), 同2自序, 同3跋  
 京 野田治兵衛尉(二条下寺町)  
 ※扉のみ書名「本朝文選」。初版は井筒屋による  
 9冊本で、それに比すと、序題・各巻内題の  
 「本朝文選」の文字が「風俗文選」に改刻され、  
 路通の「返店文」が削られている。  
 4-24フ8 大惣番号札剝落 75銭

33587 和漢文操 一〜七 大1帙7冊  
ワカンブンサウ  
 支考編・自序、渡吾仲序 享保8序, 同12刊  
 京 橋屋治兵衛(寺町通二条下ル町)  
 ※扉の裏に「獅子菴遺稿」とある。俳文集。本書  
 の附録として33631『和漢百苕賦』がある。橋  
 屋の目録あり。  
 4-24ワ1 ふ七百拾老全七 75銭

33588 李撰文撰 上・下 大1帙2冊  
リセンモンゼン  
 廿六味・柳錦亭交櫻・有李堂桃溪著・3者に個別の  
 序あり、交櫻・桃溪編、皐月平砂跋  
 宝曆11序(桃溪)・跋, 同12刊  
 京 井筒屋庄兵衛(寺町通二条上ル町), 大坂  
 辻本九兵衛(心齋橋筋安堂寺町), 江戸 辻  
 村五兵衛(浅草御門跡前)・近江屋藤兵衛(通  
 本銀町貳丁目)・岩井屋理兵衛(柳原新シ橋富  
 松町)

※六味・交櫻・桃溪の俳文集。全4巻39篇。上册  
表紙に「□百七十二」の小札あり。

4—24リ1 ふ七百五拾七全式 70銭

- 33589 <sup>ホンテウブンカン</sup> 本朝文鑑 首之一・二之三・四之五・  
六之七・八之九 大1帙5冊  
支考編・自序・自跋 <sup>(1717)</sup> 享保2序, 同3跋 <sup>(1718)</sup>  
江戸 小川彦九郎(日本橋南二丁目), 京 野  
田治兵衛(寺町押小路橋屋)  
4—24ホ4 大惣番号札剥落 75銭

- 33590 <sup>ハイカイジフロン</sup> 俳諧十論 乾・坤 大1帙2冊  
支考著・自序 <sup>(1719)</sup> 享保4成  
書肆不明  
4—24ハ27 大惣番号札剥落 30銭

- 33591 <sup>シウフウアンブンシフ</sup> 秋風菴文集 乾・坤 大1帙2冊  
秋風菴月化著, 長春菴桃秋編, 昭陽龜井昱序(文政  
10), 錫城罷士序, 蒼北序(天保3), 姪建跋, 肖染  
人跋(天保4), 宜春亭玉来跋(文政6) <sup>(1827)</sup> <sup>(1832)</sup> <sup>(1823)</sup> <sup>(1833)</sup> <sup>(1823)</sup>  
天保11刊  
「豊後日田 秋風菴藏板」, 大坂 塩屋忠兵衛(心  
斎橋北久太郎町南)  
※見返しに「即淨居士遺文」とある。

4—24シ4 ふ七百五拾式全式 50銭

- 33592 <sup>ハイカイダイイチギシフ</sup> 俳諧第一義集 乾・坤 大1帙2冊  
半瓢子鼻中庵三力著・自序, 相楽山樵子跋 <sup>(1783)</sup> <sup>(1790)</sup>  
天明3序・跋, 寛政2刊  
「社中藏」, 京 井筒屋庄兵衛・野田治兵衛  
(寺町通二条下ル町), 江戸 山崎金兵衛(本  
石町十軒店), 大坂 渋川清右衛門(心斎橋筋  
順慶町)  
※序題「第一義集」。俳論書。

4—24ハ38 ふ七百五拾八 50銭

- 33593 <sup>ヒヤクヤモンダフ</sup> 百夜問答 乾・坤 大1帙2冊  
涼袋(建部綾足)著, 桃林編・序 明和2序・刊 <sup>(1765)</sup>  
参河屋半兵衛・吉文字屋次郎兵衛  
※内題・序題・柱書「片歌百夜問答」。乾冊表紙  
に「□百七十五」の小札あり。  
4—24カ2 ふ七百四拾番 60銭

- 33594 <sup>ハイカイ</sup> <sup>ソクゴケンシフ</sup> 俳諧續五元集 上・中・下  
大1帙3冊

旨原編・序

大坂 文貨堂

※其角の年代順附合集。『俳諧大辞典』には宝暦  
2刊, 江戸 前川六左衛門板とある。

4—24ハ36 ふ七百五拾八共三 1円

- 33595 <sup>バセヲラウシンセキシフ</sup> 芭蕉翁真跡集  
特大(28.5×19.8cm) 1帙1冊  
桃鏡編, 蓼太序 <sup>(1764)</sup> 明和元序

写本

※板本からの写本。

4—24ハ4 ふ七百九拾五全 30銭

- 33596 <sup>シチブオホカガミ</sup> 七部大鏡 序・一〜七 中1帙8冊  
月院社何丸著, 鵬齋老人序(文化6), 士朗序(同  
7), 月居序(同14), 梅室序(文政2)ほか多数の  
序あり, 中敬斎跋, 弁地跋(同3) 文政6刊  
京 浦井徳右衛門(中立売堀川東江入)・野田  
治兵衛(寺町通二条下ル町), 江戸 野田七兵  
衛(日本橋通二丁目)  
※第1冊は序・凡例などを収める。第2冊以下原  
題簽は, 七部集の書名「冬の日」「初懷紙」「春  
の日」「曠野井員外」「ひさこ」「猿蓑」「炭使」。

4—24ハ25 ち五百三拾式全八 1円

- 33597 <sup>バセヲソデザウシ</sup> 芭蕉袖草紙 (上)・下・發句部  
横(12.2×18.3cm) 1帙3冊  
花屋菴奇淵編 <sup>(1811)</sup> 文化8凡例・刊  
江戸 西村源六・角丸屋基助・須原茂兵衛, 京  
浦井徳右衛門・菊舎太兵衛・野田治兵衛, 大  
坂 平野屋宗七・秋田屋太右衛門・布屋忠三郎  
・塩屋平助・塩屋忠兵衛・藤屋徳兵衛・敦賀屋  
久四郎・今津屋辰三郎・藤屋善七  
※上・下冊は芭蕉の連句集。卷末に塩屋平助(心  
斎橋南久宝寺町)の板行目録を附す。

4—24ハ54 ち五百七十六 65銭

- 33598 <sup>バセヲラウツケヒシフ</sup> 芭蕉翁附合集 上・下 小1帙2冊  
蓼太編・自序, 宜麦・阿人校 <sup>(1776)</sup> 安永5序  
大坂 塩屋忠兵衛(心斎橋筋北久太郎町南へ入)  
※『俳諧大辞典』には西村源六板・中本とある。

巻末に塩屋の板行目録を附す。

4—24ハ10 ほ三百五拾五 20銭

- 33599 <sup>パセラウシテシヨ</sup>芭蕉翁七書 上・中・下 小1帙3冊  
佐野石兮編・自序, 月居序 享和元自序, 文化12刊  
大坂 河内屋嘉七(心斎橋通久宝寺町)  
※書肆, 見返しでは河内屋と京 橋屋治兵衛とが  
並記されている。目録題「蕉門七書」。七書と  
は, 行脚掟・二十五条・十六篇・句合・嵯峨日  
記・奥細道・發句集。

4—24ハ8 ほ三百四拾五全三 40銭

- 33600 <sup>ハイカイシチブ シフ</sup>俳諧七部集 上・下 小1帙2冊  
子周編, 誓者水母散人序, 大鵬館主人跋  
(1774) 安永3跋・初刊, 文化5再刊 (1808)  
京 野田治兵衛・浦井徳兵衛・筒井庄兵衛  
※春の日・冬の日・ひさご・炭俵・猿蓑・續猿蓑  
・阿羅野の順に収める。巻末に「俳諧書籍目録  
諸仙堂蔵板」あり。

4—24ハ22 ほ三百三拾八〇 20銭

- 33601 <sup>ハイカイゾクシチブ シフ</sup>俳諧續七部集 上・下 小1帙2冊  
芭蕉堂蘭更編・自序 (1795) 寛政7序, 享和3刊 (1803)  
大坂 奈良屋長兵衛, 京 井筒屋庄兵衛・橋屋  
治兵衛  
※上「深川集」「卯辰山」「勾塞」「刀奈美山」, 下  
「有磯海」「芭蕉庵小文庫」「千鳥掛集」を収め  
る。序題「續七部集」。

4—24ハ37 ほ三百四十式 25銭

- 33602 <sup>ハイカイシチブ シフ キ</sup>俳諧七部拾遺 (上)・下 小1帙2冊  
其成編 (1802) 享和2初刊  
京 菊舎太兵衛(三條通寺町西へ入)  
※上「初懷紙」「野ざらし紀行」「(熱田)三歌仙」  
「一はし」「桃の実」「初便」, 下「其袋」を収  
める。後刷改題本。『俳諧大辞典』の「七部拾  
遺」項によれば, 初刊本は自序・蒼虬序・獲車  
跋をもつという。

4—24ハ24 ほ三百四十巻 25銭

- 33603 <sup>ハイカイ</sup>俳諧 <sup>フソシチブ シフ</sup>蕪村七部集 上・下 小1帙2冊  
月溪序 (1808) 文化5序, 同6刊 (1809)  
京 浦井徳右衛門(中立賣堀河東へ入町)・平

野屋善兵衛(室町一条下ル町)・橋屋治兵衛  
(寺町二条下ル町)・河南儀兵衛(三条寺町西  
江入町)

※『俳諧大辞典』には「菊屋太兵衛ら編」, 文化  
5刊とする。上「其雪影」「あけがらす」「續あ  
けがらす」, 下「桃李」「五車反古」「一夜四唸」  
「花鳥篇」を収める。

4—24フ1 ほ三百四十三 30銭

- 33604 <sup>ハイカイ</sup>俳諧 <sup>キカクシチブ シフ</sup>其角七部集 上・下 小1帙2冊  
西村源六ら書肆の編, 夜半亭几董序, 蘭更跋  
(1787) 天明7序・刊, 同8跋 (1788)

江戸 西村源六, 京 中川藤四郎・菊舎太兵衛  
・鍵屋仁右衛門・野田治兵衛

※上「虚栗集」「新山家」「たれが家」「續虚栗集」,  
下「俳諧錦繡段」「萩の露」「花つみ」を収める。

4—24キ1 ほ三百三十五全式 50銭

- 33605 <sup>テイシウソウリン</sup>鼎州 <sup>モシホブクロ</sup>藻鹽囊 一〜五 半1帙5冊  
菊岡米山翁沾涼著・自序, 雪中庵吏登跋 宝曆4刊  
(1754)

大坂 吉文字屋市兵衛(心斎橋南四丁目), 江  
戸 同次郎兵衛(日本橋通三町目)

※初版は寛保3刊。諸家発句を挙げて「句中の因  
みある所のからのやまとのこと種を」(序)記し  
たもの。原題籤・各巻内題「藻鹽袋」。各冊柱  
書は「藻鹽袋」。

4—24モ1 大惣番号札破損 35銭

- 33606 <sup>ユキノシラカハ</sup>雪白河 乾・坤(上・下) 半1帙2冊  
魯九編, 六々庵巴静序 (1727) 享保12序

京 橋屋治兵衛(寺町押小路)  
※享保11に魯九が北陸から奥州をめぐったときの  
各地俳人の発句(乾冊), 連句(坤冊)を収め  
る。

4—24ニ1 れ八百式十八全式冊 60銭

- 33607 <sup>ハイカイサイビシラリ</sup>俳諧寂癸 天・地・人 半1帙3冊  
白雄坊著, 拙堂増補, 如泥齋主人序, 定雅序, 大窪  
詩佛序 (1812) 文化9序(如泥齋・定雅)・刊

江戸 葛屋重三郎(通油町)・西村源六(本石  
町)・鶴屋金助(田所町)

※俳論書。柱書「さひしをり」。見返しに墨書で  
内容を紹介, 更に「百七十六」(朱)の書込みあ

り。

4—24ハ21 れ七百七十六全三冊 60銭

- 33608 <sup>ハイカイ</sup>俳諧 <sup>キンセイホツ クリダイシフ</sup>近世發句類題集 春・夏・秋・冬 半1帙4冊  
(1820)  
江戸雀堂來曾編、石津亮澄序 文政3序・刊  
大坂 吉文字屋市右衛門・秋田屋太右衛門・塩  
屋忠兵衛・河内屋儀助・河内屋源七郎

4—24キ8 れ七百四十七全四冊 75銭

- 33609 <sup>バセララウツ ダモノガタリ</sup>芭蕉翁頭陀物がたり 半1帙1冊  
(1751)  
涼袋著、武城吸露菴序、浪花洛橋跋 寛延4序・跋  
京 井筒屋庄兵衛 (寺町二條上ル)  
※本文巻頭内題は「蕉門頭陀物かたり」。蕉門諸  
俳人の逸話26編を収める。

4—24シ8 れ九百四拾番全 35銭

- 33610 <sup>ビ ハ エンズイヒツ</sup>枇杷園隨筆 半1帙1冊  
士朗編、曙莽秋學序、大菰序、五道跋、五道・秋學  
(1810)  
・大菰校 文化7刊  
書肆不明  
※芭蕉の書簡など28項目より成る。

4—24ヒ1 れ九百式十壹全／七部集之内 30銭

- 33611 <sup>ハイカイウモレギ</sup>俳諧埋木 半1冊  
(1656) (1673)  
北村季吟著 明暦2成、延宝元刊  
京 ※参照 (寺町二條上ル町)  
※書肆名のみ削除されているが、井筒屋庄兵衛の  
はず。見返しに「百十七」(朱)の書込みあり。  
題簽剝落。

4—24ハ17 大惣番号札剝落○ 40銭

- 33612 <sup>キリヒトハ</sup>梧一葉 半1帙1冊  
芭蕉菴桃青著、紫野居士敬雨序、四時庵紀逸序、千  
(1731) (1796)  
之跋 享保16初刊、寛政8再刊

秋田屋徳右衛門

※後補墨書題簽「俳諧梧一葉」。見返しに「百四  
十」(朱)と書込みあり。俳論。芭蕉著は存疑。

4—24ハ20 れ九百拾老全○ 35銭

- 33613 <sup>ハイカイモンダフ</sup>俳諧問答 一〜五 半1帙5冊  
去來・許六著、竹巢月居序  
(1698) (1800)  
元禄11成、寛政12序・刊

京 野田治兵衛 (寺町通二条)、江戸 前川六  
左衛門 (日本橋通三丁目)、大坂 高橋平助  
(心齋橋筋南九宝寺町)・川端徳兵衛 (心齋橋  
筋北久太郎町藤屋)・忒本半右衛門 (天満十丁  
目筋又次郎町平野屋)・村田久左衛門 (天神橋  
壹丁北袴屋)

※内題「俳諧問答」。初刊は天明5の『青根が峰』。  
(1785)

4—24ハ46 れ七百貳拾五全五冊 1円

- 33614 <sup>ハイカイセセツ</sup>俳諧世説 一〜五 半1帙5冊  
(1785)  
蘭更著・自序 天明5序・刊  
京 菱屋孫兵衛 (御幸町通姉小路上ル町)・林  
権兵衛 (寺町通二條下ル町)・大和屋吉兵衛  
(駄屋町通三條上ル町)・菊舎太兵衛 (三條通  
御幸西へ入町)、大坂 塩屋忠兵衛 (心齋橋筋)  
※蕉門の逸話集。

4—24ハ35 れ七百貳拾六全五冊 50銭

- 33615 <sup>セウラウデンキ</sup>蕉翁傳記 半1帙1冊  
写本  
※蕉翁傳記・熱田三歌僊・一井亭歌仙・竹葉軒歌  
仙・別座敷歌仙・杉風亭歌仙・楚舟亭歌僊・餞  
別之句・霏歌仙・初氷歌仙・初時雨可清舞・月  
見歌仙 (以上「目録」による)より成る。終丁  
に「俳諧系圖上」をしるす。

4—24シ5 れ千貳拾番 10銭

- 33616 <sup>ハイカイスミダハラシフ</sup>俳諧炭俵集 上巻 (建)・下巻 半1帙2冊を合綴1冊  
(1694)  
野坡・孤屋・利牛編、素龍序 元禄7序・奥書  
写本  
※扉に「すみたはら建」、序題「炭俵序」、上巻内  
題「俳諧炭俵集上巻」、下巻内題「俳諧炭俵下  
巻」。

4—24ハ34 れ千三拾八全 15銭

- 33617 <sup>ゾクカレ ラ バナシフ</sup>續枯尾花集 半1帙1冊  
(1793)  
嶺雲編、蘭哉序、坐朝跋 寛政5序

京 橘屋治兵衛 (寺町通二条)

※九州北部俳壇の連句・発句集。芭蕉百回忌追善。

4—24ソ1 れ八百三十九全老冊 25銭

- 33618 <sup>ハイカイシンケウ ノ ベン</sup>俳諧心教之辨 半1帙1冊  
(1746) (1753)  
勇月堂二南斎智角序・跋 延享3序、宝暦3跋

写本

※巻末に「加藤運為」の署名と朱印あり。書写者か。智角による俳諧之法のおぼえがきを門人に写させたもの。

4—24ハ32 れ千廿一番全 20銭

33619 シヤウフウロンナラビニホシツキョシフベンナン  
正風論並 星月夜集辨難

半1帙1冊

(正風論) 猩々庵原松著、松阿校、(星月夜集辨難)

松声・松佐著・自序 元文5刊

京 平楽寺村上勘兵衛(二条通車屋町東南角)

※前年に出された原松編『星月夜』への論難書

『十五夜』に対する答駁書。原題籤上記の通り。

(1789) 裏見返しに寛政元の「梅琳斎里鶯」の署名あり。

4—24シ7 れ九百拾三全 25銭

33620 フデノブタイ  
筆の舞臺 上・下

半1帙2冊を合綴1冊

千載堂丈石編、四時堂其諺序、芦花翁知石序

(1735) 享保20序

書肆不明

※後補墨書題籤には、もと誤って「野馬臺集 全」とあった。

4—24ヤ1 れ九百拾全 50銭

33621 ハイカイシンシキモク  
俳諧新式目 半1帙1冊

御溝水頭白梅園主 鶯水著・自序・自跋、洛陽書林 柏屋種充跋 (1698) 元禄11跋

京 山岡四良兵衛(二條通清明町)・中西卯兵衛(建仁寺町四条下ル町)

※序題・目録題「俳諧新式」。墨書題籤「俳諧新式」。大惣印なし。柏屋の跋は「新式或問」と題す。一名「俳諧大成しんしき」。

4—24ハ33 大惣番号札原欠 30銭

33622 パンカジンメイロク  
萬家人名録 初篇・二篇～五篇

大1帙5冊

柿耶丸長斎編、白雀園米彦校、雪峰永井大次郎画、

序跋は※参照 (1812) (1813) 文化9序・跋、同10刊

「柳壺蔵版」、大阪 獻可堂鹿嶋忠兵衛、京

橘栄堂勝田善助・懷玉堂野田治兵衛

※俳人名鑑。600余名の図像・像賛・小伝。如泥序および運令舍序、成美序、巢兆序、志字序、瑞馬序および樗堂跋が各冊に配され、いずれも

文化9。

4—24ハ51 さ九百式拾巻 2円

33623 バセヲウブンダイノヅ  
はせを翁文臺図 大1帙1冊  
水上亭桃鏡編、蓼太序、五斤跋 (1762) 宝暦12序

写本

※版本からの写本。板本の書肆は、京 井筒屋庄兵衛(寺町二条上ル町)、大坂 柏原屋清右衛門(心斎橋筋順慶町)、江戸 戸倉屋喜兵衛(日本橋通二丁目)・辻村五兵衛(浅艸御堂前)。文台図、賀庭百韻、賀庭発句より成る。

4—24ハ5 ふ七百九拾四全巻 10銭

33624 ハイカイジフロンシユウギ  
俳諧十論衆議 大1帙1冊  
信杖坊著・自序 (1766) 明和3刊

京 野田治兵衛(寺町押小路橋屋)

※著者は、越新城の人、画式菴。支考の『俳諧十論』を論ず。柱書「十論衆議」。

4—24ハ31 ふ七百九拾式 35銭

33625 ナンボクシンワ  
南北新話 乾・坤 大1帙2冊を合綴1冊

吸露菴涼袋著、法橋百川序、麦湖樓主人跋 (1748) 延享4序、同5跋

「桐原倅梓」、江戸 梅村宗五郎(日本橋南三町目)・江北源兵衛(浅草本木町)・吉田善兵衛(通油町南新道)、京 井筒屋庄兵衛(寺町二条上)

※原題籤「俳諧南北新話」。俳論。

4—24ハ39 ふ七百五拾五 50銭

33626 ハイカイユメノアト  
俳諧夢之蹤 上・下・附録 大1帙3冊

文樵編・自跋、津金胤臣序、六林跋 (1784) (1785) 天明4序・跋、同5刊

名古屋 風月堂

※横井也有追悼集。上冊は也有の像と「七景記」と画賛。下冊・附録冊は諸家の句文など。附録冊扉には「夢之蹤 附録」とある。

4—24ハ47 大惣番号札剝著 1円25銭

33627 ハイカイヒヤクイチシフ  
俳諧百一集 大1帙1冊  
越中康工(八椿舎)編・自序、水竹散人跋 (1764) (1765) 宝暦14序、明和2刊

京 橋屋治兵衛（寺町通二條下町）

※俳人100人の肖像と各1句および寸評を挙げて  
いる。表紙に「柳」と記した小札、見返しに大  
惣印と「忒番／俳諧百歌仙巻冊」の書込みあり。

4—24ハ41 大惣番号札剝落 60銭

33628 <sup>ハセラツダブクロ</sup>  
はせを頭陀侍 大1帙1冊  
著者未詳

写本

※巻頭内題「頭陀侍」。表紙に「是ハ板行のが忒  
部迄有たが見へぬ由申候」云々と記した小札あ  
り。俳諧作法書。

4—24ハ9 ふ七百九拾六全巻冊 15銭

33629 <sup>ジフロンキベンセウ</sup>  
十論為辯抄 始・中・終 大1帙3冊  
支考編・自序 享保10刊

京 野田治兵衛（寺町押小路橋屋）

※『俳諧十論』についての解説書。序題「為辯抄」。

4—24ハ29 ふ七百三拾六全三 60銭

33630 <sup>ホツクタマボコ</sup>  
發句玉鉢 大1帙1冊  
写本

※版心に「博愛館藏」と刷込まれた野線入り用紙  
を使用。発句集。作者は秋豊・朱月・曾山・い  
ははら多数。見返しに「三百四十三」（朱）の  
書込みあり。墨書題簽中「發句」はあとからの  
書込みか。

4—24ホ1 ふ七百九拾三全巻 20銭

33631 <sup>ワカンヒヤククワノフ</sup>  
和漢百芭賦 大1帙1冊  
支考著 享保12刊か

京 橋屋治兵衛（寺町二条）

※上記書名は原題簽による。扉では「呬漢」を角  
書とする。巻頭内題は「新製大和真名／百花ノ  
賦」，柱書「文操別録」。33587の『和漢文操』  
（享保12刊）の附録。百花賦本文とその注より  
成る。

4—24ワ1B ふ七百九拾全巻冊㊦ 30銭

33632 <sup>イツサラウハイカイブシツフ</sup>  
一茶翁俳諧文集 半1帙1冊  
一茶著，一之編，俳禅序，逸淵序，惺庵西馬跋

嘉永5序（逸淵），同7序（俳禅）

江戸 須原屋源助（神田通新石町）

※『おらが春』（嘉永5刊）の抄録再刊本。大惣

印なし。

4—24イ2 大惣番号札剝落か 60銭

## 連 歌

33633 <sup>レンガハナヒグサ</sup>  
連哥はなひ草 小1帙1冊  
親重（立圃）著，破盞（烏丸光広）跋 寛永13奥書

京 村上平楽寺（二條通玉屋町）

※本書は村上平楽寺板『はなひ草』で，後補墨書  
題簽に「連哥」と冠しているが，俳諧作法書。

背に「連哥春日草」とあるのは誤り。上記の受  
入番号を消して，新たに1829048を与えている。

4—24レ4 大惣番号札剝落 15銭

33634 <sup>キンライフウテイ</sup>  
近来風舩 大1帙1冊  
二条良基著 嘉慶元奥書

書肆・刊年不明

※歌論書。原題簽に「連哥」と書込みあり。奥書は  
「此一巻道之教寄異他之間書遣松田丹州者也  
老耄事等不可為指南歟 不可有他見／嘉慶元年  
十一月十二日／後普光園摂政殿／准三后御判」。

4—22キ5 ふ七百七拾七 15銭

33635 <sup>シンセンツクバシフ</sup>  
新撰菟玖波集 一二～十九二十  
半1帙10冊

一条冬良・宗祇・兼載ら編，冬良序  
明応4成，寛保3刊

長谷川庄右衛門

※題簽に，各冊の収録の巻次とその内容を墨書し  
ている。

4—24シ9 れ七番 1円50銭

## 『大惣本四月二十一日 連歌ノ末ニ追加之分』

33636 <sup>ヤマトノクニキデノシタヒモ</sup>  
大和國井手下紐 壹～三 半1帙3冊  
初世並木正三作 寛延2初演，天明6写

写本

※台帳。第1冊冒頭に絵尽くし『けいせい井手玉川』4丁を附す。第2・3冊末・第3冊見返しなどに「呂丁」の印と「八寶堂呂朝」などの書込みがある。各冊内題に角書「唐金茂右衛門／筑波茂右衛門」あり。

4—31ヤ1 ろ百四十六 30銭

33637 フリフリクサ  
をりをりくさ 一〜八 半1帙8冊  
建部綾足著

写本

※随筆。内題は「折々くさ春の部」(第1冊), 「折々くさ夏の部」(第3冊), 「をりをりくさ秋の部」(第5冊), 「折々草冬の部」(第7冊)。題簽下部に内容を略記している。

4—47オ4 め六拾貳全八冊 20銭

33638 ヒヤクバケモノ  
百化物 一〜五 半1帙5冊を合綴1冊  
馬場文耕著

写本

※題簽に「色々弥ら敷実記也」と記す。表紙に白紙の小札あり。『当代江都百化物』の1本。

4—47ヒ1 め四百八拾貳番 10銭

33639 シチュウサイグワ  
市中碎瓦 上・中・下 半1帙3冊  
花秦虞庵著・自序, 宮司下淤富泥序  
(1781)  
天明元序・自序

写本

※下冊末に「指峰堂藏書新寫本略目録」がある。

4—41シ10 〇〇貳拾五 15銭

33640 サクブツシ・ウキヨアナミロン  
作物志・浮世穴見論 半1帙1冊  
曇齋時恭著

(作物志) 満壽井山人序, 葉刈多楠序, 偃美山人説, 鈍斎平樗跋, 渋谷柿麿画

(1807) 文化4「稿成」・序(いづれも), 同5「發兌」

写本

※博物志に擬する滑稽本。稿本であろう。奥書に「雞窓居蔵」とある。口絵あり。

(浮世穴見論) 自跋 (1812) 文化9成

写本

※穴の評伴記。末尾に「熟々堂蔵」とあり, 「彙齋主人戯編書目」を附す。

4—25サ1 め五百八拾四全 5銭

33641 チャウバンミヤコイウリユメノアト  
張藩都 遊里夢墅跡 半1冊  
無疑齋著, 吉田二祐画 (1800) 寛政12成

写本

※筆彩画あり。名古屋の遊女町の案内。

3—47ユ3 大惣番号札剝落 5銭

33642 ミワモノガタリ  
三輪物語 巻〜四 半1帙4冊  
熊沢伯継著

写本

※神道。第1冊表紙に「〇〇八」の小札あり。上記者名は『国書総目録』による。

1—05ミ2 大惣番号札剝落 20銭

33643 セキキヨクヒダンセウ  
石曲秘談抄 巻貳三・四五・六七・八九十 半1帙4冊

逸名序あり

写本

※巷説をあつめた随筆。上記書名は各冊表紙打ちつけ書などによる。序題「明和飛日記續後」, 巻之一巻頭内題「石曲飛日記續後」, 巻之二以下の巻頭内題「飛日記續後」。第1冊初丁に「書肆／尾州／本嘉／富塚」の印あり。

4—41シ12 大惣番号不明 20銭

33644 カンタンユメモノガタリ  
邯鄲夢物語 壹〜参 半1帙3冊  
梯源翁著・自序

写本

※彩色を施した挿絵がある。実録。

4—41シ4 み〇〇拾五 15銭

33645 ヤマノキブカンノウチイツシンノリハウ  
山井武鑑之内一身之利方 乾・坤 半1帙2冊

著者未詳

写本

※兵法書。大惣蔵書印なし。

8—21ヤ2 大惣番号札原欠か 10銭

33646 セイダクジザイ  
聖学自在 一〜三(上・中・下)

新井白蛾(祐登)著・自序 (1776) 大3冊 安永5序, 同6刊 (1777)

京 武村嘉兵衛(二條通新町東入)

※学問に関する随筆。第3冊の末に「新井白蛾先



生著述目録」1丁を附す。その目録における書肆、武村と、大坂 浅塾彌兵衛(高麗橋一丁目)とを並記。

1—69セ2 や式百六拾式 10銭

33647 ブ シダウニチヨウシフ 武士道日用集

横(15.2×21.5cm) 1帙1冊

著者未詳

写本

※末尾に他見無用の旨の書込みあり。裏表紙に「中村」と書込みあり。

8—21フ9 ち千七百四拾式 5銭

33648 ブ モンエウカンセウ 武門要鑑抄 自一至七・自八至十四・自十五至廿・自廿一至廿二 半1帙4冊

著者未詳

書肆・刊年不明

※『国書総目録』には「上杉輝虎・加治景英等受、沢崎景実編?」とある。第1冊の初丁裏に紛失注意の札あり。全巻を通じて書込み多数あり。「北丙甲」「校正」の朱印あり。

8—21フ17 た七百拾四 20銭

33649 ケイセイハルノトリ 傾城青陽鷄 一〜四 半1帙4冊

近松徳叟・奈河七五三助・辰岡万作 寛政6初演

写本

※台帳。第1冊扉題のみ角書「其頃の歌開は／はてな男と二人／連懸て思ひは昔の／あふみ其名にめでゝ」を有する。31547参照。

4—31ケ27 五番 20銭

33650 セウセツナラズノウメ 小説不實梅 上・下 半1帙2冊

齋齋時恭著・画・自序 文化4奥書

写本

※読本。稿本。末尾に「鶏窓居蔵」とある。目次では本書を前編と称す。33656『小説不實梅 前編』とは別内容。

4—41ア55 大惣番号札剝落 10銭

33651 マクワウキンキヤウコウヘン 磨光韻鏡後篇 大1帙1冊

文雄著、円山小松寺文龍序 明和9序、安永2刊

京 山本長兵衛

※「韻鏡指要録」と「翻切伐柯篇」より成る。原題簽下部に「伐柯篇」とある。書込み多し。

4—64マ2 や四百拾壹 10銭

33652 フタスデミチコウヘンサトノクセ 二筋道後篇廓の癖

中他1冊と合1帙1冊

梅暮里谷義著・自序、歌川國政画 寛政11序

書肆不明

※洒落本。墨書題簽「傾城買二筋道後篇」。初篇1冊(33547参照)と同帙。裏見返しに大野屋の「御葉あらいこ／かみそめ油」の広告刷り物あり。

4—43カ8 わ百六拾六 10銭

33653 セウフ 笑府 中1帙1冊

墨愁齋編・自序、憐憫齋記、負喧齋序 明和5序

和泉屋庄次郎

※断本。3巻より成る。末尾に「慶元堂蔵板略目録」を附す。

8—67シ1 ち六百六十壹 10銭

33654 オトシバナシカツラノハナ 落嘶桂之花 上・中・下

半1帙3冊

桂文治・門人文公著、月光亭あるじ酔中序

写本

※断本。

8—67オ1 二百拾四全三 10銭

33655 カンジヤウグウキ 閒情寓寄(上)・下 中2冊

湖上李漁著、増余三垣紫臣・男将芳漱六訂、東都河大

順校、南華主人序 享和元刊

南華書室蔵板、江戸 堀野屋仁兵衛(本石町四丁目大横町)

※下冊の原題簽は「□情偶寄」、目次の題と巻頭内題「笠翁偶集」。

8—63カ1 大惣番号札剝落か 10銭

33656 セウセツナラズノウメ 小説不實梅 壹〜四・五之上・五之下

大1帙6冊

齋齋時恭著・画・自序 文化8序、同9奥書

写本

※読本。稿本。見返し内題左に「一名雪猴奇言」とある。各巻内題「小説不實梅雪猴奇言」。各冊題簽中に「前編」とある。33650とは別内容。末尾に「鶏窓居蔵」とある。第1冊表紙に「尾府齋□作／全部六冊」の札あり。

4—41ア56 さ三百七拾六全六 20銭

33657 <sup>タウドカウテイキ</sup> 唐土行程記 一〜四 大1帙4冊  
朝鮮崔溥著、清田絢(僞叟)訳・附言、柚木太玄序、  
江邸序、堀菜吉「舊跋」(1769)、伊藤聖訓跋

明和6序(いづれも)・舊跋・跋・刊  
京 河南四郎右衛門・林伊兵衛・日野屋源七・  
端六右衛門

※外国地誌。原本は『漂海録』。第4冊裏見返し  
に「清君錦先生撰」の2部の書の広告あり。第  
1冊表紙に「 ぬ五／四冊」の小札あり。

5—87ト2 大惣番号札剝落 20銭

33658 <sup>カウシンシンワシフ</sup> 高枕新話集 乾・坤 半1帙2冊  
花北隠順才子著・自序 (1780) 安永9序

写本

※随筆。大惣の半紙を使用。

4—47コ10 め四百五拾老全式 10銭

33659 <sup>セケンメヲトカタギ</sup> 世間夫婦容氣 壹(上)・中・下  
半1帙3冊を合綴1冊

著者未詳  
写本

4—42セ7 め五百廿八全三〇 10銭

33660 <sup>ツウゾクカウシユクデン</sup> 通俗孝肅傳 一〜五 半1帙5冊  
龍淵先生著、紀進序、朴庵高碩序 (1768) (1770)  
明和5序(朴庵)、同7刊

京 梅村三郎兵衛(寺町松原下ル町)、大坂  
大野木市兵衛(心齋橋安堂寺町)、江戸 須原  
屋茂兵衛(日本橋南老町目)・三田屋喜八(麴  
町十二丁目)

※朴庵序題・柱書「孝肅傳」、紀進序題「孝肅公  
之傳」。読本。絵入り。第1冊表紙に「奇」の  
札あり。

4—45ツ4 つ四百式十四 20銭

33661 <sup>クワイダンゼンシヨ</sup> 怪談全書 壹〜五 大1帙5冊  
林道春著 (1698) 元禄11刊

江戸 中野孫三郎(上野仁王門筋中町)、京  
福森兵左衛門(五條橋通)

※仮名草子。絵入り。後補墨書題簽には角書「有  
繪」あり。

4—47カ9 大惣番号札剝落 20銭

33662 <sup>トヘンシンシヨ</sup> 杜騙新書 半1帙1冊

浙江夔衷張應俞著、南宮岳烏序、五瀬泰一跋 (1770) (1818)  
明和7序・跋、文政元刊  
「五車樓梓」、京 菱屋孫兵衛(御幸町御池下  
ル町)

※原題簽「江湖歴覽杜騙新書」、見返し上部にも  
「江湖歴覽」とある。見返しに本書紹介文あり。  
商人・旅行者の心得、漢土の俗語を知る便りに  
なるという。

4—47ト2 つ四百三拾六 10銭

33663 <sup>セウリクワウキセウ</sup> 笑林廣記鈔 半1帙1冊

清遊戯主人著、日本歡笑處士譯、巴椿園序 (1778)  
安永7刊

京 鹿野氏菊屋安兵衛(寺町通三条上ル町)

※末尾に菊屋の「蔵板目録抜書」あり。表紙に  
「小説」(朱)、「柳」「千九十六」(墨)の小札  
あり。笑話集。

8—67シ3 や五百九拾六 10銭

33664 <sup>コクサンカウ</sup> 國産考 壹・二 半2冊  
大蔵永常著、松川半山画 (1842)  
天保13刊

江戸 丁子屋平兵衛、大坂 河内屋茂兵衛・河  
内屋長兵衛、京 大文字屋専蔵・丸屋善兵衛  
(三條通寺町西へ入町)

※農書。各冊裏見返しに丸屋の目録あり。

9—24コ1 そ九百六拾五全式 10銭

33665 <sup>ココン</sup> <sup>エホンソウシヤグルマ</sup> 今 繪本勇者車 壹〜十 半1帙10冊

下河邊拾水子画、与童人序 (1704) (1783) (1794) (1795)  
宝永元「舊板」、天明3「御免」、寛政6序、同7刊

京 菱屋治兵衛(寺町松原上ル町)

※菱屋の絵本目録・蔵板目録あり。

8—44エ35 大惣番号札剝落 50銭

33666 <sup>マンロク</sup> 漫録 上・下 半1帙2冊  
写本

※故実などの雑録。伊勢貞丈著『貞丈漫録』から  
の抄出か。

10—05マ3  拾五全式 10銭

## 補 遺

※以下の2点は、明治32年の受入ではないが、大野屋旧蔵書と確認できるものである。

- シユンカシウトウ シ キモノガタリ ナツヘン  
(1) 春夏 四季物語 夏篇 一〜五  
穠冬 半1帙5冊

栗杖亭鬼卯著、山東京山校・序、壯遊亭莫雄画  
(1817) (1818)  
文化14序、同15刊

江戸 若林清兵衛(馬喰町三丁目)、京 本屋  
宗七(二条通車屋町)、大坂 塩屋卯兵衛(心  
斎橋通南久太郎町)・塩屋長兵衛(同)

※読本。木下廣次博士旧蔵書。1919年に附属図書  
館に寄贈。大惣印あり。受入番号195008。

4-41 31 ら式百拾六式編五冊○

- シゲシゲチワ  
(2) 繁千話 小1冊

山東京傳著・画・自序・自跋、逸名序あり  
(1790)  
寛政2跋

江戸 多田屋利兵衛(堀江町四丁目)

※洒落本。頼原退蔵博士旧蔵書。1950年に国語学  
国文学研究室に寄贈。㊦印あり。自序題「洞房  
妓談繁千話」。多田屋の目録あり。「伊勢町/  
二丁目/松野屋孫右衛門」印あり。受入番号は  
879283。

文閣 頼原文庫P j 9 大惣番号札剝落

## 未 整 理

※以下の17点は、明治32年に搬入されながら、虫損  
・有欠などの理由で受入番号および配架番号を与  
えられず、未整理のまま現在に至ったと思われる  
大野屋旧蔵書である。いまは便宜的にアイウエオ  
順に(1)〜(17)の番号を附し、書名・体裁・著者の知  
られるものは著者名・写本版本の別・大惣番号・  
特記すべき事項に限って簡単に記しておく。これ  
らは現在のところ本館学術資料掛において保管さ  
れている。

- アキ バサンダウチユウキ  
(1) 秋葉山道中記 横(10.9×16.7cm) 1冊, 写本,

ほ八百六拾九, 虫損甚し。

- アキンドネンダウチユウキ  
(2) 商人年中行笈 横(8.8×19.2cm) 1冊, 英華堂  
著・自序, 下河邊拾水画, 版本, 大惣番号不明。

- アマノトモシビ  
(3) 雨夜燈 大1冊, 湯浅元禎(常山)著, 版本,  
て六百四拾六附録全巻冊, 虫損, (8)『常山紀談』  
の附録。

- イ セサンダウチユウキ  
(4) いせ参官道中記 横(10.8×14.2cm) 1冊, 写本,  
ほ八百六拾八。

- イ セダウチユウキ  
(5) 伊勢道中記 横(13.5×20.0) 1冊, 写本, 大惣  
番号札剝落, 虫損。

- キヤウオホサカダウチユウキ  
(6) 京大坂道中記 横(9.0×17.5cm) 1冊, 写本,  
ほ八百七拾三, 虫損甚し。

- サイゴク  
(7) 西コク(背の書込みによる) 横(10.3×20.0cm)  
1冊, 写本, 大惣番号不明, 虫損甚し, 表紙破損  
につき本来の書名不明。

- ジャウザンキダン  
(8) 常山紀談 六〜十・十三〜十七・二十一〜二十五  
・拾遺一〜四(拾遺一・二は2冊づつ)・附録五  
半22冊, 湯浅元禎(常山)著, 版本, て六百四  
拾式後五(他に3つ大惣番号あるが省略), 虫損  
甚し。

- シヨククワイニウ  
(9) 書史會要 特大(29.6×21.0cm) 1冊, 写本, や  
四百四拾八, 虫損。

- ジライヤコウヘン  
(10) 自來也後編 半1冊, 感和亭鬼武著, 蹄齋北馬画,  
版本, 大惣番号札剝落, 虫損, 原題簽に角書「復  
讎/奇談」あり。

- タイシロク  
(11) 退私録 一〜四 半4冊, 新井白石著, 写本, め  
八百式全五, 虫損甚し, 第5冊欠。

- チリツカモノガタリ  
(12) 塵塚物語 一・二・三之巻 半3冊, 版本, つ  
式百三十巻端五冊, 虫損甚し, 第4・5冊欠。

- ヒヤクカネ カウデン  
(13) 百家琦行傳 二〜五 大4冊, 八島五岳著, 版本,  
大惣番号不明, 第1冊欠。

- ボクテン シデン  
(14) 樸天子傳 大1冊, 晉 郭璞註, 版本, や五百九十  
四, 虫損, 白文。

- ホクラサガシカヒコトバ  
(15) 小社探賈詞前集一〜三 半3冊, 古川氏嘉著, 版  
本, 大惣番号札剝落, 一名「残口猿轡」。

- ホンテウ ココンシヨクワベンラン  
(16) 本朝古今書画便覽 横(8.5×18.4cm) 1冊, 河津  
山白著, 版本, ち千五百拾六。

- サワグズイヒツ  
(17) 澤窩隨筆 半1冊, 写本, 大惣番号札剝落,  
題簽上部破損, 虫損。

京都大学蔵  
大 惣 本 目 録  
(第二分冊)

---

1989年3月25日 印刷  
1989年3月29日 発行

編集・発行  
京 都 大 学 附 属 図 書 館  
京都市左京区吉田本町

---

印刷：山代印刷株式会社